

論文 / 著書情報  
Article / Book Information

題目(和文)	現代建築作品における空間の大きさの比較表現
Title(English)	THE SCALAR RHETORIC OF SPATIAL DIMENSIONING IN CONTEMPORARY ARCHITECTURE
著者(和文)	長谷川豪
Author(English)	Go Hasegawa
出典(和文)	学位:博士(工学), 学位授与機関:東京工業大学, 報告番号:甲第9792号, 授与年月日:2015年3月26日, 学位の種別:課程博士, 審査員:塚本 由晴,藤岡 洋保,安田 幸一,奥山 信一,村田 涼
Citation(English)	Degree:., Conferring organization: Tokyo Institute of Technology, Report number:甲第9792号, Conferred date:2015/3/26, Degree Type:Course doctor, Examiner:,,,,,
学位種別(和文)	博士論文
Type(English)	Doctoral Thesis

論文題目

現代建築作品における空間の大きさの比較表現

THE SCALAR RHETORIC OF SPATIAL DIMENSIONING IN CONTEMPORARY ARCHITECTURE

指導教員：塚本由晴 准教授

提出者：長谷川豪

## まえがき

初めて東大寺を見たときはその大きさに圧倒され、ローマのテンピエットを訪れたときにはその小ささに驚かされました。このような特別な例を出さないまでも、私たちは日常的に空間の大きさ（あるいは小ささ）を感じ取っています。空間の大きさは、建物の用途や、環境との調和を考えるうえでも重要な要素になるため、その取り扱いは設計者の腕の見せどころであり、実際に私自身も設計するときにも最も気をつけていることです。しかしよく考えてみると、「空間の大きさ」というのはとても漠然とした言葉でもあります。「この空間は大きい」と言っても、それが何と比べて大きいのか、そもそも空間の何が大きいのか、曖昧なのです。このように誰もがなんとなく使っている「空間の大きさ」の正体を解き明かしたい。それがこの研究の素朴な動機でした。本論は「空間の大きさの比較表現」を階、室、部位といった建築の構成単位ごとに検討し、同時にそうした建築に内在する分節構造が、空や地面、建築の用途、外部環境といった建築に外在する分節構造にどのように応答しているかをみるものであり、この研究が様々なスケールや用途の建築設計にヒントを与えるものになれば幸いです。

本論文をまとめるにあたり多くの方の御指導、御助力、御協力を頂きました。恩師である塚本由晴先生には、本論文の構想や展開さらには最終的なまとめに至るまで、多大な御指導、御助力を頂きました。修士課程を卒業してから10年ぶりに大学に戻り、久しぶりに塚本先生と建築について議論し、特にどのように論を構築していくべきか試行錯誤する過程はとても楽しいものでした。

本論の第3章は先輩である田中正洋さんの修士論文をもとにしており、温かい励ましを頂きました。また塚本研究室の助教である能作文徳さんには常に的確なアドバイスを頂き、修士課程の信川侑輝さんには資料編の作成協力をしてもらいました。これらの方へ、この場を借りて深く感謝の意を表します。

平成27年2月 長谷川豪

## 目次

第1章	序論	1
第1節	研究の意義と目的、背景	2
第2節	研究の方法と資料	6
第3節	従来の研究との比較	10
第4節	論文の構成及び概要	12
第2章	階の構成による空間の大きさの比較表現	18
第1節	本章の目的と概要	19
第2節	各階を特徴づける「階構成」	21
第3節	空間の大きさの違いによる「階構成」	22
第4節	階の構成による空間の大きさの比較表現の種類	23
第5節	空と地面の対比関係に注目した種類の比較	25
第6節	小結	27
第3章	室の配列による空間の大きさの比較表現	34
第1節	本章の目的と概要	35
第2節	空間構成における「パラメータ」と「コンスタント」	37
第3節	室の配列による空間の大きさの比較表現	39
第4節	室の配列による空間の大きさの比較表現の種類	41
4.1	階層図と「直接比較」／「間接比較」	42
4.2	室の配列による空間の大きさの比較表現の種類	43
第5節	室の種類と階層に注目した種類の比較	45
第6節	小結	48
第4章	部位の配列による空間の大きさの比較表現	57
第1節	本章の目的と概要	58
第2節	建築部位の配列と軸	60
第3節	部位の配列とグラフのパタン	61
第4節	部位の配列による空間の大きさの比較表現の種類	63
第5節	部位の種類と尺度に注目した種類の比較	65
第6節	小結	67
第5章	構成単位の違いからみた空間の大きさの比較表現	75
第6章	結論	78

## 第1章 序論

第1節 研究の意義と目的、背景

第2節 研究の方法と資料

第3節 従来の研究との比較

第4節 論文の構成及び概要

## 第1節 研究の意義と目的、背景

### 現代建築における多様性や複雑さ

現代建築の特徴のひとつに「多様性や複雑さ」が挙げられる。

ロバート・ヴェンチャーリは、『建築の多様性と対立性』のなかで、20世紀初頭のモダニズム建築の空間の均質性や単純さを批判し、建築の多様性や対立性を標榜した<sup>注1)</sup>。ミース・ファン・デル・ローエの言葉「Less Is More（少ないほど豊かである）」を「Less Is Bore（少ないほど退屈である）」と皮肉ったうえで、ヴェンチャーリは古典建築の様々な実例を取り上げながら、そこに見られる曖昧さ、両義性、不合理性を称揚した。さらに以下のように述べている。

価値ある建築は、いろいろな意味のレベルや、視点の組み合わせを換気する。その空間や要素は、様々な読まれ方、働き方が同時に可能なのである。

しかし、多様性と対立性を備えた建築は、断片的な関心の範囲にとどまってしまわずに、常に全体に対する見通しを持つという特別な責務がある。それが真実性を持つのは、それ自身全体性を有している、もしくは全体性を内に含んでいるからに他ならない。それは、排除することで得られる安易な統一よりは、受け入れられることで得られる複雑な統一を実現しようとするものである。より多いことはより少ないことではないのだ。

（『建築の多様性と対立性』ロバート・ヴェンチャーリ，鹿島出版会，1982，pp34）

ここでヴェンチャーリが述べている「様々な読まれ方」「受け入れられることで得られる複雑な統一」は、具体的には、ポストモダニズムの建築表現が対応している。1970年代以降、合理性・機能性が優先されたモダニズム建築に対する反動ともいえるかたちで現れたポストモダニズムの建築表現は、装飾や象徴性を復権し、まさにヴェンチャーリの指摘する建築の多様性や複雑さが表現された。それは古典や土着的な要素の図像を引用し、それらをコラージュすることで建築の多様性や複雑さを表すものであり、現代建築への図像性の再導入として広く語られた<sup>注2)</sup>。

その後、装飾や象徴的な建築表現は影を潜めたが、「多様性や複雑さ」はいまも現代建築が問題にし続けているテーマの一つである。

## 「空間の大きさ」

では現代建築の「多様性や複雑さ」を担っているものは何か。それは「空間の大きさ」ではないか。ヴェンチューリは前掲書の3章「複雑な全体 (difficult whole) を獲得する責務」のなかで、建築に複数の構成部分がある場合は、

諸部分がスケールを変えたり、全体を覆うパターンもしくはテクスチャーとして認められるような性状を有するが故に、何らかの統一 (unity) が読み取れるのである。(前掲書, pp164)

と述べ、部分同士の大きさの違いが複雑な全体をつくりだすことを指摘している。

では私たちは空間の大きさをどのように体験しているだろうか？建築の空間の大きさは、単一の空間よりも隣り合う空間同士を比較することでより把握しやすいものになることから分かるように、空間の体験には相対的な大きさの比較が含まれている。空間の大きさを少しずつ変化させながら反復する表現など、建築設計において相対的な大きさの比較は意識的に用いられるものだが、本研究はそうした「空間の大きさの比較表現」に着目するものである。

## これまで語られてきた「空間の大きさ」

哲学者・評論家であるアランは、ゴシックの建築家が遠近法を用いた様々な空間を試みていたことを書いたテキストのなかで、以下のように述べている<sup>注3)</sup>。

建築の基本法則の一つは、大きさを実感させるということであろう。(『アラン芸術論集』アラン(エミール・オーギュスト・シャルティエ), 岩波書店, 1941, pp283)

空間の大きさや尺度については、これまで多くの建築家や建築理論家によって論じられてきた。

ヨーロッパで最初の建築理論を構築したウィトルウィウスは『建築十書』のなかで、ギリシア神殿が人体比例を借りて割り出されたものであると述べ、「人体比例図」という比例法によるモジュールを初めて記述した<sup>注4)</sup>。

ル・コルビュジエは『モデュロール』のなかで、黄金比と人体寸法をもとにした新たな寸法体系モデュロールを掲げ、建物の全ての部分をこの寸法体系によって設計することを意図し、実際にマルセイユのユニテ・ダビタシオンの設計などに適用

した<sup>注5)</sup>。

チャールズ・ムーアは『ディメンション』のなかで、スケールを相対的なサイズ、つまり何か他のものと比較した場合のあるもののサイズだとし、さらにそれを「全体との比較」、「他の部分との比較」、「通常のサイズとの比較」、「人間のサイズとの比較」の4つに分類している<sup>注6)</sup>。

さらにレム・コールハースは『S, M, L, XL』というサイズ順に建築を並べたマッシュな書籍のなかで「ビッグネス」という概念を提示し、建築はあるスケールを超えると建築家の意志や建築の内容とは無関係に、そのサイズ自体が建築の特徴を決めることを指摘した<sup>注7)</sup>。

このように「空間の大きさ」は、建築設計の場において実践されてきただけでなく、歴史的に建築論においても幅広く論じられてきた。

### 「空間の大きさの比較表現」

例えば図 1.1 の建築作品のように、一つの建築のなかで室の幅を一定にしながらか高さを変化させる表現などは、一つの建築のなかで互いを参照し合いながら空間の大きさを部分同士の関係づけに利用するものである<sup>注8)</sup>。

そうした表現は大きさを一定にしたり変化させることで部分同士を関係づける尺度の表現だということができる。本研究の意義は、モジュールなどの寸法体系を用いて規格化するいわば絶対的な尺度の表現に対し、このような相対的な尺度の表現を「空間の大きさの比較表現」と呼び、現代建築においてこうした表現がどのように成立しているかを明らかにすることにある<sup>注9)</sup>。

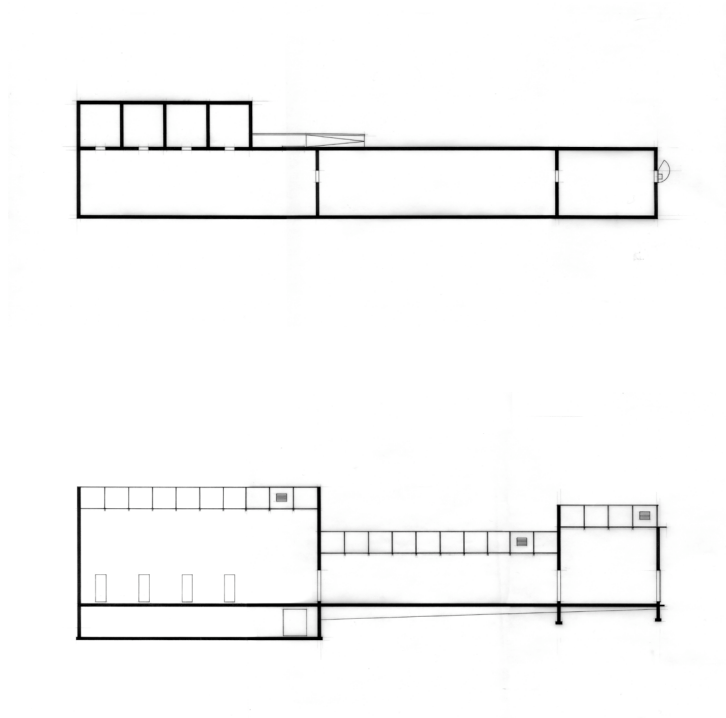


图 1.1 Peter Markli 「La Congiunta」, 1995

## 第2節 研究の方法と資料

### 「空間の大きさ」 —用語の定義—

まず「空間の大きさ」という用語について説明する。

『大辞林』第三版によれば、「おおきさ【大きさ】」は以下のように解説される。

- ①物の形・面積・容積などの程度。
- ②数量の多さの程度。「損害の一」
- ③規模・勢力・度量などの大きい程度。

(『大辞林』第三版, 三省堂, 2006)

「空間の大きさ」と一言に言っても捉えづらいものがある。大きさの比の関係を扱う用語としては尺度 scale や比例 proportion がある。フィリップ・ブドンは『建築空間 [尺度について]』のなかで、比例を「同一の空間のなかで一つの部分とその他の部分とが有する比の関係」、尺度を「一つの空間の一部とそれとは異なる別の空間の一部との比の関係」と定義している<sup>注10)</sup>。

前節で述べたように本研究は一つの建築のなかで大きさの比較を通して部分同士が関係づけられる自己参照的な尺度の表現に着目するものである。そこで本研究では上記のブドンの定義を踏まえ、尺度を「一つの建築のなかでの部分同士の空間の大きさの比の関係」とし、さらに建築作品の3次元の「空間の大きさ」を、幅、奥行き、高さといった1次元の大きさの尺度の組み合わせとして捉え、「空間の大きさの比較表現」を分析する。

### 研究の資料

本研究の研究事例としては、一つの建築のなかで互いを参照し合いながら空間の大きさを部分同士の関係づけに利用する「空間の大きさの比較表現」の実践例を国内外の建築専門誌から収集し、さらに建築の構成単位ごとに、そうした表現がどのように成立しているかを分析する。建築の構成単位は以下の3つとした。

- ・ 階の構成による空間の大きさの比較表現 (2章で検討)

- ・ 室の配列による空間の大きさの比較表現（ 3 章で検討）
- ・ 部位の配列による空間の大きさの比較表現（ 4 章で検討）

これら階、室、部位という 3 つの構成単位は、建築の規模や用途を問わず広く用いられるものである。2 章で検討する階の構成については、階同士の関係を扱うためにまず複数階をもつ建築であることが研究事例の条件になり、さらに空や地面との関係から階の構成を考察するため高層建築などは分析しにくいことから、単一用途で高層になりにくい専用住宅に用途を限定し、複数階をもつ戦後日本の住宅作品を研究事例とする。例えば対象事例としては、図 1.2 のように小さな地上階の上に 2 層吹き抜けをもつ大きな階を載せるものなどが挙げられる。



図 1.2 吉村順三「軽井沢の家その 1」, 1972

3章「室の配列」と4章「部位の配列」については建築の用途も規模も限定せず、「空間の大きさの比較表現」がみられる国内外の現代建築作品を研究事例とする。3章の対象事例としては、図1.1のように室の幅を一定にしながら奥行きと高さを変化させるものなどが挙げられる。また4章の対象事例としては、図1.3のように屋根の形状を変形させながら一方向に反復させるものや、大小二つの円筒を中心をずらして配置することで2枚の壁の幅を連続的に変化させるものなどが挙げられる。

研究事例は以上の選定条件で、第2次世界大戦後から現代までの国内外の建築専門誌に掲載された作品から収集し、平面図、断面図、写真などから分析する<sup>注11)</sup>。

なお、2章と3章においては階あるいは室そのものの空間の大きさを分析するのに対して、4章においては部位と部位のあいだに生じる空間の大きさを扱うこととする。

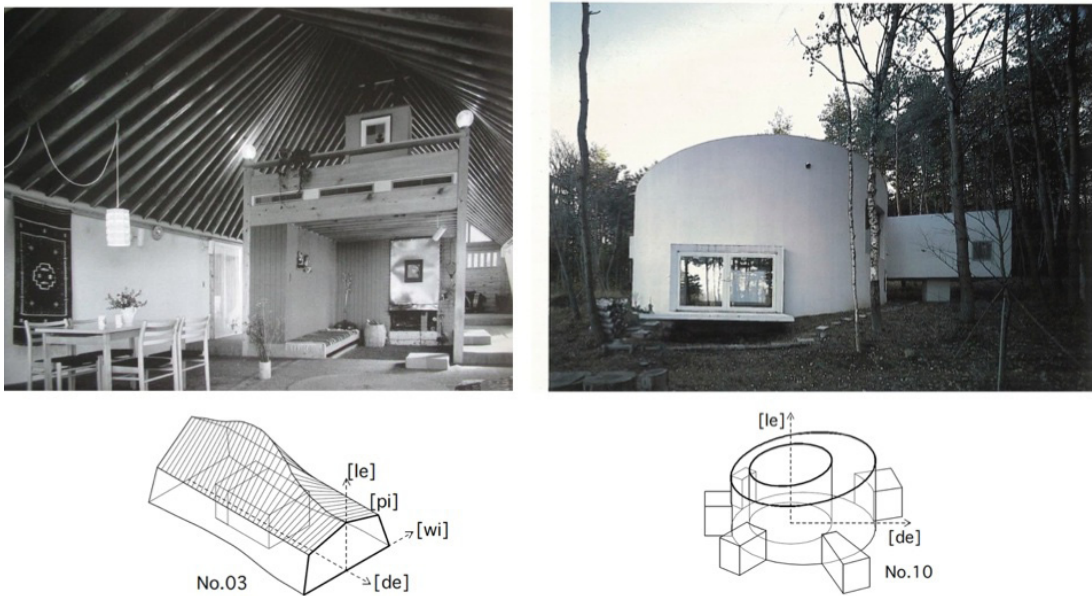


図1.3 宮脇壇「もうびいでいっく」,1966 / 妹島和世「森の別荘」,1994

## 研究の方法

本研究の方法としては、建築作品における「空間の大きさの比較表現」について、その研究事例を国内外の建築専門誌から収集し、空間の大きさの尺度を一定にしたり変化させることでつくりだされる構成単位間の関係に着目し、さらに一つの建築のなかでの統合の方法を構成類型として導いていく。

2章では「階の構成による空間の大きさの比較表現」を分析する。各階を性格づける要素として平面の大きさ、天井高、エントランスの位置、下階と地面の関係、上階と屋根の関係に着目し、「階の構成による空間の大きさの比較表現」の類型を導く。

3章では「室の配列による空間の大きさの比較表現」を分析する。空間の大きさを比較する尺度のうち差異となるものを「パラメーター」、同一となるものを「コンスタント」とし、「パラメーター」と「コンスタント」の組み合わせと、室の配列の種類と反復の方向に着目し、「室の配列による空間の大きさの比較表現」の類型を導く。

4章では「部位の配列による空間の大きさの比較表現」を分析する。床、壁、屋根、天井といった建築部位の種類、配列の軸、そして空間の大きさを比較する尺度に着目し、「部位の配列による空間の大きさの比較表現」の類型を導く。

以上のように本論文の方法は、建築の構成単位と空間の大きさを比較する尺度に着目して構成の類型を導くというものである。

### 第3節 従来の研究との比較

本研究は、一つの建築のなかで互いを参照し合いながら空間の大きさを部分同士の関係づけに利用する「空間の大きさの比較表現」に着目し、階、室、部位といった構成単位ごとに、そうした表現がどのように成立しているかを明らかにするものである。それぞれの構成単位を題材とした研究はこれまで多くなされておられ、これらを整理し、本論文との関係を述べる。

#### 階の構成による空間の大きさの比較表現（2章に対応）の既往論文

本論文2章と同様に、現代住宅作品の断面的な構成を分析するものとしては、「積層空間」をもつ住宅の空間構成を分析するもの<sup>注12)</sup>、都市型狭小住宅における内部空間の「断面構成」を分析するもの<sup>注13)</sup>が挙げられるが、これらは住宅の断面構成において吹抜けや階段室に着目して視線や動線の接続を分析することに主眼が置かれている。また傾斜地における住宅の「断面構成」を扱うもの<sup>注14)</sup>もみられるが、これはエントランスと主室による内部構成が斜面の方向性にどのように対応しているかを分析するものである。

これらの既往研究に対し、本論文2章は私たちが慣習的に扱っている「階」に注目するものである。「階」は地面との位置関係によって「地下階」「地上階」「屋上階」のように階の呼び方が変わるなど、外部環境との関わりを含んで定義されるものだと考えられる。本論文2章は空間の大きさが各階にどのように分配され、それが外部環境とどのように関係づいているかを問題にするものである。

#### 室の配列による空間の大きさの比較表現（3章に対応）の既往論文

本論文3章と同様に、室の配列を空間構成の問題として捉えた研究としては、外形ボリュームとそれを内部で分割する室の配列を扱うもの<sup>注15)</sup>、室の接続から動線の空間的修辭を扱うもの<sup>注16)</sup>などが挙げられるが、これらは部分である室が配列や動線によって統合された全体に表れる差異を問題にするものである。

これらの既往研究に対し、本論文3章は室の配列による部分同士の差異を空間の大きさの尺度に注目して分析するものである。

#### 部位の配列による空間の大きさの比較表現（4章に対応）の既往論文

本論文4章と同様に、建築部位の配列を構法の問題としてでなく、空間構成の問題として捉えた研究としては、部位の形状や配列から住宅の内部空間の構成を扱うもの<sup>注17)</sup>、部位の分節によるワンルーム型住宅の領域を扱うもの<sup>注18)</sup>があげられるが、これらはある空間のなかでどのように要素が配置されているかという視点で建築部位の配列から空間構成を分析するものである。これらの既往研究に対し、本論文4章は建築部位の配列による部分同士の差異を空間の大きさの尺度に注目して分析するものである。

#### 空間の大きさや尺度に関する既往論文

また空間の大きさや尺度に関する研究としては、ヒューマンスケールなど建築におけるスケールの概念を扱うもの<sup>注19)</sup>、住宅の架構によるモジュールに関するもの<sup>注20)</sup>が見られた。これらは全体のなかの部分を持つもの、あるいはヒューマンスケールやモジュールといった建築の個体差を超えた絶対的な尺度として定義されるものである。これらの既往研究に対し、本研究は部分同士の差異という相対的な尺度を扱うものである<sup>21)</sup>。

以上より、本研究の題材、方法、目的は、既往の研究にはない独自性を有するものであるといえる。

#### 第4節 論文の構成及び概要

本研究は「現代建築作品における空間の大きさの比較表現」と題し、以下の6章から構成されている。

第1章「序論」では、研究の背景と目的、研究の資料と方法、従来の研究との関係、及び論文の構成と概要について述べる。本章では、現代建築における多様性や複雑さの表現について述べたうえで、現代建築作品にみられる一つの建築のなかで互いを参照し合いながら空間の大きさを部分同士の関係づけに利用する表現を「空間の大きさの比較表現」と定義したうえで、階、室、部位といった構成単位ごとに、そうした表現がどのように成立しているかを明らかにするという本研究の目的を述べている。また本論文に関連する既往研究や建築論に関する文献を比較、整理することから、本論文の独自性について述べている。

2章「階の構成による空間の大きさの比較表現」では、国内の現代住宅作品を研究事例に、各階を性格づける要素として平面の大きさ、天井高、エントランスの位置、下階と地面の関係、上階と屋根の関係に着目し、「階の構成による空間の大きさの比較表現」の類型を導く。さらに類型同士を地面と空の対比関係とともに比較することから、こうした表現が現代建築作品に多様性や複雑さをどのようにもたらしているかを考察する。

3章「室の配列による空間の大きさの比較表現」では、空間の大きさを比較する尺度のうち差異となるものを「パラメーター」、同一となるものを「コンスタント」とし、「パラメーター」と「コンスタント」の組み合わせである「セット」と、室の配列の種類と反復の方向に着目し、空間の大きさの比較方法として「直接比較」と「間接比較」の2つがあることを見出す。さらに「室の配列による空間の大きさの比較表現」を分析する階層図を作成したうえで、それらが一つの建築の括りのなかでどのように統合されているかをみることから「室の配列による空間の大きさの比較表現」の類型を導く。さらに類型同士を比較することから、こうした表現が現代建築作品に多様性や複雑さをどのようにもたらしているかを考察する。

4章「部位の配列による空間の大きさの比較表現」では、床、壁、屋根、天井といった建築部位の種類、配列の軸、そして空間の大きさを比較する尺度に着目し、平面や断面に表れるグラフのパランを検討し、これらの組み合わせから「部位の配列による空間の大きさの比較表現」の類型を導く。さらに類型同士を比較することから、こうした表現が現代建築作品に多様性や複雑さをどのようにもたらしているかを考察する。

5章「構成単位の違いからみた空間の大きさの比較表現」では、2～4章の検討を踏まえて、階、室、部位といった構成単位の違いによってどのように「空間の大きさの比較表現」が表れているか、比較しながら考察する。

第6章「結論」では、第2章から第5章までで得られた結果をまとめたうえで、「空間の大きさの比較表現」を総括している。

# 第1章

## 序論

- 第1節 研究の意義と目的、背景
- 第2節 研究の方法と資料
- 第3節 従来の研究との比較
- 第4節 論文の構成及び概要

# 第2章

## 階の構成による 空間の大きさの比較表現

- 第1節 本章の目的と概要
- 第2節 各階を特徴づける「階構成」
- 第3節 空間の大きさの違いによる「階構成」
- 第4節 階の構成による空間の大きさの比較表現の類型
- 第5節 空と地面の対比関係に注目した類型の比較
- 第6節 小結

# 第3章

## 室の配列による 空間の大きさの比較表現

- 第1節 本章の目的と概要
- 第2節 空間構成における「パラメータ」と「コンスタント」
- 第3節 室の配列による空間の大きさの比較表現
- 第4節 室の配列による空間の大きさの比較表現の類型
  - 4.1 階層図と「直接比較」／「間接比較」
  - 4.2 室の配列による空間の大きさの比較表現の類型
- 第5節 室の種類と階層に注目した類型の比較
- 第6節 小結

# 第4章

## 部位の配列による 空間の大きさの比較表現

- 第1節 本章の目的と概要
- 第2節 建築部位の配列と軸
- 第3節 部位の配列とグラフのパターン
- 第4節 部位の配列による空間の大きさの比較表現の類型
- 第5節 部位の種類と尺度に注目した類型の比較
- 第6節 小結

# 第5章

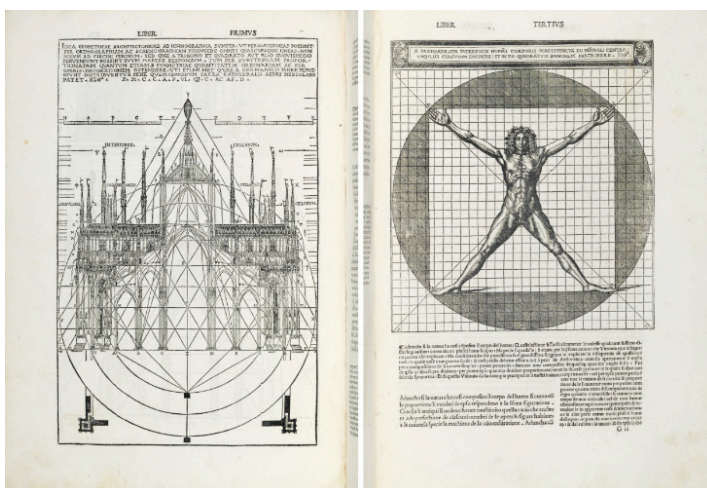
## 構成単位の違いからみた 空間の大きさの比較表現

# 第6章

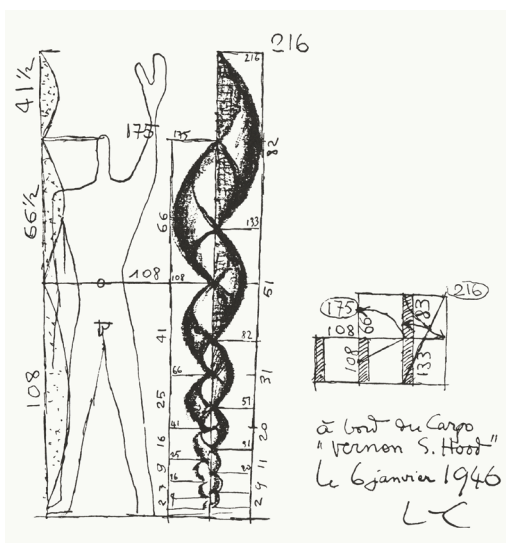
## 結論

## 第1章 注

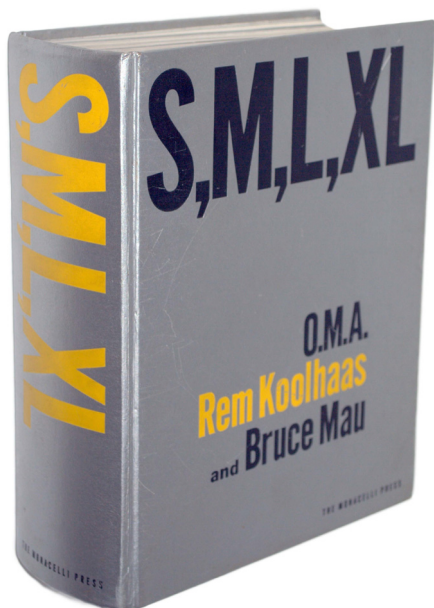
- 1) R・ウ・エンチュエリ：建築の多様性と対立性，鹿島出版会，1982. 11. 初版英語 1966
- 2) ケネス・フランプトン「ポスト・モダンの建築では、古典からの「引用」も、土着的なものからの「引用」も、入り乱れて相互貫入する傾向を見せている。それらのイメージには常に中心がなく、拡散しているから、容易に解体して、より抽象的な立体主義的な形態と混じり合う。この場合、建築家はきわめて恣意的な歴史の引用にしか関心をもてなくなってしまう。」と述べている（ケネス・フランプトン：現代建築史，青土社，2003. 1, p529）。またチャールズ・ジェンクスはポスト・モダニズムの建築を「ラディカルな折衷主義」とし、それを「ほとんどのモダニズム建築とは全然反対に、マルチヴァレント（多義的）であることだ。」と述べている。（チャールズ・ジェンクス：ポストモダニズムの建築言語 a+u 1978年10月臨時増刊，エーアンドユー，1978. 10, p156）
- 3) エミール・オーギュスト・アラン，アラン芸術論集，岩波書店，1941, pp283. 初版仏語 1920
- 4) ウィトルウィウス：ウィトルウィウスの建築書，東海大学出版会，1979. 9. 初版紀元前 15



- 5) ル・コルビュジエ：モデュロール I・II，鹿島出版会，1976. 11.



- 6) チャールズ・ムーア, ジェラルド・アレン:ディメンジョン, 新建築社, 1978. 3. 初版英語 1976
- 7) レム・コールハース, ブルース・マウ: S, M, L, XL, Monacelli Press, 1995. 10.



- 8) 「一つの建築のなかで互いを参照し合いながら空間の大きさを部分同士の関係づけに利用することは「自己言及的」であるということもできる。一般に、ある記号がその指示対象としてその記号自体を有している事態を「自己言及的」であるという。芸術作品、特に文学においては、作品内にその作品自体に対する言及が含まれる場合、自己言及性があるとされる（河本英夫:オートポイエシス-第三世代システム, 青土社, 1995. 7)。本研究では建築作品のなかにみられる自己の内部で繰り返される同一の対応の比較のなかに表れる変化によって差異を判定する仕組みを指し、そこで表れる空間の大きさを比較する尺度を構成の問題として分析する。
- 9) こうした「空間の大きさの比較表現」は、1960年代にアメリカで生まれた美術表現「ミニマリズム」からの影響が考えられる。ミニマリズムは形態や色彩を最小限に切り詰め、幾何学的構造や同一単位の反復など、還元主義的傾向を示す芸術の総称とされ、「再現性」を排して物体としての作品の「現前性」を提示し、純粹な知覚認識の対象へと還元する傾向がある（ジェイムズ・マイヤー:ミニマリズム, ファイドン, 2011. 5)。本論文1章の冒頭でポストモダニズムの建築表現について図像や古典的な建築要素のような言語との対応をコラージュによって示したと述べたが、本研究はそうした「再現性」ではなく「現前性」を志向するミニマリズムに対応すると思われる。
- 10) フィリップ・ブドン: 建築空間 [尺度について], 鹿島出版会, 1978. 6. 初版英語 1971
- 11) 本論文2章では現代日本の代表的な建築ジャーナリズムの一つである「新建築」「新建築住宅特集」に第2次世界大戦後に掲載された住宅作品のうち、また本論文3章および4章では現代の代表的な建築ジャーナリズムの一つである「domus」「Architecture Review」「2G」「都市と建築 (a+u)」「新建築」「新建築住宅特集」「建築文化」などにおいて1990年以降に発表された建築及び建築プロジェクトのうち、本論が定義する「空間の大きさの比較表現」が明快であった作品について掲載され

た図面や写真などを用いて分析を行う。

- 12) 伊東幸哲, 植田宏: 積層空間を持つ住宅の空間構成に関する研究-『新建築住宅特集』(1986年～2006年)を事例として-, 日本建築学会九州支部研究報告集 48, pp. 277-280, 2009. 03
- 13) 菊地晃平, 内田文雄: 都市型狭小住宅における内部空間の断面構成手法に関する研究 : 2000年代の現代住宅を事例として, 日本建築学会中国支部研究報告集 35, pp. 637-640, 2012. 03
- 14) 遠藤康一, 坂本一成, 寺内美紀子: 傾斜地における住宅建築の断面構成 : 建築と周辺環境による空間構成に関する研究, 日本建築学会計画系論文集 561号, pp. 145-150, 2002. 11
- 15) 小川次郎, 小野田環, 坂本一成: 部位の分節によるワンルーム型住宅の領域構成 現代日本の住宅作品における内外の関係による構成形式, 日本建築学会計画系論文集 第537号, pp117-123, 2000. 11
- 16) 北川啓介, 山田好美, 碓井将義, 西山尚希: 外形と空間構成と動線を考慮した近代住宅作品の平面特性, 日本建築学会計画系論文集 第629号, pp1469-1476, 2008. 7
- 17) 中井邦夫, 坂本一成, 根本理恵, 足立真, 安森亮雄, 久野靖広, 本橋良介, 大内祥子: 住宅の内部空間の構成に関する研究, 日本建築学会大会学術講演梗概集(九州). F-2, pp. 797-800, 2007. 8
- 18) 足立真, 坂本一成, 吉川寛華, 中井邦夫, 安森亮雄, 久野靖広, 遠藤康一: 部位の分節によるワンルーム型住宅の領域構成, 日本建築学会大会学術講演梗概集(近畿). F-2, pp. 687-690, 2005. 9
- 19) 竹内宏俊, 岩岡竜夫, 羽生修二: 建築におけるスケールの概念について, 日本建築学会計画系論文集 594号, pp. 231-236, 2005. 8
- 20) 竹内宏俊, 岩岡竜夫: 現代日本の独立住宅にみられる架構によるモジュールに関する研究, 日本建築学会計画系論文集 591号, pp. 233-238, 2005. 5
- 21) 本研究は部分同士の空間の大きさを比較する「相対的な尺度」を分析するものであり、そのため「相対的な尺度」の表現と身体スケールなどの「絶対的な尺度」の関係については本研究では扱っていない。例えば4章の分析事例である「傾斜地に建つ家」(林雅子設計)では傾斜地に配列された床の段差が座位(ダイニング)と立位(キッチン)の目線の高さの違いに対応する。こうした「相対的な尺度」と「絶対的な尺度」の交差は他の建築作品でも指摘することができ、本論の今後の展開として考えている。また本研究では建築の外形ボリュームなど建築の外側の大きさは扱っていないが、「空間の大きさの比較表現」は、建築内部に限定されるものではなく、建築の外側、あるいはさらに大きな都市的スケールにおいても展開可能な概念であると考えられる。

## 第2章

### 階の構成による空間の大きさの比較表現

第1節 本章の目的と概要

第2節 各階を特徴づける「階構成」

第3節 空間の大きさの違いによる「階構成」

第4節 階の構成による空間の大きさの比較  
表現の種類

第5節 空と地面の対比関係に注目した類型  
の比較

第6節 小結

## 第1節 本章の目的と概要

本章は「階の構成による空間の大きさの比較表現」に着目するものである。

日本の主要な建築誌である「新建築」および「新建築住宅特集」に1950年から1999年までに掲載された住宅作品のうち、平屋と複数階の作品数を年代別に見ると、第2次世界大戦後まもない1950年代は平屋の作品のほうが多かったのに対し、1960年代以降は複数階の作品のほうが多くなり、とくに1980年以降はそのほとんどが複数階の住宅作品となっている。全体としては平屋481作品に対して複数階が2946作品と86%を占め、日本の現代住宅作品はそのほとんどが複数の階をもつものだということができる(表2.1)。

複数の階をもつ住宅作品において、各階は平面の大きさや天井高の違いとして比較されることになるが、本稿では第二次世界大戦後の日本の住宅作品に見られる、階の構成によるこうした表現を、「階の構成による空間の大きさの比較表現」と呼ぶことにする。「階」は地面との位置関係によって「地下階」「地上階」「屋上階」のように階の呼び方が変わるなど、外部環境との関わりを含んで定義されるものだと考えられる。複数の階をもつ住宅作品の表現は上階<sup>注1)</sup>の天井高を高くして勾配屋根を内部に表したり、下階の平面を大きくし地面との連続性を強調するといったように、各階の空間の大きさなどの性格の違いを際立たせることがあるが、これらは空や地面との近さを強調する表現だと言えるのではないだろうか<sup>注2)</sup>。このような各階の空間の大きさの違いは個別の機能的な条件への対応としてだけでなく、外部環境との関係のうちに複数の階を統合する建築全体の秩序をつくりだすものとしてもみることができる。このような観点のもと、本章は「階の構成による空間の大きさの比較表現」がどのように成立しているかを明らかにすることを目的とする。

本章の内容を概略すると、複数の階をもつ住宅作品のうち国内の建築雑誌に第2次世界大戦後に発表された154作品を対象とし<sup>注3)</sup>、天井高や平面の大きさの違い、エ

ントランスの位置などによる各階の性格づけを検討し（第2節）、まずは天井高と平面の大きさの違いから空間の大きさの違いによる「階構成」をみて（第3節）、さらにエントランスの位置、エントランスの位置、下階と地面の関係、上階と屋根の関係も合わせてみることから「階の構成による空間の大きさの比較表現」による類型を抽出する（第4節）。さらに類型同士を空と地面の対比関係とともに比較することから、現代建築の多様性や複雑さの構造の一端を明らかにする（第5節）。

## 第2節 各階を性格づける「階構成」

本節では、前章で述べたように建築の各階を構成単位として、その空間の大きさを比較する表現を分析する枠組みについて述べる。まず空間の大きさを比較するものとしては各階の天井高や平面の外形輪郭の大きさの違いがあり、次に地面や空との関係をつくるものとしてはエントランスの位置、下階と地面の関係、上階と屋根の関係が考えられる。本稿ではこれら5つの特徴の組み合わせによる階の構成を「階構成」と呼ぶ<sup>注4)</sup>。

分析例(図2.1)において「階構成」を検討すると、吹抜けをもつ中階の天井高は下階より高く、平面の大きさも中階が大きい。この中、上階では屋根形状がそのまま内部に表されており、エントランスのある地上レベルの下階との性格の違いが強調されている。全資料について同様に分析すると、各階の天井高の違い(表2.2)は全階で同一になるものや下、中、上階のどれかが最大になるもの、また吹抜けによって複数階がまとめられるものがみられた。吹抜けなしのものなかでは上階が最大になるものが最も多く、次いで全階で同一になるものが多く見られ、吹抜けありのものなかでは吹抜けが下上階にあるものが最も多く、次いで吹抜けが中上階にあるものが多く見られた。各階の平面の大きさの違い(表2.3)は各階の間仕切り壁を外した状態での外形輪郭の大きさの違いを示し、吹抜け上部にある階は吹抜けを含み、バルコニーは含まないこととし、全階で同一になるものや、下、中、上階のどれかまたはそれらのうち2つが最大になるものがみられたが、このなかでは全階で同一になるものが最も多く、次いで下階が最大になるものが多く見られた。建築内部と外部を結ぶエントランスの位置(表2.4)は下階に設けられているものが、さらに下階と地面の関係(表2.5)は下階を地上レベルとするものがほとんどであった。また上階と屋根の関係(表2.6)は勾配屋根が上階で内部に表されるものと陸屋根か天井が水平に張られることで表さないものがみられた。

### 第3節 空間の大きさの違いによる「階構成」

前節でみた建築の各階の性格づけのうち、本節ではまず各階の空間の大きさの違いによる「階構成」をみていく。全作品において、各階の天井高と平面の大きさの違いがどのように組み合わせられているかをまとめた（表2.7）。そのなかでも多く見られたものを中心に説明する。

まず吹抜けがないものとしては、天井高と平面の大きさをともに全階同一として階を差異づけない「全-全」が最も多く見られ、さらに天井高を全階同一にして平面の大きさは上階で最大とする「全-上」、それとは逆に平面の大きさを全階同一にして天井高は上階で最大とする「上-全」も多く見られた。さらに天井高と平面の大きさを最大にする階をある特定の階で集中させる「下-下」「中-中」「上-上」や、天井高は上階で、平面の大きさは下階で最大にする「上-下」も多く見られた。次に吹抜けがあるものとしては、下階から上階に吹抜けをもち、平面の大きさを全階同一にする「下上V-全」が最も多く見られ、同様に平面の大きさを下階で最大にする「下上V-下」も多く見られた。さらに3階建て以上が条件となるが、中階から上階に吹抜けをもち、平面の大きさを全階同一にする「中上V-全」、同様に平面の大きさを中階で最大にする「中上V-中」も多く見られた。

#### 第4節 階の構成による空間の大きさの比較表現の類型

前節では各階の空間の大きさの違いのみから「階構成」をみたが、本節ではこれに加えてエントランスの位置、下階と地面の関係、上階と屋根の関係をみることによって、「階構成」が建築外部の環境とどのように接しているかを分析し、こうした外部環境との関係が、空間の大きさの違いによる「階構成」にどのように重ねられているかをみていく。具体的には空間の大きさの違いによる「階構成」に加えて、エントランスの位置、下階と地面の関係、上階と屋根の関係についても共通する4資料以上のまとまりを「空間の大きさを比較する階の構成」による類型として抽出した(表2.8)。

以下、各類型について説明する。

類型Aは天井高と平面の大きさがともに全階で同一であり、エントランスは地上レベルの下階に設けられており、上階に上がっても勾配屋根が内部に現れず、下階との性格の違いが抑制されている。

類型Bは平面の大きさを全階で同一にし、天井高が上階で高くとられているもので、天井高の低い下階が地上レベルのエントランスとなり、天井高の高い上階に上がると勾配屋根が内部に現れているものである。

類型C,D,Fは天井高と平面の大きさの両方をそれぞれ下,中,上階で大きくとりそこにエントランスが設けられているもので、D,Fの下階は地面が掘り下げられており、さらに上階と屋根の関係についてみるとC,Fは勾配屋根が内部に表され上階が強調され、Dは全ての資料において陸屋根である。また類型Eは天井高が上階で高く、平面の大きさが下階で大きくなっており、エントランスは地上レベルの下階に設けられ、上階に上がると勾配屋根が内部に現れている。

類型Gは天井高と平面の大きさが上階で大きく、小さな下階に設けられた地上レベルのエントランスから大きな上階に上がると勾配屋根が内部に現れているものである。

類型 H, I は平面の大きさを全階で同一とし、天井高は下上階の吹抜けで大きくとり、エントランスは地上レベルの下階に設けられているもので、上階と屋根の関係については H は陸屋根で、I は勾配屋根が内部に表されている。

次に天井高を中上階の吹抜けで大きくとり、平面の大きさも中階で大きくするものとして、エントランスが地上レベルの下階に離される類型 J、下階が半地下になるなどしてエントランスが中階に設けられる類型 K、さらに下階は地上レベルのまま外部階段によりエントランスが中階に設けられる類型 L がみられ、これらの類型は全て中上階の吹抜けで勾配屋根が内部に表されている。

また類型 M は天井高が下上階の吹抜けで高く、平面の大きさは下階で大きく、エントランスは地上レベルの下階に設けられ、さらに勾配屋根が吹抜け上部で内部に表されるものであり、この吹抜けは地面とも屋根とも関係をもつ空間になっているということができる。

## 第5節 空と地面の対比関係に注目した類型の比較

移動を伴う実際的な経験だけでなく、図面や写真などの表象を読むことによって空間は知覚されると考えられる。この考え方に基づいて、本研究では、開口部やトプライトを介して地面や空が実際に見えるかどうかを問題にせずとも、各階の空間の大きさ（天井高と平面の大きさ）、下階と地面の関係、上階と屋根の関係を通して空や地面との隣接性を分析できるという立場をとる。

3節では空間の大きさのみからみた「階構成」を分析し、上階・下階を単に上下関係として見ていたが、4節で見たように「階構成」はエントランスの位置、下階と地面の関係、上階と屋根の関係をみることによって、上階・下階に空と地面の対比を重ねることが可能である<sup>注5)</sup>。

その観点から各類型を比較すると、まず天井高と平面の大きさを共に上階で最大にして上階で勾配屋根を表す類型 F, G, J, K, L と、それに対し天井高と平面の大きさを共に下階で最大にして地面と連続させる類型 C は対比的な関係にあるといえ、前者は<空との隣接性を強調する表現>、後者は<地面との隣接性を強調する表現>だといえる。これらは上階・下階の空間の大きさを対比のなかでどちらかに重みづけを与える対立軸をつくり出している。

それらと比較すると平面の大きさを地上レベルの下階で最大としながら天井高を上階で最大とし勾配屋根を表す類型 E は、この対立軸の間に位置づくものであり、<空と地面との隣接性を上下階で別々に利用する表現>だといえることができる。さらに地面と連続した下上階の吹抜けで勾配屋根を表す類型 I, M もこの対立軸の間に位置づくものであるが、複数の階をまたいだ「階構成」に<空と地面の両方との隣接性を衝突させる表現>だといえることができる。

それに対し、天井高と平面の大きさを全階で同一とし上階で勾配屋根を隠す類型 A や、天井高と平面の大きさを共に中階で最大とし上階で勾配屋根を隠し下階を半地下にして地面との関係をずらす類型 D もまたこの対立軸の間に位置づくものであるが、これまで述べた類型とは対立的に<空と地面の対比関係を利用しない表現>

だということができる。すなわち、そこに空と地面の対比を利用するかしないかというもう一つの対立の軸を見出すことができる。

以上より、空間の大きさを上階・下階のどちらで最大にするか、空と地面の対比を利用しているかどうか、という建築の階の構成に内在する対比とそこに投影される外部環境にある対比のなかでの2つの対立軸を抽出することによって、「空間の大きさを比較する階の構成」の各類型間の関係を位置づけることができる（図2.2）。

また各類型の時代的傾向と建蔽率を見ると、下階の空間を大きくし地面との隣接性を強調する類型Cは平屋に対応するものだといえ、1990年以前の作品に見られた。また3階建て以上とする類型D, J, K, Lには建蔽率が高い作品が多く見られ、そのなかでも中上階の空間を大きくする類型J, K, Lは住宅の構成が上に伸びることで空との隣接性が強調されるものだということができ、1990年以降の作品が多く見られた。このことは、広い敷地に建つ住宅がより高密度な状況に建つようになったという時代的変化を背景として読み取ることができる。さらに下上階の吹抜けにより天井高を最大にする類型H, I, Mには建蔽率が低い作品が多く見られ、またそれぞれ11作品, 8作品, 12作品と他の類型と比べて数が多く、50年代から90年代までの時代にも見ることができる表現だといえる。

## 第6節 小結

本稿では現代日本の住宅作品を対象に、「階の構成による空間の大きさの比較表現」について検討した。

まず天井高や平面の大きさの違いによる「階構成」をみたうえで、エントランスの位置、下階と地面の関係、上階と屋根の関係から、「階構成」による現代住宅作品の13の類型を導いた。

さらに空と地面の対比という観点から各類型間を比較することで、**<空との隣接性を強調する>**、**<地面との隣接性を強調する>**、**<空と地面の隣接性を個別に利用する>**、**<空と地面の両方との隣接性を強調する>**、**<空と地面の対比関係を利用しない>**、といった表現を見ることができた。

つまり現代建築作品における「階の構成による空間の大きさの比較表現」は、空間の大きさを上階・下階のどちらで最大にするか、空と地面の対比を利用しているかどうか、という建築の階の構成に内在する対比とそこに投影される外部環境にある対比のなかでの2つの対立軸を組み合わせることにより、多様性や複雑さを生み出していることを明らかにした。

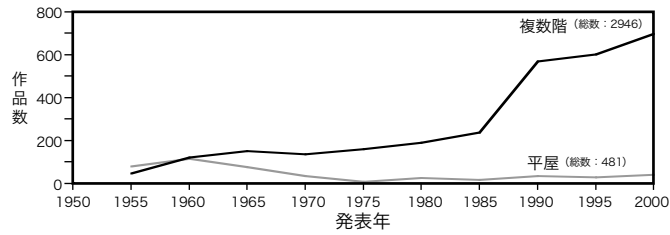
## 第2章 注

- 1) 本研究では建築の最上階、最下階をそれぞれ「上階」「下階」、3階建て以上でみられるその間の階を「中階」とする。さらに4階建て以上での中階は下から中階1、中階2などとする。
- 2) ガストン・バシュラールは「家は鉛直の存在として想像される。それはそびえたつ。家は鉛直の方向に自己を区別する。それはわれわれの鉛直性の意識へのよびかけの一つである。(中略)鉛直性は地下室と屋根裏部屋という極性によって裏づけられる」と述べている(ガストン・バシュラール:空間の詩学,思潮社,1969.7,p65)。本稿ではこのような鉛直方向の空間の対比を「空と地面の対比」として捉える。
- 3) 表2.1で示すように1960年代以降、日本の住宅作品は複数階が主流になっている。本稿では1950年代から1990年代までほぼ半世紀の間に、住宅作品の階の構成にどのような表現が見られたかを分析するものである。分析対象としては、2階建て、3階建て、4階建て以上となる、複数階をもつ住宅作品の時代的傾向を見るために幅広い年代を対象としており、数が莫大になるため、日本の建築作品を扱った主要な建築ジャーナリズムである「新建築」および「新建築住宅特集」において、その間に掲載された複数階をもつ2946の住宅作品のうち、同誌の年末アンケートで上位に挙げられたもの、すなわち建築家達の関心が寄せられたものを優先して、階の構成を検討するための必要な情報が得られた154作品を研究事例として、掲載された図面や写真などを用いて分析を行う。駐車場や機械室からなる地下部分は階の構成として積極的な位置付けがされていないとみて分析から外した。(付表)
- 4) 階の構成に注目する本章は、地面と空の間に建つという全ての建築に共有された条件が住宅の空間の性格づけにどのように利用されているかが問題として先鋭化するため、住宅内部の機能構成との対応は特に検討していない。そのために各階の間仕切り壁を外した状態で空間の大きさを比較している。
- 5) 雨仕舞い(勾配屋根)が空への対応であることは明らかであり、勾配屋根ほど空への対応をかたちにするものはないと考えられる。床は基本的に水平であるのに対し、屋根には勾配があり、空との境界面がある。例えば天井が水平であればその上に階があることも想像できるが、天井が傾いていればその上に空があることを想像する。つまり空に隣接していることがその階を性格づけるということができる。同様に、ある階の床が地面と同じレベルにあるとき、地面に隣接していることがその階を性格づけるということができる。そこで本稿では、上階の空間を大きくとり勾配屋根を内部に表す、あるいは下階の空間を大きくとり地面と連続させる表現を、それぞれ「空との隣接性を強調する表現」、「地面との隣接性を強調する表現」と呼ぶこととする。

## 第2章 参考文献

- 1) 河本英夫：オートポイエーシス-第三世代システム，青土社，1995. 7
- 2) ガストン・バシュラール：空間の詩学，思潮社，1969. 7
- 3) 本論文は以下を一部修正してまとめたものである。  
長谷川豪，塚本由晴，長岡大樹：現代の建築作複数の階をもつ住宅作品の構成形式に関する研究，  
日本建築学会大会学術講演梗概集. F-2, pp. 519-520, 2000. 9

表 2.1 年代別に見た平屋と複数階の住宅作品数



**No.30 軽井沢の家その1 (階数3)**

**[階構成]**

- ・天井高の違い  
吹抜けて中上階が最大(中上V)
- ・平面の大きさの違い  
中階が最大(中)
- ・エントランスの位置  
下階(下)
- ・下階と地面の関係  
地上
- ・上階と屋根の関係  
表わす(∕)

図 2.1 分析例

表 2.2 各階の天井高の違い

	全階同一(26)	下階最大(12)	中階最大(6)	上階最大(36)
吹抜けなし(80)	 「全」	 「下」	 「中」	 「上」
吹抜けあり(74)	吹抜けが下中階(5)	吹抜けが中中階(1)	吹抜けが中上階(26)	吹抜けが下上階(42)
	 「下中V」	 「中中V」	 「中上V」	 「下上V」

表 2.3 各階の平面の大きさの違い

全階同一(55)	下階最大(41)	下中階最大(2)	中階最大(27)	中上階最大(4)	上階最大(25)
 「全」	 「下」	 「下中」	 「中」	 「中上」	 「上」

表 2.4 エントランスの位置

全階(2)	下階(106)	中階(26)	上階(20)
 「全」	 「下」	 「中」	 「上」

表 2.5 下階と地面の関係

地下(7)	地中(39)	地上(104)	上空(4)
 「地下」	 「地中」	 「地上」	 「上空」

表 2.6 上階と屋根の関係

勾配屋根を表す(95)		勾配屋根を表さない(59)	
表す(81)	表す+隠す(14)	陸屋根(51)	隠す(8)
 「∕」	 「∕」	 「-」	 「-」

表 2.2 ~ 2.6 註) 表中の括弧内の数字は該当作品数を、「」内は省略記号を示す。また階の一部分で天井高を高くしているものは「」を添えた。

表 2.7 空間の大きさの違いによる「階構成」

		天井高							
		吹抜けなし(80)				吹抜けあり(74)			
		全階同一(26)	下階最大(12)	中階最大(6)	上階最大(36)	吹抜けが下中階(5)	吹抜けが中中階(1)	吹抜けが中上階(26)	吹抜けが下上階(42)
平面の大きさ	全階同一(55)	 「全-全」(13)	 「下-全」(2)	 「中-全」(1)	 「上-全」(12)		 「中中V-全」(1)	 「中上V-全」(5)	 「下上V-全」(21)
	下階最大(41)	 「全-下」(2)	 「下-下」(9)		 「上-下」(8)	 「下中V-下」(3)		 「中上V-下」(2)	 「下上V-下」(17)
	下中階最大(2)	 「全-下中」(1)			 「上-下中」(1)				
	中階最大(27)	 「全-中」(2)		 「中-中」(5)	 「上-中」(1)	 「下中V-中」(2)		 「中上V-中」(17)	
	中上階最大(4)		 「下-中上」(1)		 「上-中上」(1)			 「中上V-中上」(2)	
	上階最大(25)	 「全-上」(8)			 「上-上」(13)				 「下上V-上」(4)

表 2.7 註) 表中の「」内は、天井高 - 平面の大きさの省略記号を示す。記号の凡例については表 2、表 3 を参照。

表 2.8 「階の構成による空間の大きさの比較表現」の類型

NO	掲載号	作品名	各階を性格づける特徴				建蔽率	構成類型	
			層数	天井高	平面の大きさ	上階と屋根			
13	6501	すまい	3	全	全	下	39	A 全全下(地上)ー (8) 天井高と平面の大きさを共に全階で同一とし、エントランスを地上レベルの下階に設け、上階で勾配屋根を表さない。 	
48	7609	緑ヶ丘の家	2	全	全	下	58		
51	7702	住吉の長屋	2	全	全	下	42		
90	8710	KIM HOUSE	2	全	全	下	55		
117	9208	富士裾野の山荘	2	全	全	下	(9)		
147	9812	太田のハウス	4	全	全	下	35		
60	7902	今宿の家	2	全	全	下	35		
77	8205	逆瀬台の家	2	全	全	下	35		
129	9510	本町田の家	2	全	全	下	40		
141	9801	吉祥寺通りの住宅	2	全	全	下	44		
5	5511	吉坂自邸	2	全	全	上	16	B 全全下(地上) / (6) 天井高と平面の大きさを全階で同一とし、天井高を上階で高くしており、エントランスは地上レベルの下階に設け、上階で勾配屋根を表す。 	
34	7302	グリーンボックス#1	2	全	全	上	41		
139	9709	M-HOUSE	2	全	全	下	54		
79	8211	成城・バス停前の家	2	全	全	下	37		
131	9608	S(エス)	3	全	下	下	34		
74	8109	高架線下の住宅	3	全	中	下	40		
21	6905	自邸	3	全	中	下	14		
142	9802	アニハウス	3	全	中	中	38		
20	6901	金子邸	2	全	上	上	*		
47	7609	船橋ボックス	2	全	上	下	32		
4	5411	久我山の家	2	全	上	下	19	C 下下下(地上) / (5) 天井高と平面の大きさを下階で大きくとり、エントランスも地上レベルの下階に設け、上階で勾配屋根を表す。 	
125	9405	H(エイチ)	2	全	上	下	7		
10	6004	CaseStudyHouse#3	2	全	上	上	19		
42	7509	ボカンテニコロの家	2	全	上	中	52		
11	6004	狛江の家	2	全	上	全	25		
87	8609	馬込沢の家	2	全	上	全	50		
128	9510	カーテンウォールの家	3	全	全	下	69		
136	9704	立川のハウス	2	下	全	下	40		
29	7205	MOV山荘	3	中	全	下	(5)		
144	9806	梅ヶ丘の住宅	3	上	中	中	38		
114	9202	好日居	4	上	全	中	59	D 中中中(中中,地下)ー (4) 天井高と平面の大きさを中階で大きくとり、更に下階を半地下にするなどしてエントランスも中階に設け、上階で勾配屋根を表さない。 	
3	5411	稲村隆生の家	2	上	全	上	15		
73	8108	湯の花の家	2	上	全	上	*		
66	8008	湯の小金井の家	2	上	全	上	34		
126	9501	下鴨の家	2	上	全	上	47		
59	7902	坂田山附の家	2	上	全	下	30		
69	8102	鈴ヶ台の家	2	上	全	下	22		
81	8312	花小金井の家	2	上	全	下	32		
104	9001	緑ヶ丘の住宅	3	上	全	上	69		
101	8911	千葉の住宅	2	上	全	下	49		
52	7708	柿生の家	2	上	全	下	40	E 上下下(地上) / (4) 天井高は上階、平面の大きさは下階で大きくとり、エントランスは地上レベルの下階に設け、上階で勾配屋根を表す。 	
64	8008	塚田邸	2	下	下	下	53		
85	8607	A型vsB型邸	2	下	下	下	23		
102	9001	ECHO CHAMBER	2	下	下	下	49		
9	5910	50坪の木造住宅	2	下	下	下	*		
15	6701	穴戸邸	2	下	下	下	25		
82	8402	成城・交差点の家	2	下	下	下	34		
65	8008	中央林間の家	2	下	下	下	58		
45	7604	Y邸	2	下	下	下	19		
83	8402	目神山の家8	2	下	下	上	25		
94	8810	尾山台の住宅	3	中	上	下	68	F 上上上(中中) / (6) 天井高と平面の大きさを上階で大きくとり、更に下階を半地下にするなどしてエントランスも上階に設け、上階で勾配屋根を表す。 	
23	7101	続私の家	3	中	中	中	(8)		
40	7508	千里山の家	3	中	中	中	54		
148	9901	ミニハウス	3	中	中	中	53		
152	9908	ST-1/斜めテラスの家	3	中	中	中	59		
150	9906	T HOUSE	3	中	中	上	57		
112	9109	朧月夜の家	2	上	下	下	49		
113	9110	四季が丘の家	2	上	下	下	32		
70	8103	松山桑原の住宅	2	上	下	下	43		
78	8208	積木の家IV	2	上	下	下	28		
68	8102	私たちの家	2	上	下	下	39	G 上上下下(地上) / (4) 天井高と平面の大きさを上階で大きくとり、エントランスは地上レベルの下階に設け、上階で勾配屋根を表す。 	
99	8908	ちめんかのや	3	上	下	中	65		
67	8101	花山第4の住宅	3	上	上	中	12		
122	9311	山中湖のガラスの家	2	上	上	上	(15)		
137	9706	まんぼう1997	3	上	中	上	47		
109	9010	桜丘の家	4	上	中	下	52		
36	7402	成城の住宅	2	上	上	上	29		
53	7802	領壁の家	2	上	上	上	12		
56	7808	伊東邸	2	上	上	上	16		
76	8204	笠間の家	2	上	上	上	18		
115	9203	villa kuru	2	上	上	上	(7)		
143	9803	大町の家	2	上	上	上	38	H 下下全下(地上)ー (11) 平面の大きさを全階で同一とし、天井高は下上階の吹抜けが高くとり、エントランスは地上レベルの下階に設け、上階で勾配屋根を表さない。 	
80	8312	ランドシップ・イリス	2	上	上	下	28		
153	9908	House SA 1999	3	上	上	中	46		
95	8810	テンメイ・ハウス	2	上	上	下	50		I 上下全下(地上) / (8) 平面の大きさを全階で同一とし、天井高は下上階の吹抜けが高くとり、エントランスは地上レベルの下階に設け、上階で勾配屋根を表す。 
121	9310	立川の家	2	上	上	下	60		
98	8905	物質試行26	2	上	上	下	29		
97	8902	洗足の家	2	上	上	下	45		
138	9707	東灘の家	3	上	中	下	56		
54	7805	横邸	2	上	上	下	*		
7	5801	岩波邸	2	下	上	全	28		
24	7101	未完の家	2	下	上	全	24		
25	7101	篠さんの家	2	下	上	全	*		
28	7202	直方体の森	2	下	上	全	*		
37	7402	東玉川の住宅	2	下	上	全	29		
38	7402	雲野・流山の家	2	下	上	全	41		
46	7606	雪が谷の住宅	2	下	上	全	44		
63	8002	上田邸	2	下	上	全	39		
96	8901	鎌倉のゲストハウス	2	下	上	全	40		
135	9702	S-House	2	下	上	全	66		
145	9809	ハカマ	2	下	上	全	53		
1	5202	増沢自邸	2	下	上	全	5	J 中上中下(地上) / (5) 中上階に吹抜けをもち、天井高と平面の大きさを中階で大きくとり、エントランスは地上レベルの下階に設け、上階で勾配屋根を表す。 	
18	6707	白の家	2	下	上	全	24		
26	7104	水無瀬の町家	2	下	上	全	60		
27	7110	登戸の家	2	下	上	全	35		
35	7305	清原邸	2	下	上	全	*		
58	7902	南湖の家	2	下	上	全	45		
103	9001	馬絹の住宅	2	下	上	全	43		
72	8106	祖師谷の家	2	下	上	全	40		
151	9906	祐天寺T邸	2	下	上	全	44		
75	8202	経堂の住宅1980	2	下	上	全	56		
17	6706	塔の家	6	中	上	中	57		
57	7810	上原曲り道の住宅	4	中	上	中	60		
33	7211	反住器	3	中	上	中	*		
92	8806	葉山の家	3	中	上	全	37		
100	8908	Transit	3	中	上	全	44		
146	9811	曾谷の家	3	中	上	全	53		
30	7208	軽井沢の家その1	3	中	上	中	(*)	K 中上中中(中中) / (4) 中上階に吹抜けをもち、天井高と平面の大きさを中階で大きくとり、下階を半地下にするなどしてエントランスも中階に設け、上階で勾配屋根を表す。 	
14	6605	浜田山の家	3	中	上	中	36		
116	9208	BEAN HOUSE	3	中	上	中	42		
133	9701	那須の別荘	3	中	上	中	(9)		
140	9801	箱の家-7(神保邸)	3	中	上	中	58		
132	9610	W-House	3	中	上	中	70		
111	9102	上京の家	4	中	上	中	59		
16	6701	もうびいていっく	3	中	上	中	(5)		
105	9003	COSMOS	5	中	上	中	59		
118	9301	星龍庵	5	中	上	中	60		
106	9008	阿品の家	3	中	上	中	38		
19	6805	榛原のすまい	3	中	上	中	9		
119	9307	BLUE-SCREEN HOUSE	3	中	上	中	59		
127	9504	書架の家	3	中	上	中	38		
130	9607	NISHIHARA HAUS	3	中	上	中	47		
123	9405	Y-HOUSE	3	中	上	中	41		
149	9903	松本邸	3	中	上	中	33		
84	8402	柳田邸	3	中	上	中	*		
93	8809	HOUSE F	3	中	上	中	50		
86	8609	茅ヶ崎の家	3	中	上	下	47		
12	6404	合唱の山荘	3	中	上	下	(*)		
8	5809	傾斜地に建つ家	2	下	上	下	23	L 中上V中中(地上) / (4) 中上階に吹抜けをもち、天井高と平面の大きさを中階で大きくとり、更にエントランスも中階に設け、上階で勾配屋根を表す。 	
71	8106	小篠邸	2	下	上	下	20		
49	7611	代田の町家	2	下	上	下	58		
41	7509	原邸	2	下	上	上	18		
39	7506	幻庵	2	下	上	上	(1)		
50	7702	回帰草庵	2	下	上	上	42		
110	9010	織田邸	3	中	上	中	37		
32	7209	葉津邸	3	中	上	中	57		
134	9702	O(オー)	3	中	上	下	40		
89	8706	神殿住居・地球庵	4	中	上	下	18		
154	9910	B(ビー)	4	中	上	下	43		
44	7602	鴨居の家	2	下	上	下	40		
61	7910	上田の住宅1977	2	下	上	下	35		
88	8612	屋久島の家	2	下	上	下	13		
2	5205	竹田教授の家	2	下	上	下	12	M 下下V下下(地上) / (12) 下上階の吹抜けが天井高を高くとり、平面の大きさを下階で大きくとり、エントランスを地上レベルの下階に設け、上階で勾配屋根を表す。 	
6	5712	villa Cou Cou	2	下	上	下	*		
22	7009	大山邸	2	下	上	下	25		
31	7208	まつかわ・ぼっくす	2	下	上	下	16		
43	7519	谷川さんの住宅	2	下	上	下	(*)		
55	7807	愛蔵裾野の住宅	2	下	上	下	10		
107	9008	狐ヶ城の家	2	下	上	下	15		
108	9009	PALLETE	2	下	上	下	(8)		
120	9307	懐風荘	2	下	上	下	43		
124	9405								

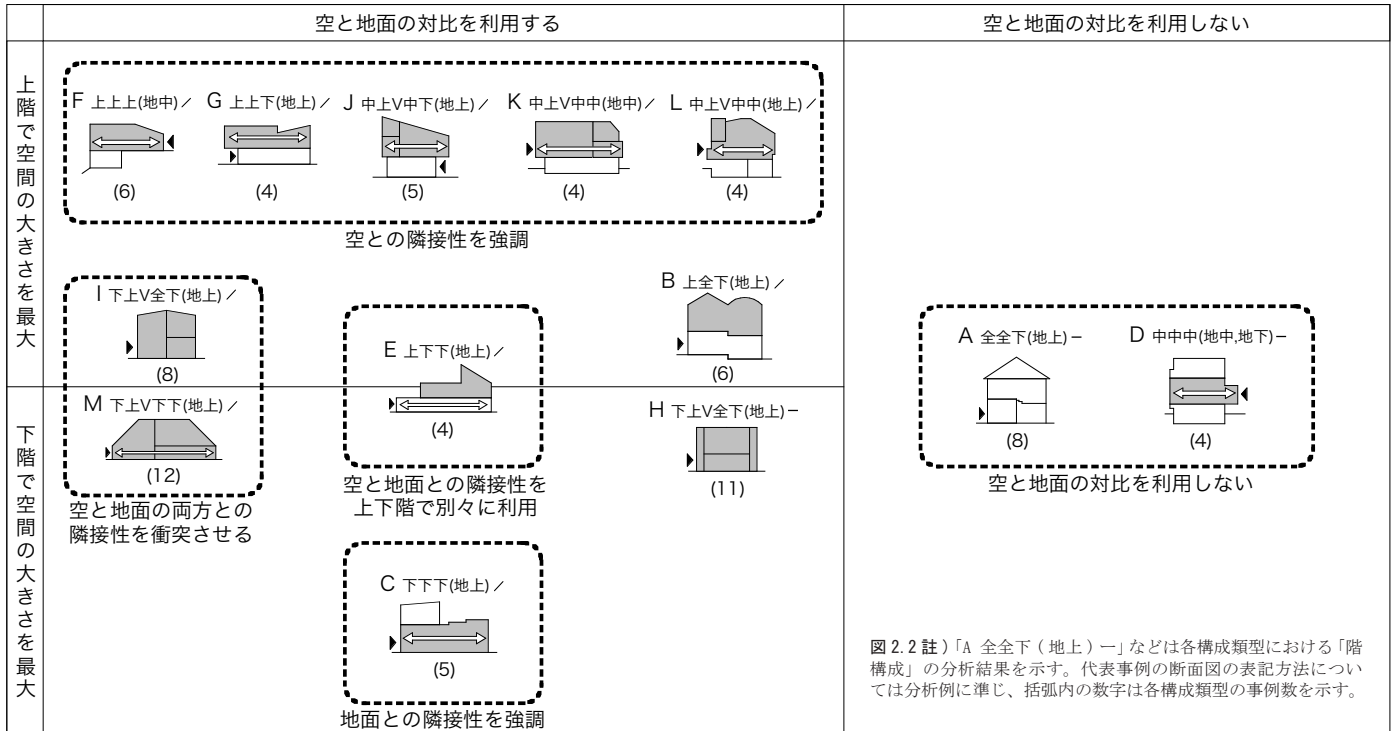


図 2.2 空と地面の対比関係に着目した類型の比較

## 第3章

### 室の配列による空間の大きさの比較表現

- 第1節 本章の目的と概要
- 第2節 空間構成における「パラメータ」と「コンスタント」
- 第3節 室の配列による空間の大きさの比較表現
- 第4節 室の配列による空間の大きさの比較表現の種類
  - 4.1 階層図と「直接比較」／「間接比較」
  - 4.2 室の配列による空間の大きさの比較表現の種類
- 第5節 室の種類と階層に注目した種類の比較
- 第6節 小結

## 第1節 本章の目的と概要

例えば、建築の空間は単一の空間そのものよりも隣り合う空間同士を比較することでより把握しやすいものになることから分かるように、空間の体験のなかに相対的な大きさの比較が含まれているということが出来る。空間の大きさの対比を利用して空間体験に抑揚をつける表現など、相対的な大きさの比較は意識的に用いられるものであるが、本研究はそうした「空間の大きさの比較表現」に着目するものである。本章は「室の配列による空間の大きさの比較表現」を検討する。

例えば、複数の室が一軸上に配列されているとき、室同士の大きさは奥行きや幅や高さの違いとして比較されることになる。同じ配列におかれることで、室の大きさに含まれる3次元の尺度の違いが比較しやすくなっている。本研究では1990年以降のそのような建築作品のなかに見られる、室の配列によって一つの建築のなかに比較可能な空間の大きさの差異をつくる自己言及的<sup>注1)</sup>な表現を「室の配列による空間の大きさの比較表現」と呼び、室の図形的特徴と配列の組み合わせを整理し、建築全体を通してその複合関係を検討することを通して、現代建築作品の「室の配列による空間の大きさの比較表現」がどのように成立しているかを明らかにすることを目的とする。

それは1つの建築のなかで「空間の大きさの比較表現」が建築に内在する分節構造をどのように活用することによって成立しているのかを明らかにすることだといえる。したがって研究対象事例の選定にあたっては建築のサイズや用途によらずに、「空間の大きさの比較表現」がみられる建築及び建築プロジェクトを扱うこととし、国内外の主要な建築雑誌に1990年以降に発表された78作品を研究事例とする<sup>注2)</sup>。

本章の内容を概略すると、まず「空間の大きさの比較表現」を成立させる室の配列と種類、および空間の大きさを比較する尺度として、差異を表現する尺度を「パラメータ」、同一性を表現する尺度を「コンスタント」とし、さらに同じ室の配列

に見出すことのできる「パラメータ」と「コンスタント」の組み合わせをセットと呼ぶ（第2節）。まず室の配列の種類、反復の方向、「パラメータ」と「コンスタント」の組み合わせであるセットから、室の配列による「空間の大きさの比較表現」を捉える（第3節）。さらに空間の大きさの比較方法として「直接比較」と「間接比較」の2つがあることを見出したうえで「室の配列による空間の大きさの比較表現」を分析する階層図を作成し（第4.1節）、一作品の括りのなかで「室の配列による空間の大きさの比較表現」による構成類型を導く（第4.2節）。さらに類型同士を比較することから、こうした表現が建築の規模や用途にどのように呼応しているかを検討し、現代建築作品に多様性や複雑さをどのようにもたらしているかを考察する（第5節）。

## 第2節 空間構成における「パラメータ」と「コンスタント」

前章で述べたように本研究は空間の構成単位を室<sup>注3)</sup>とし、室の配列による「空間の大きさの比較表現」を分析するものであるが、本章ではそのような表現を成立させる室の配列と種類、および空間の大きさを比較する尺度についてみていく。

まず室の配列には、2つ以上の室の配列の種類は、室が集合してつくられる輪郭の違いから、分割、包含、接続、分散に分けられ(表3.1)、複数の室が同じ配列にあることを「室が反復している」と捉える。複数の室が同じ配列にあることがそれらの室の大きさを比較する条件になる。次に反復の方向に着目すると、それは平面、断面の区別なく、1方向、2方向、放射方向、多方向に大別される(表3.2)。また室の種類には、内部、階段や水回りなどの機能が限定された機能部、外部、及びこれらのまとまりである室群がある(表3.3)。

空間の大きさは、面積などの2次元の尺度や、体積などの3次元の尺度で表現されることもあるが、一般的に比較しにくいものである。そこで本研究では室の配列の種類、反復の向きに着目し、複数の室が同じ配列の種類、同じ反復の向きにおかれることで、長さや高さなどの1次元の尺度によって空間の大きさの違いが比較可能なものになると捉える。このとき、例えば幅を一定にして奥行きと高さを変化させながら室が反復するといったように、空間の大きさを比較する尺度は差異を表現するものと、同一性を表現するものに振り分けられる。ここでは差異を表現する尺度を「パラメータ」、同一性を表現する尺度を「コンスタント」とし、同じ室の配列に見出すことのできる「コンスタント」と「パラメータ」の組み合わせを**セット**と呼ぶ<sup>注4)</sup>。1つの建築から複数のセットを取り出すこともできる。空間の大きさを比較し「パラメータ」と「コンスタント」になる尺度の種類としては、室の幅、奥行き、高さがある(表3.4)。

例えば分析例1(図3.1)は、室1～3が1方向に接続し、幅を一定にして接続方向の長さである奥行きと高さが各室の差異をつくり出していると捉えられ、また室

4～7のように1つのヴォリュームを4つに等分割し、幅、奥行き、高さを全て一定にする部分には「パラメータ」による表現がみられない<sup>注5)</sup>。そこでこの例からは、室1～3において1方向の接続による奥行きと高さが「パラメータ」で幅が「コンスタント」のセットを取り出すことができる。次に分析例2(図3.2)は、室1～3が断面方向に分割され、幅と奥行きを一定にして高さが各室の差異をつくっており、さらにそれら室1～3のまとまりに対し室4～7が放射方向に分散することで同じ主従関係に置かれ、幅と奥行きと高さが各室の差異として比較されていると捉えることができる。そこでこの例からは、室1～3において1方向の分割による高さが「パラメータ」で幅と奥行きが「コンスタント」のセットと、それらに対し室4～7において放射方向の分散による幅と奥行きと高さが「パラメータ」で「コンスタント」のないセットの、2つのセットを取り出すことができる。

### 第3節 室の配列による空間の大きさの比較表現

室の配列による「空間の大きさの比較表現」は、(1) 室の配列の種類、(2) 反復の方向、(3) 「パラメータ」と「コンスタント」の組み合わせ、から捉えることができる。そこで分析例と同様に78作品の全事例について「パラメータ」と「コンスタント」の組み合わせであるセットをみたところ、450のセットを取り出すことができ、さらにこれらを分類することができた(表3.5)。

以下、3つ以上見られたセットについて、室の配列の種類ごとに説明する。

まず外形の分節を伴わない室の配列である「分割」によるセットからみると、室を1方向に分割してストライプ状に配列するものには、各室の幅と高さを一定にして奥行きを変えるもの(①)、幅と奥行きを一定にして高さを変化させるもの(②)、高さを一定にして幅と奥行きを変化させるもの(③)、幅を一定にして奥行きと高さを変化させるもの(④)が見られた。また2方向に分割してグリッド状に室を配列するものとしては、各室の幅と高さを一定にして奥行きを変えるもの(⑤)や、各室の高さを一定にして幅と奥行きを変えるもの(⑥)、幅を一定にして奥行きと高さを変えるもの(⑦)、さらに幅と奥行きと高さを全て変えるもの(⑧)が見られた。次に風車形に室を分割するなど室を放射方向または多方向に分割するものとしては、各室の高さを一定にして幅と奥行きを変えるもの(⑨、⑩)がみられた。

次に、ある室のなかに小さな室を貫入あるいは入れ子状に配列する「包含」のセットをみると、包含する室を1方向(⑪)、放射方向(⑫)、多方向(⑬)に配列するものがみられたが、これらは全て高さを一定にして、幅と奥行きを変えるものであった。また断面方向で幅を一定にして奥行きと高さを変えるもの(⑭)、勾配天井をもつ空間のなかで入れ子状の配列をもち、幅と奥行きと高さを全て変えるもの(⑮)もみられた。

次に外形の分節を伴いながら室を連結させていく配列である「接続」による配列をみると、室を1方向または2方向に接続するものとして、高さを一定にして幅

と奥行きを変化させるもの(⑩)、幅を一定にして奥行きと高さを変化させるもの(⑪)、幅と奥行きと高さを全て変えるもの(⑫, ⑬, ⑭)がみられた。

さらに室同士を連結させない「分散」による配列としては、複数の室を間隔をあけながら2方向または同心方向に反復し幅と奥行きと高さを全て変化させるもの(⑮, ⑯)がみられた。

これら室の配列による「空間の大きさの比較表現」を、平面方向／断面方向の違いとして見てみると、まず平面方向の室の配列のなかでは、1方向の分割により各室の幅と高さ、つまり室の断面形状を合同にして奥行きのみを変えるもの(①)が多く見られ(181/373)、また断面方向の室の配列のなかでは、1方向の分割により平面を合同にして高さを変えるもの(②)が多く見られた(26/77)。このことから分かるように「分割」は平面(264/325)と断面(61/325)の両方向にみられる表現だといえる。同様に「接続」も平面(22/31)と断面(9/31)の両方向にみられたが、「包含」と「分散」はそのほとんどが平面方向の表現であった(11/82, 10/11)。

#### 第4節 室の配列による空間の大きさの比較表現の種類

前章では一作品としての括りを外し、室の配列による「空間の大きさの比較表現」を室の配列の種類、反復の方向、「パラメータ」と「コンスタント」の組み合わせであるセットから分類した。各作品は前章でみられた「空間の大きさの比較表現」の組み合わせとして捉えられることから、本章では一作品としての括りのなかで「空間の大きさの比較表現」の構成類型を導いていく。

#### 4.1 階層図と「直接比較」／「間接比較」

「パラメータ」と「コンスタント」の組み合わせであるセットが複数ある場合、これらが一つの建築全体に組み上がるためには階層が生じることになる。この階層を捉えるためにまずセット内の室を点、配列の種類を線に記号化した図（階層図）を1作品ごとに作成する（表3.6）。ここで室の配列と空間の大きさの比較方法に着目すると、「分割」または「接続」の配列によって複数の室の大きさの違いを直接的に比較する「**直接比較**」と、「包含」または「分散」の配列によってある特定の室に対して複数の室が同じ主従関係にある<sup>注6)</sup>ことにより大きさが間接的に比較される「**間接比較**」という、2つの空間の大きさの比較方法を見い出すことができる。「直接比較」は隣り合った室同士の大きさを比較することができるのに対して、「間接比較」はある特定の室を介して必ずしも隣り合わない室同士の大きさが比較される。これら2つの比較方法は空間の大きさの体験としても異なる性質をもつため、「空間の大きさの比較表現」を分析するうえで重要なものだと考えられる。これら2つの比較方法が作り出す室のまとまりには階層が生じる。その階層は室の動線的接続による階層とは別のものになる。そこで「空間の大きさの比較表現」を分析するための階層図を描く。階層図の描き方として、「直接比較」は複数の室（点）を放射状の線で結び、また「間接比較」は主従関係にある室同士を段状の線で結んでこれを区別する。2節でみた分析例1と分析例2はそれぞれ図3.3、図3.4のような階層図にあらわすことができた。同様にして全事例について階層図を作成した。

## 4.2 室の配列による空間の大きさの比較表現の類型

室の配列のされかたの違いから「直接比較」と「間接比較」という2つの空間の大きさの比較方法を見いだすことで、「大きさ」に依拠した相対的なものの秩序の検討を徹底することができると考えられる。そこで一作品としての括りのなかでの「空間の大きさの比較表現」の組み合わせとして各事例の階層図を分析する。

建築全体が部分である室へと分解される過程<sup>注7)</sup>で、空間の大きさの比較方法である「直接比較」と「間接比較」がどのように階層図に表れているかについて、「パラメータ」の種類も合わせて全事例を検討すると、共通する特徴をもつ事例のまとまりが得られ、これらのうち3資料以上みられたものを室の配列による「空間の大きさの比較表現」の構成類型として抽出した(表3.7)。

以下、特徴的なものを中心に説明する。

「分割」または「接続」の室の配列による単一の「空間の大きさの比較表現」によって建築全体が差異づけられた複数の室に一遍に分解され、1つの建築にみられる空間の大きさの比較方法が「直接比較」1つのみのものが「**直接型**」である。これには室を分割する「**直接型(分割)**」と、室を接続する「**直接型(接続)**」がみられる。

これに対して「分割」または「接続」によって細分化された複数の室の大きさが「直接比較」され、その一部もしくは全てがさらに細分化され同じ方法で比較されるものが「**直接階層型**」である。これには分割された室の一部をさらに分割する「**直接部分階層型(分割/分割)**」と、接続された室の一部を分割する「**直接部分階層型(接続/分割)**」、さらに接続された室の全てをさらに分割する「**直接全体階層型(接続/分割)**」がみられる。

また「分割」または「接続」によって細分化された複数の室が「直接比較」され、さらにその一部もしくは全ての室が他の室と主従関係にあることにより大きさが「間接比較」されるものが「**直接-間接階層型**」である。これには分割された一部の室がさらに他の室に対して「間接比較」される「**直接-部分間接階層型(分割)**」と、接

続された一部の室がさらに他の室に対して「間接比較」される「**直接 - 部分間接階層型（接続）**」、さらに分割された室の全てが他の室に対して「間接比較」される「**直接 - 全体間接階層型（分割）**」がみられた。

次に「包含」または「分散」の室の配列による単一の「空間の大きさを比較する表現」であり、1つの建築にみられる空間の大きさの比較方法が「間接比較」1つのみであるものが「**間接型**」である。類型としてはある特定の室に対して包含により「間接比較」される「**間接型（包含）**」のみが見られた。

また「包含」または「分散」によって複数の室同士が「間接比較」され、その一部がさらに細分化され同じ方法で比較されるものが「**間接階層型**」である。包含により「間接比較」された室の一部がさらに細分化され同じ配列で比較される「**間接階層型（包含 / 包含）**」と、ある特定の室に対して分散により「間接比較」され、さらにその特定の室が包含により細分化され「間接比較」される「**間接階層型（分散 / 包含）**」がみられた。

それに対し、「包含」または「分散」によってある特定の室に対して複数の室が「間接比較」され、さらにその一部に「直接比較」による「空間の大きさを比較する表現」が見出されるものが「**間接 - 直接階層型**」である。これには包含により「間接比較」された複数の室の一部が細分化され「直接比較」される「**間接 / 直接階層型（包含）**」、ある特定の室に対して分散により「間接比較」され、その特定の室がさらに細分化され「直接比較」される「**間接 / 直接階層型（分散）**」がみられた。

さらに「直接比較」された複数の室のセットと、特定の室に対する「間接比較」による複数の室のセットを階層化させずに並置する「**直接 + 間接並置型**」をみることができた。

## 第5節 室の種類と階層に注目した類型の比較

前節では「空間の大きさの比較表現」の7つの構成類型を導いた。本節では階層図に表れている室の種類とその階層に注目してこれら構成類型を比較する。

表3.1で設定した内部、機能部（階段、水回り、家具など）、外部、室群といった室の種類によって、空間の大きさやプロポーションの違いが当然あると考えられるが、こうした違いに「空間の大きさの比較表現」がどのように対応しているかをみるために、室の種類がそれぞれ各構成類型の階層図における初階層、中階層、終階層<sup>注8)</sup>のどの階層で表れているかを分析する。具体的には構成類型ごとに、各階層における室の種類をグラフ化し、各構成類型の1事例あたりの平均室数も合わせてみることでそれぞれの全体像を捉える。さらに室数や空間の大きさ、プロポーションは建物の用途に対応することが予想されるため、これらの表現が建築の規模や用途<sup>注9)</sup>にどのように呼応しているかをみていく（表3.8）。

構成類型ごとにみると、まず単一の「空間の大きさの比較表現」によって建築全体が差異づけられた複数の室に一遍に分解される直接型と間接型は、初階層に全ての種類の室が配されており、それぞれ「直接比較」、「間接比較」という**1つの空間の大きさの比較方法**で室の大きさやプロポーションの差異に対応する表現だということができる。さらに全研究事例の1作品あたりの平均室数（16.8）と比べると（以下括弧内は各構成類型の平均室数を示す）、直接型（9.4）、間接型（5.0）ともに平均室数が少ないことから、室数の少ない用途にみられやすい表現であるといえ、参考までに各事例の用途を見るとギャラリーや週末住宅などが見られた。

次に直接階層型と間接階層型をみると、ともに終階層の機能部の室数が多くみられた。階段や水回り、家具といった機能部の室は、他の種類の室と比べて小さいうえにプロポーションの自由度が低い。そのため、同一の空間の大きさの比較方法を繰り返し細分化されるこれらの表現では、「空間の大きさの比較表現」の終盤ともいえる終階層に機能部の室が表れやすいのだと考えられる。そこでこれらはそれぞれ

れ「直接比較」、「間接比較」という**同一の空間の大きさの比較方法を繰り返すこと**で室の大きさやプロポーシヨンの差異に対応する表現だということができる。また参考までにそれぞれの用途をみると様々なものが見られたが、直接階層型 (23.6) の事例には美術館や宿泊施設など多くの室数が求められる用途が見られたのに対し、間接階層型 (7.6) の事例は専用住宅や週末住宅など室数が比較的少ない用途が見られた。

また2つの異なる空間の大きさの比較方法を階層化させる直接-間接階層型と間接-直接階層型においても終階層の機能部の室数が多くみられたが、さらにそれぞれの初階層に着目すると、まず直接-間接階層型では外部の室が多く見られた。これは中庭などの外部の室は建築全体に影響を及ぼす要素になる傾向があり、さらに他の室の種類と比べるとプロポーシヨンの自由度が高いため、「直接比較」による外部の室を含めた室の大きさの比較から始める傾向があるのだと考えられる。それに対し、間接-直接階層型は初階層においても機能部の室が多く見られた。これは水回りなどの複数のコアを「包含」や「分散」により配列するなど、「間接比較」による機能部の室の大きさの比較から始める表現であった。そこでこれらの構成類型は「直接比較」、「間接比較」という**2つの空間の大きさの比較方法を階層化させる**ことで室の大きさやプロポーシヨンの差異に対応する表現だということができる。

直接+間接並置型は初階層に多くの室数が見られた。これは「直接比較」、「間接比較」という**2つの空間の大きさの比較方法を並置する**ことで多くの室の大きさやプロポーシヨンに対応するためだと考えられる。平均室数は全体のなかで平均的なものであり (17.6)、参考までに事例の用途をみると専用住宅などであった。

以上、室の種類と階層の関係、および平均室数をみることから「空間の大きさの比較表現」の構成類型を比較し、これらの表現が建築の規模や用途にどのように対応しているかを検討した。これにより、「直接比較」と「間接比較」という2つの空間の大きさの比較方法があることを前提にして、各構成類型の室の大きさやプロ

ポーションの差異への対応としては、〈1つの空間の大きさの比較方法による表現〉、〈同一の空間の大きさの比較方法を繰り返す表現〉、〈2つの異なる空間の大きさの比較方法を階層化させる表現〉、〈2つの異なる空間の大きさの比較方法を並置させる表現〉といった表現の違いがあることを示すことができた。

さらにそれぞれの平均室数や用途を見ることで、「空間の大きさを比較する表現」の構成類型の規模やビルディングタイプにゆるい結びつきを捉えることができた。「空間の大きさの比較表現」は、空間の大きさの違いとその比較方法の違いによる室のまとまりの階層性により、古典や土着的な要素の図像を引用するような明示的なアイコン表現や、シンメトリーなどの形式性の強さに根ざした配列の統合表現に頼らずに、真に「大きさ」だけに依拠した相対的なものの秩序を問題にするものだということができる。

## 第6節 小結

本研究では現代の建築作品を対象に、室の配列による「空間の大きさの比較表現」について検討した。

まず一作品の括りをはずし、室の配列の種類と反復の方向、さらに幅、奥行き、高さといった大きさを比較する尺度を用いた「パラメータ」「コンスタント」の組み合わせから「空間の大きさの比較表現」を分類した。次に「直接比較」と「間接比較」という2つの空間の大きさの比較方法を見いだしたうえで、建築全体が部分である室へとどのように分解されるかを示すために階層図を描き、一作品の括りのなかで、室の配列による「空間の大きさの比較表現」の構成類型を明らかにした。さらにこれらの構成類型を比較し、この表現が建築の規模や用途にどのように呼応しているかを検討した。

「空間の大きさの比較表現」は使用上の要求に対応した室の大きさと配列という建築物を成立させる機能的な条件を、室という建築の分節構造（ものの秩序）に内在する同一性と差異のシステムとして読み替えるものである。それは一つの建築のなかに機能との対応から説明される秩序ともののあり方としての秩序を並走させることにより、空間の多様性や複雑さを確保する表現なのである。

### 第3章 注

- 1) 一般に、ある記号がその指示対象としてその記号自体を有している事態を「自己言及的」であるという。芸術作品、特に文学においては、作品内にその作品自体に対する言及が含まれる場合、自己言及性があると言われる。本研究では建築作品のなかにみられる自己の内部で繰り返される同一の対応の比較のなかに表れる変化によって差異を判定する仕組みを指し、そこで表れる空間の大きさを比較する尺度を構成の問題として分析する（河本英夫：オートポイエーシス-第三世代システム、青土社、1995. 7）。
- 2) 本研究では現代の代表的な建築ジャーナリズムの一つである「domus」「Architecture Review」「2G」「都市と建築 (a+u)」「新建築」「新建築住宅特集」「建築文化」などにおいて、1990年以降に発表された建築及び建築プロジェクトのうち、本論が定義する「空間の大きさの比較表現」が明快であった78作品について掲載された図面や写真などを用いて分析を行う。（付表）
- 3) 室は床、壁、天井によって規定されたヴォリュームとし、ヴォリュームが連続する一室空間であってもその形状により部分的に分節が見られるものは、分節された各ヴォリュームを室とする。
- 4) 一般に、ある集合  $X$  の元を代入することが許されている文字  $x$  を変数 (variable) といい、それに対して、特定の1つの元を表す文字を定数 (constant) という。  $t$  を独立変数とする関数  $f$ 、 $g$  が与えられたとき、 $x=f(t)$ 、 $y=g(t)$  という関数によって  $y$  が  $x$  の関数とみなされたとする。このとき'変数  $t$  を助変数または媒介変数 (parameter) として  $y$  が  $x$  の関数である' という「岩波 数学事典 第3版」(日本数学会編集、岩波書店、1985)。本研究では「パラメータ」及び「コンスタント」を単位間の比較可能な差異及び同一を表現する尺度の比喩として構成分析に用いる。
- 5) 「パラメータ」のない(幅・奥行き・高さの全てが「コンスタント」の)室配列については、その配列の種類に関わらず室同士の「空間の大きさ」は比較されないため、「空間の大きさの比較表現」は成立しない。逆に複数の室が幅・奥行き・高さの全てを変化させ組み合わせている場合においては、それぞれの「パラメータ」を比較することができる特定の配列(1軸上の配列など)が存在するため、「空間の大きさの比較表現」が成立する。
- 6) 主従関係とはここでは室の大きさや機能によるものではなく、室の配列による主従関係のことを意味する。「包含」、「分散」による配列によってある特定の室が中心となり複数の室を比較可能にしているとき、その特定の室と複数の室のあいだには主従関係があるとみる。
- 7) 4階層以上のセットについてはその3階層のセットまでをみることで全体の構成を捉えられるものが多いことから、4階層以上のセットは4章の分析には用いない。
- 8) 全研究事例の階層図をみると、表8の右上欄に示す通り、総階層数は1階層から6階層までのものがみられた。ここでは主に階層の上層と下層における室の種類分布をみるため、階層図の1階層目を「初階層」、各事例の最後の階層を「終階層」と呼び、その間にある階層は全て「中階層」とする。なお総階層数が1階層のものは「初階層」のみ、2階層のものは「初階層」と「終階層」のみとする。
- 9) 建築の用途は、研究事例が掲載された建築ジャーナリズムの情報から判断した。（付表参照）

### 第3章 参考文献

- 1) ケネス・フランプトン：現代建築史，青土社，2003.1
- 2) チャールズ・ジェンクス：ポストモダニズムの建築言語 a+u 1978年10月臨時増刊，エーアンドユー，1978.10
- 3) ジェイムズ・マイヤー：ミニマリズム，ファイドン，2011.5
- 4) チャールズ・ムーア，ジェラルド・アレン：ディメンジョン，新建築社，1978.3
- 5) ジェラルド・アレン：チャールズ・ムーア（現代建築家シリーズ），グラフィックス社，1982.1
- 6) 河本英夫：オートポイエーシス-第三世代システム，青土社，1995.7
- 7) ロバート・ヴェンチューリ：建築の対立性と多様性，鹿島出版会，1982.11
- 8) 本論文は以下を一部修正してまとめたものである。

田中正洋，塚本由晴，長岡大樹，吉村英孝：パラメータと室の配列の組み合わせ 現代の建築作品における空間構成のパラメータによる表現 (1)，日本建築学会大会学術講演梗概集 F-2，p525-526，2001年8月

田中正洋，塚本由晴，長岡大樹，吉村英孝：パラメータの複合関係による空間構成の類型 現代の建築作品における空間構成のパラメータによる表現 (2)，日本建築学会大会学術講演梗概集 F-2，p527-528，2001年8月

表 3.1 室配列の種類

分割 (325)	包含 (83)	接続 (31)	分散 (11)
分	包	接	散

表 3.2 室配列における反復の方向

1方向 (283)	2方向 (72)	放射方向 (74)	多方向 (21)
1	2	r	m

図 3.1 分析例 1

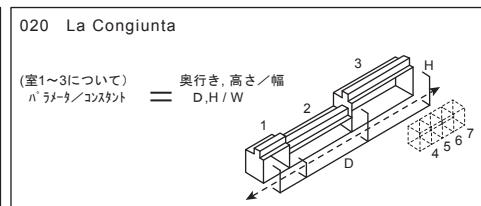


表 3.3 室の種類

内部 (567)	機能部 (567)	外部 (76)	室群 (100)
○	△	□	◎

表 3.4 空間の大きさの尺度

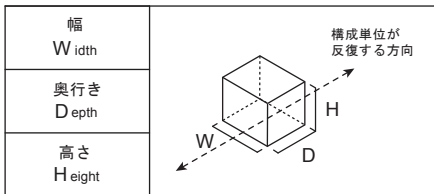


図 3.2 分析例 2

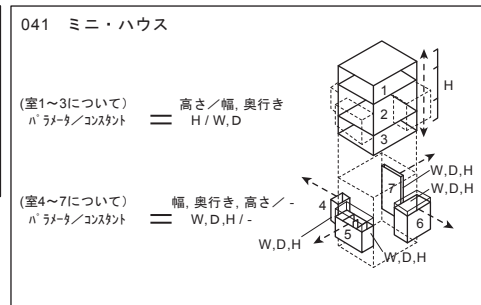


表 3.1 表 3.2 注) ( ) 内は該当するセル数を示す。表 3.1 注) 包含は貫入の室配列も含む。  
表 3.2 注) 反復の方向が断面方向に表れるものは \* を、平面断面の両方向に表れるものは \* \* を付して表す。表 3.3 注) ( ) 内は該当する室数を示す。表 3.4 注) 構成単位が反復する方向に対して平行する長さを奥行き、直行する長さを幅とする。連続的に変化するものは” を、不連続に変化するものは ~ を付して表す。 図 3.1 図 3.2 注) 図中の記号は表 3.1 ~ 3.4 に準ずる。

表 3.5 室の配列による空間の大きさの比較表現























室の配列	反復の方向	パラメータ	コンスタント	空間の大きさを比較する表現
分割 (325)	1方向	D D~	W,H	① D 幅、高さは一定にして、奥行きを変化させる。  (181)
		H H~	W,D	② H 幅、奥行きは一定にして、高さを変化させる。  (26)
		W,D W~D~	H	③ WD 高さは一定にして、幅、奥行きを変化させる。  (33)
		D,H* D,H~	W	④ DH 幅は一定にして、奥行き、高さを変化させる。  (9)
	2方向	D	W,H	⑤ D 幅、高さは一定にして、奥行きを変化させる。  (20)
		W,D W,D* W~D~	H	⑥ WD 高さは一定にして、幅、奥行きを変化させる。  (19)
		D,H* D,H~	W	⑦ DH 幅は一定にして、奥行き、高さを変化させる。  (10)
		W,D,H* W,D,H~	-	⑧ WDH 幅、奥行き、高さを変化させる。  (7)
	放射方向	W,D W~D~	H	⑨ WD 高さは一定にして、幅、奥行きを変化させる。  (7)
				WDH (2) WDH (1)
多方向	W,D W~D~ W~D~	H	⑩ WD 高さは一定にして、幅、奥行きを変化させる。  (5)	
			DH (2), WDH (1)	
包含 (83)	1方向	W,D W,D~	H	⑪ WD 高さは一定にして、幅、奥行きを変化させる。  (9)
	2方向			WD (2), WH (1)
	放射方向	W,D W~D~	H	⑫ WD 高さは一定にして、幅、奥行きを変化させる。  (46)
		D,H* D,H~	W	⑬ DH 幅は一定にして、奥行き、高さを変化させる。  (4)
		WD,H* W,D,H* W~D~H~	-	⑭ WDH 幅、奥行き、高さを変化させる。  (7)
	多方向	W,D	H	⑮ WD 高さは一定にして、幅、奥行きを変化させる。  (8)
			DH (2) WDH (1)	
接続 (31)	1方向	W,D W~D~	H	⑯ WD 高さは一定にして、幅、奥行きを変化させる。  (3)
		D,H* D,H~ D~H~	W	⑰ DH 幅は一定にして、奥行き、高さを変化させる。  (9)
		W,D,H* W,D,H* W~D~H~	-	⑱ WDH 幅、奥行き、高さを変化させる。  (4)
		W,D,H* W,D,H*	-	⑲ WDH 幅、奥行き、高さを変化させる。  (4)
			WH (1) D (1)	
	2方向	W,D,H* W,D,H~	-	⑳ WDH 幅、奥行き、高さを変化させる。  (3)
				WD (1) D (2), WH (1), DH (1)
	放射方向			WDH (1) D (1)
分散 (11)	1方向			D (1)
	2方向	W,D,H	-	㉑ WDH 幅、奥行き、高さを変化させる。  (3)
				WD (1)
	放射方向	W,D,H	-	㉒ WDH 幅、奥行き、高さを変化させる。  (3)
			WD (1) WDH (1) DH (1)	

表 3.6 室の大きさの比較方法・階層図の描き方

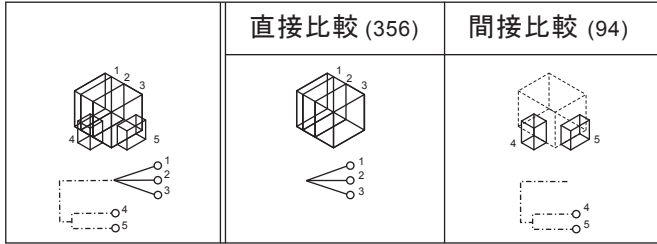


図 3.3 分析例 1

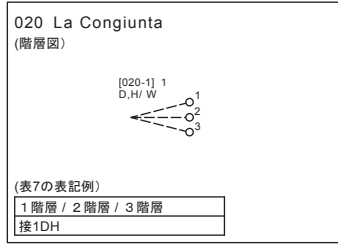


図 3.4 分析例 2

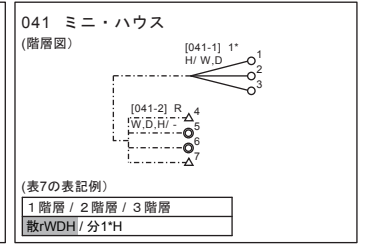


表 3.7 室の配列による空間の大きさの比較表現の類型

事例番号	作品名	セット数	室数	パラメータの種類及びその階層 1階層 / 2階層 / 3階層	構成類型	直接型	直接階層型	直接+間接並置型				
17	BATHING PAVILION	1	7	分1D	直接型(分割)	直接型(分割) 52	直接型(接続) 20	直接型				
48	飯田市小笠原資料館	1	8	分1D								
71	Cy Twombly Gallery	1	11	分2D								
52	聖台病院新病棟	1	26	分mWD								
05	Goetz art gallery	1	11	分2'DH								
14	Europaisches D.D.	1	9	分m*WDH	直接型(接続)			直接型				
20	La Congiunta	1	3	接1DH								
50	川西町コテージB	1	3	接mWDH								
08	富士裾野の住宅	1	7	接2'D	直接部分階層型(分割/分割)	直接部分階層型(接続/分割)	直接全体階層型(接続/分割)	直接階層型				
28	Studio Remy Zaugg	3	7	分1D/分1D/分2WD								
21	House Ungers	7	38	分1D/分1D,分2'D,分2'D/分2'D,分2'DH,分2'D								
70	Art Box	3	29	分mWD/分2'D,分1'H								
74	C & F Center	3	12	分2'D/分1D,分1D								
40	大田のハウス	6	12	分2'D/分1'H,分1'H/分1D,分1D,分1D								
73	Operations centre	3	16	接1DH/分1D/分1D								
51	諏訪のハウス	4	10	接1DH/接1DH,分1D/分1D								
15	Laboratory - workshop	4	9	接1WDH/分1D,分1'H,分1'H								
03	Visitors centre	5	11	接1WDH/分1D,分1D,分1D/分1D								
60	C	4	14	接1WDH/分2'DH,分2'DH/分2WD	直接部分階層型(接続/分割)			直接階層型				
01	HOTEL P	67	115	接1WDH/接1DH,分1D,分1D,分1DH/分1WD,分1D,分2'D								
72	House in Tavira	2	17	接2WDH/分2WD								
39	Museum Liner	3	21	接2WDH/分1DH,分2WDH								
56	House in Jona	6	19	接2'D/分1D,分2WD,分2WD/分1D,分1D								
46	祐天寺T邸	4	13	接2'DH/分1DH,分1D/分1DH								
29	House for Musician	3	15	接2'WH/分1D,分1D								
42	TWOgether	5	13	接1WD/分2'D,分2'D,分2'D/分2WD					直接全体階層型(接続/分割)			直接+間接階層型
37	New Bldg. for Veenman	14	48	接1DH/分1DH,分1DH/分2'DH,分1D,分2'DH								
11	Nursery School Neue Welt	9	31	接1WDH/分2'D,分2'D,分1'H,分2'D,分1D/分1D,分1D,分1D								
18	Ext. to the House	2	5	分1D/包mWD	直接-部分間接階層型(分割)	直接-部分間接階層型(接続)	直接-全体間接階層型(分割)	直接+間接階層型				
02	再春館製薬女子寮	6	38	分1D/包1WH/分1D								
06	Y-HOUSE	6	17	分1D/散2WD/分2'DH								
34	One-family house	4	11	分1D/包mWDH,分2WDH/分2WDH								
63	江山閣	4	11	分1D/分1D,分1D,包mWD								
33	Dominus Winery	10	40	分2'DH/分1D,分1D,分1D,分2D,包mWD/分1D,分1D,分2'DH,接2WD								
66	MAISON LATAPIE	5	9	分2'H/包mWDH,包mWD/分2WDH,分2WD								
77	Double House Utrecht	9	25	分m'DH/分1D,分1D,包mWD,分1WD,分1D,分1D/分1D,分1D,包mWD								
31	オーストリアハウス	2	4	接1WH/包mWD								
27	M-HOUSE	10	16	接1WD/包m'DH,分1D/包m'DH,包m'DH,包m'DH					直接-部分間接階層型(接続)			直接+間接階層型
04	T-House	5	13	接1'WDH/分1D,包mWD,包mWD/分2WD								
61	Ronald McDonald House	37	66	分1'H/包mWD,包mWD,包mWD/4(分1WD),3(分1WD),包mWD,分mWD								
47	Ecole a Paspels	6	16	分1'H/包mWD,包mWD,包mWD/分1WD,分1WD	直接-全体間接階層型(分割)			直接+間接階層型				
16	本町田の住宅	5	11	分1'H/包mWDH,包mWD/分1D,分2WD								
49	Maisons a Lebbeke	15	31	分1D/分2'D,分2'D/包mWD,包mWD,包mWD,包mWD								
19	House near Antwerp	12	26	接1DH/分1D,分1D,分1D,分1D/分2WD,分1D,包1D,包1D,包mWD								
75	Ulmer house	7	15	接2WDH/分2'D,分1D/包mWD,包mWD	間接型(包含)			間接型				
76	Buchel house	6	14	接1'D/包mWD,包mWD,包mWD/分1D,分1D,								
12	家具の家	1	7	包mWD								
38	ウェークエンドハウス	1	5	包mWD	間接階層型(包含/包含)			間接階層型				
10	調布北口交番	1	3	包m'DH								
55	仙川の住宅	2	3	包m'DH/包mWD								
53	Ecological Middle School	3	6	包mWD/分mWD,包mWD	間接階層型(分散/包含)			間接階層型				
13	Museum Kirchner	3	10	包mWD/包1WD/分2WD								
67	SHIRAOI	3	5	散2WDH/包mWD,分1D								
07	森の別荘	4	12	散mWDH/分1D,包mWDH/分m'WDH	間接-直接階層型(包含)			間接+直接階層型				
25	熊野古道なかへち美術館	4	10	散mWD/分1D,分2WD,包mWDH								
23	マルチメディア工房	6	15	包mH/分1DH/分1DH,分1DH,包1WDH,分1'H								
65	VILLA	3	14	包mWD/分1D,分1D	間接-直接階層型(分散)			間接+直接階層型				
24	S-HOUSE	10	15	包mWD/分1'H/包2WD,分2WD								
26	トウフ	3	12	包mWD/分mWD,分1D								
35	熊谷のハウス	7	17	包mWD/分mWDH/分2WDH,分1D,分1D,分1DH								
64	仙台メディアテーク	2	20	包mWD/分1'H								
30	Art Museum, Bregenz	6	17	包mWD/分1'H/包mWD								
43	Harte Schale	4	12	包mWD/分1'H/包mWD,分mWDH								
57	桜上水K邸	4	12	包mWD/分1'WDH/分2WD,分2WDH								
62	小さな家	2	5	包mWD/接1'WDH								
69	Borneo Sporenburg-18	9	20	包m'DH/分m'DH,分1D,接1DH/分1D,分1D,分1D,分1D								
09	MOCA at Nagi	4	21	散mWDH/分1'H,分2WD/分mWD	直接+間接並置型			直接+間接並置型				
59	六ツ川地域ケアプラザ	8	25	散1D/分1D/分1D,包mWD,分1D,包mWD,包1WD,分1D								
32	アニハウス	2	5	散2WDH/分1'H								
36	梅が丘の住宅	7	9	散2WDH/分1'H/分1D,分1D,包mWD								
41	ミニハウス	2	7	散mWDH/分1'H								
44	M-HOUSE	4	10	散mWDH/分1D,分2'D/分1D								
68	Borneo Sporenburg-12	5	16	散m'DH/分2'D,分2'D/分1D								
45	Willmann-Lotscher House	7	22	分1'H/分2D/分1'H,分1'H/分1'H/分1D,分mWD								
78	Ext. to the Art Museum	2	19	分2'DH/分2WD								
22	Dutch House	10	26	包mWD/分2WD 接1WD/分1D,接1DH,分1D/分1WD,分2WD								
58	L	4	11	包mWDH/分1D/分2WD/分1D								
54	Musee d'Ethnographie	2	16	包mWDH/分1'H								

表 3.7 凡例) 網掛けされたものは間接比較によるパラメータ表現を示し、階層図に付した数字は資料番号を示す。表中の記号は表 3.5, 表 3.6, 図 3.3, 図 3.4 の表記に準じ、その他の記号表記は以下の通り。 [ ] 同一階層におけるセットの分節 [ | ] 比較可能でないセットの分節

表 3.8 室の種類と階層に注目した類型の比較

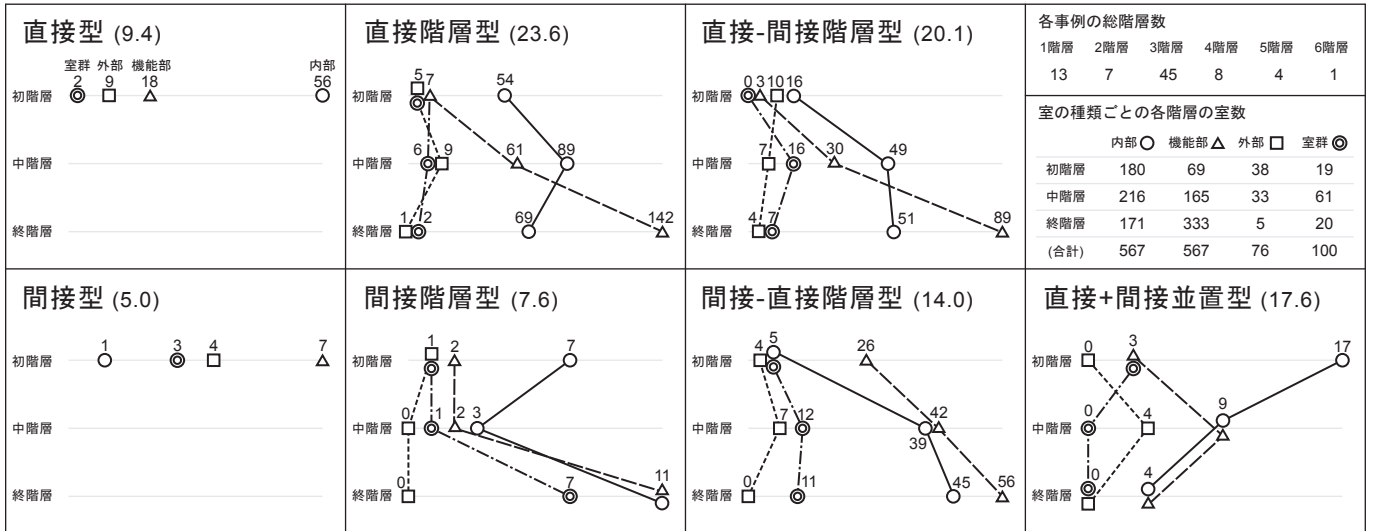


表 3.8 註) ( ) 内の数字は各構成類型における 1 事例あたりの平均室数を示す。図中の記号は表 3.3 に準ずる。記号上部の数字は、室の種類ごとの室数を示す。また、それぞれの室数の分布を見やすくするためにグラフのプロポーションを変えている。

付表1 研究対象事例リスト

no.	作品名	用途	設計者	掲載年月日
01	HOTEL P	宿泊施設	伊東豊雄	sk 9209
02	再春館製菓女子寮	寮	妹島和世	sk 9110
03	Visitors centre	ビシターセンター	Doyle Architects	re 9304
04	T-House	専用住宅	Simon Ungers, Tom Kinslow	au 9307
05	Goetz art gallery	ギャラリー	Herzog & de Meuron	re 9402
06	Y-HOUSE	専用住宅	妹島和世	jt 9405
07	森の別荘	週末住宅	妹島和世	jt 9405
08	富士裾野の住宅	週末住宅	石田敏明	re 9405
09	Museum of Contemporary Art at Nagi	美術館	磯崎新	do 9502
10	調布駅北口交番	交番	妹島和世	sk 9503
11	Nursery School Neue Welt in Vienna	学校施設	Adolf Krischanitz	do 9504
12	家具の家	週末住宅	坂茂	jt 9506
13	Museum Kirchner a Davos	美術館	Gigon & Guyer	aa 9506
14	Europaisches Design Depot Klagenfurt	ギャラリー	Ortner & Ortner	do 9506
15	Laboratry - workshop, Vesima	オフィス	Renzo Piano	re 9509
16	本町田の住宅	専用住宅	奥山信一・若松均	jt 9510
17	BATHING PAVILION	パビリオン	RCR ARCHITECTES	ec 96/97
18	Extension to the House in Kortrijk	専用住宅	Stephane Beel	au 9607
19	House near Antwerp	専用住宅	Xaveer de Geyter	au 9608
20	La Congiunta - House for Sculptures	ギャラリー	Peter Markli	au 9611
21	House Ungers	専用住宅	Oswald Mathias Ungers	au 9611
22	Dutch House	専用住宅	OMA	au 9611
23	マルチメディア工房	学校施設	妹島和世+西沢立衛	sk 9701
24	S-HOUSE	専用住宅	妹島和世+西沢立衛	jt 9702
25	熊野古道なかへち美術館	美術館	妹島和世+西沢立衛	sk 9707
26	トワフ	専用住宅	玉置順	jt 9709
27	M-HOUSE	専用住宅	妹島和世	jt 9709
28	Studio Remy Zaugg	スタジオ	Herzog & de Meuron	au 9710
29	House for Musician and Composer	専用住宅	Margarethe Heubacher	au 9711
30	Art museum, Bregenz	美術館	Peter Zumthor	re 9712
31	オーストリアハウス	ビシターセンター	カウフマン96+ロート美恵	sk 9802
32	アニハウス	専用住宅	アトリエ・ワン	jt 9802
33	Dominus Winery	ワイナリー	Herzog & de Meuron	au 9804
34	One-family house	専用住宅	Lacaton & Vassal	do 9804
35	熊谷のハウス	専用住宅	西沢大良	jt 9804
36	梅が丘の住宅	専用住宅	佐藤光彦	jt 9806
37	New Building for Veenman Printers	オフィス	Neutelings Riedijk	au 9809
38	ウェークエンドハウス	週末住宅	西沢立衛	jt 9811
39	Museum Liner	美術館	Gigon & Guyer	au 9812
40	大田のハウス	専用住宅	西沢大良	jt 9812
41	ミニハウス	専用住宅	アトリエ・ワン	jt 9901
42	TWOgether, une maison sur catalogue	専用住宅	Diner & Diner	aa 9901
43	Harte Schale, Transparenz als Kern	専用住宅	L.Buol & M.Zund	at 9904
44	M-house	専用住宅	阿部仁史	jt 9904
45	Willmann-Lotscher House	専用住宅	V.Bearth & A.Deplazes	au 9906
46	祐天寺T邸	専用住宅	伊東豊雄	jt 9906
47	Ecole a Paspels	学校施設	V.Olgiati	aa 9907
48	飯田市小笠原資料館	美術館	妹島和世+西沢立衛	sk 9907
49	Maisons a Lebbecke	集合住宅	Bob 361 Architectes	aa 9907
50	川西町コテージB	専用住宅	アトリエ・ワン	sk 9908
51	藤助のハウス	週末住宅	西沢大良	jt 9909
52	聖台病院新病棟	病院	藤本社介	sk 9912
53	Ecological Middle School	学校施設	Baumschlager & Eberle	au 0001
54	Musee d'Ethnographie, Geneve	美術館	Hunger, Monnerat, Petitpierre	aa 0002
55	仙川の住宅	専用住宅	佐藤光彦	jt 0002
56	House in Jona	専用住宅	V.Bearth & A.Deplazes	au 0003
57	桜上水K邸	専用住宅	伊東豊雄	jt 0004
58	L	専用住宅	青木淳	jt 0004
59	横浜市六ッ川地域ケアプラザ	福祉施設	妹島和世+西沢立衛	sk 0007
60	C	専用住宅	青木淳	jt 0009
61	Ronald McDonald House	宿泊施設	Bosch Haslett	au 0010
62	小さな家	専用住宅	妹島和世	sk 0011
63	江山閣	週末住宅	妹島和世	sk 0011
64	仙台メディアテーク	複合施設	伊東豊雄	sk 0012
65	VILLA	専用住宅	Dominique Perrault	→1
66	MAISON LATAPIE	専用住宅	Lacaton & Vassal	→1
67	SHIRAOI	専用住宅	石田敏明	→1
68	Borneo Sporenburg-12	専用住宅	MVRDV	→2
69	Borneo Sporenburg-18	専用住宅	MVRDV	→2
70	Art Box, Museum for the Grothe Collect	美術館	Herzog & de Meuron	→3
71	Cy Twombly Gallery	ギャラリー	Renzo Piano	→4
72	House in Tavira	専用住宅	Eduardo Souto de Moura	2G 5
73	Operations centre	ビシターセンター	Jungling & Hagmann	2G 14
74	Community and Forest Centre, Castrish	福祉施設	Gerstlaur & Molne	2G 14
75	Ulmer house	専用住宅	Baumschlager & Eberle	2G 11
76	Buchel house	専用住宅	Baumschlager & Eberle	2G 11
77	Double House Utrecht	専用住宅	MVRDV	au 9809
78	Extension to the Art Museum	美術館	Gigon & Guyer	do 9604

## 掲載資料

	タイトル	出版社
ec	El croquis	
do	Domus	
re	Architectural Review	
aa	L'Architecture d'Aujourd'hui	
2G	2G	
sk	新建築	
au	都市と建築 (a+u)	
jt	新建築住宅特集	
→1	SINGLE-FAMILY HOUSEING,THE PRIVATE DOMAIN	BIRKHAUSER
→2	The Un-Private House	MOMA
→3	HERZORG & DE MEURON 1992-1996	BIRKHAUSER
→4	RENZO PIANO BUILDING WORKSHOP vol.3	PHAIDON

## 第4章

### 部位の配列による空間の大きさの比較表現

第1節 本章の目的と概要

第2節 建築部位の配列と軸

第3節 部位の配列とグラフのパタン

第4節 部位の配列による空間の大きさの  
比較表現の種類

第5節 部位の種類と尺度に注目した類型  
の比較

第6節 小結

## 第1節 本章の目的と概要

本章は、床、壁、天井、屋根といった建築の部位<sup>注1)</sup>を単位とし、それらの配列によりつくられる「空間の大きさの比較表現」について検討するものである。部位が複合化した室ではなく部位を単位とするのは、各単位の環境への対応を見ることができるからである。

例えば水平屋根と複数の床の配列がつくる天井高の違いは、敷地のレベル差などの環境の差異に対応したり、さらにそこで行われる行為の違いに対応することがある。そのとき天井高に表れる空間の大きさの違いを通じて、建築に内在する分節構造である部位はその外側にある環境の差異や各行為に固有の差異にも対応していると捉えることができる。「空間の大きさの比較表現」には、大きさの尺度が部分同士を関係づけるだけでなく、さらに環境や行為の差異にも対応するといったように、表現の多重性や両義性をみることができる。本章では建築作品のなかに見られる部位の配列によって一つの建築のなか比較可能な空間の大きさの差異をつくる自己言及的<sup>注2)</sup>な表現のうち、さらにそれを環境や行為の差異にも対応させているものを部位の配列による「空間の大きさの比較表現」と呼び、どの部位でどのような空間の大きさを比較しているかを構成の問題として分析することで、部位の配列による「空間の大きさの比較表現」がどのように成立しているかを明らかにするものである。

ここで環境の差異と呼んでいるのは地面の勾配、敷地の形状、光量、降雨に対応する水勾配であり<sup>注3)</sup>、それらと空間の大きさを比較する部位との関係をみると、床の高さの違いで斜面の勾配を測る、大屋根により天井高を変化させるなどの対応関係をみることができる（表4.1）。また行為の差異と呼んでいるのは、居間・寝室・水回りといった機能分類に対応し慣習的に想定された空間の大きさの違いのことである。部位の配列による「空間の大きさの比較表現」は、建築に内在する分節構造である部位が空間の大きさを制御し、環境や行為の差異と均衡、緊張関係を保つ表現である。

研究事例としては、このような部位の配列による「空間の大きさの比較表現」がみられる建築及び建築プロジェクトのうち、国内外の建築雑誌に第2次世界大戦後に発表された64作品を対象とする（附表<sup>注4)</sup>。

本章の内容を概略すると、まず床、壁、屋根、天井といった建築部位の種類、配列の軸、さらに空間の大きさを比較する尺度を整理し（第2節）、平面や断面に表れるグラフのパランを検討し（第3節）、これらの組み合わせから部位の配列による「空間の大きさの比較表現」の類型を導く（第4節）。さらにそれぞれの類型がどのように尺度を組み合わせているかをみることから類型同士を比較し、さらにこうした表現が現代建築作品に多様性や複雑さをどのようにもたらしているかを考察する（第5節）。

## 第2節 建築部位の配列と軸

部位の配列による「空間の大きさの比較表現」は壁、床、屋根、天井といった建築の部位の配列によって奥行きや高さなどの空間の量を場所ごとに変化させるものである。こうした部位の配列と尺度の組み合わせは、断面、平面のどちらかに現れることもあれば、その両方に現れることもある。部位の配列によって距離や高さといった大きさを変化させる3次元の建築空間には、そうした変化に対応する「配列の軸」を見出すことができる。このような配列の軸としては、勾配屋根などの単一部位の傾斜による軸、床の段差や壁の並列、部位が放射状に配列されるなどの部位の反復による軸をみることができる(表4.2)。また部位の大きさや反復の間隔といった大きさの違いは、それぞれの部位が同じ軸上で配列されることによって比較可能な差異になり、その大きさの尺度としては幅、奥行き、高さ、勾配がある(表4.3注5)。

分析例1(図4.1)は、片流れ屋根の傾斜の方向に壁が反復し、屋根の傾きによって奥行き方向の距離と屋根までの高さの関係づいており、反復する壁が位置の基準となる軸、勾配屋根が与える高さの変化が空間の大きさを比較する軸になる。また分析例2(図4.2)では、4方向からの中庭の貫入という幾何学性から、外壁4面を展開することによって外壁は貫入される位置の基準になる軸、これに直交する各中庭の奥行きの違いは空間の大きさを比較する軸になる。このように壁、床、屋根、天井のどれかの部位が位置の基準になり、どれかの部位が空間の大きさを比較するといったように、各部位に役割が分配されている。こうしたことから部位の配列によって空間の大きさを変化させる建築では平面図や断面図にグラフのような性格が表れることになる。

### 第3節 部位の配列とグラフのパターン

そこで分析例と同様にして、位置の基準になる軸、空間の大きさを比較する軸を全作品の平面図、断面図に加えたグラフを作成し<sup>注6)</sup>、全てのグラフにあらわれた部位の配列を検討することから、位置の基準になる部位と尺度、空間の大きさを比較する部位と尺度の組み合わせとして189のグラフのパターンを抽出することができた<sup>注7)</sup>。そのグラフの形式は、「割合の比較」(65)、「量の比較」(56)、「尺度間の連動」(68)に分けることができた(表4.4)。

部位が平行に反復しストライプ状をなし、全体のなかでの割合を示す「**割合の比較**」は帯グラフのようなかたちをもつもので、単一の尺度で空間の大きさを比較する[帯]を基本として、その部分の帯のなかで直交する軸上に再びストライプ状の部位の配列がみられる[帯 in 帯]、直交する軸上にも帯が重ね合わさる[帯×帯]がみられた。[帯]や[帯 in 帯]は平面もしくは断面で壁のみが反復するものが殆どであったが(43/52)、[帯×帯]は断面で壁の反復と床の反復が重ね合わさるものが多くみられた(10/13)。

部位を段状に配列する「**量の比較**」は棒グラフのようなかたちをもち、壁などを放射状に配列して基準となる位置からの奥行きなどの空間の大きさを比較する[棒]と、床や屋根を段状に反復し天井高の変化をつくるなど段階的な空間の大きさを比較する[棒×帯]がみられた。[棒]は平面に(10/11)、[棒×帯]は断面に(30/45)多くみられた。

また基点となる位置からのある方向への空間の大きさの違いが同時に別の軸における空間の大きさの違いに対応し、それらが一定の比例などによって関係づけられる「**尺度間の連動**」は関数グラフのような現れをもつもので、さらにその形状から1次関数グラフ、曲線グラフ、折れ線グラフに分類できる。1次関数グラフは奥行きと高さ、奥行きと勾配などの尺度間の関係が1つの空間のなかで表れ、組み合わせられた[関]を基本に、関数に傾きを与える部位がその軸方向に分割され断続的に

空間の大きさの違いが表れる [関 on 帯]、勾配屋根の軒と棟の高さを一定に、両者の奥行きを変えることで勾配が変化する [関×帯] がみられた。またヴォールト屋根や曲面壁などの配列による曲線グラフ [曲]、さらに 1 次関数グラフの組み合わせで分割がみられず、位置ごとの量の変化を示す折れ線グラフ [折]、その配列に周期をもつ周期グラフ [周] がみられた。これら「尺度間の連動 (関数グラフ)」は断面で屋根と壁の配列を組み合わせるものが多くみられた (50/68)。

さらに部位ごとにみても、壁は全グラフパターンで位置の基準になる部位にも空間の大きさを比較する部位にもなり、さらに断面、平面の両方に表れており、部位の配列による「空間の大きさの比較表現」においてどのような表現にも対応する部位であるといえる。また一部の例外を除いて「尺度間の連動 (関数グラフ)」で床が空間の大きさを比較する部位にならないのは、床は基本的には傾きをもたず水平であるという部位の条件に拘束されていることを示している。さらに「割合の比較 (帯グラフ)」で屋根が空間の大きさを比較する部位にならないのは屋根が積層しストライプ状に反復されることがないことを示している。さらに屋根が全グラフパターンを通じて位置の基準になるものは見られなかったが、これは屋根が位置を示す基準になるよりも、空間に高さや傾きといった空間の大きさの比較に適した部位であることを表していると考えられる。

#### 第4節 部位の配列による空間の大きさの比較表現の類型

前章の分析により各作品の断面や平面は、位置の基準になる部位と尺度、空間の大きさを比較する部位と尺度の組み合わせによるグラフのパターンによって記述されるが、さらに本章では一つの作品のなかで建築部位の配列と尺度による構成がどのように形成されているかを明らかにしていく。

一つの建築作品は断面と平面それぞれの「空間の大きさの比較表現」の重ね合わせとして捉えることができる。そこで断面のパターンを縦軸に、平面のパターンを横軸に、全資料の位置の基準になる部位と尺度、空間の大きさを比較する部位と尺度の組み合わせを記したマトリックスを作成し、原則的にこれらの項目が全て一致する3資料以上の組み合わせを部位の配列による「空間の大きさの比較表現」の構成類型として抽出した(表4.5)。平面において空間の大きさを比較する部位は壁のみだったが、断面においては壁、床、屋根それぞれによる表現をみることができた。

以下、代表的な類型を中心に説明する。

類型①②③は屋根などの傾斜する部位をもたないため、複数の尺度が連動せず、平面、断面で独立するものであり、資料No. 01のように棒グラフによって断面で床が高さを変えながら配列し水平天井までの高さの違いをつくる「①床・高さ型」、資料No. 31のように平面で外壁面から放射あるいは貫入する壁の配列によって奥行きの違いをつくる「②壁・奥行き型」などをみることができた。

これ以降の9つの類型は屋根による表現、あるいは屋根と他の部位の重ね合わせによる表現である。まず類型④⑤⑥は断面と平面で複数の尺度が関数グラフによって連動するものであり、資料No. 16のように屋根勾配の方向に反復する壁によって、全体を通した一定の勾配をもとに奥行き方向に位置ごとの高さの違いが表われる「④屋根-壁・奥行き-高さ型」、資料No. 35のように軒と棟の高さを一定にすることで奥行きと勾配が連動し、勾配の違いが部分ごとに表われる「⑤屋根-壁・奥行き-勾配型」、あるいは資料No. 56のように断面、平面の両方で関数グラフを

もち、奥行き方向の軸に沿って幅と高さが共に大きくなっていくなど3つの尺度が連動する「⑥屋根 - 壁・幅 - 奥行き - 高さ型」である。これらは大屋根の勾配により複数の尺度が統合されているものである。さらに資料No. 46のように断面で勾配屋根のもとに奥行き方向に天井高の違いをつくり、同時に平面で壁の配列による幅の違いをつくるといったように、断面、平面両方向で、建築の尺度の表現が分離されて用いられている「⑦屋根 - 壁・幅 - 高さ型」もみられた。

また類型⑧⑨は屋根と壁の配列による奥行きと高さなど尺度の組み合わせが大きさやプロポーションを変えながら反復するもので、資料No. 32のように尺度の組み合わせをつくる配列と屋根と壁が反復する「⑧屋根 - 壁・奥行き - 高さ反復型」と、資料No. 03のように屋根の架構のフレームによる幅と勾配と高さの組み合わせを部分としての空間単位に重ね、それを直交方向に反復させる「⑨屋根 - 壁・幅 - 奥行き - 高さ - 勾配反復型」がみられた。

類型⑩⑪⑫は同じ尺度の組み合わせのなかに複数のグラフを重ね合わせるもので、資料No. 12のように断面で全体を覆う屋根による一定の勾配が、斜面の高低差に対応して段状に配列された複数の床によってそれぞれの位置ごとに奥行きと高さの関係を反復し、さらに壁の配列により幅を変化させる「⑩屋根 - 床 - 壁・幅 - 奥行き - 高さ型」、資料No. 10のように勾配屋根のもと平面で入れ子状に壁を配し外側と内側の2枚の壁の幅が高さとともに連続的に変化する「⑫屋根 - 2重壁・幅 - 高さ型」などがみられた。

## 第5節 部位の種類と尺度に注目した類型の比較

前節では部位の配列と尺度の関係をみることから構成類型を導いたが、ここではそれぞれの構成類型がどのように尺度を組み合わせているかをみることから部位の配列による「空間の大きさの比較表現」を考察する。これらの類型は幅、奥行き、高さ、勾配といった空間の大きさを比較する尺度が単一であるものと複数の尺度を組み合わせるものをみることができる（表4.6）。

まず類型①②③は空間の高さあるいは奥行きの差異を比較するものであり、床（①）、壁（②）、屋根（③）のそれぞれの部位の配列が単一の尺度により組織される形式であるといえる。次に類型④⑫は奥行きと高さによる表現で、屋根と壁によるものであり、いずれも屋根勾配を一定にすることで壁の配列が奥行きと高さの2つの尺度の連動のなかに組織され、大きさの異なる壁の配列が屋根勾配によって統合されている表現である。また類型⑤は軒と棟の高さを一定にすることで屋根の勾配と壁の奥行きの2つの尺度が連動し、屋根と壁を蝶番のように同時に変形させる表現である。さらに類型⑥⑩は幅、奥行き、高さによる、タイプ⑨は幅、奥行き、高さ、勾配の組み合わせによる表現であり、奥行き方向に空間の高さと幅が連続的に変化するなど、屋根と壁の配列が3つの尺度の連動のなかに組織されるもの（⑥）、4つの尺度の連動のなかに組織されるもの（⑨）などである。さらに類型⑦⑪は幅と高さ、タイプ⑧は奥行きと高さの組み合わせによる表現で、屋根と壁によるもの（⑦⑧）、屋根と床と壁によるもの（⑪）である。これらは一つの統合的な部位がない代わりに、幅と高さ、奥行きと高さといった尺度の組み合わせが部分としての空間単位に重ねられ反復される表現である。

このように、建築部位の配列と尺度による構成類型を比較することから、「部位の配列が単一の尺度で組織される」、「部位の配列が2つから4つの尺度の連動のなかに組織される」、「尺度の組み合わせが部分としての空間単位に重ねられ反復され

る」といった部位の配列による「空間の大きさの比較表現」の形式をみることができた。

屋根と壁の配列による表現だけみても、奥行きと高さ(④⑧⑫)、奥行きと勾配(⑤)、幅と奥行きと高さ(⑥)、幅と高さ(⑦)、幅と奥行きと高さと勾配(⑨)といったように、ある部位の構成のなかに、複数の尺度の組み合わせをみることができる。つまり組み合わせられる尺度のなかに空間の複雑さが現象するのである。ここに近代合理主義建築における規格寸法などによる絶対的な尺度の表現に対する、現代建築における多様性と複雑さの表現の一端があると考えられる。

## 第6節 小結

本研究では部位の配列による「空間の大きさの比較表現」がみられる現代の建築作品を対象に、断面と平面に表れるグラフのパターンを検討し、これらの組み合わせから建築部位の配列と尺度による構成類型を導いた。さらに類型同士を比較し、それらを考察することを通して、部位の配列による「空間の大きさの比較表現」がどのように成立しているかを明らかにした。

床、壁、屋根といった建築部位は外部環境から室内を守るシェルターや室内の行為の分割といった役割を担っているが、そうした実際的な役割に加えて、ここではさらに、位置の基準になる、空間の大きさを比較する、といった役割が各部位に配分され、これらの尺度の表現によって部位の配列が両義的に組織されるのである。すなわち部位の配列による「空間の大きさの比較表現」は、建築の部位の配列によって異なる空間の大きさの尺度を関係づける形式であり、敷地の高低差などの環境の差異や内部における行為の差異など、その建築が置かれている状況や条件に対する柔軟な応答を通して、現代建築の多様性や複雑さをもたらしているのである。

## 第4章 注

- 1) 部位 (building-element) : 屋根、床、壁、天井など、建築物を構成する面状の要素、またはその位置。建築部位。[ 建築学用語辞典／岩波書店 ]  
なお本研究はこれら面状の部位の配列によって制御される幅や高さといった空間の大きさの差異を分析するものであり、柱や梁などの線状の部位は扱わないものとする。
- 2) 一般に、ある記号がその指示対象としてその記号自体を有している事態を「自己言及的」であるという。芸術作品、特に文学においては、作品内にその作品自体に対する言及が含まれる場合、自己言及性があると言われる。本研究では建築作品のなかにみられる自己の内部で繰り返される同一の対応の比較のなかに表れる変化によって差異を判定する仕組みを指し、そこで表れる空間の大きさを比較する尺度を構成の問題として分析する（河本英夫：オートポイエーシス-第三世代システム、青土社、1995. 7）。
- 3) 本研究では狭義の「環境」を扱い、環境と建築部位との隣接、対応関係が明確だと思われる地面の勾配、敷地の形状、光量、降雨に対応する水勾配のみに限定している。
- 4) 本研究では、国際的に建築作品を扱った主要な建築ジャーナリズムのうち代表的なものと思われる「L' Architecture d' Aujourd' hui」「domus」「Architecture Review」「Quaderns」「2G」「Virtual Architecture」「都市と建築 (a+u)」、主に国内の作品を扱う「新建築」「新建築住宅特集」「建築文化」において、第2次世界戦後に発表された建築及び建築プロジェクトのうち、本論が定義する部位の配列による「空間の大きさの比較表現」がみられる64作品について掲載された図面や写真などを用いて分析した（付表）。
- 5) 部位の配列がつくる軸に対して平行方向を奥行き、直行方向を幅とする。
- 6) ここでは便宜的な設定として断面、平面に分けており、部位の配列と尺度の関係を断面、平面それぞれについてグラフによって表記する。また複数階をもつ資料については、環境への対応が表れる階の平面図を扱う。
- 7) 一作品のなかで異なるグラフのパタンが複数みられる場合は、それぞれをパタンとして抽出する。

## 第4章 参考文献

- 1) コーリン・ロウ：マニエリスムと近代建築，彰国社，1981. 10
- 2) 河本英夫：オートポイエーシス-第三世代システム，青土社，1995. 7
- 3) 田中正洋，塚本由晴ほか：現代の建築作品における空間構成のパラメータによる表現，日本建築学会大会学術講演梗概集（関東）. F-2, pp. 525-528, 2001. 8
- 4) 塚本由晴，坂本一成：住宅建築の構成形式に関する研究 日本建築学会計画系論文集 466号，pp. 85-93, 1994. 11 / 470号，pp. 95-104, 1995. 4 / 480号，pp. 113-121, 1996. 2
- 5) 本論文は以下を一部修正してまとめたものである。  
長谷川豪，塚本由晴，長岡大樹，吉村英孝：グラフにより表記される部位の配列と尺度の関係 建築部位の配列による量を測る尺度の表現 (1)，日本建築学会大会学術講演梗概集（北陸）. F-2, pp. 569-570, 2002. 8  
長谷川豪，塚本由晴，長岡大樹，吉村英孝：建築部位の配列と尺度による構成の形式 建築部位の配列による量を測る尺度の表現 (2)，日本建築学会大会学術講演梗概集（北陸）. F-2, pp. 571-572, 2002. 8

表 4.1 環境に内在する差異を測る部位の配列

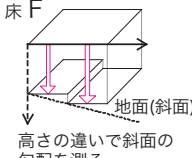
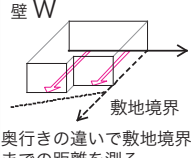
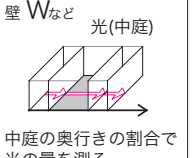
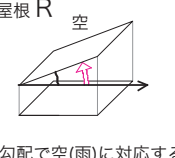
 <p>床 F 地面(斜面) 高さの違いで斜面の勾配を測る</p>	 <p>壁 W 敷地境界 奥行きの違いで敷地境界までの距離を測る</p>	 <p>壁 Wなど 光(中庭) 中庭の奥行きの割合で光の量を測る</p>	 <p>屋根 R 空 勾配で空(雨)に対応する</p>
--	---	--	--

表 4.2 部位の配列がつくる軸

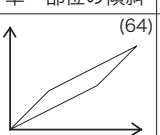
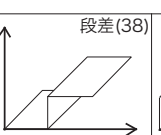
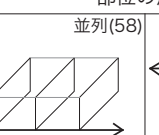
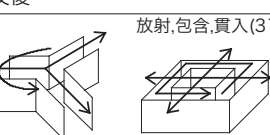
 <p>傾斜 (64)</p>	 <p>段差 (38)</p>	 <p>並列 (58)</p>	 <p>放射, 包含, 貫入 (31)</p>
--	--	--	---

表 4.3 部位の配列における空間の大きさの尺度

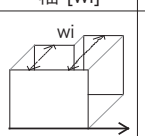
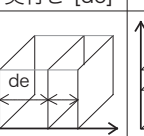
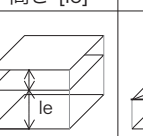
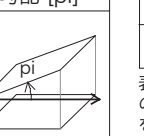
 <p>幅 [wi]</p>	 <p>奥行 [de]</p>	 <p>高さ [le]</p>	 <p>勾配 [pi]</p>	<p>[凡例]</p> <p>→ 位置の基準になる軸</p> <p>--- 空間の大きさを比較する軸</p> <p>表2註)放射など同心方向の配列の軸には-r(=radial)を、さらにその中心にはG(=Geometry)を付す。</p>
---	--	--	---	---

図 4.1 分析例 1

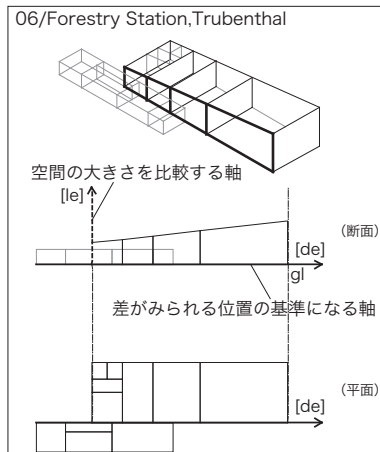


表 4.5 の表記例

	パターン	位置の基準		空間の大きさの比較	
		部位	尺度	部位	尺度
断面	関+帯	W	[de]	R	[le]
平面	帯	W	[de]		

図 4.2 分析例 2

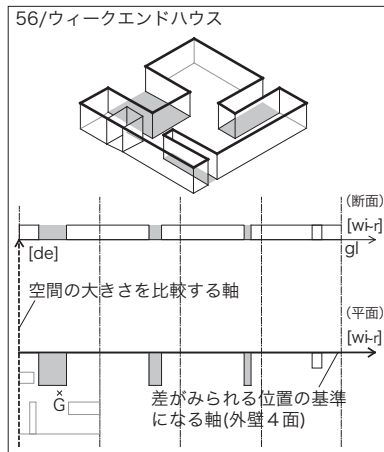


表 4.5 の表記例

	パターン	位置の基準		空間の大きさの比較	
		部位	尺度	部位	尺度
断面	帯	W	[wi-r]		
平面	棒	W	[wi-r]	W	[de]

表 4.4 部位の配列と尺度の関係

	部位の配列とグラフのパターン	位置の基準		空間の大きさの比較		パタンの個数	作品例	
		部位	尺度	部位	尺度			
割合の比較 (帯グラフ)	帯 1軸方向に反復  (31)	W	[de]			14	 No.16	
		W	[de]			7		
		W	[wi-r]			5		
		F	[le]			5		
	帯in帯 1軸方向に反復 + 階層  (21)	W	[de]	W	[wi]	14	 No.25	
		W	[wi]	W	[de]	3		
		W	[de]	F	[le]	3		
		F	[le]	W	[de]	1		
	帯x帯 2軸方向に反復  (13)	W	[de]	W	[wi]	3	 No.55	
		W	[de]	F	[le]	9		
		W	[wi-r]	F	[le]	1		
	量の比較 (棒グラフ)	棒 放射  (11)	W	[wi-r]	W	[de]	10	 No.31
W			[wi-r]	F	[le]	1		
棒x帯 段状  (45)		W	[de]	W	[wi]	9	 No.18	
		W	[wi-r]	W	[de]	6		
		W	[de]	F	[le]	17		
		W	[de]	R	[le]	6		
		W	[wi]	F	[le]	6		
		F	[le]	W	[de]	1		
尺度間の連動 (関数グラフ)		関 傾斜  (15)	W	[de]	W	[wi]	3	 No.42
			W	[wi]	W	[de]	2	
	W		[de]	R	[le]	5		
	W		[wi-r]	R	[pi]	2		
	W		[wi]	R	[le]	2		
	W		[wi]	F	[le]	1		
	関on帯 傾斜 + 階層  (29)	W	[de]	W	[wi]	4	 No.16	
		W	[wi]	W	[de]	1		
		W	[de]	R	[le]	19		
	関x帯 傾斜 + 反復 (階層なし)  (6)	W	[de]	R	[pi]	3	 No.35	
		W	[wi]	R	[le]	1		
		W	[wi]	R	[pi]	1		
		F	[le]	W	[de]	1		
	曲 曲線  (8)	W	[de]	W	[wi]	1	 No.07	
		W	[wi-r]	W	[de]	1		
W		[de]	R	[le]	5			
W		[wi-r]	F	[le]	1			
曲on帯 曲線 + 階層  (3)	W	[wi]	W	[de]	1	 No.07		
	W	[de]	R	[le]	2			
(68)	折 周 傾斜の反復  (7)	W	[de]	W	[wi]	1	 No.15	
		W	[de]	R	[le]	5		
		F	[le]	W	[wi]	1		

表 4.4 註) 括弧内は各パタンの個数を、網がけ部分は断面のパターンを示す。各記号、軸の種類については表 4.1 ~ 4.3 および凡例の通り。[帯]については位置の基準になる部位の配列が同時に量の比較もしているため、量の比較をする部位と尺度はなしとする。

表 4.5 部位の配列による空間の大きさの比較表現の類型

断面	壁が空間の大きさを比較 (59)			2枚の壁が空間の大きさを比較 (5)	
	帯グラフ [帯] [帯in帯] [帯×帯]	棒グラフ [棒] [棒×帯]	関数グラフ [関] [関on帯]	棒と棒 [棒]+[棒×帯]	棒と曲線 [棒]+[曲]
壁が比較 (2)	59) F[le], W[de] / W[de]	49) F[le], W[de]# / W[wi-r], W[de]			
	09) W[de], F[le] / W[wi], W[de] 11) W[de], F[le] / W[de] 33) W[de], F[le]# / W[wi] 55) W[wi-r], FR[le] / W[wi-r] 48) W[de], F[le] / W[de], W[wi]	36) F[le] / W[wi-r], W[de] 37) F[le] / W[wi-r], W[de] 31) W[wi-r] / W[wi-r], W[de] <b>②壁・奥行き型</b>	20) W[de], F[le] / W[de], W[wi]	38) W[de] / W[wi-r], W[de] + W[wi-r], W[de]	
	01) W[de], F[le] / W[de] 04) W[de], F[le] / W[de], W[wi] 58) W[de], F[le]# / W[de]	 <b>①床・高さ型</b>	 17) W[de-r], F[le]# / W[de-r], W[wi] 23) W[wi], F[le] / W[wi], W[de] 24) W[de], R[le]# / W[de], W[wi]		
床が空間の大きさを比較 (18)	18) W[de], R[le] / W[de] 57) W[de], R[le]# / W[wi], W[de] 60) W[de], R[le] / W[wi], W[de]	 <b>③屋根・高さ型</b>		45) W[de], R[le] / W[wi-r], W[de]+W[wi-r], W[de]	
	25) W[wi], R[le] / W[de], W[wi] 52) W[wi], R[le] / W[de], W[wi] 44) W[wi], C[le]# / W[de], W[wi]	46) W[de], R[le]# / W[de], W[wi] 26) W[de], R[le] / W[de], W[wi] 47) W[de], R[le] / W[de], W[wi]	56) W[de], R[le] / W[de], W[wi] 06) W[de], R[le]# / W[de], W[wi] 54) W[de], R[le] / W[de], W[wi] 50) W[de], R[le]# / W[wi], W[de]#	10) W[de], R[le]# / W[wi-r], W[de] + W[wi-r], W[de]# 13) W[de], R[le]# / W[wi-r], W[de] + W[wi-r], W[de]# 64) W[de], R[le]# / W[wi-r], W[de] + W[wi-r], W[de]#	
	16) W[de], R[le] / W[de] 27) W[de], R[le]# / W[de], W[wi] 53) W[de], R[le]# / W[de], W[wi]	 <b>⑦屋根壁・幅・高さ型</b>	 <b>⑥屋根壁・幅・奥行き・高さ型</b>	 <b>⑫屋根-2重壁・奥行き・高さ型</b>	
屋根が空間の大きさを比較 (30)	35) W[de], R[pi]# / W[de], W[wi] 42) W[de], R[pi]# / W[de], W[wi] 43) W[de], R[pi]# / W[de]	 <b>⑤屋根壁・奥行き・勾配型</b>			
	19) W[wi], R[le]# / W[de], W[wi] [折] 41) W[de], R[le]# / W[de] 08) W[de], R[le] / W[de] [周] 15) W[de], R[le]# / W[de], W[wi]				
	32) W[de], R[le] * 5 # / W[de], W[wi] 07) W[de], R[le] * 4 # / W[de], W[wi]# 51) W[de-r], R[le] * 4 # / W[de-r], W[wi]	 <b>⑧屋根壁・奥行き・高さ反復型</b>			
空2間方向の大きさを比較 (5)	03) W[wi], R[pi] + W[de], R[le] / W[de], W[wi] 29) W[wi], R[pi] + W[de], R[le] / W[de], W[wi] 63) W[wi], R[pi] + W[de], R[le] / W[de], W[wi]		 <b>⑨屋根壁・幅・奥行き・高さ・勾配反復型</b>		
	14) W[de], F[le] + W[de], R[le]# / W[de], W[wi]# 22) W[wi], R[le] + W[de], R[le] / W[de], W[wi]				
	02) W[de], F[le] + W[de], R[le] / W[de], W[wi] 34) W[de], F[le] + W[de], R[le] / W[de], W[wi] 61) W[de], F[le] + W[de], R[le]# / W[de], W[wi]	 <b>⑩屋根-床壁・幅・奥行き・高さ型</b>			
空屋間根の大きさを比較 (9)	62) W[de], F[le]+W[de], R[le] / W[de-r]	28) W[de], F[le] + W[de], R[le] / W[wi-r], W[de]	 <b>⑪屋根-床壁・幅・奥行き・高さ型</b>		
	12) W[de], F[le] + W[de], R[le] / W[de], W[wi] 30) W[de], F[le] + W[de], R[le] / W[de], W[wi] 39) W[de], F[le] + W[de], R[le]# / W[de], W[wi] 40) W[de], F[le] + W[de], R[le] / W[de], W[wi]				
	05) W[wi], F[le]+W[wi], R[le] / W[wi], W[de]				

**凡例**

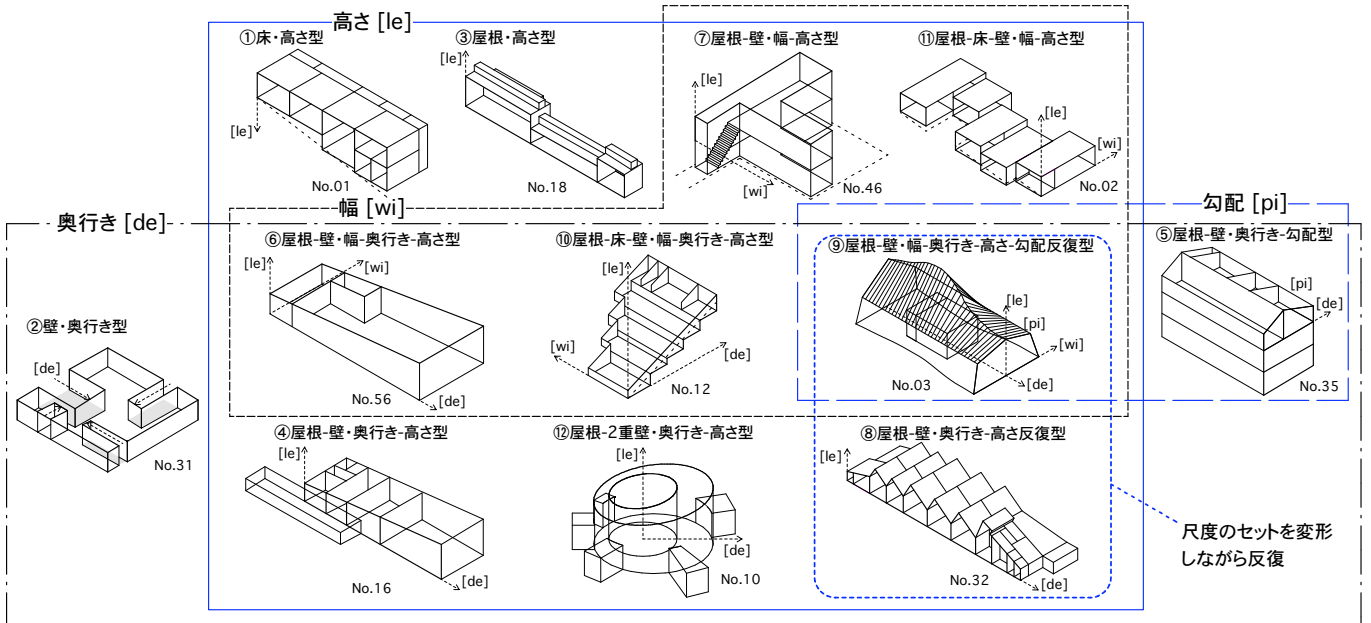
資料no. 断面のグラフ      平面のグラフ

46) W[de], R[le] / W[de], W[wi]

位置の基準となる部位と尺度  
空間の大きさを比較する部位と尺度

表 4.5 註)  
・表中括弧内は該当する作品数を示す  
・表中網掛けは各類型に特徴的な部位と尺度を示す  
・「#」は複数のグラフパランの代表的なものを示す

表 4.6 部位の種類と尺度に注目した類型の比較



付表 研究事例リスト

No	作品	作者	掲載誌/号
1	傾斜地に建つ家	林雅子	新建築/5809
2	ユニットプランの住宅	坂倉大版	新建築/6306
3	山荘・もうびいでいっく	宮脇檀	新建築/6701
4	海の階段	篠原一男	新建築/7207
5	谷川さんの家	篠原一男	新建築/7510
6	鴨居の家	長谷川逸子	新建築/7602
7	シルバーハット	伊東豊雄	新建築/8501
8	熊本の住宅	長谷川逸子	新建築住宅特集/8701
9	Y-HOUSE	妹島和世	新建築住宅特集/9405
10	森の別荘	妹島和世	新建築住宅特集/9405
11	Goetz art gallery	Herzog&de Meuron	都市と建築(a+u)/9509
12	UNESCO Laboratory-workshop	Renzo Piano	Architectural Review/9509
13	本町田の住宅	DESK5	新建築住宅特集/9510
14	都市博覧消センター棟	妹島和世	建築文化/9601
15	Winterthur Museum of Modern Art	Gigon&Guyer	都市と建築(a+u)/9604
16	Forestry Station,Trubenthal	Burkhalter und Christian Sumi	都市と建築(a+u)/9605
17	S	青木淳	新建築住宅特集/9608
18	House for Sculptures	P.Markli	都市と建築(a+u)/9611
19	マルチメディア工房	妹島和世+西沢立衛	新建築/9701
20	Lisson Gallery 1	Tony Fretton	都市と建築(a+u)/9703
21	立川のハウス	西沢大良	新建築住宅特集/9704
22	House Secherre	Jasques Hondelatte	L'Architecture d'Aujourd'hui/9811
23	M-House	妹島和世+西沢立衛	新建築住宅特集/9709
24	Burnette Studio/Residence	Wendell Burnette	都市と建築(a+u)/9711
25	one-family house	Lacaton Vassal	domus/9804
26	熊谷のハウス	西沢大良	新建築住宅特集/9804
27	New Building for Veenman Printers	Neutelings Riedijk	都市と建築(a+u)/9809
28	RUV	MVRDV	都市と建築(a+u)/9809
29	Exhibition and Visitor Center	Greg Lynn	Virtual Architecture
30	Duplex House	AG.Fronzoni&G.Bortolotti	都市と建築(a+u)/9811
31	ウィークエンドハウス	西沢立衛	新建築住宅特集/9811
32	Museum Liner Appenzell	Gigon&Guyer	都市と建築(a+u)/9812
33	大田のハウス	西沢大良	新建築住宅特集/9812
34	House in Steinaweg	Adolf Krischanitz	L'Architecture d'Aujourd'hui/9901
35	House in Leiterberg	Wilhelm&Maria Huber	L'Architecture d'Aujourd'hui/9901
36	ミニ・ハウス	アトリエ・ワン	新建築住宅特集/9901
37	M-house	阿部仁史	新建築住宅特集/9904
38	VILLA	Dominique Perrault	都市と建築(a+u)/9906
39	Willmann-Lotscher House	V.Bearth&A.Deplazes	都市と建築(a+u)/9906
40	Parallel House	M.McGarry&S.NiEanaigh	都市と建築(a+u)/9907
41	Single-family house in Zurich	Gigon&Guyer	都市と建築(a+u)/9909
42	川西町コテージB	アトリエ・ワン	新建築/9908
43	Switching Box SBB	Gigon&Guyer	都市と建築(a+u)/9909
44	諏訪のハウス	西沢大良	新建築住宅特集/9909
45	桜上水K邸	伊東豊雄	新建築住宅特集/0004
46	C	青木淳	新建築住宅特集/0009
47	House in Lage Cap-Ferret	Lacaton Vassal	都市と建築(a+u)/0011
48	八王子の家	手塚建築研究所	新建築住宅特集/0011
49	小さな家	妹島和世	新建築/0011
50	ハウス・サイコ	アトリエ・ワン	新建築/0103
51	ハウス・アサマ	アトリエ・ワン	新建築/0103
52	屋根の家	手塚建築研究所	新建築住宅特集/0108
53	House in Aggstell	Hild und K	都市と建築(a+u)/0110
54	SAK	石田敏明	新建築/0111
55	Art Museum in Bregenz	Peter Zumtor	都市と建築(a+u)/別冊
56	Photographic Studio Frei	Herzog&de Meuron	Quaders/167+168
57	Casa Mora	Abalos&Herreros	Quaders/230
58	Kern house	Baumschlager&Eberle	2G/11
59	Buchel House	Baumschlager&Eberle	2G/11
60	Extension of the St Luziensteigbarraks	Jungling&Hagmann	2G/14
61	School & Multipurpose Hall	Jungling&Hagmann	2G/14
62	Operation Center	Jungling&Hagmann	2G/14
63	Belgo Restaurant,London	FOA	2G/16
64	曾谷の家	DESK5	新建築住宅特集/9811

## 第5章

構成単位の違いからみた

空間の大きさの比較表現

本論文ではここまで、2章では階の構成、3章では室の配列、4章では部位の配列と、建築の構成単位ごとに「空間の大きさの比較表現」を検討してきたが、本章ではそうした構成単位の違いからみた「空間の大きさの比較表現」について考察する。

それぞれの「空間の大きさの比較表現」の分析方法の違いに着目しながらみていくと、まず2章で検討した階の構成においては、階の構成に内在する対比と、そこに投影される外部環境にある空と地面の対比のなかでの2つの対立軸の組み合わせとして検討された。このように鉛直方向の関係性が問題になる階という構成単位においては、**<対比>**が「空間の大きさの比較表現」に秩序を与えている。

3章で検討した室の配列においては、空間の大きさの違いと「直接比較」／「間接比較」という2つの比較方法の違いによる室のまとまりの階層性が検討された。室の配列には動線やプログラムなどによっても階層が与えられるが、そうしたものは別のもう一つの**<階層>**が「空間の大きさを比較する表現」に秩序を与えている。

また4章で検討した部位の配列においては、それぞれの部位に「位置の基準になる」「空間の大きさを比較する」といった役割が配分されることで平面や断面にグラフのような性格が見出され、複数の尺度の連動をみることができる。このように部位の配列においては、**<尺度間の連動>**が「空間の大きさの比較表現」に秩序を与えている。

さらにそれぞれの「空間の大きさの比較表現」において、こうした**<対比>**、**<階層>**、**<尺度間の連動>**といった秩序を、それぞれ様々なかたちで利用する表現とともに、それらを利用しないという表現もみることができた。利用しないという表現とは、2章においては上下階で空間の大きさの差異をつくらず上階で勾配屋根を隠し地面と空の対比関係を利用しないもの（類型A、D）、3章においては単一の「空間の大きさを比較する表現」によって建築全体が差異づけられた複数の室に一遍に分解され階層をもたないもの（直接型、間接型）、4章においては建築全体を統合

する部位による連続量によらず単一の尺度で断片的に空間の大きさを比較するもの（類型②）である。

このように「空間の大きさの比較表現」は、＜対比＞（階）、＜階層＞（室）、＜尺度間の連動＞（部位）といった秩序を持ち込むことによって複雑さをまとめようとするもの（秩序を「利用する」表現）と、そうした秩序を注意深く採用しないようにして複雑なものを複雑なまま表すもの（秩序を「利用しない」表現）を共にもつことによって、現代建築に多様性や複雑さをもたらしているということが出来る。このどちらかが良いということではなく、それらの違いを相対的に捉えられる批評的な体系をここで見出したということだと考えられる。

## 第 6 章

### 結論

本研究は、一つの建築のなかで互いを参照し合いながら空間の大きさを部分同士の関係づけに利用する尺度の表現を「空間の大きさの比較表現」と呼び、現代建築においてこうした表現が、階、室、部位といった構成単位ごとにどのように成立しているかを明らかにするものである。

第1章ではまず、一つの建築のなかで互いを参照し合いながら空間の大きさを部分同士の関係づけに利用する尺度の表現を「空間の大きさの比較表現」と呼び、現代建築においてこうした表現がどのように成立しているかを明らかにするという研究の目的を述べ、さらに階の構成、室の配列、部位の配列、といった建築の構成単位ごとに「空間の大きさの比較表現」を検討し、その統合のあり方から類型を導くという、研究の方法について述べた。

第2章では、階の構成を単位としたときの「空間の大きさの比較表現」について検討した。第2次世界大戦後に発表された複数の階をもつ国内の住宅作品を対象として、天井高や平面の大きさの違い、エントランスの位置などによる各階の性格づけを検討し、まずは天井高と平面の大きさの違いから空間の大きさの違いによる「階構成」を検討した。さらにエントランスの位置、エントランスの位置、下階と地面の関係、上階と屋根の関係も合わせてみることから階の構成による「空間の大きさの比較表現」の類型を抽出し、さらにそれら類型同士を空と地面の対比関係とともに比較することから、

＜空との隣接性を強調する表現＞

＜地面との隣接性を強調する表現＞

＜空と地面との隣接性を上下階で別々に利用する表現＞

＜空と地面の両方との隣接性を衝突させる表現＞

＜空と地面の対比を利用しない表現＞

といった階の構成による「空間の大きさの比較表現」の形式を明らかにした。

第3章では、室の配列を構成単位としたときの「空間の大きさの比較表現」について検討した。まず「空間の大きさの比較表現」を成立させる室の配列と種類、および空間の大きさを比較する尺度として、差異を表現する尺度を「パラメータ」、同一性を表現する尺度を「コンスタント」とした。室の配列の種類、反復の方向、「パラメータ」と「コンスタント」の組み合わせであるセットから、室の配列による「空間の大きさを比較する表現」を捉え、さらに空間の大きさの比較方法として「**直接比較**」と「**間接比較**」の2つがあることを見出したうえで、室の配列による「空間の大きさの比較表現」を分析する階層図を全事例について作成した。さらに一作品の括りのなかで各事例の階層図を分析することで室の配列による「空間の大きさの比較表現」の類型を導いたうえで、類型同士を室の種類と階層に着目して比較するとともに、こうした表現が建築の規模や用途にどのように呼応しているかを検討し、

<1つの空間の大きさの比較方法による表現>

<同一の空間の大きさの比較方法を繰り返す表現>

<2つの異なる空間の大きさの比較方法を階層化させる表現>

<2つの異なる空間の大きさの比較方法を並置させる表現>

といった室の配列による「空間の大きさの比較表現」の形式を明らかにした。

第4章では、部位の配列を構成単位としたときの「空間の大きさの比較表現」について検討した。まず床、壁、屋根、天井といった建築部位の種類、配列の軸、さらに空間の大きさを比較する尺度を整理し、平面や断面に表れるグラフのパランを検討し、これらの組み合わせから部位の配列による「空間の大きさの比較表現」の類型を導いた。さらにそれぞれの類型がどのように部位と尺度を組み合わせているかをみることから類型同士を比較し、

<部位の配列が単一の尺度で組織される>

<部位の配列が2つから4つの尺度の連動のなかに組織される>

<尺度の組み合わせが部分としての空間単位に重ねられ反復される>

といった部位の配列による「空間の大きさの比較表現」の形式を明らかにした。

さらに第5章では、第2章から4章の検討結果をもとに「空間の大きさの比較表現」が建築の構成単位によってどのような違いを示しているかを検討し、こうした表現が、〈対比〉（階）、〈階層〉（室）、〈連続量〉（部位）といった秩序を、それぞれどのように利用するかという様々な表現に加え、それらを利用しないという表現を共に位置づけることによって、「空間の大きさの比較表現」が現代建築に多様性や複雑さをもたらす批評的な体系を明らかにした。

以上で述べた各章の結論は、現代建築作品における「空間の大きさの比較表現」がどのように成立しているかを明らかにし、またこうした表現が現代建築の多様性や複雑さの一端を担うことを示すものだということができる。さらにここで得られた有効な知見をもとに、今後の建築設計において展開し、より高次の表現を生み出すことが可能であると考えられる。

以上をもって、本論文の結論とする。

## 関連論文目録

### <本論に関する審査論文>

(本論2章に対応)

長谷川豪, 塚本由晴: 空間の大きさを比較する階の構成 現代建築作品の空間構成における同一性と差異 (3), 日本建築学会計画系論文集 第80巻 第709号, p737-743, 2015年3月掲載予定

(本論3章に対応)

長谷川豪, 塚本由晴, 田中正洋: 空間の大きさを比較する室の配列 現代建築作品の空間構成における同一性と差異 (2), 日本建築学会計画系論文集 第79巻 第699号, p1257-1264, 2014年5月

(本論4章に対応)

長谷川豪, 塚本由晴: 建築部位の配列による量を比較する尺度の表現 現代建築作品の空間構成における同一性と差異 (1), 日本建築学会計画系論文集 第77巻 第673号, p733-738, 2012年3月

### <本論に関する口頭発表論文>

(本論2章に対応)

長谷川豪, 塚本由晴, 長岡大樹: 複数の階をもつ住宅作品の構成形式に関する研究, 日本建築学会大会学術講演梗概集 F-2, p519-520, 2000年9月

(本論3章に対応)

田中正洋, 塚本由晴, 長岡大樹, 吉村英孝: 現代の建築作品における空間構成のパラメータによる表現, 日本建築学会大会学術講演梗概集 F-2, p525-528, 2001年8月

(本論4章に対応)

長谷川豪, 塚本由晴, 長岡大樹, 吉村英孝: 建築部位の配列による量を測る尺度の表現, 日本建築学会大会学術講演梗概集 F-2, p569-571, 2002年8月

### <その他の口頭発表論文>

13編 <日本建築学会大会学術講演梗概集(共著)>

## 現代建築作品における空間の大きさの比較表現

### 資料編

第2章 階の構成による空間の大きさの比較表現

第3章 室の配列による空間の大きさの比較表現

第4章 部位の配列による空間の大きさの比較表現

第2章 階の構成による空間の大きさの比較表現  
(全154作品)

平面図

断面図

写真

作品番号	層数	各階を性格づける特徴					建蔽率	構成類型
		天井高	平面の大きさ	エントランス	下階と地面	上階と屋根		
作品名								
建築家名								
掲載誌								

## 凡例

- ・天井高  
吹抜けなし 全：全階同一 下：下階最大 中：中階最大 上：上階最大  
吹抜けあり 下中V：吹抜けが下中階 中中V：吹抜けが中中階  
中上V：吹抜けが中上階 下上V：吹抜けが下上階
- ・平面の大きさ  
全：全階同一 下：下階最大 下中：下中階最大 中：中階最大  
中上：中上階最大 上：上階最大
- ・エントランス  
全：全階 下：下階 中：中階 上：上階
- ・地階と地面の関係  
地下 地中 地上 上空
- ・上階と屋根  
／：表す ／’：表す+隠す ー：陸屋根 ー’：隠す

註) 階 の一部分で天井高を高くとしているものは「^」を添えた

「建蔽率」は小数点以下を四捨五入し、括弧は週末住宅や離れの作品の建蔽率を、\*は建蔽率が不明の作品を示す

平面図

断面図

写真

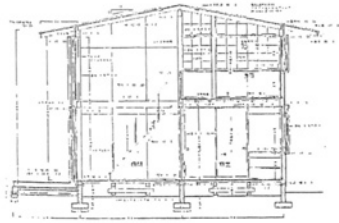
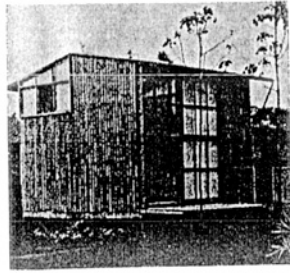
作品番号	層数	各階を性格づける特徴					建蔽率	構成類型
		天井高	平面の大きさ	エントランス	下階と地面	上階と屋根		
作品名								
建築家名								
掲載誌								

## 凡例

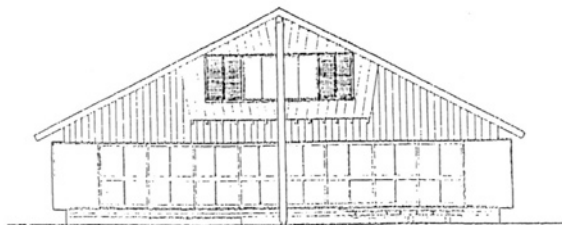
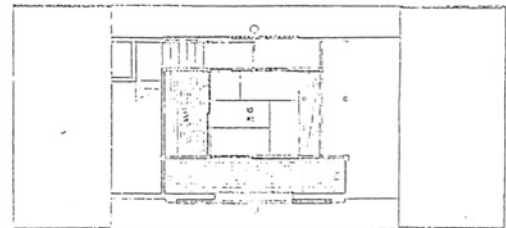
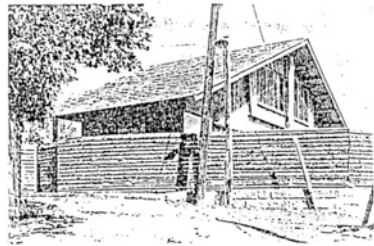
- ・天井高  
吹抜けなし 全：全階同一 下：下階最大 中：中階最大 上：上階最大  
吹抜けあり 下中V：吹抜けが下中階 中中V：吹抜けが中中階  
中上V：吹抜けが中上階 下上V：吹抜けが下上階
- ・平面の大きさ  
全：全階同一 下：下階最大 下中：下中階最大 中：中階最大  
中上：中上階最大 上：上階最大
- ・エントランス  
全：全階 下：下階 中：中階 上：上階
- ・地階と地面の関係  
地下 地中 地上 上空
- ・上階と屋根  
／：表す ／’：表す+隠す ー：陸屋根 ー’：隠す

註) 階 の一部分で天井高を高くとしているものは「^」を添えた

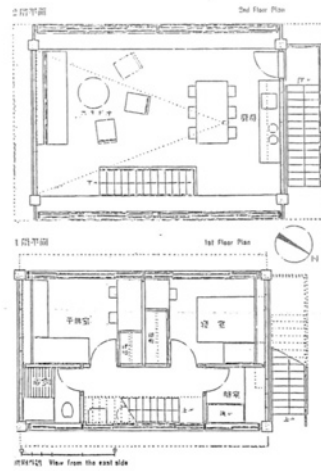
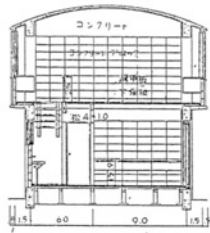
「建蔽率」は小数点以下を四捨五入し、括弧は週末住宅や離れの作品の建蔽率を、\*は建蔽率が不明の作品を示す



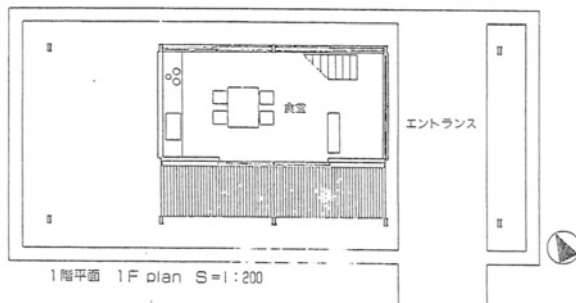
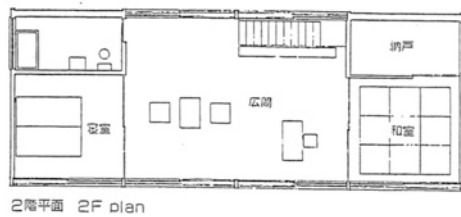
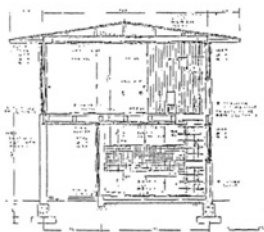
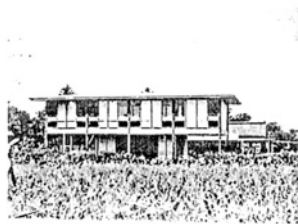
1 増沢自邸 増沢洵 5202	層数	各階を性格づける特徴					建蔽率	構成類型
		天井高	平面の大きさ	エントランス	下階と地面	上階と屋根		
	2	下上V	全	下	地上	/	5	I



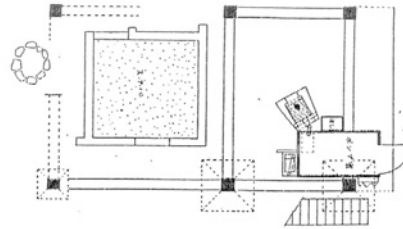
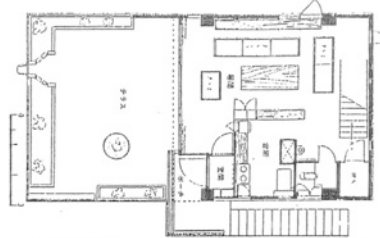
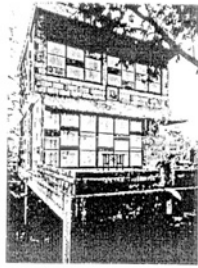
2 竹田教授の家 清家清 5205	層数	各階を性格づける特徴					建蔽率	構成類型
		天井高	平面の大きさ	エントランス	下階と地面	上階と屋根		
	2	下上V	下	下	地上	/	12	M



3	層数	各階を性格づける特徴					建蔽率	構成類型
		天井高	平面の大きさ	エントランス	下階と地面	上階と屋根		
		上	全	上	地上	/		
稲村隆正の家 増沢洵 5411	2							



4	層数	各階を性格づける特徴					建蔽率	構成類型
		天井高	平面の大きさ	エントランス	下階と地面	上階と屋根		
		全	上	下	地上	—		
久我山の家 篠原一男 5411	2							



5

吉坂自邸  
吉坂隆正  
5511

層数

各階を性格づける特徴

建蔽率

構成類型

天井高

平面の大きさ

エントランス

下階と地面

上階と屋根

2

全

全

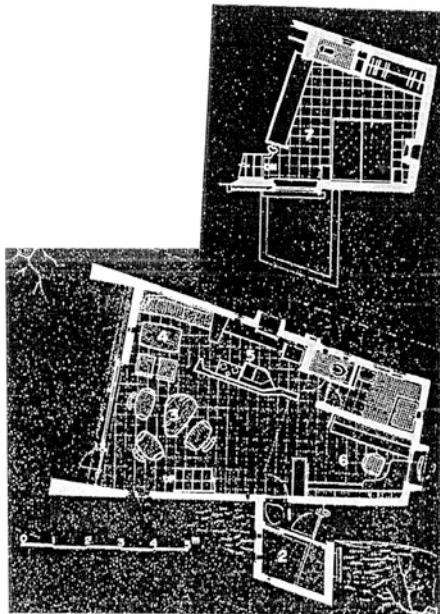
下

上空

—

16

B



6

villa Cou Cou  
吉坂隆正  
5712

層数

各階を性格づける特徴

建蔽率

構成類型

天井高

平面の大きさ

エントランス

下階と地面

上階と屋根

2

下上V

下

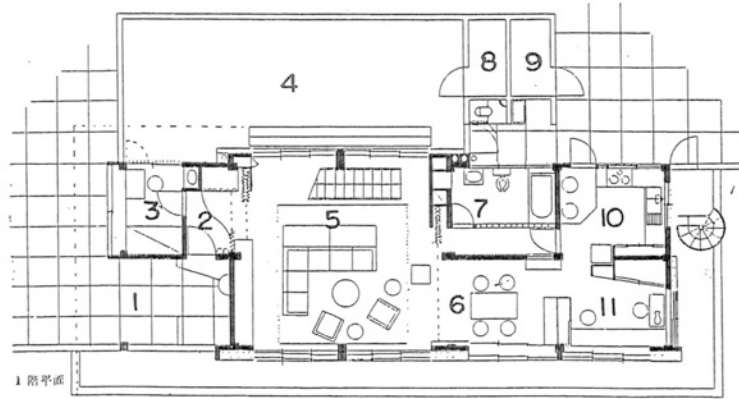
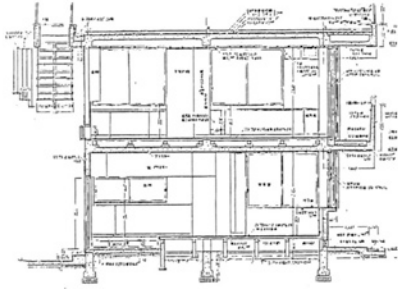
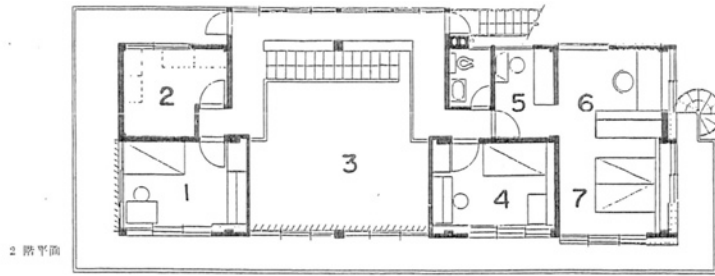
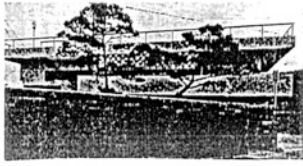
下

地上

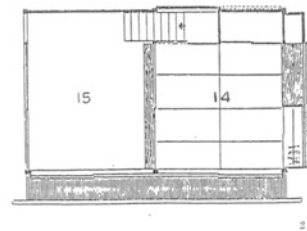
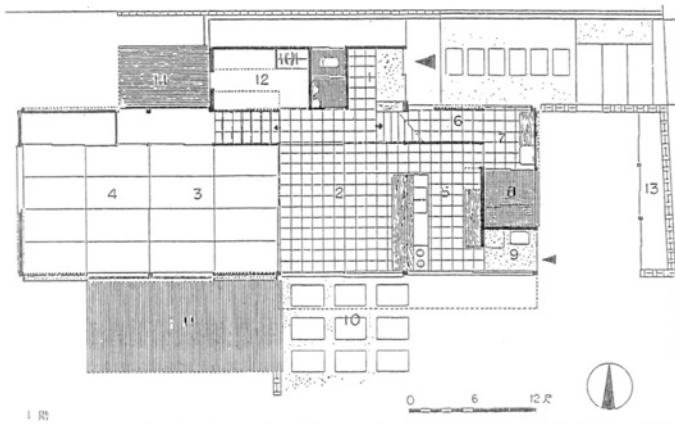
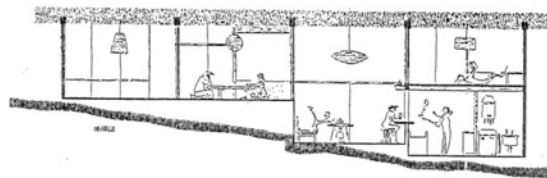
/

\*

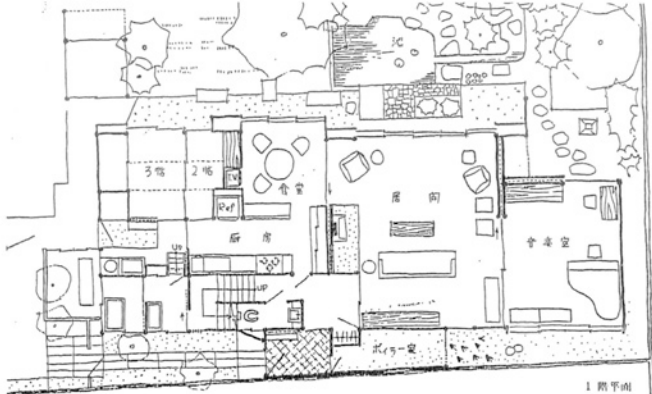
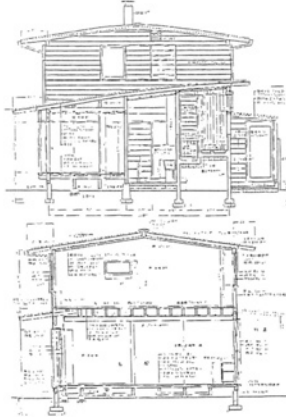
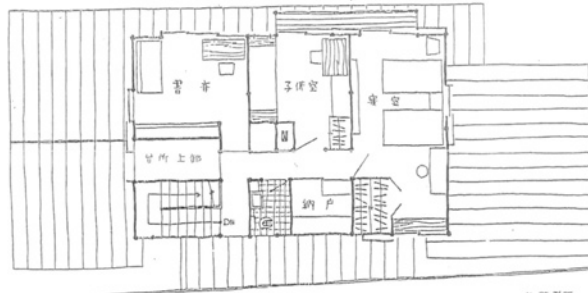
M



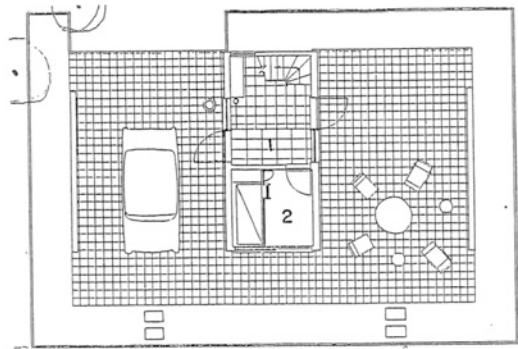
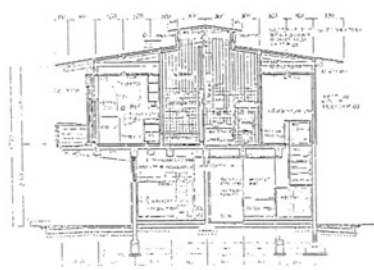
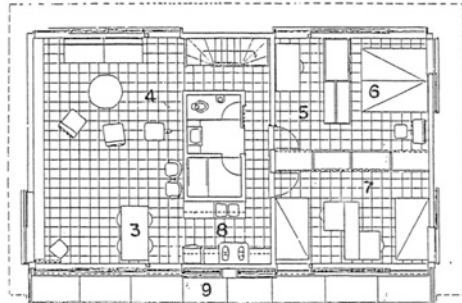
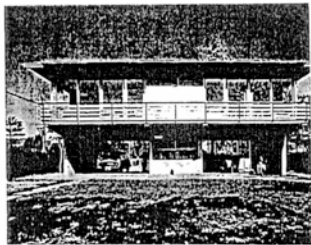
7 岩波邸 堀口捨己 5801	層数	各階を性格づける特徴					建蔽率	構成類型
		天井高	平面の大きさ	エントランス	下階と地面	上階と屋根		
	2	下上V	全	下	地上	—	28	H



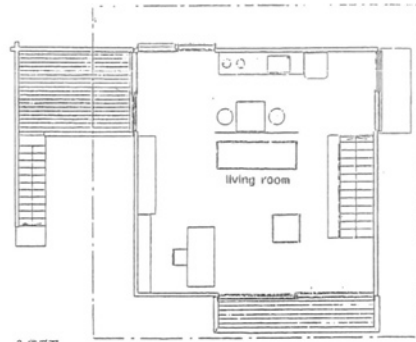
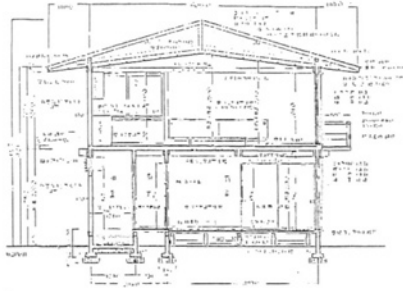
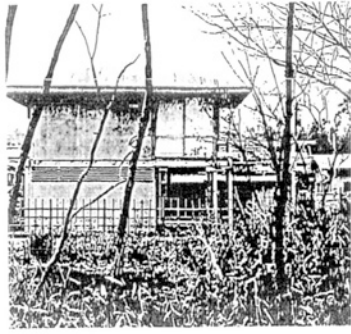
8 傾斜地に建つ家 林雅子 5809	層数	各階を性格づける特徴					建蔽率	構成類型
		天井高	平面の大きさ	エントランス	下階と地面	上階と屋根		
	2	下上V	下	下	地中	—	23	L



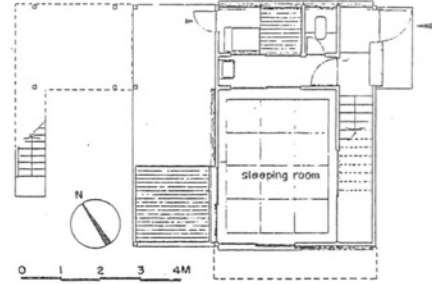
<p>9</p> <p>50坪の木造住宅</p> <p>吉村順三</p> <p>5910</p>	層数	各階を性格づける特徴					建蔽率	構成類型
		天井高	平面の大きさ	エントランス	下階と地面	上階と屋根		
	2	下'	下	下	地上	/	*	C



<p>10</p> <p>Case Study House #3</p> <p>増沢洵</p> <p>6004</p>	層数	各階を性格づける特徴					建蔽率	構成類型
		天井高	平面の大きさ	エントランス	下階と地面	上階と屋根		
	2	全	上	下	地上	/	19	B

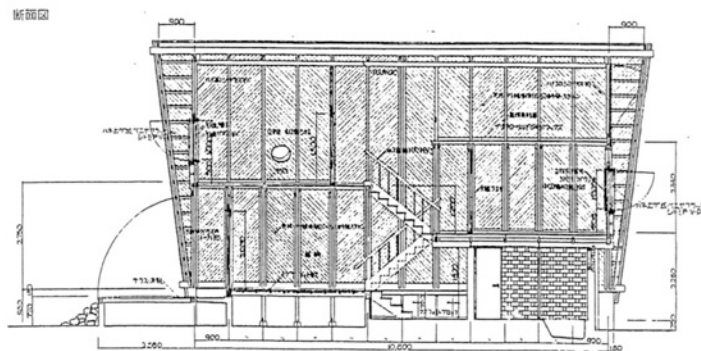
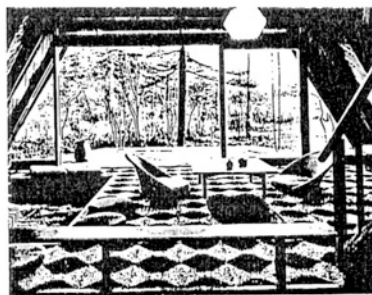


2 階平面

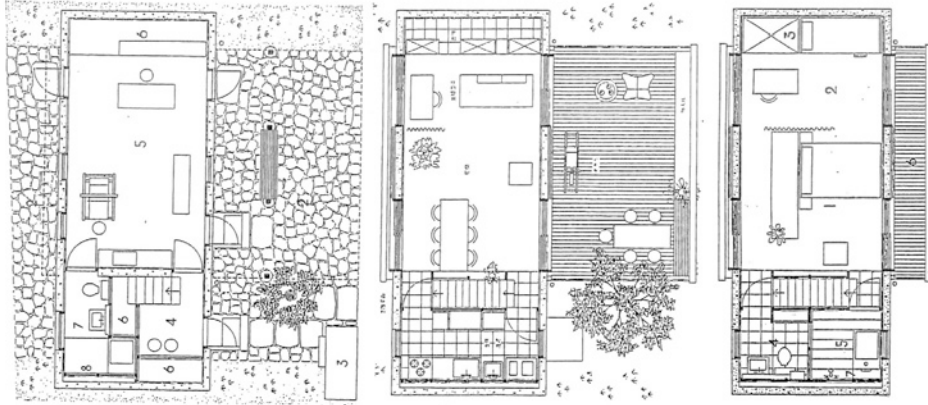
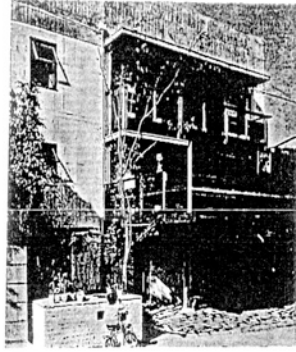


1 階平面

11 狛江の家 篠原一男 6004	層数	各階を性格づける特徴					建蔽率	構成類型
		天井高	平面の大きさ	エントランス	下階と地面	上階と屋根		
	2	全	上	全	地上	/	25	B



12 合唱の山荘 日建設計 6404	層数	各階を性格づける特徴					建蔽率	構成類型
		天井高	平面の大きさ	エントランス	下階と地面	上階と屋根		
	3	中上V	下	下	地上	/	*	L



13

すまい  
藤木忠善  
6501

層数

各階を性格づける特徴

建蔽率

構成類型

天井高

平面の大きさ

エントランス

下階と地面

上階と屋根

3

全

全

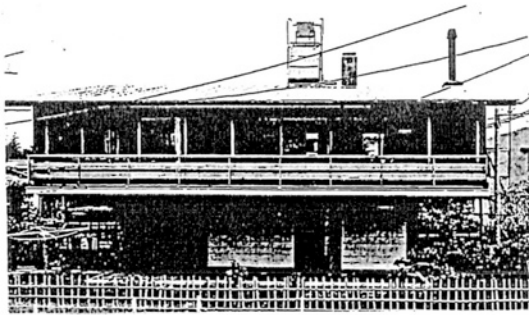
下

地上

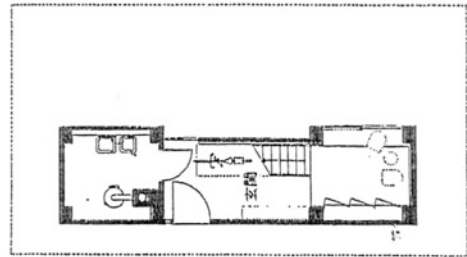
—

39

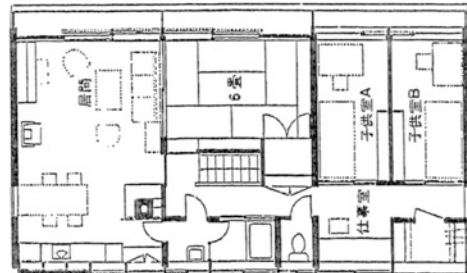
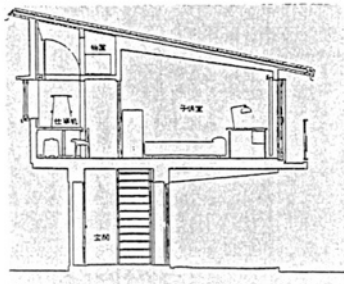
A



3階平面



2階平面



1階平面

14

浜田山の家  
吉村順三  
6605

層数

各階を性格づける特徴

建蔽率

構成類型

天井高

平面の大きさ

エントランス

下階と地面

上階と屋根

3

中上V

中

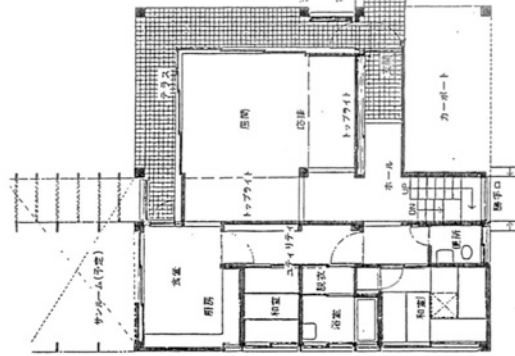
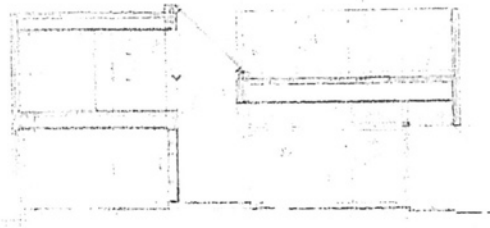
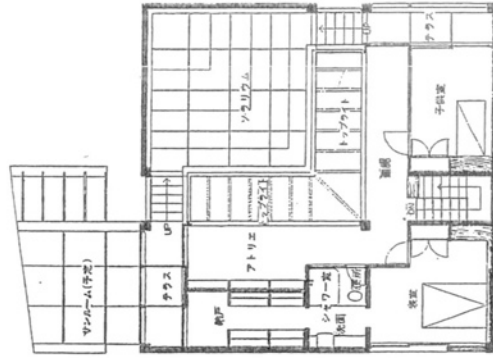
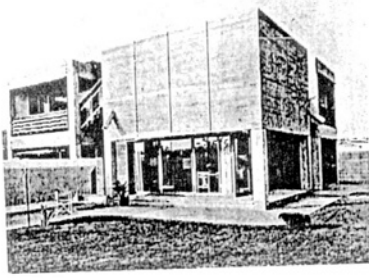
下

地上

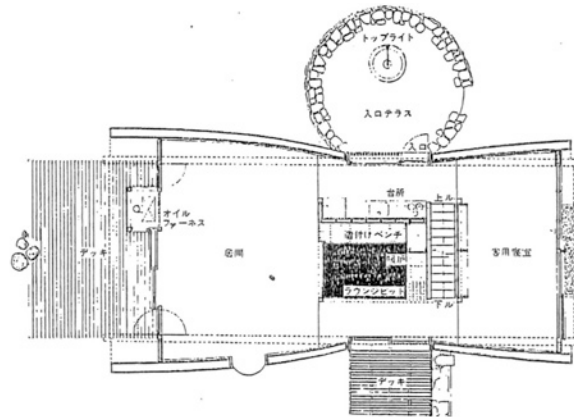
/

36

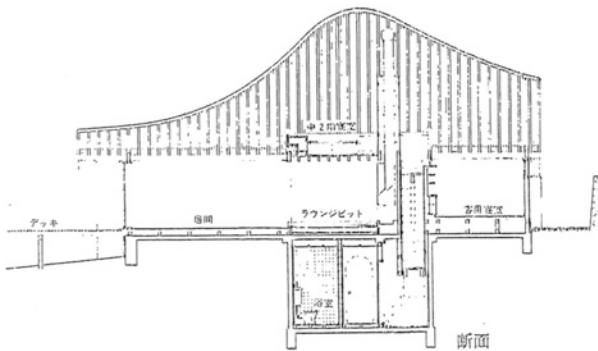
J



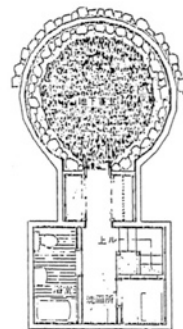
15 穴戸邸 鈴木洵 6701	層数	各階を性格づける特徴					建蔽率	構成類型
		天井高	平面の大きさ	エントランス	下階と地面	上階と屋根		
	2	下'	下	下	地上	/	25	C



1階平面

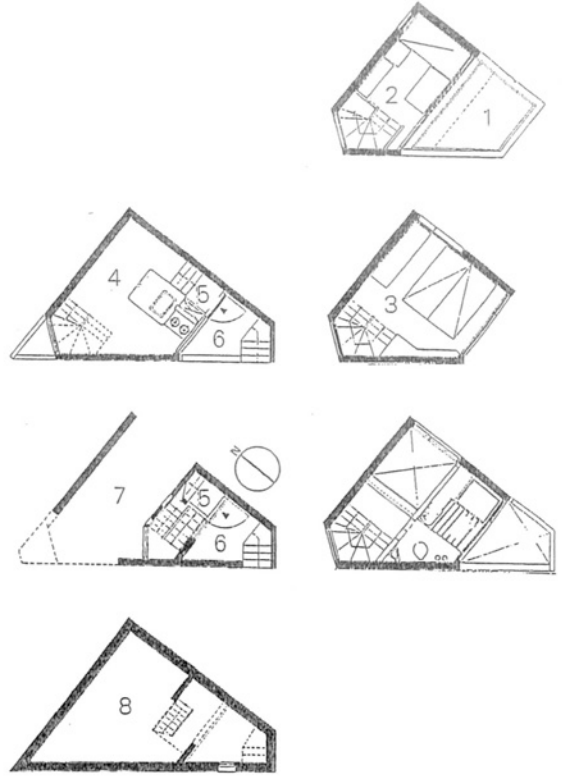
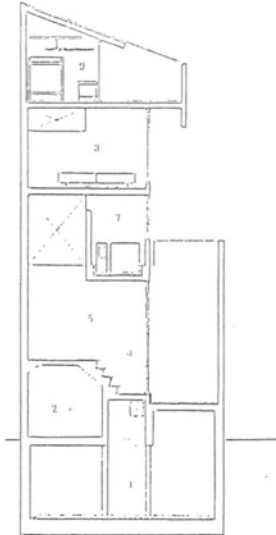
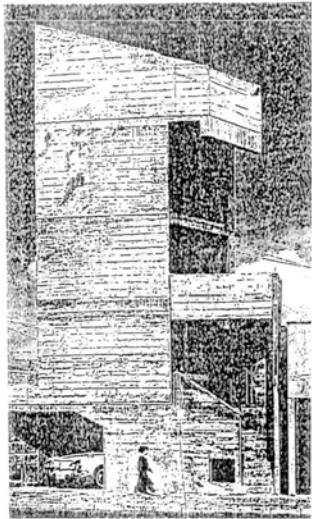


断面



地階平面

16 もうびいでいっく 宮脇檀 6701	層数	各階を性格づける特徴					建蔽率	構成類型
		天井高	平面の大きさ	エントランス	下階と地面	上階と屋根		
	3	中上V	中	中	地下	/	(5)	類型外



17

塔の家  
東孝光  
6706

層数

各階を性格づける特徴

建蔽率

構成類型

天井高

平面の大きさ

エントランス

下階と地面

上階と屋根

6

中1中2V

全

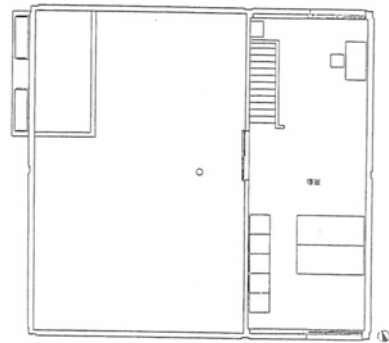
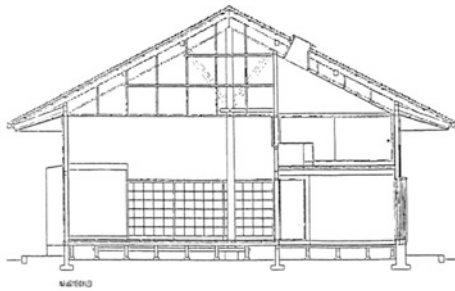
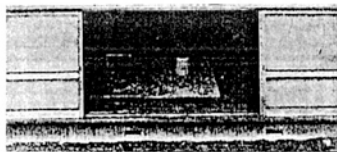
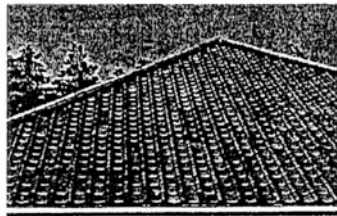
中1

地中

/

57

類型外



18

白の家  
篠原一男  
6707

層数

各階を性格づける特徴

建蔽率

構成類型

天井高

平面の大きさ

エントランス

下階と地面

上階と屋根

2

下上V

全

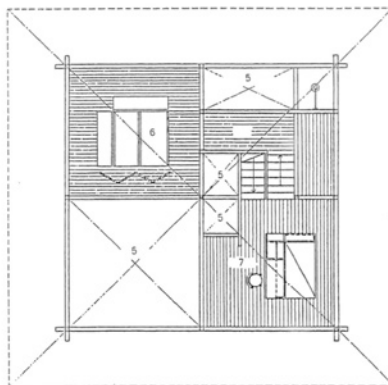
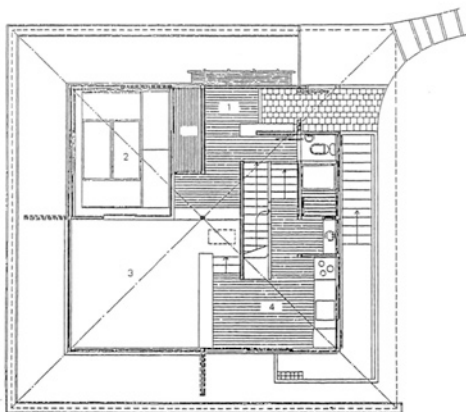
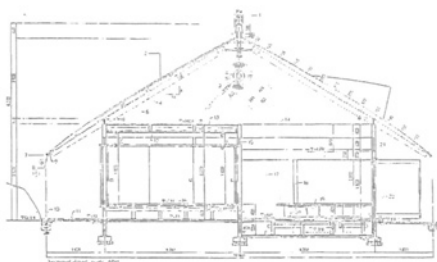
下

地上

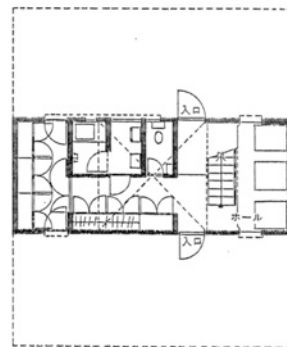
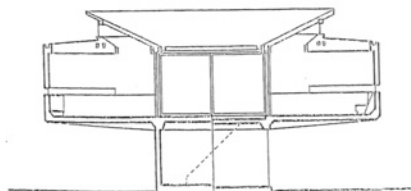
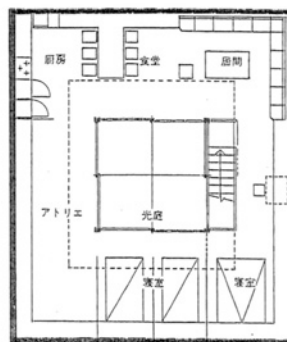
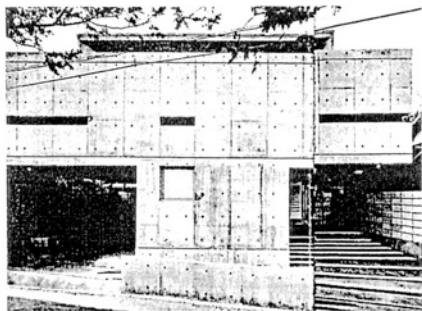
/

24

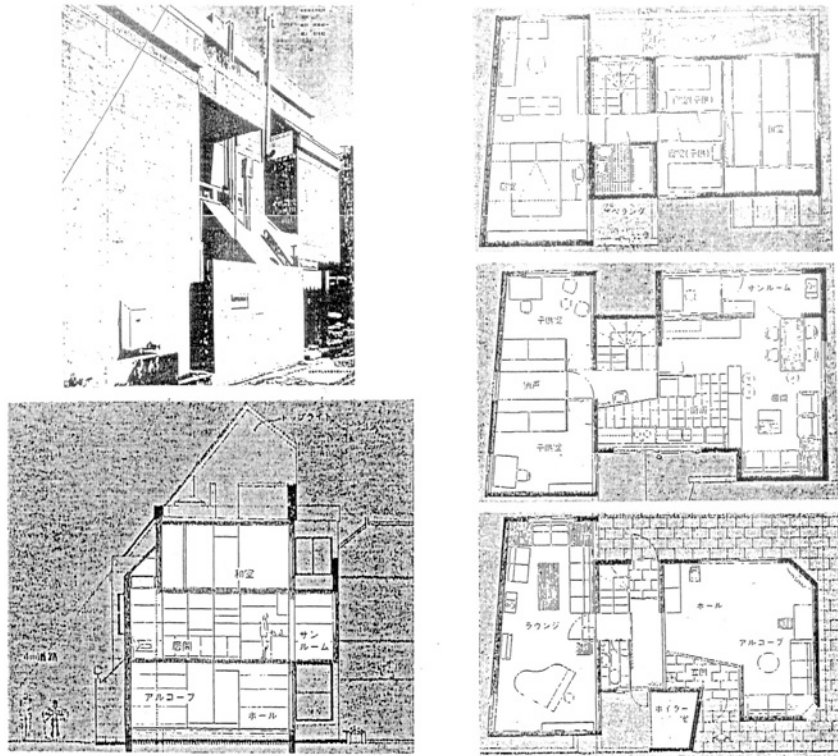
I



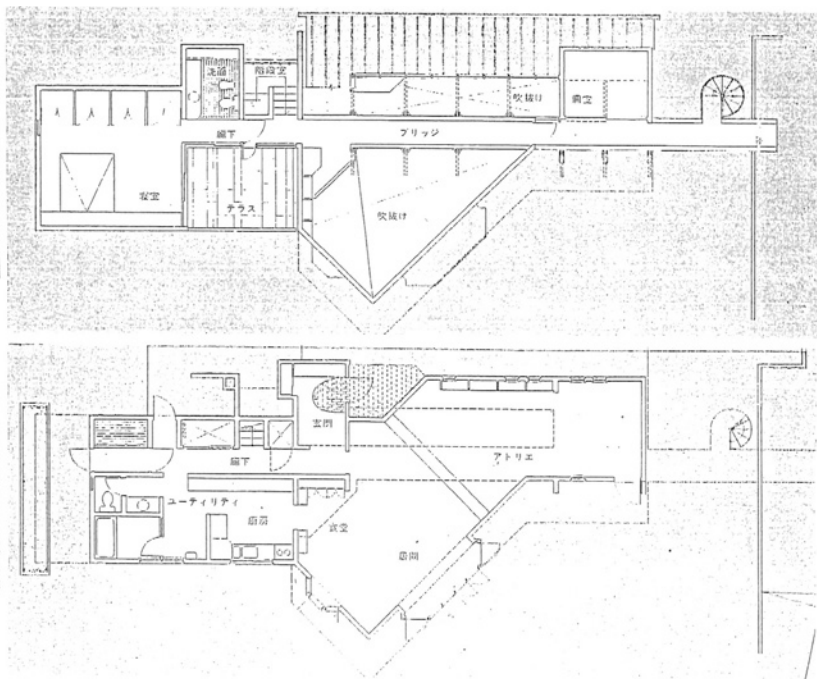
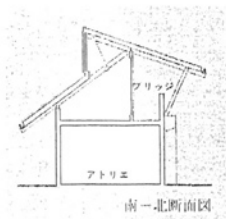
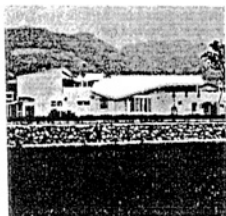
<p>19</p> <p>榛原のすまい</p> <p>坂倉準三</p> <p>6805</p>	層数	各階を性格づける特徴					建蔽率	構成類型
		天井高	平面の大きさ	エントランス	下階と地面	上階と屋根		
	3	中上V	中	中	地中	/	9	K



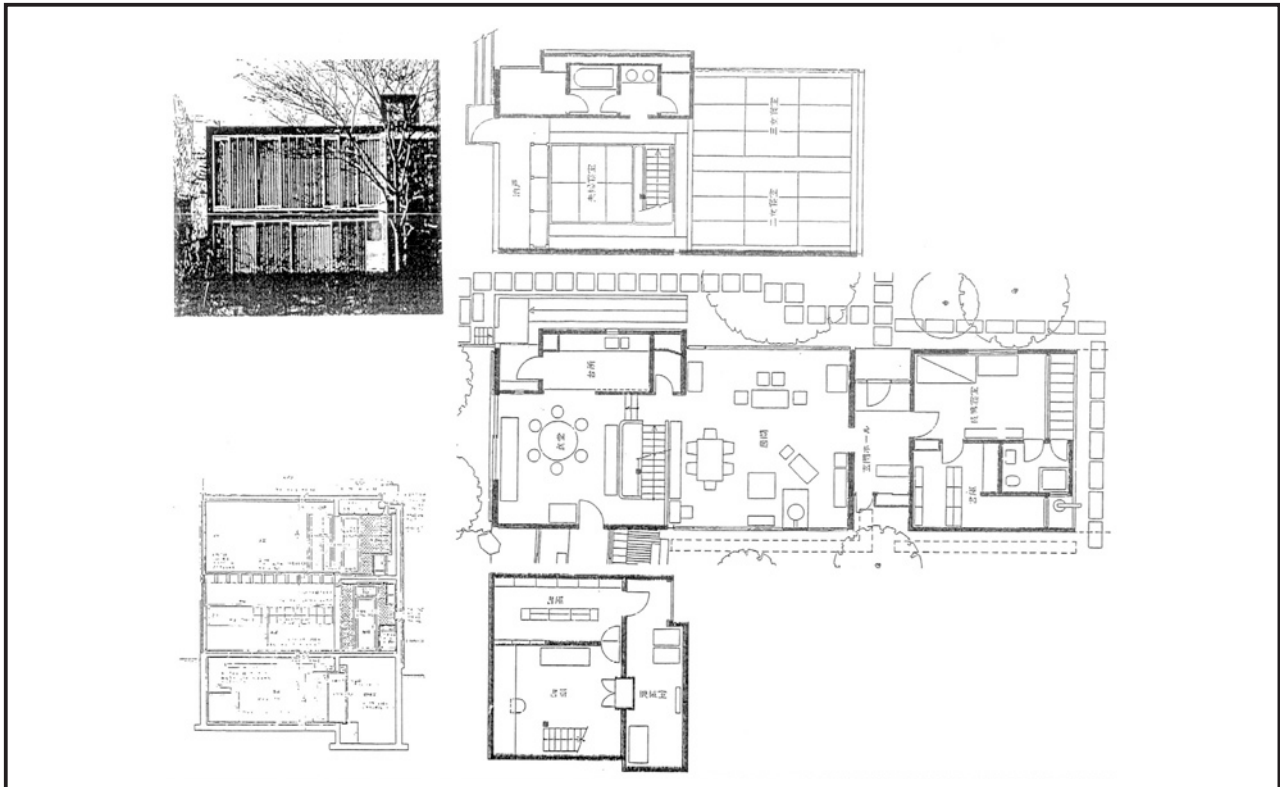
<p>20</p> <p>金子邸</p> <p>高須賀晋</p> <p>6901</p>	層数	各階を性格づける特徴					建蔽率	構成類型
		天井高	平面の大きさ	エントランス	下階と地面	上階と屋根		
	2	全	上	下	地上	—	*	B



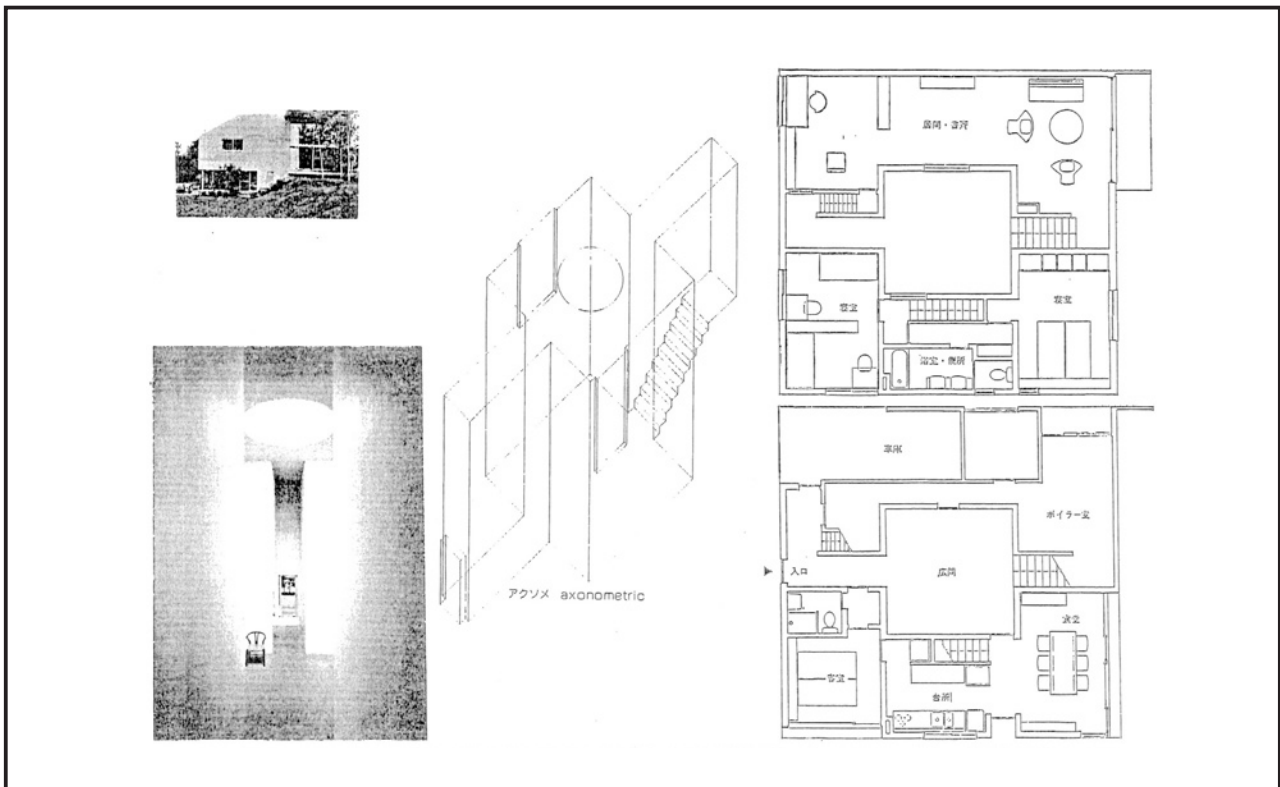
21 自邸 岡田新一 6905	層数	各階を性格づける特徴					建蔽率	構成類型
		天井高	平面の大きさ	エントランス	下階と地面	上階と屋根		
	3	全	中	下	地上	/	14	B



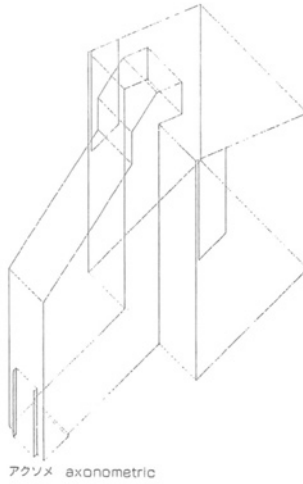
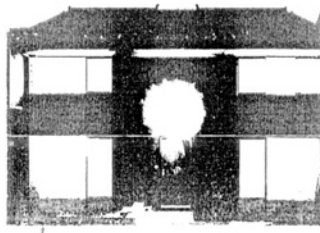
22 大山邸 東孝光 7009	層数	各階を性格づける特徴					建蔽率	構成類型
		天井高	平面の大きさ	エントランス	下階と地面	上階と屋根		
	2	下上V	下	下	地上	/	25	M



23 続私の家 清家清 7101	層数	各階を性格づける特徴					建蔽率	構成類型
		天井高	平面の大きさ	エントランス	下階と地面	上階と屋根		
	3	中'	中	中	地中	—	(8)	D



24 未完の家 篠原一男 7101	層数	各階を性格づける特徴					建蔽率	構成類型
		天井高	平面の大きさ	エントランス	下階と地面	上階と屋根		
	2	下上V	全	下	地上	—	24	H



アクソメ axonometric



2階平面



25

篠さんの家  
篠原一男  
7101

層数

各階を性格づける特徴

建蔽率

構成類型

天井高

平面の大きさ

エントランス

下階と地面

上階と屋根

2

下上V

全

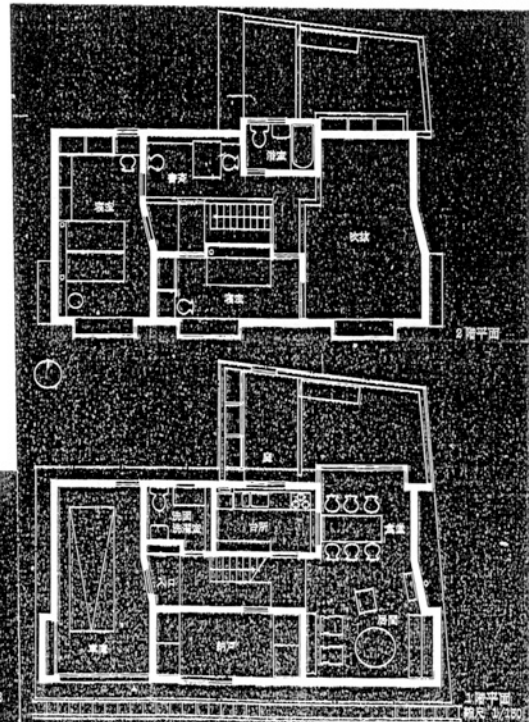
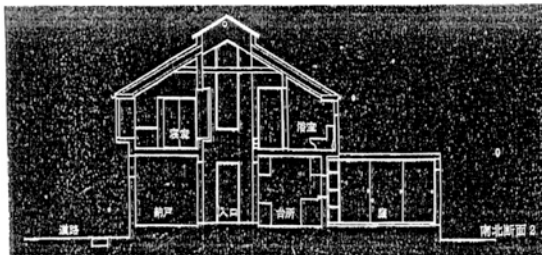
下

地上

—

\*

H



26

水無瀬の町屋  
坂本一成  
7104

層数

各階を性格づける特徴

建蔽率

構成類型

天井高

平面の大きさ

エントランス

下階と地面

上階と屋根

2

下上V

全

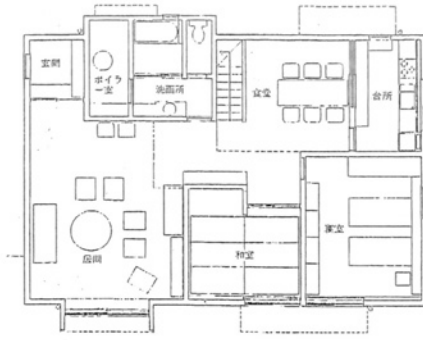
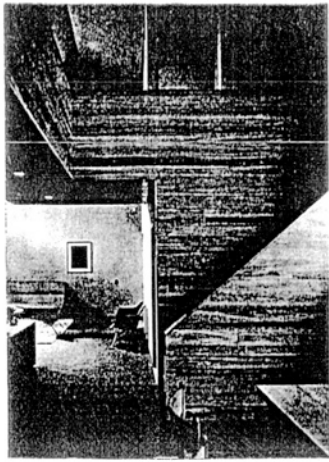
下

地上

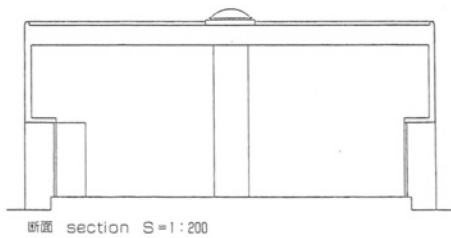
/

60

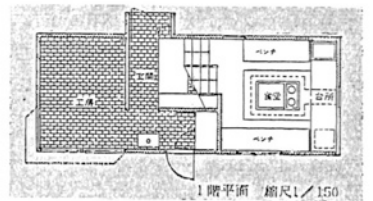
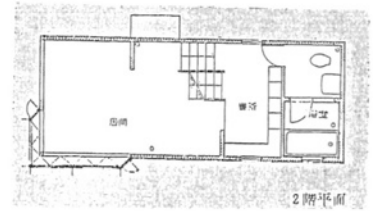
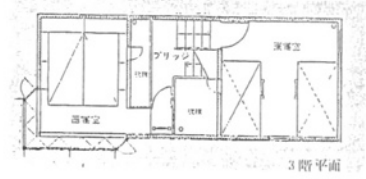
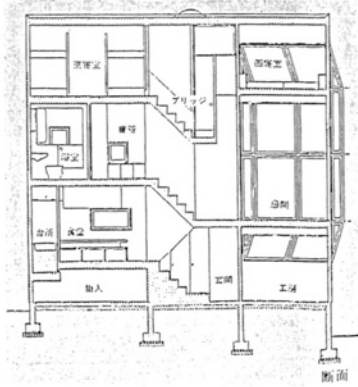
I



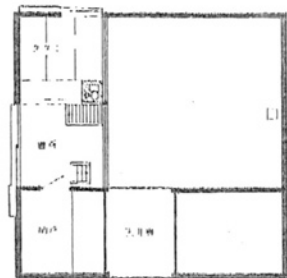
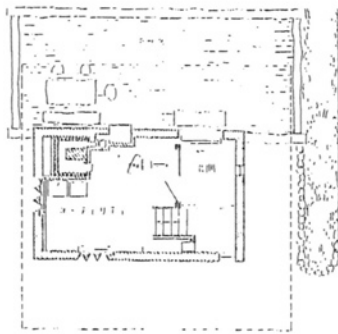
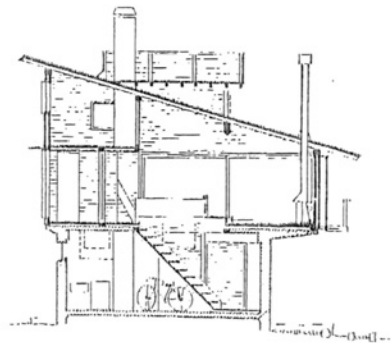
27 登戸の家 坂本一成 7110	層数	各階を性格づける特徴					建蔽率	構成類型
		天井高	平面の大きさ	エントランス	下階と地面	上階と屋根		
	2	下上V	全	下	地上	/	35	I



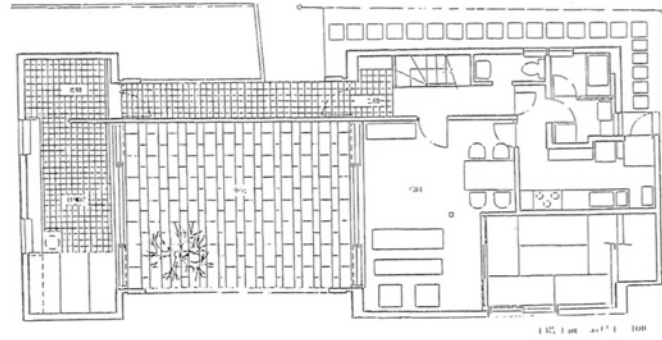
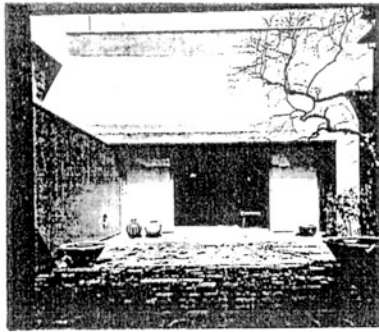
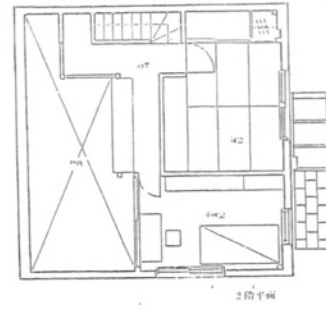
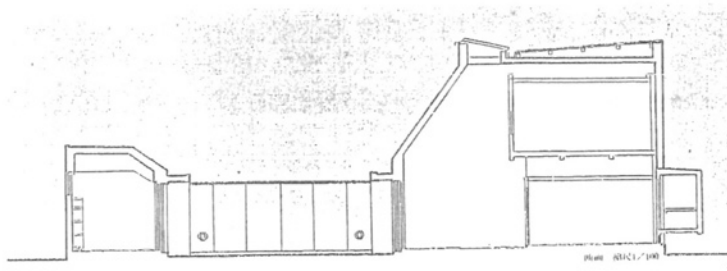
28 直方体の森 篠原一男 7202	層数	各階を性格づける特徴					建蔽率	構成類型
		天井高	平面の大きさ	エントランス	下階と地面	上階と屋根		
	2	下上V	全	下	地上	—	*	H



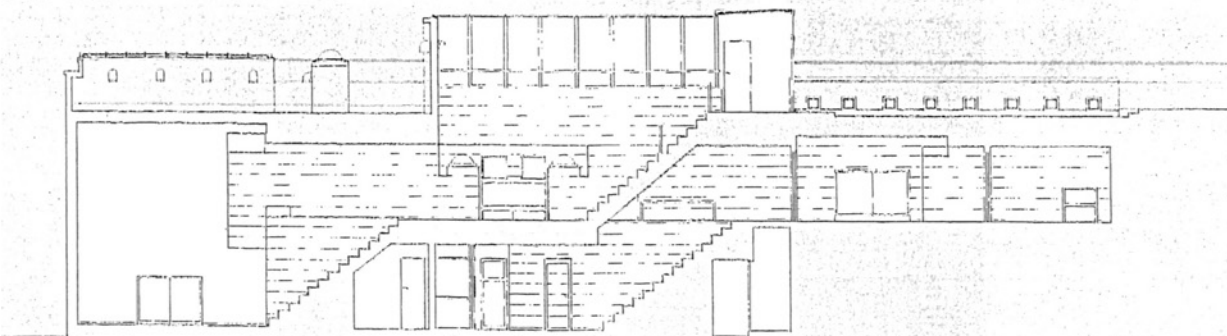
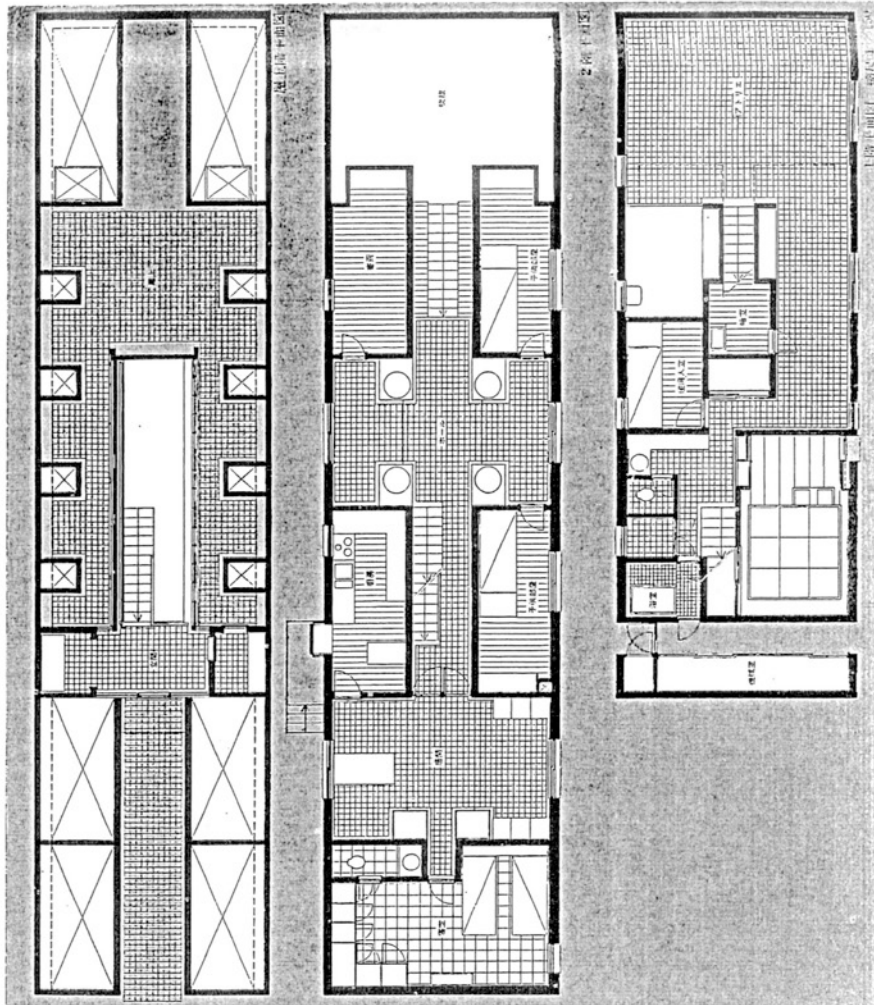
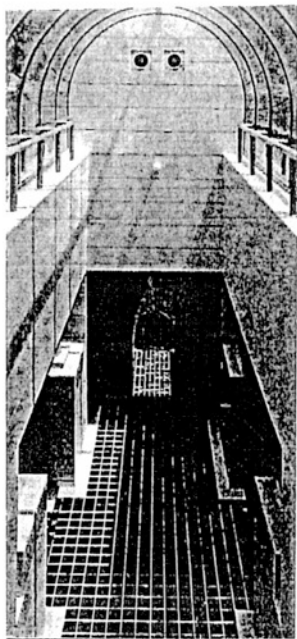
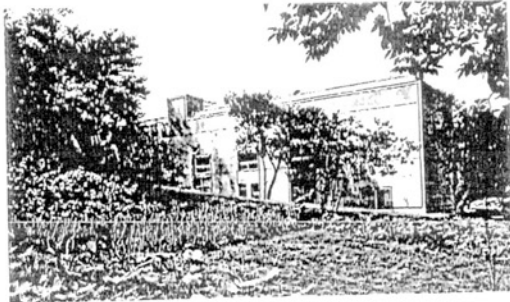
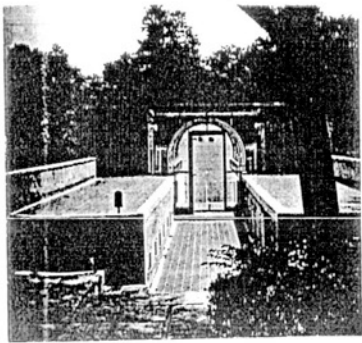
29 MOV 山荘 山下和正 7205	層数	各階を性格づける特徴					建蔽率	構成類型
		天井高	平面の大きさ	エントランス	下階と地面	上階と屋根		
	3	中'	全	下	地上	—	(5)	B



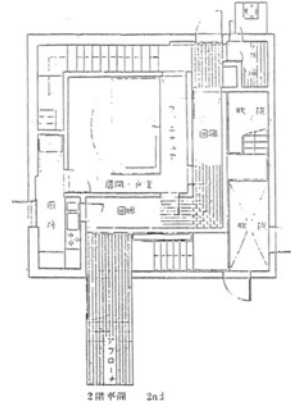
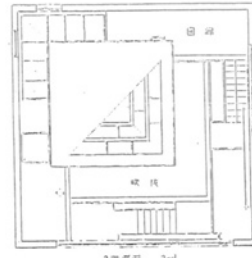
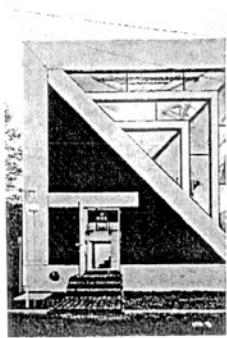
30 軽井沢の家その1 吉村順三 7208	層数	各階を性格づける特徴					建蔽率	構成類型
		天井高	平面の大きさ	エントランス	下階と地面	上階と屋根		
	3	中上V	中	下	地上	/	(*)	J



31 まつかわ・ぼくす 宮脇檀 7208	層数	各階を性格づける特徴					建蔽率	構成類型
		天井高	平面の大きさ	エントランス	下階と地面	上階と屋根		
	2	下上V	下	下	地上	/	16	M



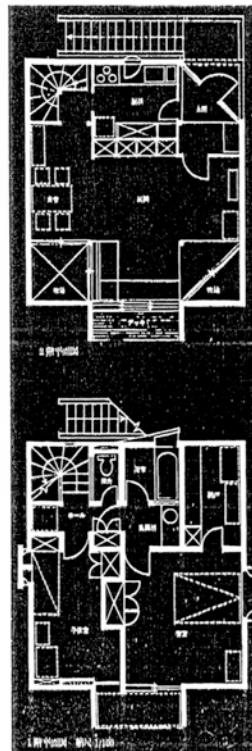
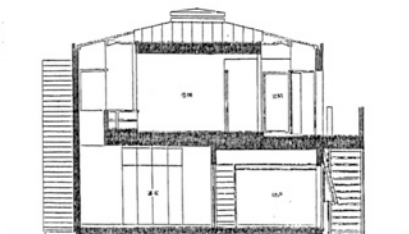
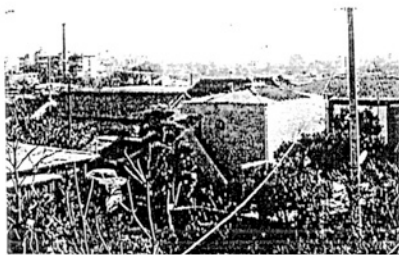
32 栗津邸 原広司 7209	層数	各階を性格づける特徴					建蔽率	構成類型
		天井高	平面の大きさ	エントランス	下階と地面	上階と屋根		
	3	下中V	中	上	地中	—	5	



33

反住器  
手網殻曠  
7211

層数	各階を性格づける特徴					建蔽率	構成類型
	天井高	平面の大きさ	エントランス	下階と地面	上階と屋根		
3	中上V	全	中	地中	—	*	類型外



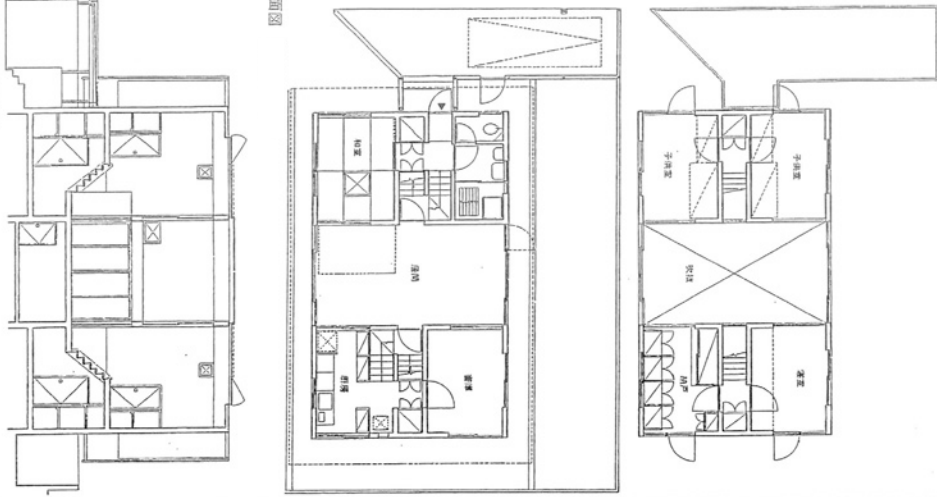
34

グリーンボックス#1  
宮脇檀  
7302

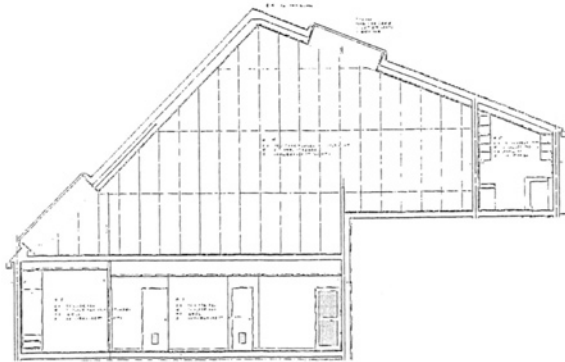
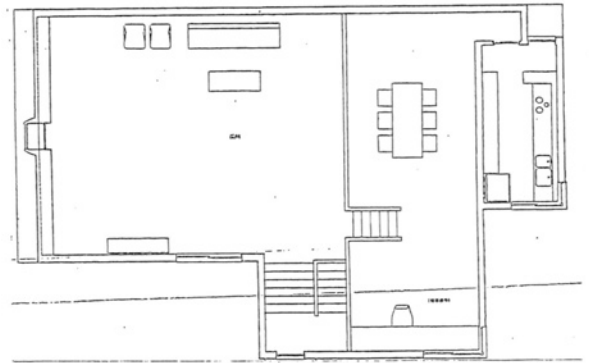
層数	各階を性格づける特徴					建蔽率	構成類型
	天井高	平面の大きさ	エントランス	下階と地面	上階と屋根		
2	全	全	上	地上	/	41	B



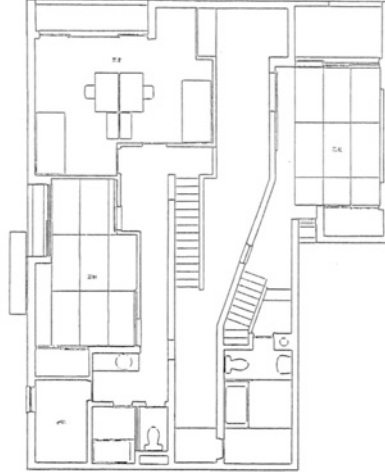
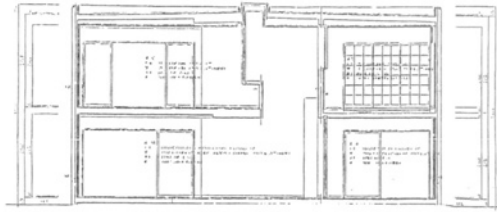
断面図 図面士



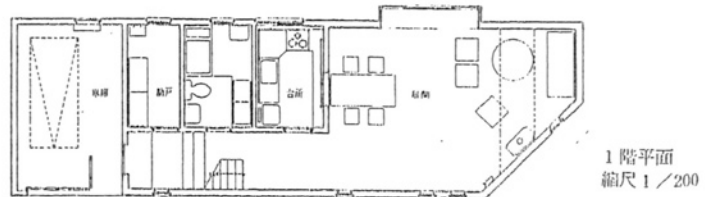
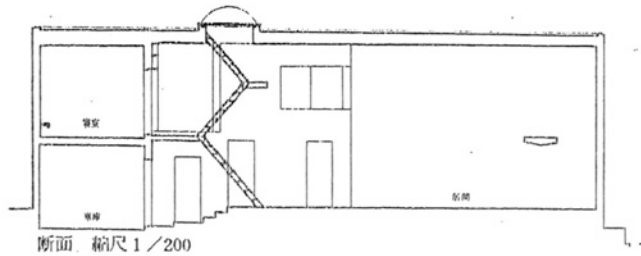
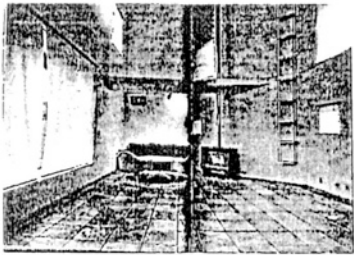
35 清原邸 高須賀晋 7305	層数	各階を性格づける特徴					建蔽率	構成類型
		天井高	平面の大きさ	エントランス	下階と地面	上階と屋根		
	2	下上V	全	下	地上	/	*	I



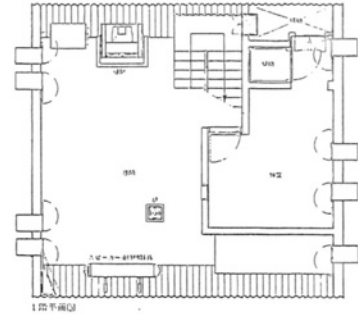
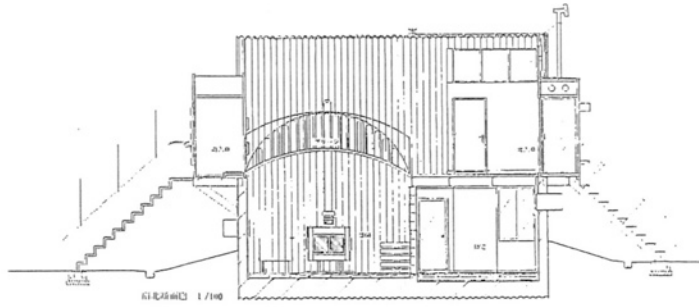
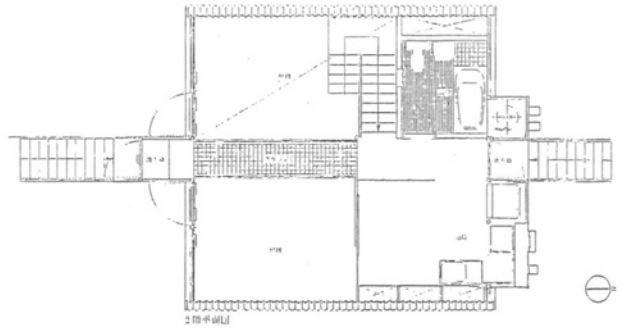
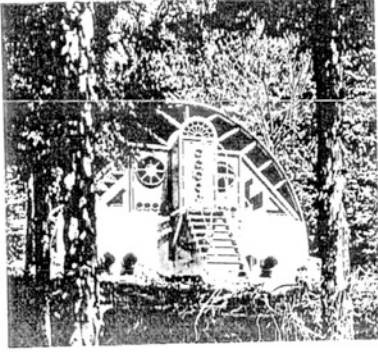
36 成城の住宅 篠原一男 7402	層数	各階を性格づける特徴					建蔽率	構成類型
		天井高	平面の大きさ	エントランス	下階と地面	上階と屋根		
	2	上	上	上	地中	/	29	F



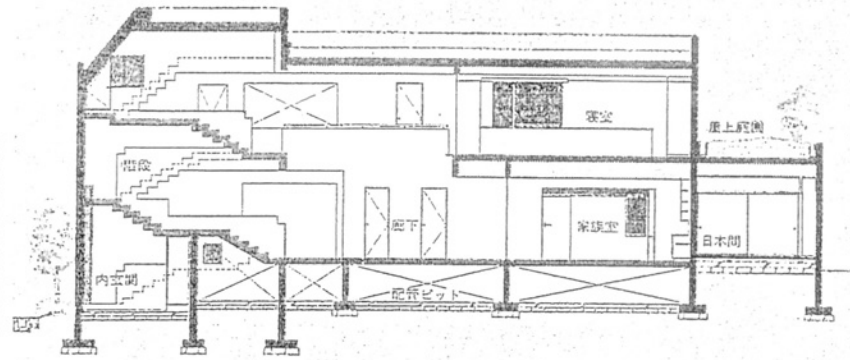
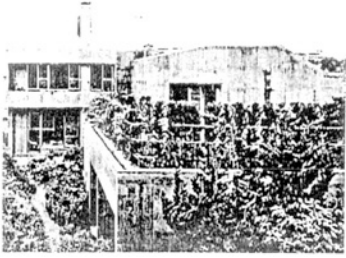
37 東玉川の住宅 篠原一男 7402	層数	各階を性格づける特徴					建蔽率	構成類型
		天井高	平面の大きさ	エントランス	下階と地面	上階と屋根		
	2	下上V	全	下	地上	—	29	H



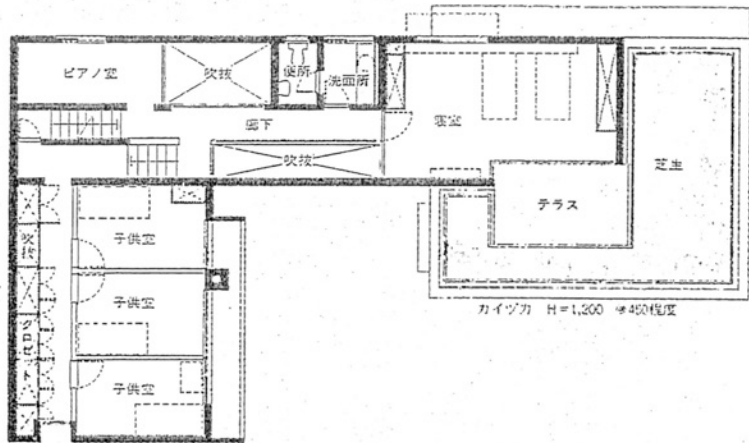
38 雲野・流山の家 坂本一成 7402	層数	各階を性格づける特徴					建蔽率	構成類型
		天井高	平面の大きさ	エントランス	下階と地面	上階と屋根		
	2	下上V	全	下	地上	—	41	H



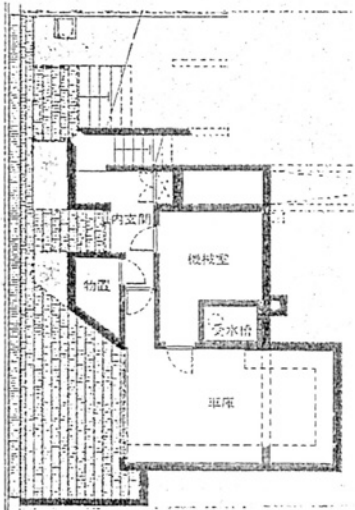
39 幻庵 DAM・DAN 7506	層数	各階を性格づける特徴					建蔽率	構成類型
		天井高	平面の大きさ	エントランス	下階と地面	上階と屋根		
	2	下上V	上	上	地中	/	(1)	類型外



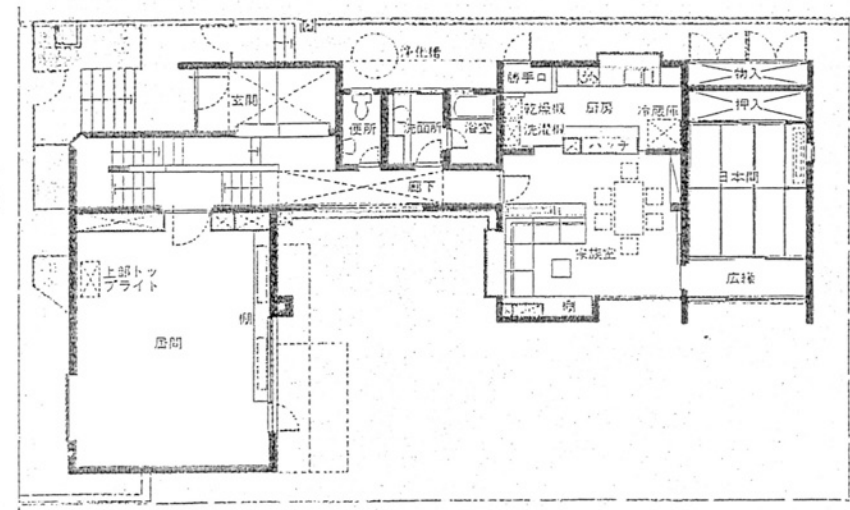
断面図



2階平面図

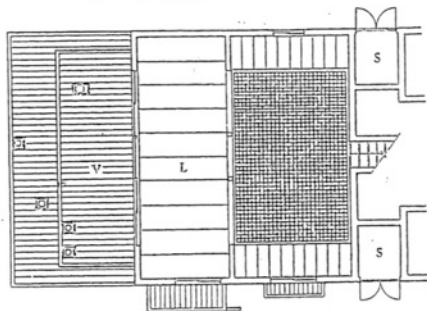
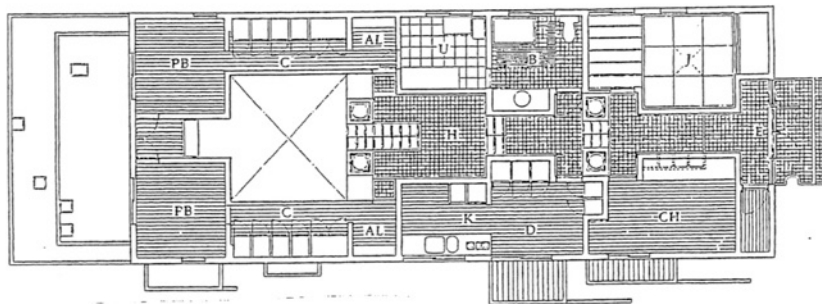
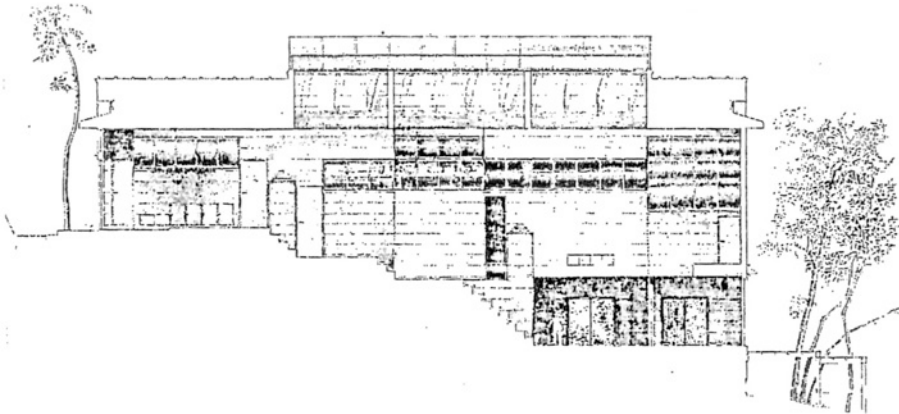
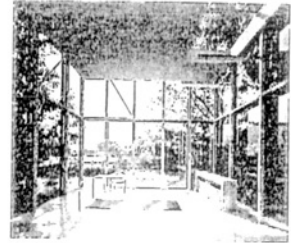
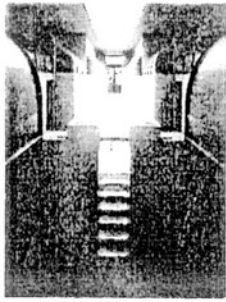


地階平面図

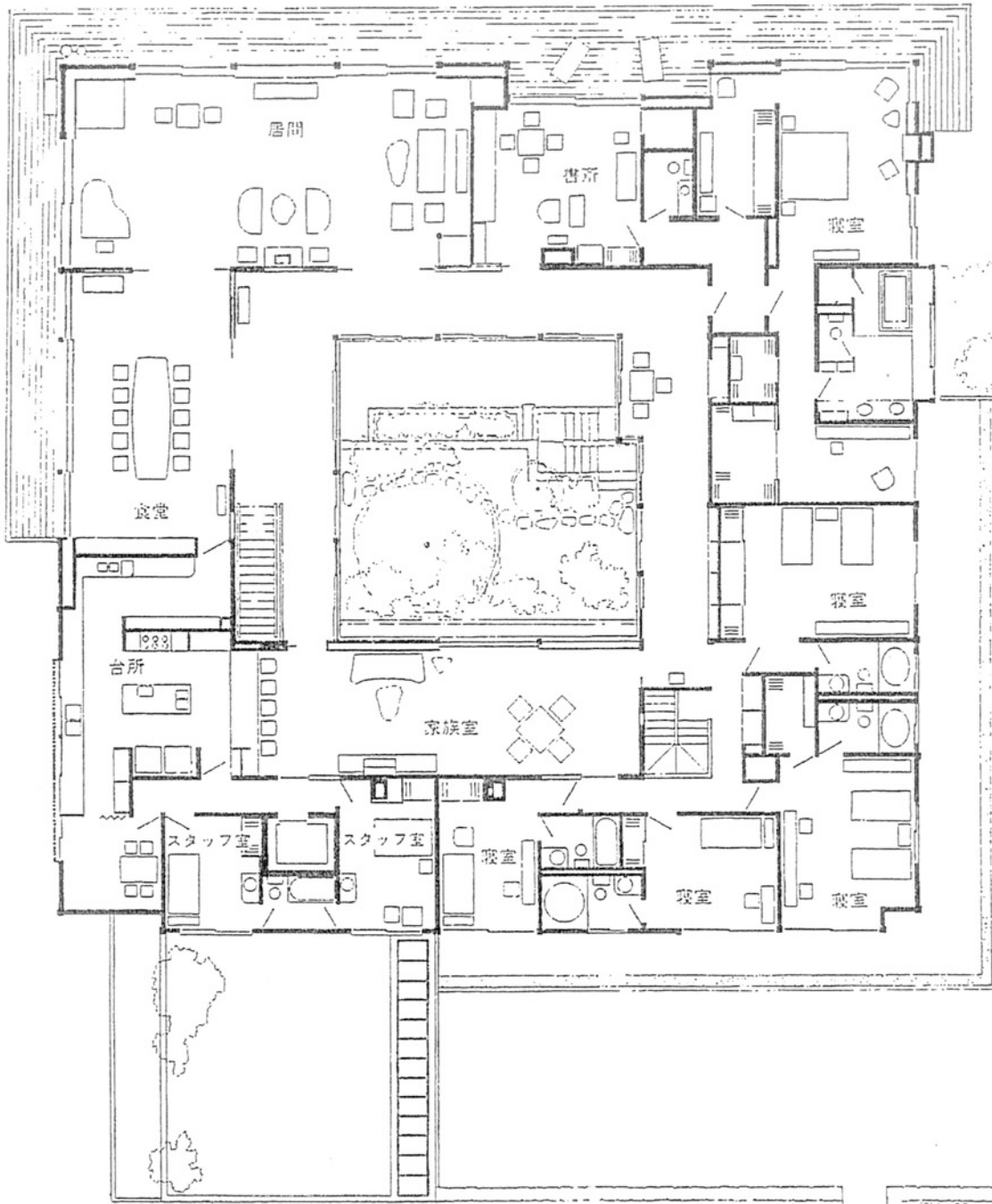
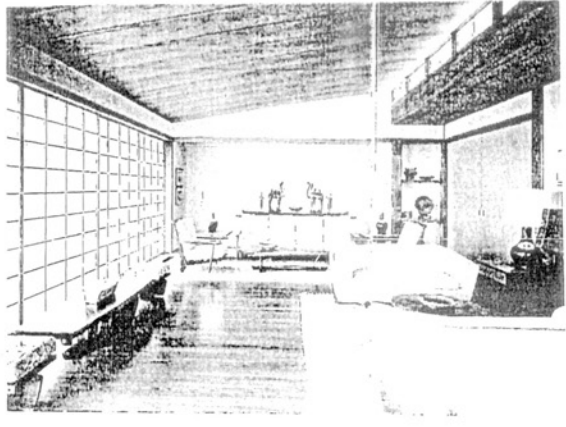
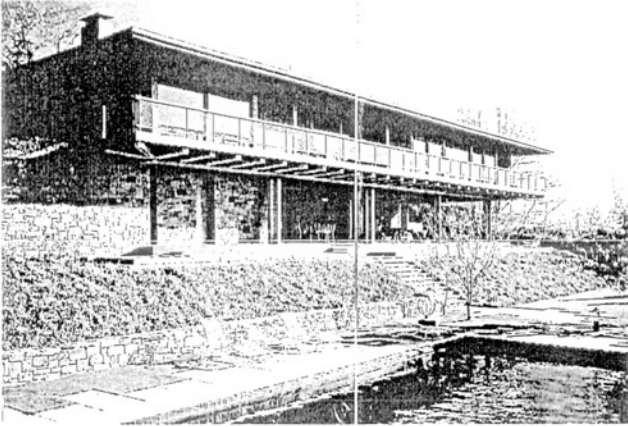


1階平面図

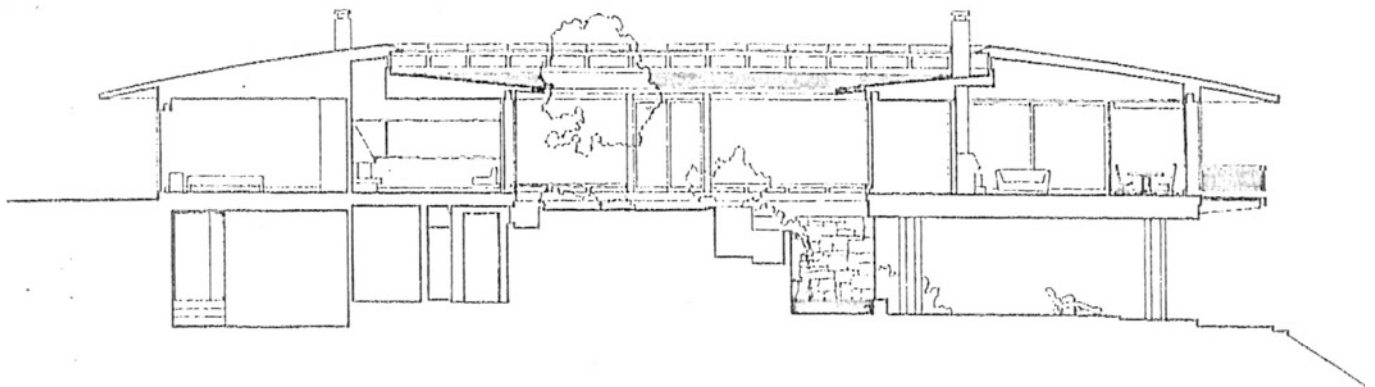
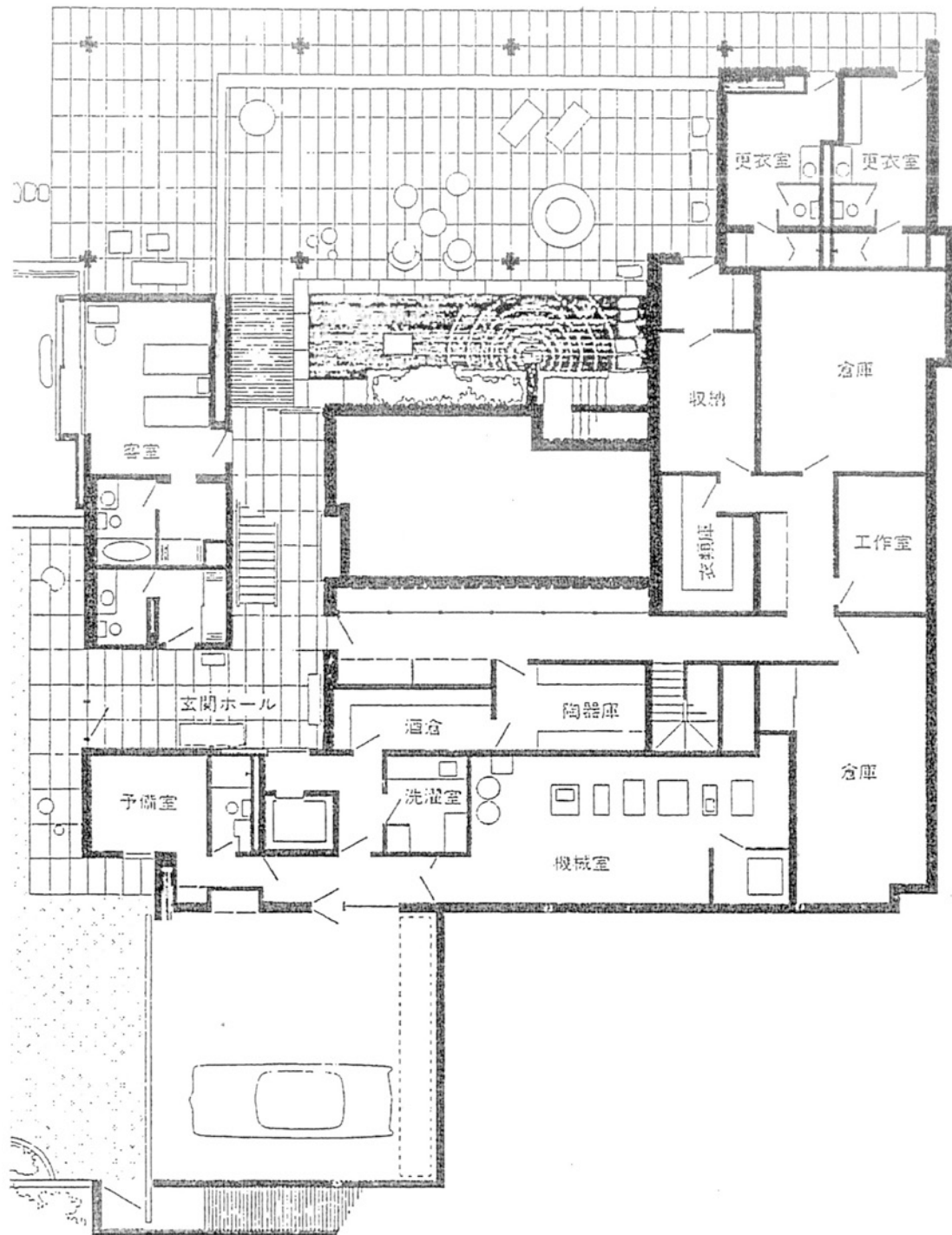
40 千里山の家 坂倉準三 7508	層数	各階を性格づける特徴					建蔽率	構成類型
		天井高	平面の大きさ	エントランス	下階と地面	上階と屋根		
	3	中'	中	中	地中	—	54	D

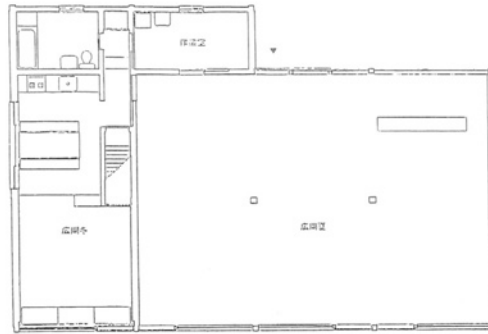
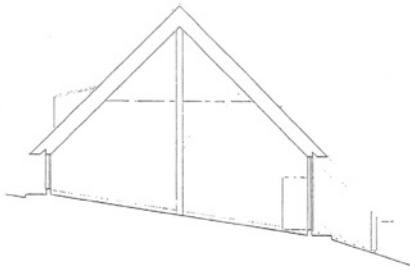
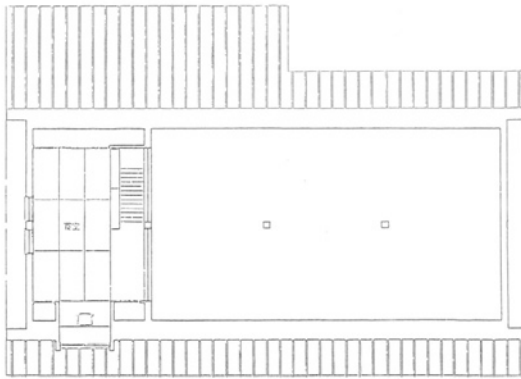


41 原邸 原広司 7509	層数	各階を性格づける特徴					建蔽率	構成類型
		天井高	平面の大きさ	エントランス	下階と地面	上階と屋根		
	2	下上V	上	上	地中	—	18	類型外

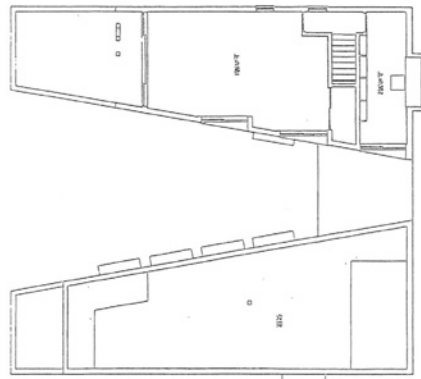
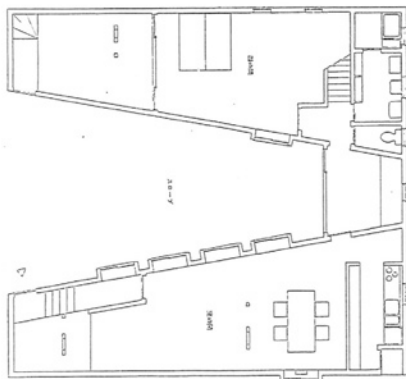
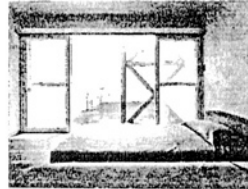
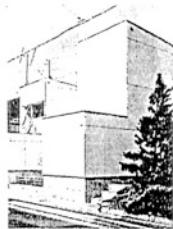


42 ポカンティコヒルの家 吉村順三 7509	層数	各階を性格づける特徴					建蔽率	構成類型
		天井高	平面の大きさ	エントランス	下階と地面	上階と屋根		
	2	全	上	上	地中	/	52	類型外

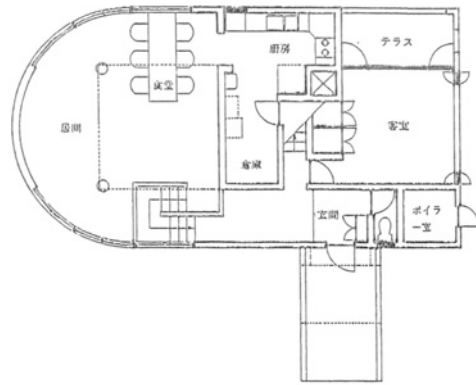
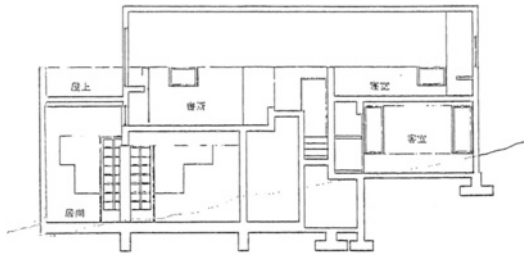
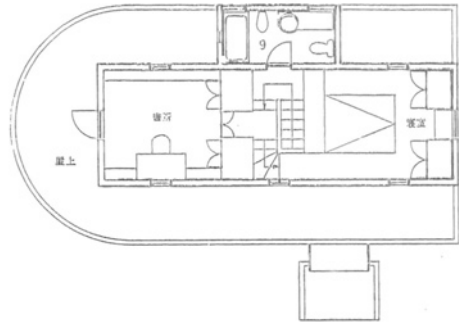
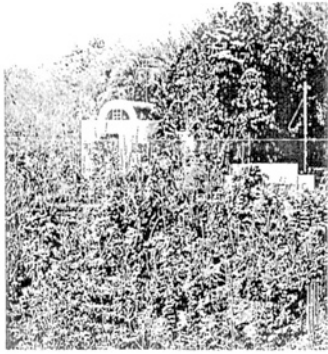




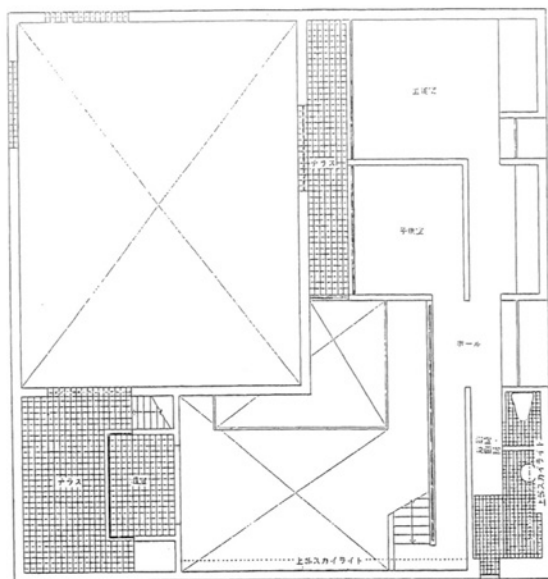
43 谷川さんの住宅 篠原一男 7510	層数	各階を性格づける特徴					建蔽率	構成類型
		天井高	平面の大きさ	エントランス	下階と地面	上階と屋根		
	2	下上V	下	下	地上	/	(*)	M



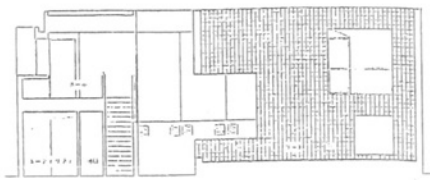
44 鴨居の家 長谷川逸子 7602	層数	各階を性格づける特徴					建蔽率	構成類型
		天井高	平面の大きさ	エントランス	下階と地面	上階と屋根		
	2	下上V	下	下	地上	—	40	類型外



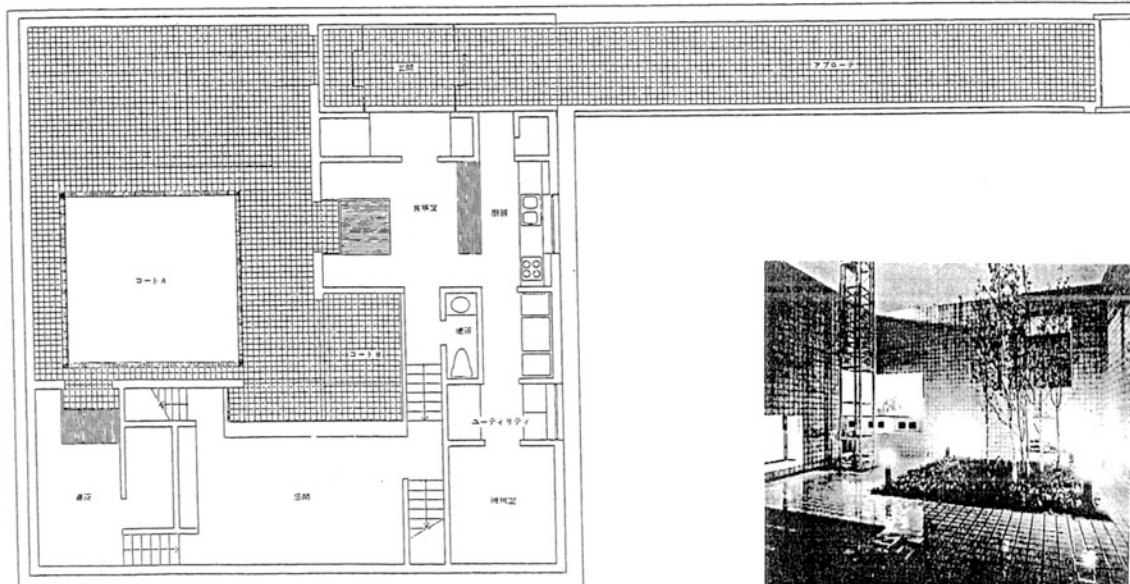
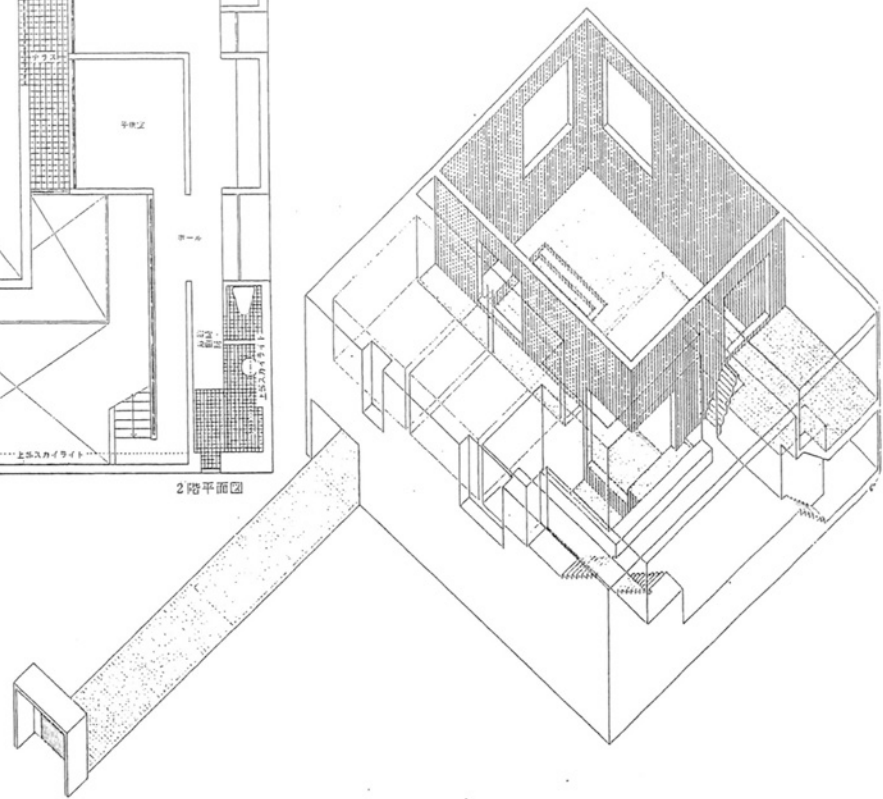
45 Y邸 磯崎新 7604	層数	各階を性格づける特徴					建蔽率	構成類型
		天井高	平面の大きさ	エントランス	下階と地面	上階と屋根		
	2	下'	下	下	地中	/	19	類型外



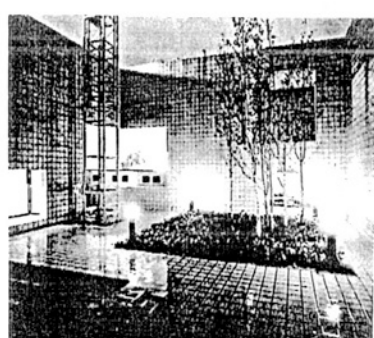
2階平面図



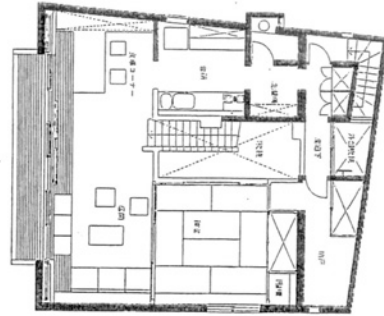
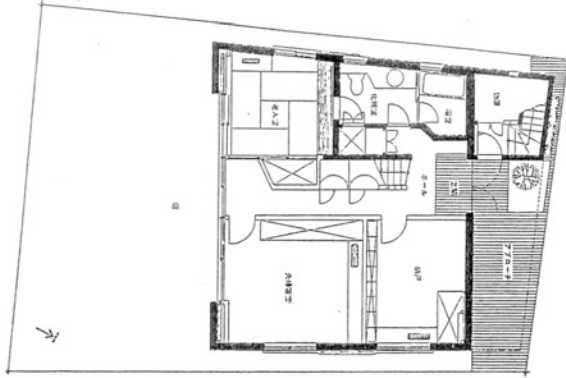
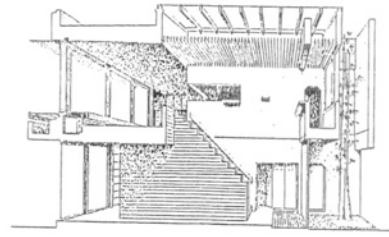
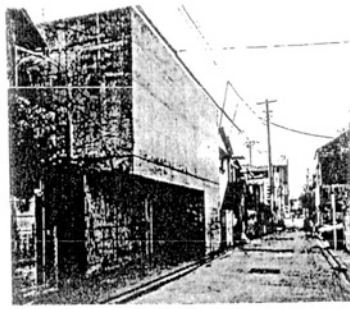
断面図



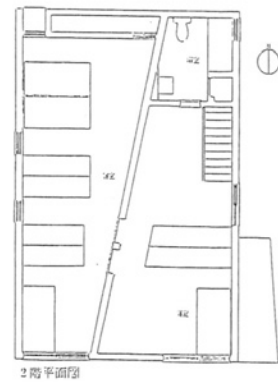
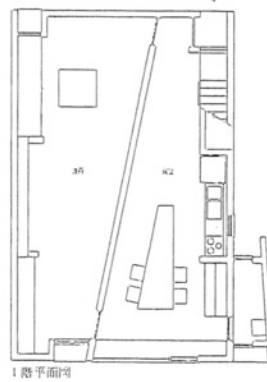
1階平面図



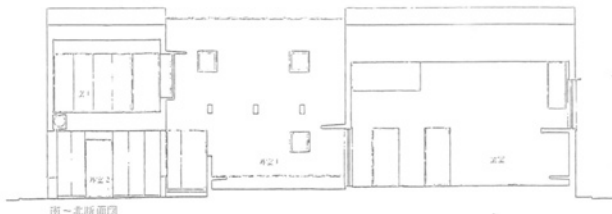
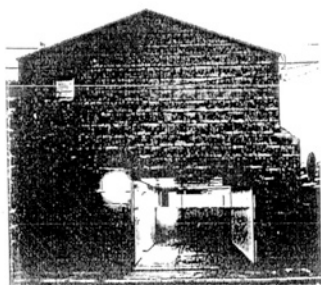
46 雪が谷の住宅 谷口吉生 7606	層数	各階を性格づける特徴					建蔽率	構成類型
		天井高	平面の大きさ	エントランス	下階と地面	上階と屋根		
	2	下上V	全	下	地上	—	44	H



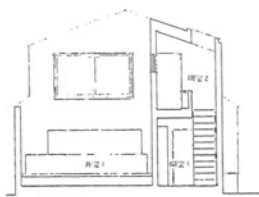
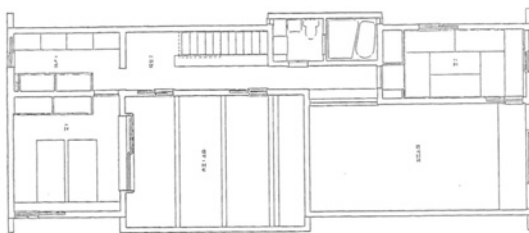
47 船橋ボックス 宮脇檀 7609	層数	各階を性格づける特徴					建蔽率	構成類型
		天井高	平面の大きさ	エントランス	下階と地面	上階と屋根		
	2	全	上	下	地上	—	32	類型外



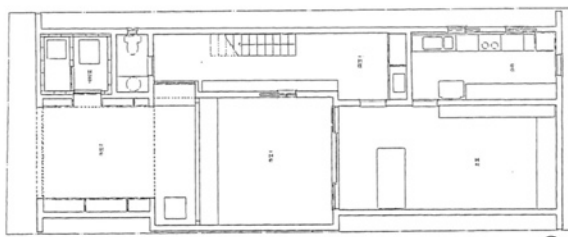
48 緑が丘の家 長谷川逸子 7609	層数	各階を性格づける特徴					建蔽率	構成類型
		天井高	平面の大きさ	エントランス	下階と地面	上階と屋根		
	2	全	全	下	地上	—	58	類型外



南-北階面図

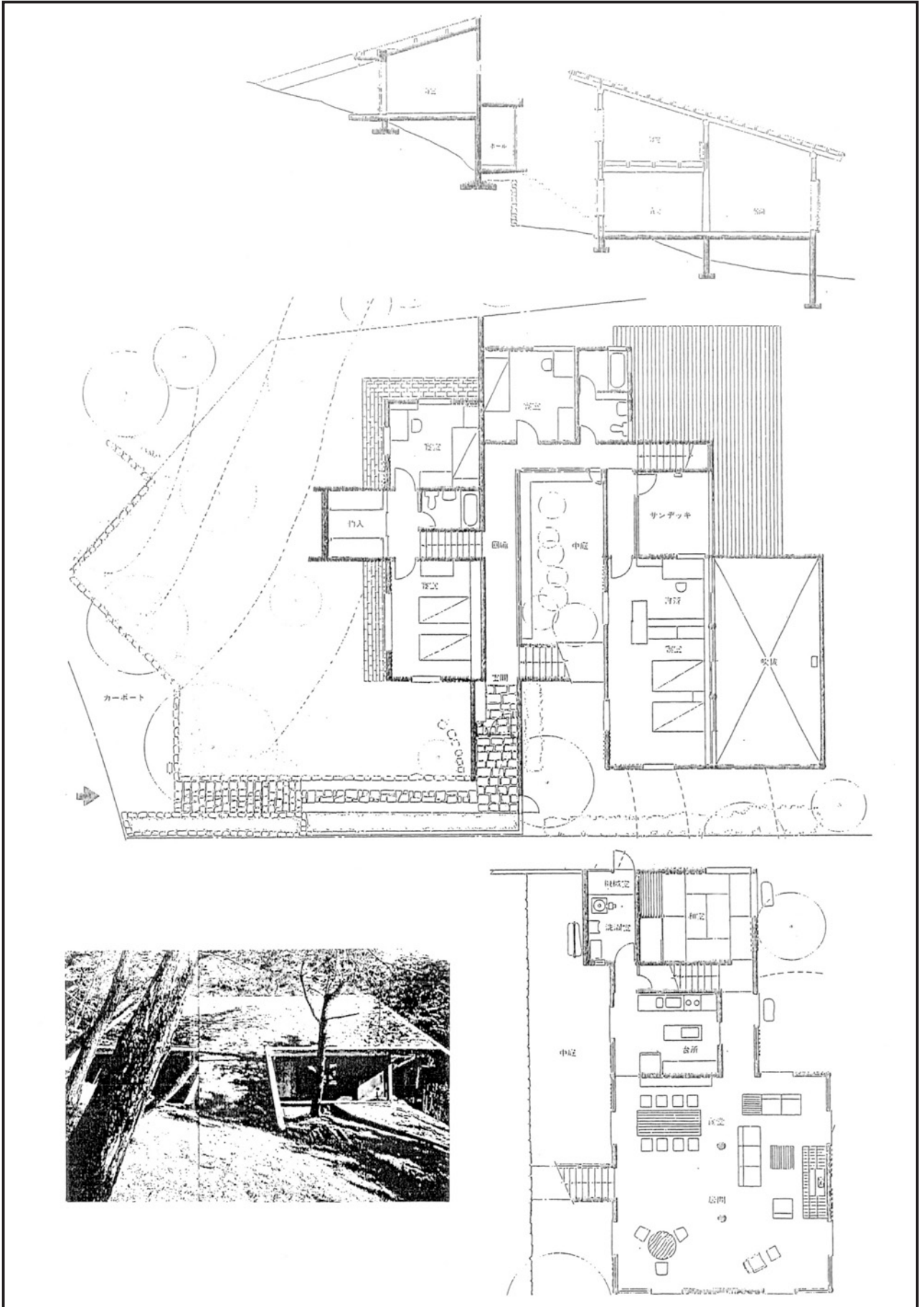


東-西階面図

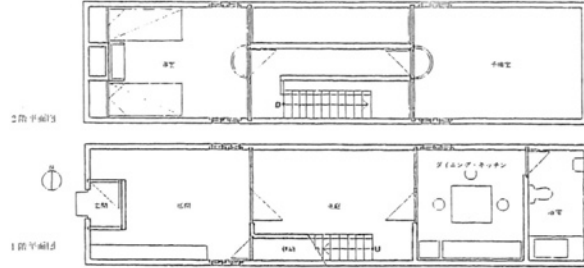
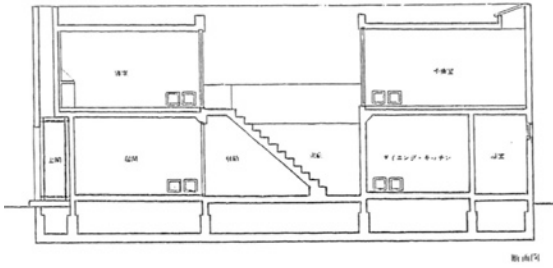
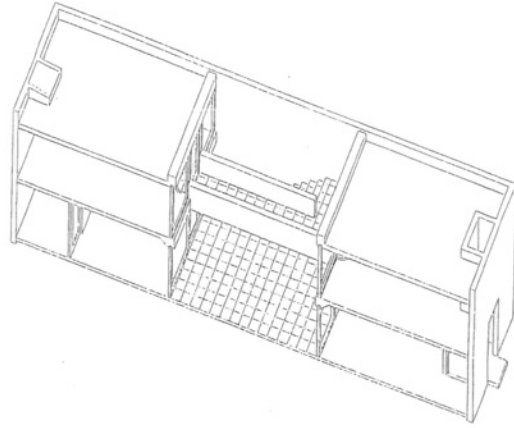


○

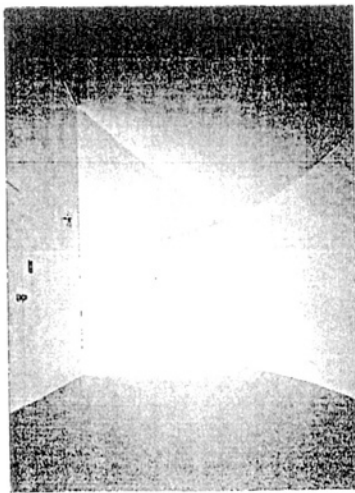
49 代田の町屋 坂本一成 7611	層数	各階を性格づける特徴					建蔽率	構成類型
		天井高	平面の大きさ	エントランス	下階と地面	上階と屋根		
	2	下上V	上	下	地上	/	58	類型外



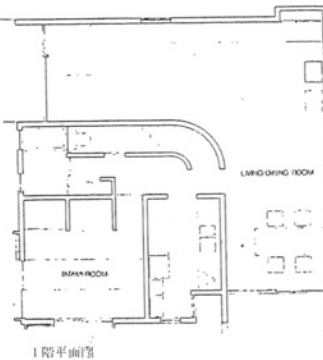
50 回帰草庵 石井修 7702	層数	各階を性格づける特徴					建蔽率	構成類型
		天井高	平面の大きさ	エントランス	下階と地面	上階と屋根		
	2	下上V	上	上	地中	/	42	類型外



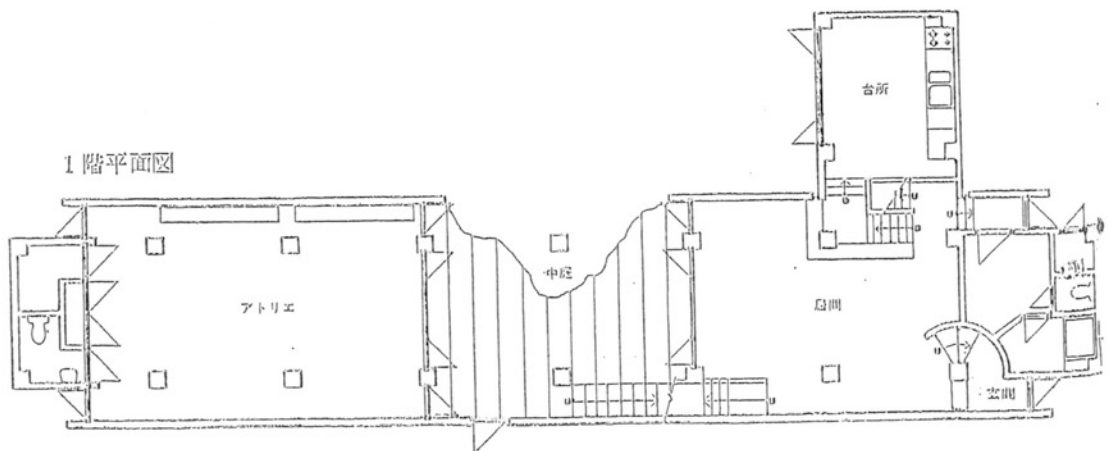
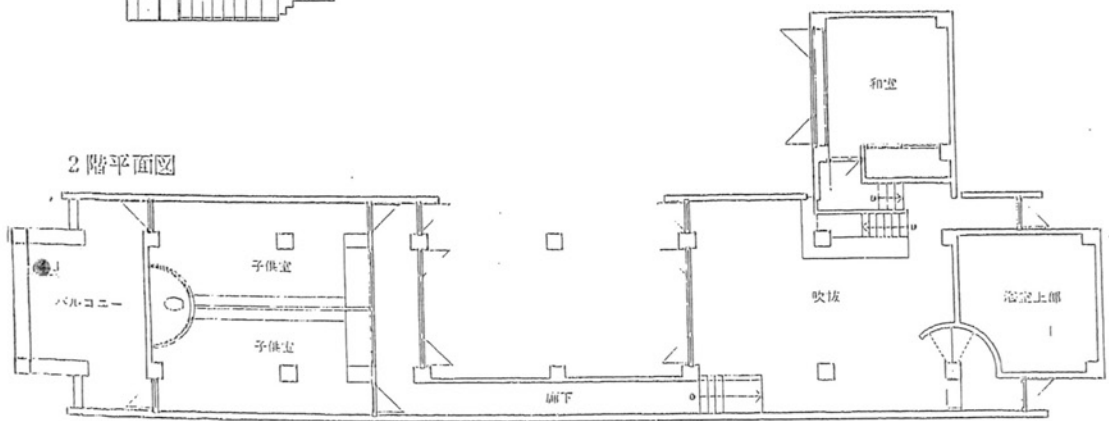
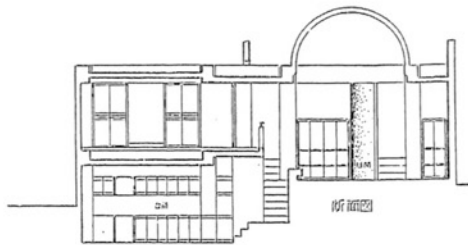
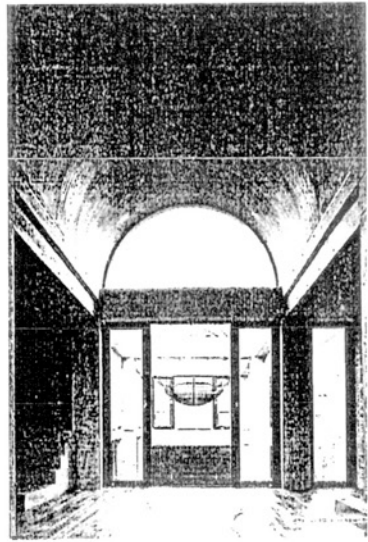
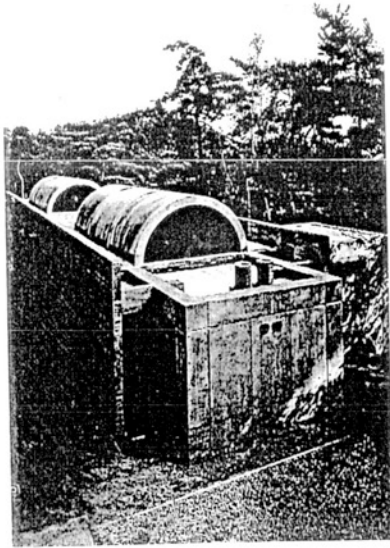
51 住吉の長屋 安藤忠雄 7702	層数	各階を性格づける特徴					建蔽率	構成類型
		天井高	平面の大きさ	エントランス	下階と地面	上階と屋根		
	2	全	全	下	地上	—	42	A



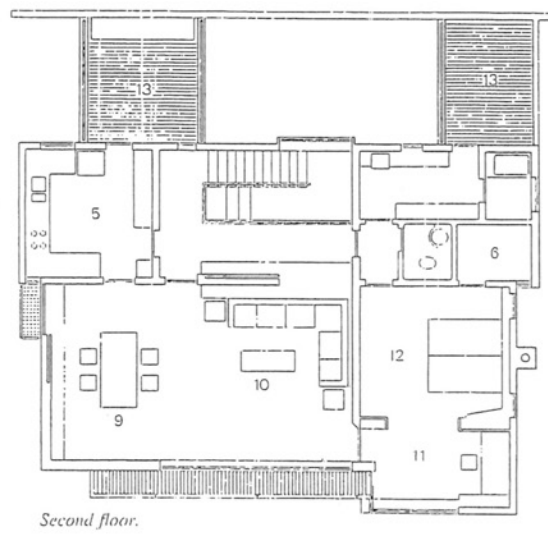
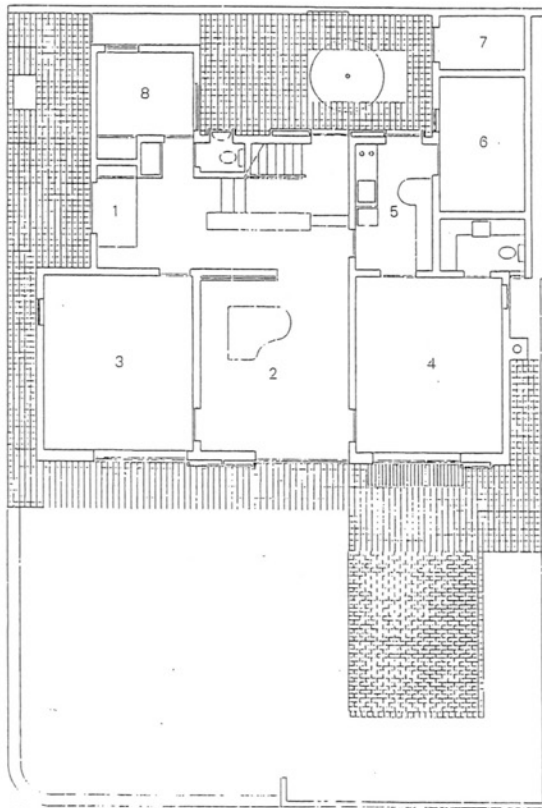
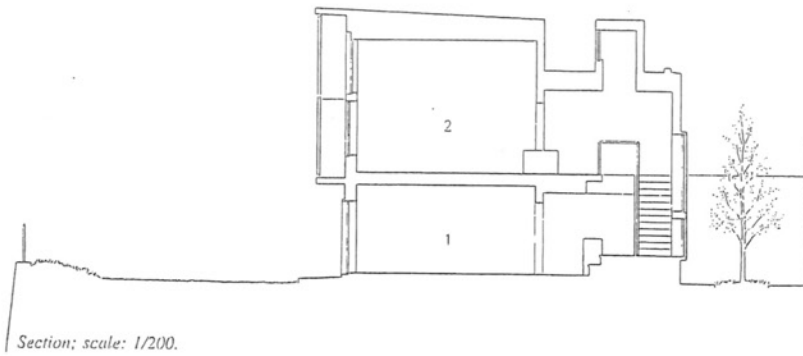
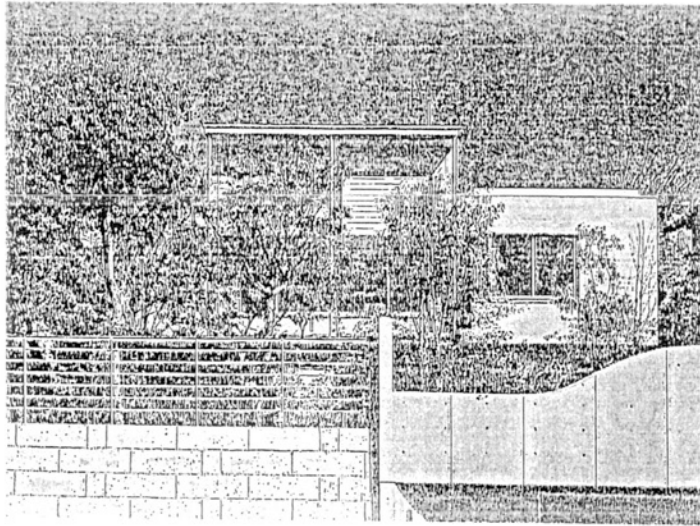
南北断面図 縮尺 1/200



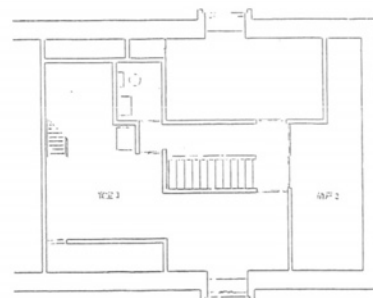
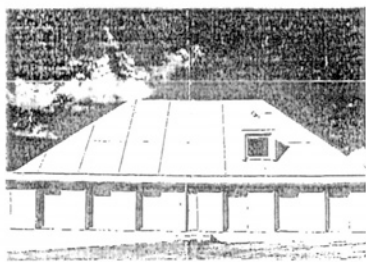
52 柿生の家 長谷川逸子 7708	層数	各階を性格づける特徴					建蔽率	構成類型
		天井高	平面の大きさ	エントランス	下階と地面	上階と屋根		
	2	上'	全	下	地上	/'	40	B



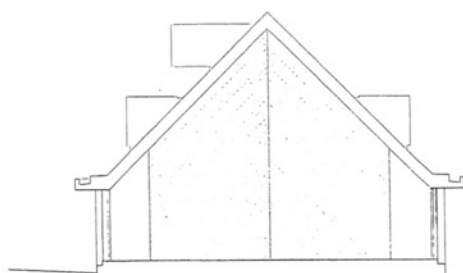
52 領壁の家 安藤忠雄 7802	層数	各階を性格づける特徴					建蔽率	構成類型
		天井高	平面の大きさ	エントランス	下階と地面	上階と屋根		
	2	上	上	上	地中	/	12	F



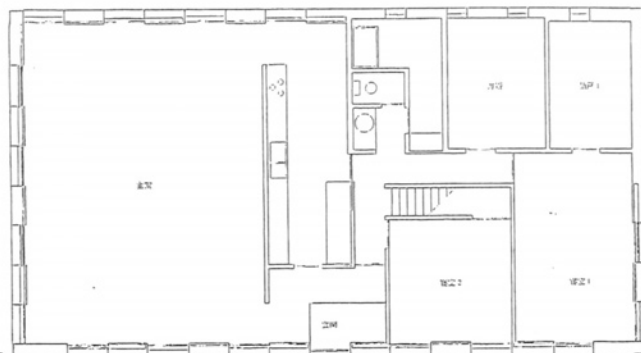
54 榎邸 榎文彦 7805	層数	各階を性格づける特徴					建蔽率	構成類型
		天井高	平面の大きさ	エントランス	下階と地面	上階と屋根		
	2	上'	上	下	地上	—	*	類型外



2階平面図

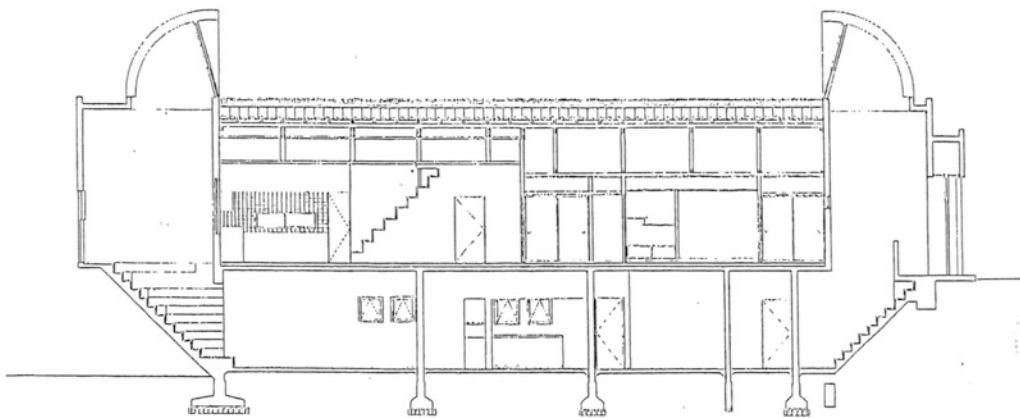
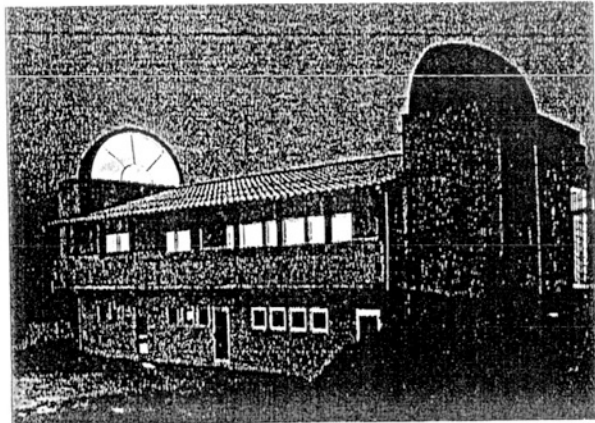


断面 section S=1:200

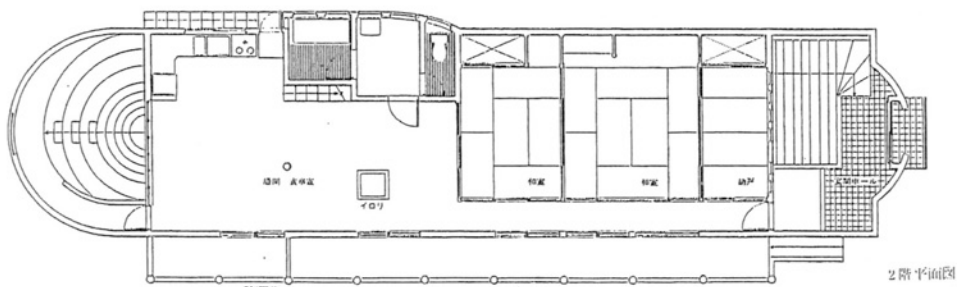


1階平面図

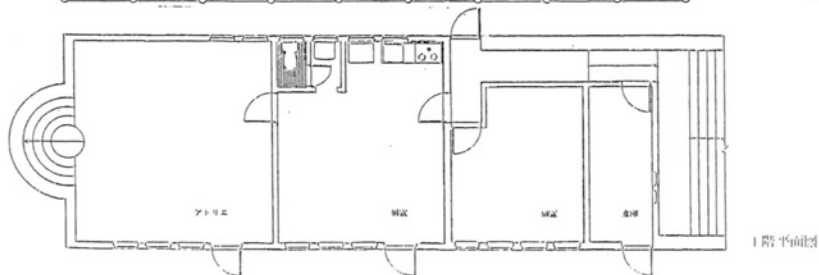
55 愛鷹裾野の住宅 篠原一男 7807	層数	各階を性格づける特徴					建蔽率	構成類型
		天井高	平面の大きさ	エントランス	下階と地面	上階と屋根		
	2	下上V	下	下	地上	/	10	M



断面図 縮尺 1/200

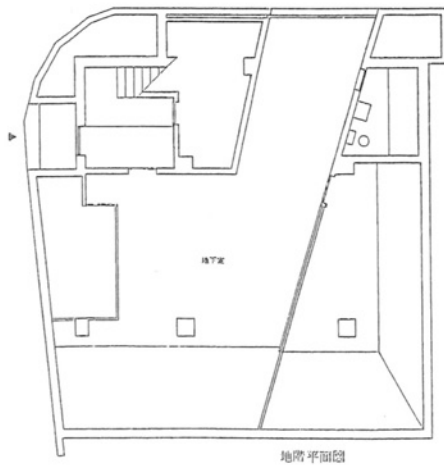
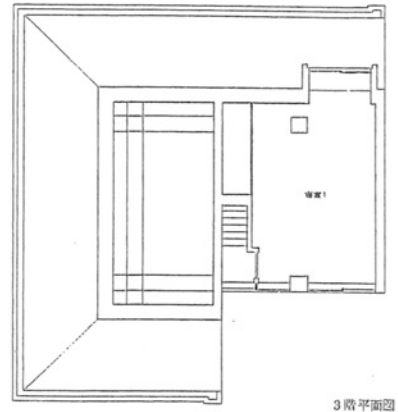
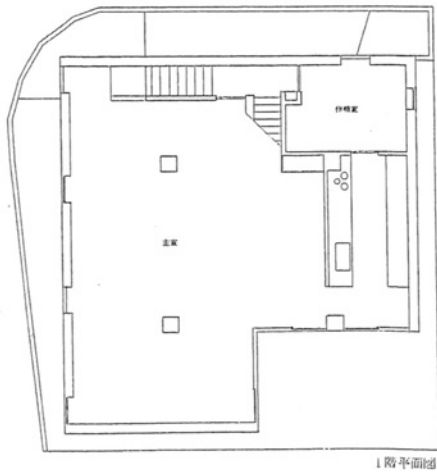
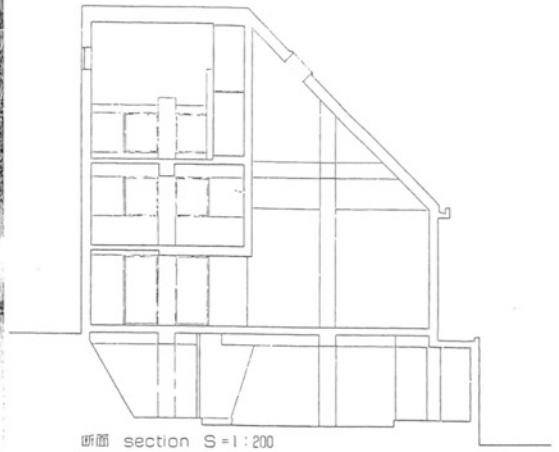
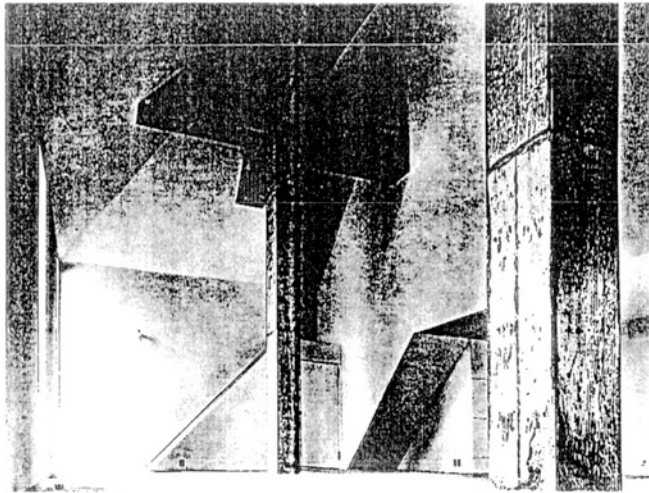


2階平面図

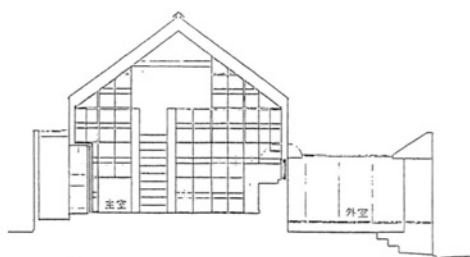
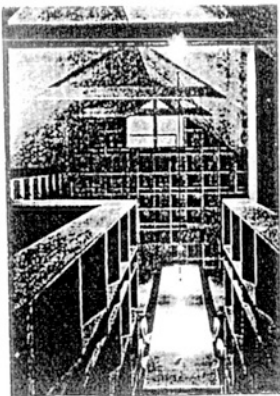


1階平面図

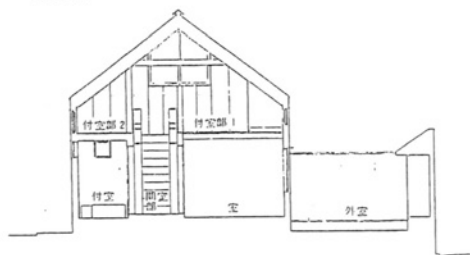
56 伊東邸 渡辺豊和 7808	層数	各階を性格づける特徴					建蔽率	構成類型
		天井高	平面の大きさ	エントランス	下階と地面	上階と屋根		
	2	上	上	上	地中	/	16	F



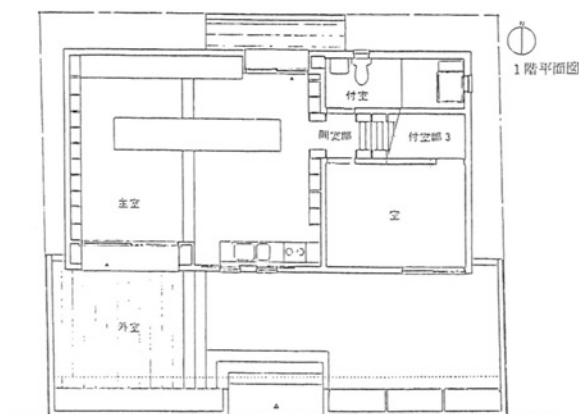
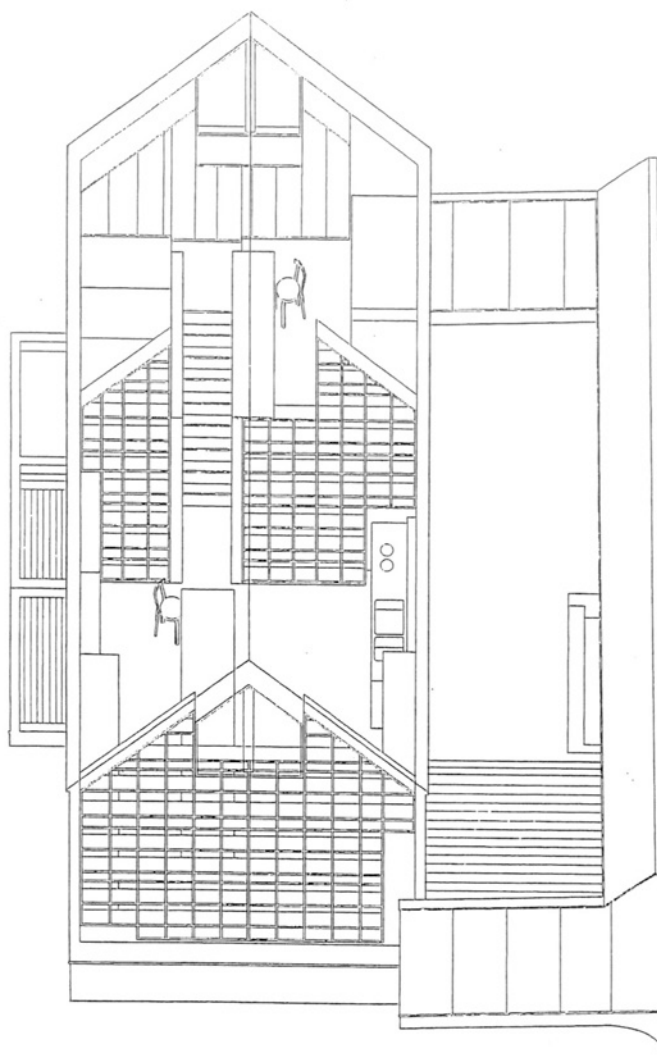
<p>57</p> <p>上原曲り道の住宅</p> <p>篠原一男</p> <p>7810</p>	層数	各階を性格づける特徴					建蔽率	構成類型
		天井高	平面の大きさ	エントランス	下階と地面	上階と屋根		
	4	中1上V	全	下	地中	/	60	類型外



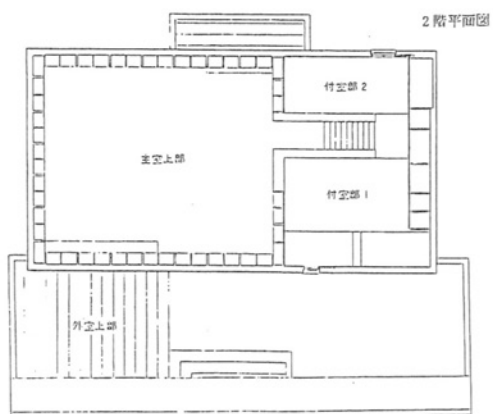
断面図 3



断面図 4



1階平面図



2階平面図

58

南湖の家  
坂本一成  
7902

層数

各階を性格づける特徴

天井高

平面の大きさ

エントランス

下階と地面

上階と屋根

建蔽率

構成類型

2

下上V

全

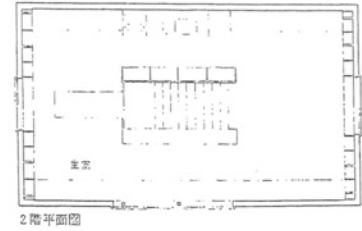
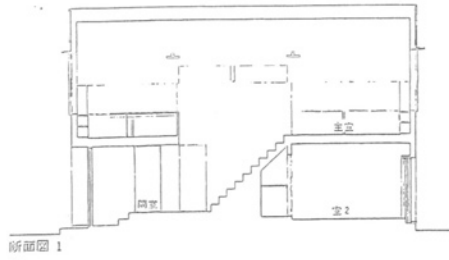
下

地上

/

45

I



1階平面図

2階平面図

59

坂田山附の家  
坂本一成  
7902

層数

各階を性格づける特徴

天井高

平面の大きさ

エントランス

下階と地面

上階と屋根

建蔽率

構成類型

2

上

全

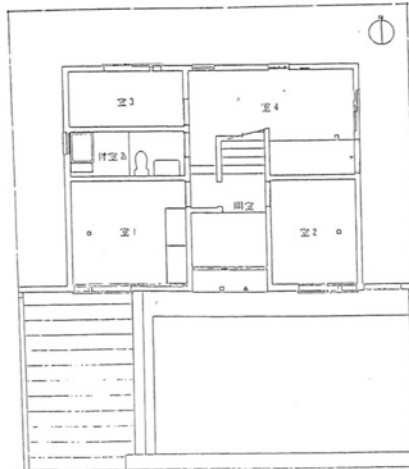
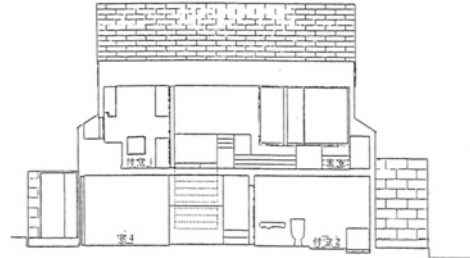
下

地上

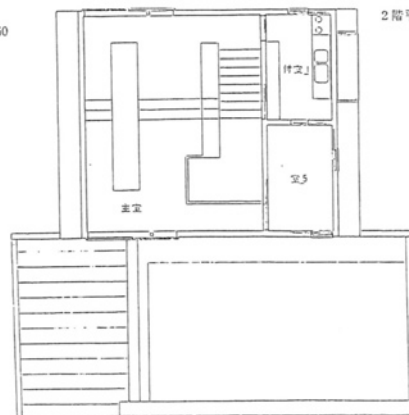
/

30

B



1階平面図  
縮尺 1/150



2階平面図

60

今宿の家  
坂本一成  
7902

層数

各階を性格づける特徴

天井高

平面の大きさ

エントランス

下階と地面

上階と屋根

建蔽率

構成類型

2

全

全

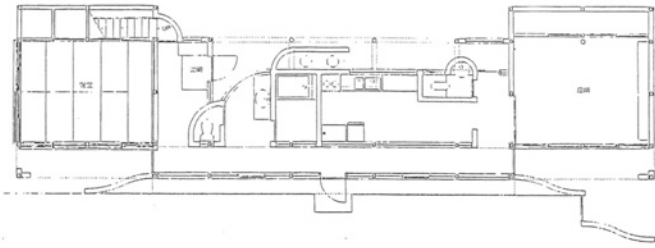
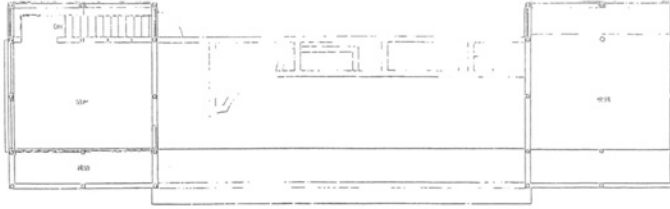
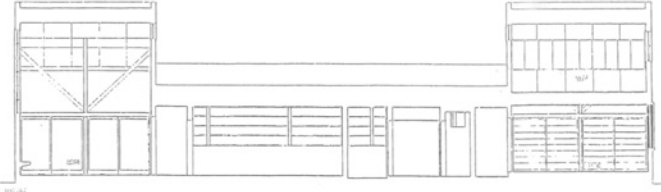
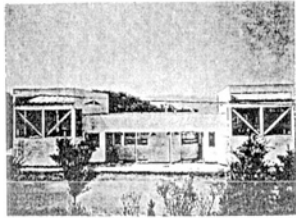
下

地上

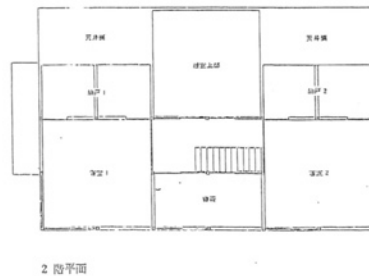
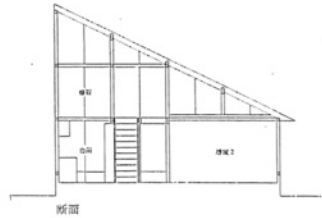
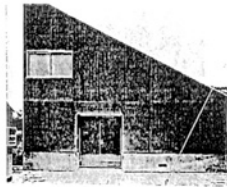
—

35

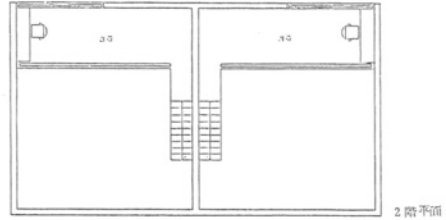
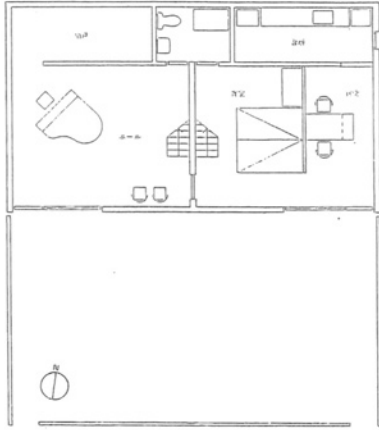
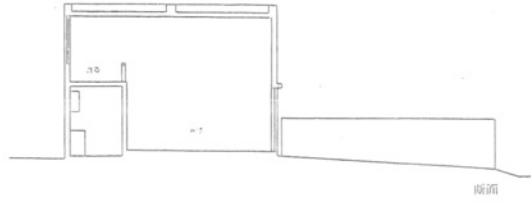
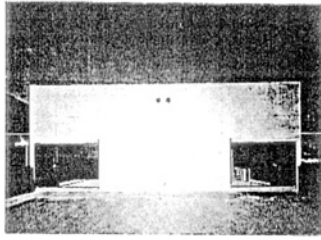
A



61 上田の住宅 1977 白沢宏規 7910	層数	各階を性格づける特徴					建蔽率	構成類型
		天井高	平面の大きさ	エントランス	下階と地面	上階と屋根		
	2	下上V	下	下	地上	—	35	類型外



62 銀舎 富永謙 7912	層数	各階を性格づける特徴					建蔽率	構成類型
		天井高	平面の大きさ	エントランス	下階と地面	上階と屋根		
	2	下上V	下	下	地上	/	38	M



63

上田邸  
安藤忠雄  
8002

層数

各階を性格づける特徴

建蔽率

構成類型

天井高

平面の大きさ

エントランス

下階と地面

上階と屋根

2

下上V

全

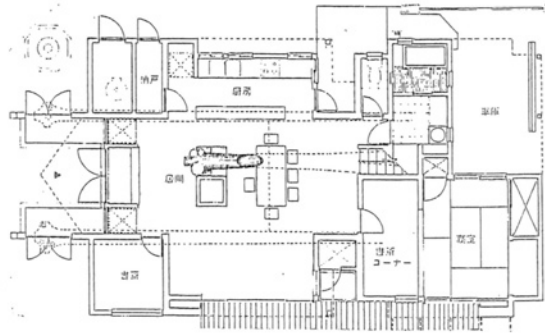
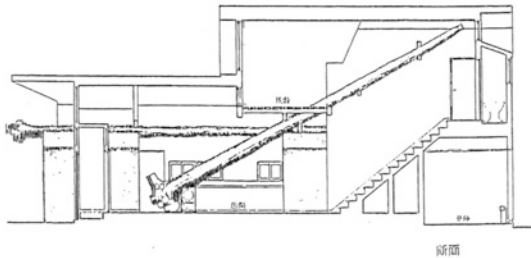
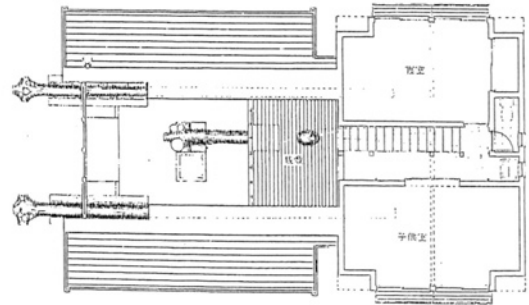
下

地上

—

39

H



64

塚田邸  
六角鬼丈  
8008

層数

各階を性格づける特徴

建蔽率

構成類型

天井高

平面の大きさ

エントランス

下階と地面

上階と屋根

2

下

下

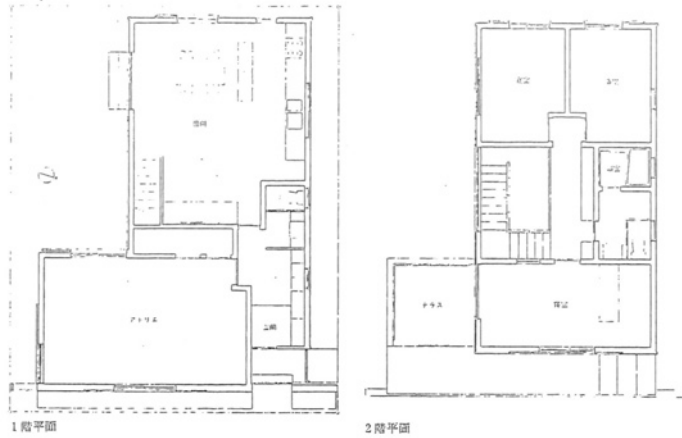
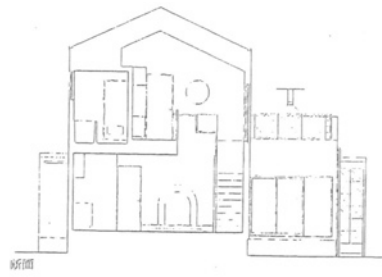
下

地上

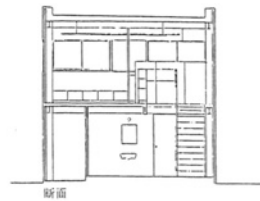
—

53

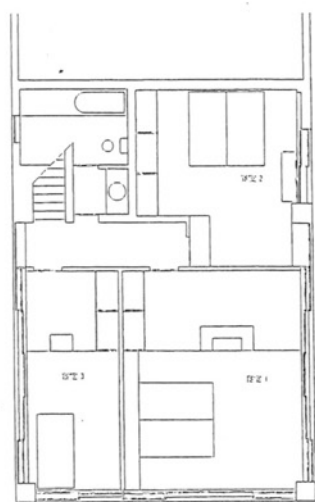
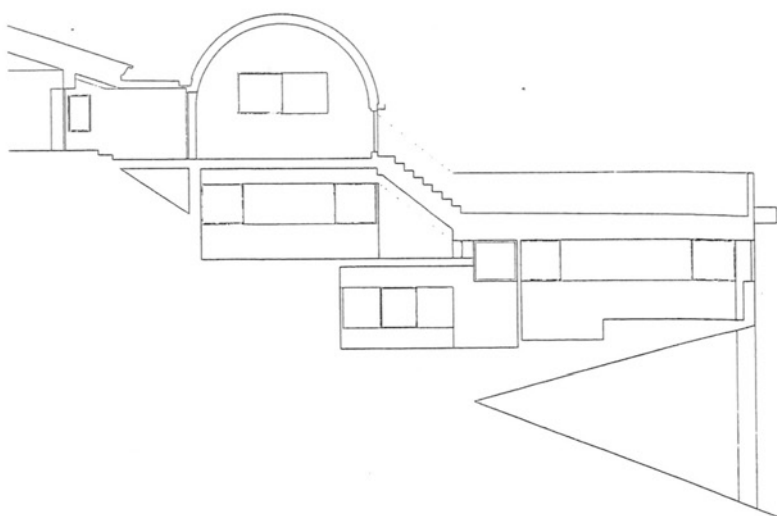
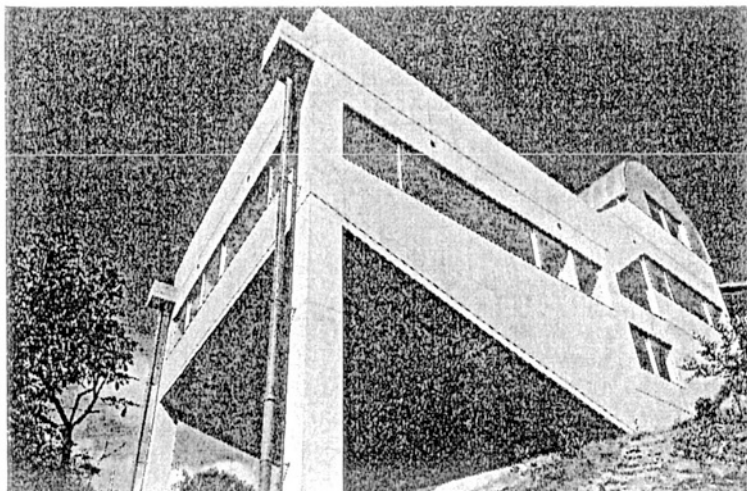
類型外



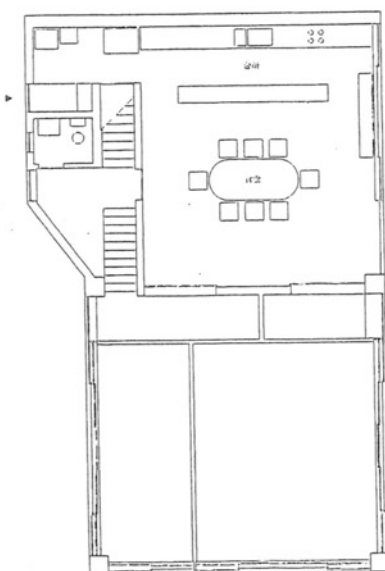
65 中央林間の家 伊東豊雄 8008	層数	各階を性格づける特徴					建蔽率	構成類型
		天井高	平面の大きさ	エントランス	下階と地面	上階と屋根		
	2	下'	下	下	地上	/	58	C



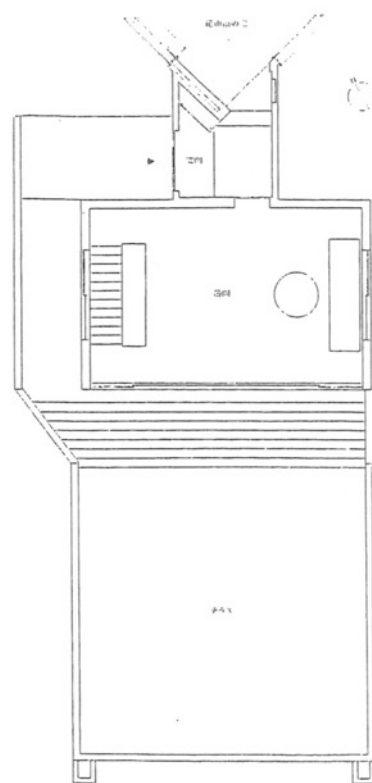
66 小金井の家 伊東豊雄 8008	層数	各階を性格づける特徴					建蔽率	構成類型
		天井高	平面の大きさ	エントランス	下階と地面	上階と屋根		
	2	上	全	下	地上	—	34	類型外



下階平面

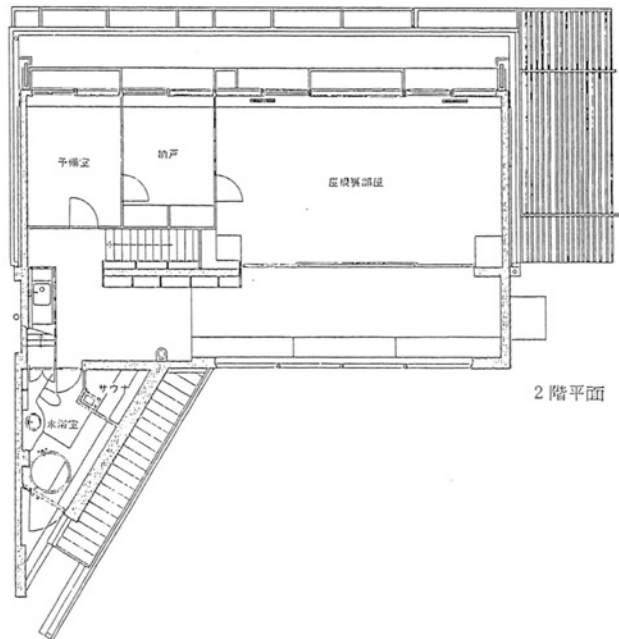
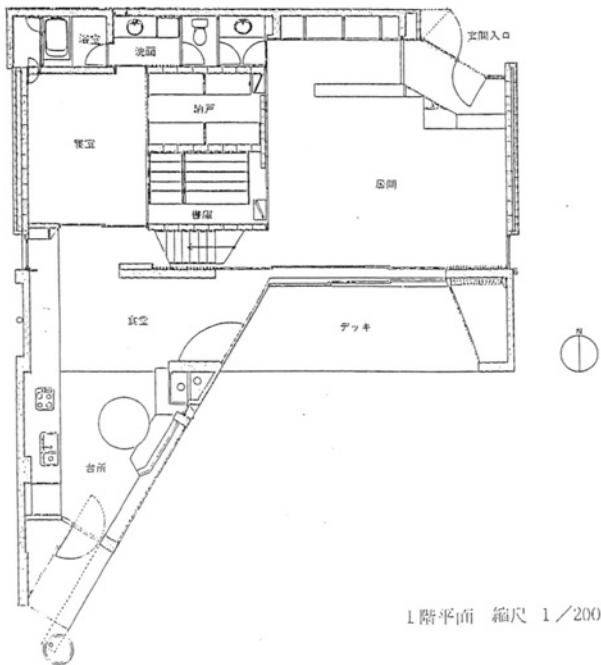
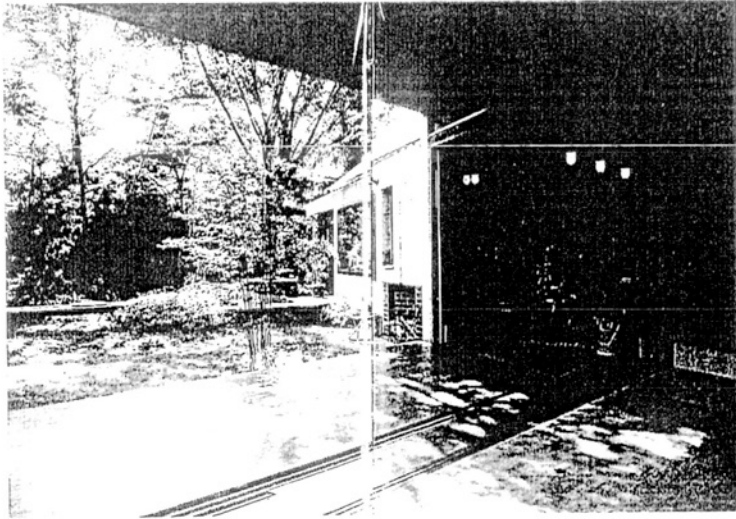


中階平面

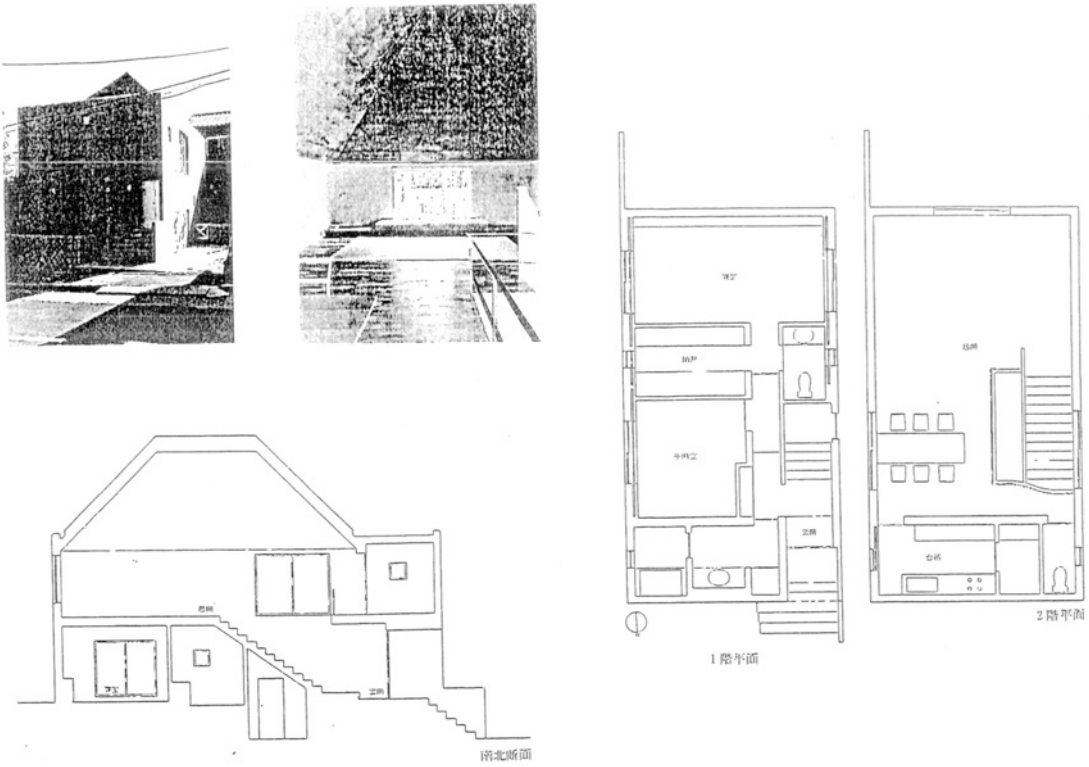


上階平面

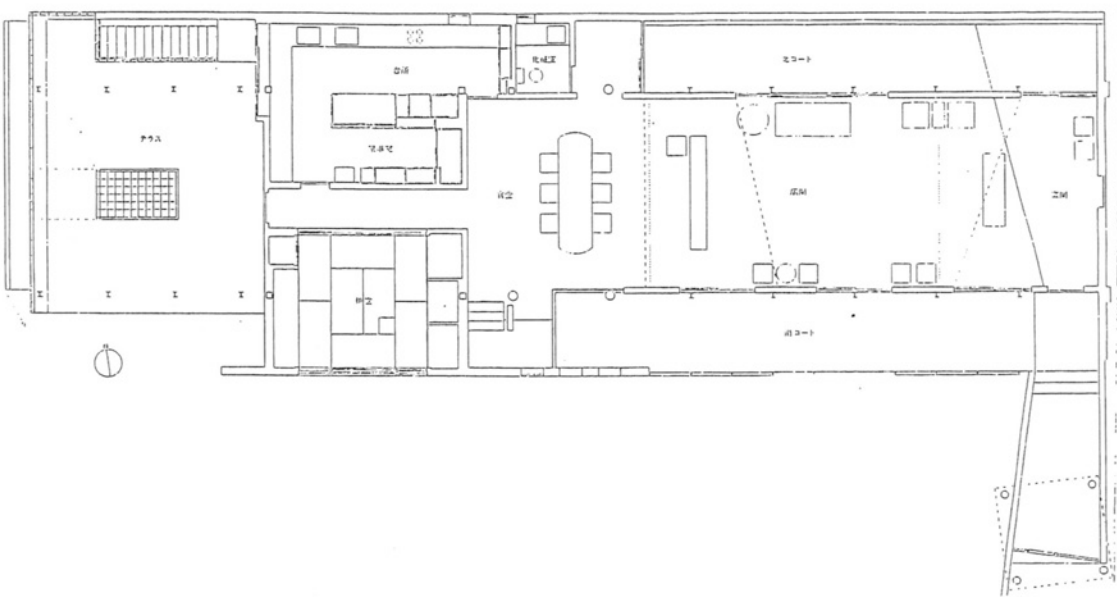
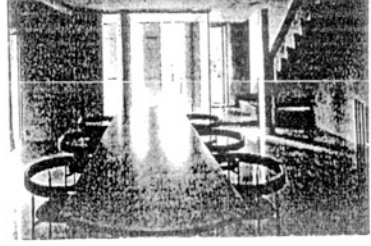
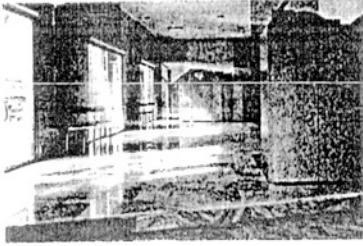
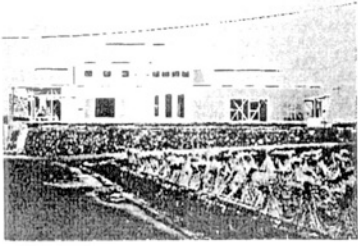
<p>67</p> <p>花山第4の住宅</p> <p>篠原一男</p> <p>8101</p>	層数	各階を性格づける特徴					建蔽率	構成類型
		天井高	平面の大きさ	エントランス	下階と地面	上階と屋根		
	3	上	下	上	地中	/	12	類型外



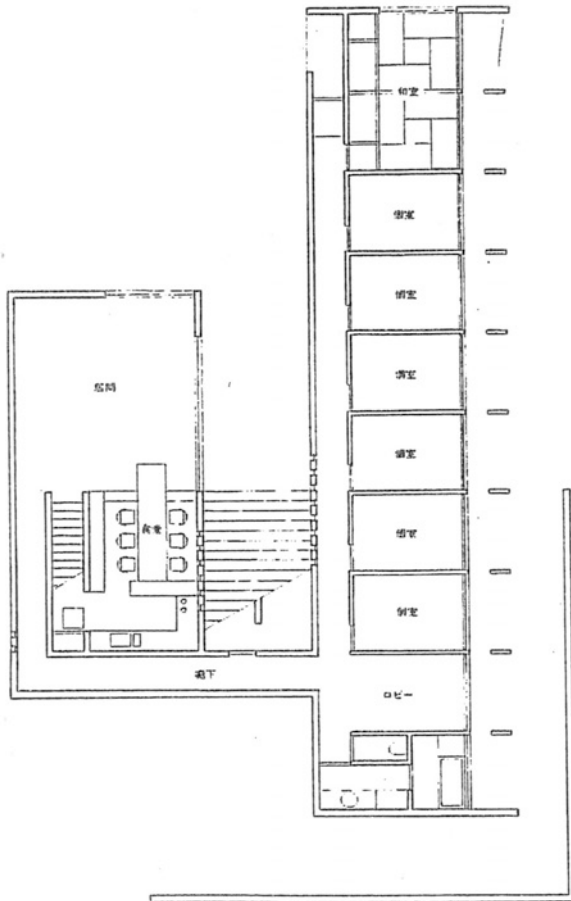
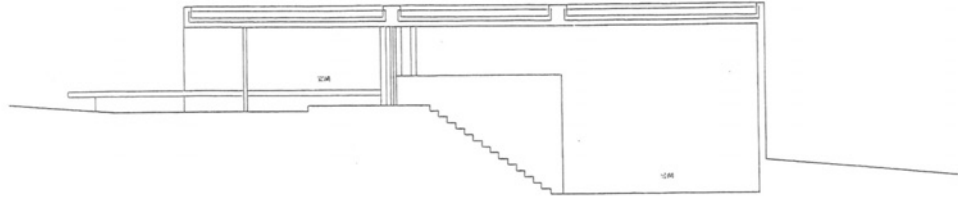
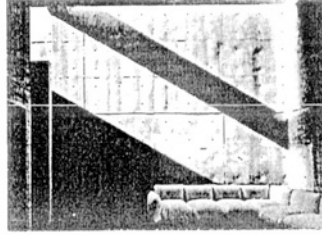
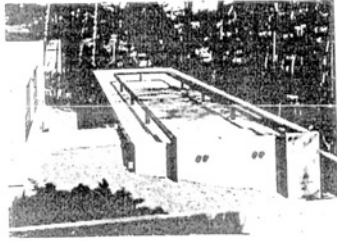
68 私たちの家 林昌二・雅子 8102	層数	各階を性格づける特徴					建蔽率	構成類型
		天井高	平面の大きさ	エントランス	下階と地面	上階と屋根		
	2	上'	下	下	地上	/	39	E



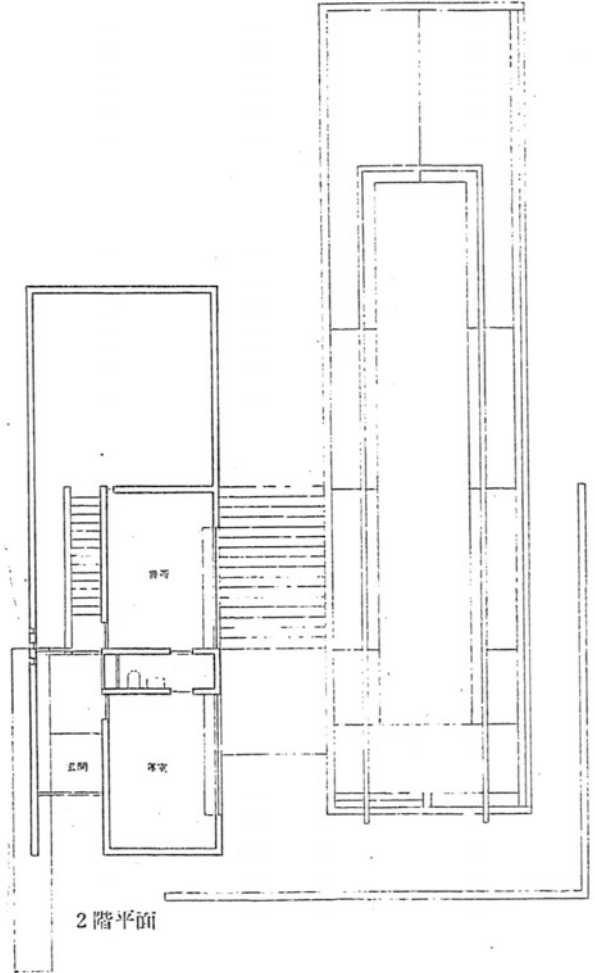
69 鈴ヶ台の家 村上徹 8102	層数	各階を性格づける特徴					建蔽率	構成類型
		天井高	平面の大きさ	エントランス	下階と地面	上階と屋根		
	2	上	全	下	地上	/	22	B



70 松山桑原の住宅 長谷川逸子 8103	層数	各階を性格づける特徴					建蔽率	構成類型
		天井高	平面の大きさ	エントランス	下階と地面	上階と屋根		
	2	上	下	下	地上	/	43	E

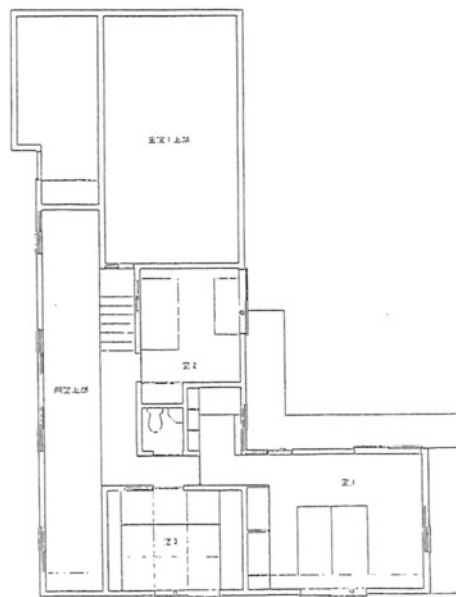
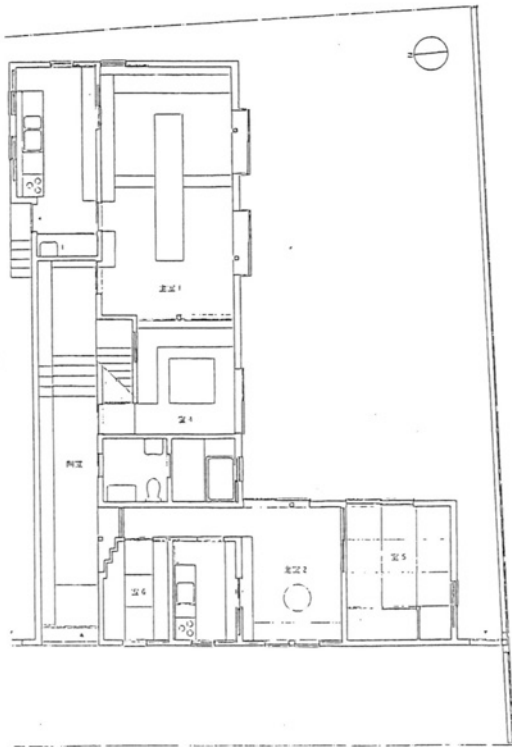
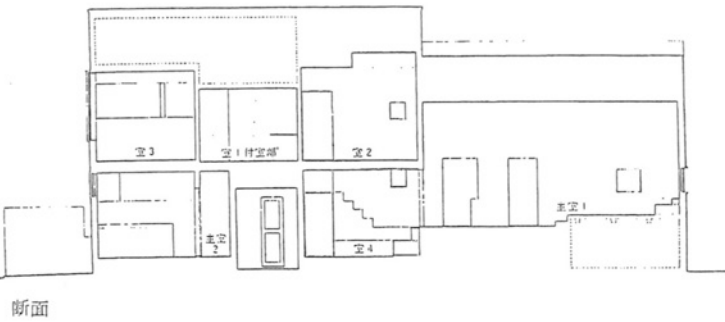
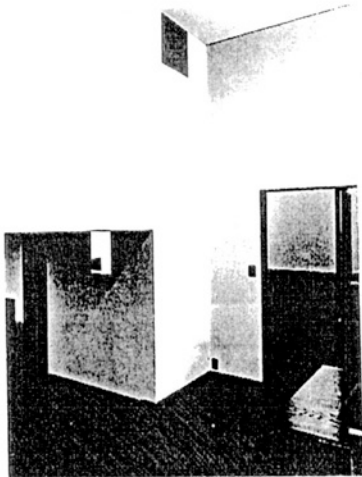


1階平面

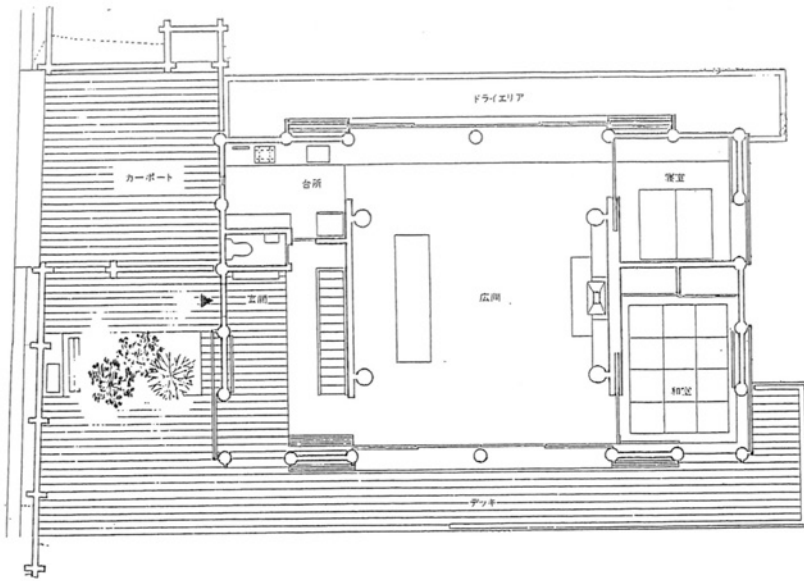
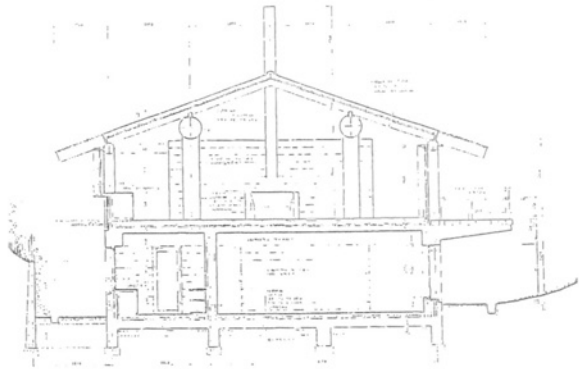


2階平面

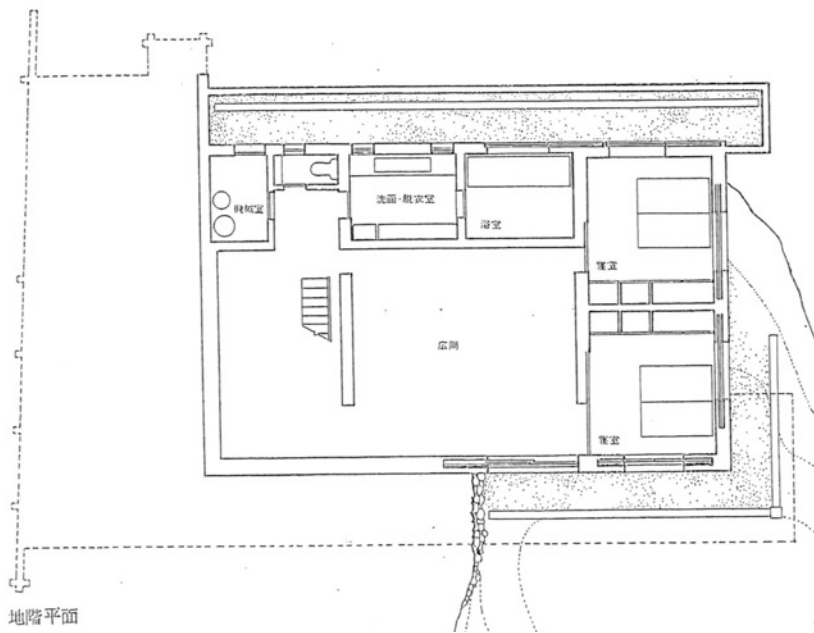
71 小篠邸 安藤忠雄 8106	層数	各階を性格づける特徴					建蔽率	構成類型
		天井高	平面の大きさ	エントランス	下階と地面	上階と屋根		
	2	下上V	下	上	地中	—	20	類型外



72 祖師谷の家 坂本一成 8106	層数	各階を性格づける特徴					建蔽率	構成類型
		天井高	平面の大きさ	エントランス	下階と地面	上階と屋根		
	2	下上V	全	下	地上	/	40	I

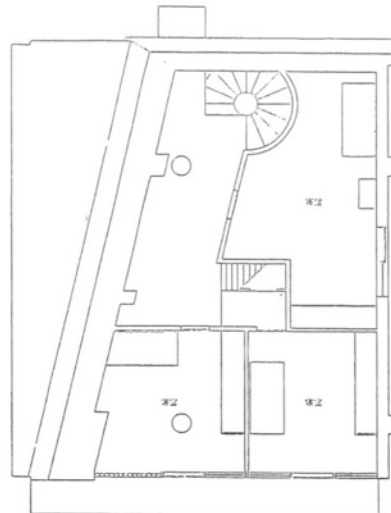
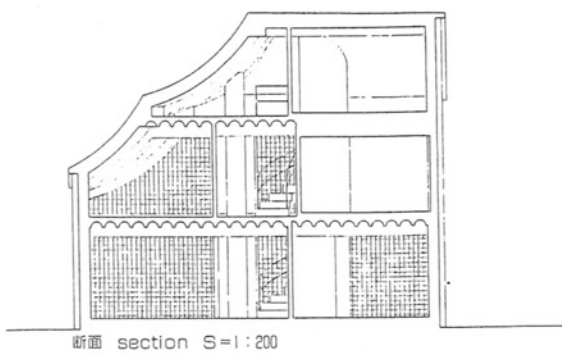
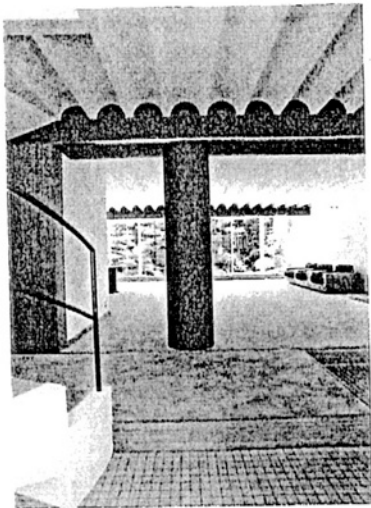
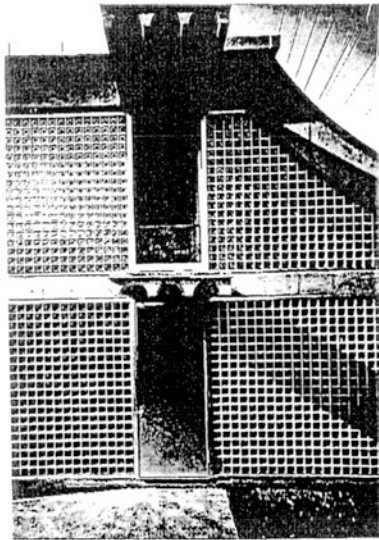


1階平面

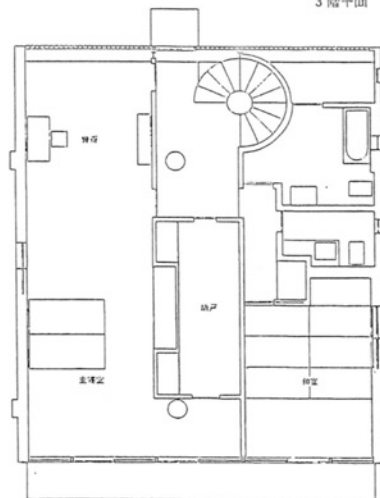


地階平面

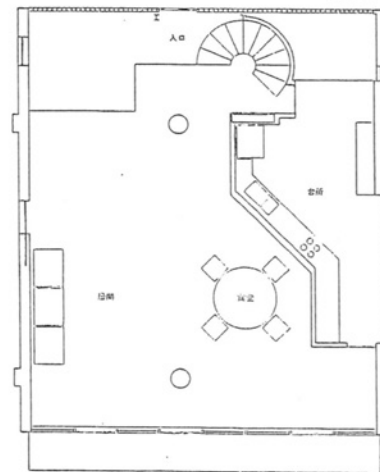
73 湯の花の家 茶谷正洋 8108	層数	各階を性格づける特徴					建蔽率	構成類型
		天井高	平面の大きさ	エントランス	下階と地面	上階と屋根		
	2	上	全	上	地中	／	15	類型外



3階平面

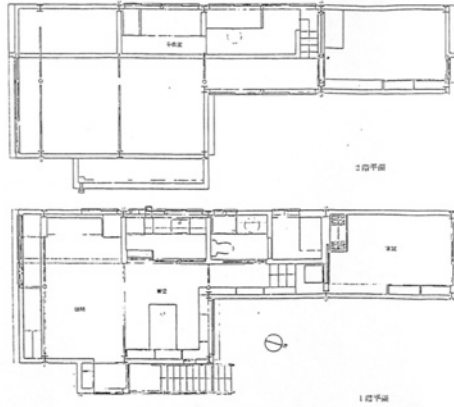
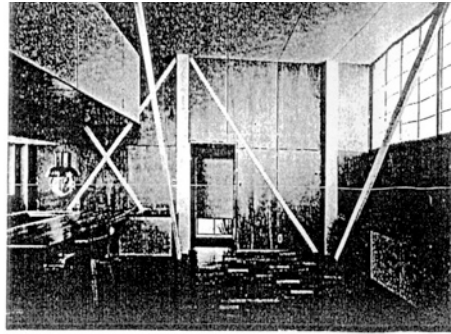


2階平面

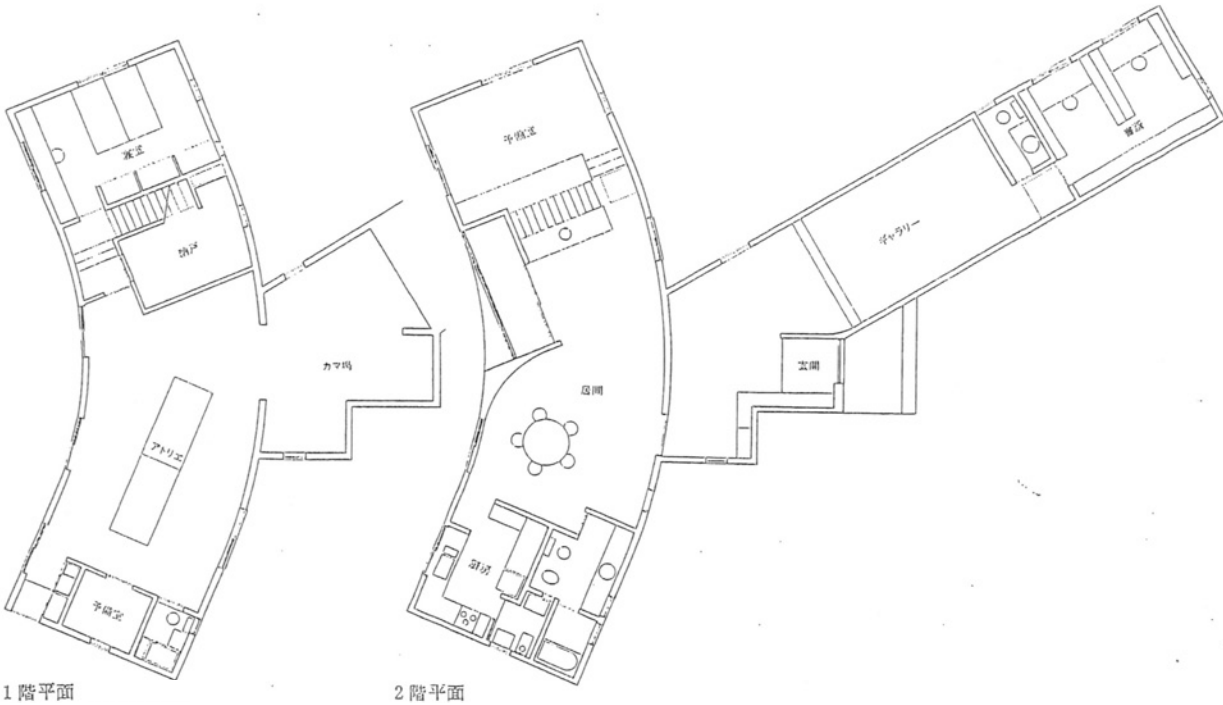
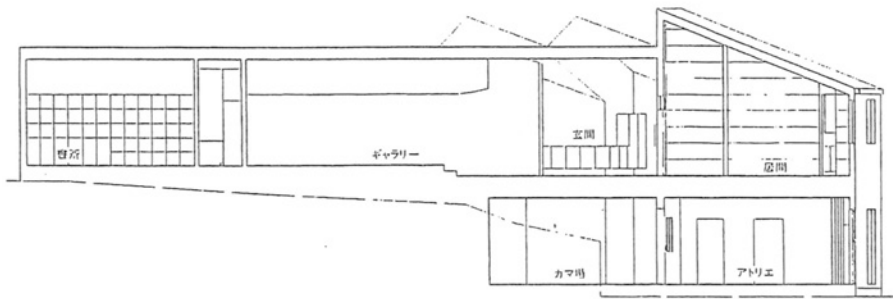


1階平面

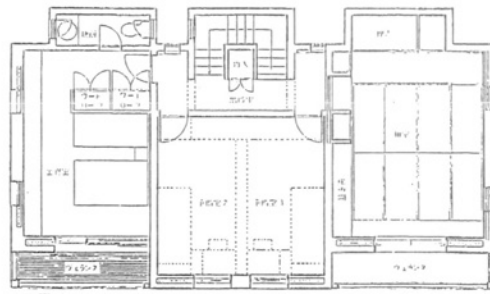
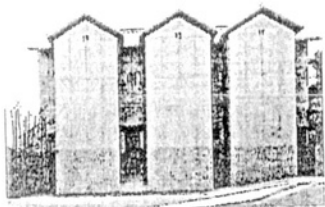
74 高架線下の住宅 篠原一男 8109	層数	各階を性格づける特徴					建蔽率	構成類型
		天井高	平面の大きさ	エントランス	下階と地面	上階と屋根		
	3	全	下中	下	地上	/	40	類型外



<p>75</p> <p>経堂の住宅 1980</p> <p>富永謙</p> <p>8202</p>	層数	各階を性格づける特徴					建蔽率	構成類型
		天井高	平面の大きさ	エントランス	下階と地面	上階と屋根		
	2	下上V	全	下	上空	/	56	類型外



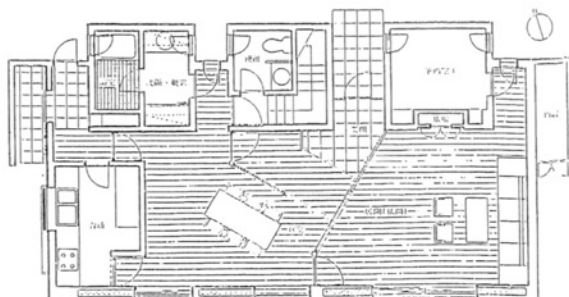
76 笠間の家 伊東豊雄 8204	層数	各階を性格づける特徴					建蔽率	構成類型
		天井高	平面の大きさ	エントランス	下階と地面	上階と屋根		
	2	上	上	上	地中	/	18	F



2階平面

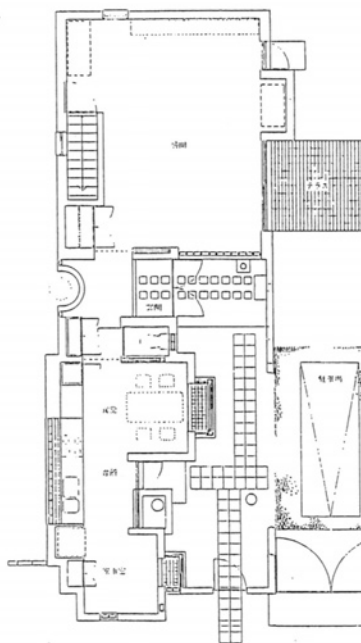


断面

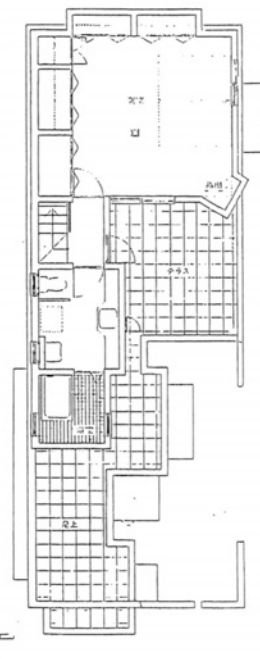


1階平面

77 逆瀬台の家 出江寛 8205	層数	各階を性格づける特徴					建蔽率	構成類型
		天井高	平面の大きさ	エントランス	下階と地面	上階と屋根		
	2	全	全	下	地上	—'	35	A

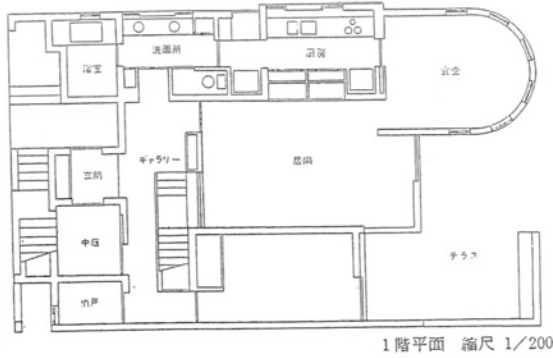
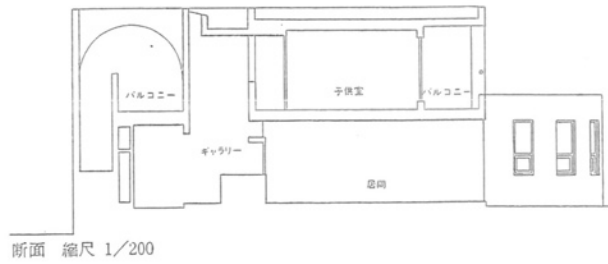
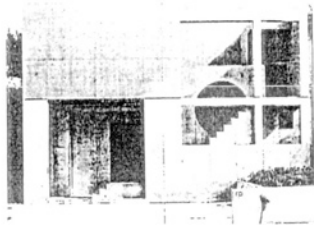


1階平面



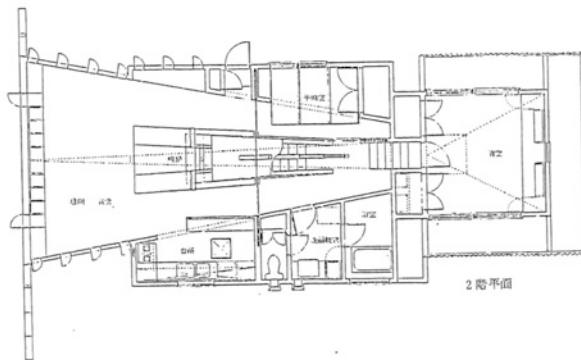
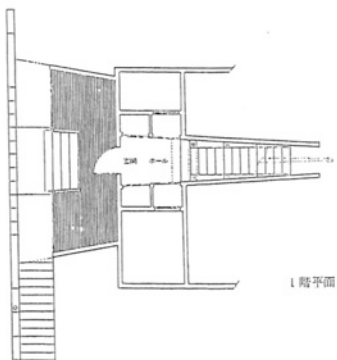
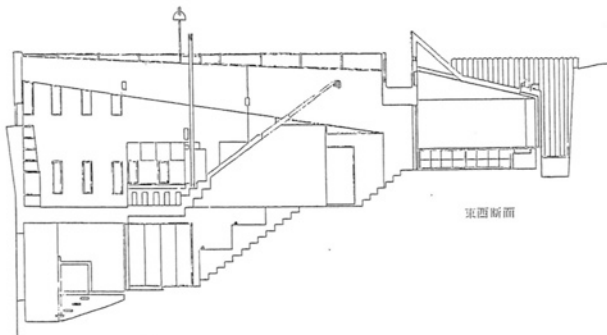
2階平面

78 積木の家IV 相田武史 8208	層数	各階を性格づける特徴					建蔽率	構成類型
		天井高	平面の大きさ	エントランス	下階と地面	上階と屋根		
	2	上'	下	下	地上	/	28	E



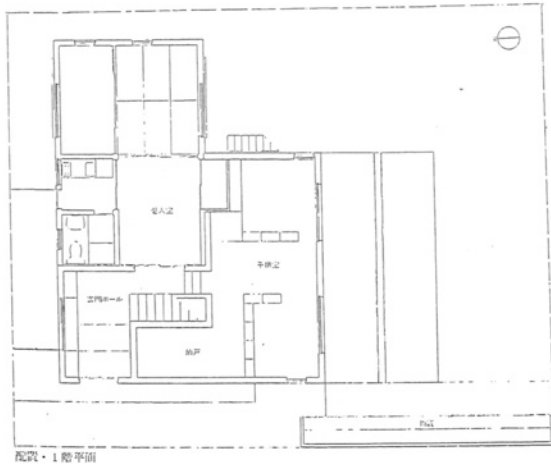
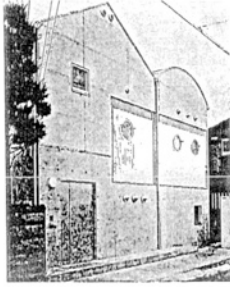
79	層数	各階を性格づける特徴					建蔽率	構成類型
		天井高	平面の大きさ	エントランス	下階と地面	上階と屋根		
		2	全	下	地上	—		

成城・バス停前の家  
早川邦彦  
8211

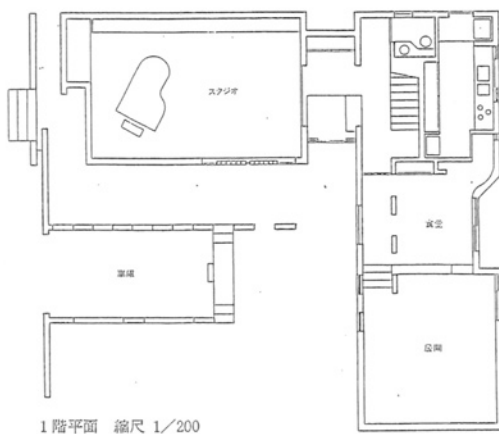
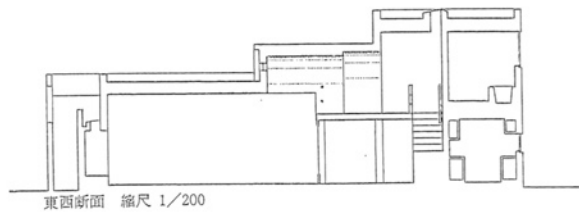


80	層数	各階を性格づける特徴					建蔽率	構成類型
		天井高	平面の大きさ	エントランス	下階と地面	上階と屋根		
		2	上'	上	下	地中		

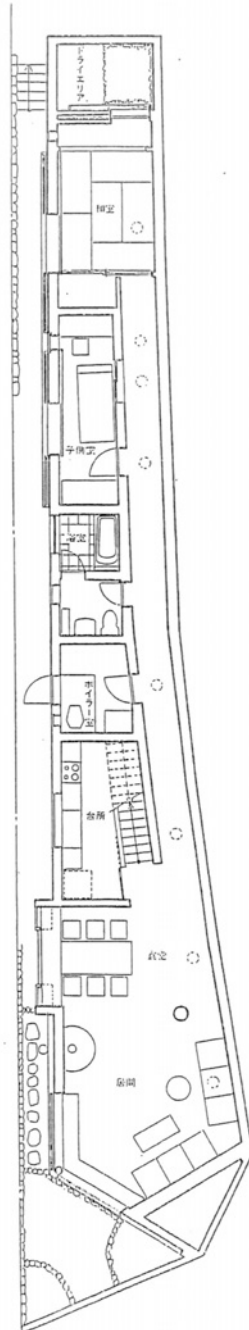
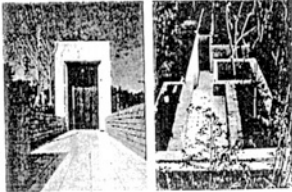
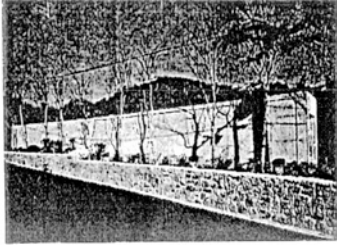
ランドシップI・イリス  
石山修武  
8312



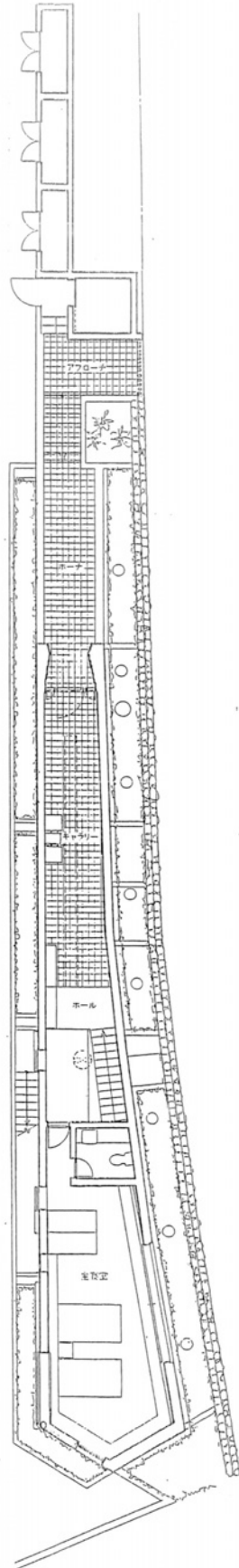
81 花小金井の家 伊東豊雄 8312	層数	各階を性格づける特徴					建蔽率	構成類型
		天井高	平面の大きさ	エントランス	下階と地面	上階と屋根		
	2	上	全	下	地上	/	32	B



82 成城・交差点の家 早川邦彦 8402	層数	各階を性格づける特徴					建蔽率	構成類型
		天井高	平面の大きさ	エントランス	下階と地面	上階と屋根		
	2	下'	下	下	地上	/	34	C

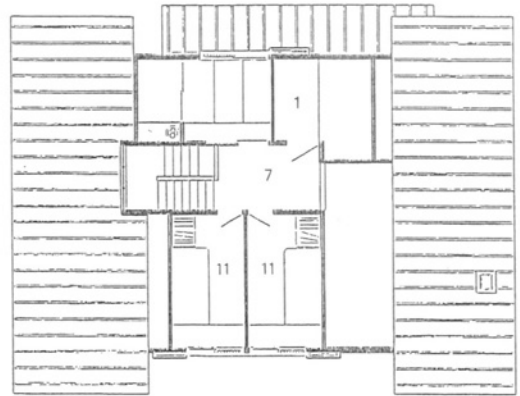


地階平面 縮尺 1/200

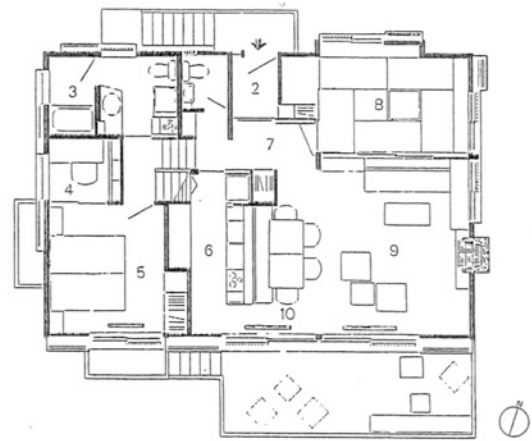
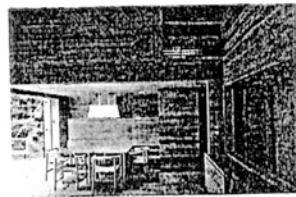


1階平面

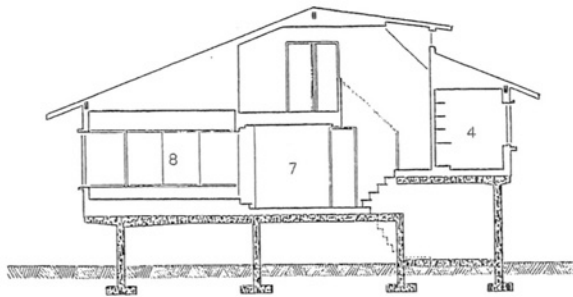
83 目神山の家 8 石井修 8402	層数	各階を性格づける特徴					建蔽率	構成類型
		天井高	平面の大きさ	エントランス	下階と地面	上階と屋根		
	2	下	下	上	地中	—	25	類型外



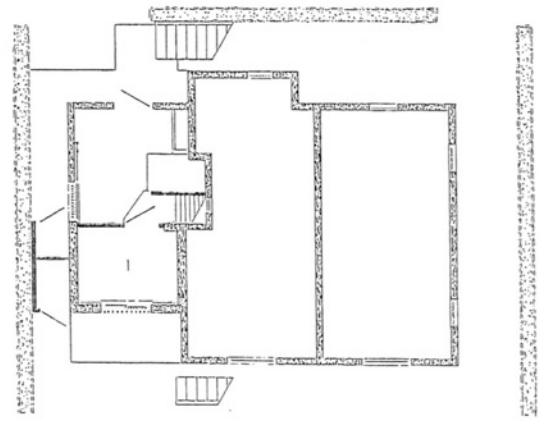
Second floor.



First floor; scale: 1/200.

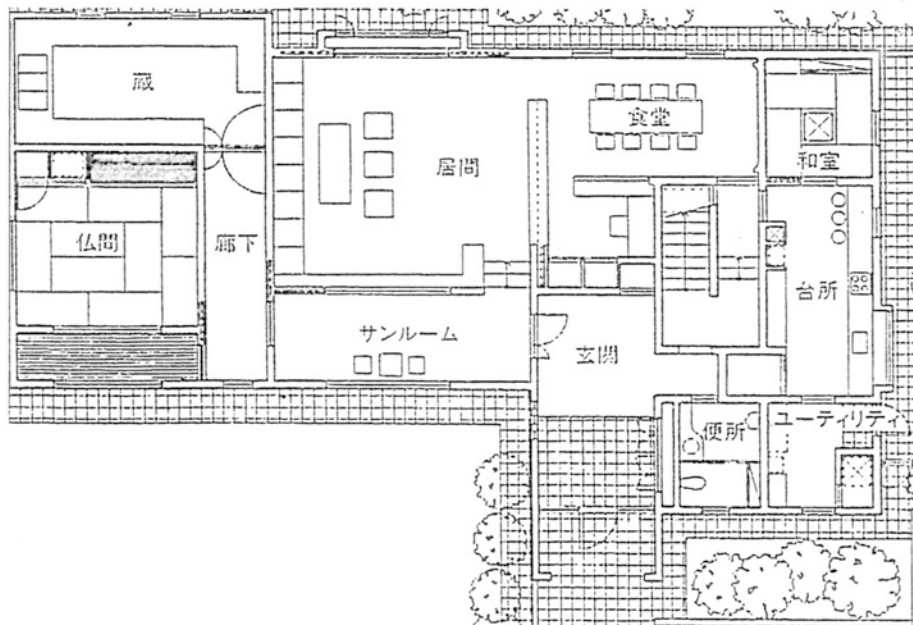
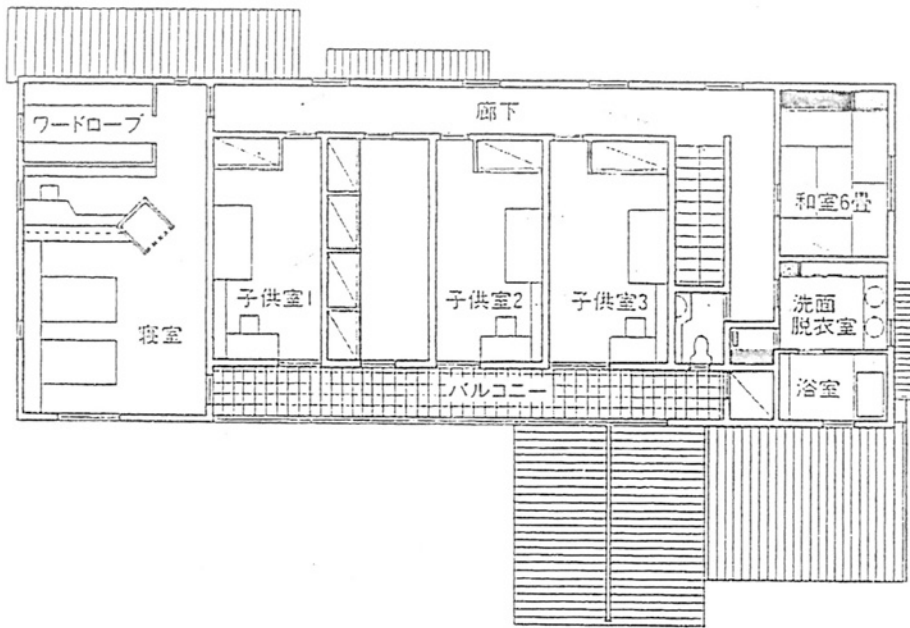
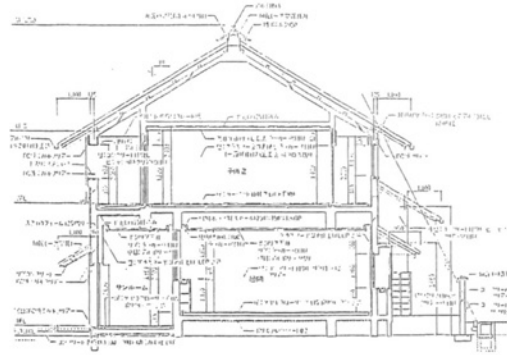


Section; scale: 1/200.

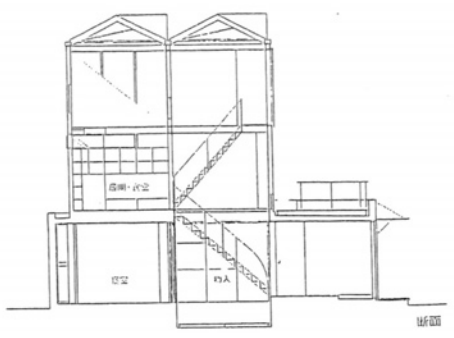
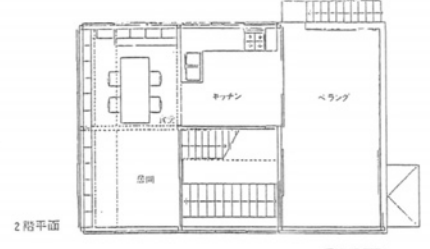
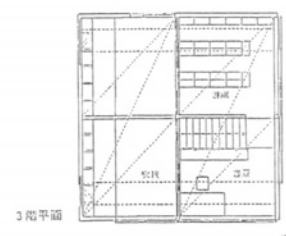
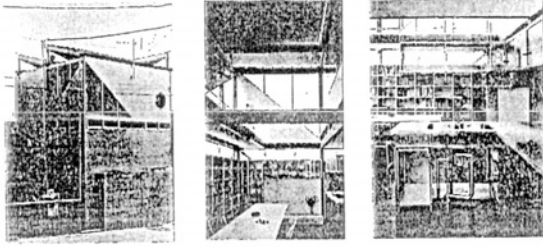


Base.

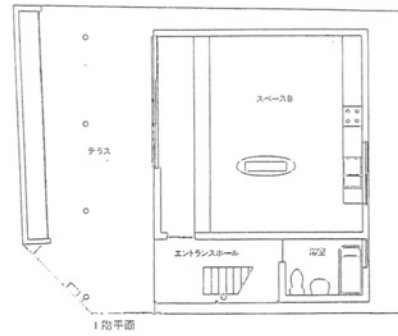
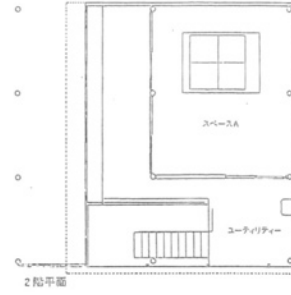
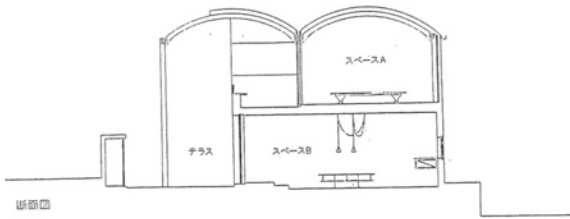
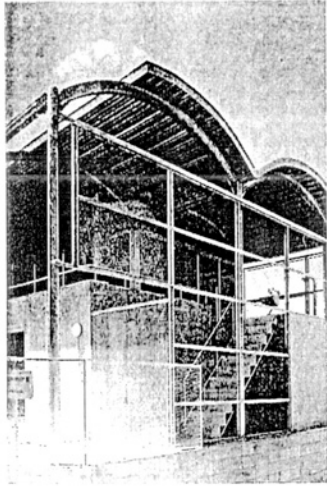
84 柳田邸 吉村順三 8402	層数	各階を性格づける特徴					建蔽率	構成類型
		天井高	平面の大きさ	エントランス	下階と地面	上階と屋根		
	3	中上V	中	中	地上	/	*	L



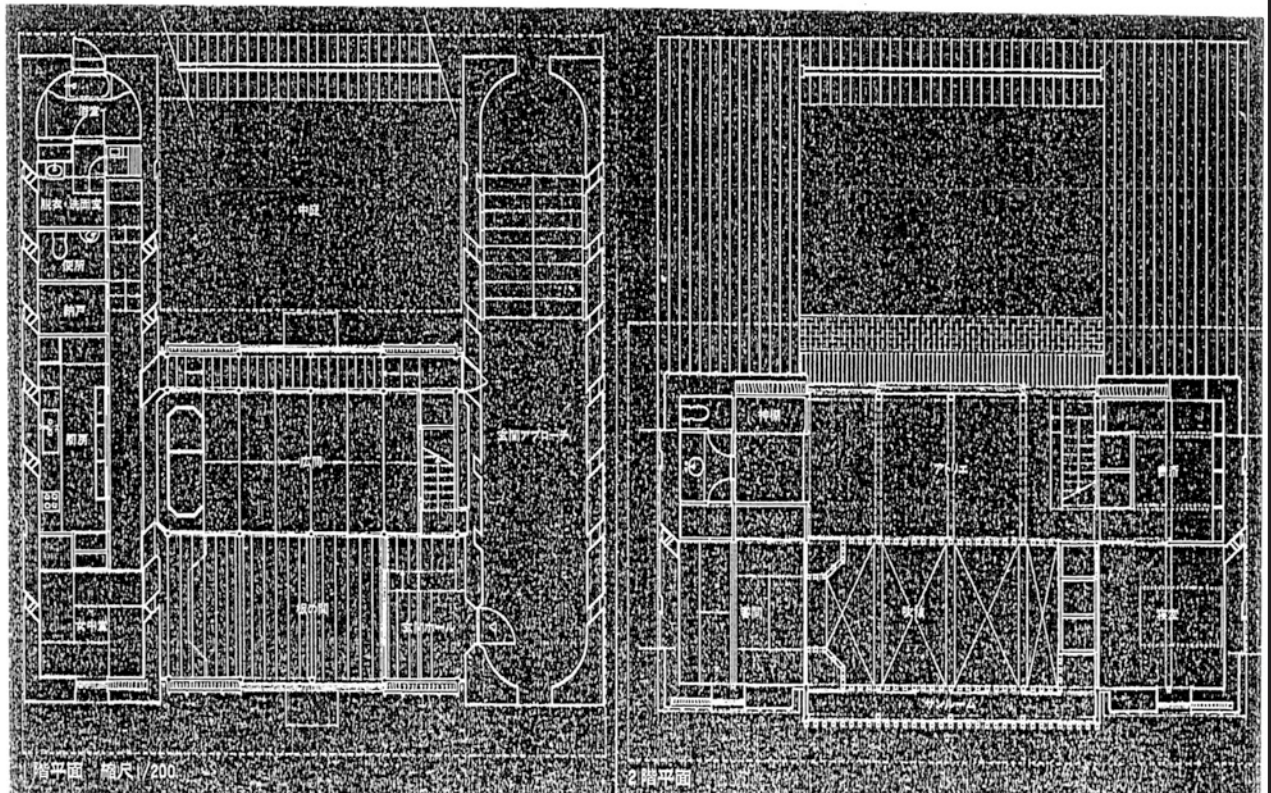
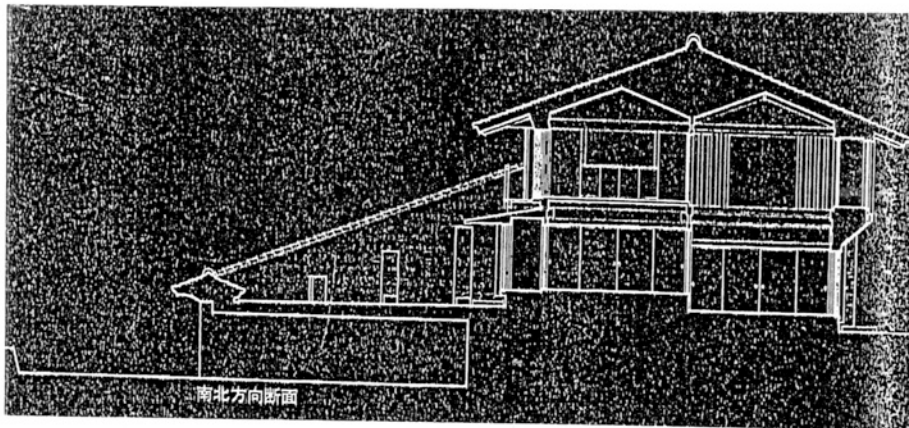
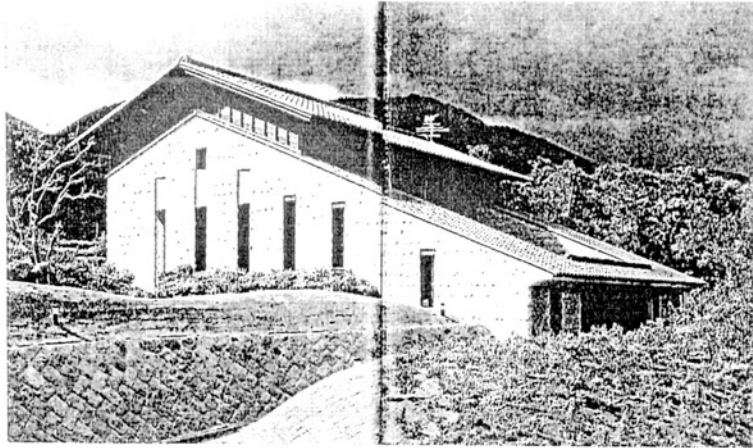
85 A型 vsB型邸 出江寛 8607	層数	各階を性格づける特徴					建蔽率	構成類型
		天井高	平面の大きさ	エントランス	下階と地面	上階と屋根		
	2	下	下	下	地上	一	23	類型外



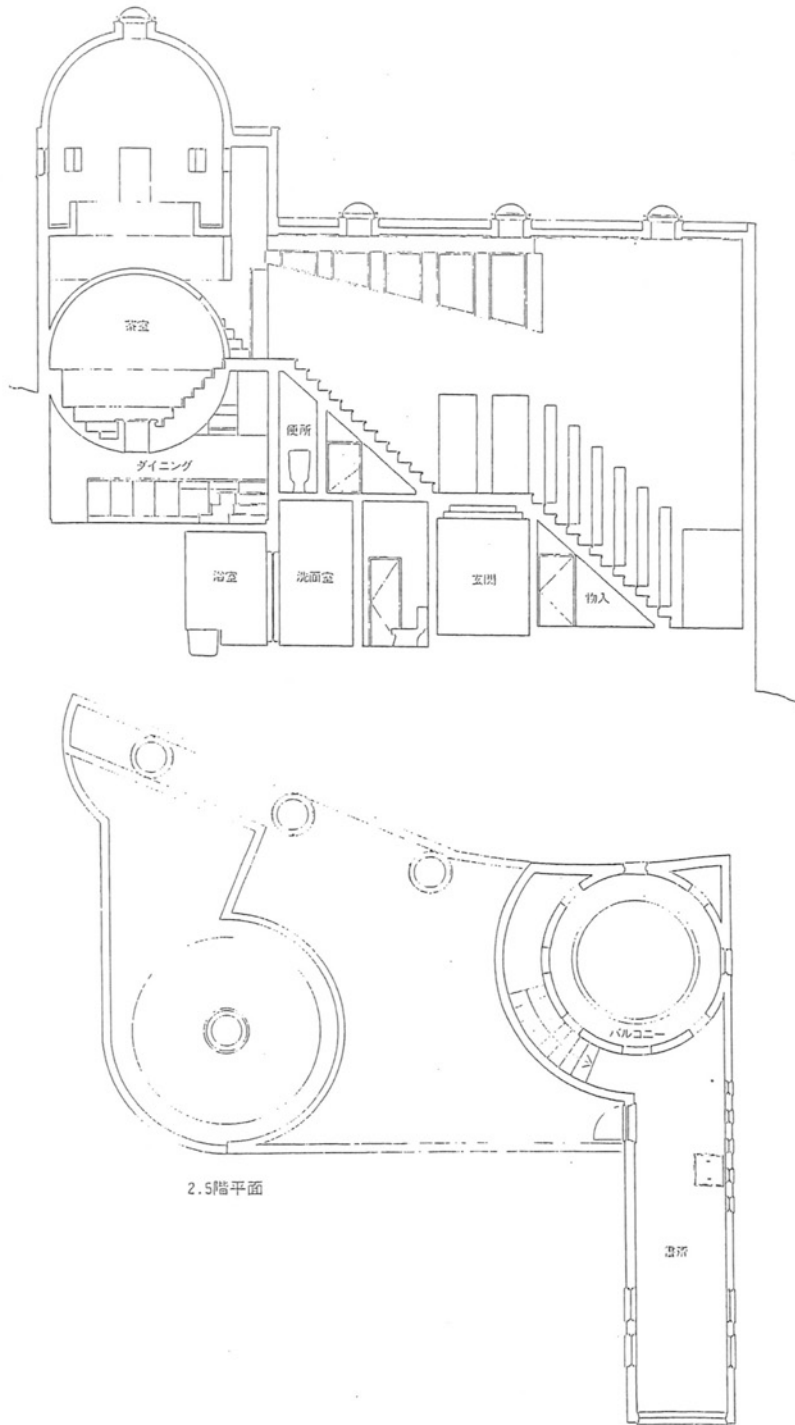
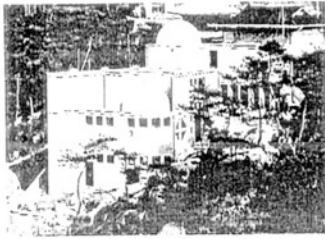
<p>86</p> <p>茅ヶ崎の家</p> <p>石田敏明</p> <p>8609</p>	層数	各階を性格づける特徴					建蔽率	構成類型
		天井高	平面の大きさ	エントランス	下階と地面	上階と屋根		
	3	中上V	下	下	地上	/	47	L



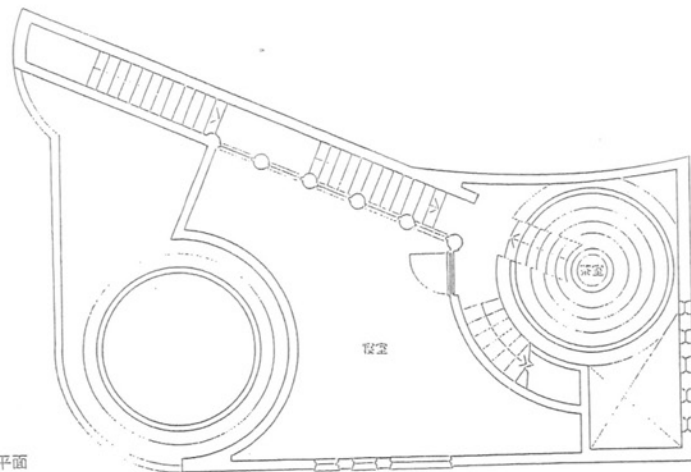
87 馬込の家 伊東豊雄 8609	層数	各階を性格づける特徴					建蔽率	構成類型
		天井高	平面の大きさ	エントランス	下階と地面	上階と屋根		
	2	全	上	全	地上	/	50	類型外



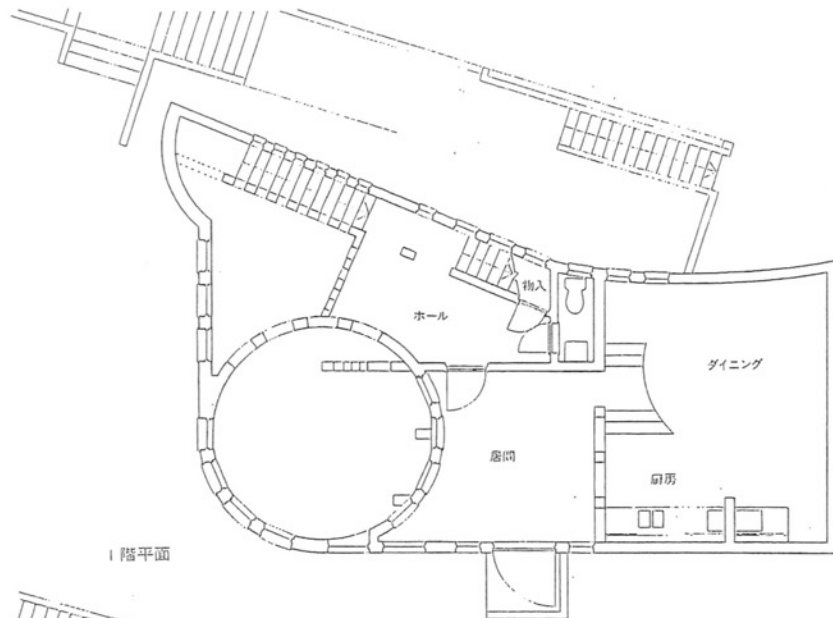
88 屋久島の家 齋藤裕 8612	層数	各階を性格づける特徴					建蔽率	構成類型
		天井高	平面の大きさ	エントランス	下階と地面	上階と屋根		
	2	下上V	下	下	地上	—'	13	類型外



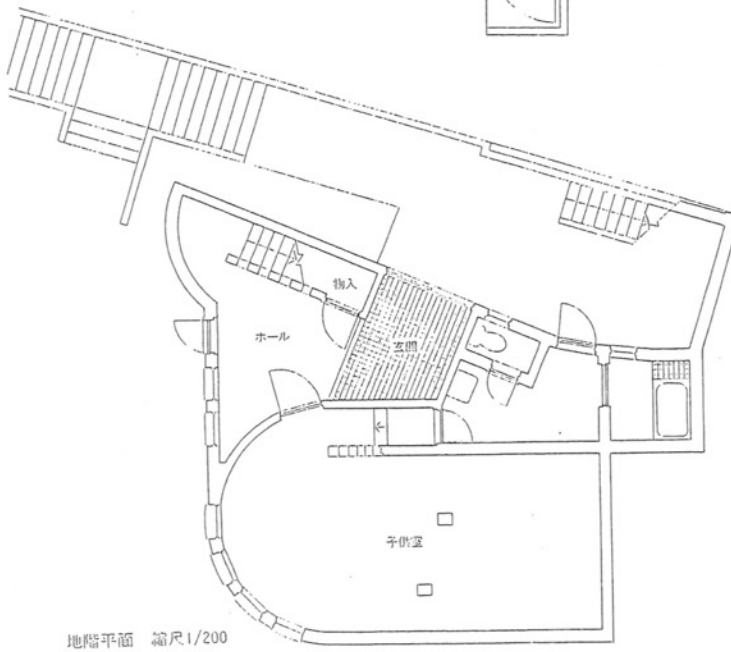
89 神殿住居・地球庵 渡辺豊和 8706	層数	各階を性格づける特徴					建蔽率	構成類型
		天井高	平面の大きさ	エントランス	下階と地面	上階と屋根		
	4	下中2V	下	下	地中	/	18	類型外



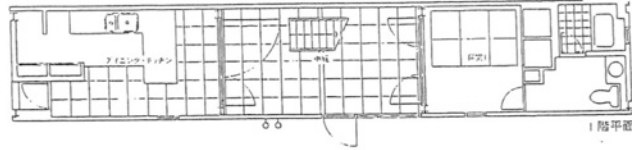
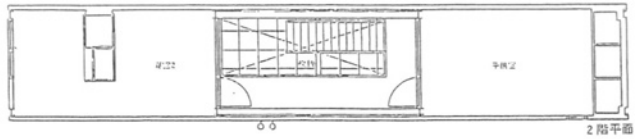
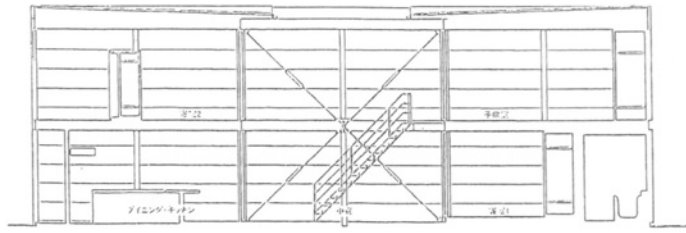
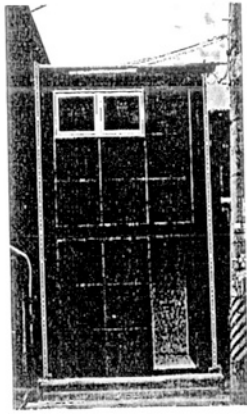
2階平面



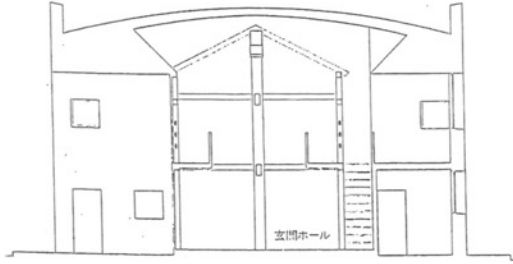
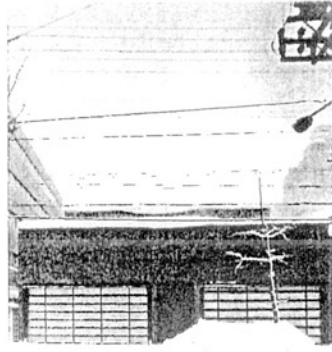
1階平面



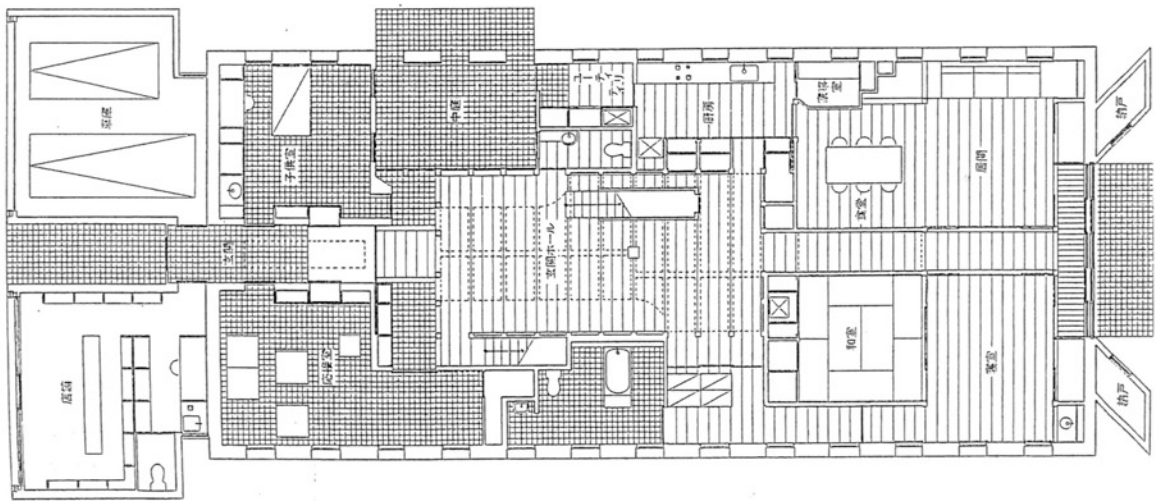
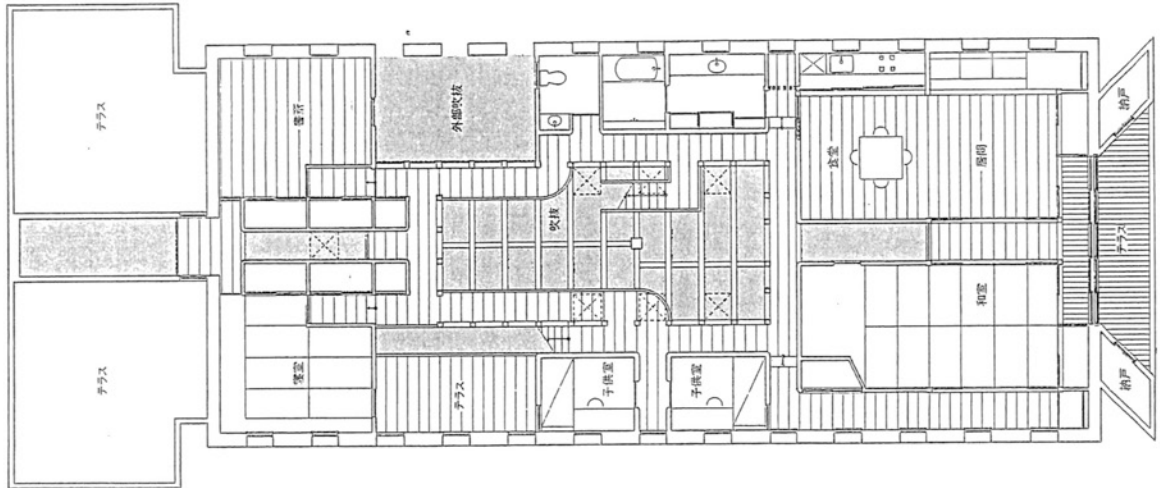
地階平面 縮尺1/200



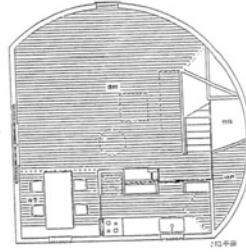
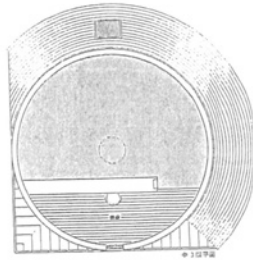
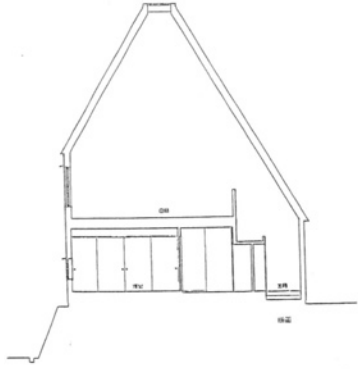
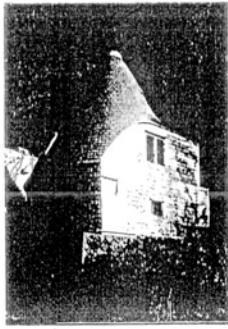
90 KIM HOUSE 岸和郎 8710	層数	各階を性格づける特徴					建蔽率	構成類型
		天井高	平面の大きさ	エントランス	下階と地面	上階と屋根		
	2	全	全	下	地上	—	55	A



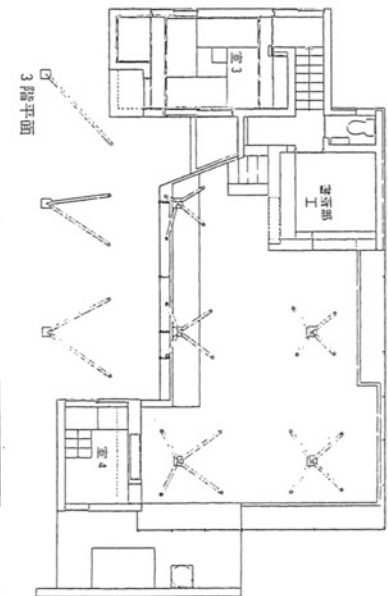
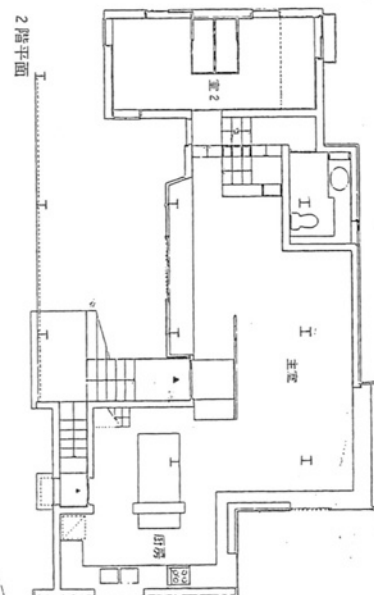
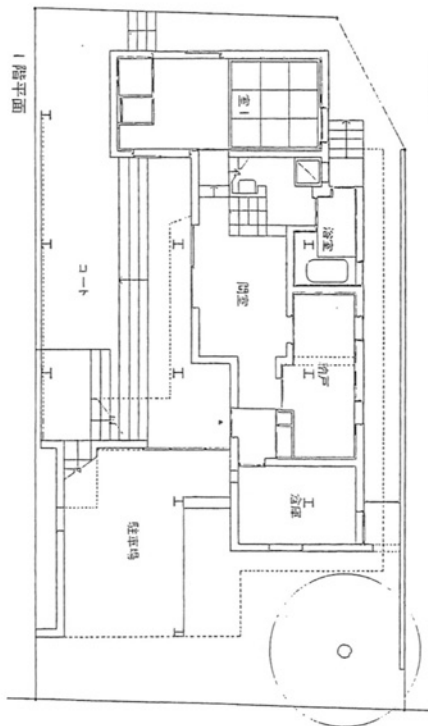
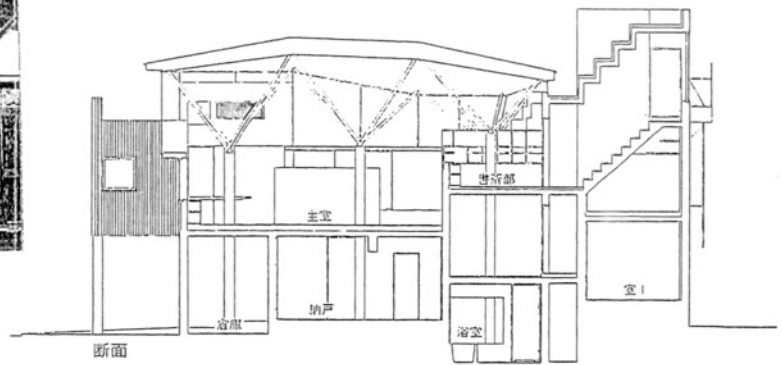
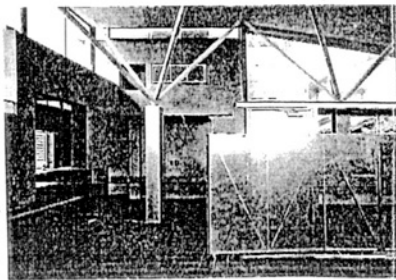
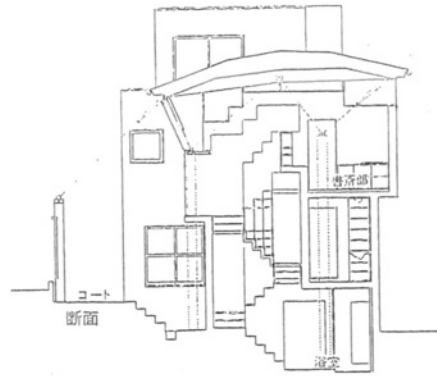
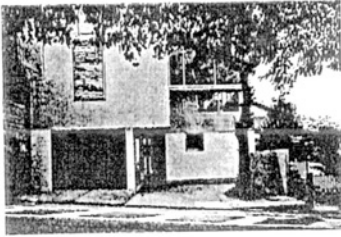
東西断面



91 雲中居 齋藤裕 8803	各階を性格づける特徴						建蔽率 40	構成類型 M
	層数	天井高	平面の大きさ	エントランス	下階と地面	上階と屋根		
		2	下上V	下	下	地上		



92 葉山の家 斎藤裕 8806	層数	各階を性格づける特徴					建蔽率	構成類型
		天井高	平面の大きさ	エントランス	下階と地面	上階と屋根		
	3	中上V	全	下	地上	/	37	類型外



93

HOUSE F  
坂本一成  
8809

各階を性格づける特徴

層数

天井高

平面の大きさ

エントランス

下階と地面

上階と屋根

建蔽率

構成類型

3

中上V

中

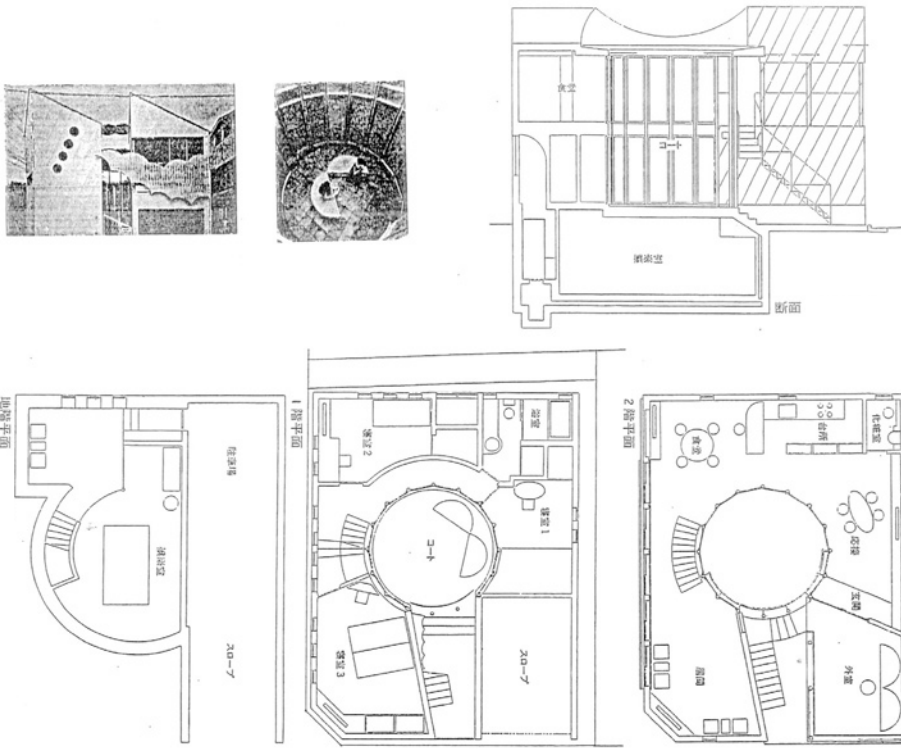
中

地上

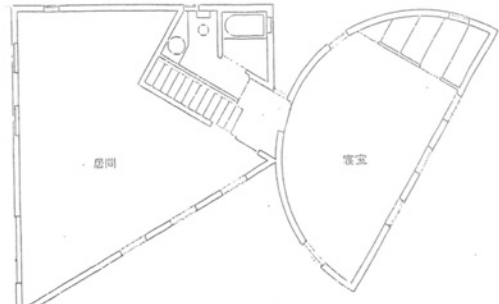
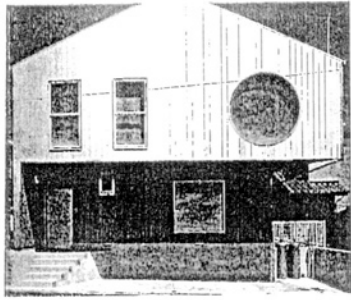
/

50

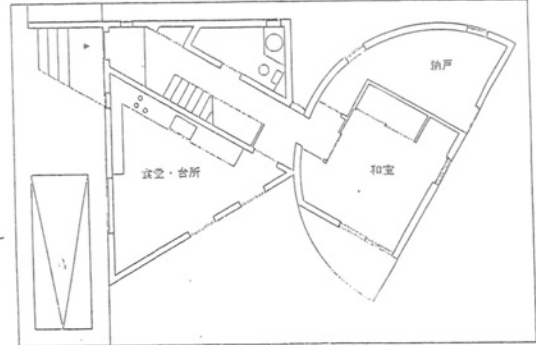
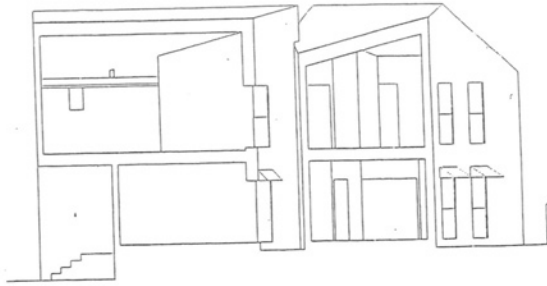
L



<p>94</p> <p>尾山台の住宅 長谷川逸子 8810</p>	層数	各階を性格づける特徴					建蔽率	構成類型
		天井高	平面の大きさ	エントランス	下階と地面	上階と屋根		
	3	下	中上	上	地下	/	68	類型外

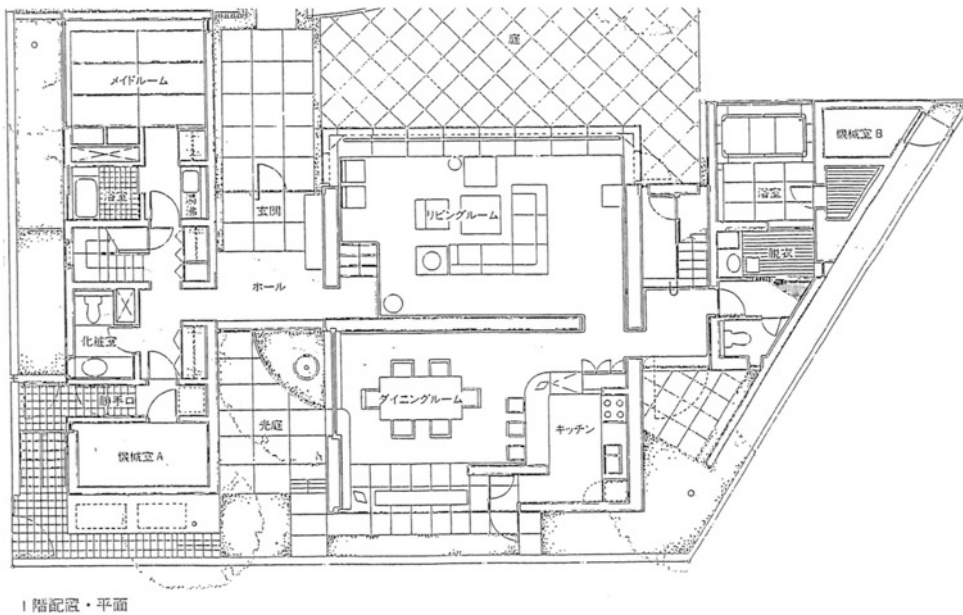
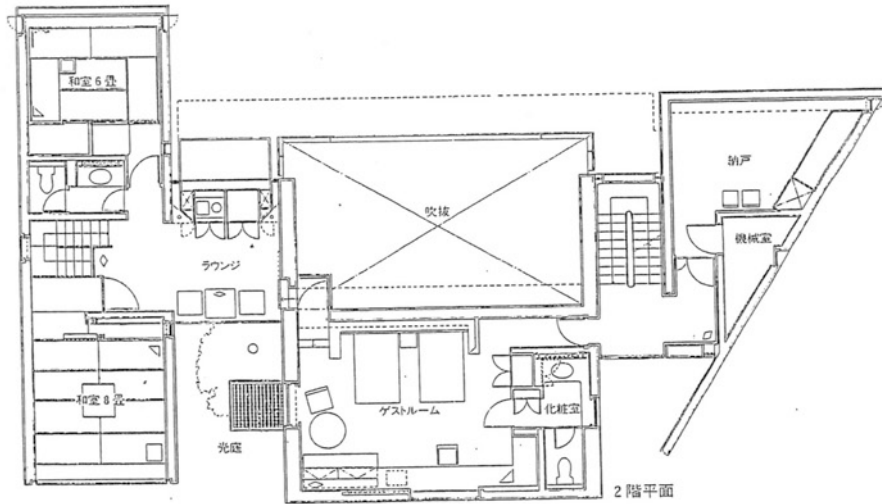
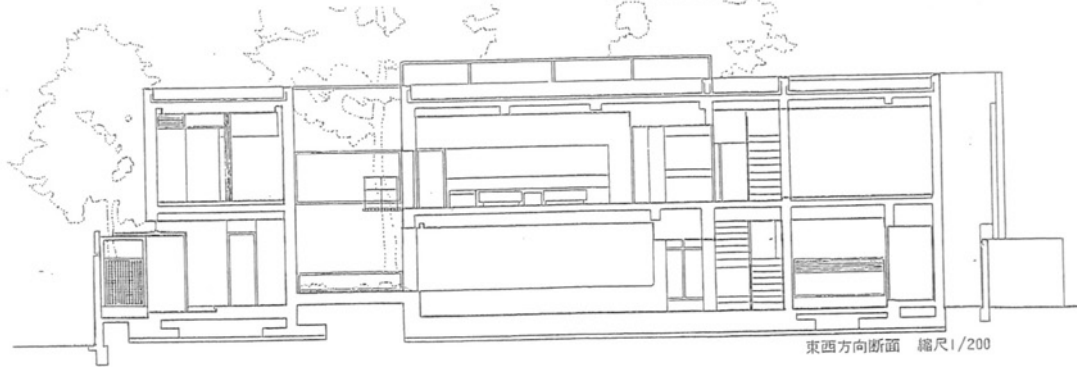
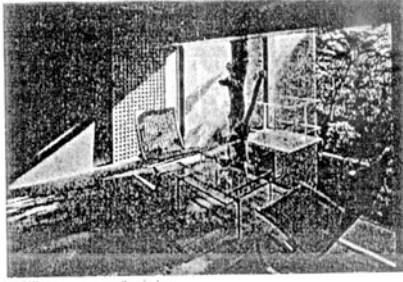
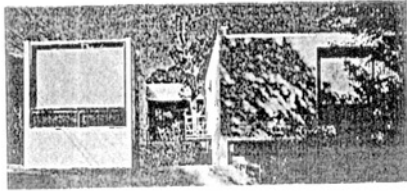


2階平面

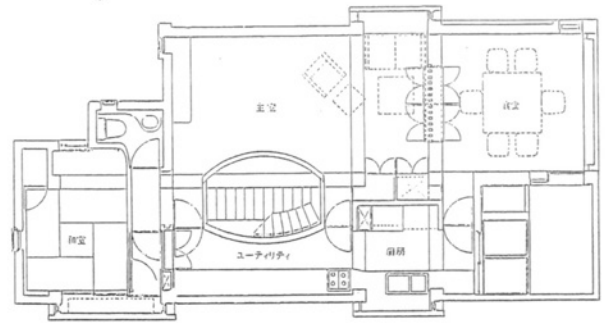
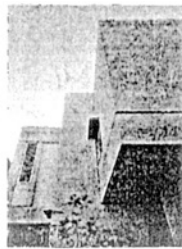


1階平面

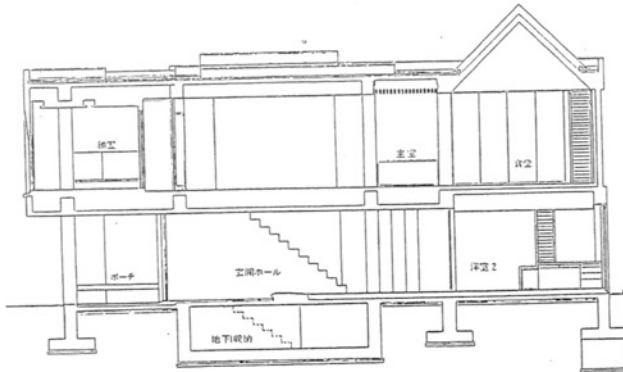
<p>95</p> <p>テンメイ・ハウス</p> <p>篠原一男</p> <p>8810</p>	層数	各階を性格づける特徴					建蔽率	構成類型
		天井高	平面の大きさ	エントランス	下階と地面	上階と屋根		
	2	上	上	下	地上	/	50	G



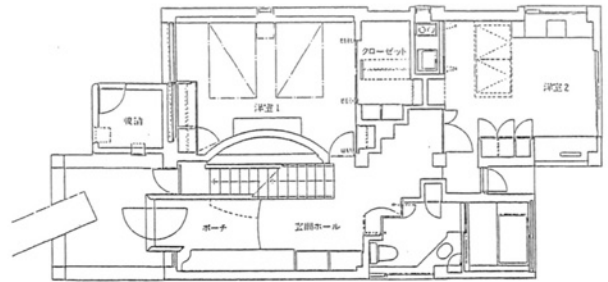
96 鎌倉のゲストハウス 竹中工務店 8901	層数	各階を性格づける特徴					建蔽率	構成類型
		天井高	平面の大きさ	エントランス	下階と地面	上階と屋根		
	2	下上V	全	下	地上	—	40	H



2階平面

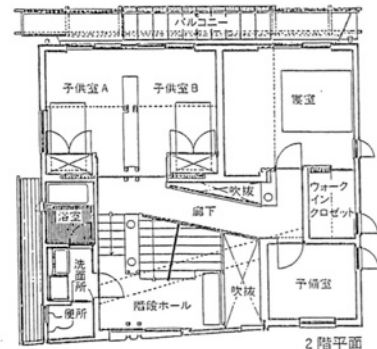


断面

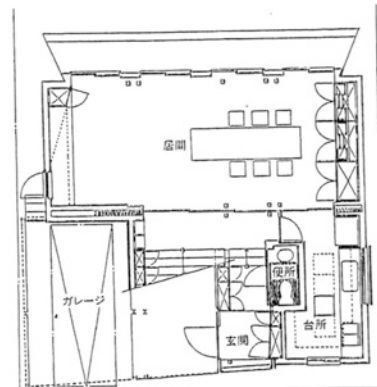
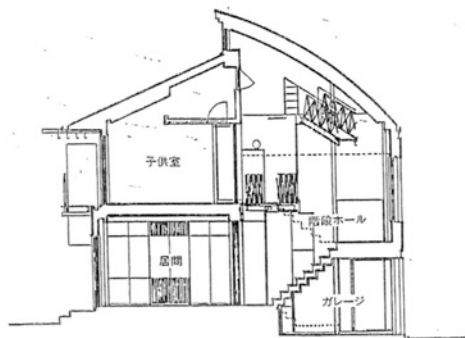


1階平面

97 洗足の家 横河健 8902	層数	各階を性格づける特徴					建蔽率	構成類型
		天井高	平面の大きさ	エントランス	下階と地面	上階と屋根		
	2	上'	上	下	地上	/	45	G

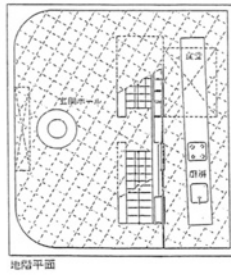
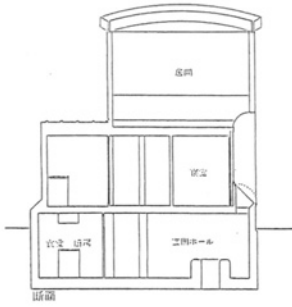
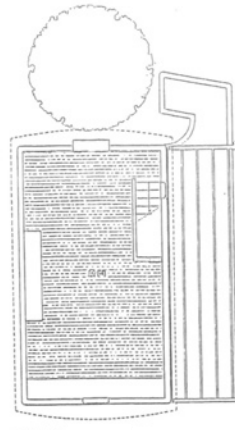
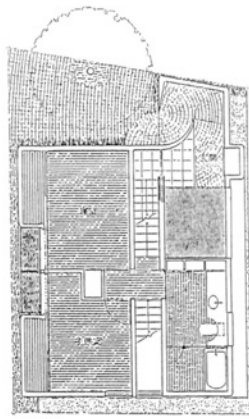
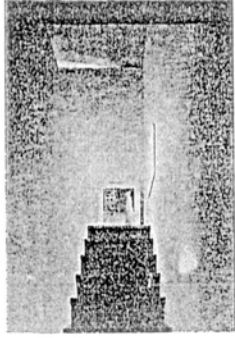
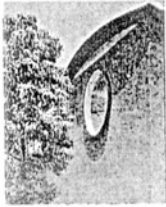


2階平面

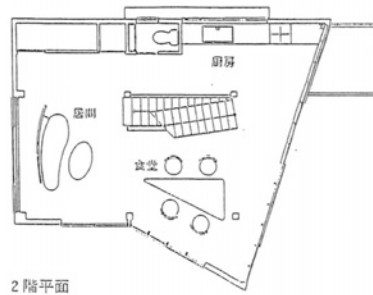
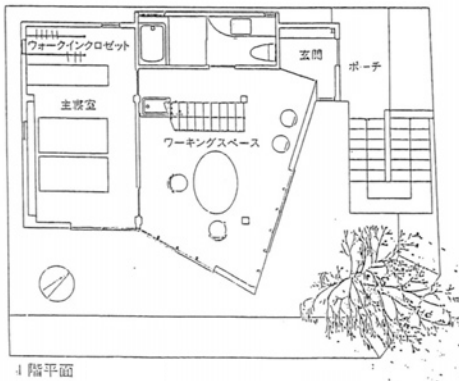
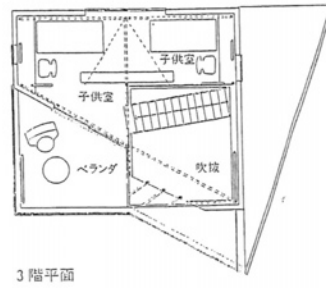
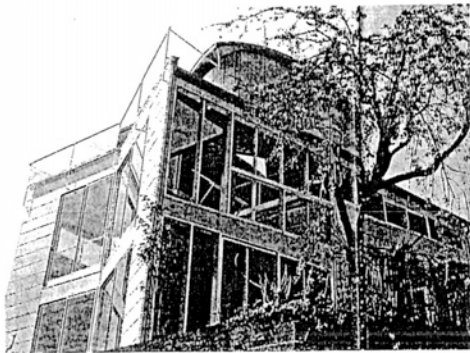


1階平面

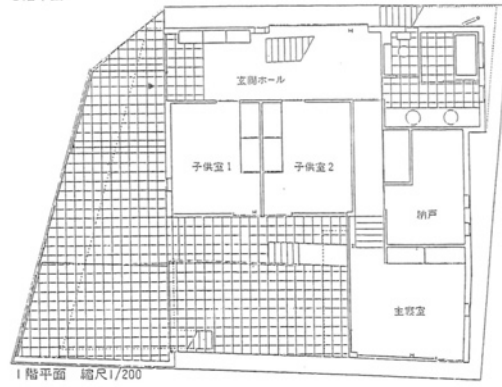
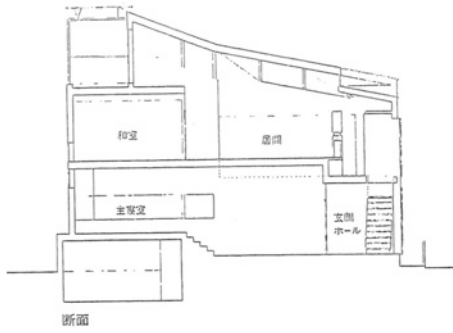
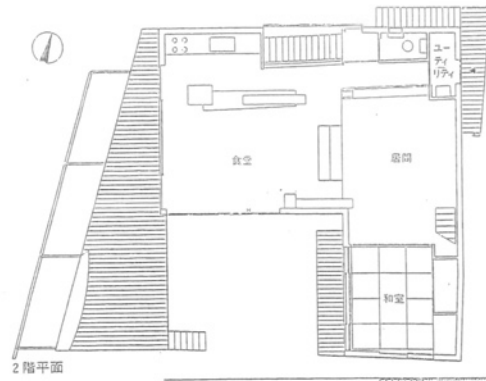
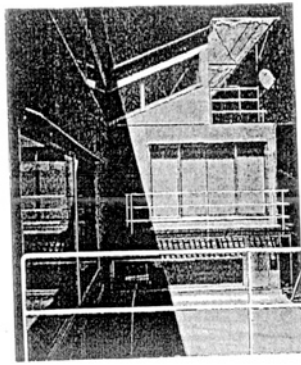
98 物質試行 26 鈴木了二 8905	層数	各階を性格づける特徴					建蔽率	構成類型
		天井高	平面の大きさ	エントランス	下階と地面	上階と屋根		
	2	上	上	下	地上	/	29	G



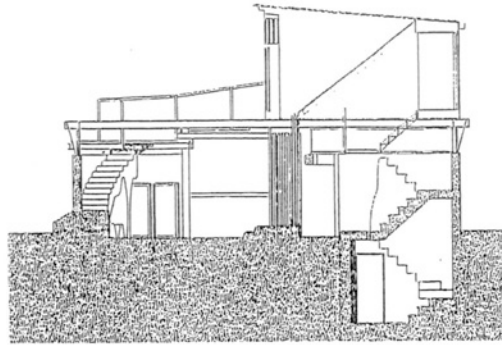
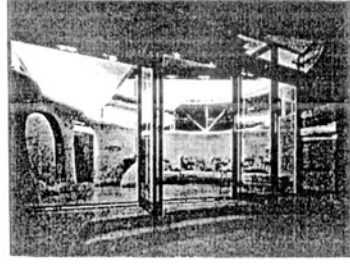
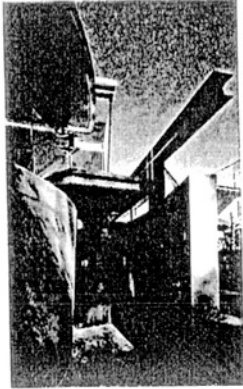
99 ちめんかのや 斎藤裕 8908	層数	各階を性格づける特徴					建蔽率	構成類型
		天井高	平面の大きさ	エントランス	下階と地面	上階と屋根		
	3	上	下	中	地中	/	65	類型外



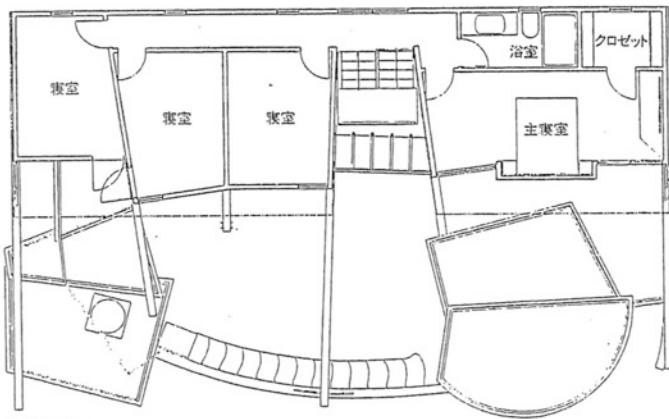
100 Transit 石田敏明 8908	層数	各階を性格づける特徴					建蔽率	構成類型
		天井高	平面の大きさ	エントランス	下階と地面	上階と屋根		
	3	中上V	全	下	地上	/	44	



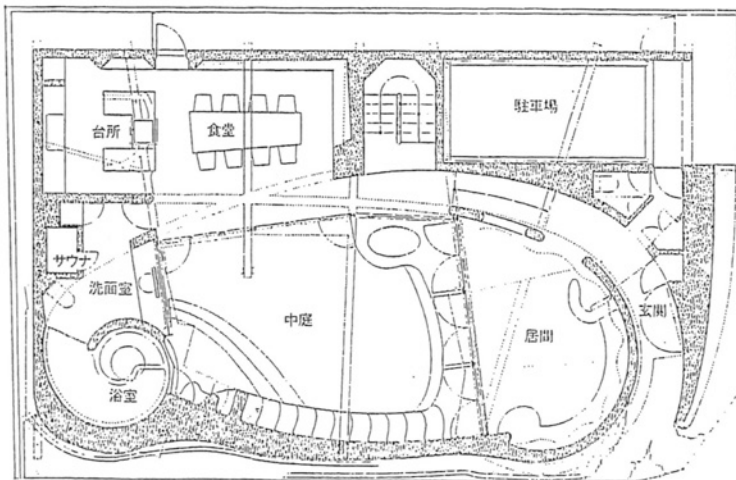
<p>101</p> <p>千葉の住宅 入江経一 8911</p>	層数	各階を性格づける特徴					建蔽率	構成類型
		天井高	平面の大きさ	エントランス	下階と地面	上階と屋根		
	2	上'	全	下	地上	/	46	B



断面 S=1:200

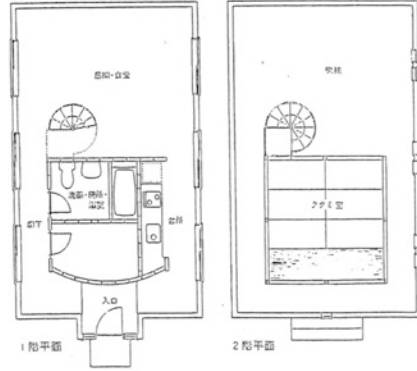
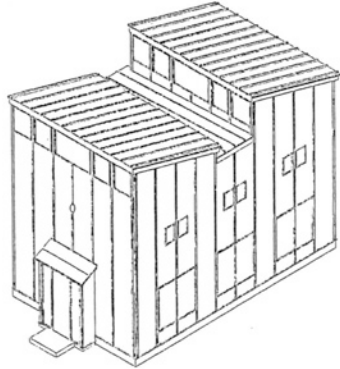
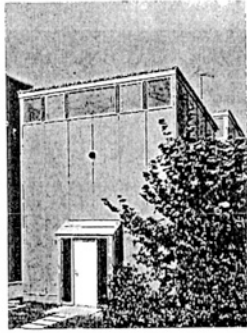


2階平面



1階平面

<p>102</p> <p>ECHO CHAMBER</p> <p>ウシダ・フィンドレイ</p> <p>9001</p>	層数	各階を性格づける特徴					建蔽率	構成類型
		天井高	平面の大きさ	エントランス	下階と地面	上階と屋根		
	2	下	下	下	地上	/	49	C



103

馬絹の住宅  
中村好文  
9001

層数

各階を性格づける特徴

建蔽率

構成類型

天井高

平面の大きさ

エントランス

下階と地面

上階と屋根

2

下上V

全

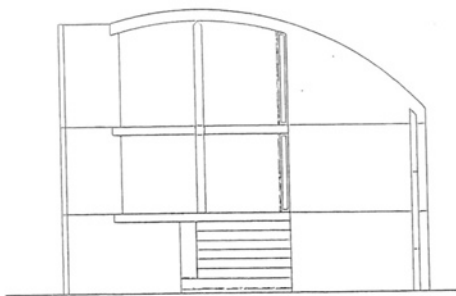
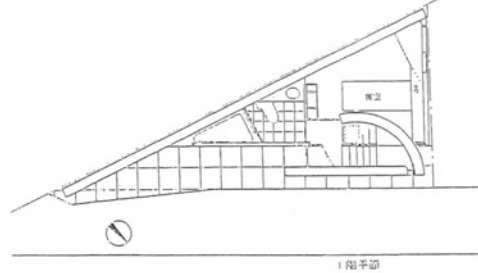
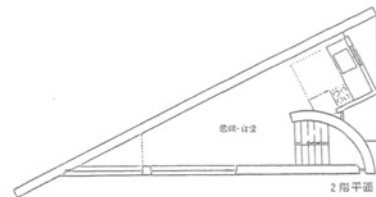
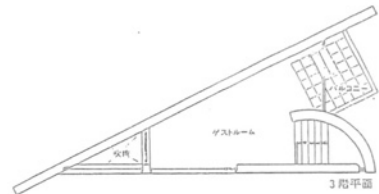
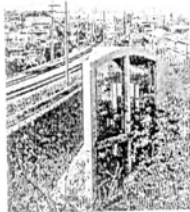
下

地上

/

43

I



104

緑ヶ丘の住宅  
アモルフ  
9001

層数

各階を性格づける特徴

建蔽率

構成類型

天井高

平面の大きさ

エントランス

下階と地面

上階と屋根

3

上

全

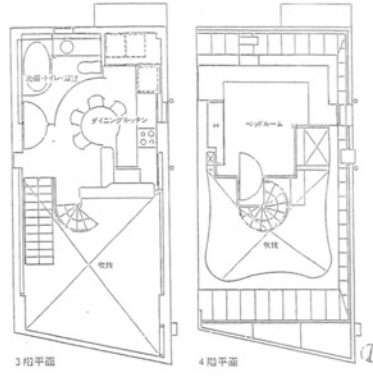
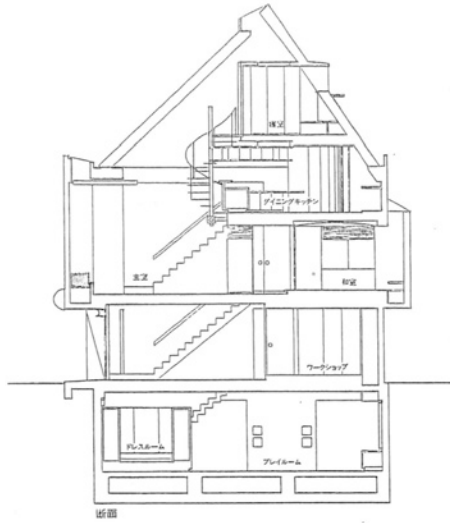
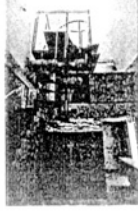
下

地上

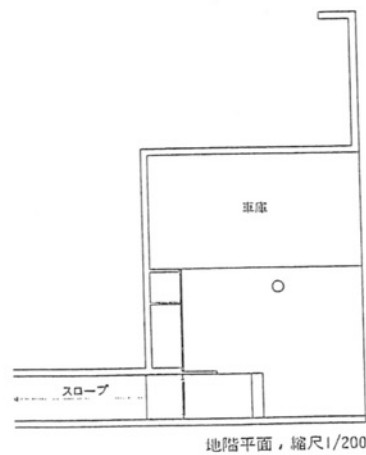
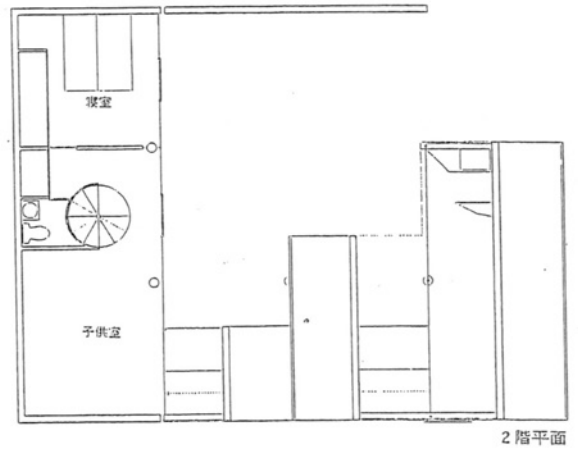
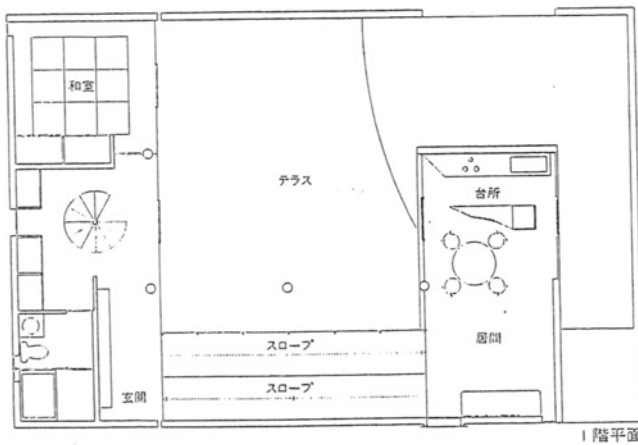
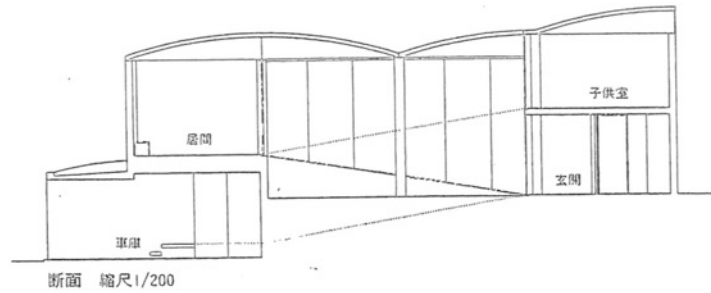
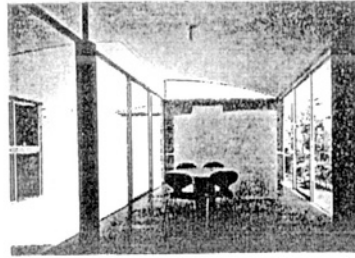
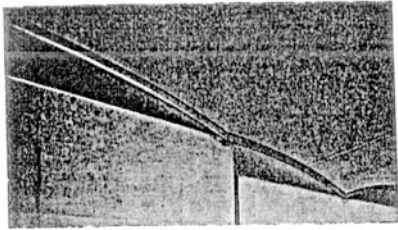
/

69

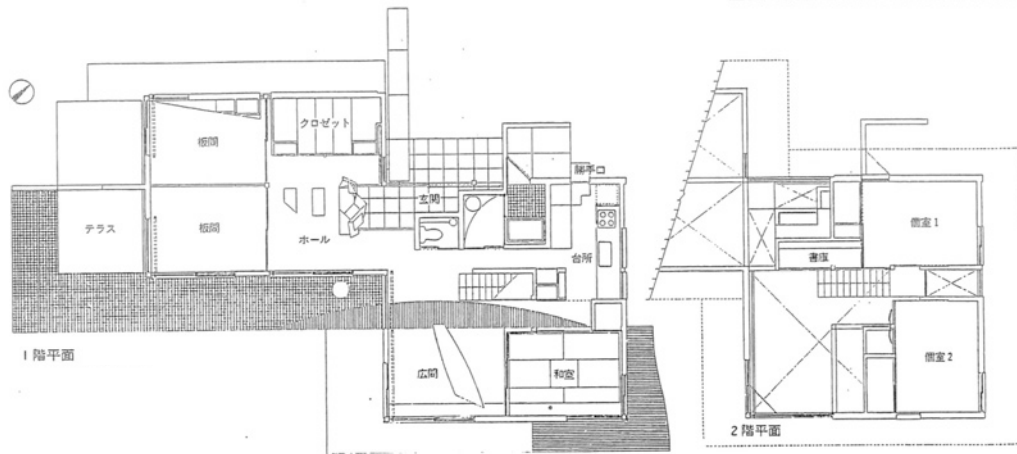
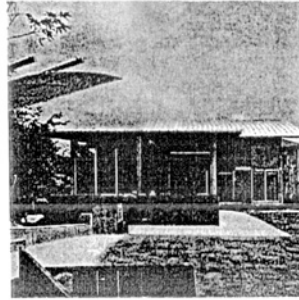
B



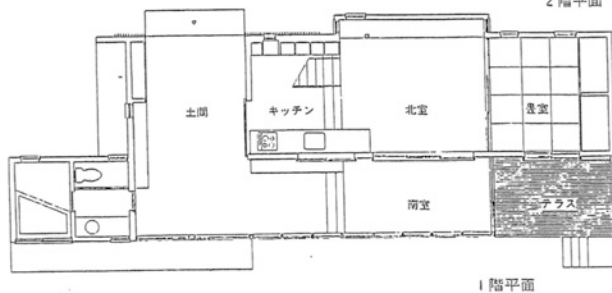
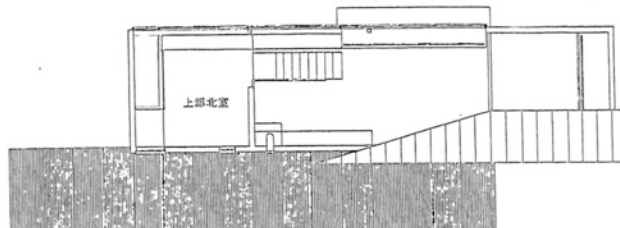
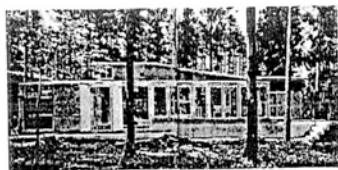
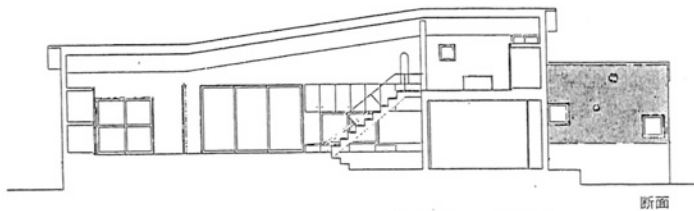
105 COSMOS 横河健 9003	層数	各階を性格づける特徴					建蔽率	構成類型
		天井高	平面の大きさ	エントランス	下階と地面	上階と屋根		
	5	中2上V	中1	中1	地下	/	59	類型外



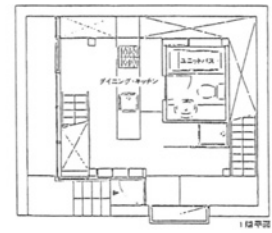
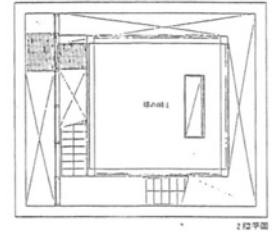
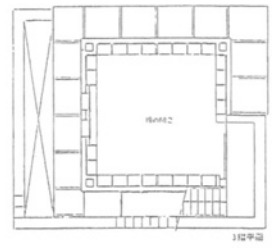
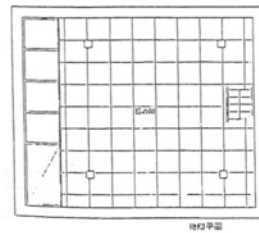
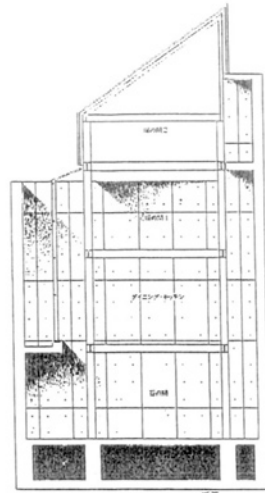
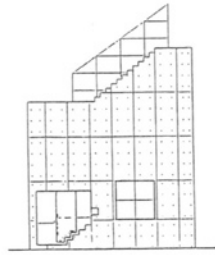
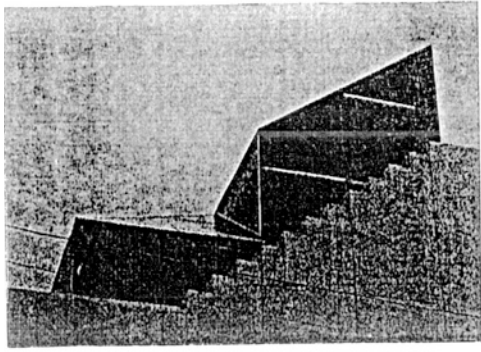
106 阿品の家 村上徹 9008	層数	各階を性格づける特徴					建蔽率	構成類型
		天井高	平面の大きさ	エントランス	下階と地面	上階と屋根		
	3	中上V	中上	下	地中	/	38	類型外



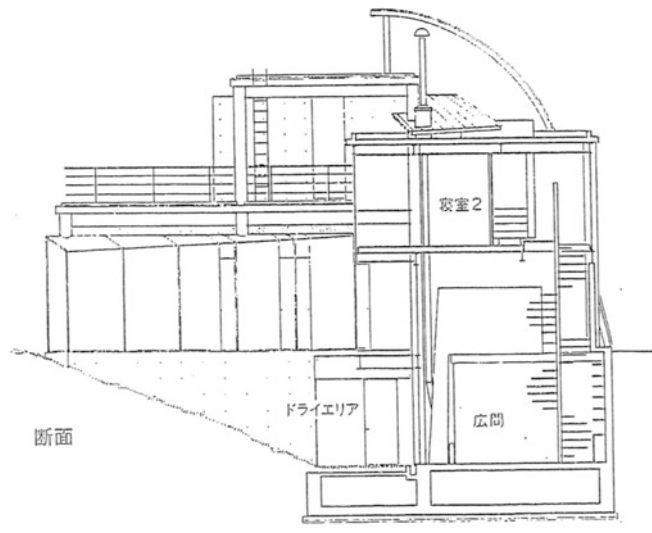
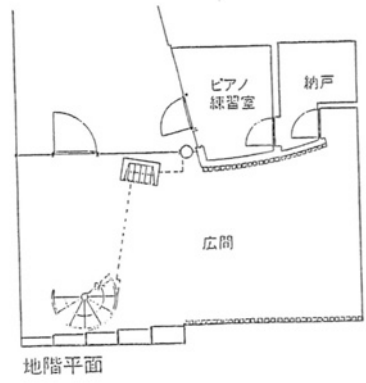
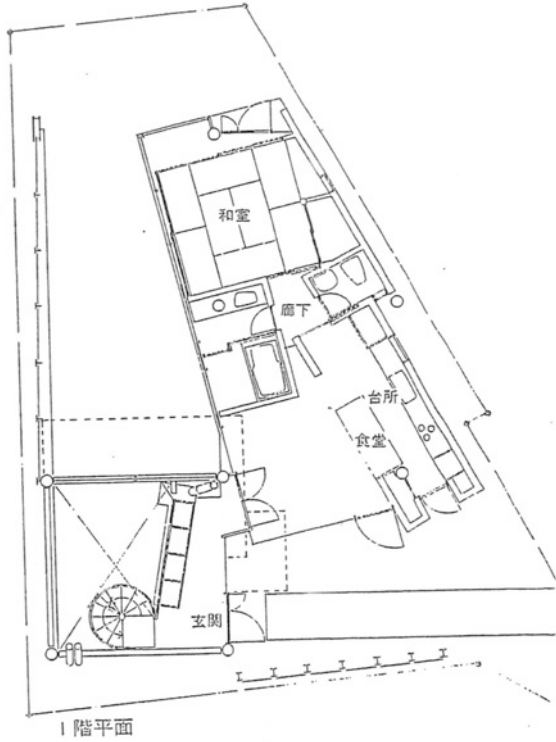
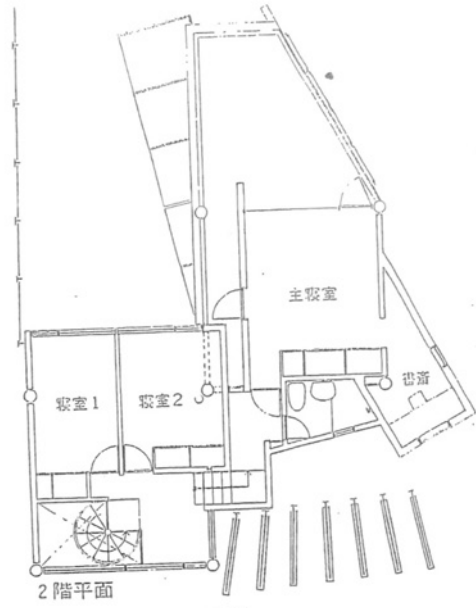
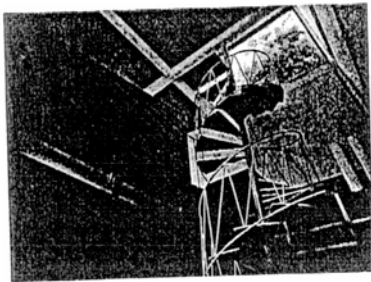
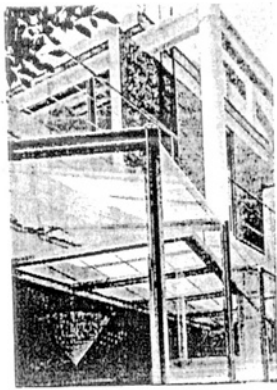
107 弧ヶ城の家 古谷誠章 9008	層数	各階を性格づける特徴					建蔽率	構成類型
		天井高	平面の大きさ	エントランス	下階と地面	上階と屋根		
	2	下上V	下	下	地上	/	15	M



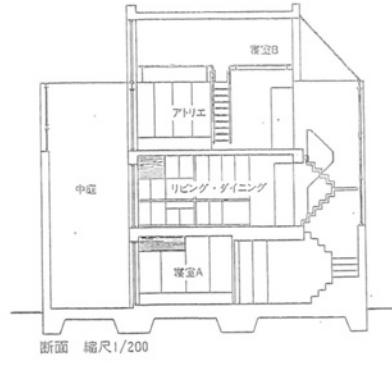
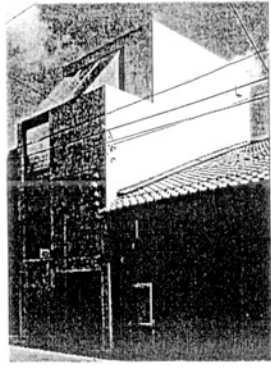
108 PALLETE 塚本由晴 9009	層数	各階を性格づける特徴					建蔽率	構成類型
		天井高	平面の大きさ	エントランス	下階と地面	上階と屋根		
	2	下上V	下	下	地上	/	(8)	M



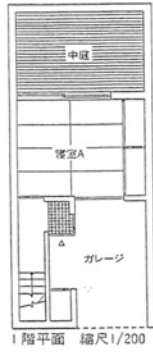
109 桜丘の家 ワークショップ 9010	層数	各階を性格づける特徴					建蔽率	構成類型
		天井高	平面の大きさ	エントランス	下階と地面	上階と屋根		
	4	上	中下	中1	地下	/	52	類型外



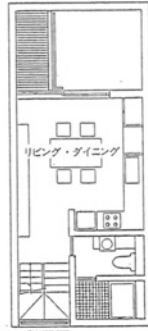
110 織田邸 北川原温 9010	層数	各階を性格づける特徴					建蔽率	構成類型
		天井高	平面の大きさ	エントランス	下階と地面	上階と屋根		
	3	下中V	中	中	地中	/	37	類型外



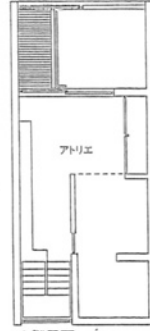
断面 縮尺1/200



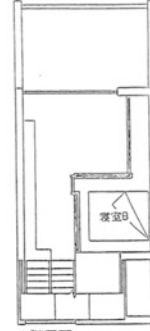
1階平面 縮尺1/200



2階平面

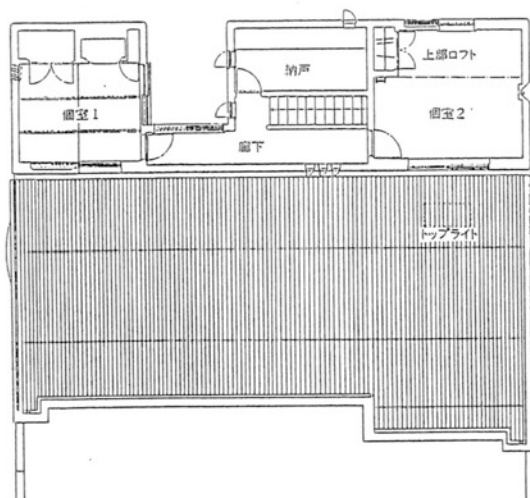
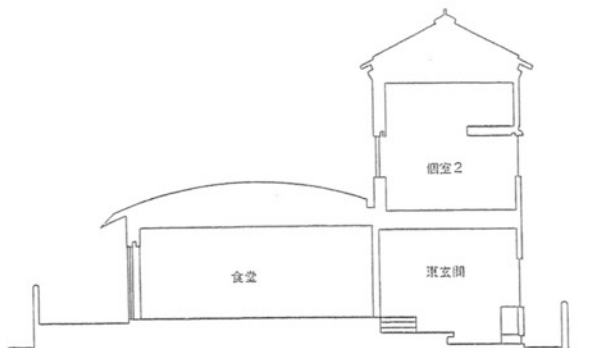
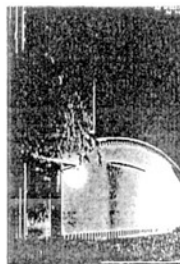
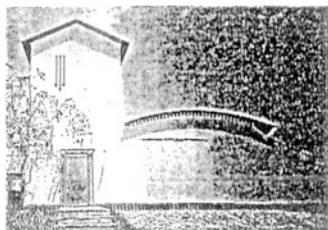


3階平面

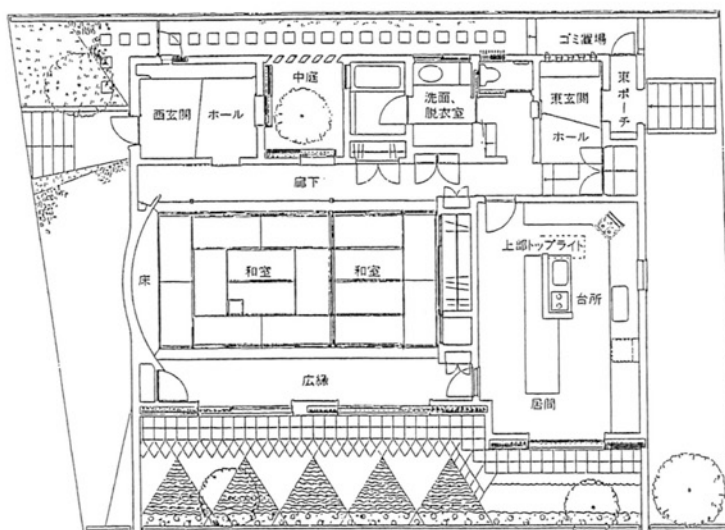


4階平面

<p>111</p> <p>上京の家</p> <p>岸和郎</p> <p>9102</p>	層数	各階を性格づける特徴					建蔽率	構成類型
		天井高	平面の大きさ	エントランス	下階と地面	上階と屋根		
	4	中2上V	中	下	地上	—	59	類型外

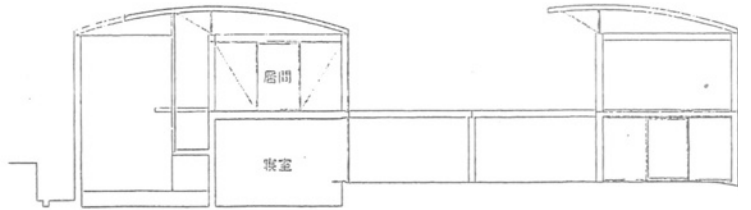
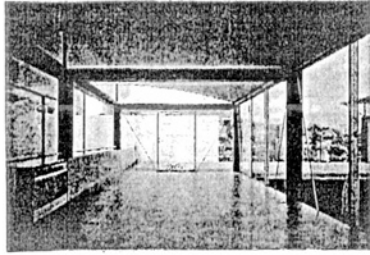


2階平面

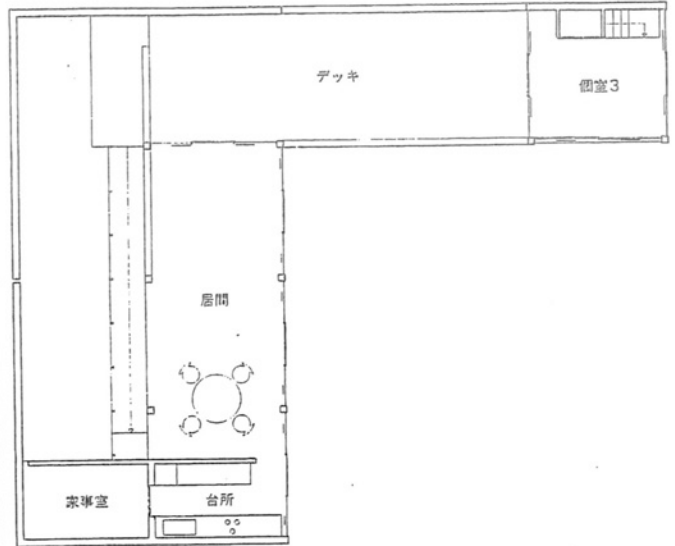
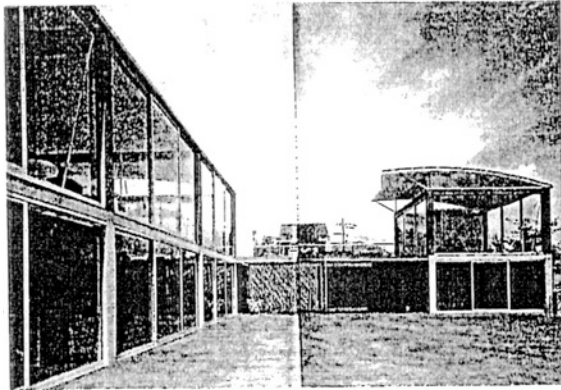


1階平面 縮尺1/200

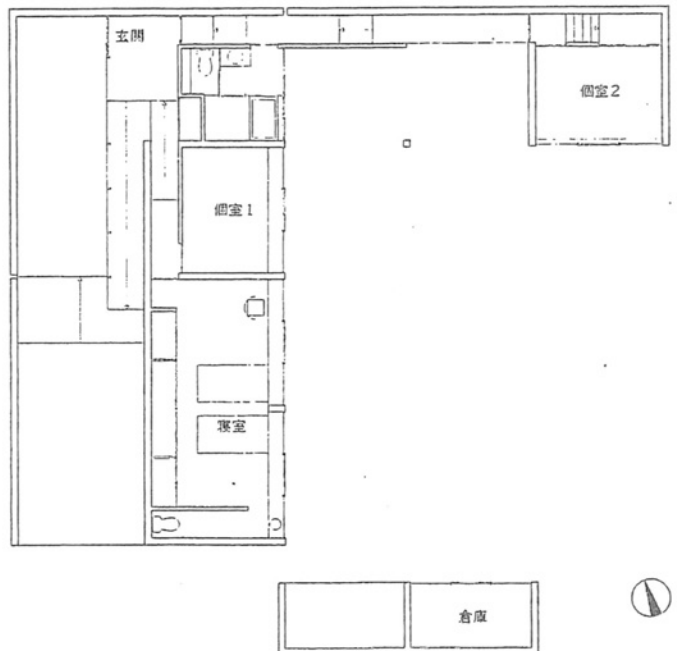
112 朧月夜の家 出江寛 9109	層数	各階を性格づける特徴					建蔽率	構成類型
		天井高	平面の大きさ	エントランス	下階と地面	上階と屋根		
	2	上	下	下	地上	—	49	



断面

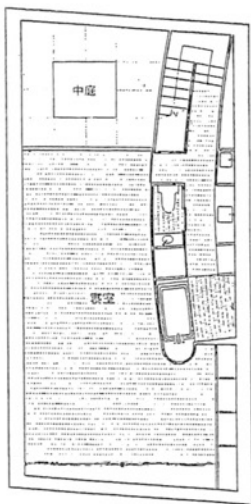
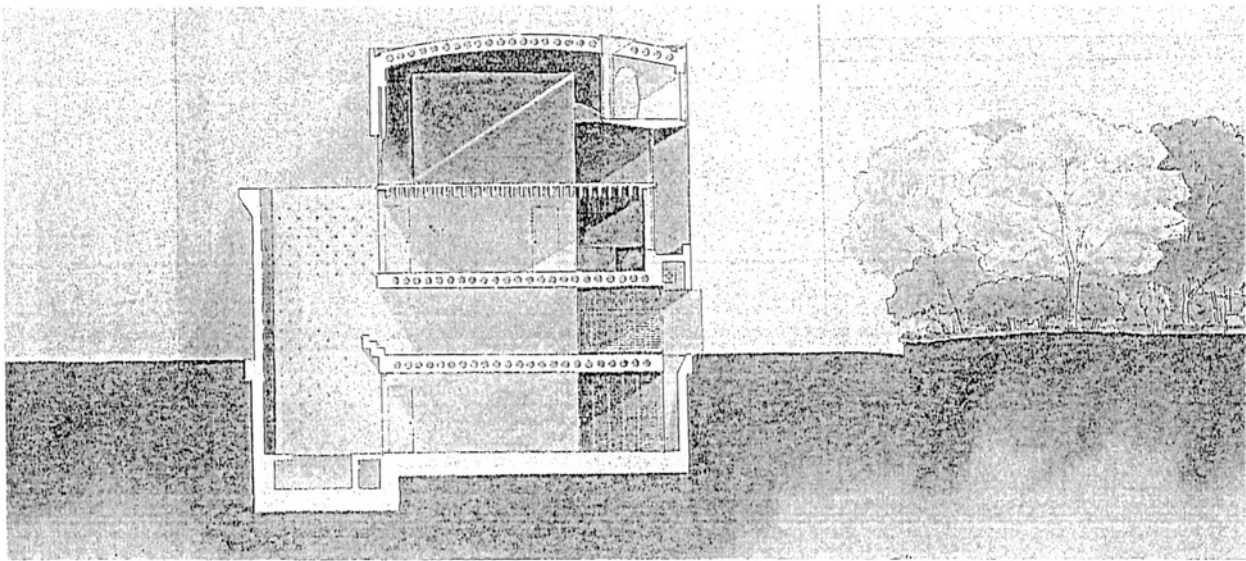
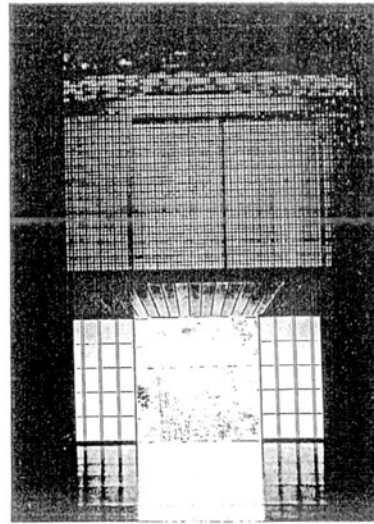
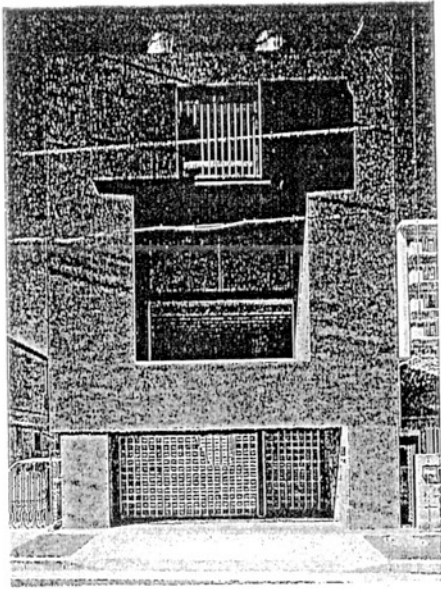


2階平面

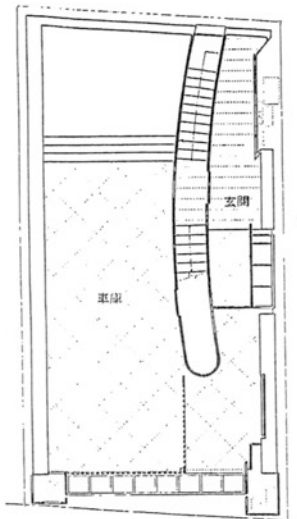


1階平面

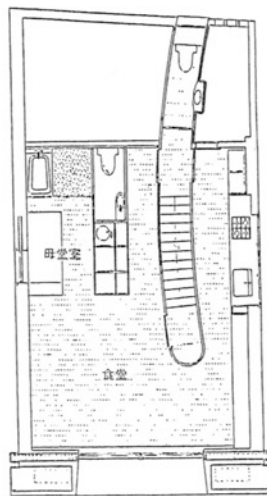
<p>113</p> <p>四季が丘の家</p> <p>村上徹</p> <p>9110</p>	層数	各階を性格づける特徴					建蔽率	構成類型
		天井高	平面の大きさ	エントランス	下階と地面	上階と屋根		
	2	上	下	下	地上	/	32	E



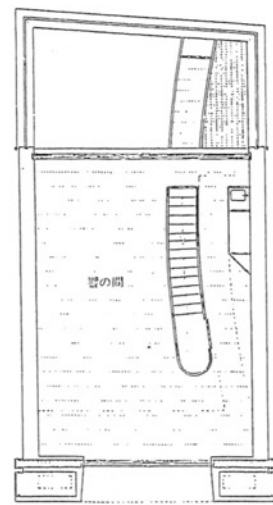
地階平面



1階平面

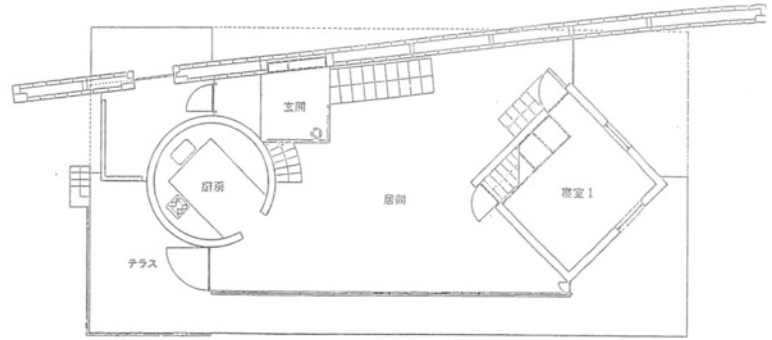
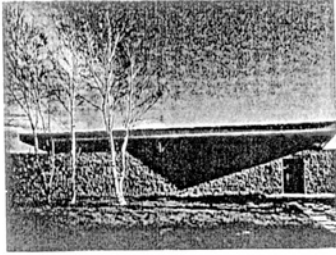


2階平面

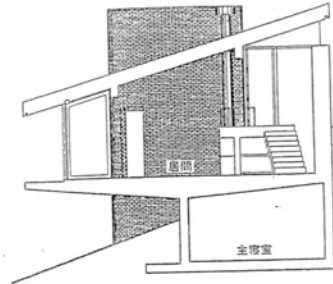


3階平面

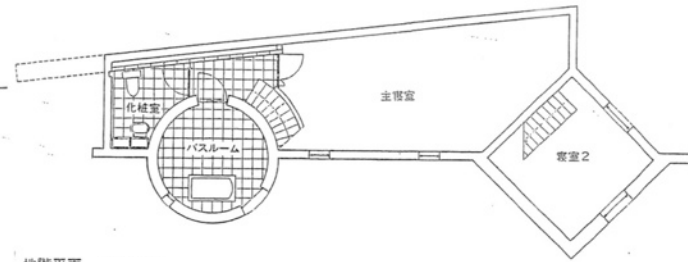
114 好日居 斎藤裕 9202	層数	各階を性格づける特徴					建蔽率	構成類型
		天井高	平面の大きさ	エントランス	下階と地面	上階と屋根		
	4	上	全	中	地下	/	59	類型外



1階平面

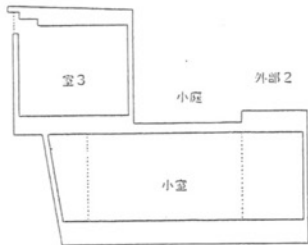


断面

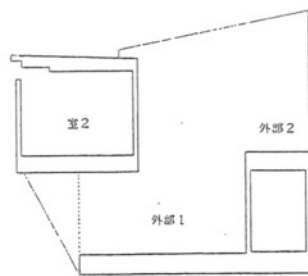


地階平面

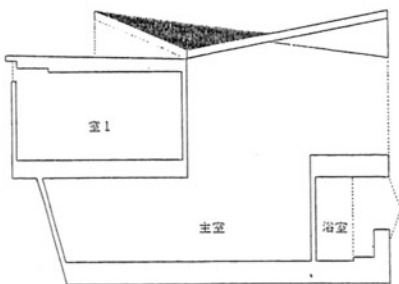
115 villa kuru 坂茂 9203	層数	各階を性格づける特徴					建蔽率	構成類型
		天井高	平面の大きさ	エントランス	下階と地面	上階と屋根		
	2	上	上	上	地中	/	(7)	F



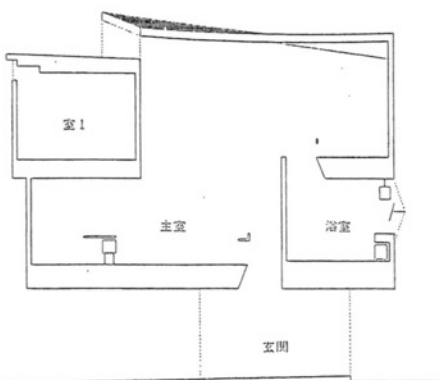
断面



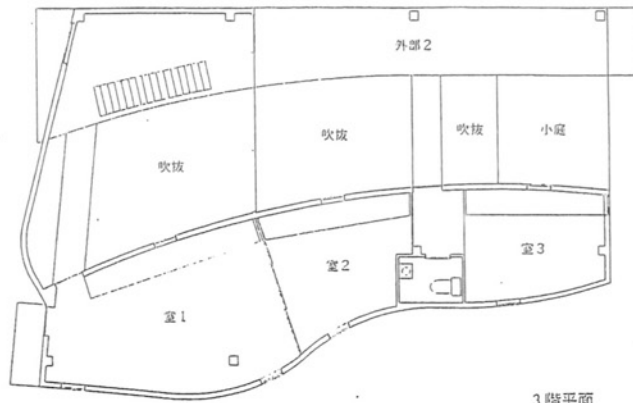
断面



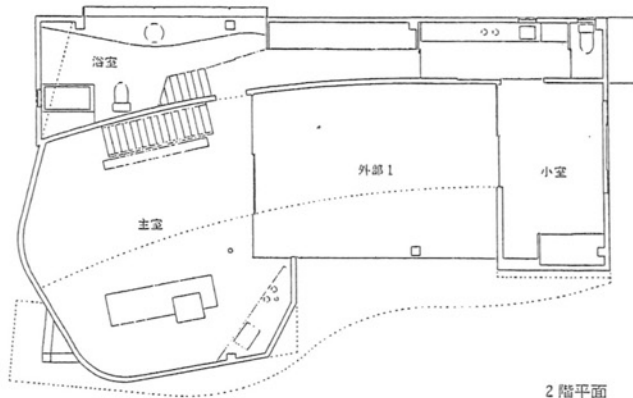
断面



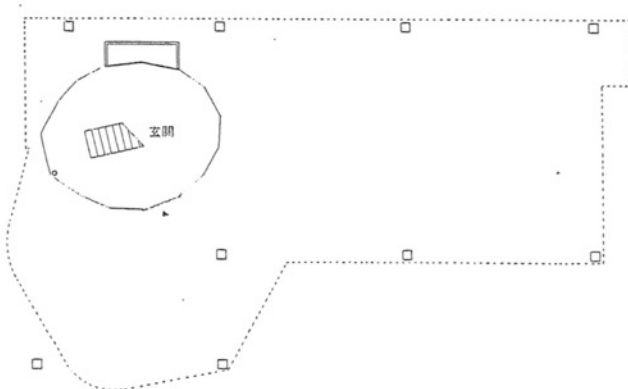
断面



3階平面

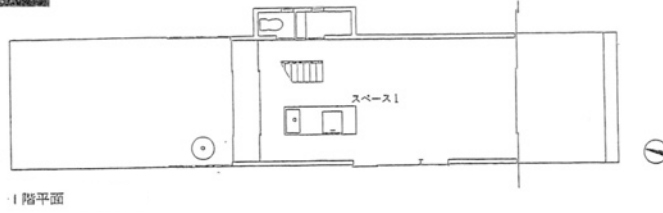
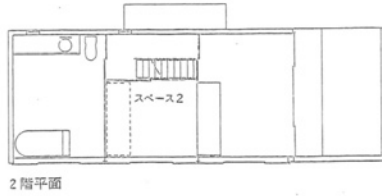
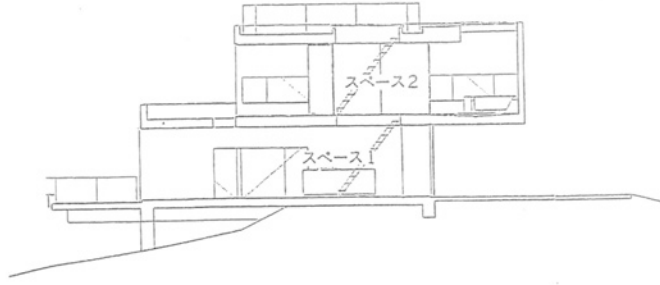
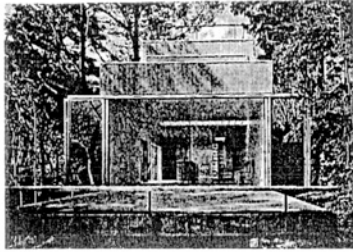


2階平面

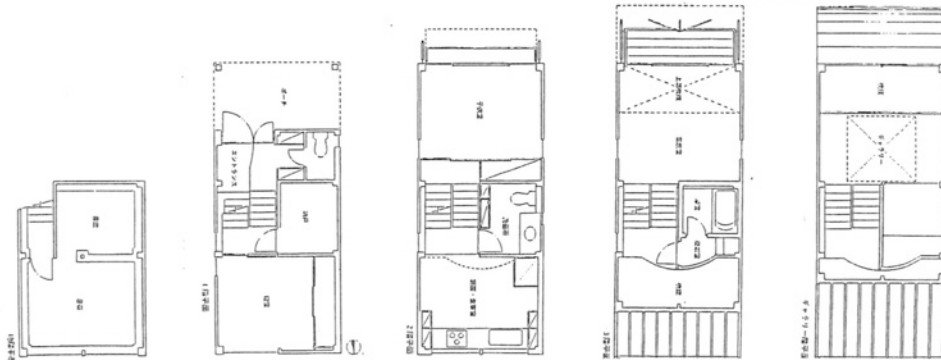
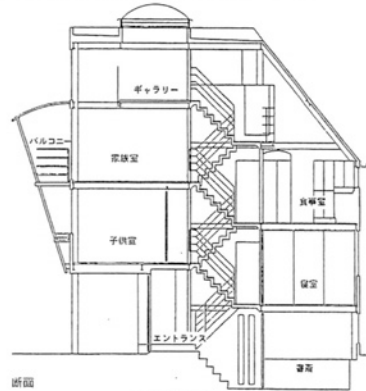
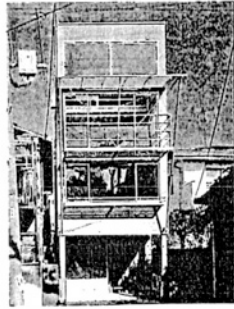


1階平面

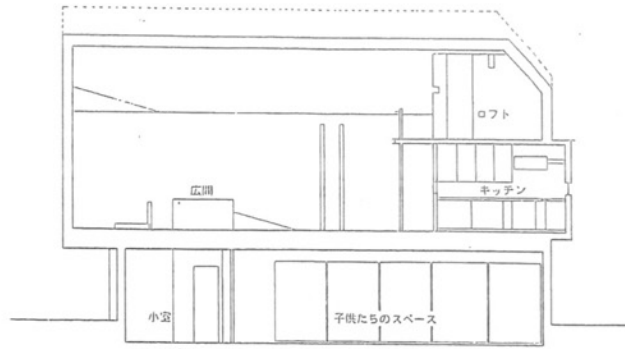
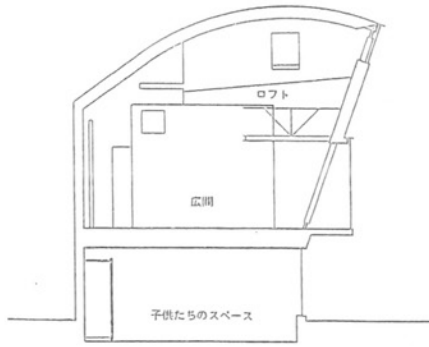
116 BEAN HOUSE 入江経一 9208	層数	各階を性格づける特徴					建蔽率	構成類型
		天井高	平面の大きさ	エントランス	下階と地面	上階と屋根		
	3	中上V	中	下	地上	/	42	J



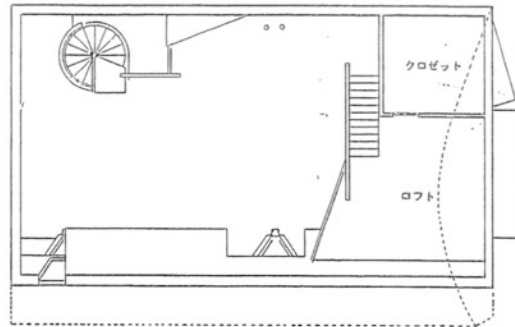
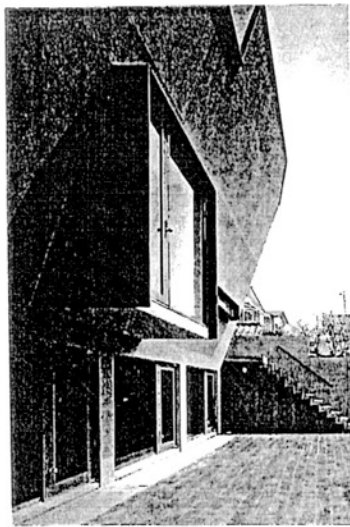
117 富士裾野の山荘 石田敏明 9208	層数	各階を性格づける特徴					建蔽率	構成類型
		天井高	平面の大きさ	エントランス	下階と地面	上階と屋根		
	2	全	全	下	地上	—	(9)	A



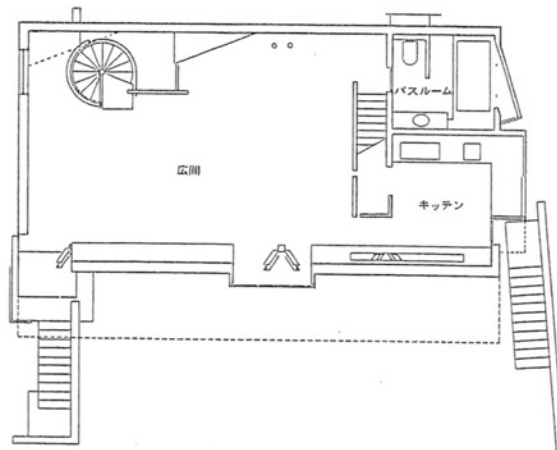
118 星龍庵 スタジオ建築計画 9301	層数	各階を性格づける特徴					建蔽率	構成類型
		天井高	平面の大きさ	エントランス	下階と地面	上階と屋根		
	5	中2上V	中1	中1	地中	/	60	類型外



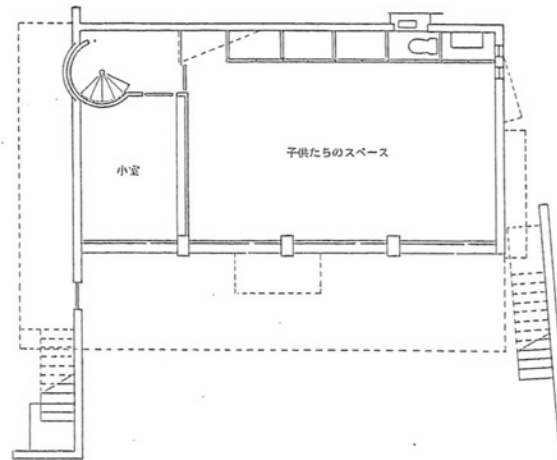
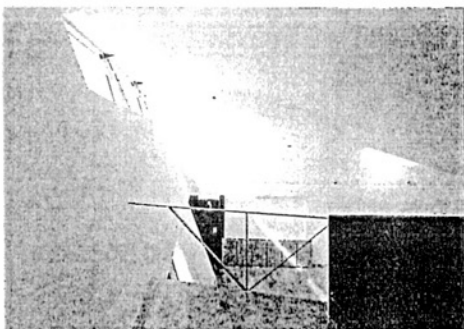
断面



メザニン平面



2階平面

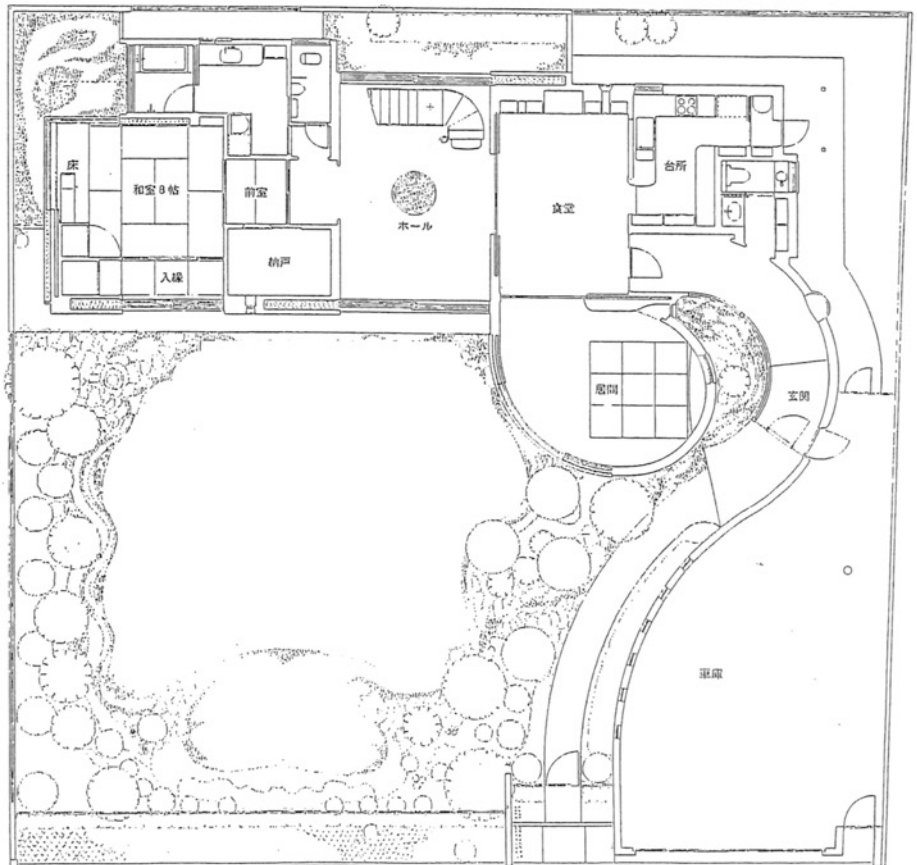
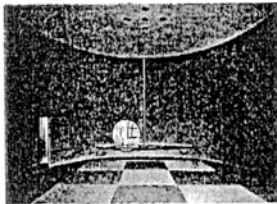
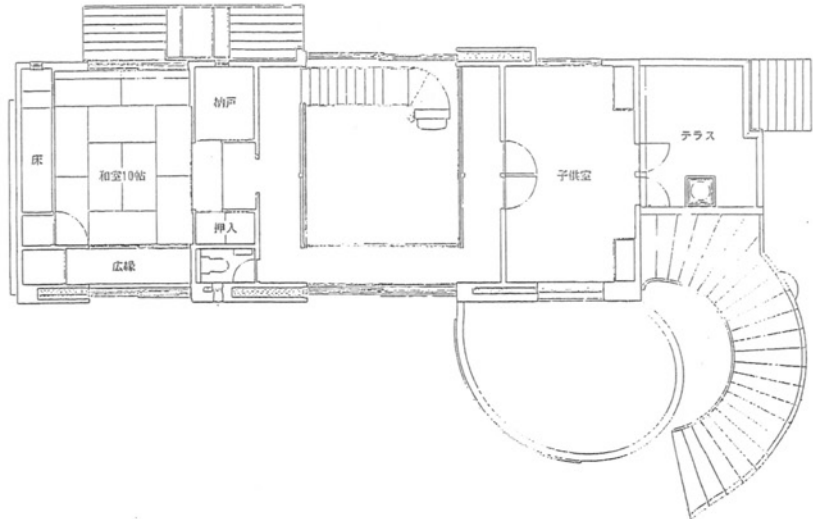


1階平面

119 BLUE-SCREEN HOUSE 竹山聖 + アモルフ 9307	層数	各階を性格づける特徴					建蔽率	構成類型
		天井高	平面の大きさ	エントランス	下階と地面	上階と屋根		
	3	中上V	中	中	地中	/	59	K

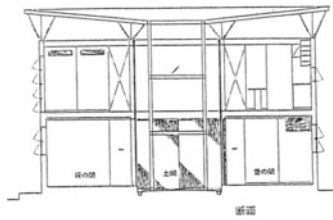
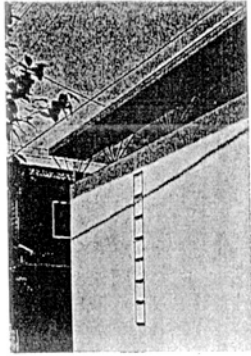


断面 縮尺1/200

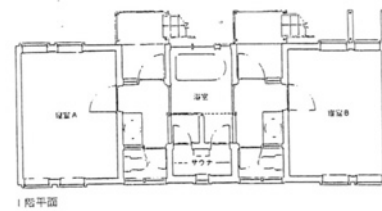
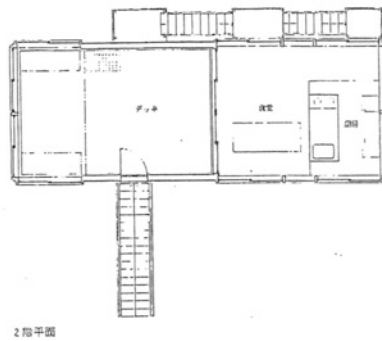


1階平面

120 懐風荘 木原千利 9307	層数	各階を性格づける特徴					建蔽率	構成類型
		天井高	平面の大きさ	エントランス	下階と地面	上階と屋根		
	2	下上V	下	下	地上	/	43	M

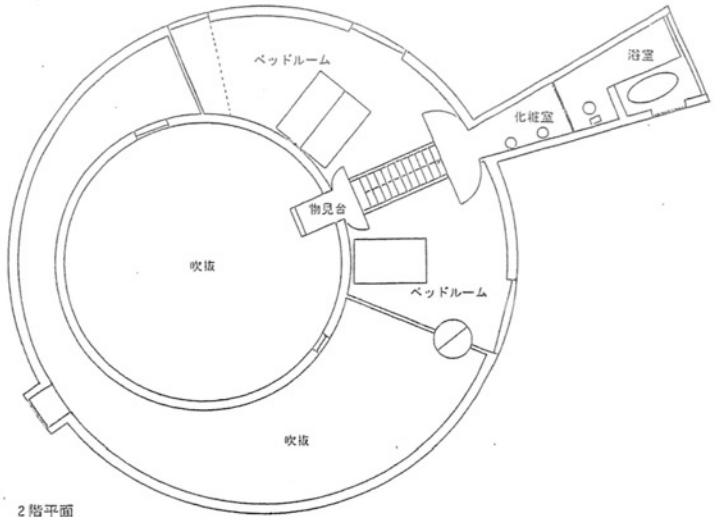
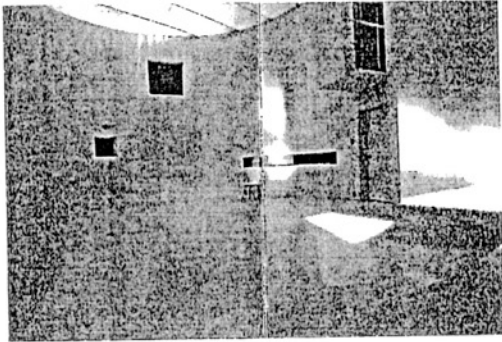
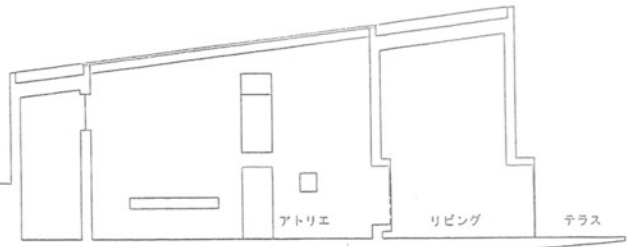


121 立川の家 ワークショップ 9310	層数	各階を性格づける特徴					建蔽率	構成類型
		天井高	平面の大きさ	エントランス	下階と地面	上階と屋根		
	2	上	上	下	地上	/	60	G

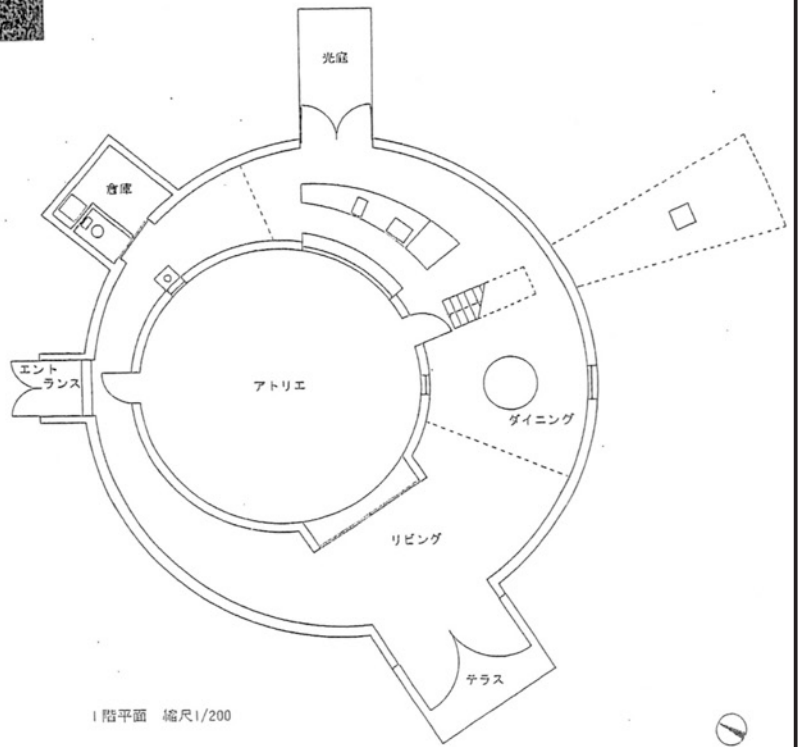


122 山中湖のガラスの家 室伏次郎 9311	層数	各階を性格づける特徴					建蔽率	構成類型
		天井高	平面の大きさ	エントランス	下階と地面	上階と屋根		
	2	上	下	上	上空	/	(15)	類型外

断面 縮尺1/200

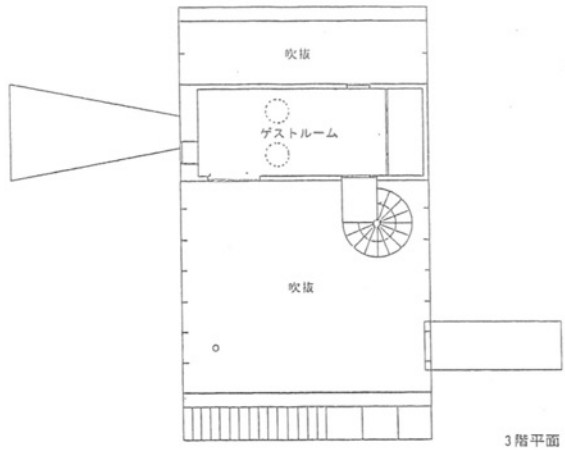
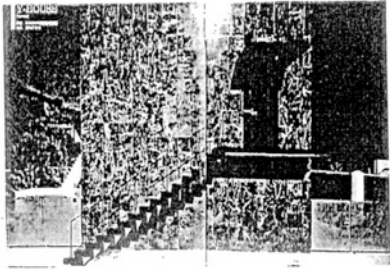


2階平面

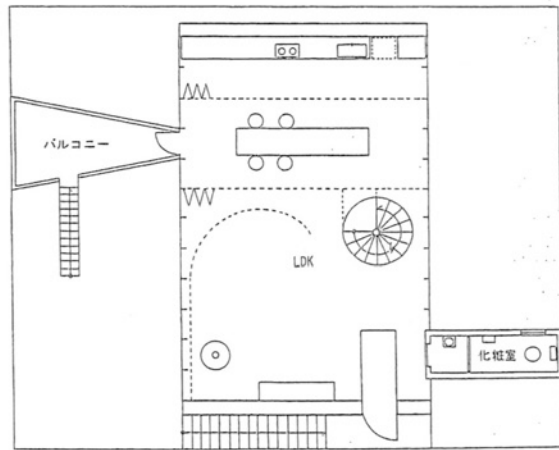
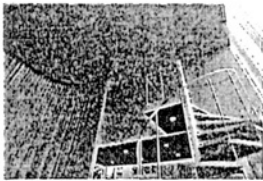


1階平面 縮尺1/200

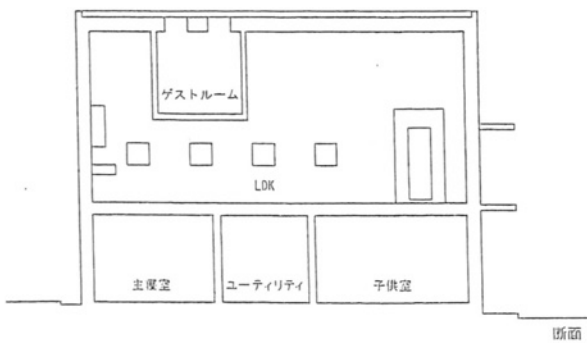
123 森の別荘 妹島和世 9405	層数	各階を性格づける特徴					建蔽率	構成類型
		天井高	平面の大きさ	エントランス	下階と地面	上階と屋根		
	2	下上V	下	下	地上	/	(12)	M



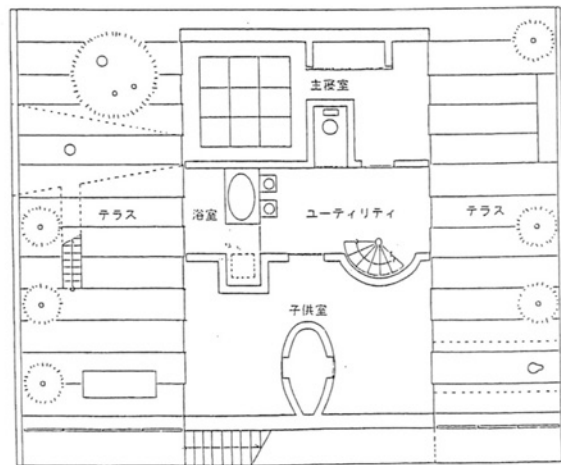
3階平面



2階平面



断面



1階平面

124

Y-HOUSE  
妹島和世  
9405

層数

各階を性格づける特徴

建蔽率

構成類型

天井高

平面の大きさ

エントランス

下階と地面

上階と屋根

3

中上V

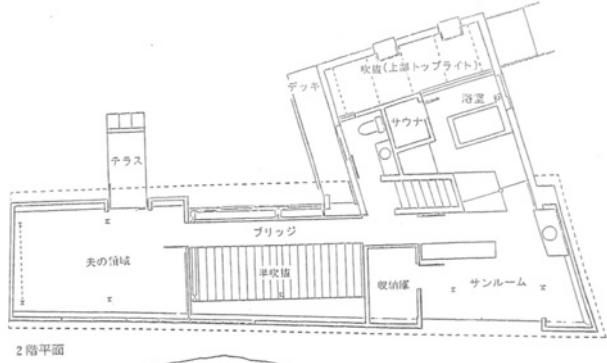
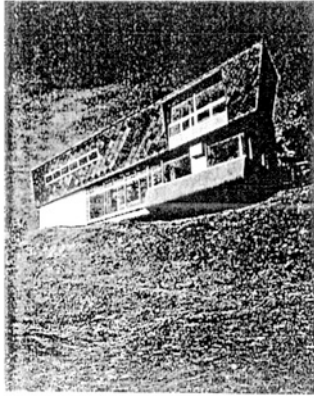
中

中

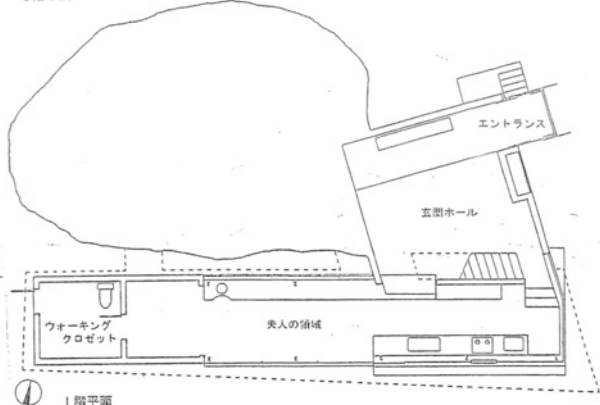
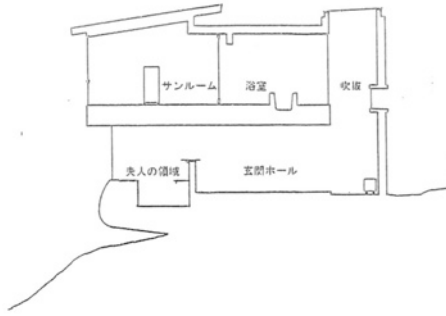
地上

—

41

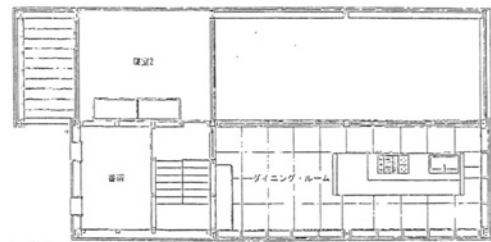
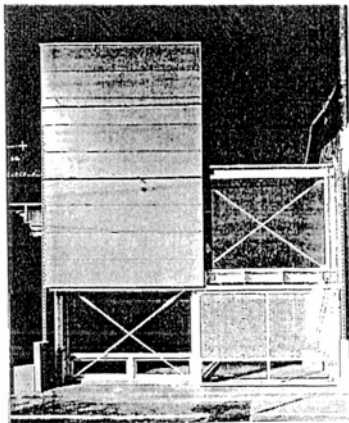


2階平面

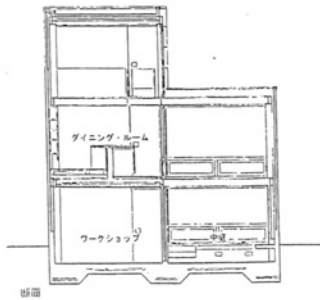


1階平面

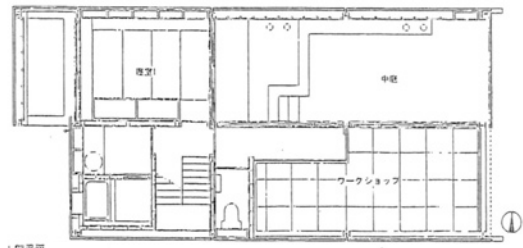
125 H (エイチ) 青木淳 9405	層数	各階を性格づける特徴					建蔽率	構成類型
		天井高	平面の大きさ	エントランス	下階と地面	上階と屋根		
	2	全	上	下	地上	/	7	類型外



2階平面

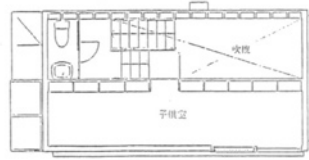
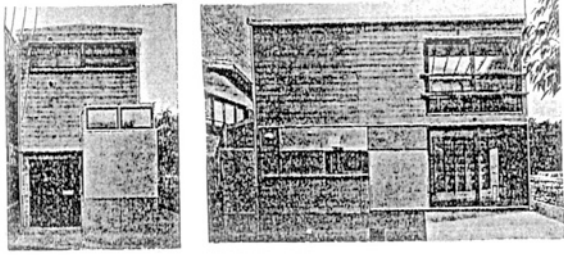


断面

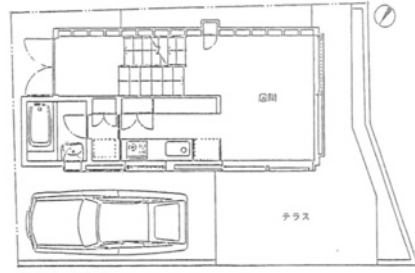


1階平面

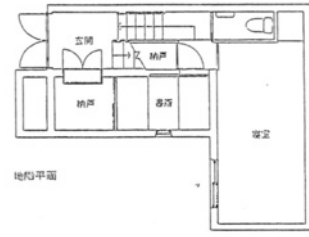
126 下鴨の家 岸和郎 9501	層数	各階を性格づける特徴					建蔽率	構成類型
		天井高	平面の大きさ	エントランス	下階と地面	上階と屋根		
	2	上	全	下	地上	—	47	類型外



2階平面

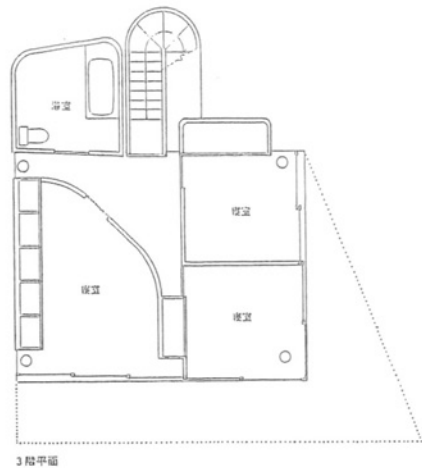


1階平面 縮尺 1/150

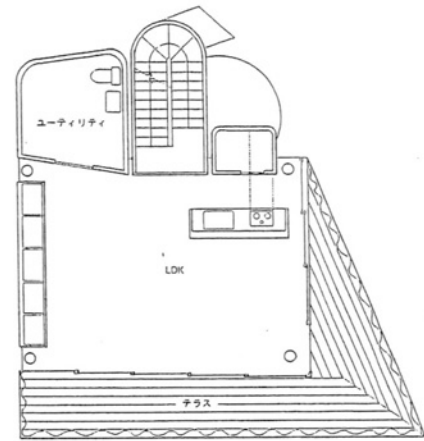


地階平面

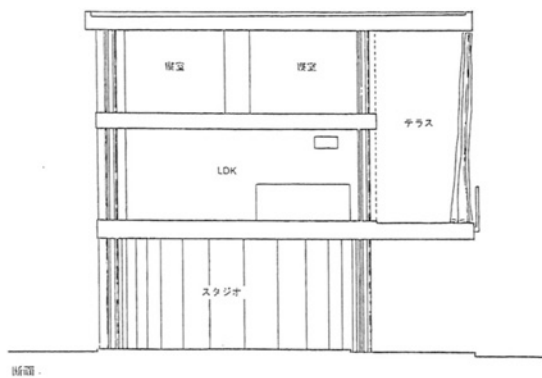
127 書架の家 前田光一 9504	層数	各階を性格づける特徴					建蔽率	構成類型
		天井高	平面の大きさ	エントランス	下階と地面	上階と屋根		
	3	中上V	中	中	地中	/	38	K



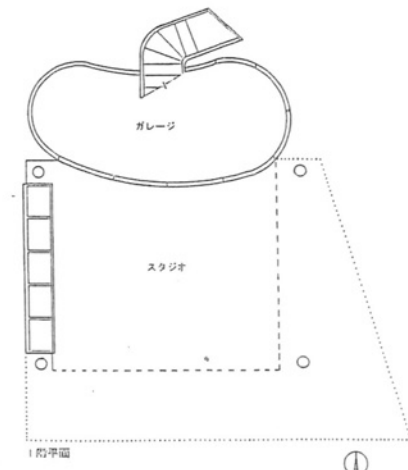
3階平面



2階平面

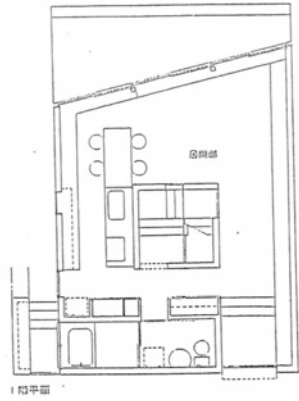
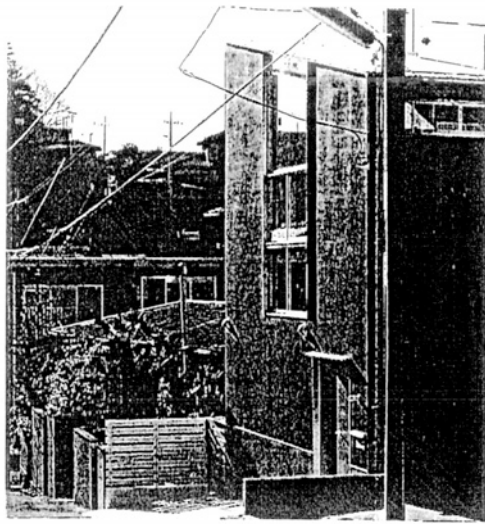


断面



1階平面

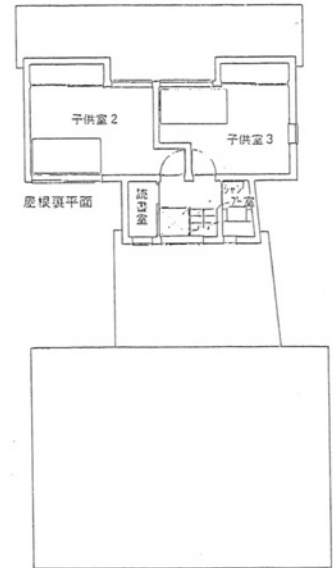
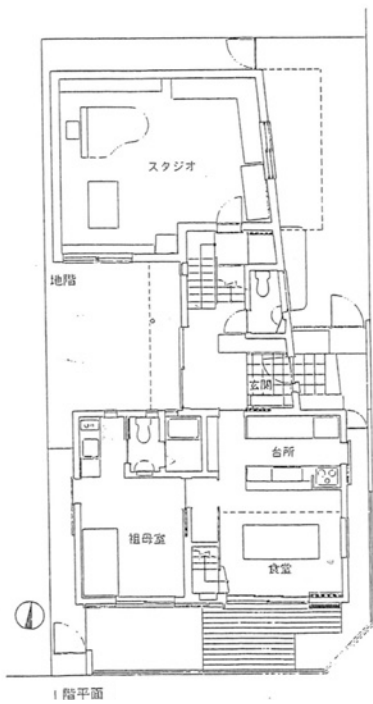
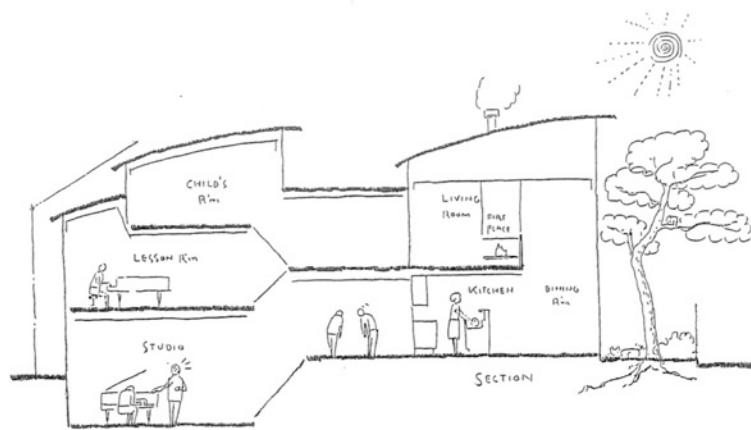
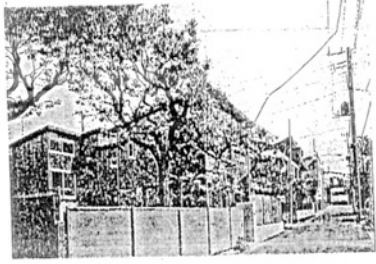
<p>128</p> <p>カーテンウォールの家 坂茂 9510</p>	層数	各階を性格づける特徴					建蔽率	構成類型
		天井高	平面の大きさ	エントランス	下階と地面	上階と屋根		
	3	下	全	下	地上	—	69	類型外



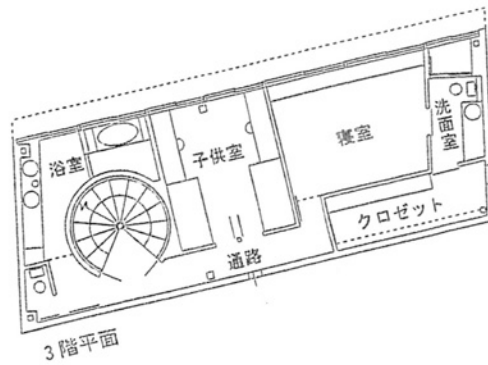
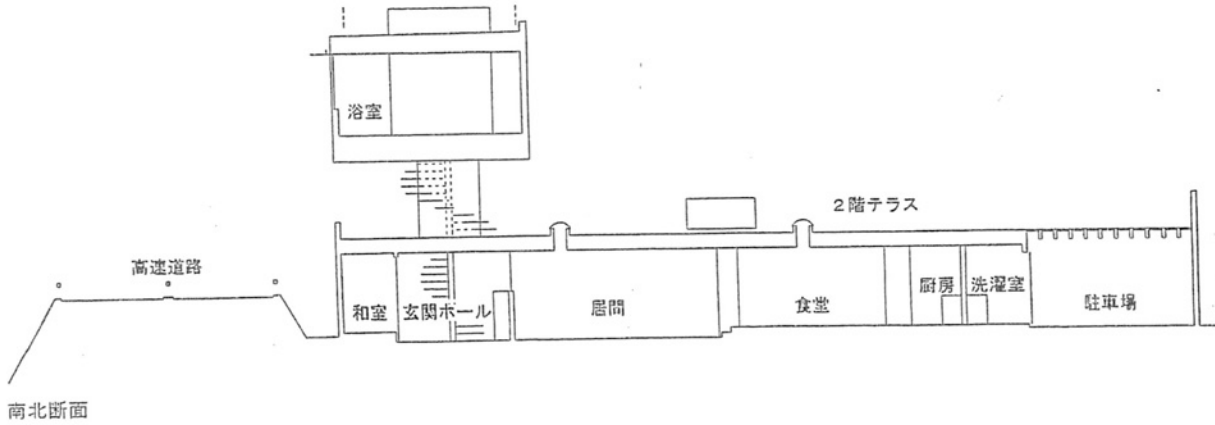
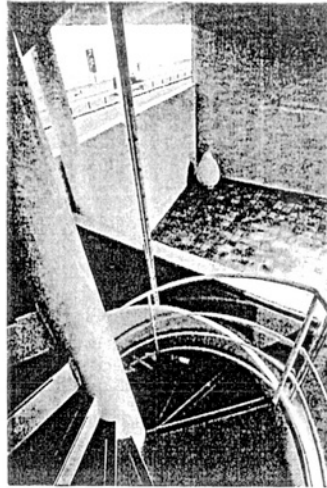
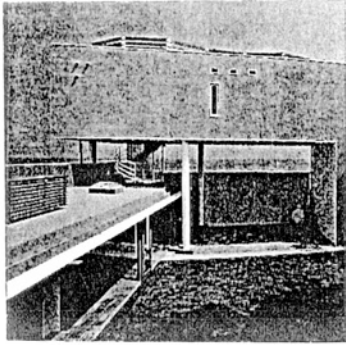
1階平面

2階平面

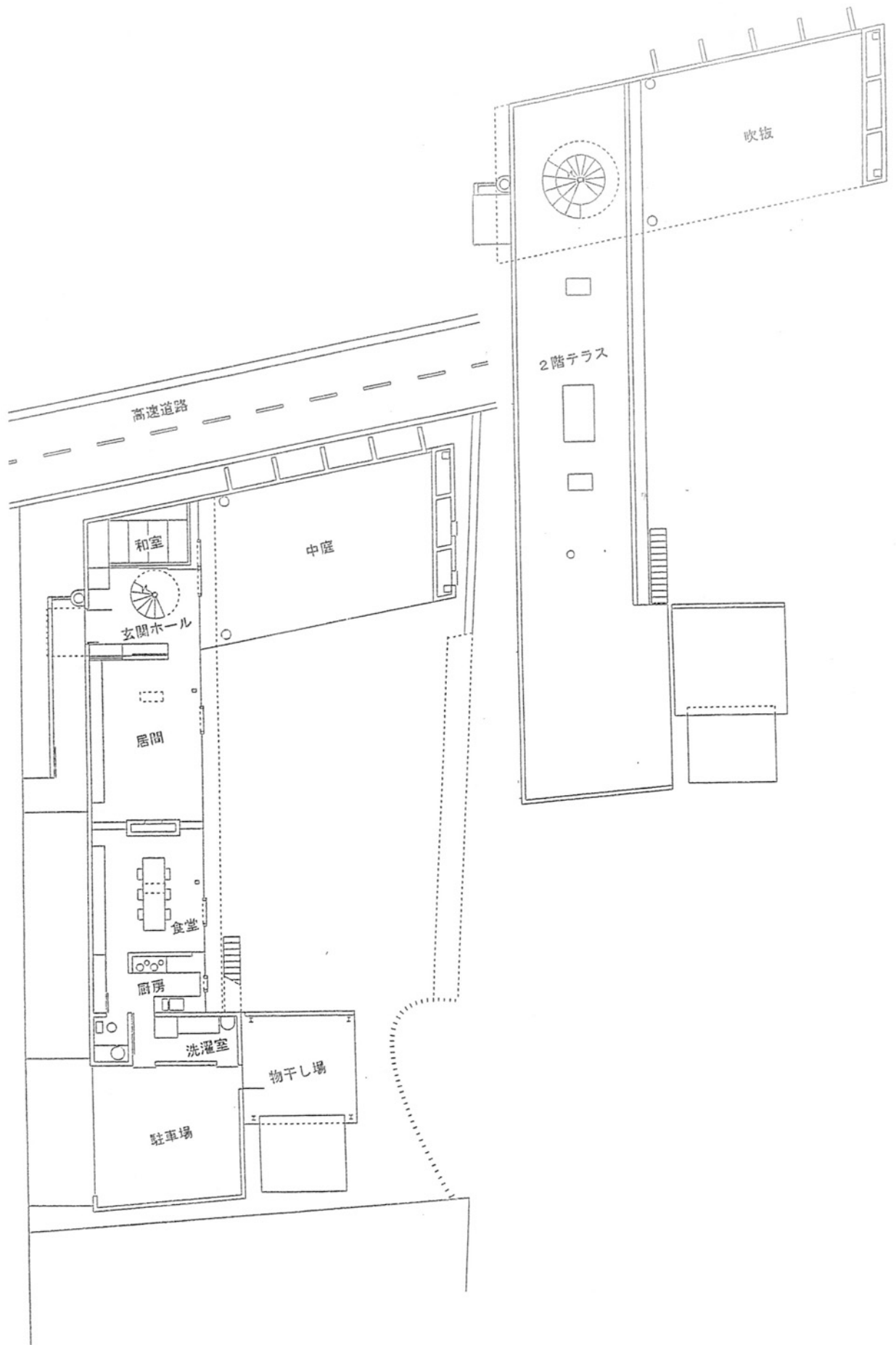
129 本町田の家 DESK5 9510	層数	各階を性格づける特徴					建蔽率	構成類型
		天井高	平面の大きさ	エントランス	下階と地面	上階と屋根		
	2	全	全	下	地上	/	40	類型外

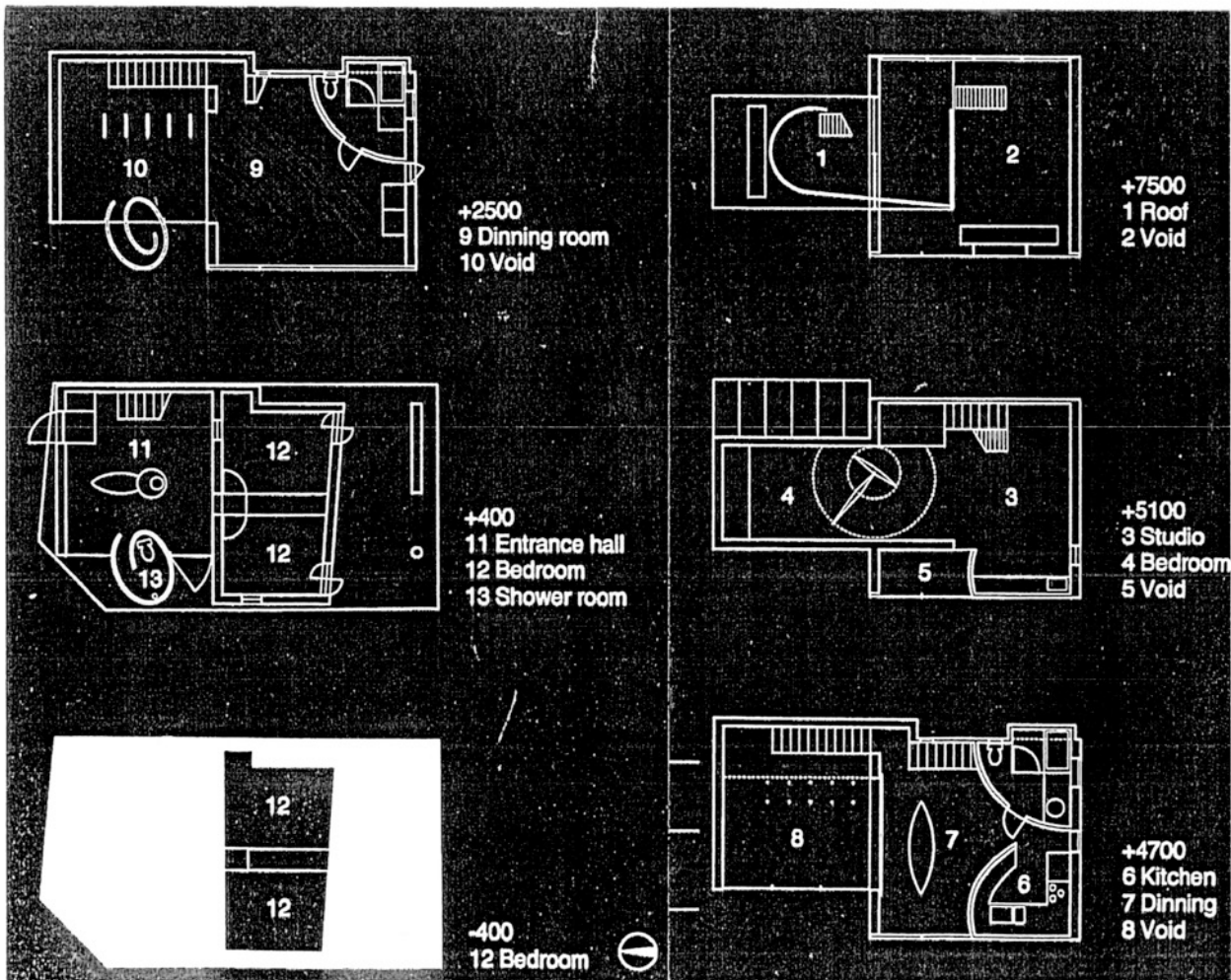
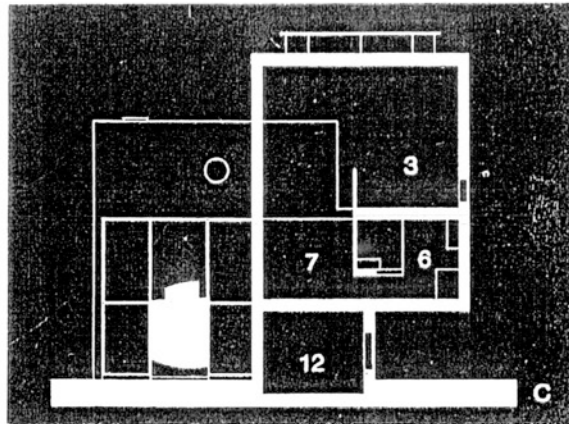
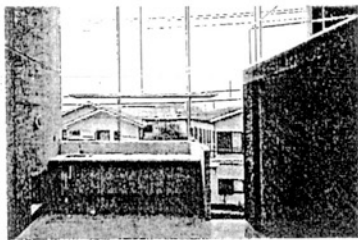
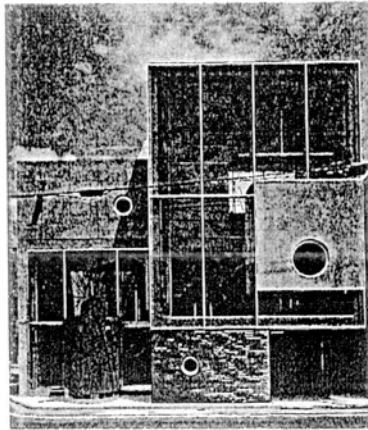


<p>130</p> <p>NISHIHARA HAUS</p> <p>中村好文</p> <p>9607</p>	層数	各階を性格づける特徴					建蔽率	構成類型
		天井高	平面の大きさ	エントランス	下階と地面	上階と屋根		
	3	中上V	中	中	地中	/	47	K

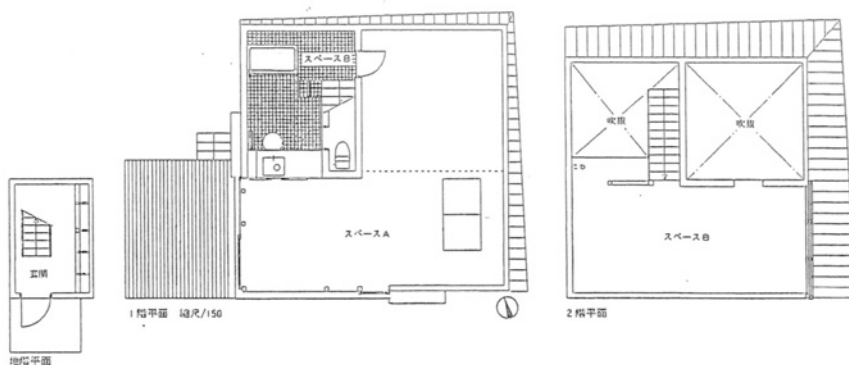
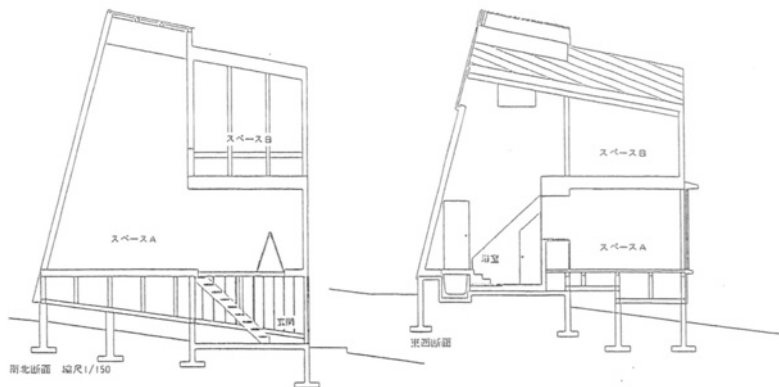
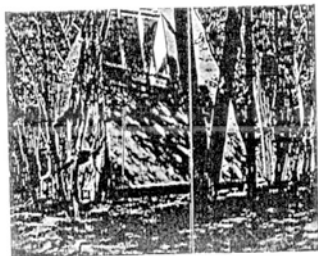


131 S (エス) 青木淳 9608	層数	各階を性格づける特徴					建蔽率	構成類型
		天井高	平面の大きさ	エントランス	下階と地面	上階と屋根		
	3	全	下	下	地上	—	34	類型外





132 W-House 入江経一 9610	層数	各階を性格づける特徴					建蔽率	構成類型
		天井高	平面の大きさ	エントランス	下階と地面	上階と屋根		
	3	中上V	中	下	地上	—	70	類型外



133

那須の別荘  
シーラカンス  
9701

層数

各階を性格づける特徴

天井高

平面の大きさ

エントランス

下階と地面

上階と屋根

建蔽率

構成類型

3

中上V

中

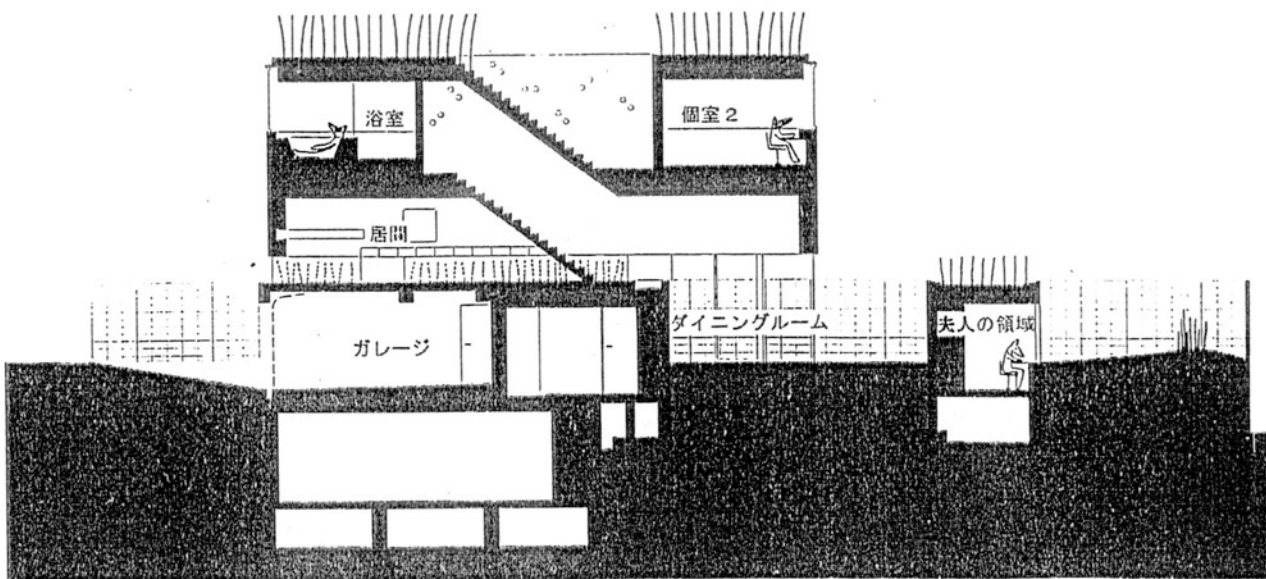
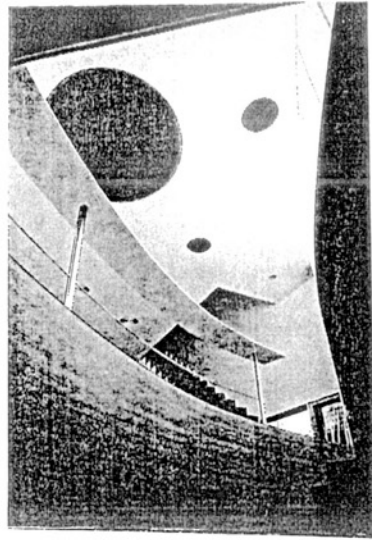
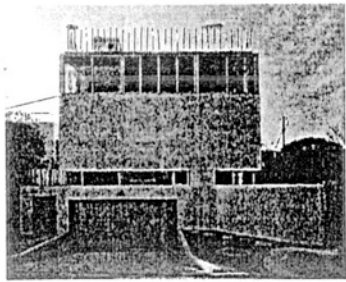
下

地上

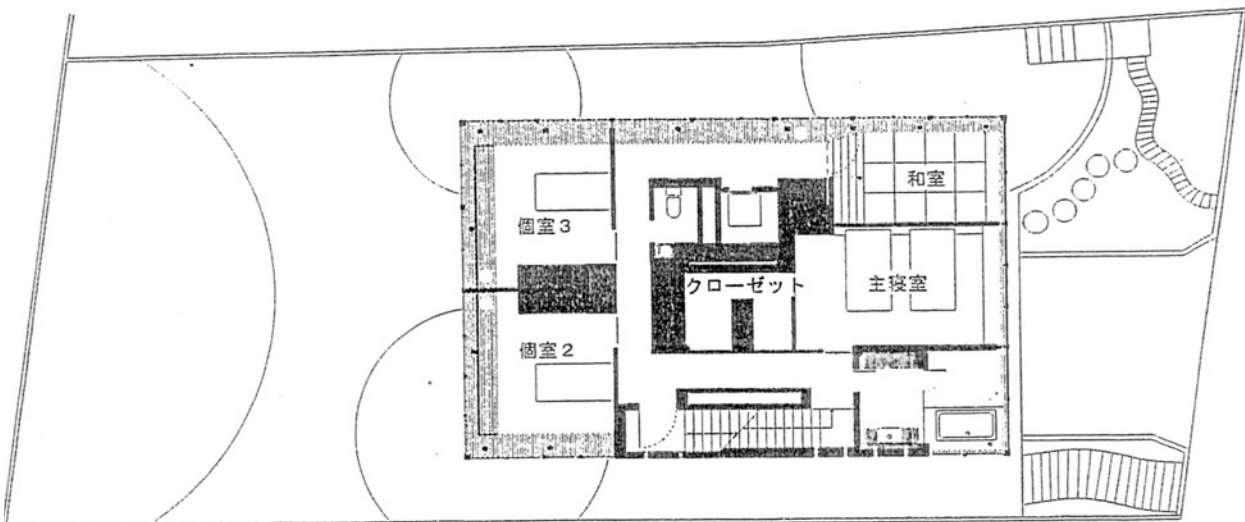
/

(9)

J

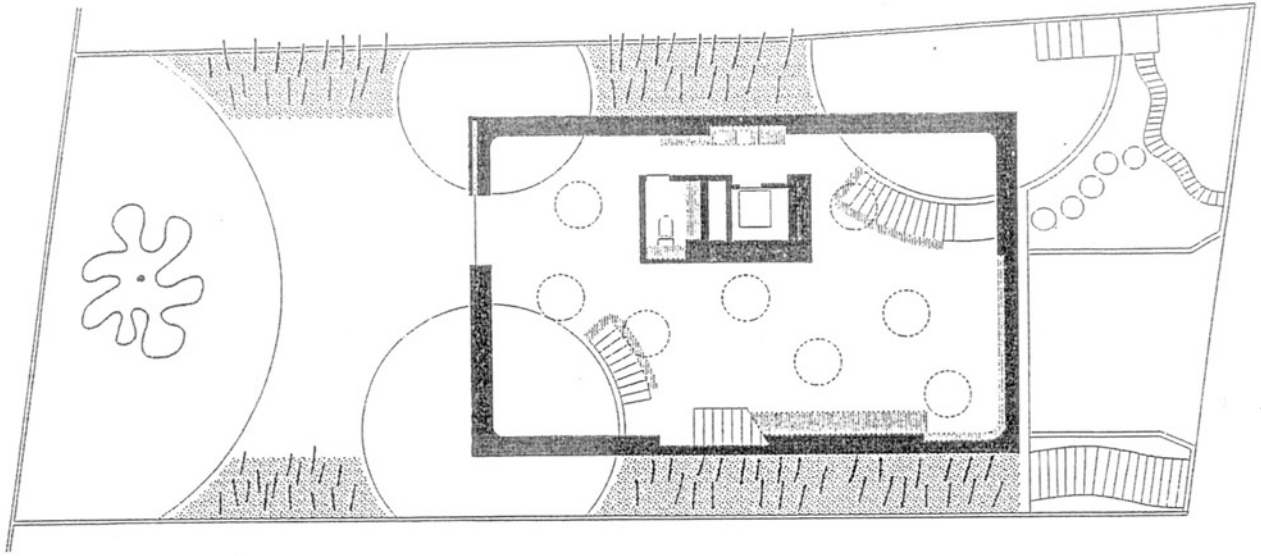


南北断面

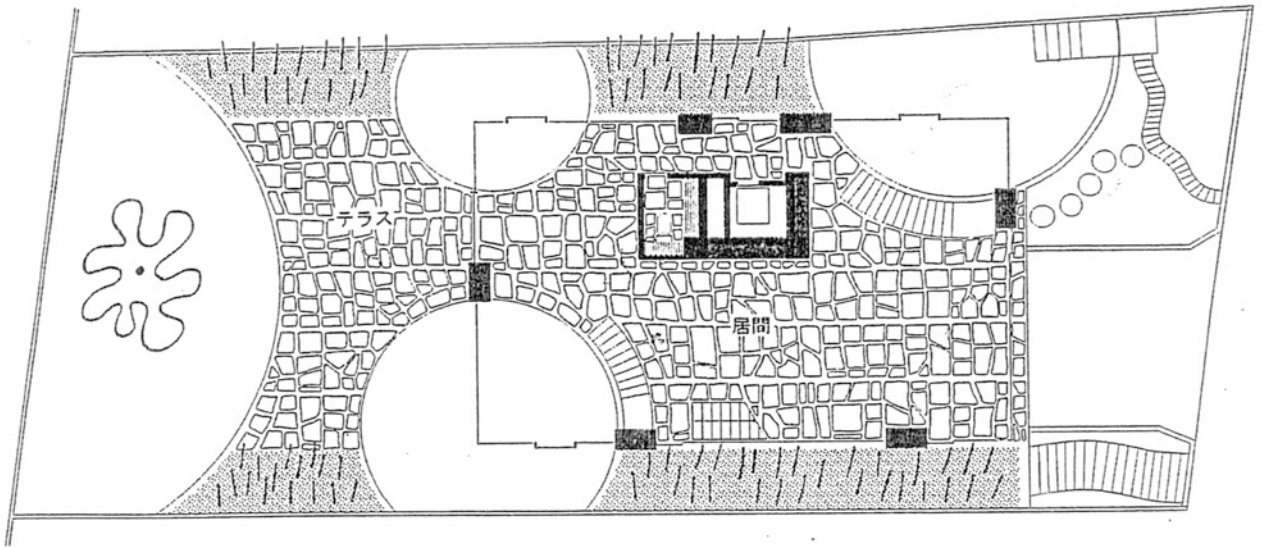


3階平面

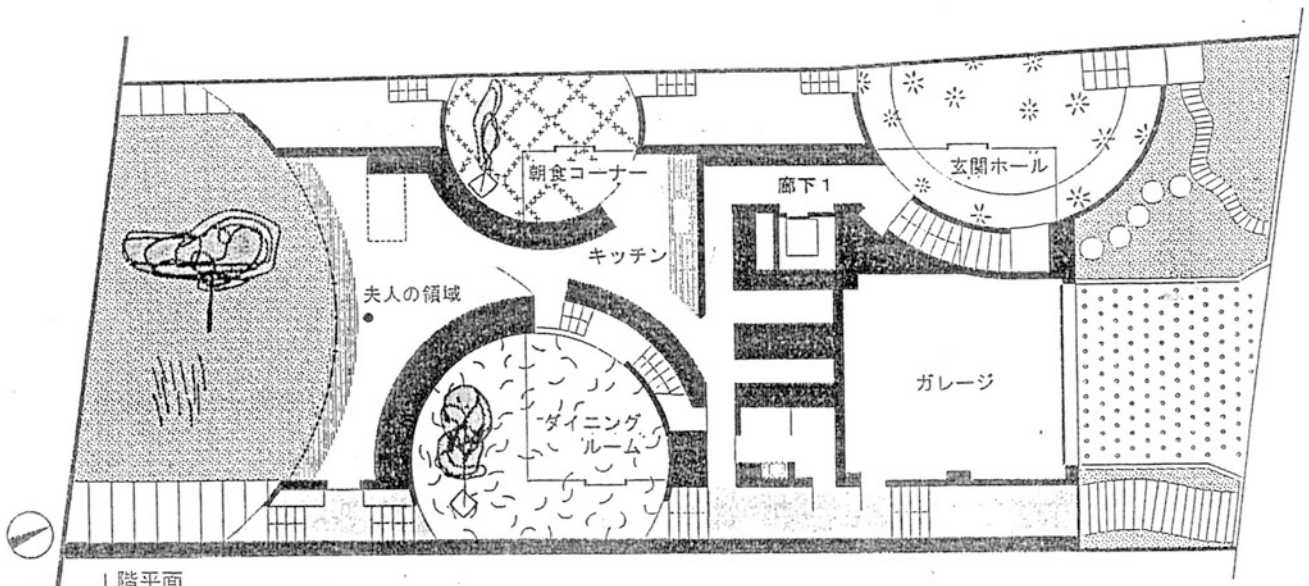
134 0 (オー) 青木淳 9702	層数	各階を性格づける特徴					建蔽率	構成類型
		天井高	平面の大きさ	エントランス	下階と地面	上階と屋根		
	3	下中V	下	下	地上	—	40	類型外



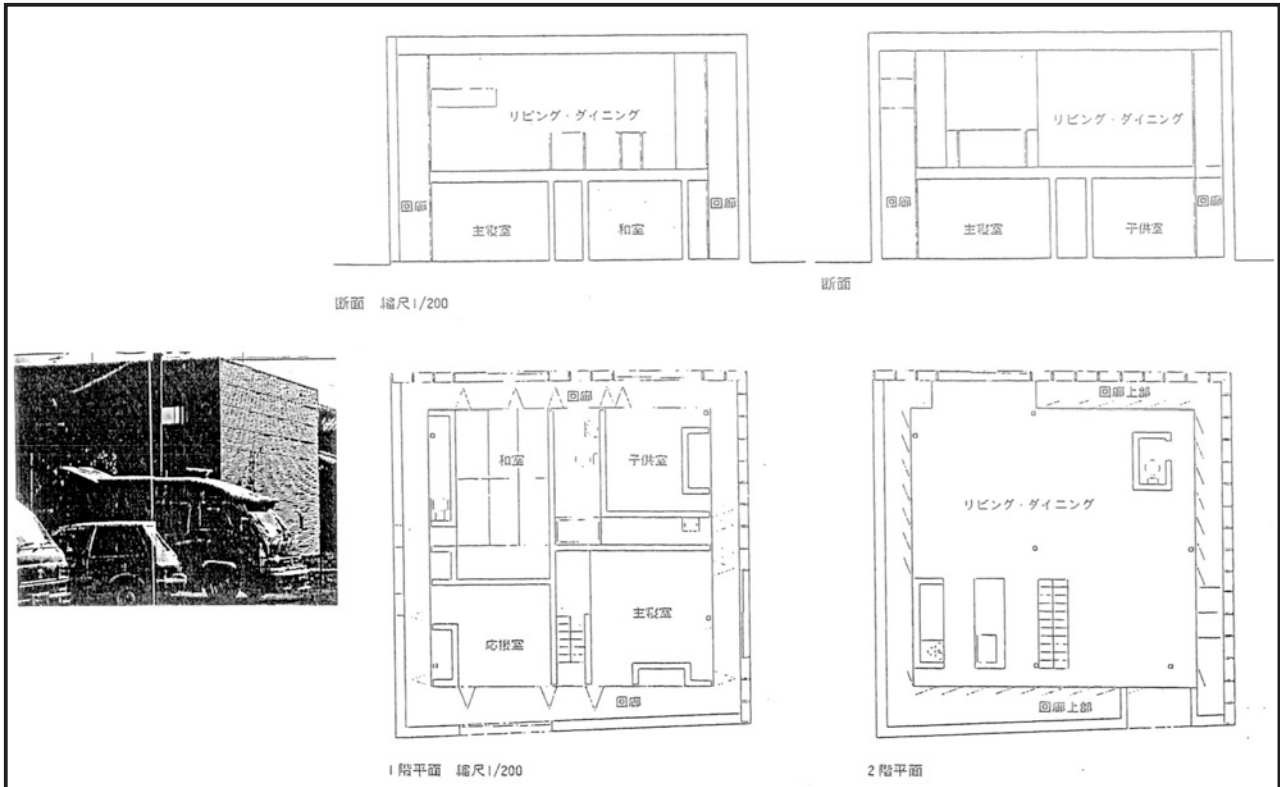
2階平面(上部)



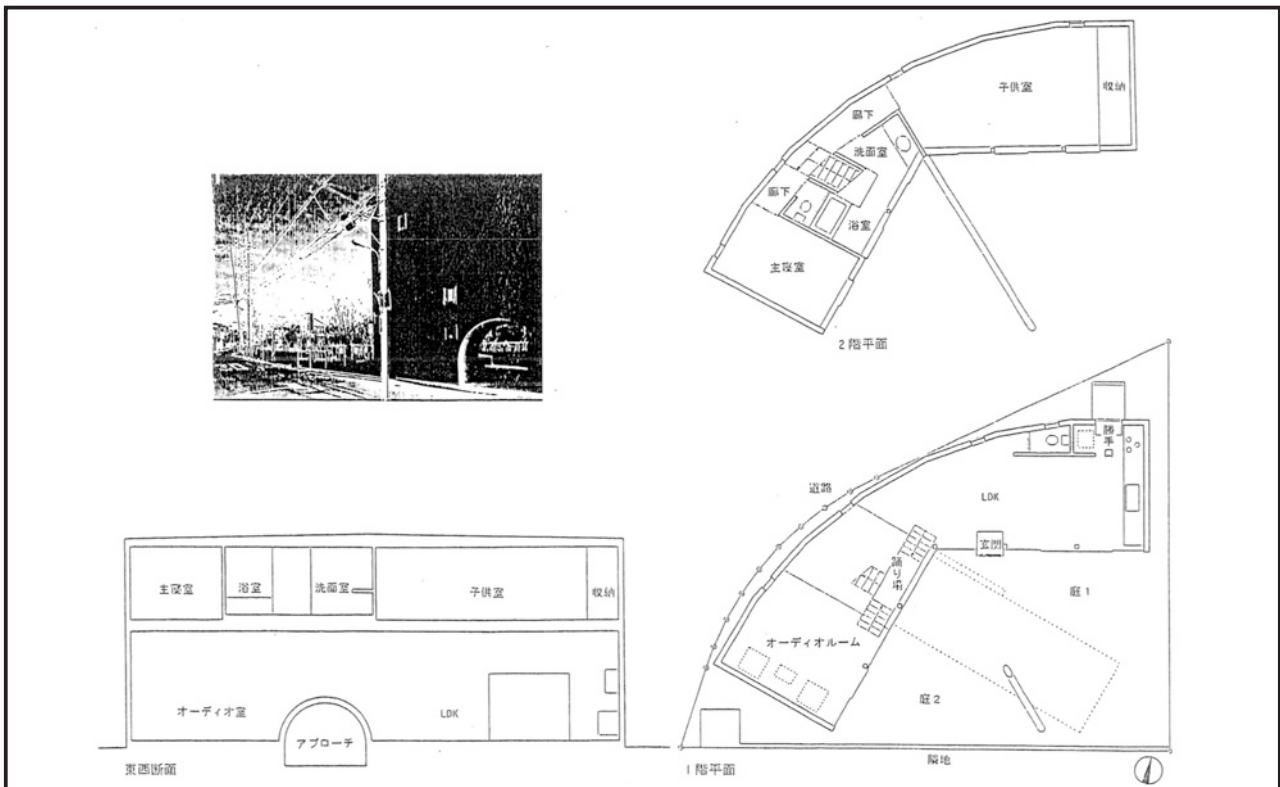
2階平面(下部)



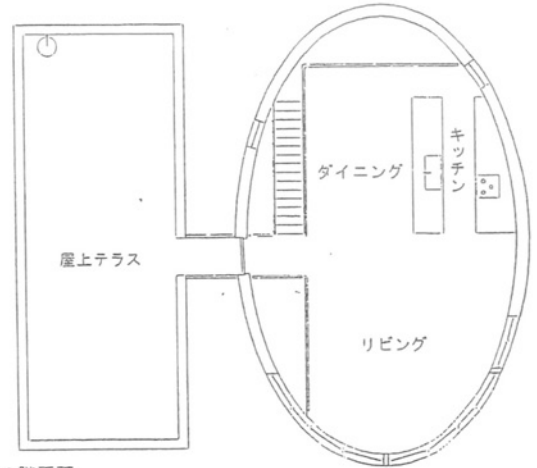
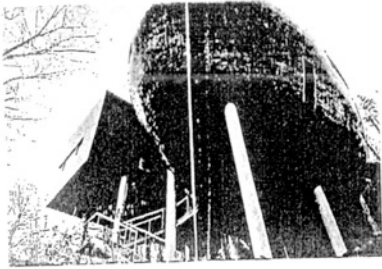
1階平面



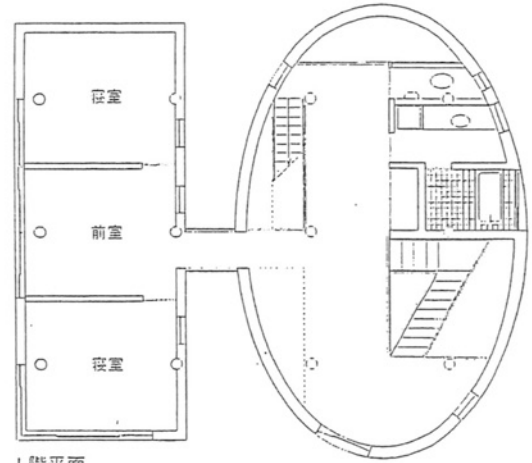
135	層数	各階を性格づける特徴					建蔽率	構成類型
		天井高	平面の大きさ	エントランス	下階と地面	上階と屋根		
		2	下上V	全	下	地上		



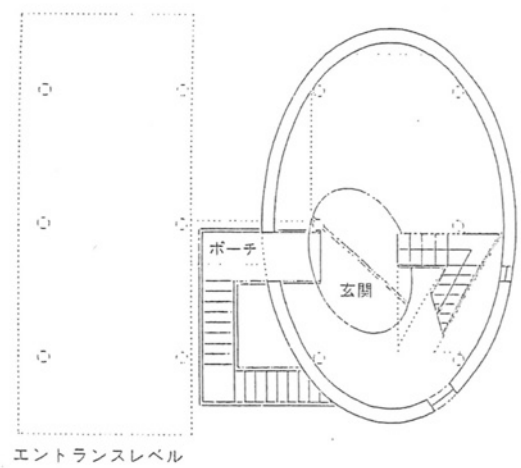
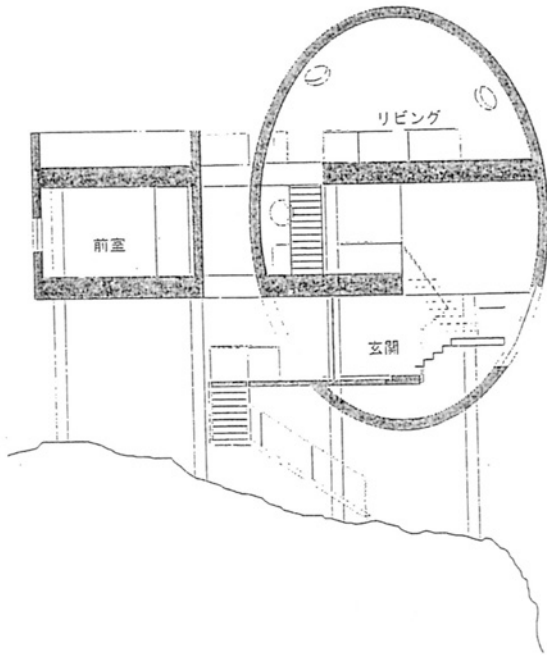
136	層数	各階を性格づける特徴					建蔽率	構成類型
		天井高	平面の大きさ	エントランス	下階と地面	上階と屋根		
		2	下	全	下	地上		



2階平面



1階平面



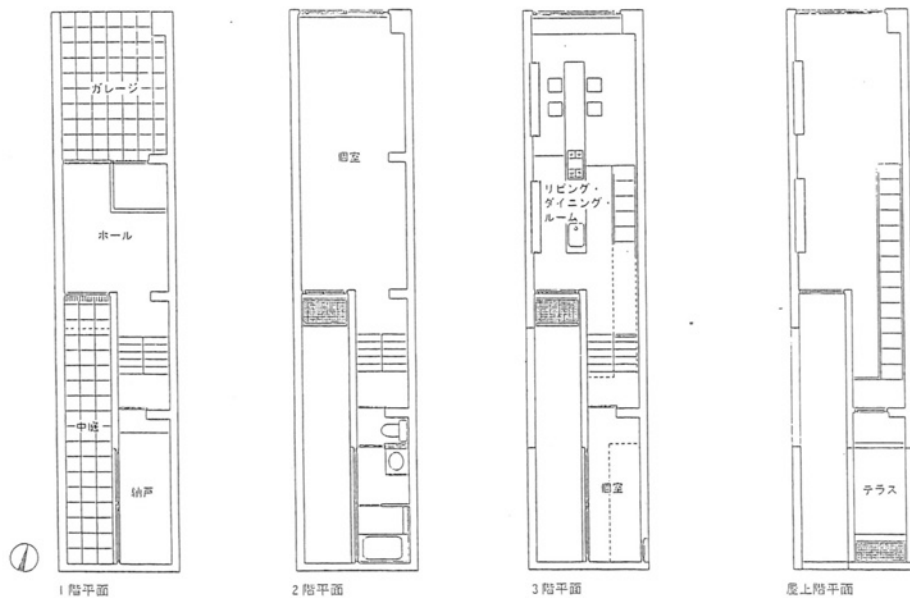
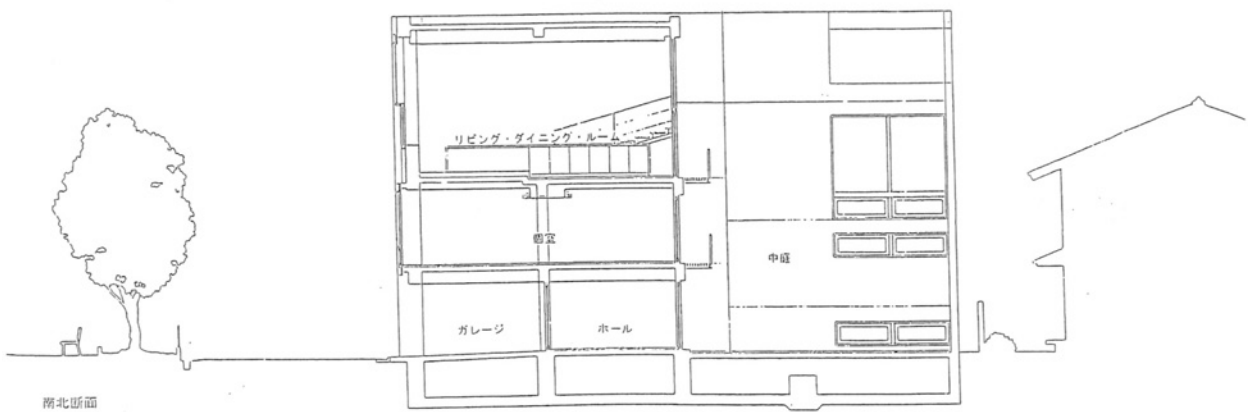
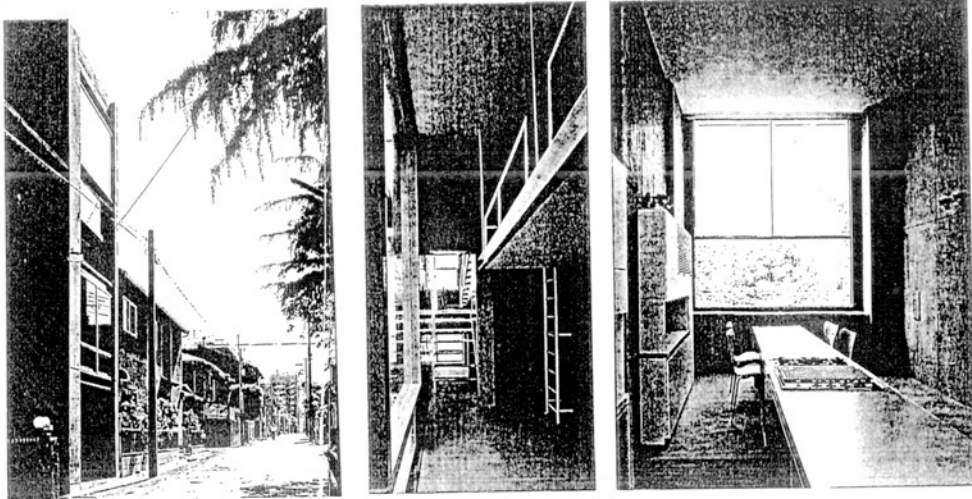
エントランスレベル

137

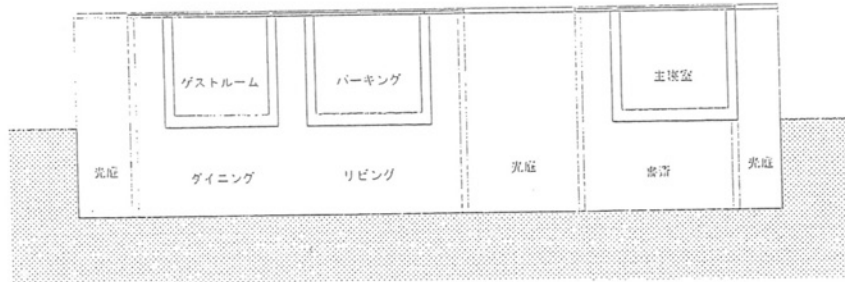
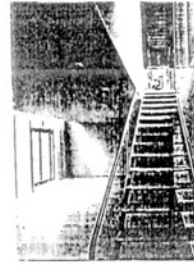
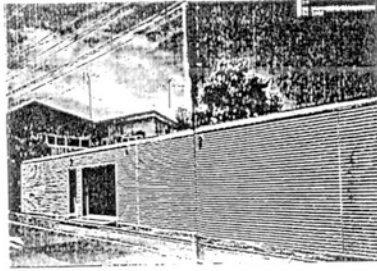
まんぼう 1997  
岡田哲史 + 富山理佐  
9706

各階を性格づける特徴

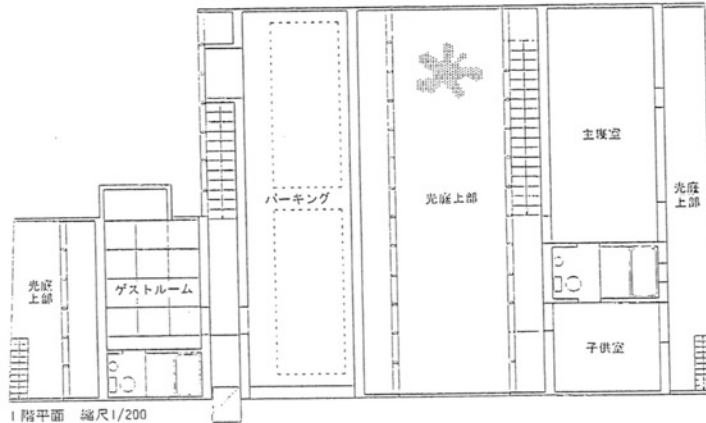
層数	各階を性格づける特徴					建蔽率	構成類型
	天井高	平面の大きさ	エントランス	下階と地面	上階と屋根		
3	上	中	下	上空	/	(47)	類型外



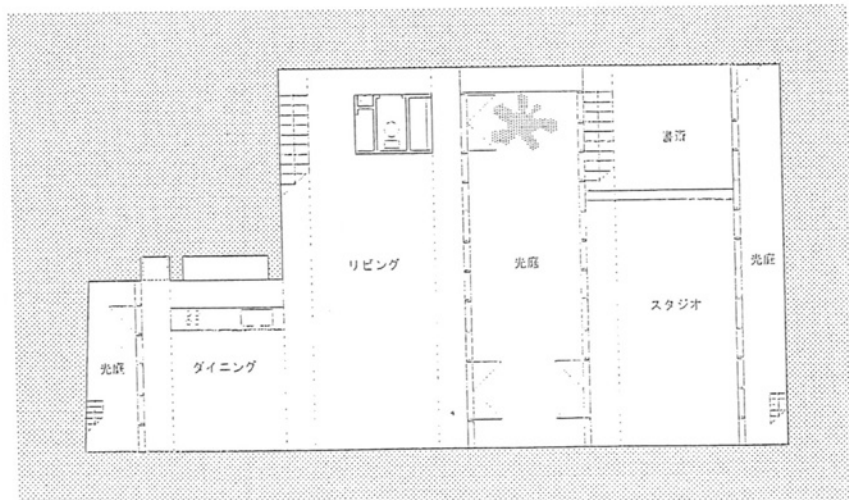
138 東灘の家 岸和郎 9707	層数	各階を性格づける特徴					建蔽率	構成類型
		天井高	平面の大きさ	エントランス	下階と地面	上階と屋根		
	3	上	中上	下	地上	—	56	類型外



東面断面 縮尺1/200

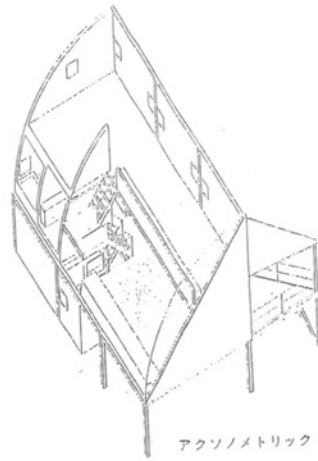
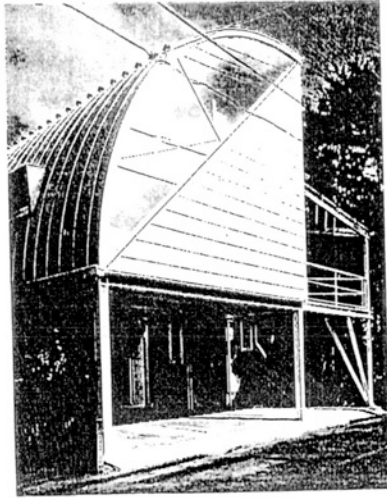


1階平面 縮尺1/200

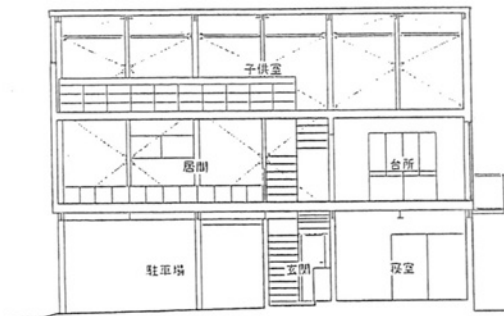


地階平面

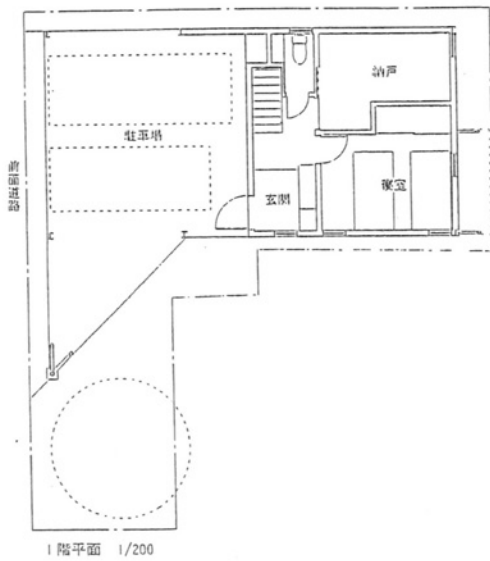
<p>139</p> <p>M-HOUSE</p> <p>妹島和世 + 西沢立衛</p> <p>9709</p>	層数	各階を性格づける特徴					建蔽率	構成類型
		天井高	平面の大きさ	エントランス	下階と地面	上階と屋根		
	2	全	全	上	地下	—	54	類型外



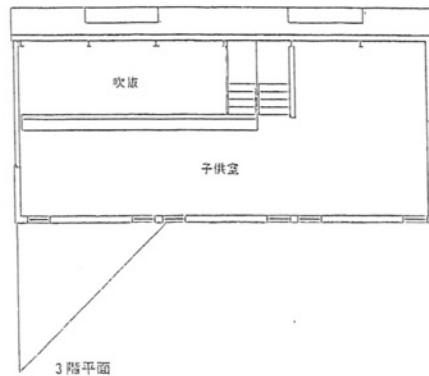
アクソノメトリック



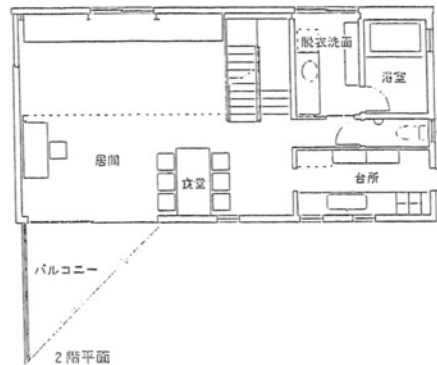
断面 1/200



1階平面 1/200

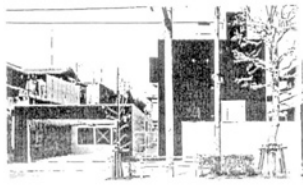


3階平面

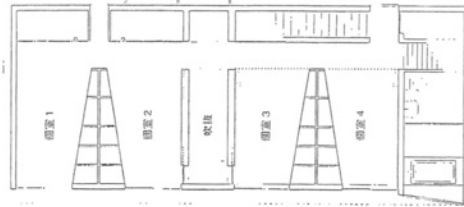
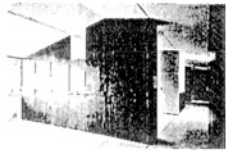
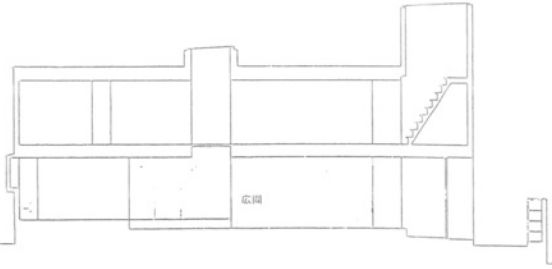


2階平面

<p>140</p> <p>箱の家-7 (神保邸)</p> <p>難波和彦</p> <p>9801</p>	層数	各階を性格づける特徴					建蔽率	構成類型
		天井高	平面の大きさ	エントランス	下階と地面	上階と屋根		
	3	中上V	中	下	地上	/	58	J



断面 縮尺1/200



141

吉祥寺通りの住宅  
DESK5  
9801

層数

各階を性格づける特徴

建蔽率

構成類型

天井高

平面の大きさ

エントランス

下階と地面

上階と屋根

2

全

全

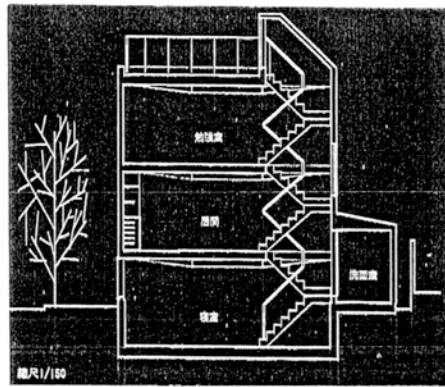
下

地上

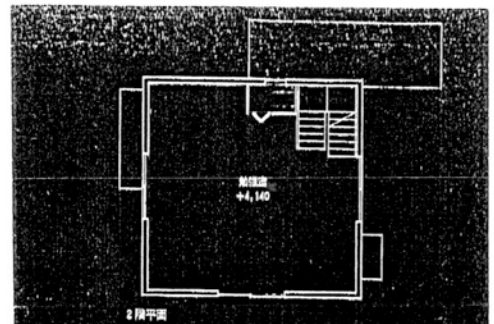
/

44

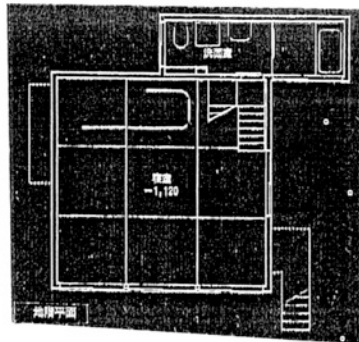
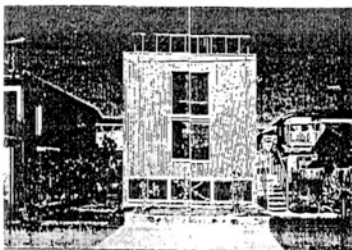
類型外



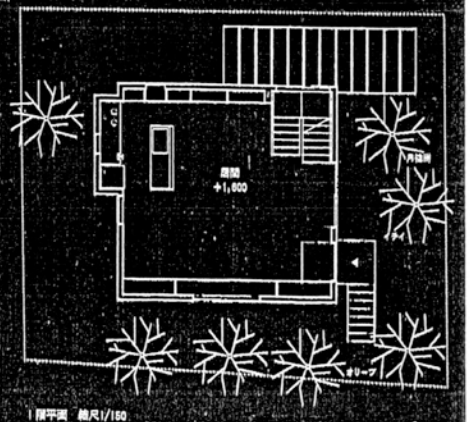
縮尺1/100



2階平面



1階平面



1階平面 縮尺1/100

142

アニハウス  
アトリエ・ワン  
9802

層数

各階を性格づける特徴

建蔽率

構成類型

天井高

平面の大きさ

エントランス

下階と地面

上階と屋根

3

全

中

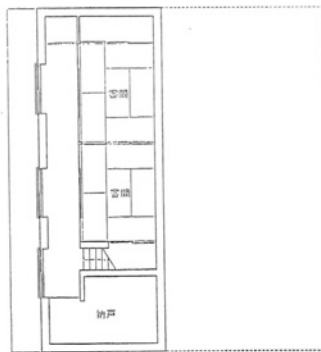
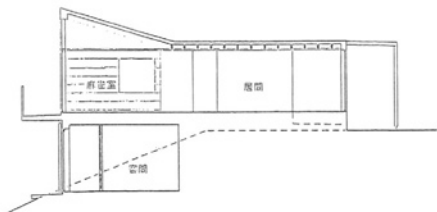
中

地中

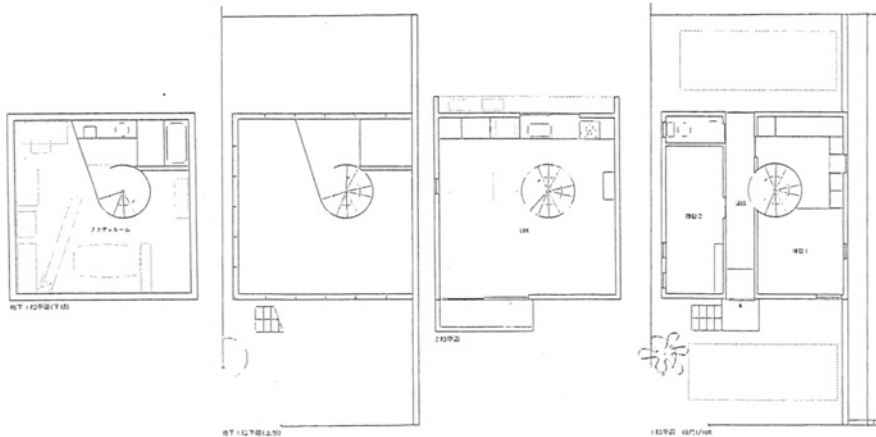
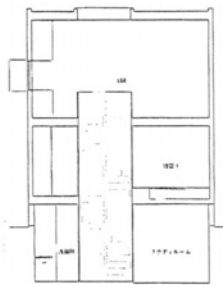
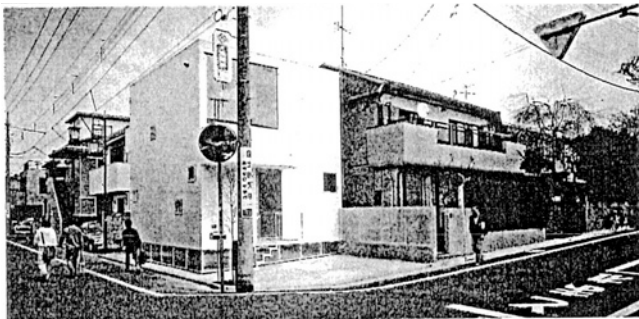
—

38

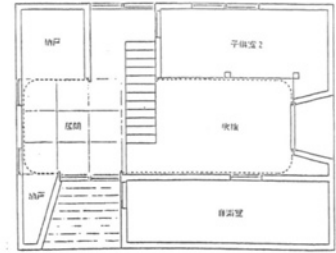
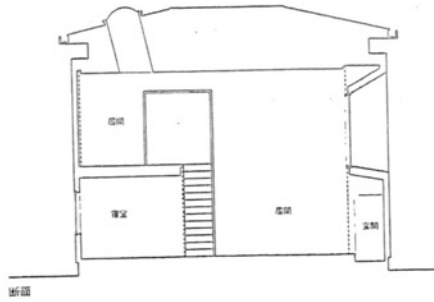
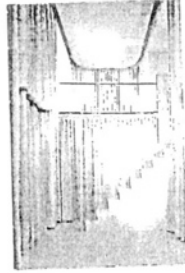
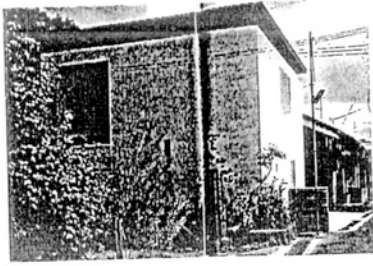
類型外



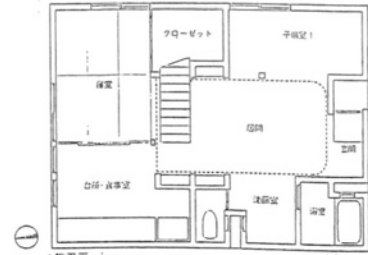
143 大町の家 みかんぐみ 9803	層数	各階を性格づける特徴					建蔽率	構成類型
		天井高	平面の大きさ	エントランス	下階と地面	上階と屋根		
	2	上	上	上	地中	/	38	F



144 梅が丘の住宅 佐藤光彦 9806	層数	各階を性格づける特徴					建蔽率	構成類型
		天井高	平面の大きさ	エントランス	下階と地面	上階と屋根		
	3	上	全	中	地中	—	38	類型外



2階平面



1階平面

145

ハカマ  
玉置順  
9809

層数

各階を性格づける特徴

天井高

平面の大きさ

エントランス

下階と地面

上階と屋根

建蔽率

構成類型

2

下上V

全

下

地上

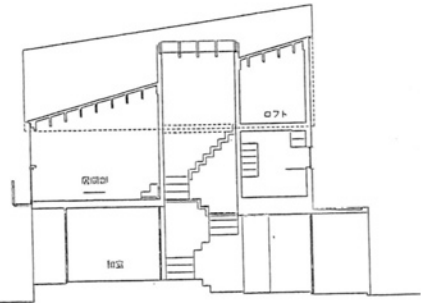
—

53

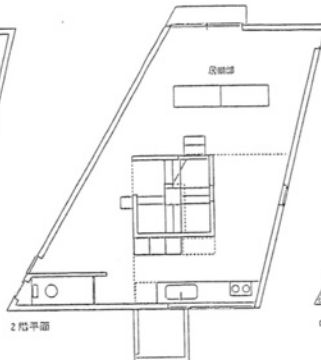
H



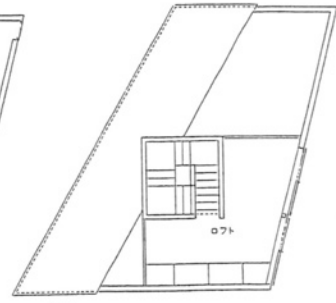
断面



1階平面



2階平面



ロフト平面

146

曾谷の家  
DESK5  
9811

層数

各階を性格づける特徴

天井高

平面の大きさ

エントランス

下階と地面

上階と屋根

建蔽率

構成類型

3

中上V

全

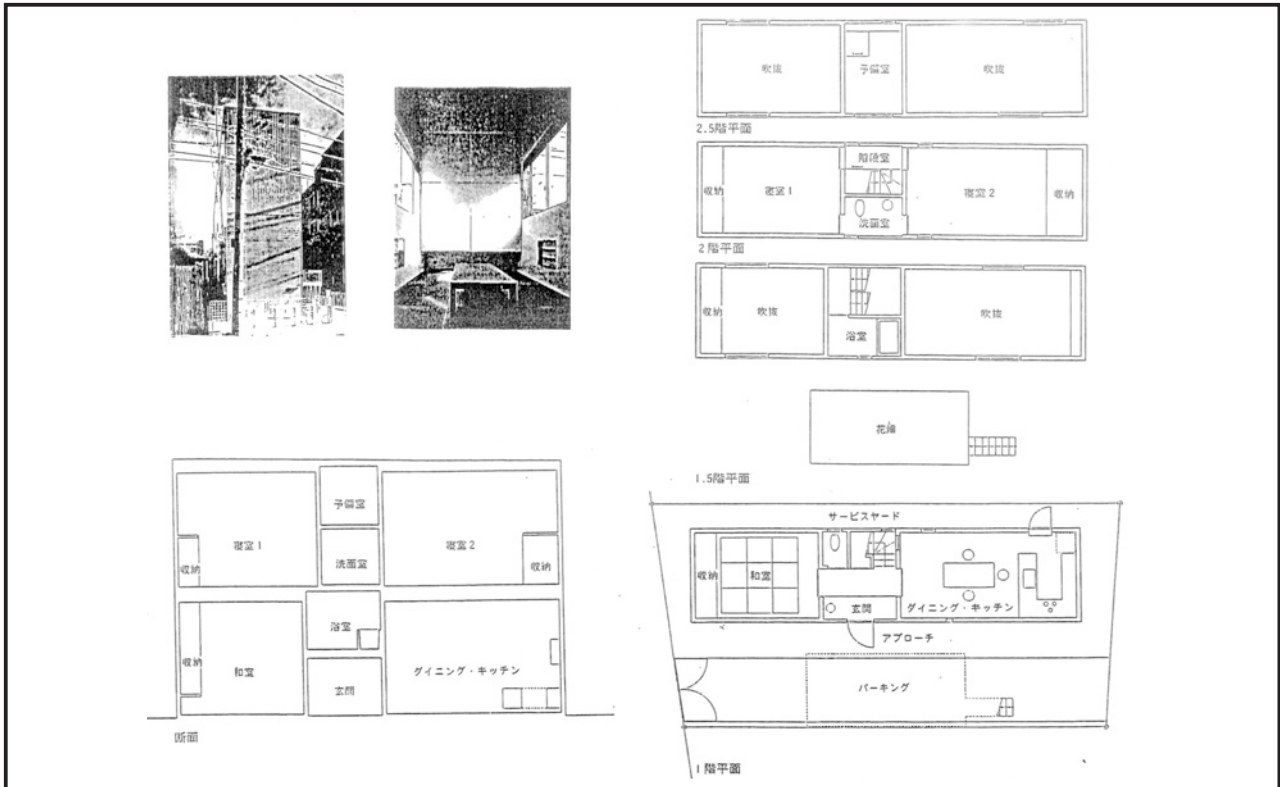
下

地上

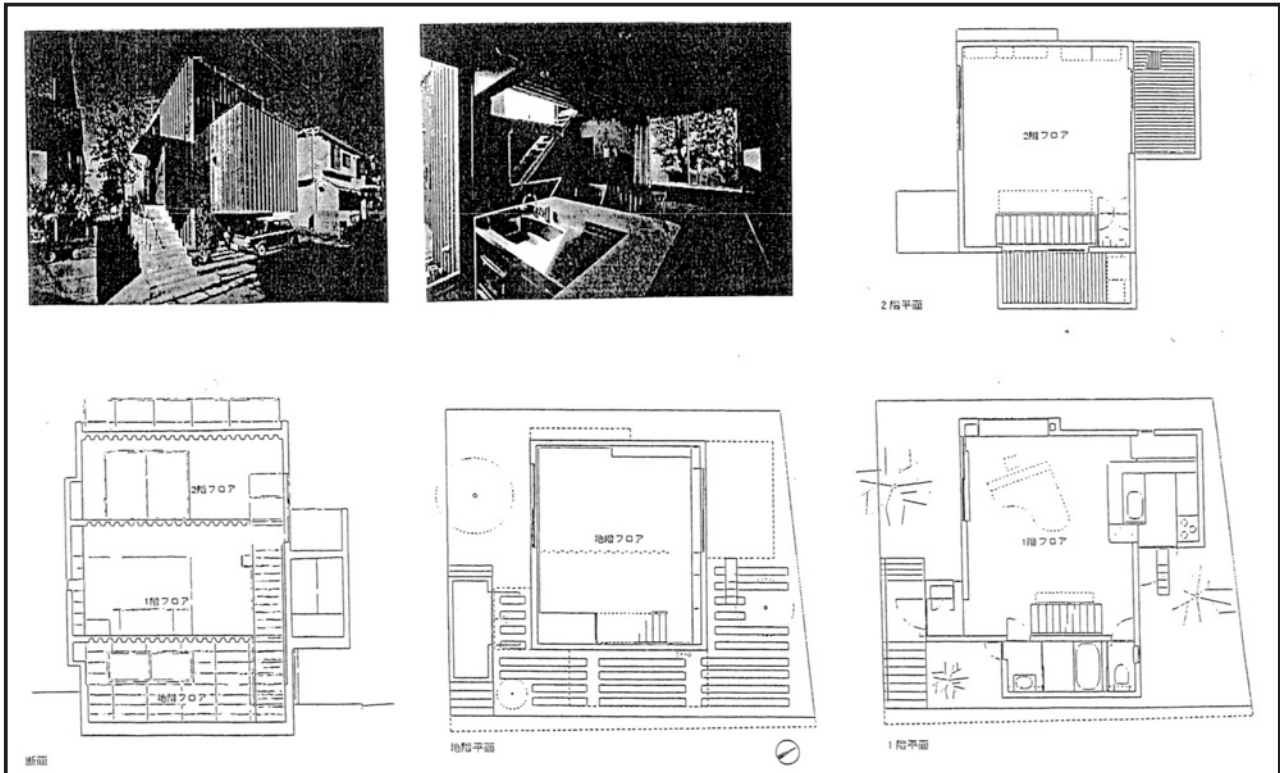
/

53

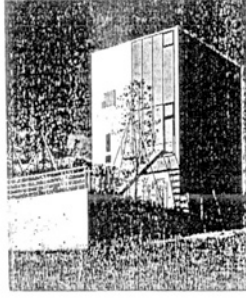
類型外



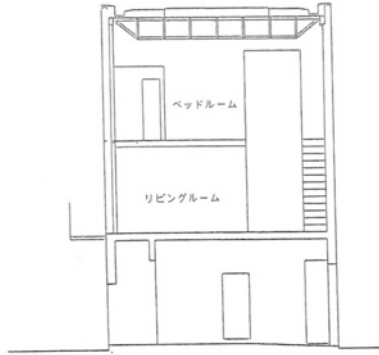
147 大田のハウス 西沢平良 9812	層数	各階を性格づける特徴					建蔽率	構成類型
		天井高	平面の大きさ	エントランス	下階と地面	上階と屋根		
	4	全*	全	下	地上	—	35	A



148 ミニハウス アトリエ・ワン 9901	層数	各階を性格づける特徴					建蔽率	構成類型
		天井高	平面の大きさ	エントランス	下階と地面	上階と屋根		
	3	中	中	中	地中	—	53	D



3階平面

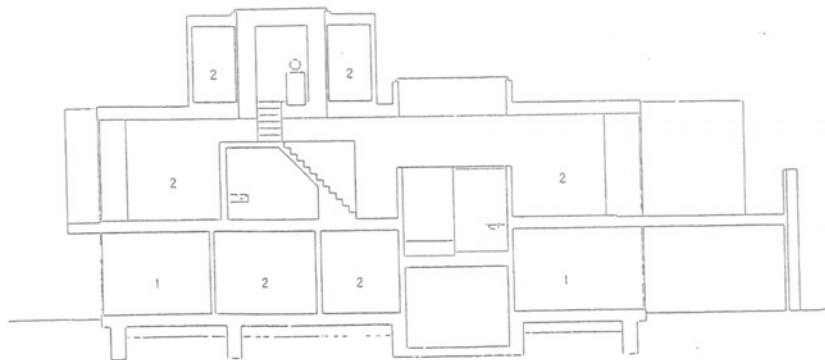


1階平面

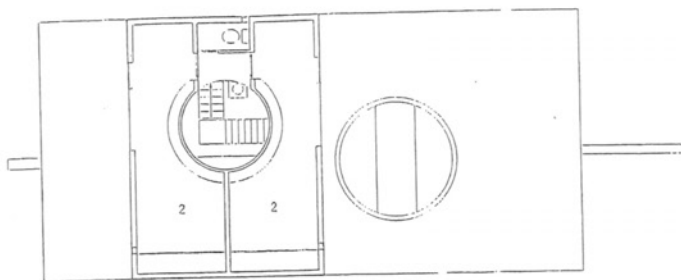


2階平面

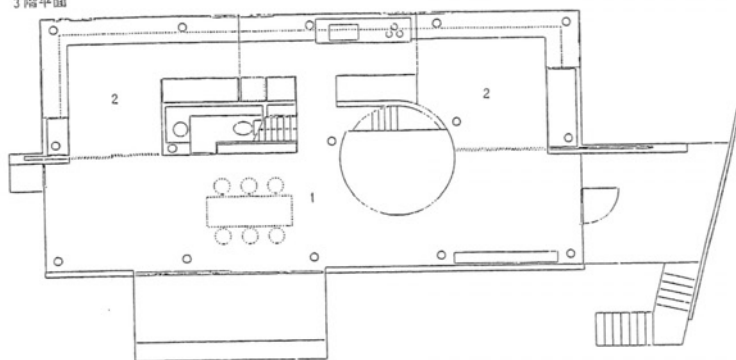
149 松本邸 原広司 9903	層数	各階を性格づける特徴					建蔽率	構成類型
		天井高	平面の大きさ	エントランス	下階と地面	上階と屋根		
	3	中上V	中上	中	地上	—	33	類型外



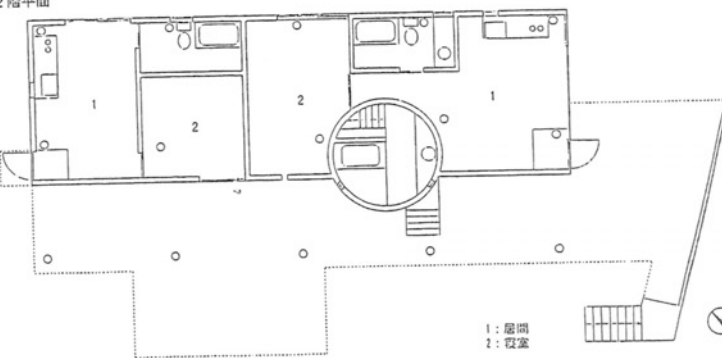
断面



3階平面



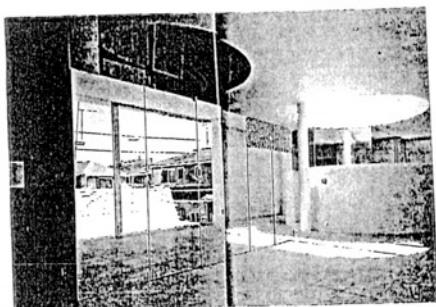
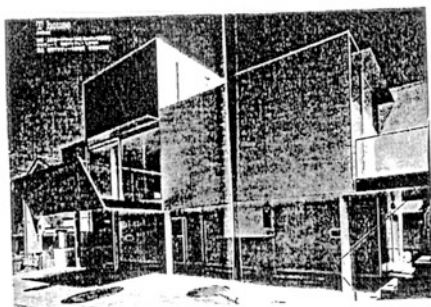
2階平面



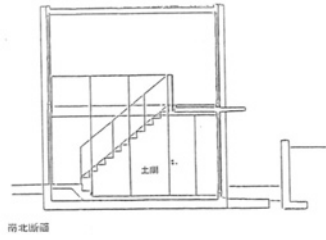
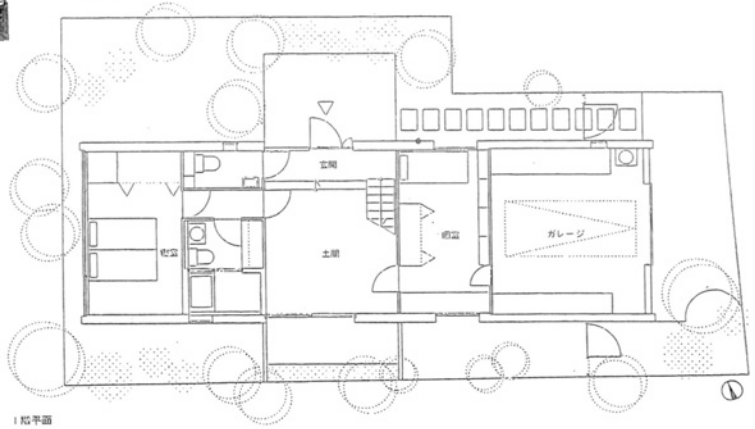
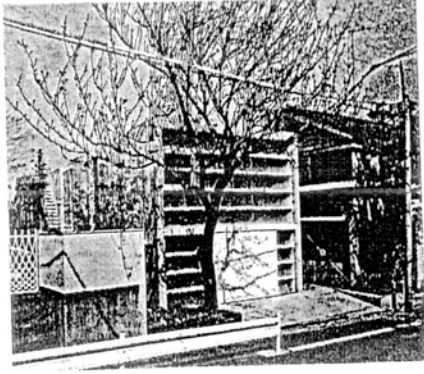
1階平面



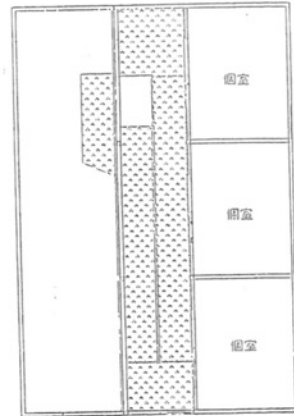
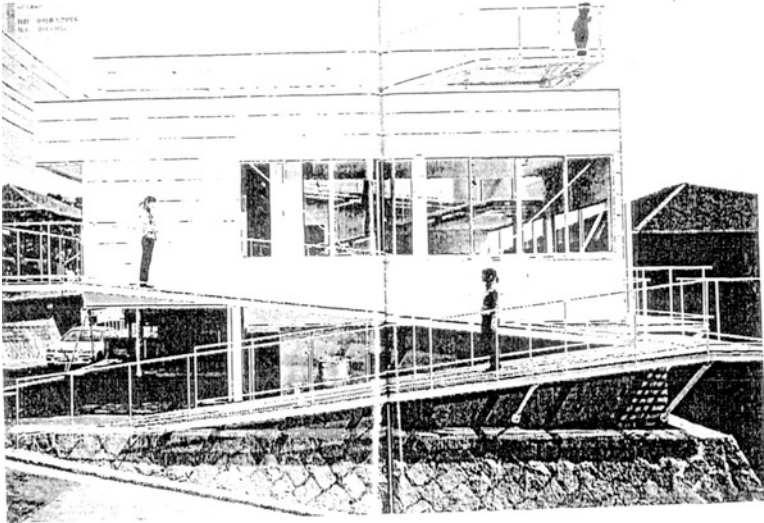
地階平面



150 T-HOUSE 入江経一 9906	層数	各階を性格づける特徴					建蔽率	構成類型
		天井高	平面の大きさ	エントランス	下階と地面	上階と屋根		
	3	中	中	中	地上	—	57	類型外



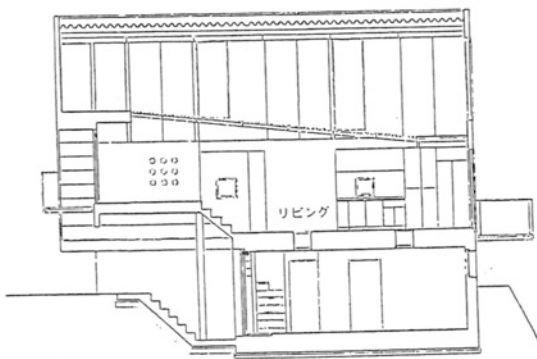
<p>151</p> <p>祐天寺 T 邸</p> <p>伊東豊雄</p> <p>9906</p>	層数	各階を性格づける特徴					建蔽率	構成類型
		天井高	平面の大きさ	エントランス	下階と地面	上階と屋根		
	2	下上V	全	下	地上	—	44	類型外



2階平面



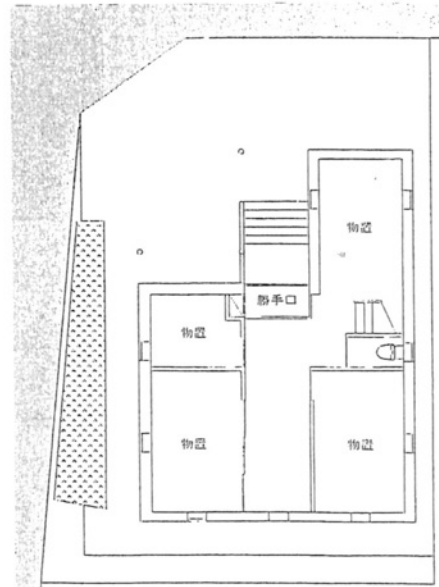
1階平面



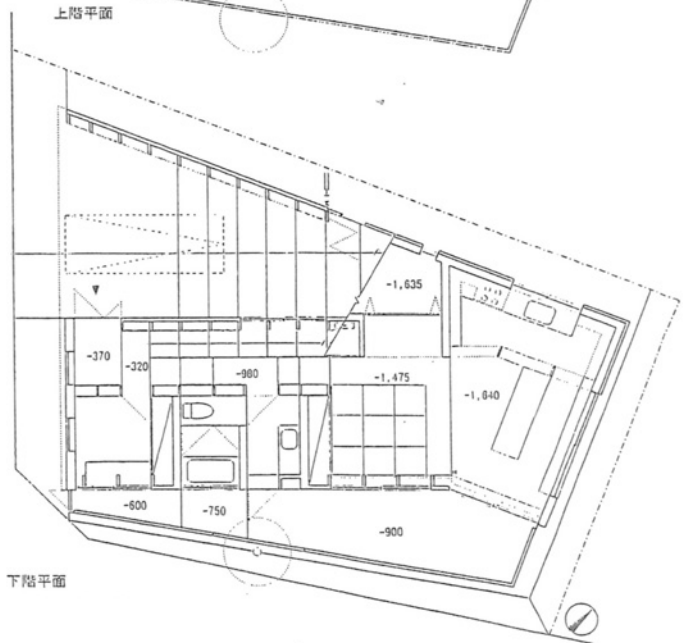
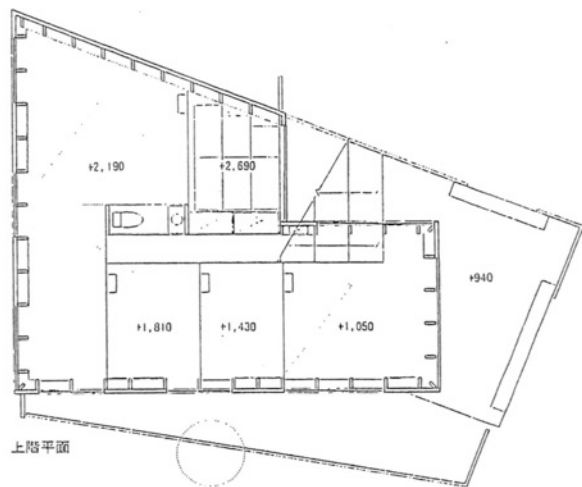
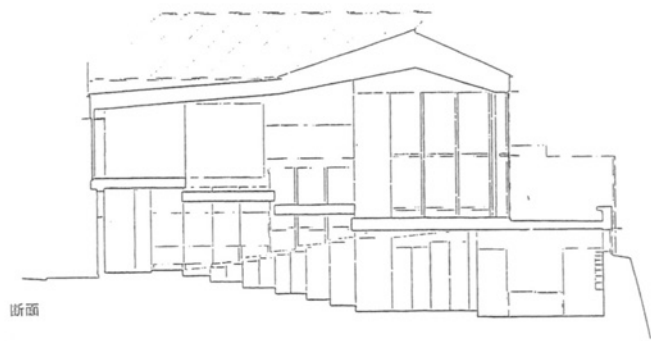
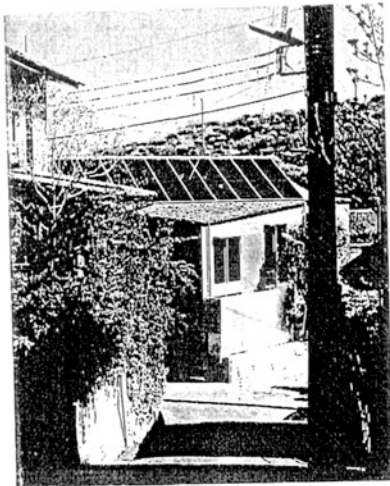
南北断面



東西断面



<p>152</p> <p>ST-1/ 斜めテラスの家</p> <p>中村勇大</p> <p>9908</p>	層数	各階を性格づける特徴					建蔽率	構成類型
		天井高	平面の大きさ	エントランス	下階と地面	上階と屋根		
	3	中'	中	中	地中	—	59	D



153

House SA 1999  
坂本一成  
9908

層数

各階を性格づける特徴

建蔽率

構成類型

天井高

平面の大きさ

エントランス

下階と地面

上階と屋根

3

上

上

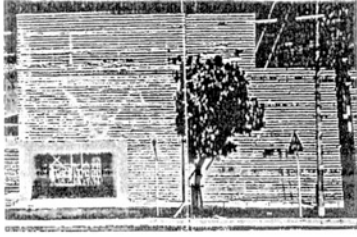
中

地中

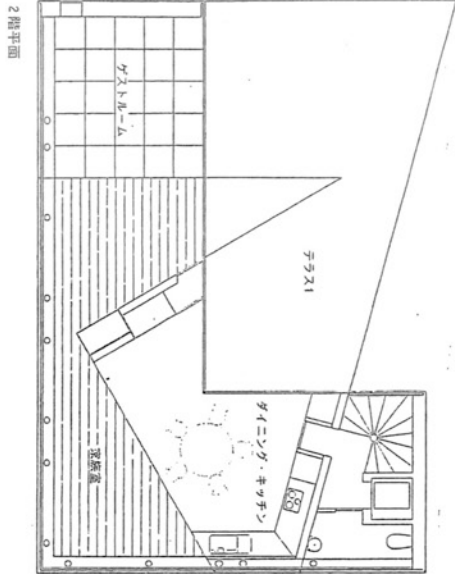
/

46

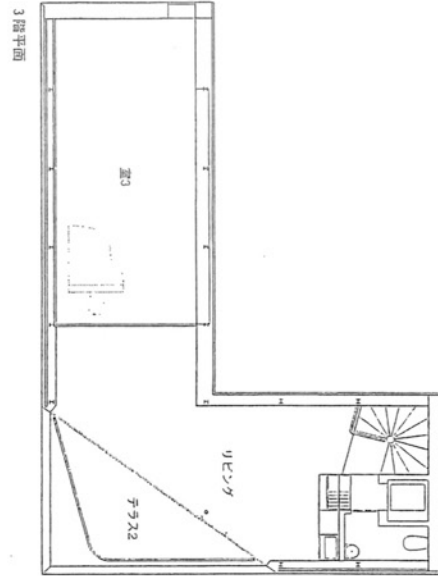
類型外



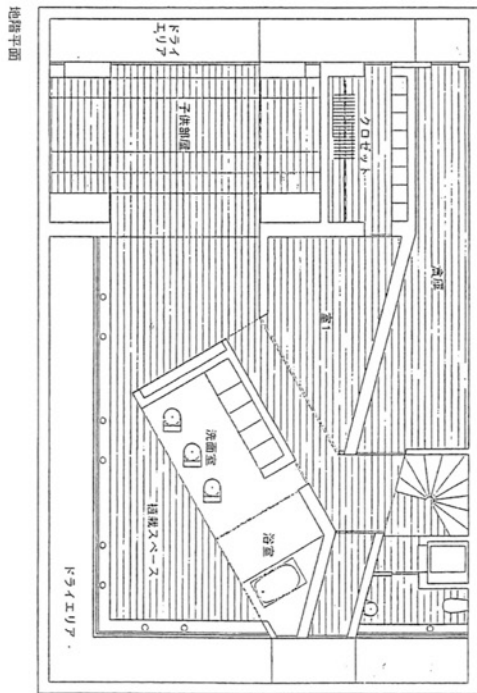
南北断面



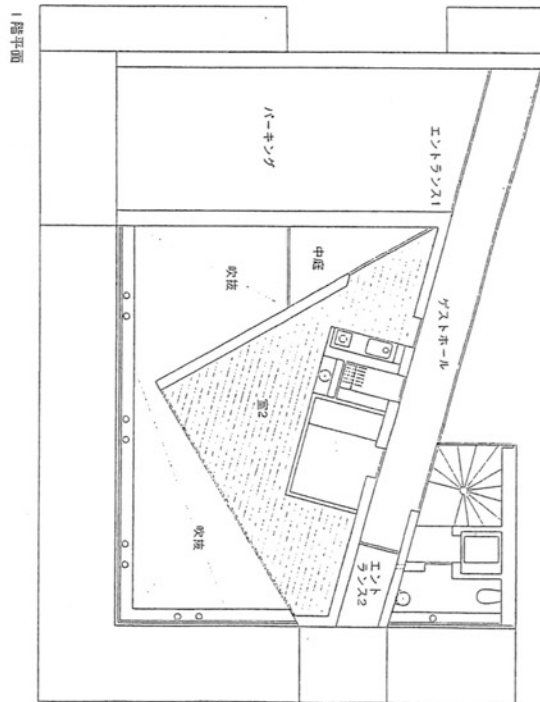
2階平面



3階平面



地階平面



1階平面

154

B (ビー)  
青木淳  
9910

層数

4

各階を性格づける特徴

天井高

下中1V

平面の大きさ

下

エントランス

中1

下階と地面

地下

上階と屋根

—

建蔽率

43

構成類型

類型外

第3章 室の配列による空間の大きさの比較表現  
(全78作品)

## 凡例

### ・室の種類

○：内部 △：機能部 □：外部 ◎：室群

### ・室配列の種類

分：分割 包：包含 接：接続 散：分散

註) 包含は貫入の室配列も含む

### ・室配列における反復の方向

1:1 方向 2:2 方向 r: 放射方向 m: 多方向

註) \*：反復の方向が断面方向に表れるもの

\*\*：反復の方向が平面断面両方向に表れるもの

### ・パラメータとコンスタントになる尺度の種類

W:Width 幅 D:Depth 奥行き H:Height 高さ

註) 構成単位が反復する方向に対して平行する長さを奥行き、直行する長さを幅とする。連続的に変化するものは”を、不連続に変化するものは～を付して表す

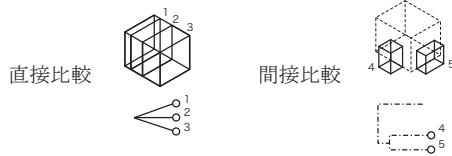
### ・パラメータとコンスタントのセットの分節

[ / ] 階層によるセットの分節

[ , ] 同一階層におけるセットの分節

[ | ] 比較可能でないセットの分節

### ・直接比較と間接比較



註) 間接比較を表す階層図において、主となる室群を上端に、従属する室群を下端に表記する。

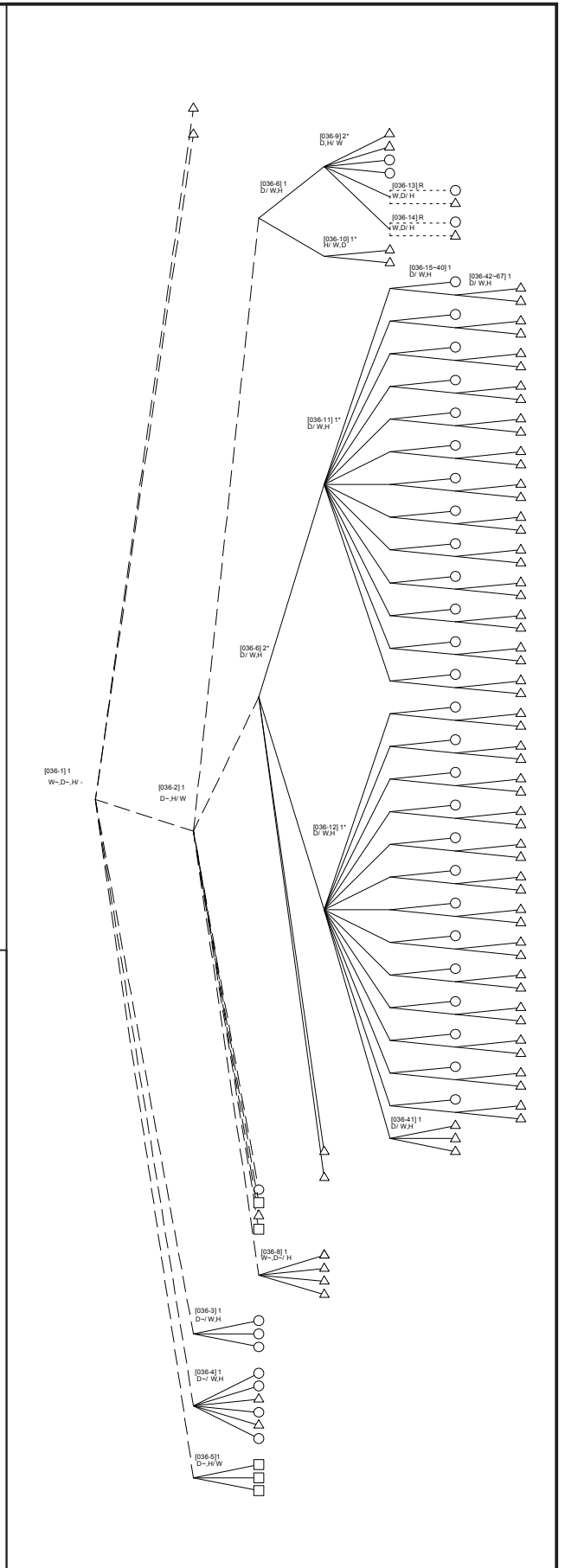
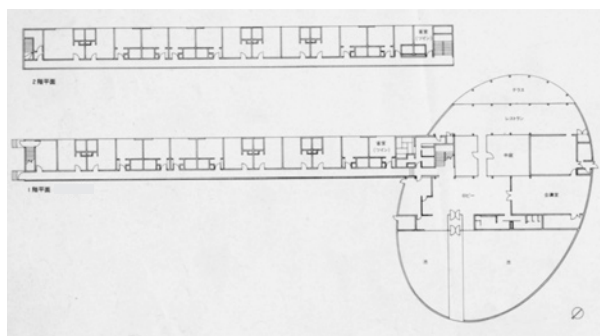
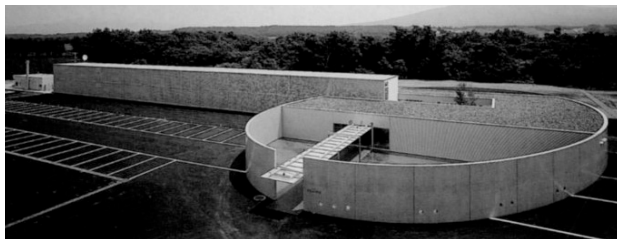
写真

平面図

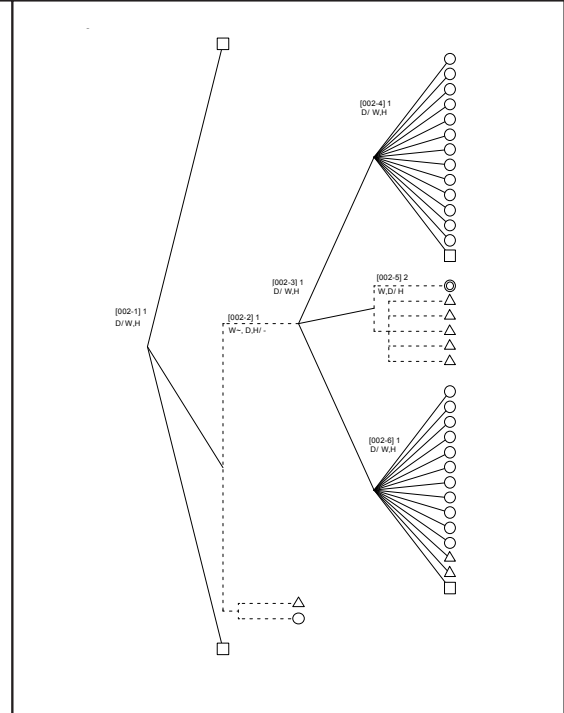
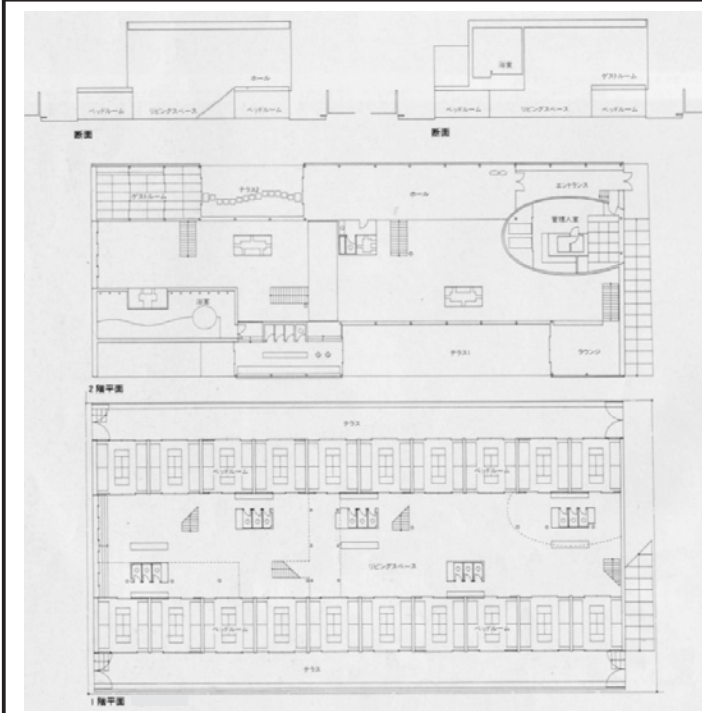
断面図

階層図

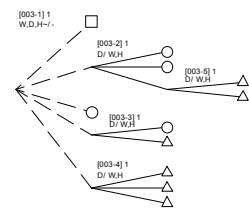
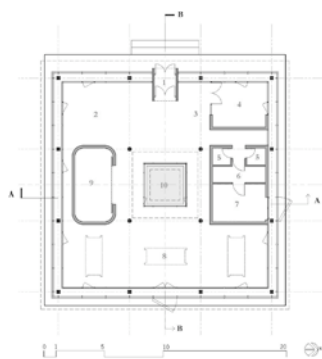
作品番号	セット数	室数	パラメータの種類及びその階層	
			1段階 / 2段階 / 3段階	構成類型
作品名				
建築家名				
掲載誌				



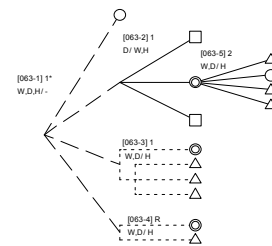
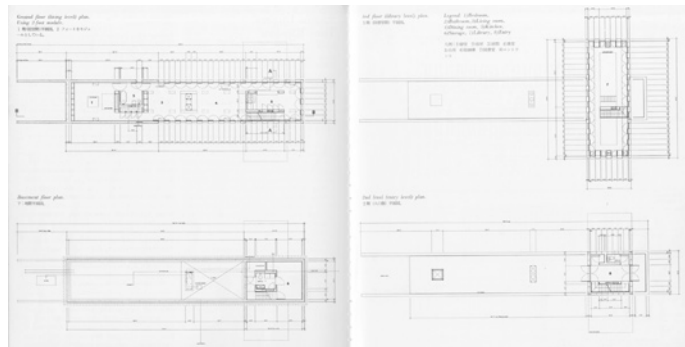
<b>1</b> HOTEL P 伊東豊雄 新建築 /9209	セット数 67	室数 115	パラメータの種類及びその階層 1 段階 / 2 段階 / 3 段階	構成類型 直接部分階層型 (接続 / 分割)
			接 1WDH / 接 1DH, 分 1D, 分 1D, 分 1DH / 分 1WD, 分 1D, 分 2*D	



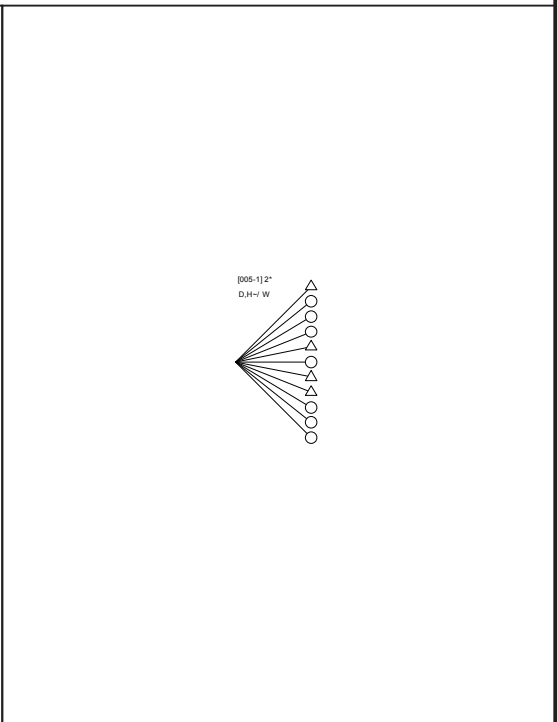
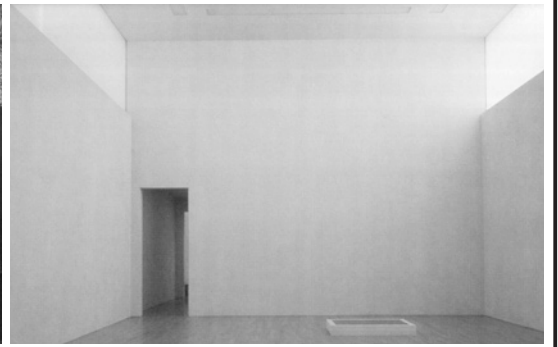
2 再春館製菓女子寮 妹島和世 新建築/9110	セット数 6	室数 38	パラメータの種類及びその階層 1段階 / 2段階 / 3段階	構成類型 直接 - 部分間接 階層型 (分割)
			分1D / 包1WH / 分1D	



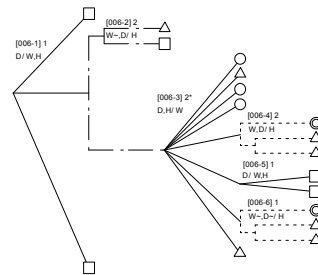
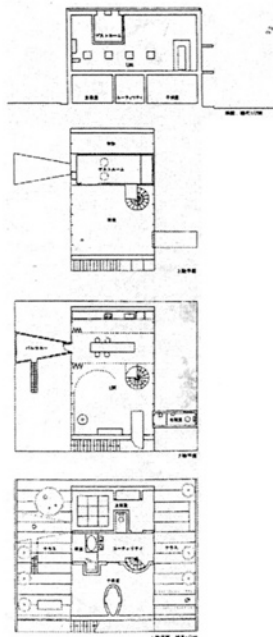
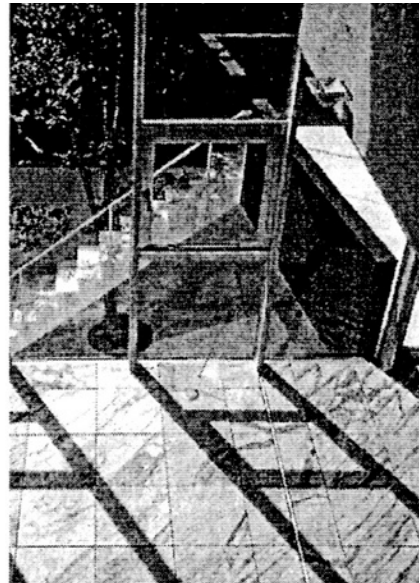
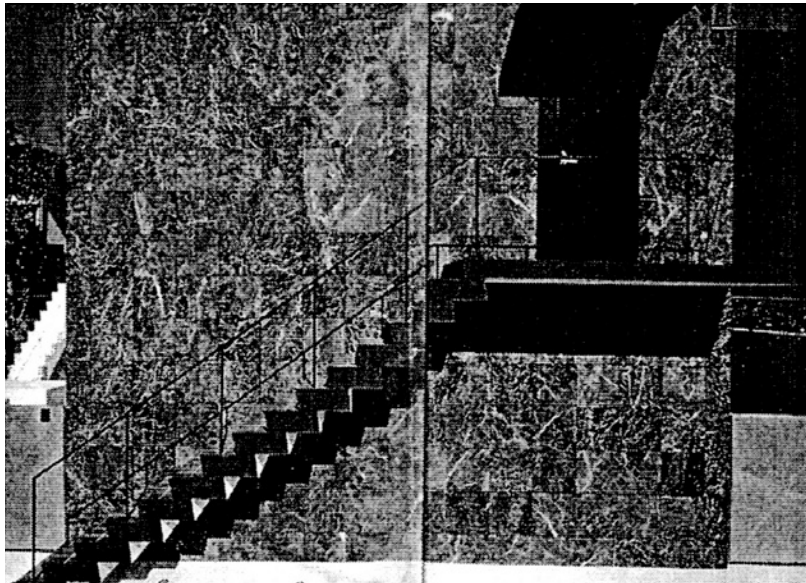
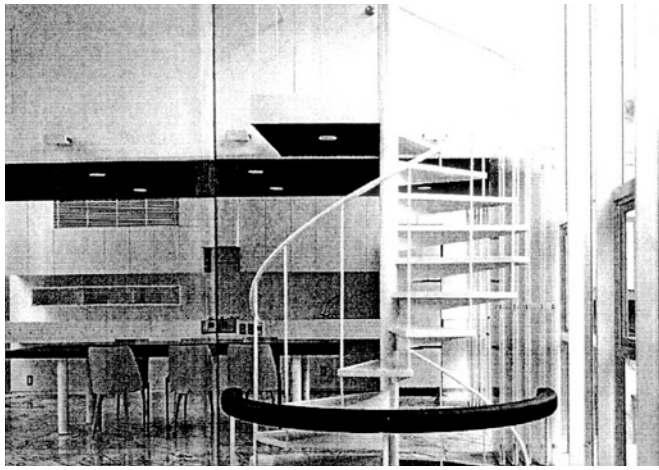
<b>3</b> Visitors centre Doyle Architects Architectural Review/9304	セット数 5	室数 11	パラメータの種類及びその階層 1 段階 / 2 段階 / 3 段階	構成類型 直接部分階層型 (接続 / 分割)
			接 1WDH / 分 1D, 分 1D, 分 1D / 分 1D	



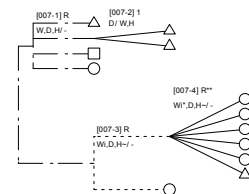
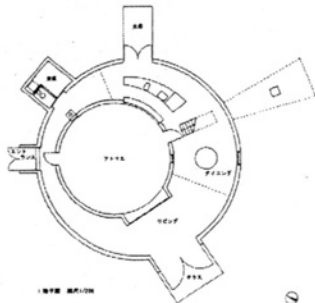
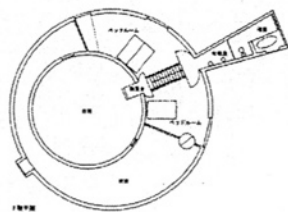
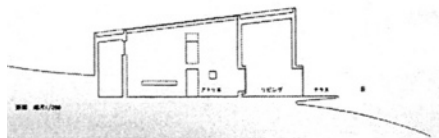
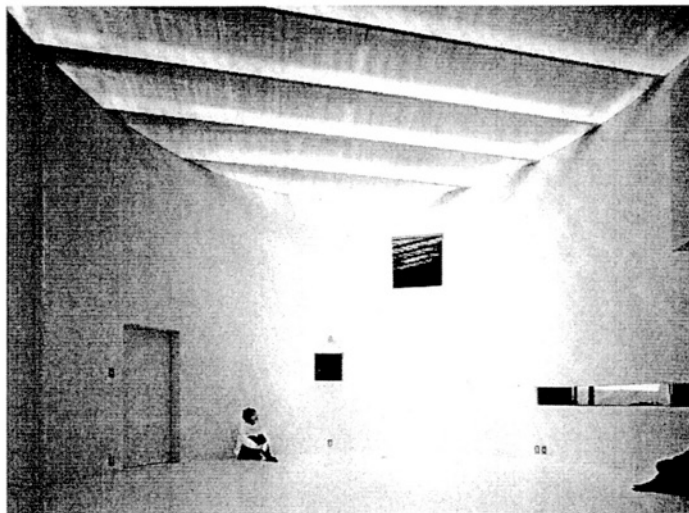
<p>4</p> <p>T-House</p> <p>Simon Ungers, Tom Kinslow</p> <p>a+u/9307</p>	セット数	室数	パラメータの種類及びその階層	構成類型
	5	13	1 段階 / 2 段階 / 3 段階	
			接 1*WDH / 分 1D, 包 rWD, 包 rWD / 分 2WD	直接 - 部分間接 階層型 (接続)



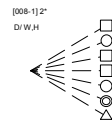
<p>5</p> <p>Goetz art gallery</p> <p>Herzog &amp; de Meuron</p> <p>Architectural Review/9402</p>	<p>セット数</p> <p>1</p>	<p>室数</p> <p>11</p>	<p>パラメータの種類及びその階層</p> <p>1段階 / 2段階 / 3段階</p>	<p>構成類型</p> <p>直接型 (分割)</p>
			<p>分2*DH</p>	



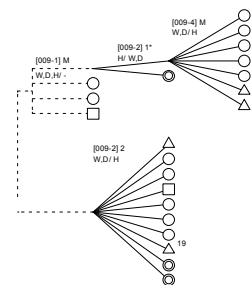
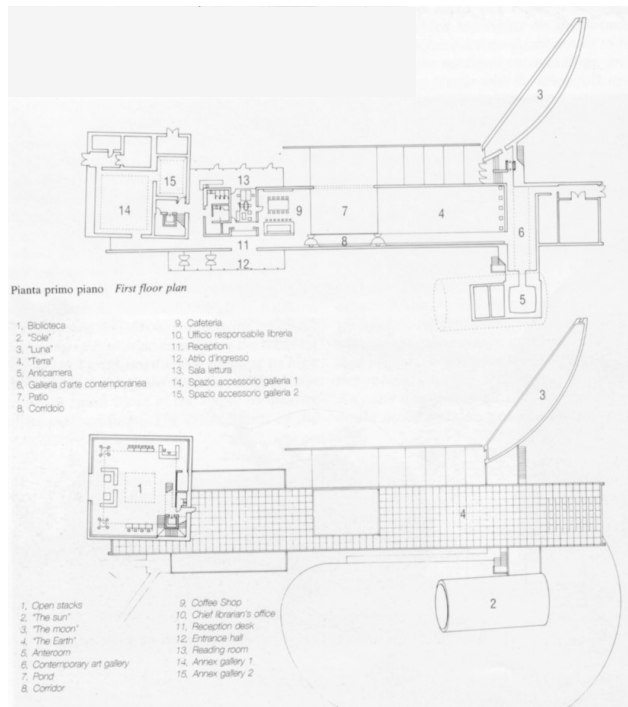
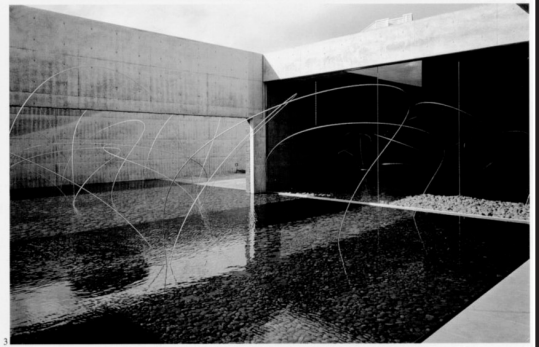
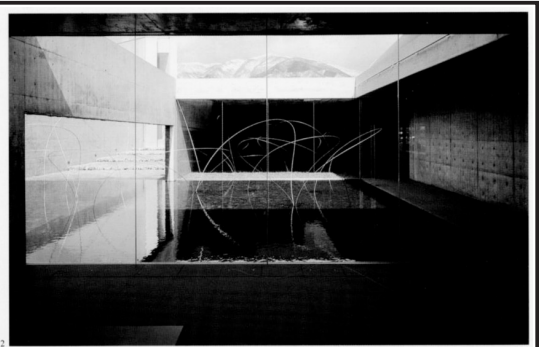
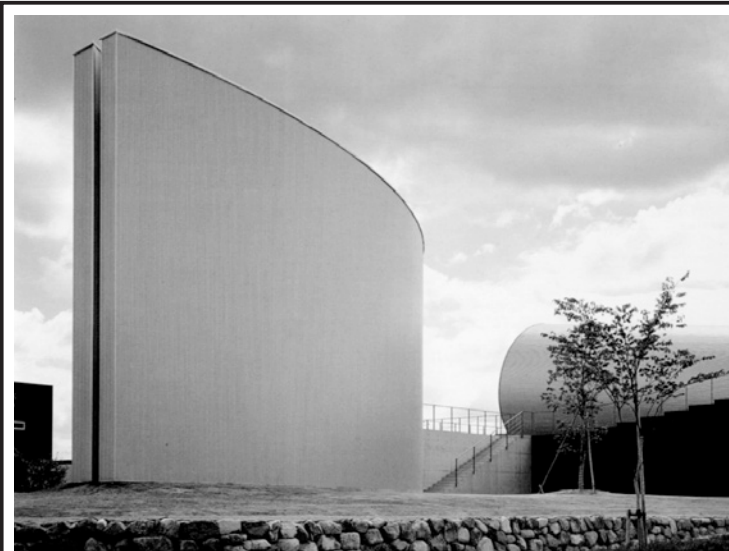
6 Y-HOUSE 妹島和世 住宅特集 / 9405	セット数 6	室数 17	パラメータの種類及びその階層	構成類型 直接 - 部分間接 階層型 (分割)
			1 段階 / 2 段階 / 3 段階 分 1D / 散 2WD / 分 2*DH	



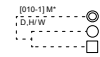
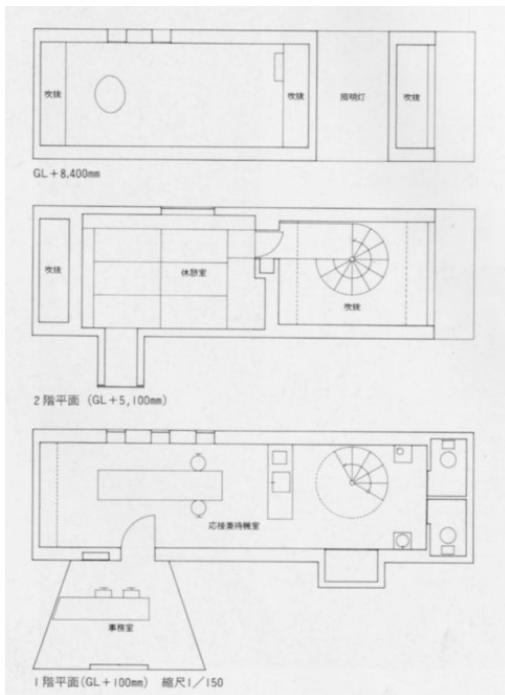
7 森の別荘 妹島和世 住宅特集 / 9405	セット数 4	室数 12	パラメータの種類及びその階層	構成類型 間接階層型 (分散 / 包含)
			1 段階 / 2 段階 / 3 段階 散 rWDH / 分 1D, 包 rWDH / 分 r**WDH	



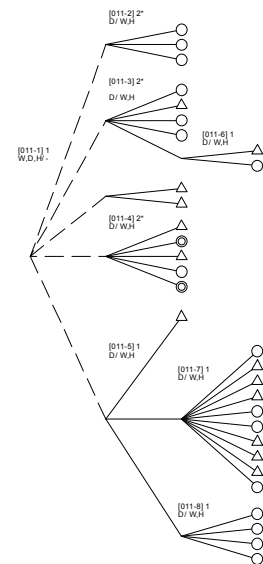
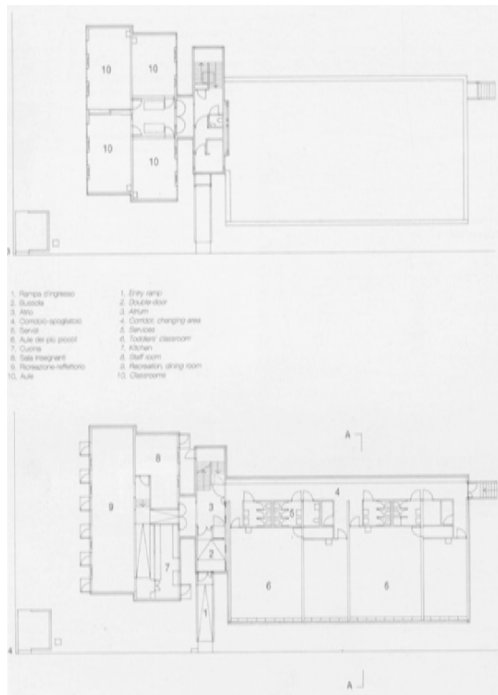
8 富士裾野の住宅 石田敏明 Architectural Review/9405	セット数 1	室数 7	パラメータの種類及びその階層 1段階 / 2段階 / 3段階	構成類型
			接 2*D	直接型 (接続)



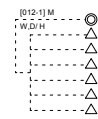
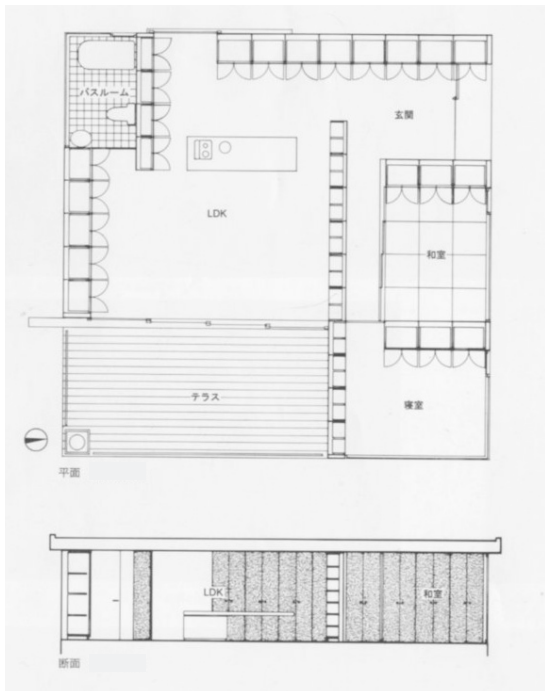
9 Museum of Contemporary Art at Nagi 磯崎新 Domus/9502	セット数 4	室数 21	パラメータの種類及びその階層 1段階 / 2段階 / 3段階	構成類型 間接 - 直接階層型 (分散)
			散 mWDH / 分 1*H, 分 2WD / 分 mWD	



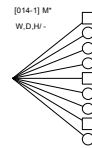
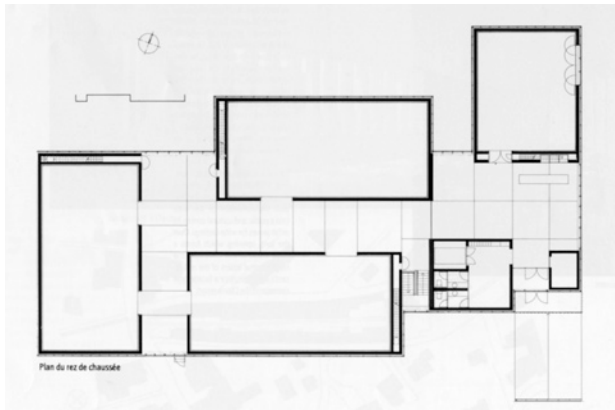
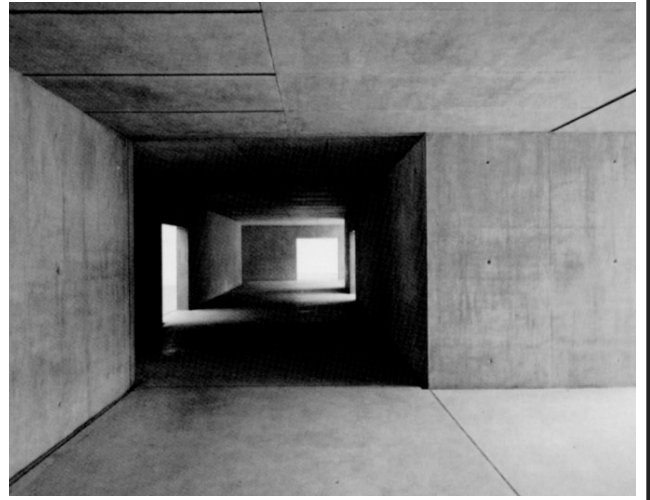
10 調布駅北口交番 妹島和世 新建築 / 9503	セット数	室数	パラメータの種類及びその階層	構成類型
			1 段階 / 2 段階 / 3 段階	
	1	3	包 M*DH	間接型 (包含)



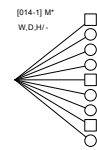
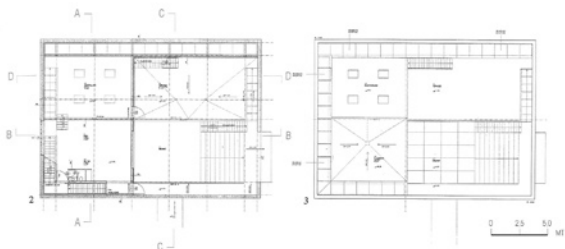
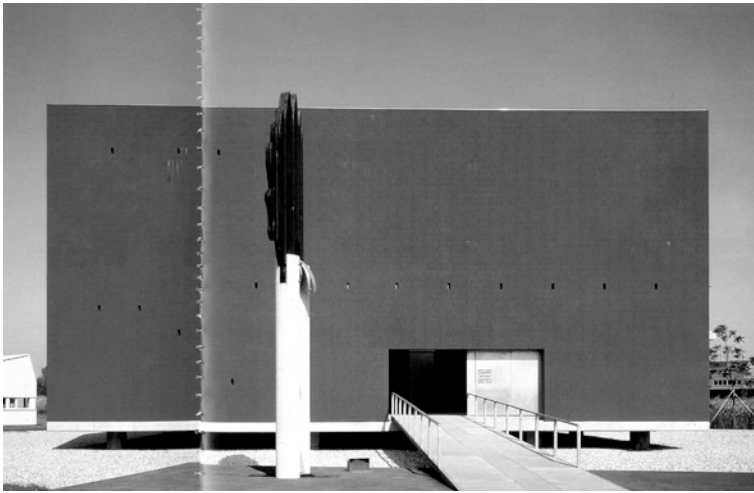
<b>11</b> Nursery School Neue Welt in Vienna Adolf Krischanitz Domus/9504	セット数 9	室数 31	パラメータの種類及びその階層 1段階 / 2段階 / 3段階	構成類型 直接全体階層型 (接続 / 分割)
			接 1WDH / 分 2*D, 分 2*D, 分 1*H, 分 2*D, 分 1D / 分 1D, 分 1D, 分 1D	



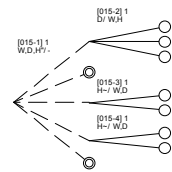
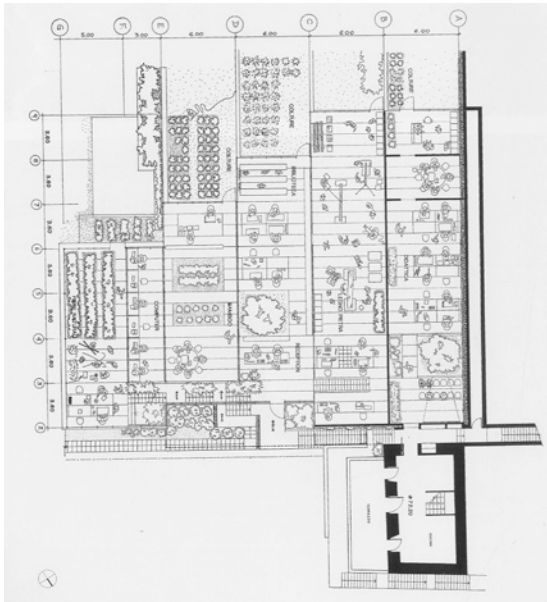
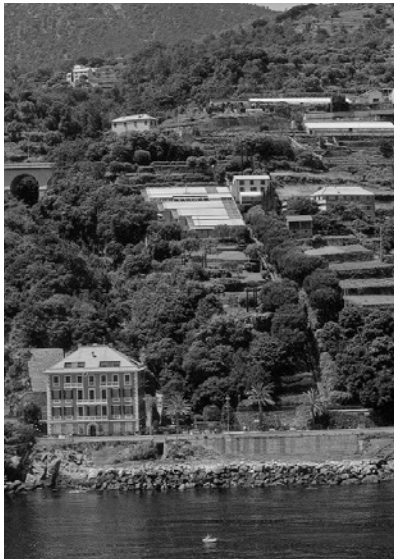
12 家具の家 坂茂 住宅特集 / 9506	セット数 1	室数 7	パラメータの種類及びその階層	構成類型 間接型 (包含)
			1 段階 / 2 段階 / 3 段階 包 rWD	



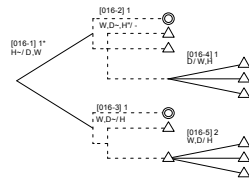
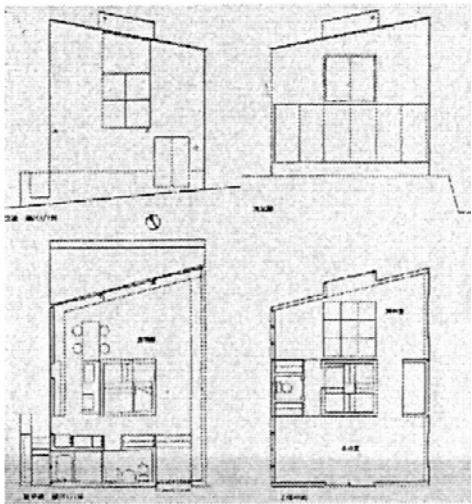
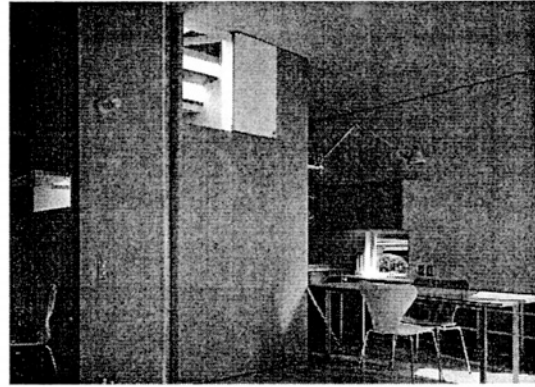
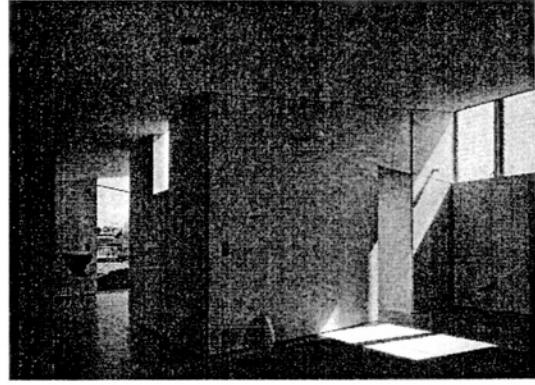
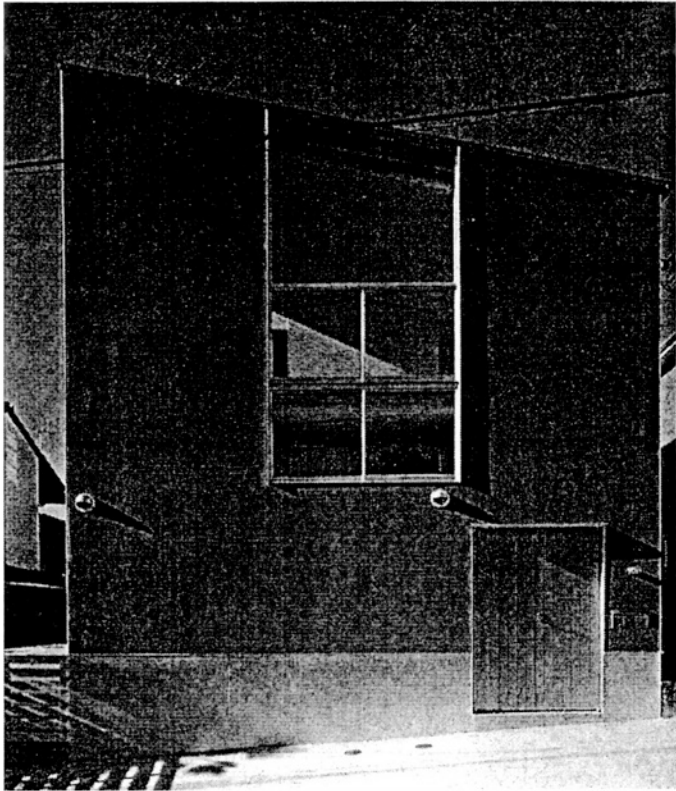
<p>13</p> <p>Museum Kirchner a Davos</p> <p>Gigon &amp; Guyer</p> <p>L'Architecture d' Aujourd'hui/9506</p>	<p>セット数</p>	<p>室数</p>	<p>パラメータの種類及びその階層</p>	<p>構成類型</p>
			<p>1 段階 / 2 段階 / 3 段階</p>	<p>間接階層型 (包含 / 包含)</p>
	<p>3</p>	<p>10</p>	<p>包 mWD / 包 1WD / 分 2WD</p>	



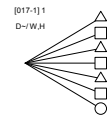
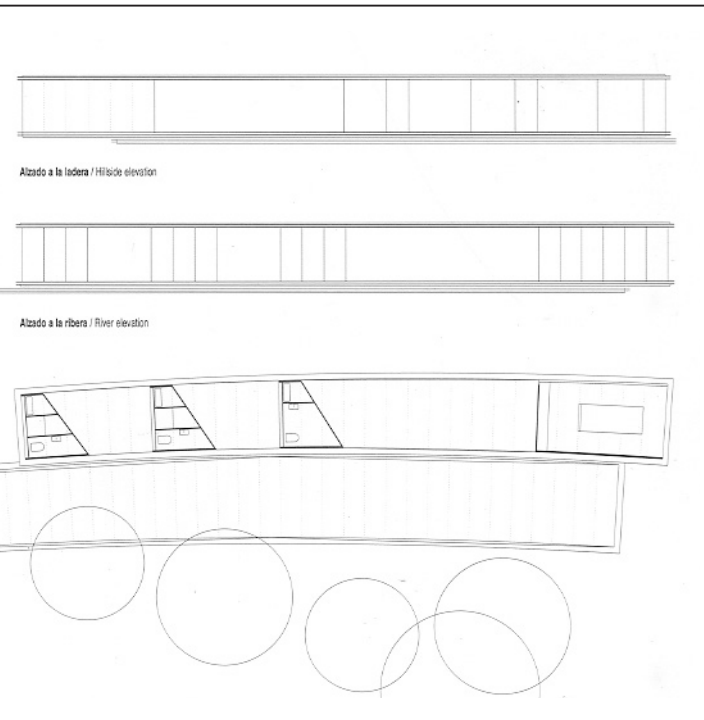
<p>14</p> <p>Europaisches Design Depot Klagenfurt Ortner &amp; Ortner Domus/9506</p>	<p>セット数</p> <p>1</p>	<p>室数</p> <p>9</p>	<p>パラメータの種類及びその階層</p> <p>1段階 / 2段階 / 3段階</p>	<p>構成類型</p> <p>直接型 (分割)</p>
			<p>分 m**WDH</p>	



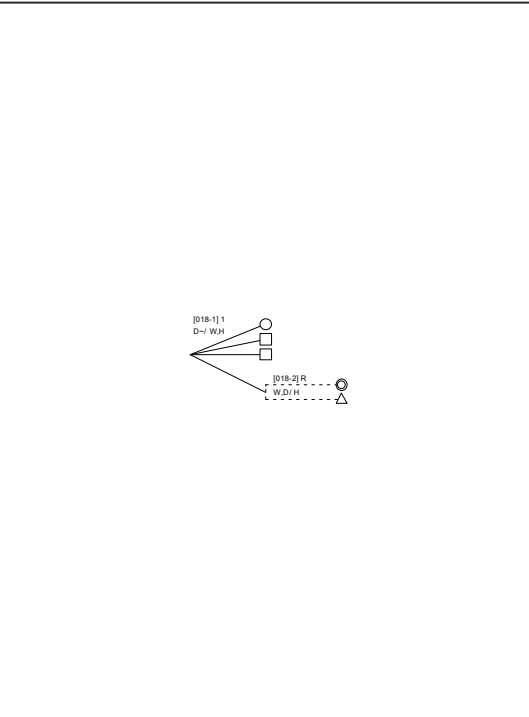
<p>15</p> <p>Laboratry - workshop, Vesima</p> <p>Renzo Piano</p> <p>Architectural Review/9509</p>	<p>セット数</p> <p>4</p>	<p>室数</p> <p>9</p>	<p>パラメータの種類及びその階層</p> <p>1 段階 / 2 段階 / 3 段階</p>	<p>構成類型</p>
			<p>接 1WDH / 分 1D, 分 1*H, 分 1*H</p>	<p>直接部分階層型 (接続 / 分割)</p>



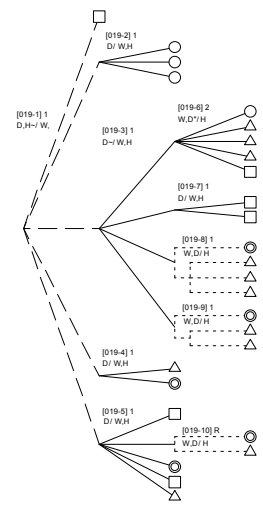
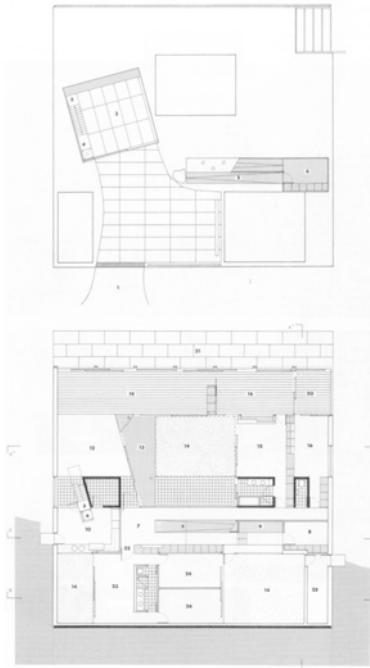
<p>16</p> <p>本町田の住宅 奥山信一・若松均 住宅特集 /9510</p>	<p>セット数</p> <p>5</p>	<p>室数</p> <p>11</p>	<p>パラメータの種類及びその階層</p> <p>1 段階 / 2 段階 / 3 段階</p>	<p>構成類型</p> <p>直接 - 全体間接 階層型 (分割)</p>
			<p>分 1*H / 包 rWDH, 包 rWD / 分 1D, 分 2WD</p>	



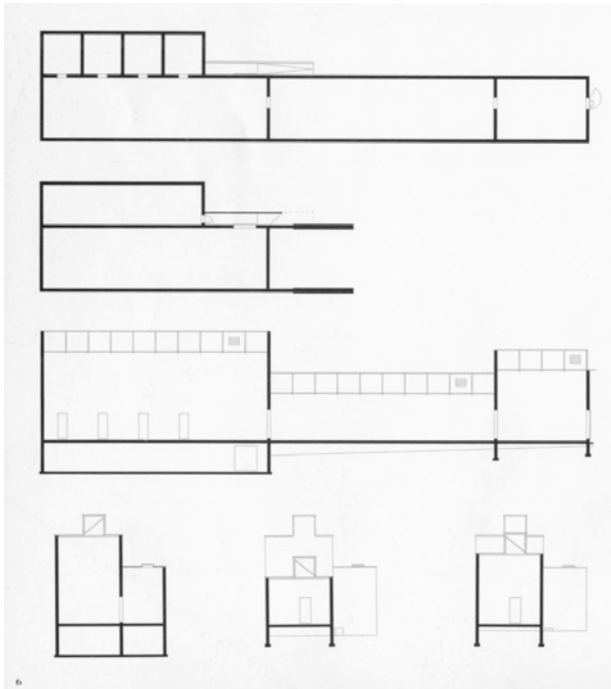
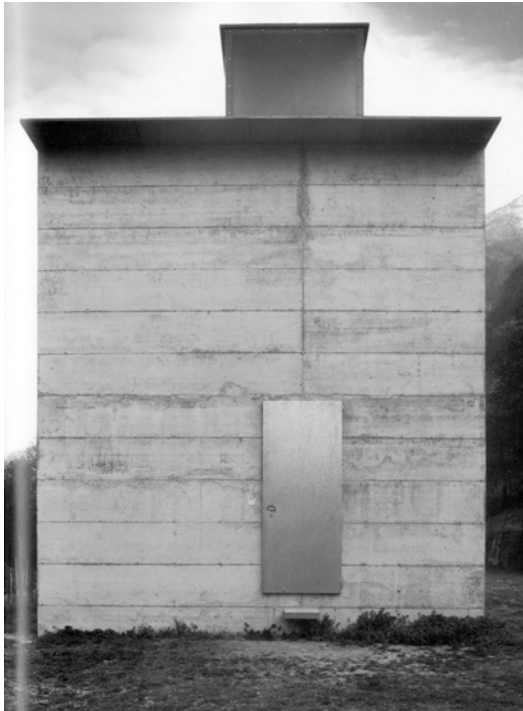
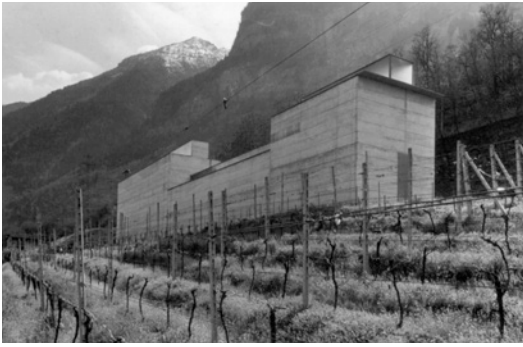
17 BATHING PAVILION RCR ARCHITECTES El croquis 96/97	セット数 5	室数 11	パラメータの種類及びその階層	構成類型
			1段階 / 2段階 / 3段階	直接 - 全体間接 階層型 (分割)
			分1*H / 包 rWDH, 包 rWD / 分1D, 分2WD	



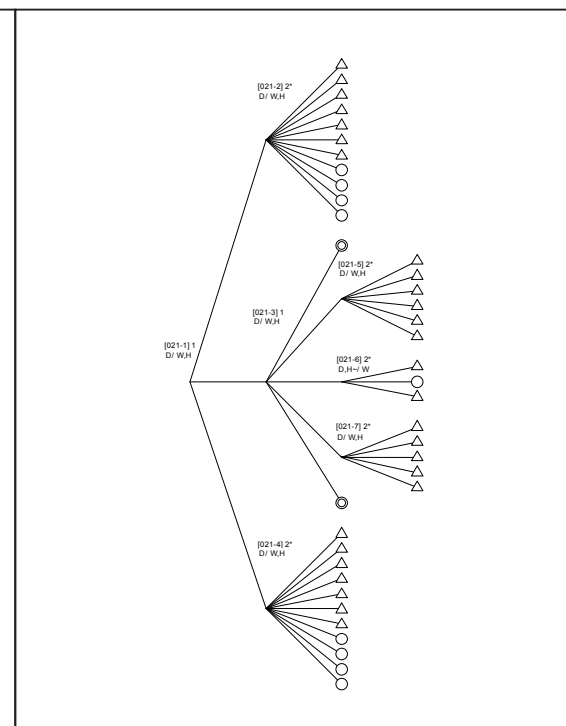
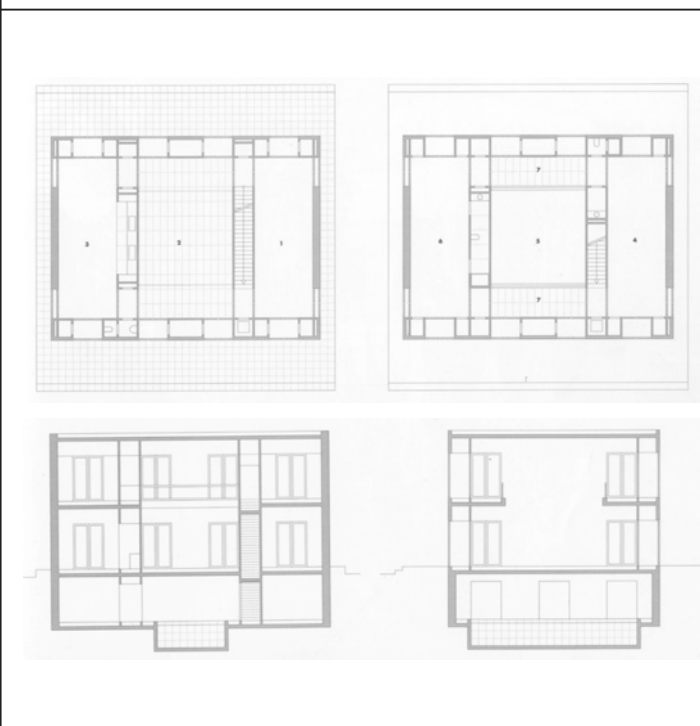
<p>18</p> <p>Extension to the House in Kortrijk</p> <p>Stephane Beel</p> <p>a+u/9607</p>	<p>セット数</p> <p>2</p>	<p>室数</p> <p>5</p>	<p>パラメータの種類及びその階層</p> <p>1 段階 / 2 段階 / 3 段階</p>	<p>構成類型</p> <p>直接 - 部分間接 階層型 (分割)</p>
			<p>分 1D / 包 rWD</p>	



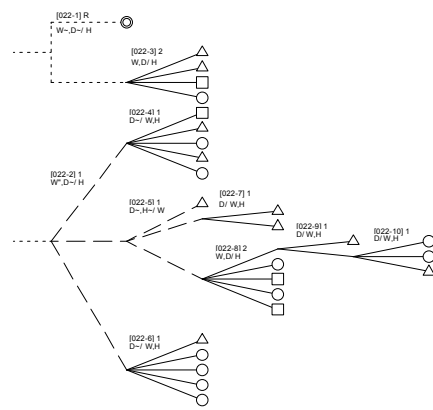
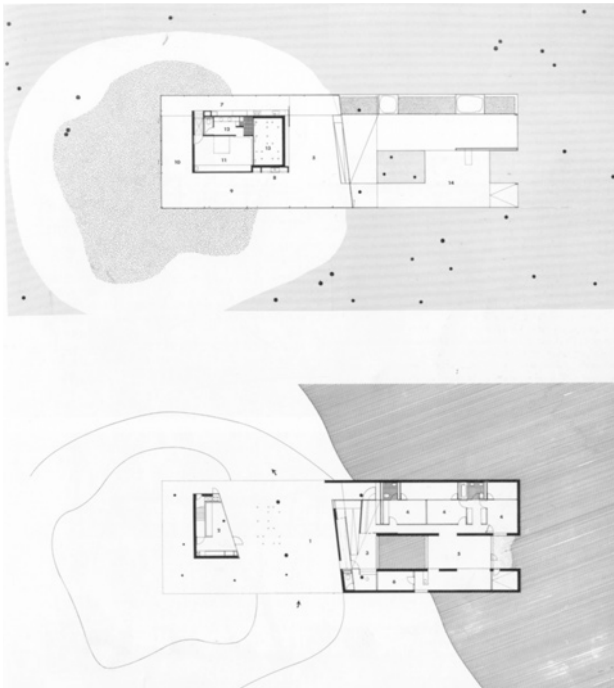
19 House near Antwerp Xaveer de Geyter a+u/9608	セット数 12	室数 26	パラメータの種類及びその階層 1 段階 / 2 段階 / 3 段階	構成類型
			接 1DH / 分 1D, 分 1D, 分 1D / 分 2WD, 分 1D, 包 1D, 包 1D, 包 rWD	類型外



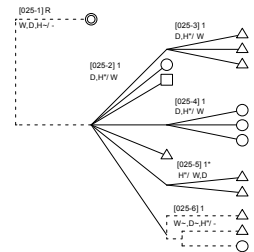
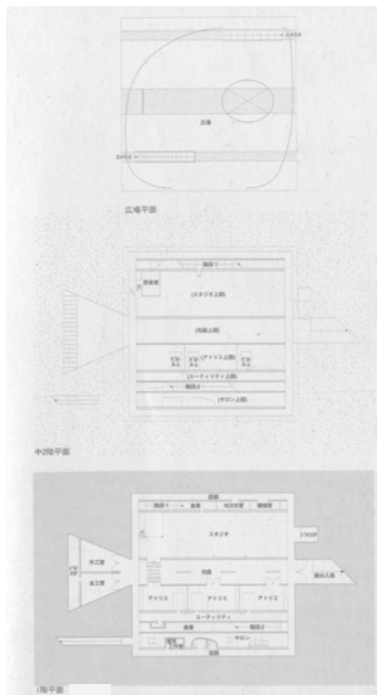
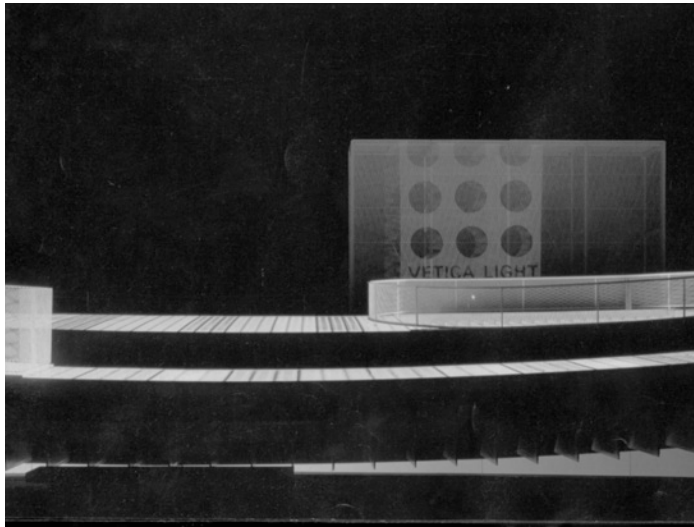
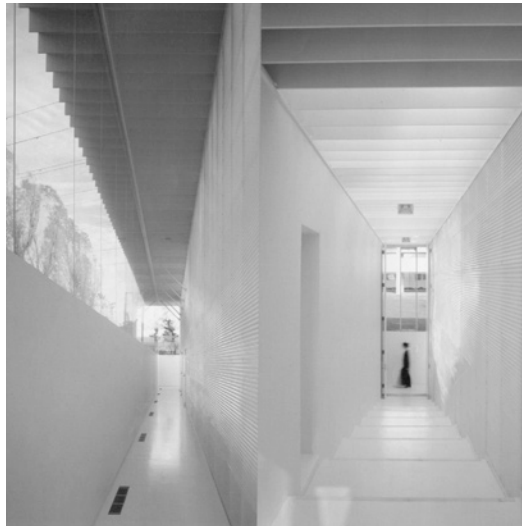
<p>20</p> <p>La Congiunta - House for Sculptures</p> <p>Peter Markli</p> <p>a+u/9611</p>	<p>セット数</p> <p>1</p>	<p>室数</p> <p>3</p>	<p>パラメータの種類及びその階層</p> <p>1 段階 / 2 段階 / 3 段階</p>	<p>構成類型</p>
			<p>接 1WDH / 分 1D, 分 1D, 分 1D / 分 1D</p>	<p>直接型 (接続)</p>



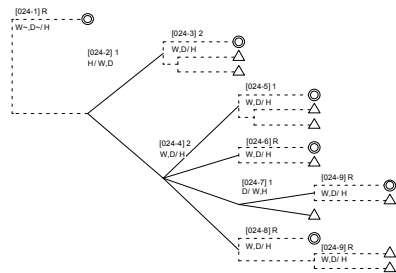
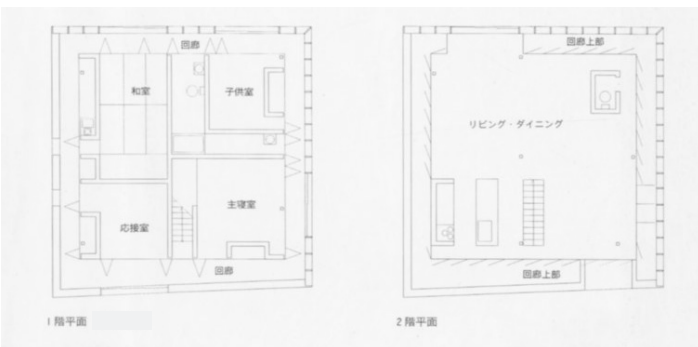
<p>21</p> <p>House Ungers</p> <p>Oswald Mathias Ungers</p> <p>a+u/9611</p>	<p>セット数</p> <p>7</p>	<p>室数</p> <p>38</p>	<p>パラメータの種類及びその階層</p> <p>1 段階 / 2 段階 / 3 段階</p>	<p>構成類型</p> <p>直接部分階層型 (分割 / 分割)</p>
			<p>分 1D / 分 1D, 分 2*D, 分 2*D / 分 2*D, 分 2*DH, 分 2*D</p>	



22 Dutch House OMA a+u/9611	セット数 10	室数 26	パラメータの種類及びその階層	構成類型
			1 段階 / 2 段階 / 3 段階	
			包 1WD / 分 2WD   接 1WD / 分 1D, 接 1DH, 分 1D / 分 1WD, 分 2WD	直接 + 間接併置型

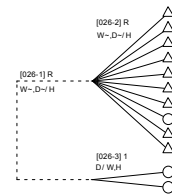
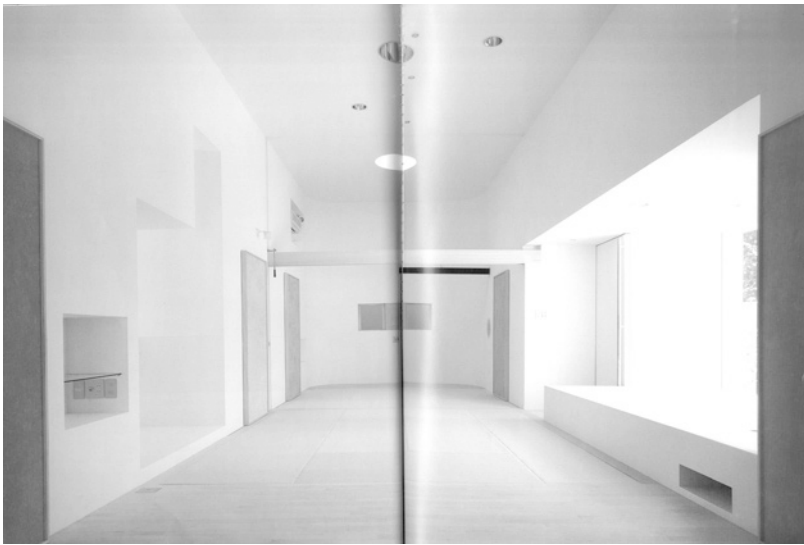
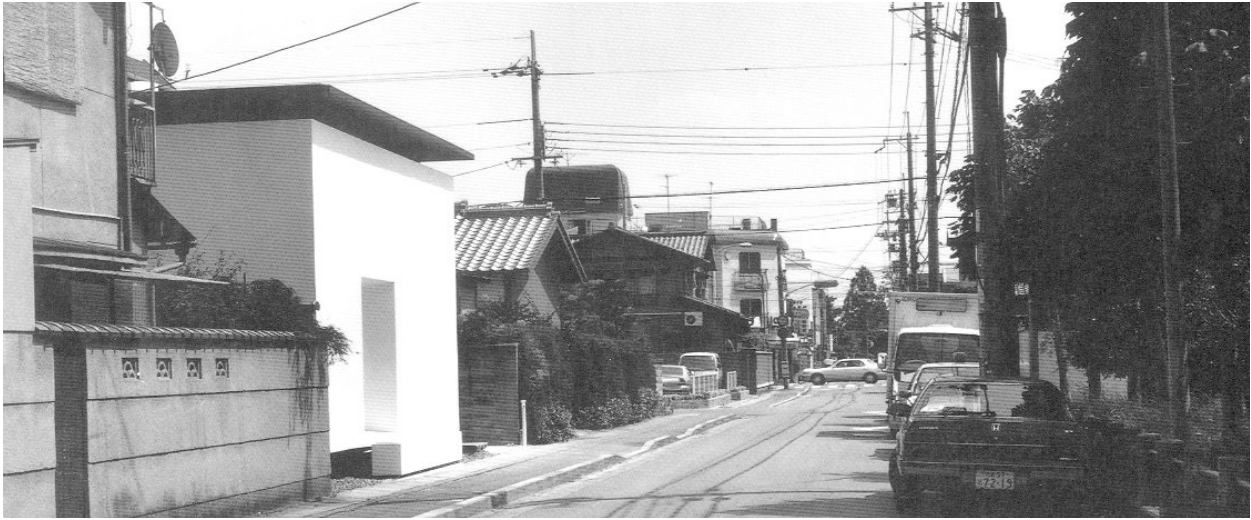


<p>23</p> <p>マルチメディア工房 妹島和世+西沢立衛 新建築 /9701</p>	<p>セット数</p> <p>6</p>	<p>室数</p> <p>15</p>	<p>パラメータの種類及びその階層</p> <p>1 段階 / 2 段階 / 3 段階</p>	<p>構成類型</p> <p>間接 - 直接階層型 (包含)</p>
			<p>包 rH / 分 1DH / 分 1DH, 分 1DH, 包 1WDH, 分 1*H</p>	

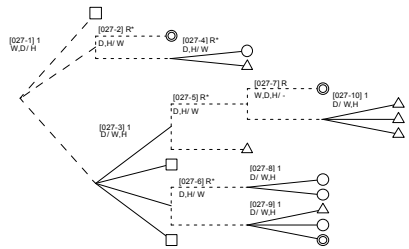
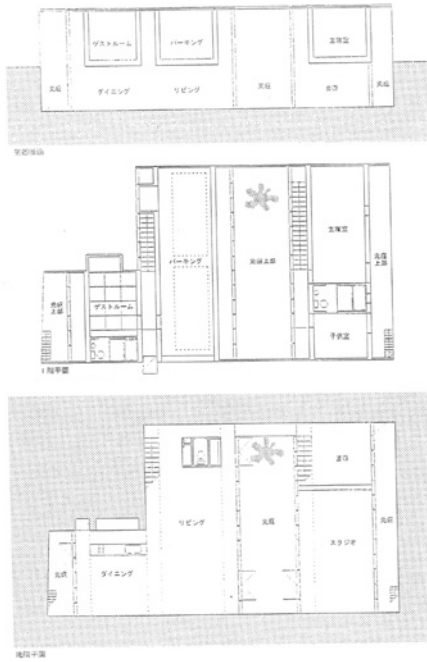


<p>24</p> <p>S-HOUSE</p> <p>妹島和世+西沢立衛</p> <p>住宅特集 /9702</p>	<p>セット数</p> <p>10</p>	<p>室数</p> <p>15</p>	<p>パラメータの種類及びその階層</p> <p>1段階 / 2段階 / 3段階</p>	<p>構成類型</p> <p>間接-直接階層型 (包含)</p>
			<p>包 1WD / 分 1*H / 包 2WD, 分 2WD</p>	

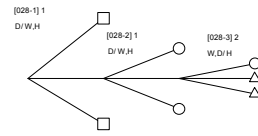
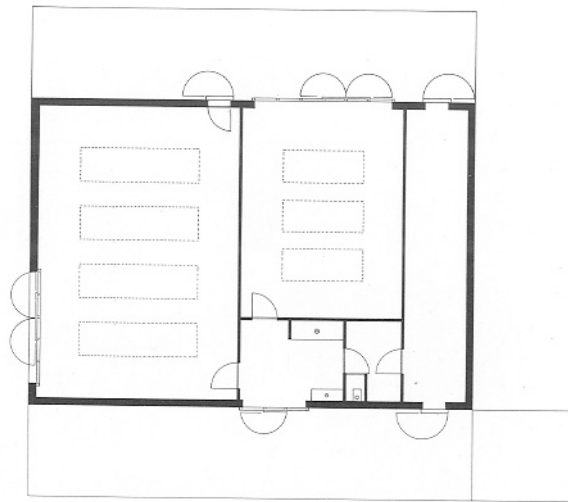




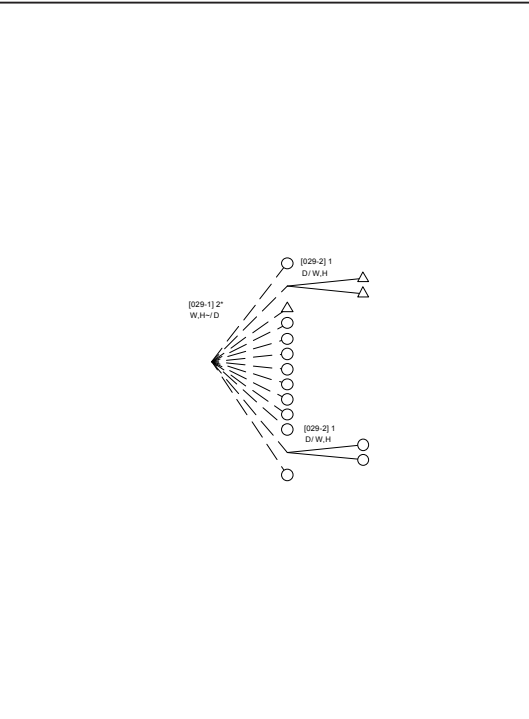
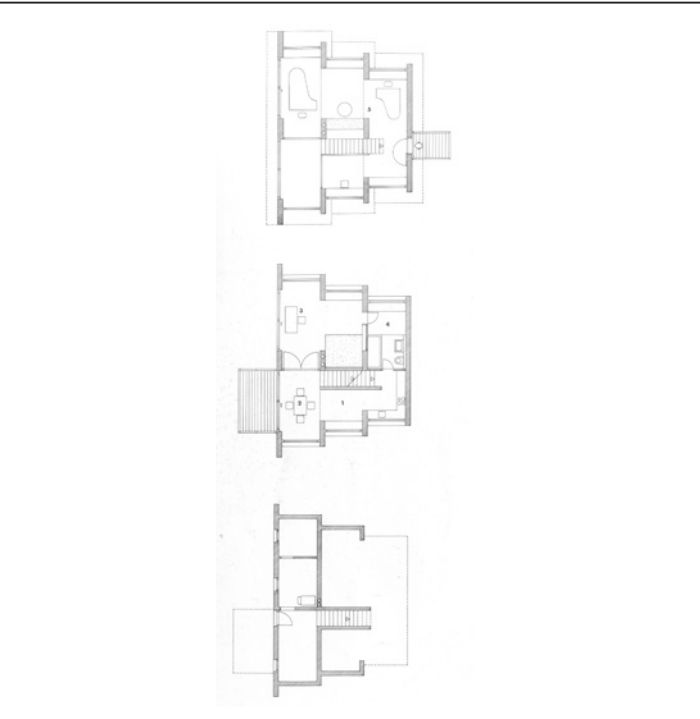
26 トウフ 玉置順 住宅特集 /9709	セット数 3	室数 12	パラメータの種類及びその階層 1段階 / 2段階 / 3段階	構成類型
			包 rWD / 分 rWD, 分 1D	間接 - 直接階層型 (包含)



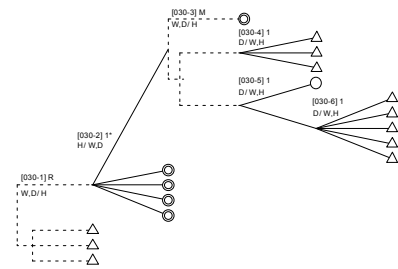
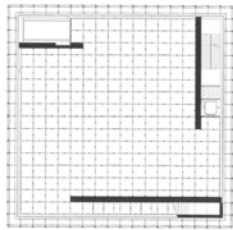
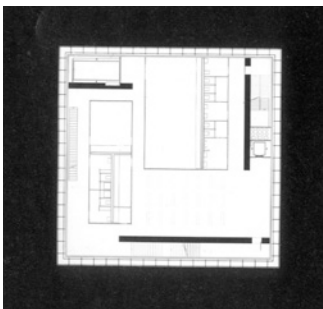
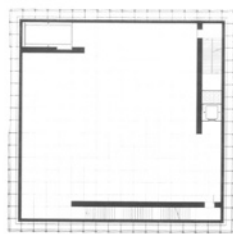
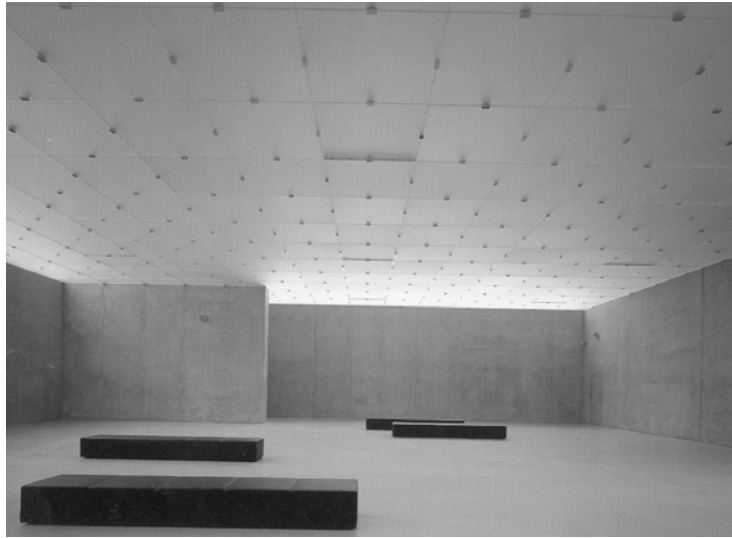
<p>27</p> <p>M-HOUSE</p> <p>妹島和世</p> <p>住宅特集 /9709</p>	<p>セット数</p> <p>10</p>	<p>室数</p> <p>16</p>	<p>パラメータの種類及びその階層</p> <p>1 段階 / 2 段階 / 3 段階</p>	<p>構成類型</p> <p>直接 - 部分間接 階層型 (接続)</p>
			<p>接 1WD / 包 r*DH, 分 1D / 包 r*DH, 包 r*DH, , 包 r*DH</p>	



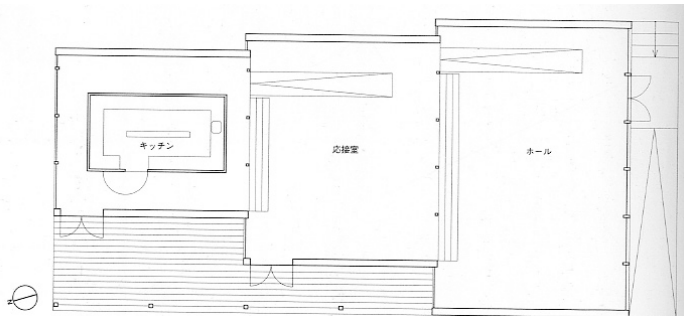
28 Studio Remy Zaugg Herzog & de Meuron a+u/9710	セット数 3	室数 7	パラメータの種類及びその階層	構成類型
			1 段階 / 2 段階 / 3 段階	
			分 1D / 分 1D / 分 2WD	直接部分階層型 (分割 / 分割)



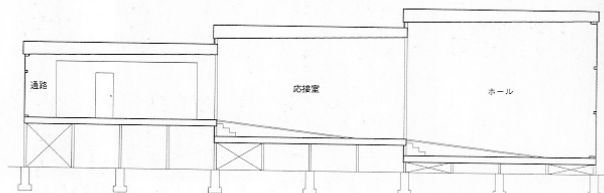
<p>29</p> <p>House for Musician and Composer Margarethe Heubacher a+u/9711</p>	<p>セット数</p> <p>3</p>	<p>室数</p> <p>15</p>	<p>パラメータの種類及びその階層</p> <p>1段階 / 2段階 / 3段階</p>	<p>構成類型</p>
			<p>接 2*WH / 分 1D, 分 1D</p>	<p>直接部分階層型 ( 接続 / 分割 )</p>



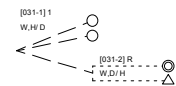
30 Art museum, Bregenz Peter Zumthor Architectural Review/9712	セット数 6	室数 17	パラメータの種類及びその階層	構成類型
			1 段階 / 2 段階 / 3 段階	
			包 rWD / 分 1*H / 包 mWD	間接 - 直接階層型 (包含)



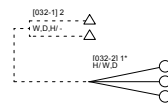
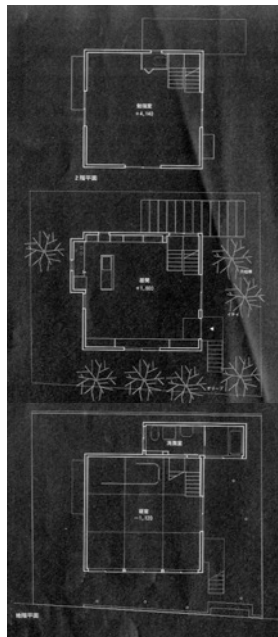
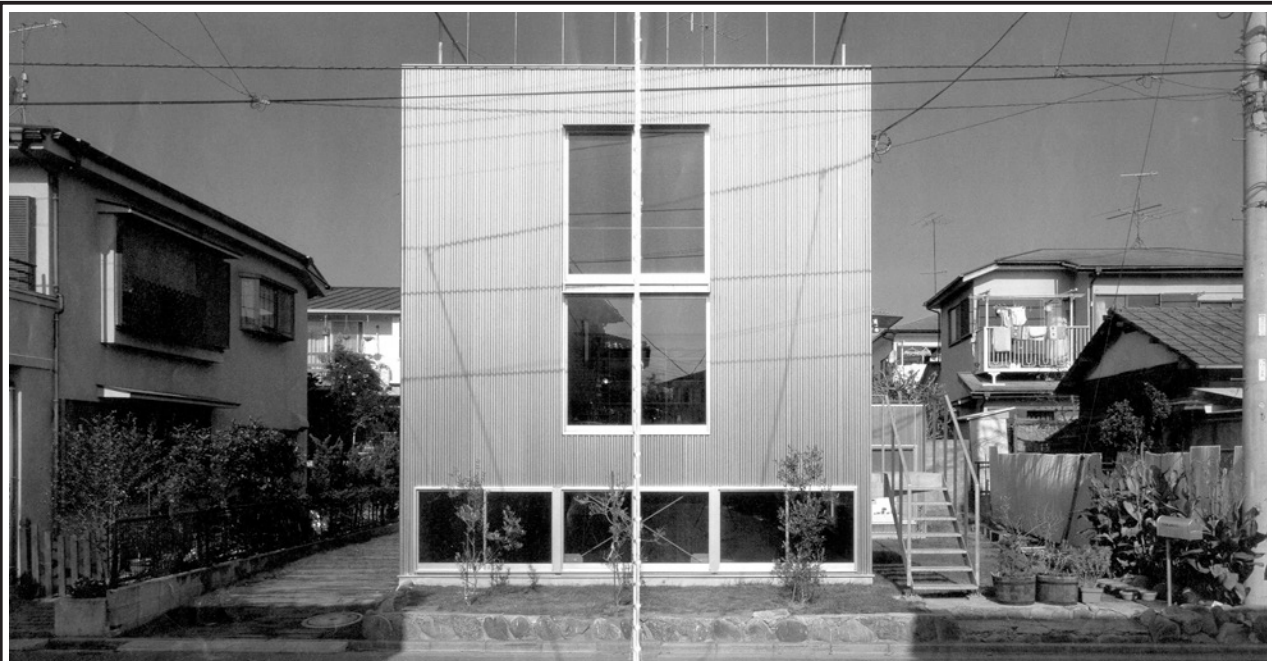
平面 縮尺



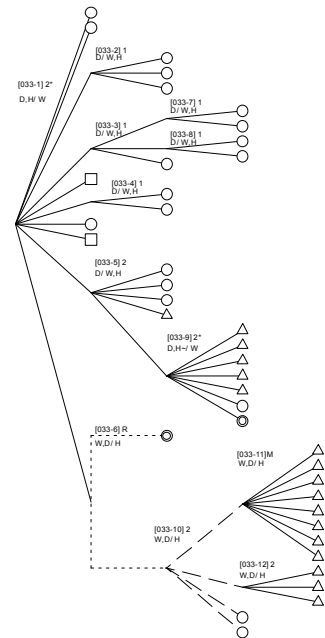
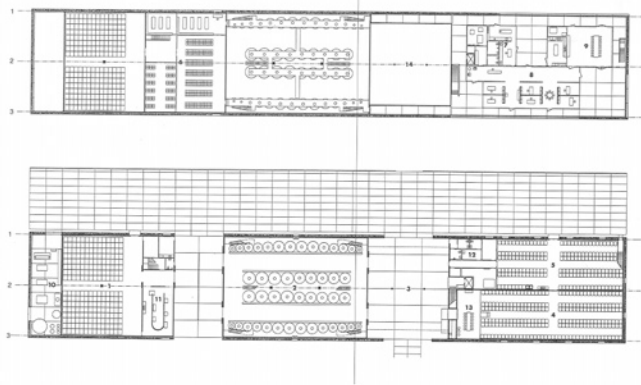
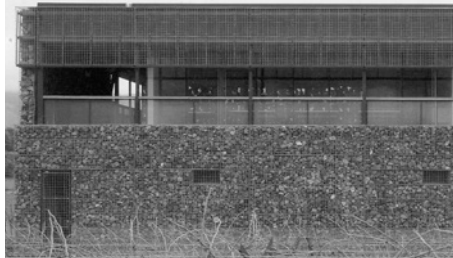
断面 縮尺



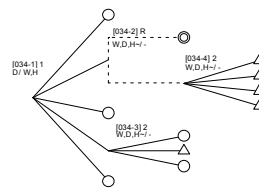
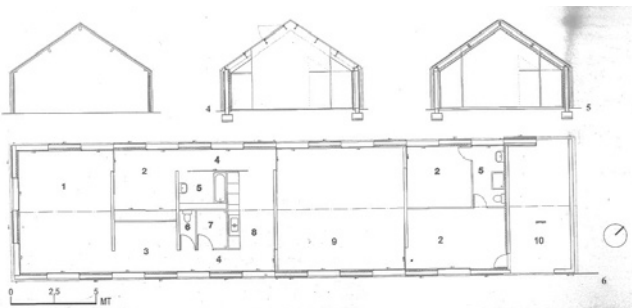
31 オーストリアハウス カウフマン96+ロート美恵 新建築/9802	セット数 2	室数 4	パラメータの種類及びその階層	構成類型
			1段階 / 2段階 / 3段階	直接-部分間接 階層型(接続)
			接 1WH / 包 rWD	



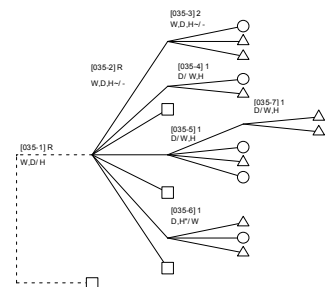
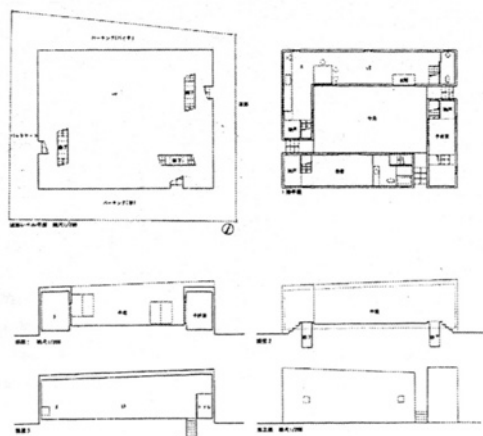
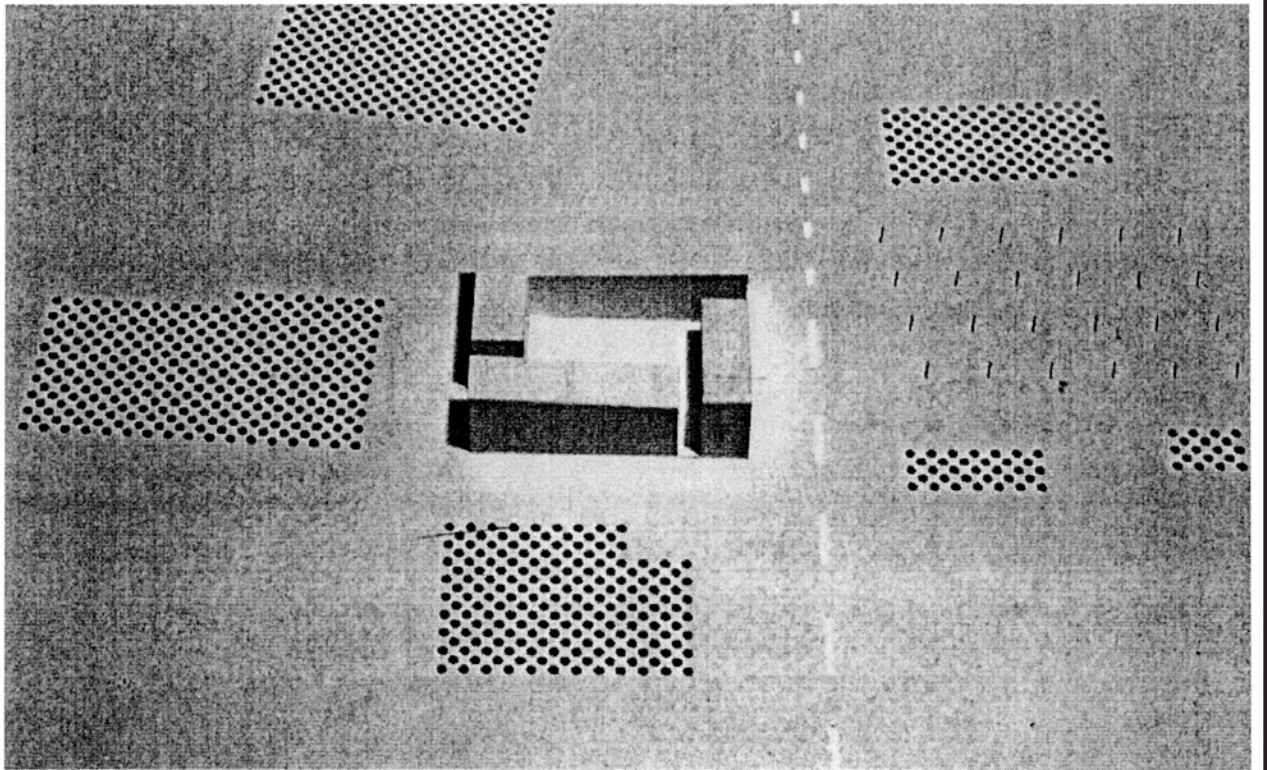
32 アニハウス アトリエ・ワン 住宅特集 /9802	セット数 2	室数 5	パラメータの種類及びその階層 1段階 / 2段階 / 3段階	構成類型
			散2WDH / 分1*H	間接 - 直接 階層型 (分散)



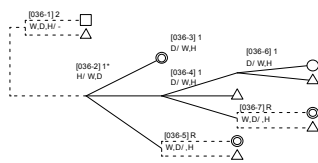
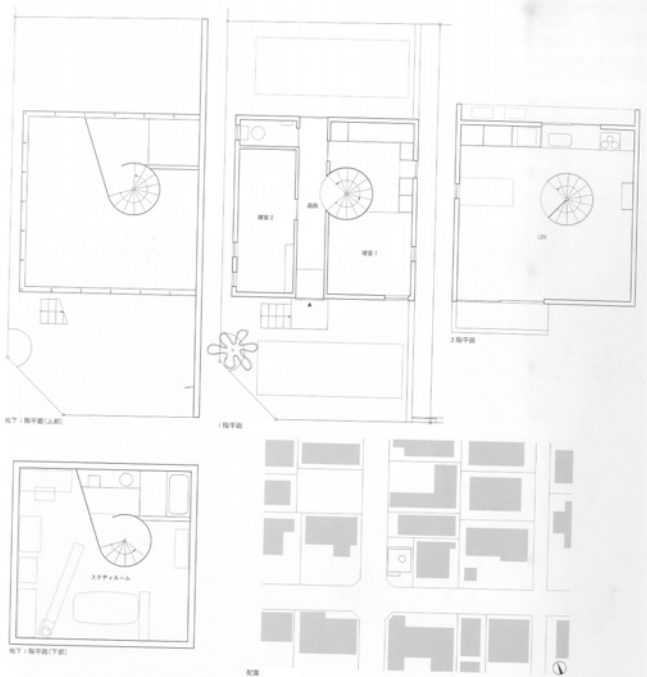
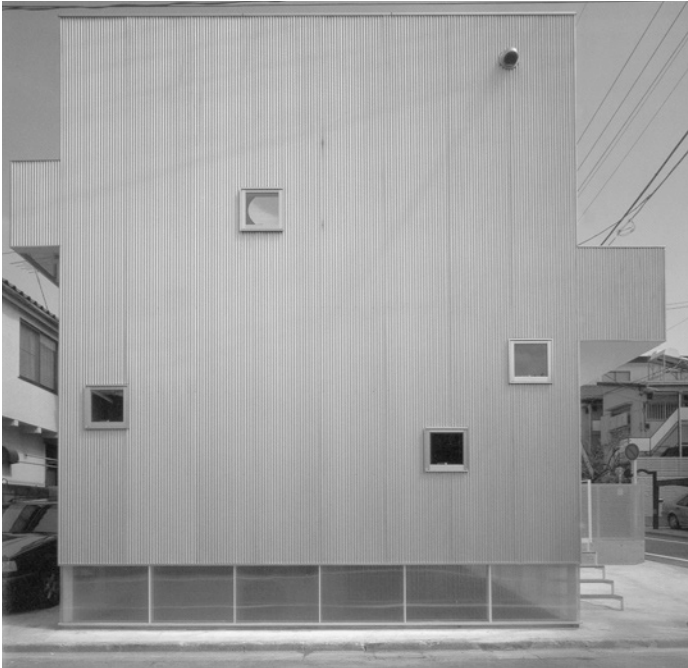
33 Dominus Winery Herzog & de Meuron a+u/9804	セット数 10	室数 40	パラメータの種類及びその階層	構成類型 直接 - 部分間接 階層型 (分割)
			1 段階 / 2 段階 / 3 段階 分 2*DH / 分 1D, 分 1D, 分 1D, 分 2D, 包 rWD / 分 1D, 分 1D, 分 2*DH, 接 2WD	



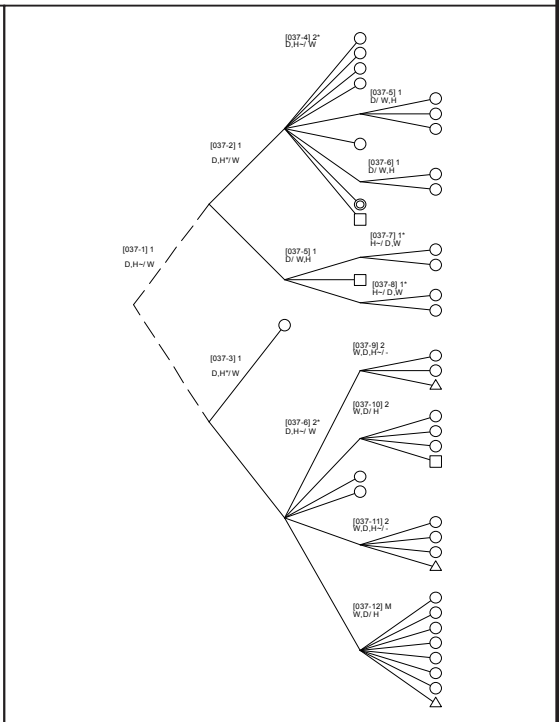
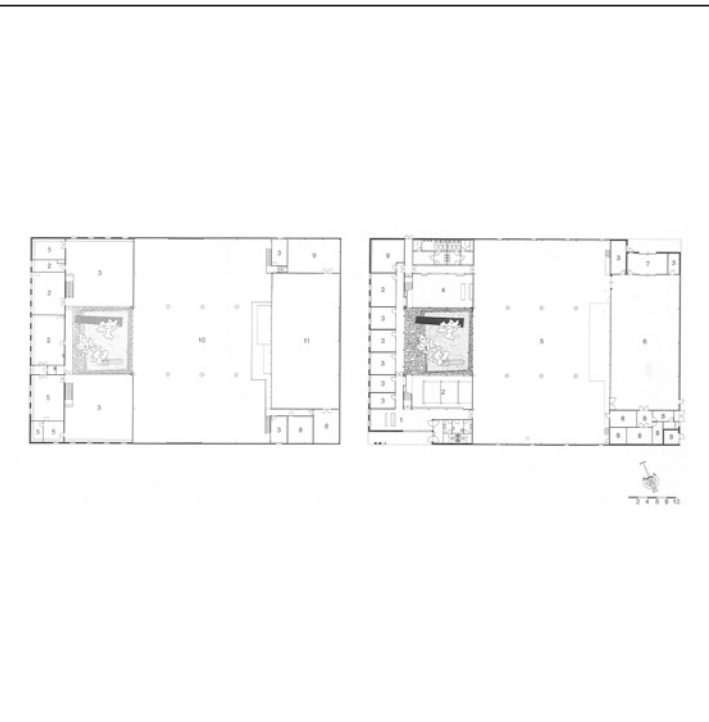
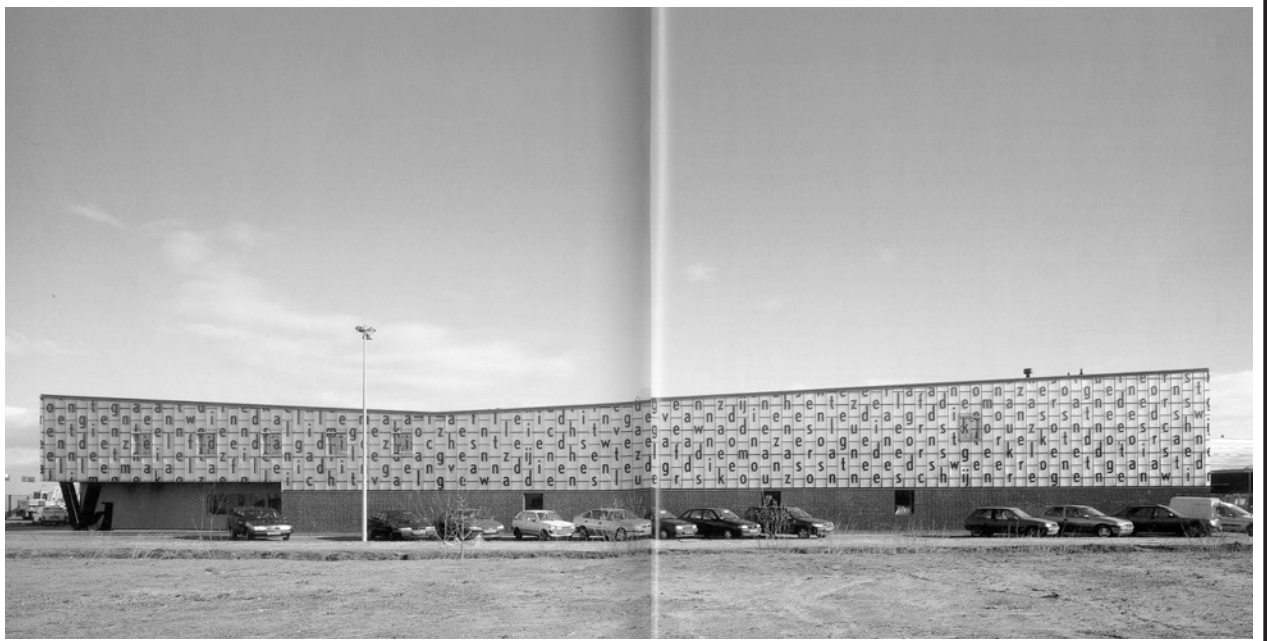
<b>34</b> One-family house Lacaton & Vassal Domus/9804	セット数 4	室数 11	パラメータの種類及びその階層 1段階 / 2段階 / 3段階	構成類型 直接 - 部分間接 階層型 (分割)
			分1D / 包rWDH, 分2WDH / 分2WDH	



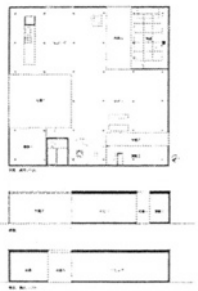
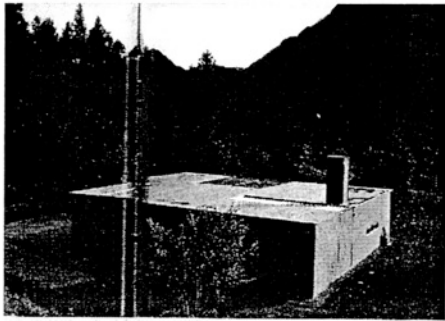
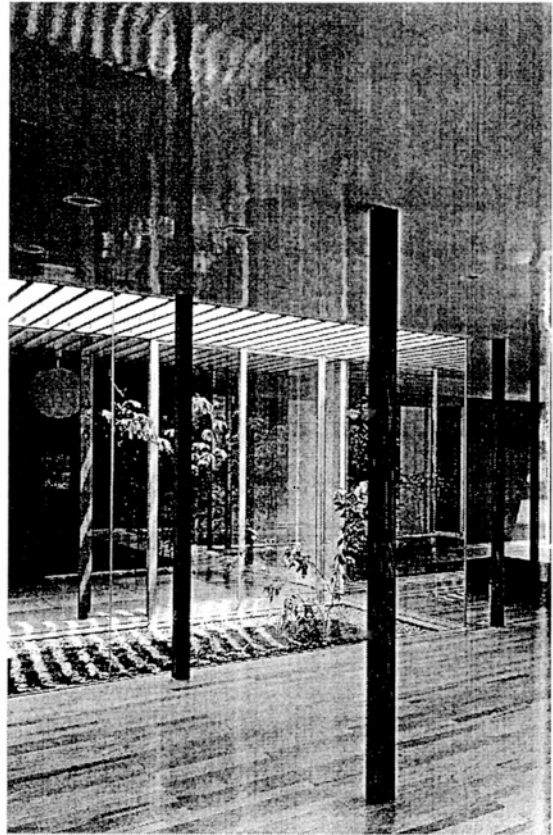
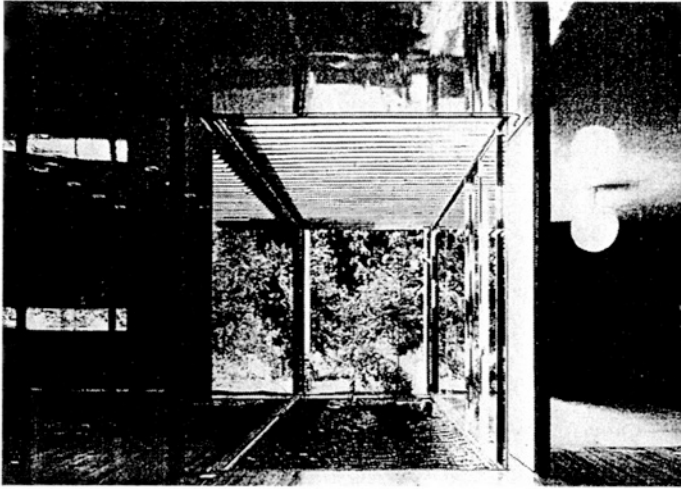
<p>35</p> <p>熊谷のハウス</p> <p>西沢大良</p> <p>住宅特集 /9804</p>	<p>セット数</p> <p>7</p>	<p>室数</p> <p>17</p>	<p>パラメータの種類及びその階層</p> <p>1段階 / 2段階 / 3段階</p>	<p>構成類型</p>
			<p>包 rWD / 分 rWDH / 分 2WDH, 分 1D, 分 1D, 分 1DH</p>	<p>間接 - 直接階層型 (包含)</p>



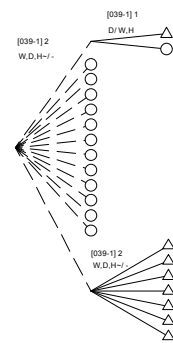
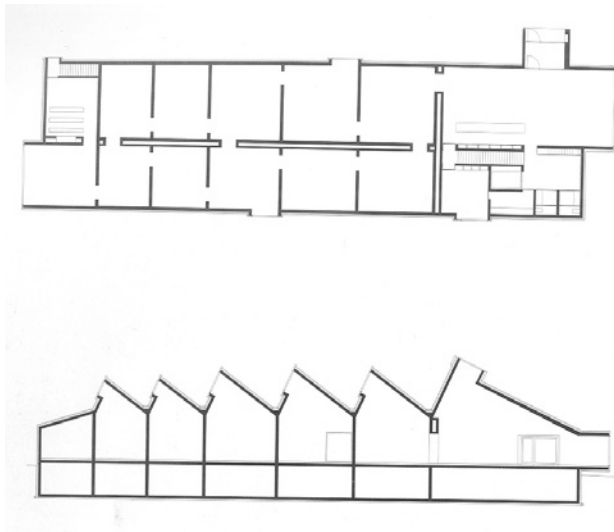
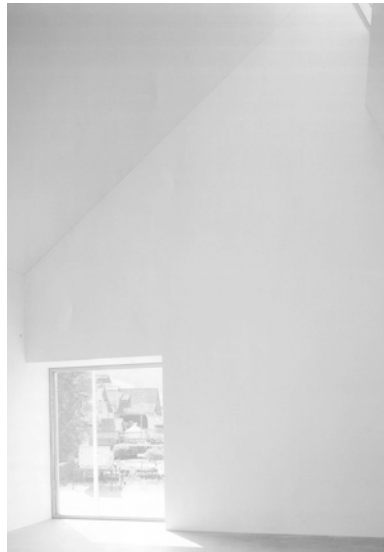
36 梅が丘の住宅 佐藤光彦 住宅特集 / 9806	セット数 7	室数 9	パラメータの種類及びその階層 1 段階 / 2 段階 / 3 段階	構成類型
			散 2WDH / 分 1*H / 分 1D, 分 1D, 包 rWD	間接 - 直接階層型 (分散)



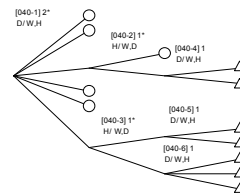
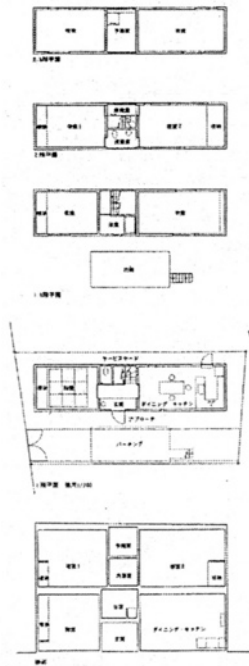
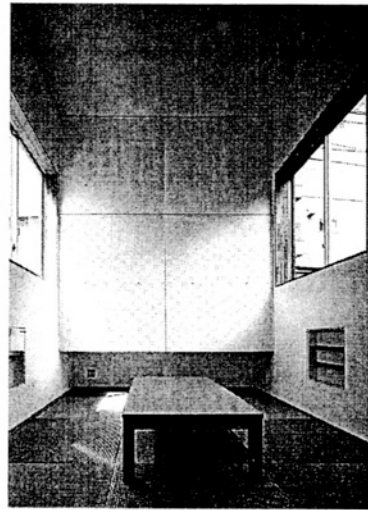
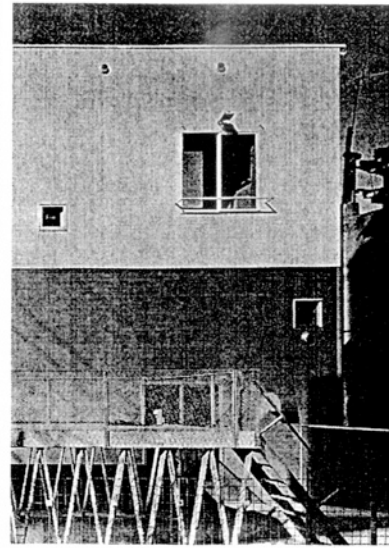
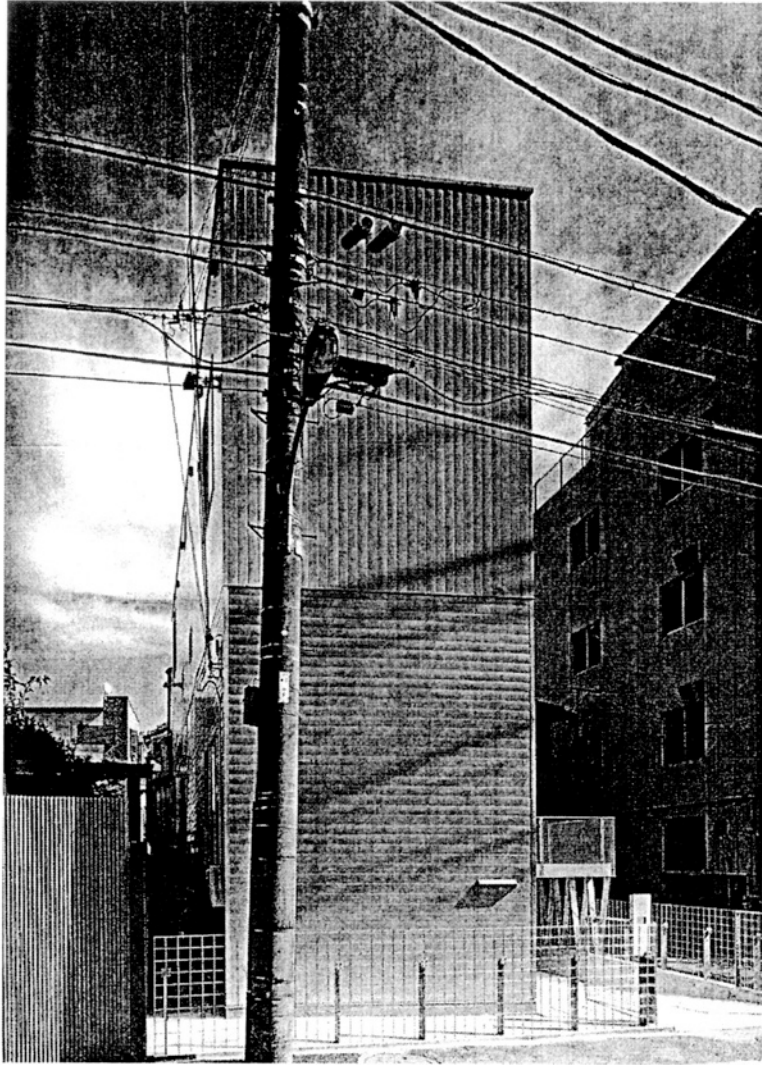
<b>37</b> New Building for Veenman Printers Neutelings Riedij a+u/9809	セット数 14	室数 48	パラメータの種類及びその階層 1 段階 / 2 段階 / 3 段階	構成類型 直接全体階層型
			接 1DH / 分 1DH, 分 1DH / 分 2*DH, 分 1D, 分 2*DH	



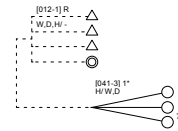
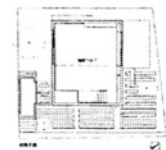
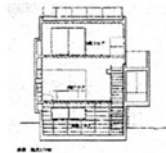
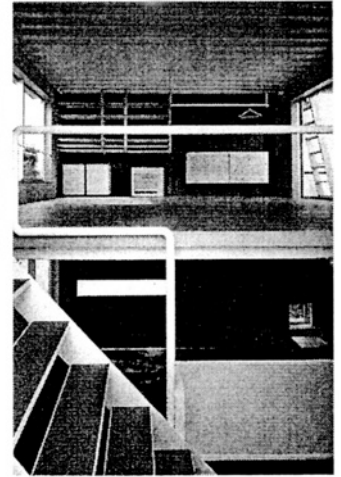
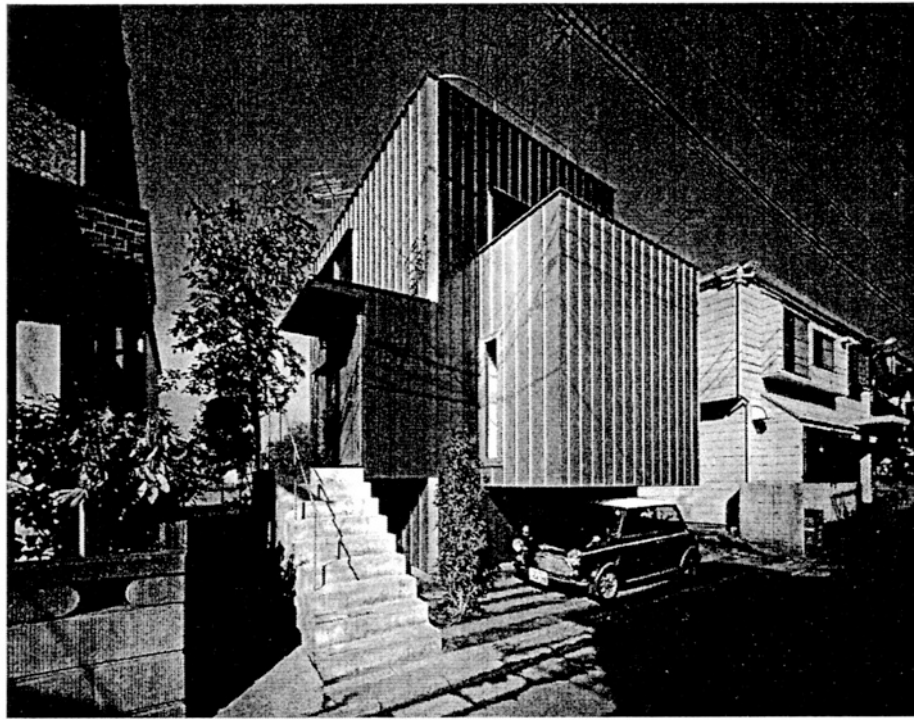
<p>38</p> <p>ウェークエンドハウス 西沢立衛 住宅特集/9811</p>	<p>セット数</p> <p>1</p>	<p>室数</p> <p>5</p>	<p>パラメータの種類及びその階層</p> <p>1段階 / 2段階 / 3段階</p>	<p>構成類型</p> <p>間接型 (包含)</p>
			<p>包 rWD</p>	



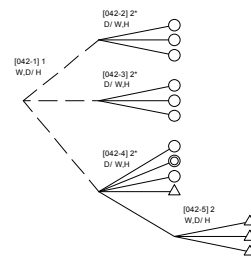
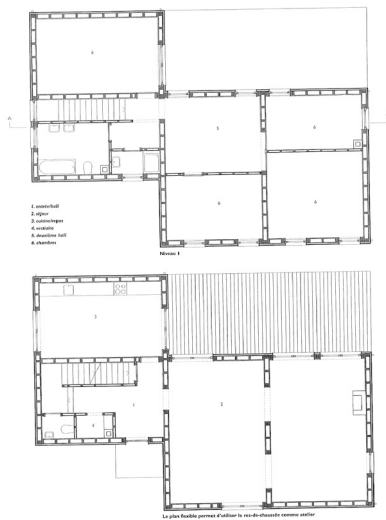
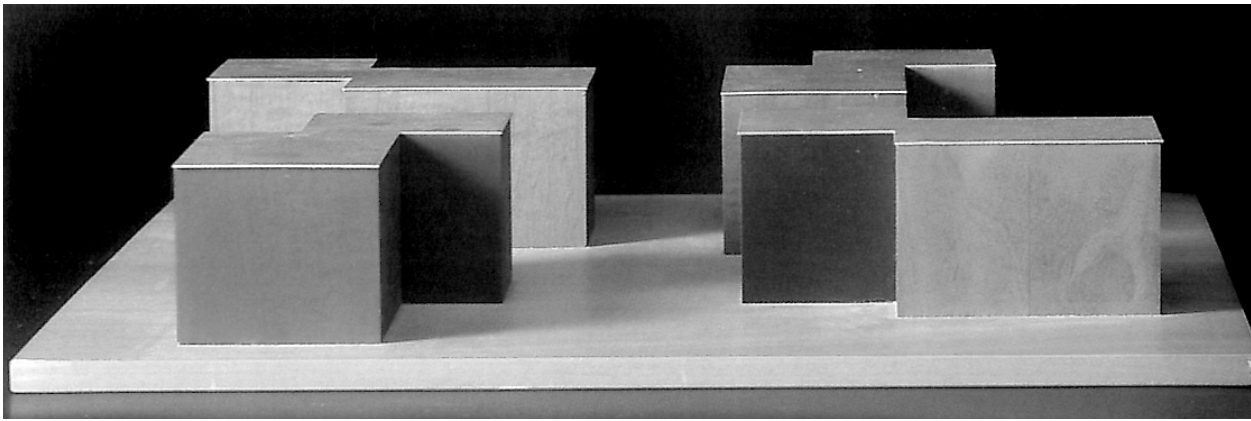
<b>39</b> Museum Liner Gigon & Guyer a+u/9812	セット数 3	室数 21	パラメータの種類及びその階層 1 段階 / 2 段階 / 3 段階	構成類型 直接部分階層型 ( 接続 / 分割 )
			接 2WDH / 分 1DH, 分 2WDH	



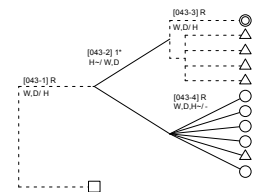
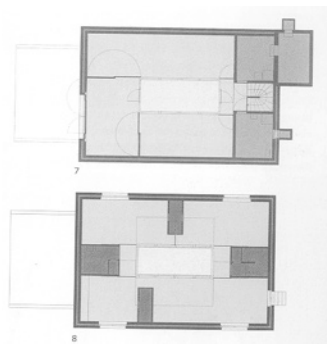
40 大田のハウス 西沢大良 住宅特集/9812	セット数 6	室数 12	パラメータの種類及びその階層 1段階 / 2段階 / 3段階	構成類型
			分2*D / 分1*H, 分1*H / 分1D, 分1D, 分1D	直接部分階層型 (分割 / 分割)



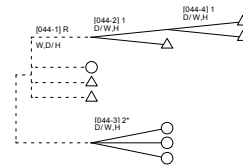
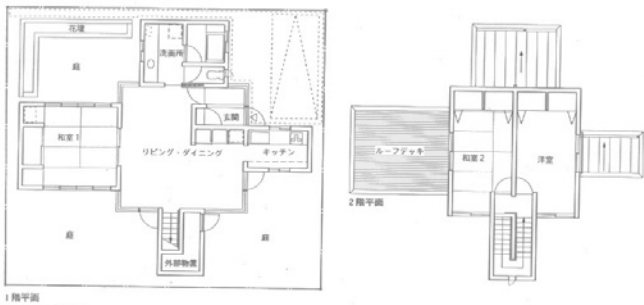
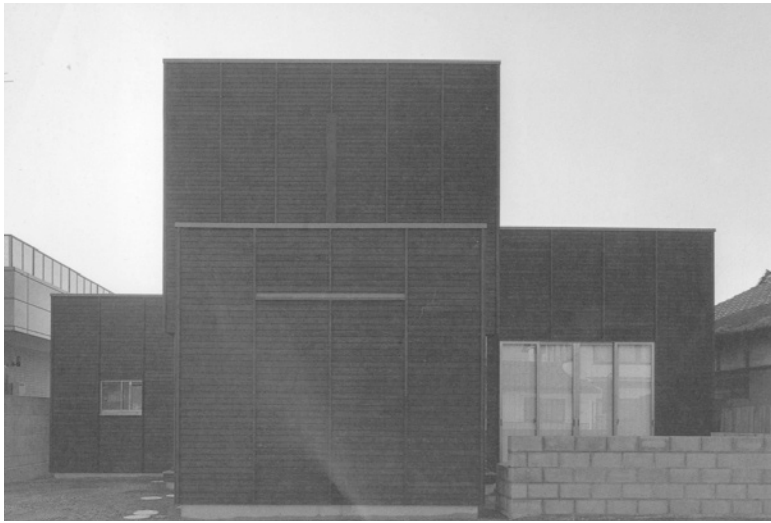
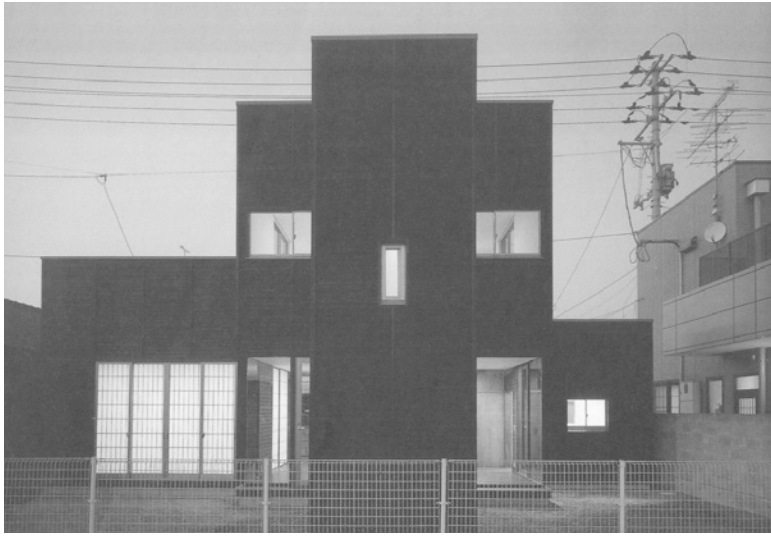
<p>41</p> <p>ミニハウス アトリエ・ワン 住宅特集 / 9901</p>	<p>セット数</p> <p>2</p>	<p>室数</p> <p>7</p>	<p>パラメータの種類及びその階層</p> <p>1 段階 / 2 段階 / 3 段階</p>	<p>構成類型</p> <p>間接 - 直接階層型 (分散)</p>
			<p>散 rWDH / 分 1*H</p>	



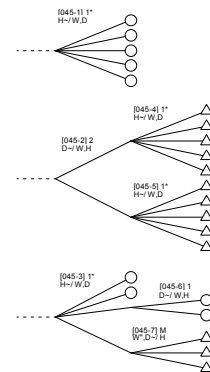
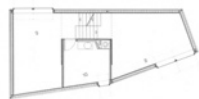
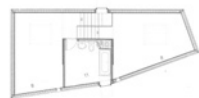
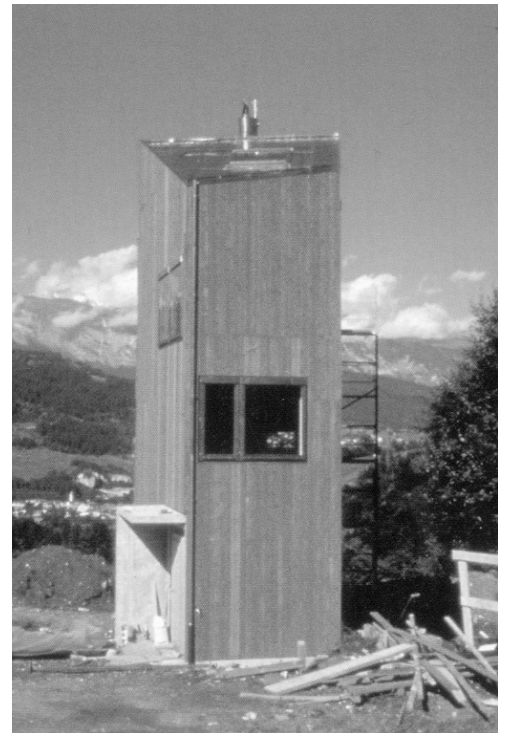
42 TWogether, une maison sur catalogue Diner & Diner L'Architecture d'Aujourd'hui/9901	セット数 5	室数 13	パラメータの種類及びその階層 1 段階 / 2 段階 / 3 段階	構成類型 直接全体階層型 (接続 / 分割)
			接 1WD / 分 2*D, 分 2*D, 分 2*D / 分 2WD	



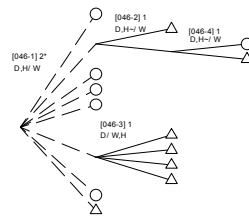
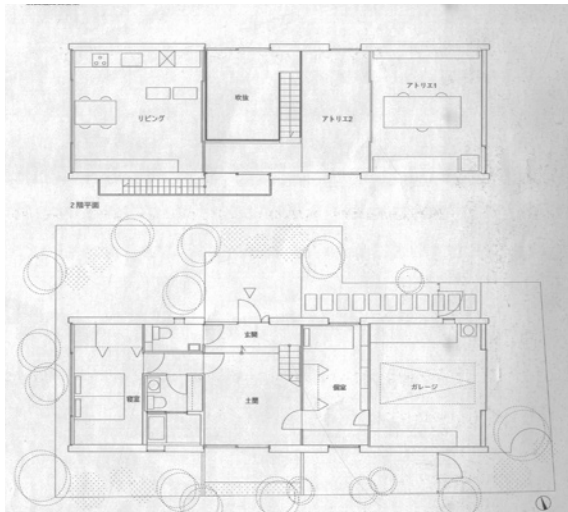
<p>43</p> <p>Harte Schale, Transparenz als Kern</p> <p>L. Buol &amp; M. Zund</p> <p>at/9904</p>	<p>セット数</p> <p>4</p>	<p>室数</p> <p>12</p>	<p>パラメータの種類及びその階層</p> <p>1 段階 / 2 段階 / 3 段階</p>	<p>構成類型</p> <p>間接 - 直接階層型 (包含)</p>
			<p>包 rWD / 分 1*H / 包 rWD, 分 rWDH</p>	



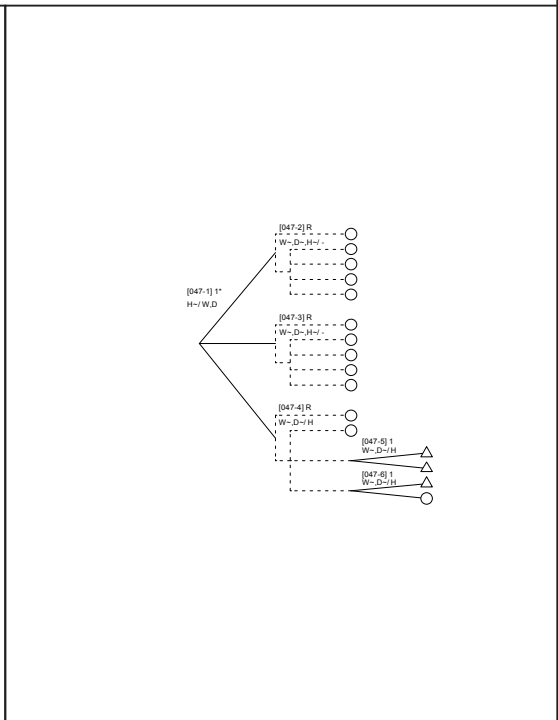
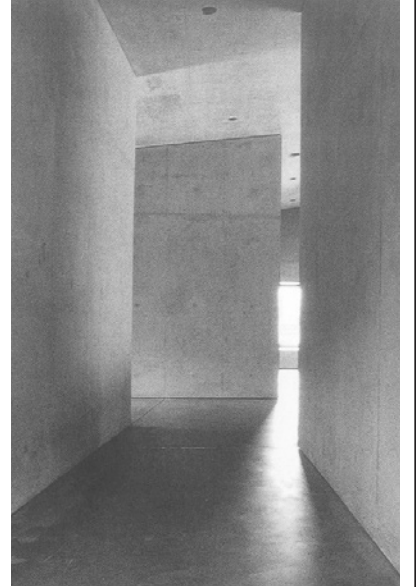
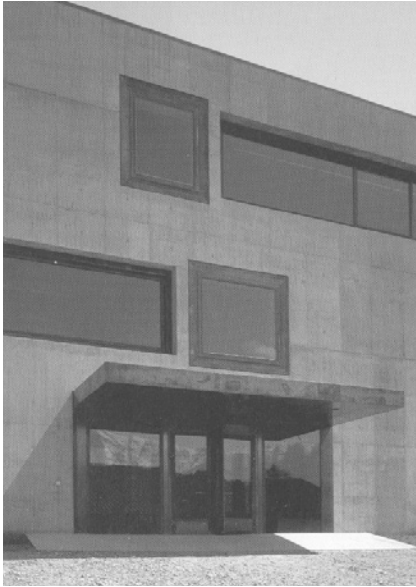
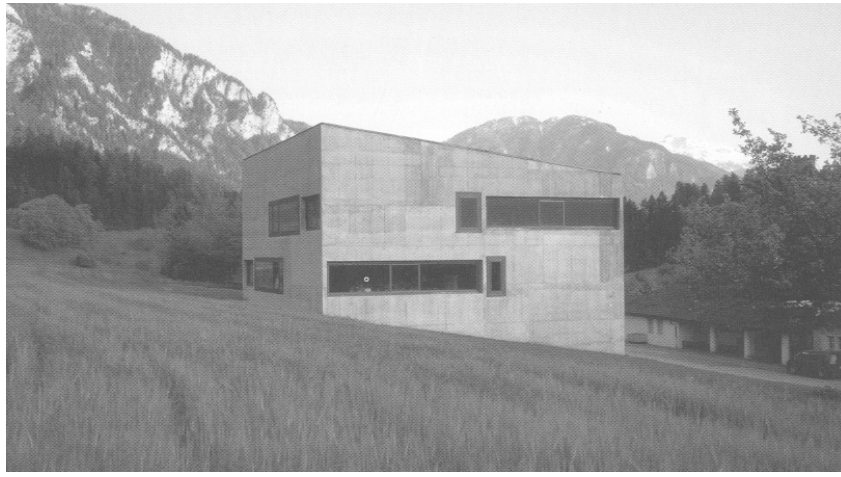
44 M-house 阿部仁史 住宅特集 / 9904	セット数 4	室数 10	パラメータの種類及びその階層	構成類型
			1段階 / 2段階 / 3段階	
			散 rWDH / 分 1D, 分 2*D / 分 1D	間接 - 直接階層型 (分散)



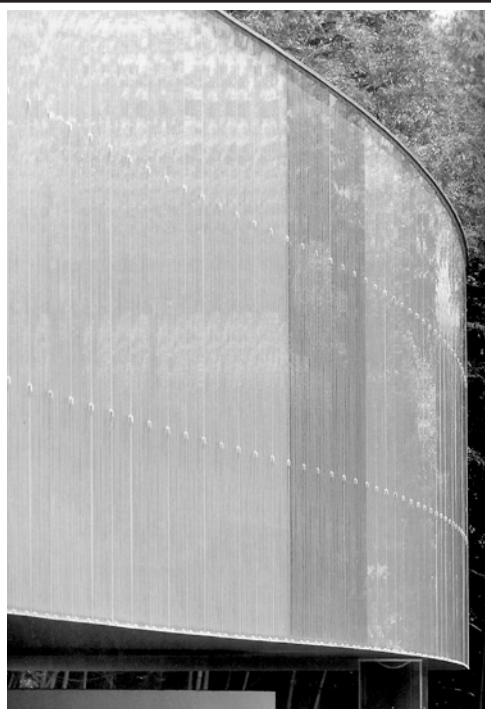
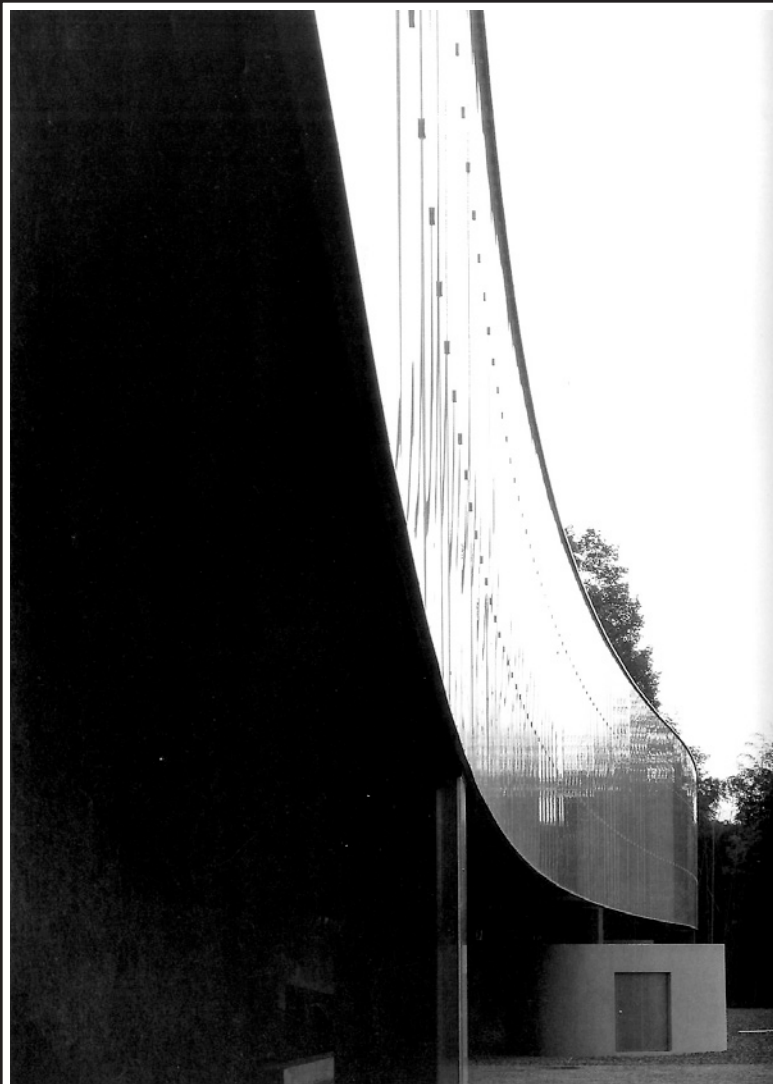
<p>45</p> <p>Willimann-Lotscher House</p> <p>V. Bearth &amp; A. Deplazes</p> <p>a+u/9906</p>	<p>セット数</p> <p>7</p>	<p>室数</p> <p>22</p>	<p>パラメータの種類及びその階層</p> <p>1段階 / 2段階 / 3段階</p>	<p>構成類型</p>
			<p>分1*H   分2D / 分1*H, 分1*H   分1*H / 分1D, 分mWD</p>	<p>類型外</p>



46 祐天寺 T 邸 伊東豊雄 住宅特集 / 9906	セット数 4	室数 13	パラメータの種類及びその階層 1 段階 / 2 段階 / 3 段階	構成類型
			接 2*DH / 分 1DH, 分 1D / 分 1DH	直接部分階層型 (接続 / 分割)



47 Ecole a Paspels V. Olgiati L'Architecture d' Aujourd'hui/9906	セット数 6	室数 16	パラメータの種類及びその階層	構成類型 直接 - 全体間接 階層型 (分割)
			1 段階 / 2 段階 / 3 段階	
			分 1*H / 包 rWD, 包 rWD, 包 rWD / 分 1WD, 分 1WD	



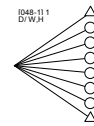
南立面 縮尺1/500



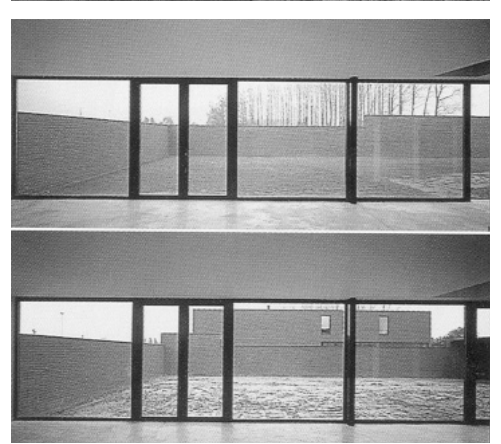
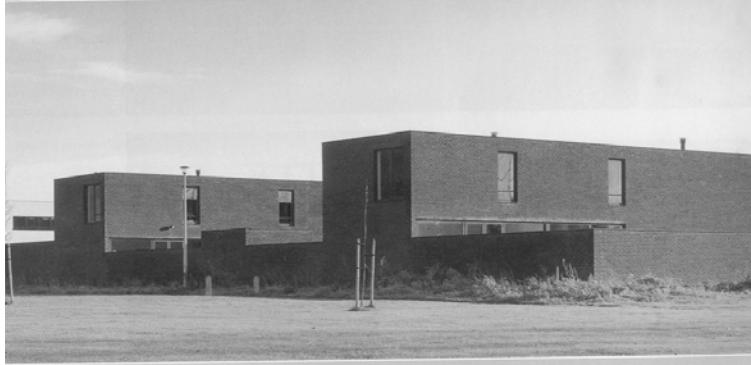
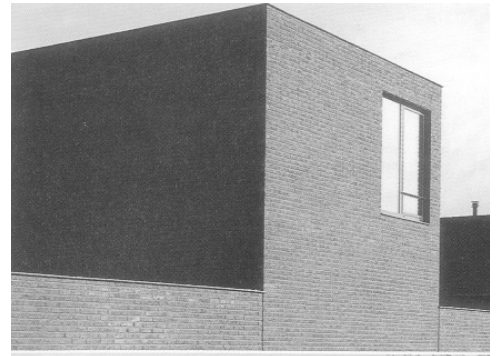
長手断面 縮尺1/500



2階平面

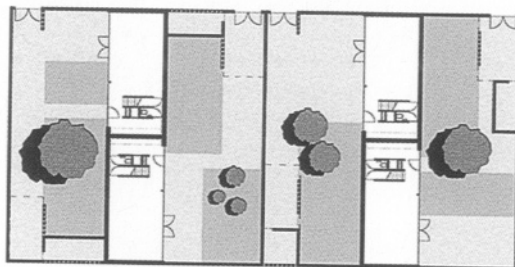


48 飯田市小笠原資料館 妹島和世+西沢立衛 新建築/9907	セット数 1	室数 8	パラメータの種類及びその階層 1段階 / 2段階 / 3段階	構成類型
			分1D	直接型(分割)

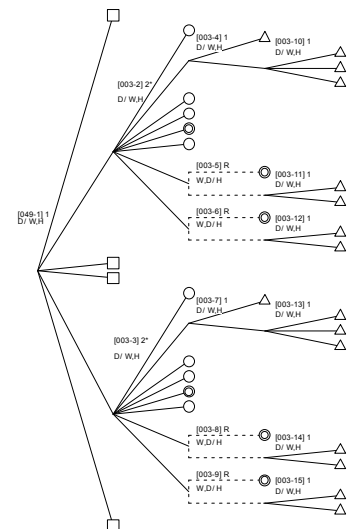


Plan du rez-de-chaussée

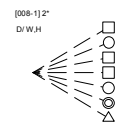
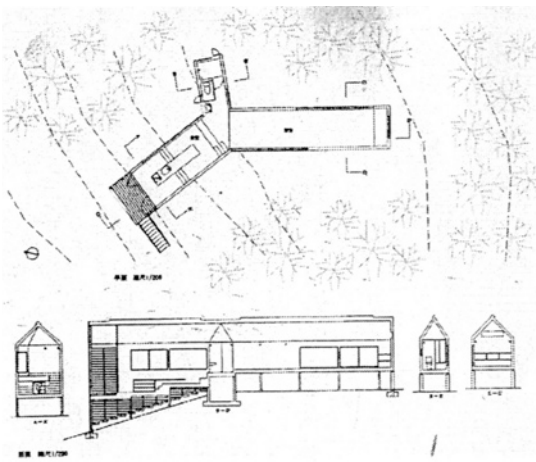
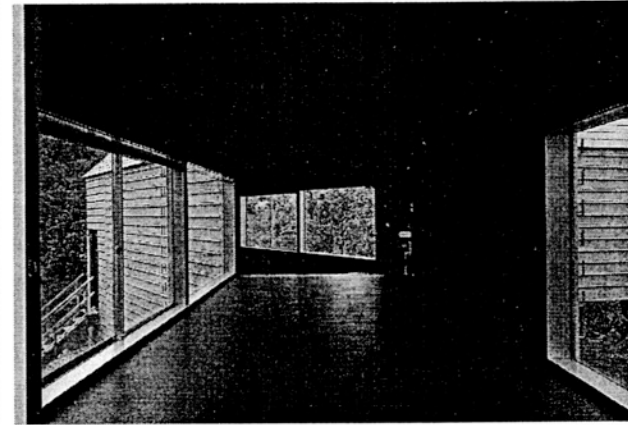
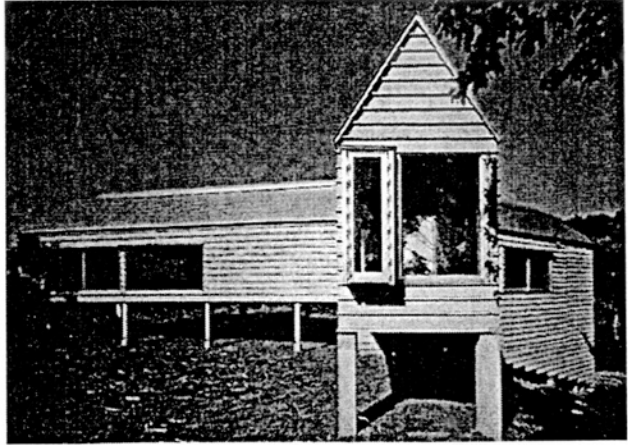
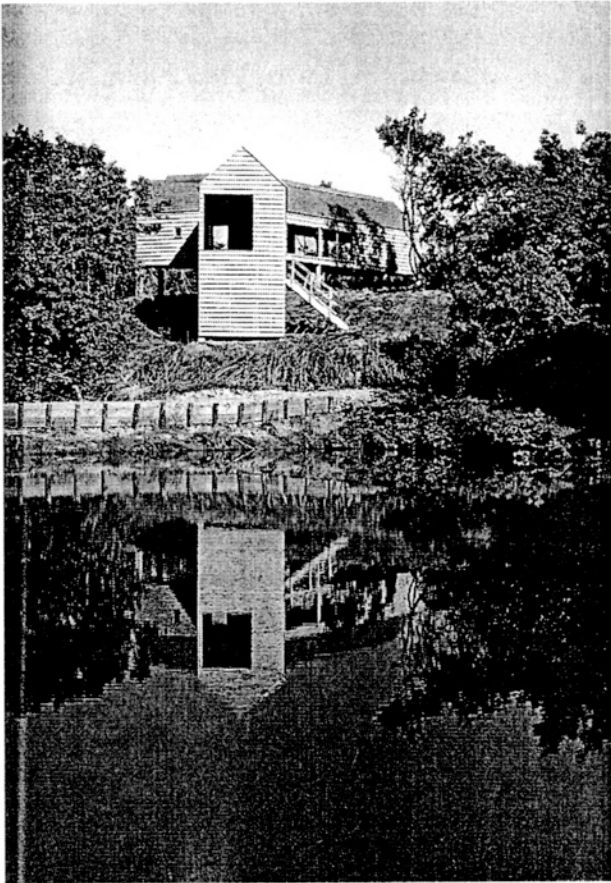
0 1 5m



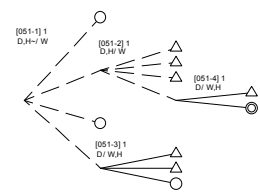
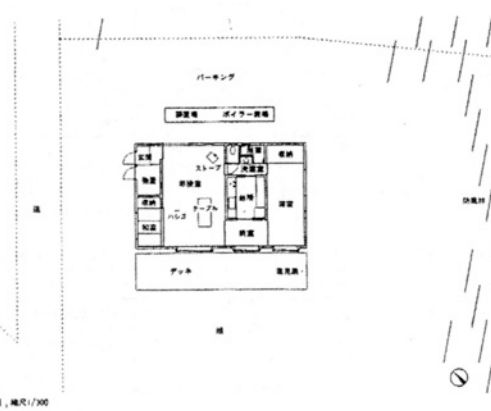
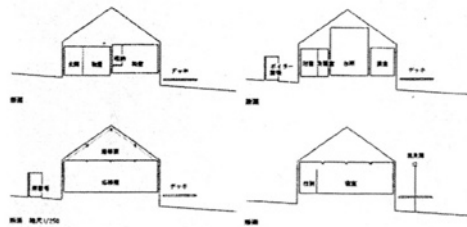
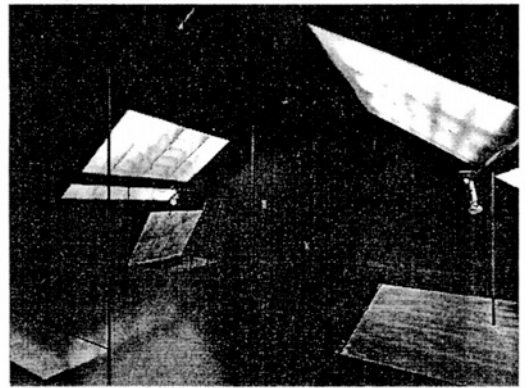
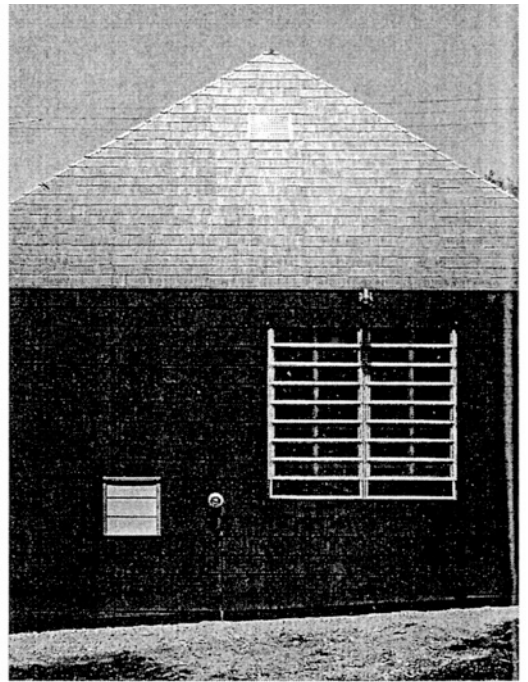
Plan du premier niveau



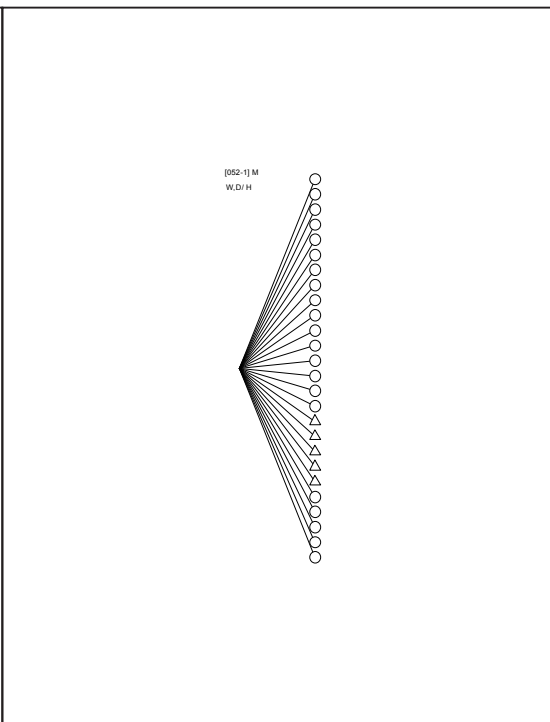
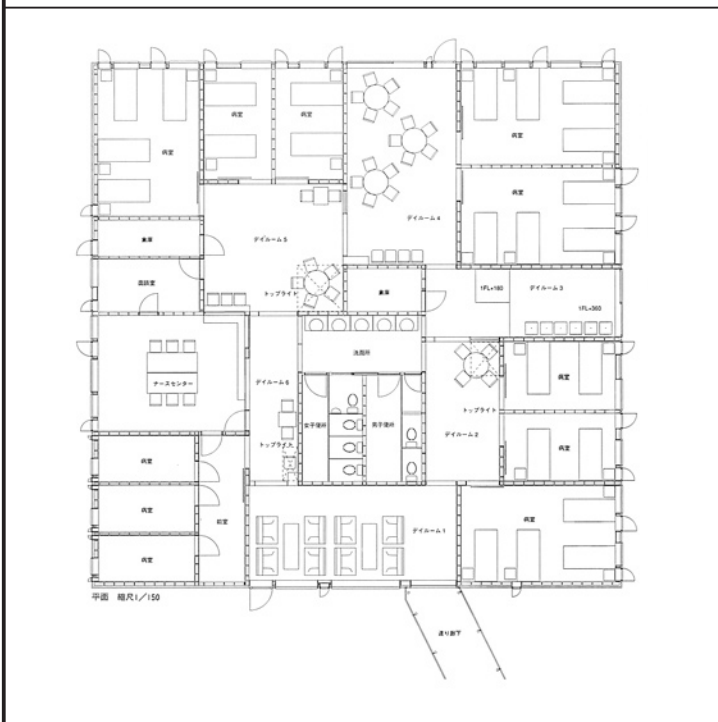
<p>49</p> <p>Maisons a Lebbeke</p> <p>Bob 361 Architectes</p> <p>L'Architecture d' Aujourd'hui/9907</p>	<p>セット数</p> <p>15</p>	<p>室数</p> <p>31</p>	<p>パラメータの種類及びその階層</p> <p>1 段階 / 2 段階 / 3 段階</p>	<p>構成類型</p>
			<p>分 1D / 分 2*D, 分 2*D / 包 rWD, 包 rWD, 包 rWD, 包 rWD</p>	<p>類型外</p>



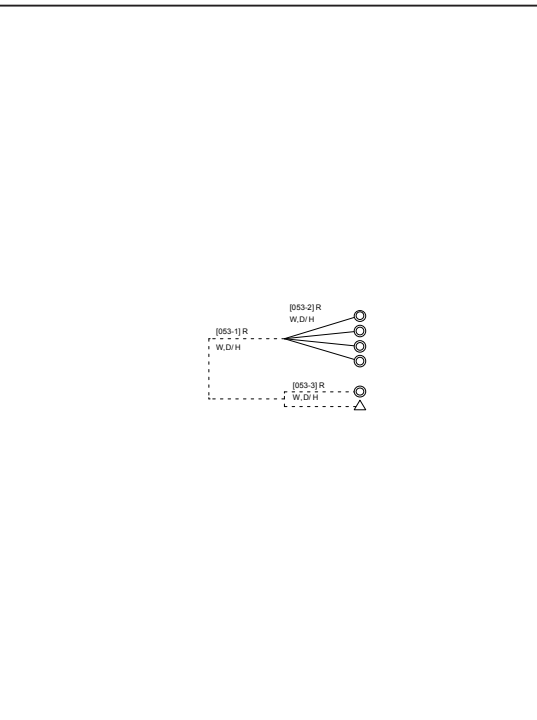
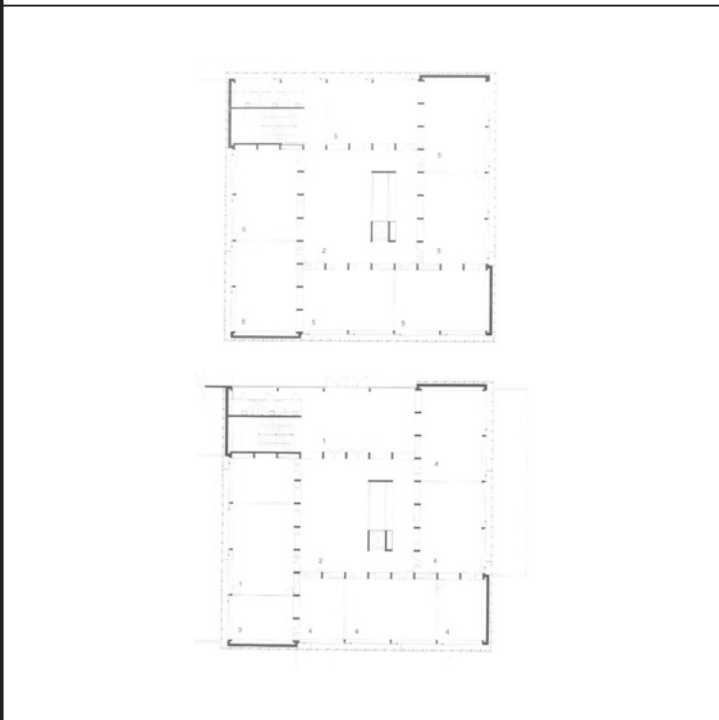
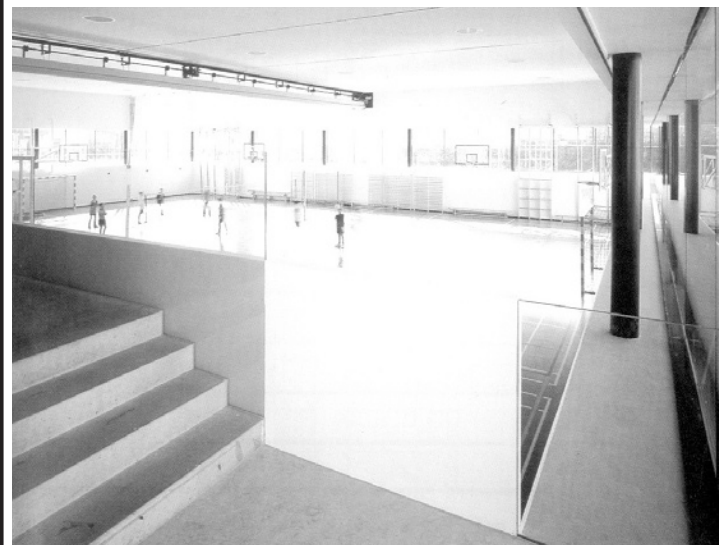
50 川西町コテージB アトリエ・ワン 新建築/9908	セット数 1	室数 3	パラメータの種類及びその階層 1段階 / 2段階 / 3段階	構成類型
			接 rWDH	直接型 (接続)



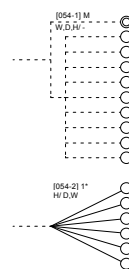
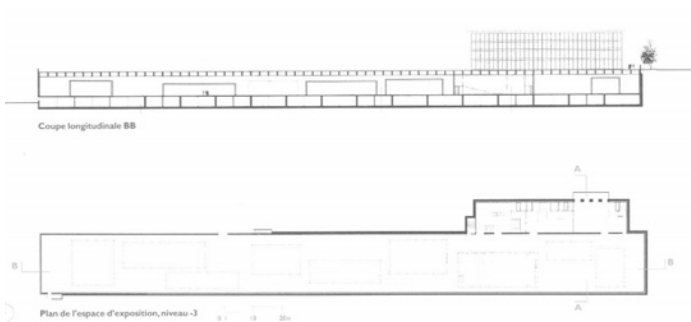
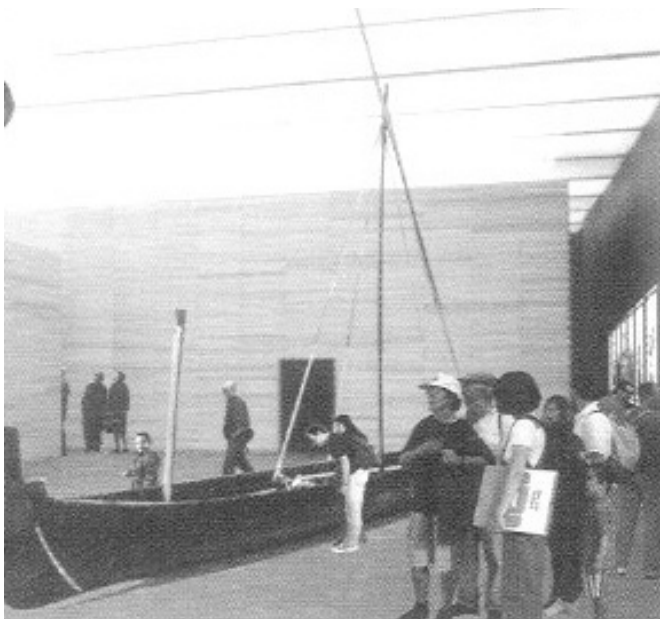
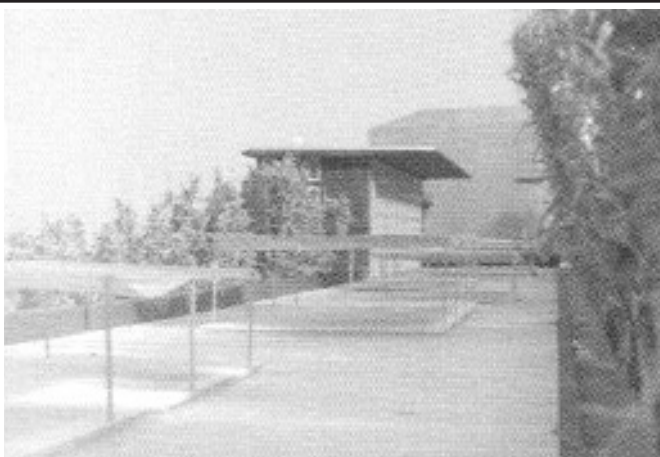
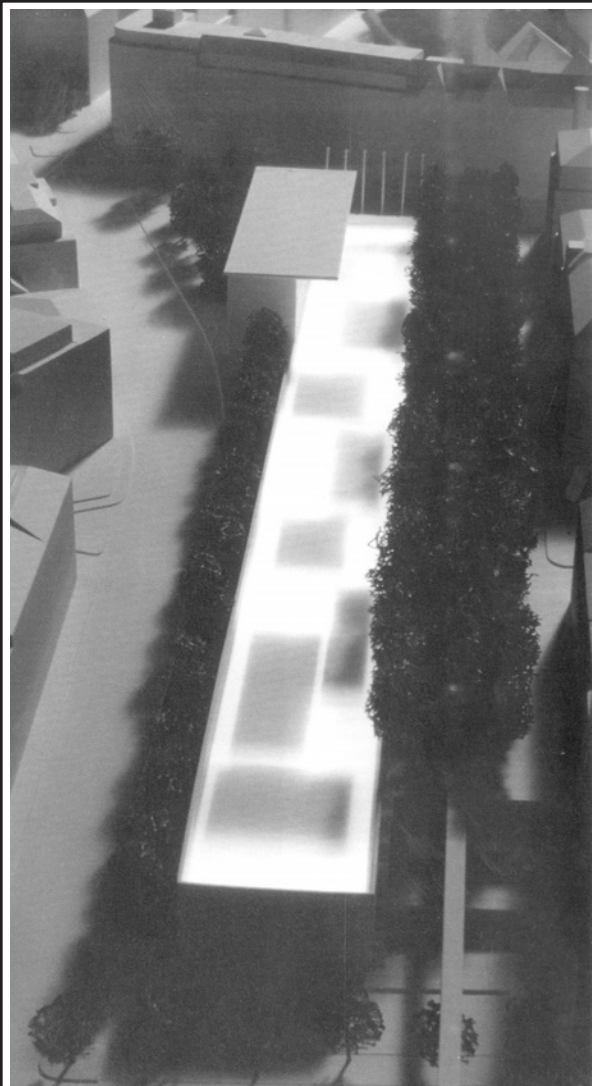
<p>51</p> <p>諏訪のハウス</p> <p>西沢大良</p> <p>住宅特集 / 9909</p>	<p>セット数</p> <p>4</p>	<p>室数</p> <p>10</p>	<p>パラメータの種類及びその階層</p> <p>1 段階 / 2 段階 / 3 段階</p>	<p>構成類型</p>
			<p>接 1DH / 接 1DH, 分 1D / 分 1D</p>	<p>直接部分階層型 (接続 / 分割)</p>



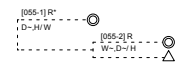
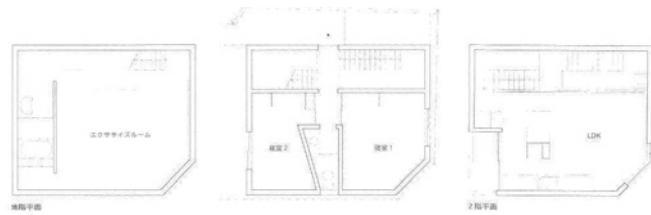
52 聖台病院新病棟 藤本社介 新建築/9912	セット数 1	室数 26	パラメータの種類及びその階層		構成類型 直接型（分割）
			1段階 / 2段階 / 3段階		
			分 mWD		



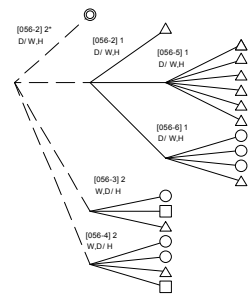
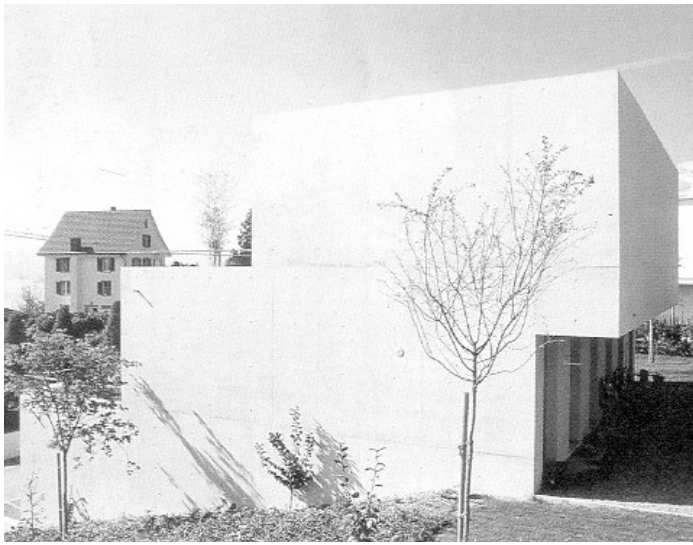
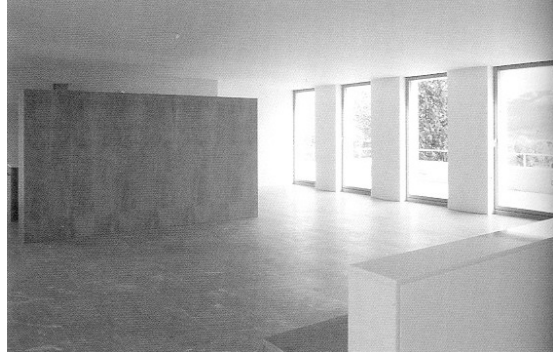
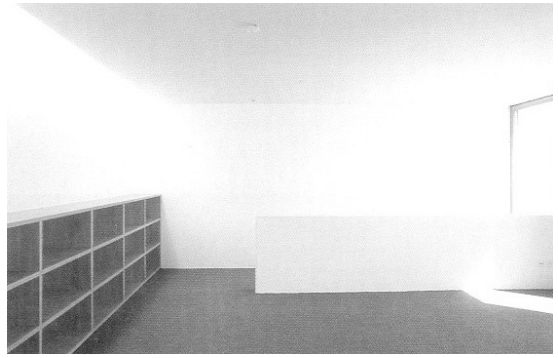
<p>53</p> <p>Ecological Middle School Baumschlager &amp; Eberle a+u/0001</p>	<p>セット数</p> <p>3</p>	<p>室数</p> <p>6</p>	<p>パラメータの種類及びその階層</p> <p>1 段階 / 2 段階 / 3 段階</p>	<p>構成類型</p>
			<p>包 rWD / 分 rWD, 包 rWD</p>	<p>間接階層型 (包含 / 包含)</p>



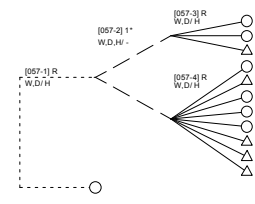
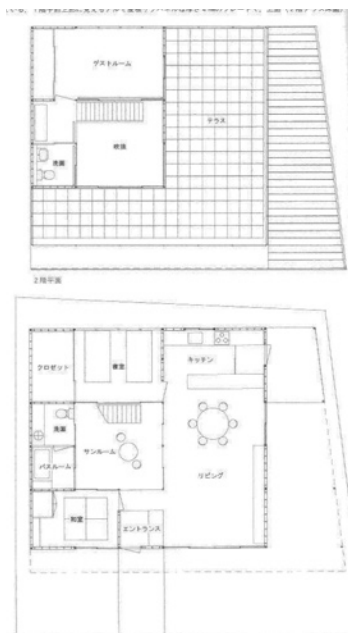
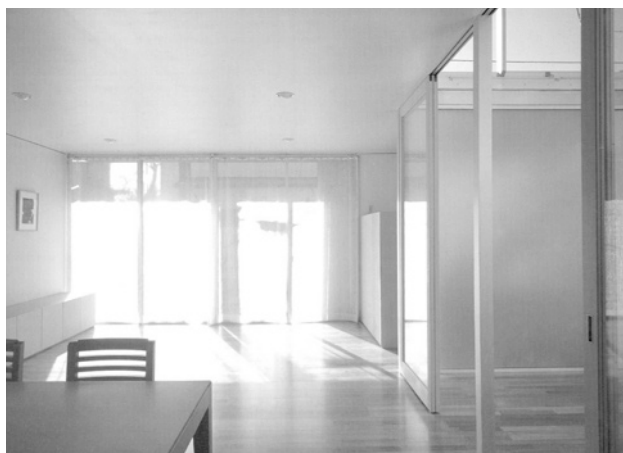
54 Musée d'Ethnographie, Geneve Hunger, Monnerat, Petitpierre L'Architecture d'Aujourd'hui/0002	セット数 2	室数 16	パラメータの種類及びその階層	構成類型 直接 + 間接併置型
			1 段階 / 2 段階 / 3 段階 包 mWDH   分 1*H	



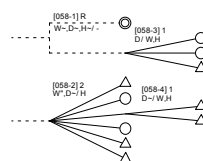
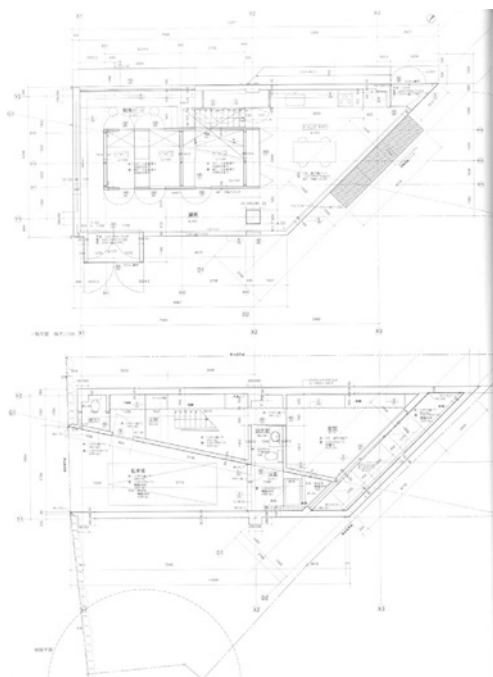
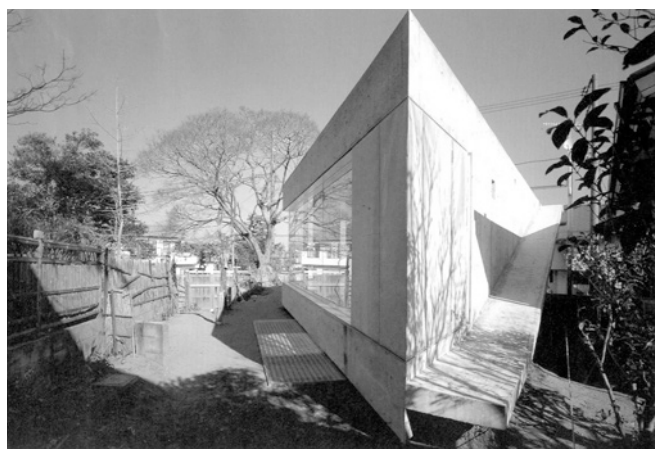
<b>55</b> 仙川の住宅 佐藤光彦 住宅特集 /0002	セット数 2	室数 3	パラメータの種類及びその階層 1段階 / 2段階 / 3段階	構成類型
			包 r*DH / 包 rWD	間接階層型 (包含 / 包含)



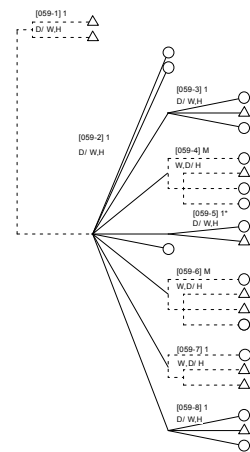
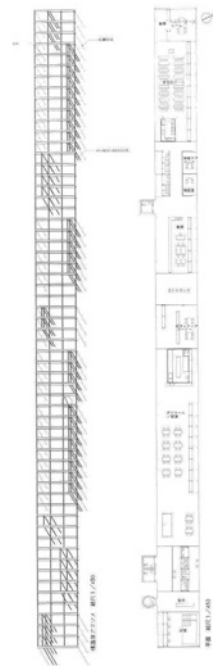
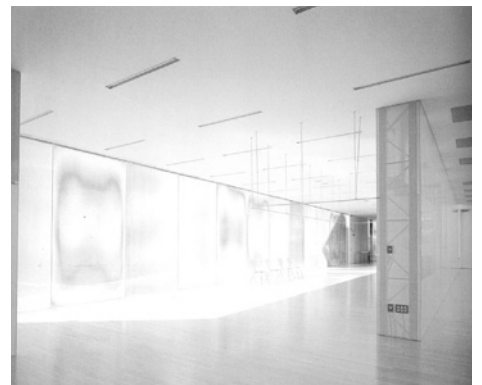
56 House in Jona V. Bearth & A. Deplazes a+u/0003	セット数 6	室数 19	パラメータの種類及びその階層 1段階 / 2段階 / 3段階	構成類型 直接部分階層型 (接続 / 分割)
			接 2*D / 分 1D, 分 2WD, 分 2WD / 分 1D, 分 1D	



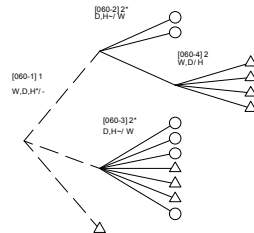
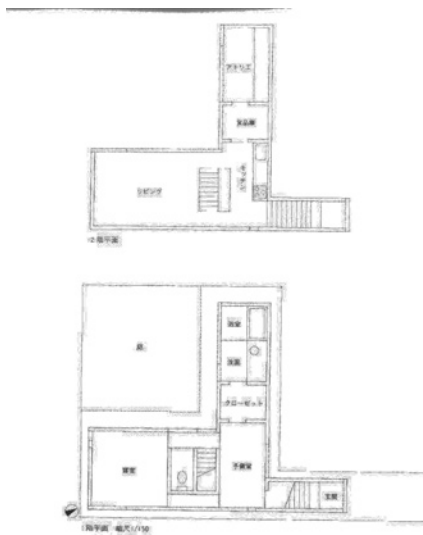
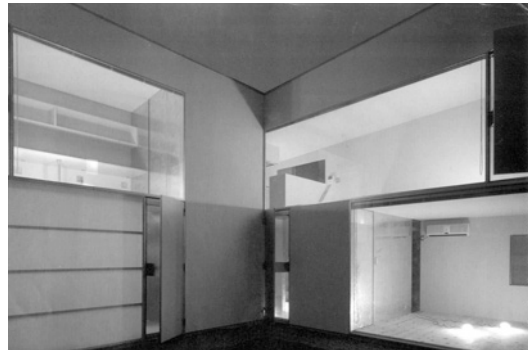
<b>57</b> 桜上水 K 邸 伊東豊雄 住宅特集 /0003	セット数 4	室数 12	パラメータの種類及びその階層 1 段階 / 2 段階 / 3 段階	構成類型 間接 - 直接階層型 (包含)
			包 rWD / 分 1*WDH / 分 2WD, 分 2WDH	



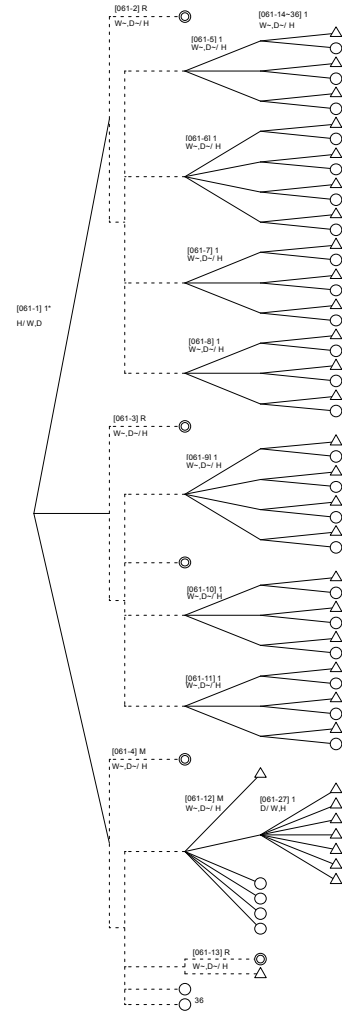
58 L 青木淳 住宅特集 /0004	セット数 4	室数 11	パラメータの種類及びその階層	構成類型
			1段階 / 2段階 / 3段階	
			包 rWDH / 分 1D   分 2WD / 分 1D	直接 + 間接併置型



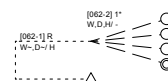
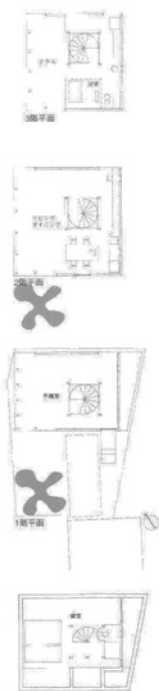
<p>59</p> <p>横浜市六ツ川地域ケアプラザ 妹島和世+西沢立衛 新建築 /0007</p>	<p>セット数</p> <p>8</p>	<p>室数</p> <p>25</p>	<p>パラメータの種類及びその階層</p> <p>1段階 / 2段階 / 3段階</p>	<p>構成類型</p> <p>間接 - 直接階層型 (分散)</p>
			<p>散 1D / 分 1D / 分 1D, 包 mWD, 分 1D, 包 mWD, 包 1WD, 分 1D</p>	



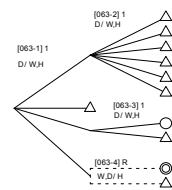
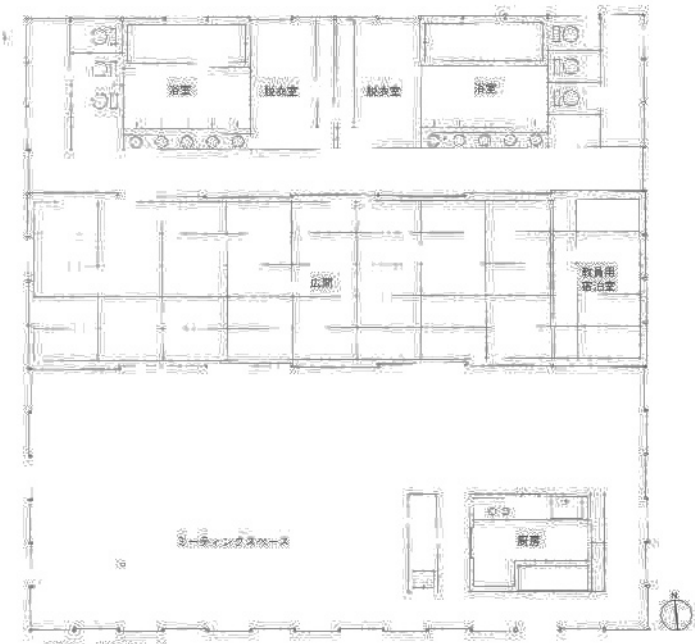
60 C 青木淳 住宅特集 /0009	セット数 4	室数 14	パラメータの種類及びその階層	構成類型
			1段階 / 2段階 / 3段階	
			接 1WDH / 分 2*DH, 分 2*DH / 分 2WD	直接部分階層型 ( 接続 / 分割)



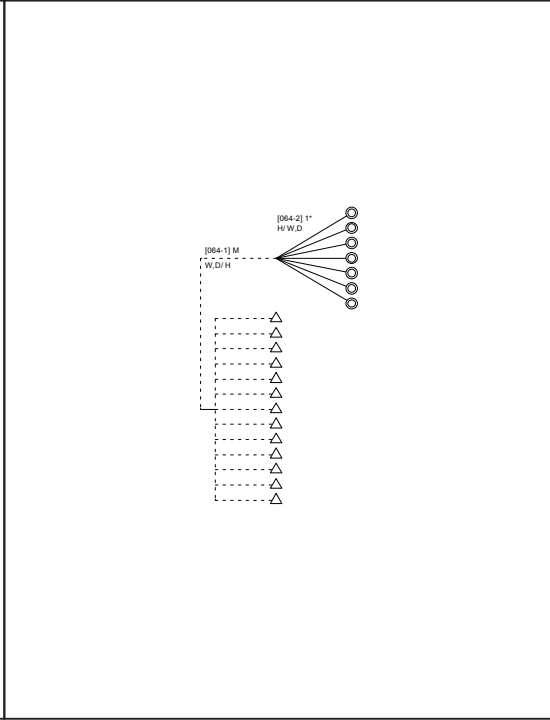
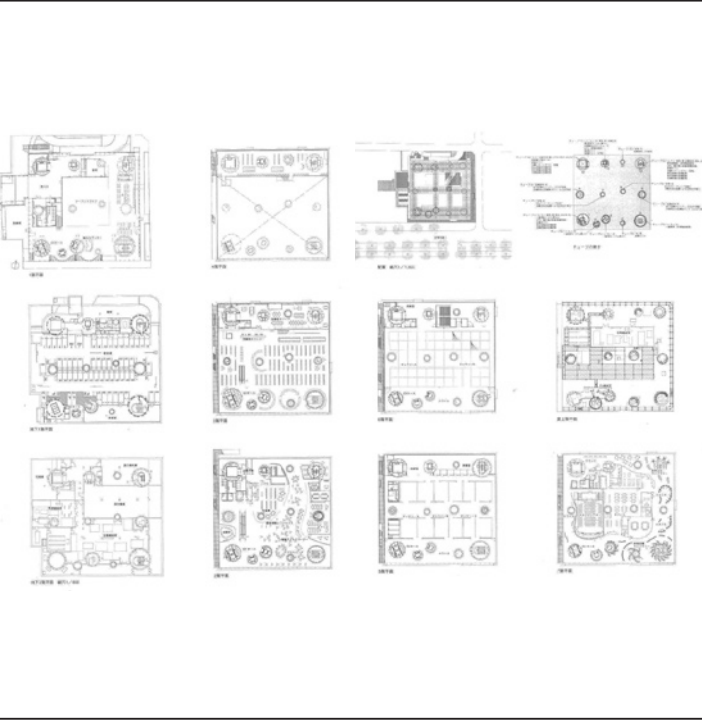
61 Ronald McDonald House Bosch Haslett a+u/0010	セット数 33	室数 66	パラメータの種類及びその階層	構成類型 直接 - 全体間接 階層型 (分割)
			1 段階 / 2 段階 / 3 段階 分 1*H / 包 rWD, 包 rWD, 包 mWD / 4(分 1WD), 3(分 1WD), 包 rWD, 分 mWD	



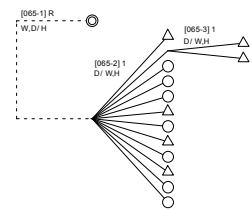
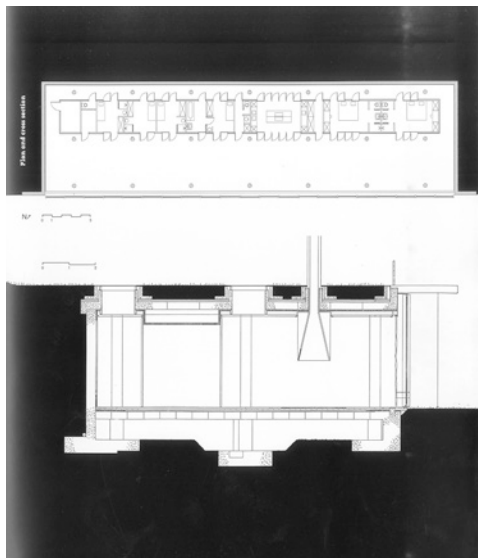
62 小さな家 妹島和世 新建築 / 0011	セット数	室数	パラメータの種類及びその階層 1 段階 / 2 段階 / 3 段階	構成類型
	2	5	包 1WD / 接 1*WDH	間接 - 直接階層型 (包含)



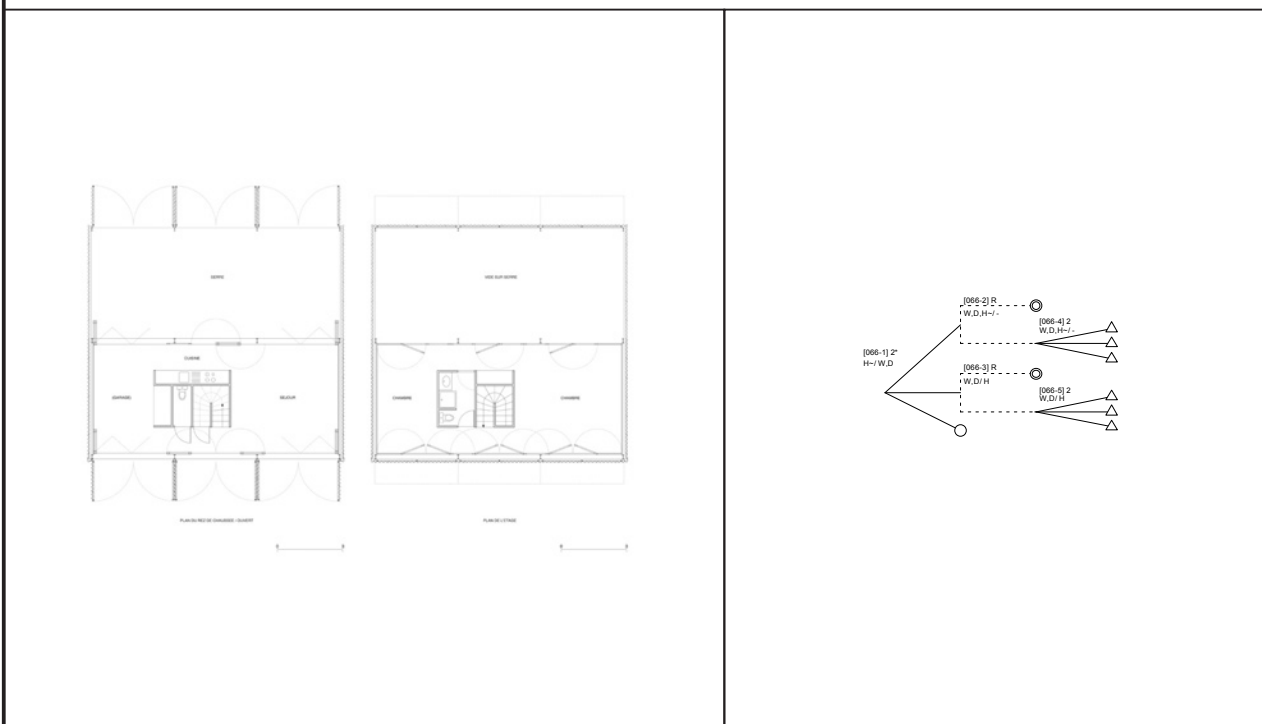
63 江山閣 妹島和世 新建築 /0011	セット数 4	室数 11	パラメータの種類及びその階層 1 段階 / 2 段階 / 3 段階	構成類型 直接 - 部分間接 階層型 (分割)
			分 1D / 分 1D, 分 1D, 被 rWD	



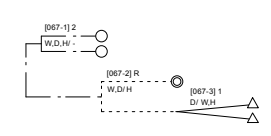
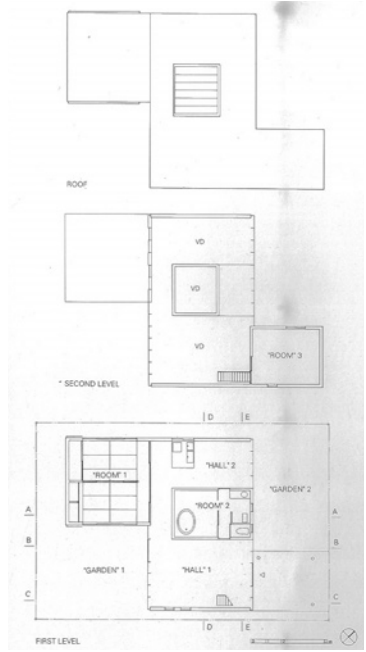
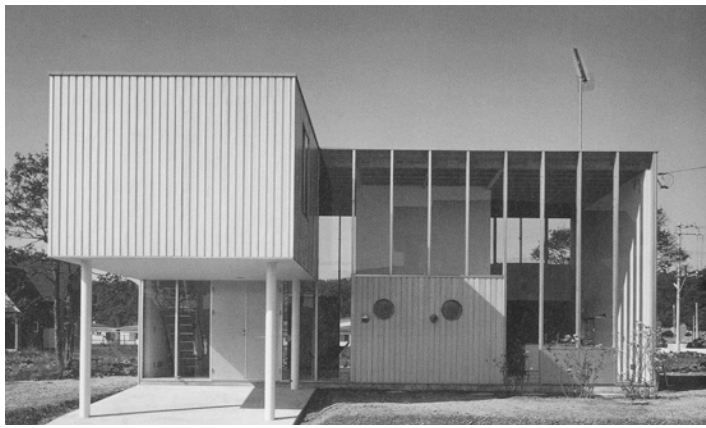
64 仙台メディアテーク 伊東豊雄 新建築 / 0012	セット数 2	室数 20	パラメータの種類及びその階層		構成類型 間接 - 直接階層型 (包含)
			1 段階 / 2 段階 / 3 段階		
			包 mWD / 分 1 * H		



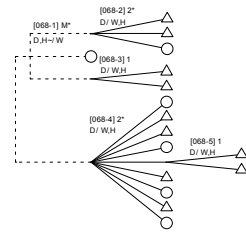
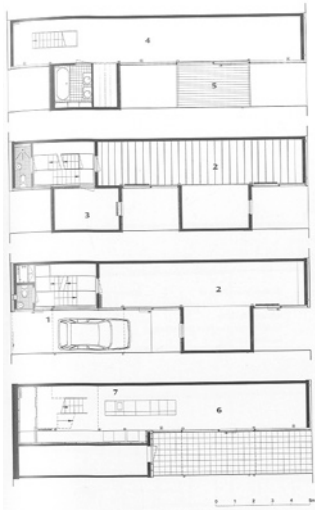
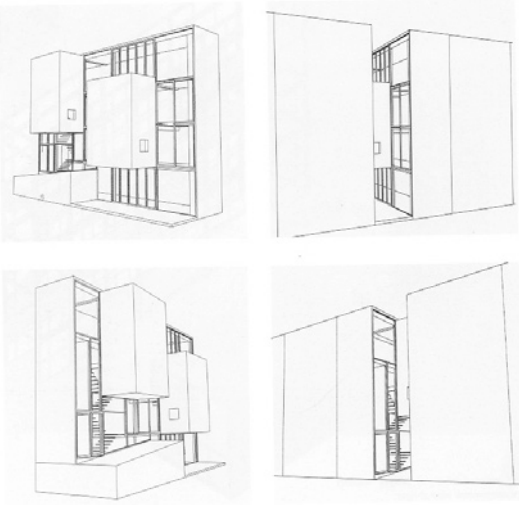
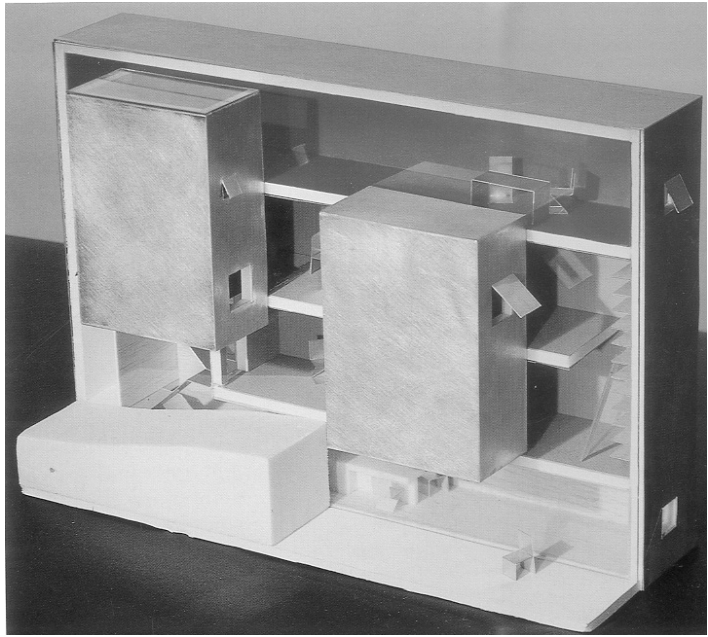
<p>65</p> <p>VILLA</p> <p>Dominique Perrault</p> <p>SINGLE-FAMILY HOUSING, THE PRIVATE DOMAIN</p>	<p>セット数</p> <p>3</p>	<p>室数</p> <p>14</p>	<p>パラメータの種類及びその階層</p> <p>1段階 / 2段階 / 3段階</p>	<p>構成類型</p> <p>間接 - 直接階層型 (包含)</p>
			<p>包 rWD / 分 1D / 分 1D</p>	



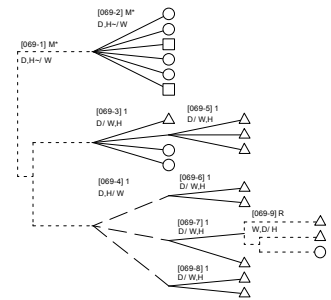
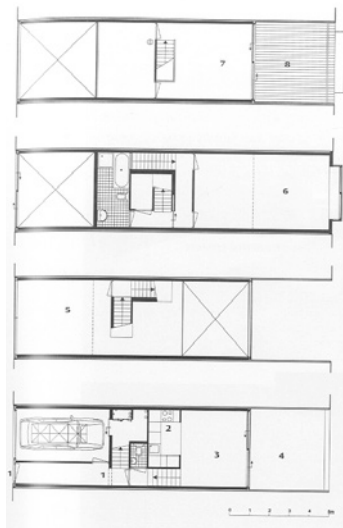
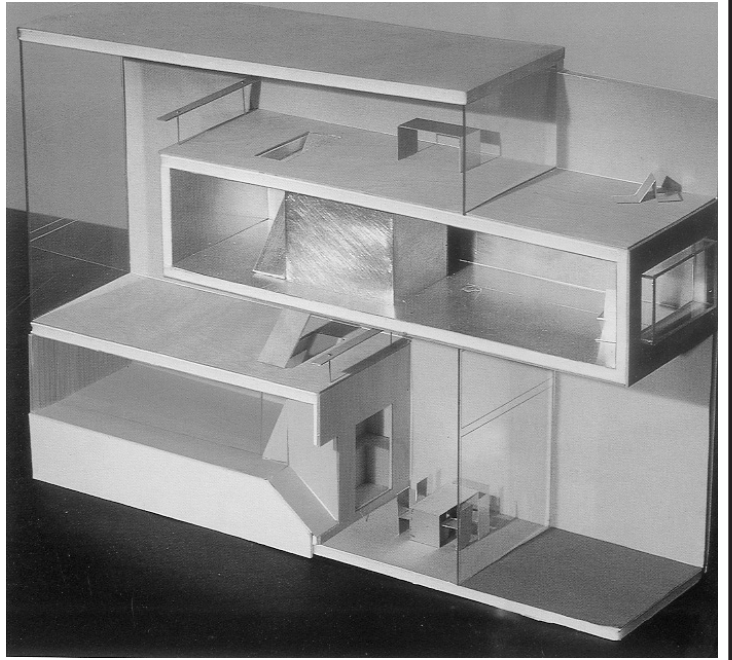
<p>66</p> <p>MAISON LATAPIE</p> <p>Lacaton &amp; Vassal</p> <p>SINGLE-FAMILY HOUSEING, THE PRIVATE DOMAIN</p>	<p>セット数</p> <p>5</p>	<p>室数</p> <p>9</p>	<p>パラメータの種類及びその階層</p> <p>1 段階 / 2 段階 / 3 段階</p>	<p>構成類型</p>
			<p>分 2*H / 包 rWDH, 包 rWD / 分 2WDH, 分 2WD</p>	<p>直接 - 部分間接 階層型 (分割)</p>



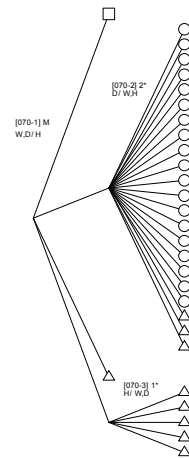
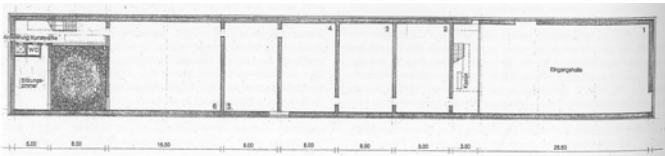
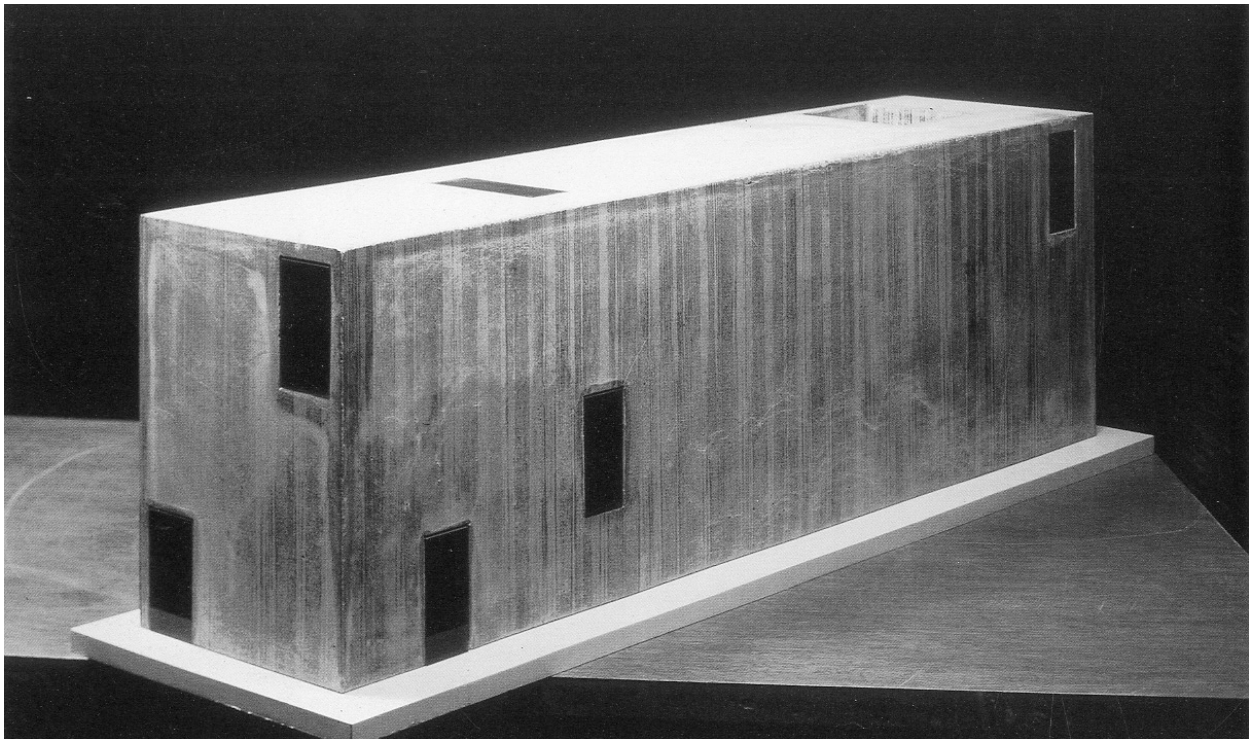
<p>67</p> <p>SHIRAOK</p> <p>石田敏明</p> <p>SINGLE-FAMILY HOUSING, THE PRIVATE DOMAIN</p>	<p>セット数</p> <p>3</p>	<p>室数</p> <p>5</p>	<p>パラメータの種類及びその階層</p> <p>1 段階 / 2 段階 / 3 段階</p>	<p>構成類型</p>
			<p>散 2WDH / 包 rWD, 分 1D</p>	<p>間接階層型 (分散 / 包含)</p>



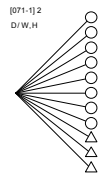
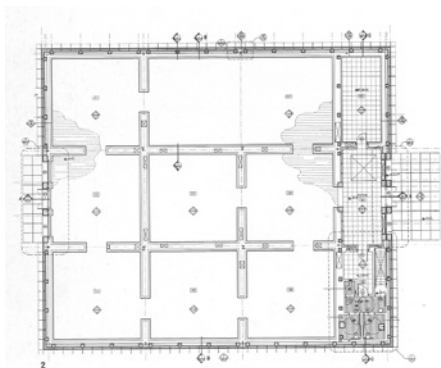
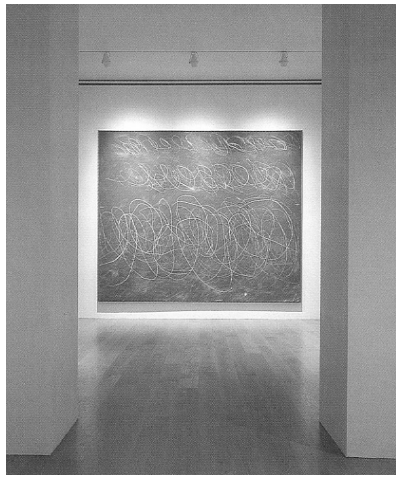
68 Borneo Sporenburg-12 MVRDV The Un-Private House	セット数 5	室数 16	パラメータの種類及びその階層	構成類型
			1 段階 / 2 段階 / 3 段階	
			散 m*DH / 分 2*D, 分 2*D / 分 1D	間接 - 直接階層型 (分散)



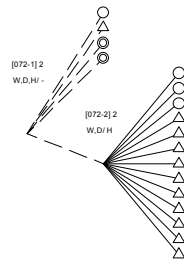
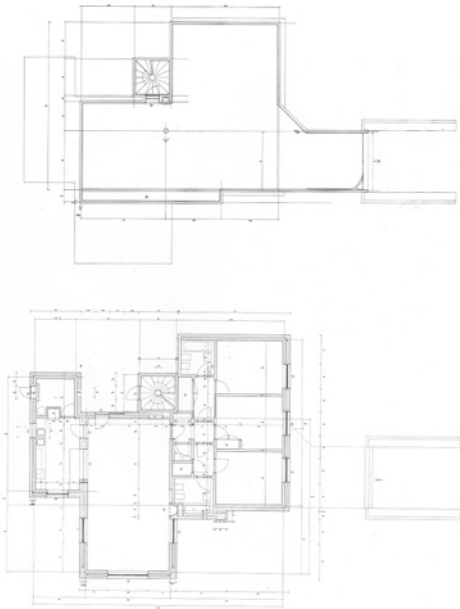
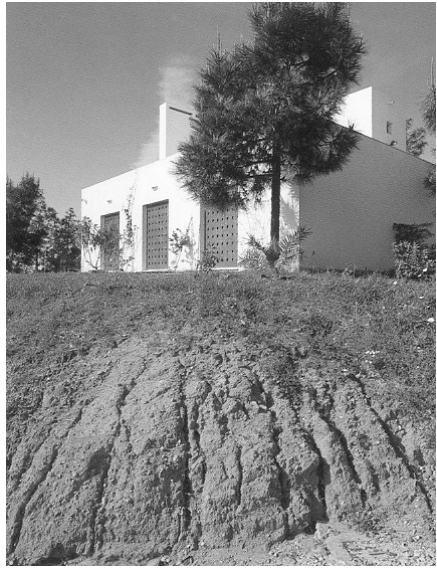
<p>69</p> <p>Borneo Sporenburg-18</p> <p>MVRDV</p> <p>The Un-Private House</p>	<p>セット数</p> <p>9</p>	<p>室数</p> <p>20</p>	<p>パラメータの種類及びその階層</p> <p>1段階 / 2段階 / 3段階</p>	<p>構成類型</p> <p>間接 - 直接階層型 (包含)</p>
			<p>包 M*DH / 分 mDH, 分 1D, 接 1DH / 分 1D, 分 1D, 分 1D, 分 1D</p>	



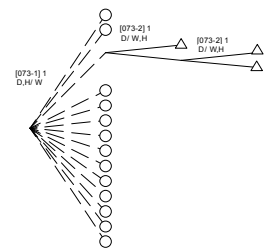
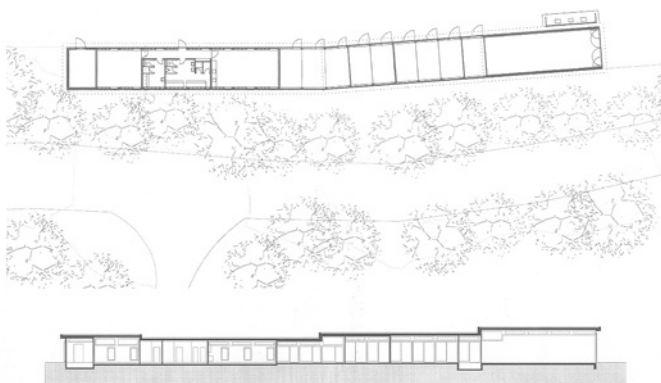
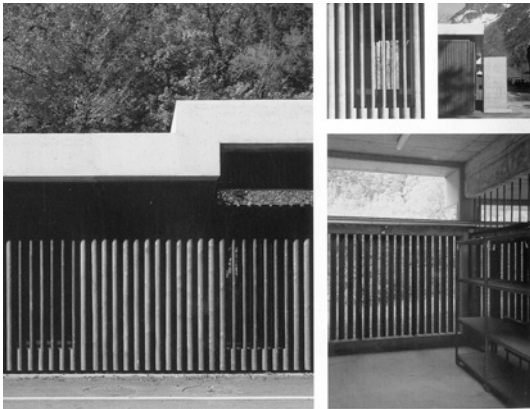
70 Art Box, Museum for the Grothe Collection Herzog & de Meuron HERZORG & DE MEURON 1992-1996	セット数	室数	パラメータの種類及びその階層 1段階 / 2段階 / 3段階	構成類型
	3	29	分1WD / 分2*D, 分1*H	直接部分階層型 (分割 / 分割)



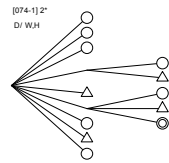
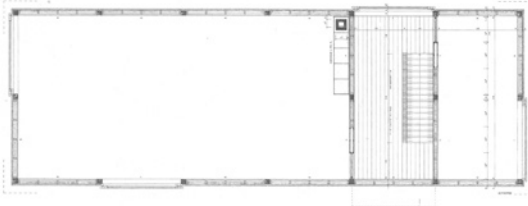
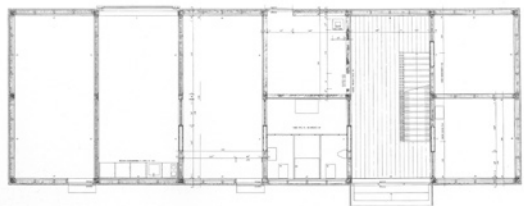
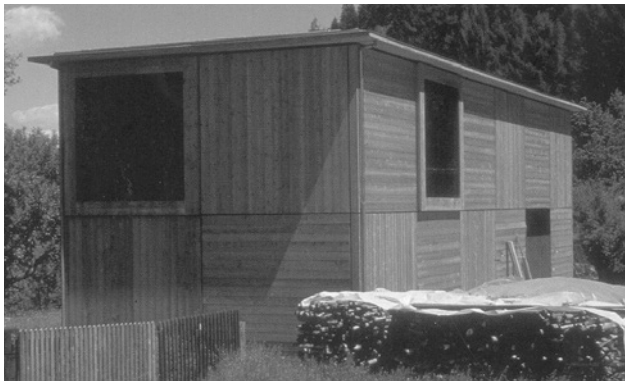
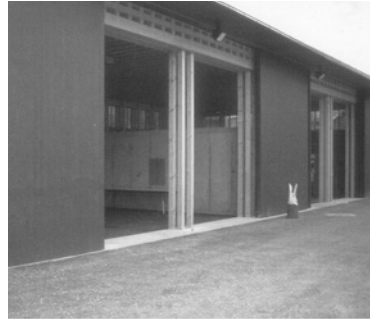
<p>71</p> <p>Cy Twombly Gallery</p> <p>Renzo Piano</p> <p>RENZO PIANO BUILDING WORKSHOP</p> <p>vol.3</p>	<p>セット数</p> <p>1</p>	<p>室数</p> <p>11</p>	<p>パラメータの種類及びその階層</p> <p>1段階 / 2段階 / 3段階</p>	<p>構成類型</p>
			<p>分2D</p>	<p>直接型(分割)</p>



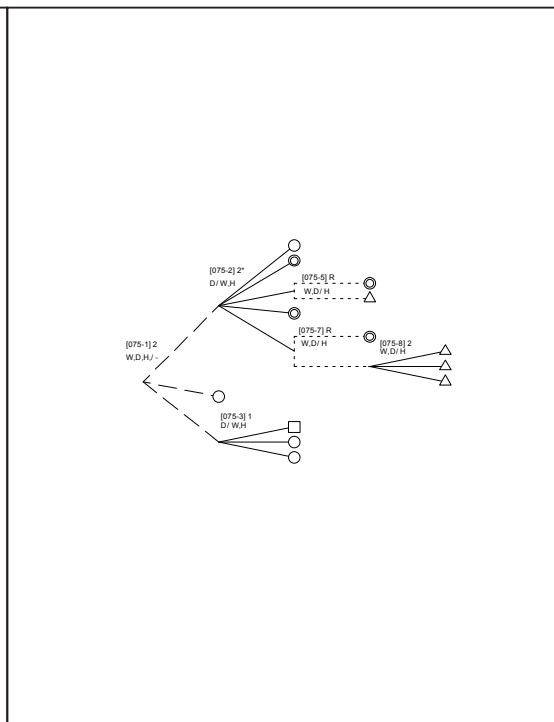
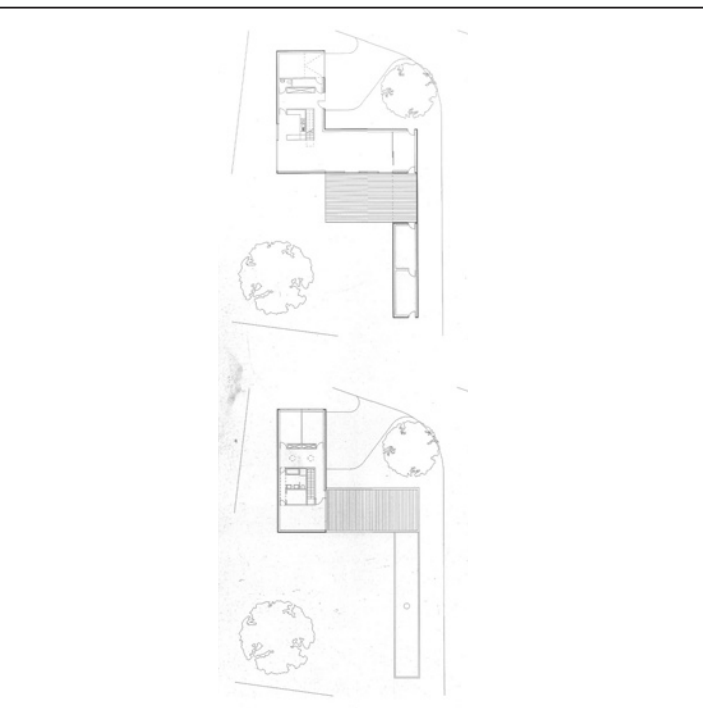
72 House in Tavira Eduardo Souto de Moura 2G 5	セット数 2	室数 17	パラメータの種類及びその階層	構成類型
			1段階 / 2段階 / 3段階	
			接2WDH / 分2WD	直接部分階層型 (接続 / 分割)



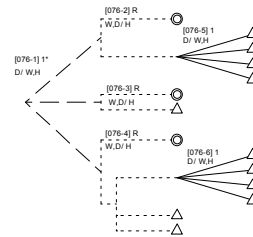
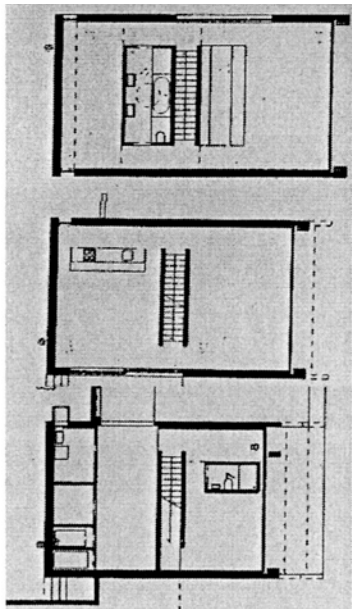
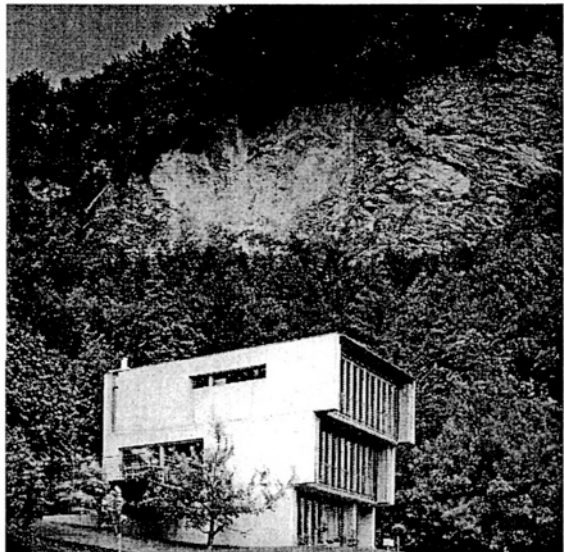
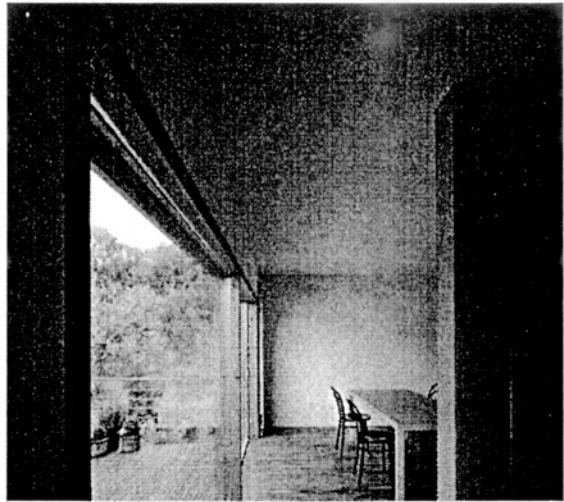
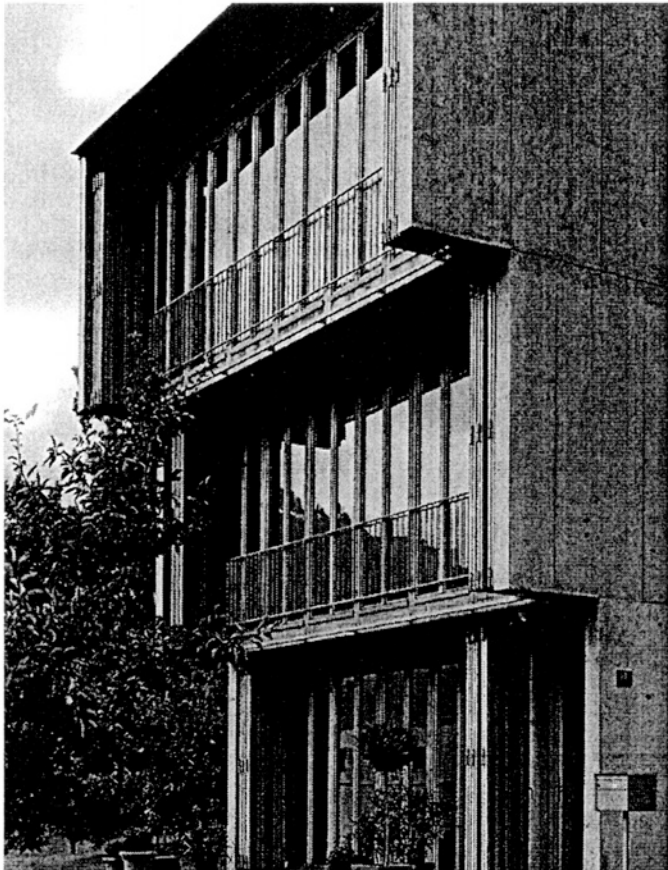
<b>73</b> Operations centre Jungling & Hagmann 2G 14	セット数 3	室数 16	パラメータの種類及びその階層 1 段階 / 2 段階 / 3 段階	構成類型 直接部分階層型 ( 接続 / 分割 )
			接 1DH / 分 1D / 分 1D	



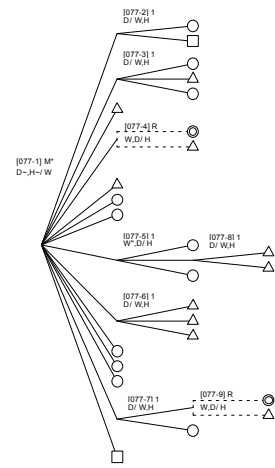
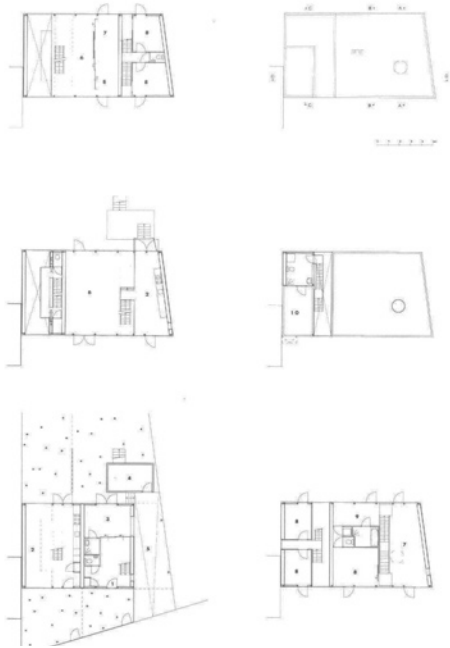
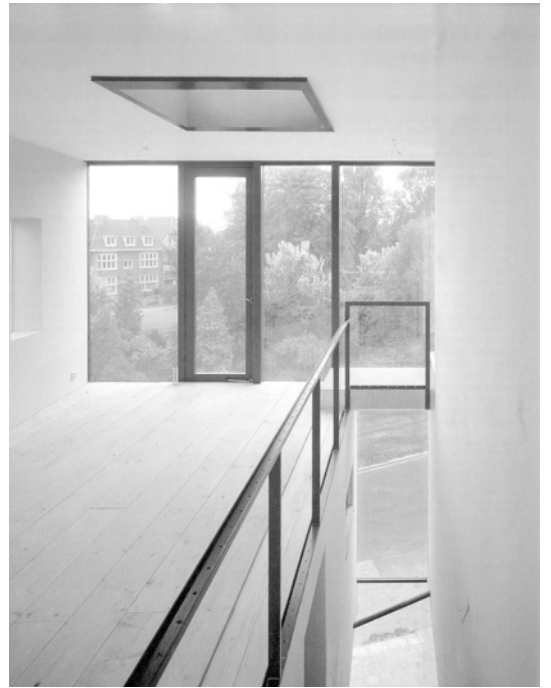
74 Community and Forest Centre, Castrish Gerstlaur & Molne 2G 14	セット数 3	室数 12	パラメータの種類及びその階層	構成類型
			1段階 / 2段階 / 3段階	
			分2*D / 分1D, 分1D	直接部分階層型 (分割 / 分割)



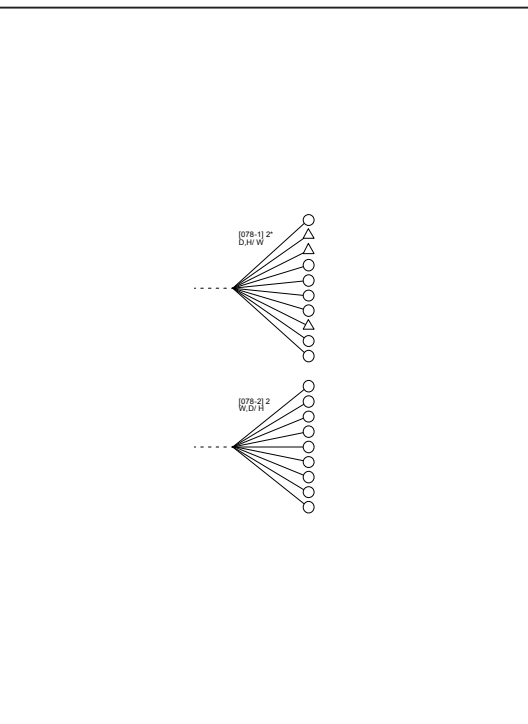
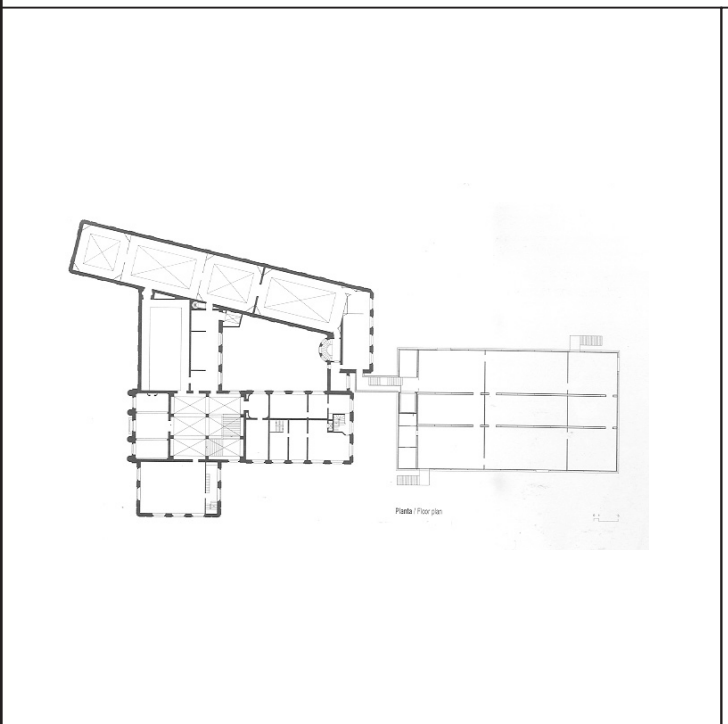
<b>75</b> Ulmer house Baumschlager & Eberle 2G 11	セット数 7	室数 15	パラメータの種類及びその階層 1段階 / 2段階 / 3段階	構成類型
			接 2WDH / 分 2*D, 分 1D / 被 rWD, 被 rWD	類型外



76 Buchel house Baumschlager & Eberle 2G 11	セット数 6	室数 14	パラメータの種類及びその階層	構成類型
			1 段階 / 2 段階 / 3 段階	
			接 1*D / 包 rWD, 包 rWD, 包 rWD / 分 1D, 分 1D	類型外



<b>77</b> Double House Utrecht MVRDV a+u/9804	セット数 9	室数 25	パラメータの種類及びその階層 1 段階 / 2 段階 / 3 段階	構成類型 直接 - 部分間接 階層型 (分割)
			分 M*DH / 分 1D, 分 1D, 包 rWD, 分 1WD, 分 1D, 分 1D / 分 1D, 包 rWD	



78 Extension to the Art Museum Gigon & Guyer Domus/9604	セット数 2	室数 19	パラメータの種類及びその階層 1 段階 / 2 段階 / 3 段階	構成類型
			分 2*DH   分 2WD	類型外

第4章 部位の配列による空間の大きさの比較表現  
(全64作品)

# 凡例

・環境に内在する差異を測る部位の配列

床F：高さの違いで斜面の勾配を測る

壁W：奥行きの違いで敷地境界までの距離を測る

壁Wなど：中庭の奥行き割合で光の量を測る

屋根R：勾配で空（雨）に対応する

・部位の配列における差異の尺度

wi：幅 de：奥行き le：高さ pi：勾配

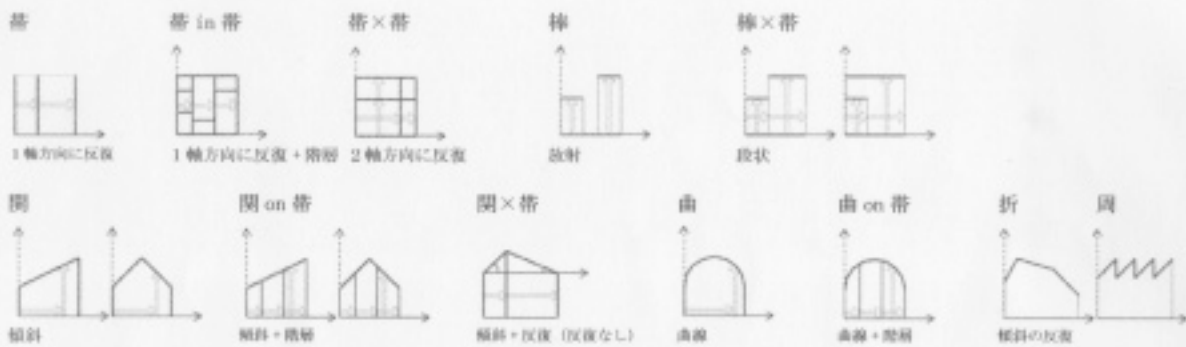
注)放射など同心方向の配列の軸にはr(=radical)を、さらにその中心にはG(=Geometry)を付す。

・環境に内在する差異

斜面 敷地境界 中庭 空

写真

・グラフのボタン（部位の配列と尺度の関係）

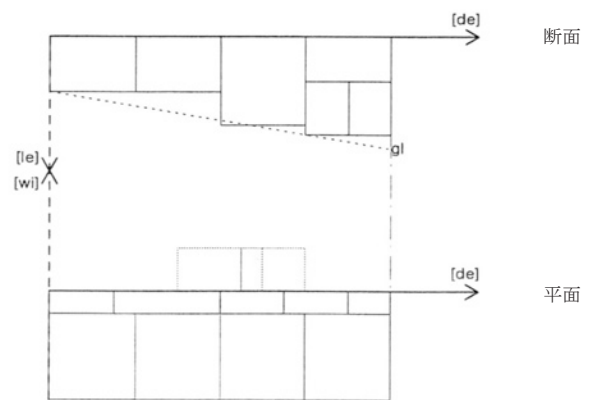
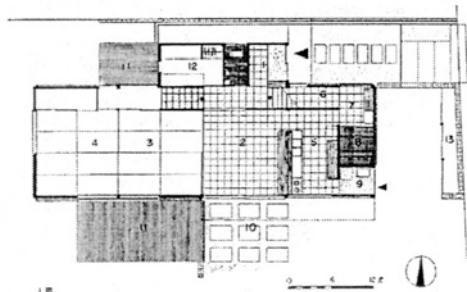
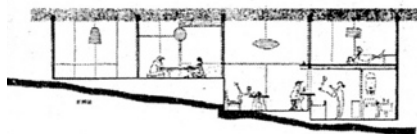
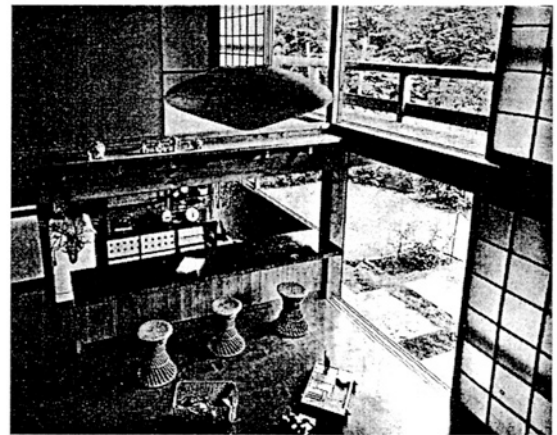
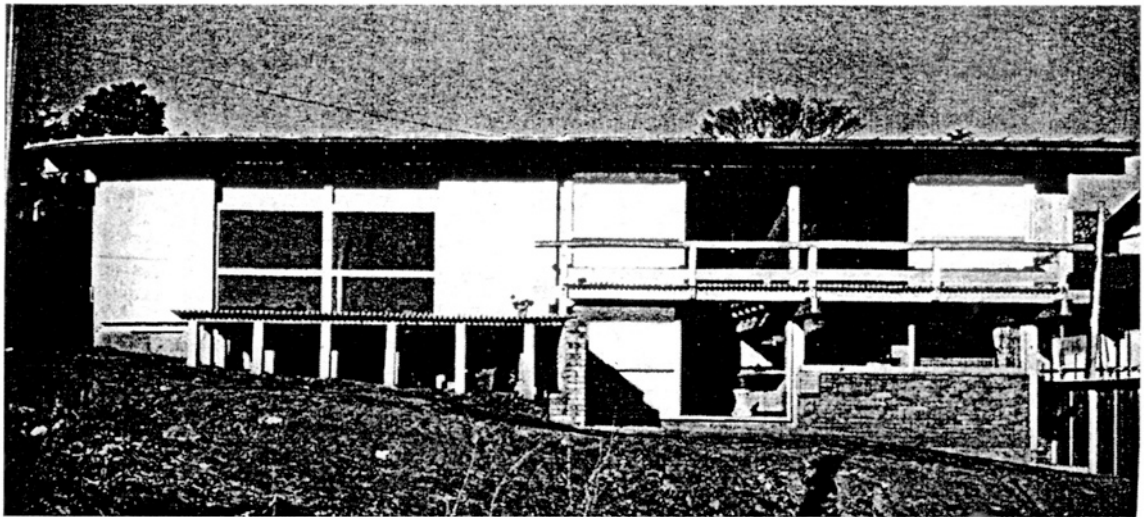


平面図  
断面図

グラフ

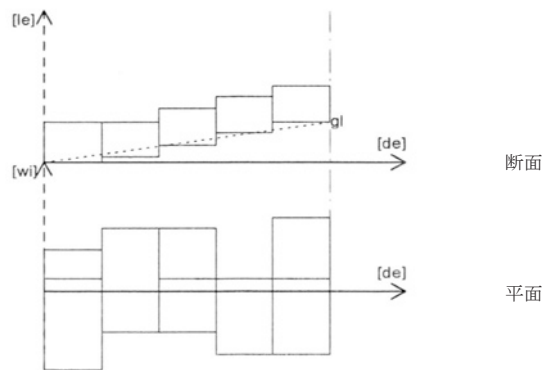
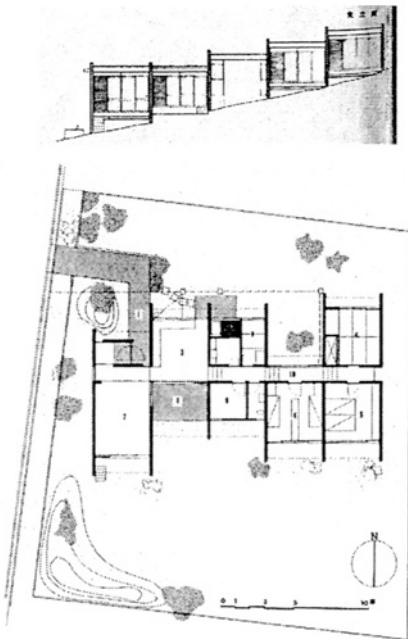
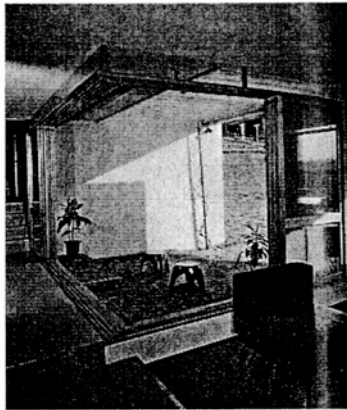
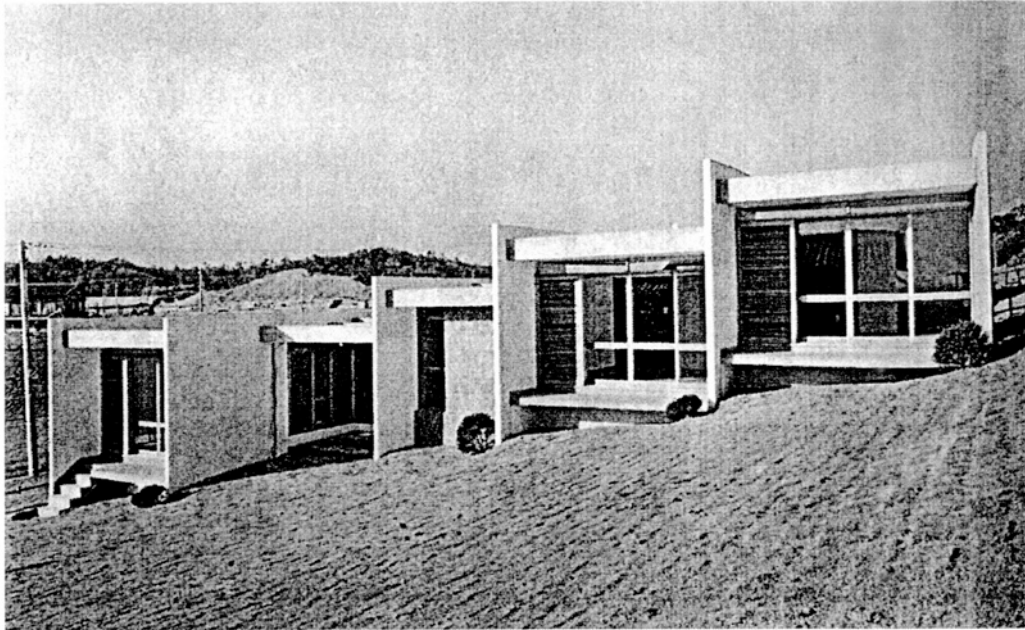
グラフ（位置情報軸：———→ / 量情報軸：----->）

作品番号		位置の基準			量の比較			ボタン	タイプ
		部位	尺度	環境	部位	尺度	尺度		
作品名	平面								
建築家名	断面								
掲載誌									



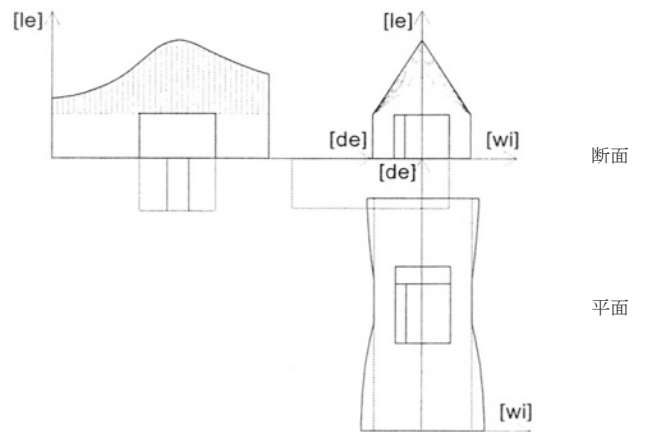
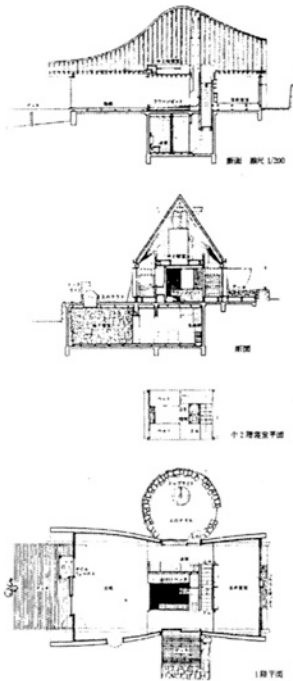
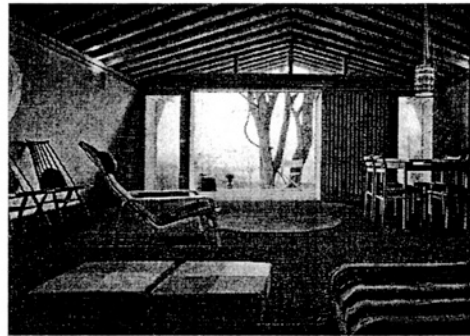
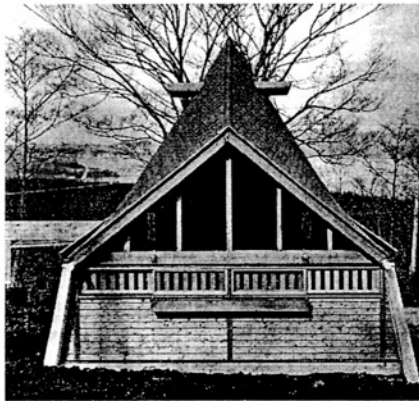
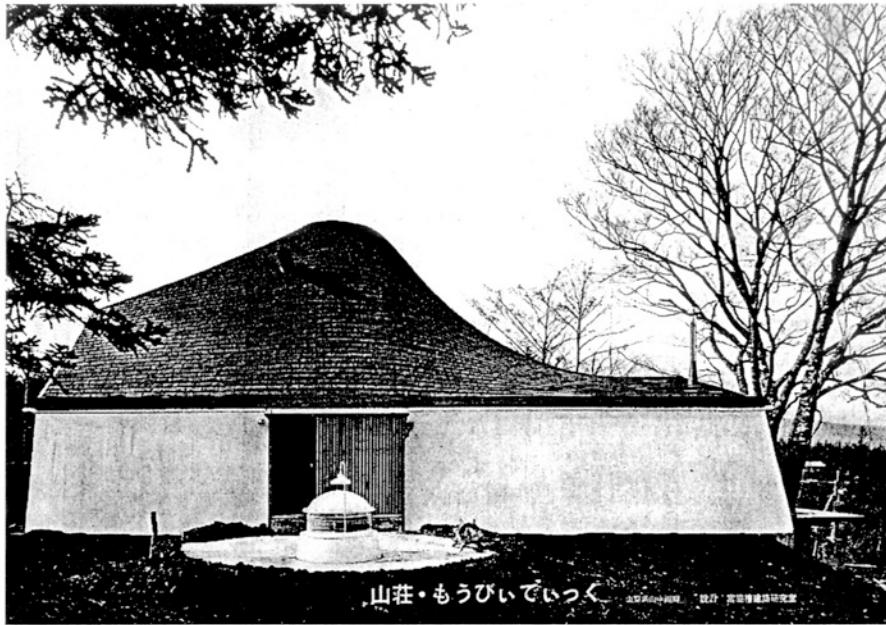
グラフ (位置情報軸: ———→ / 量情報軸: - - - - ->)

<p>1</p> <p>傾斜地に建つ家</p> <p>林雅子</p> <p>新建築 / 5809</p>	位置の基準			量の比較			バタン	タイプ
	部位	尺度	環境	部位	尺度	尺度		
	平面	W	[de]					帯
断面	W	[de]		F	[le]	斜面	棒×帯	



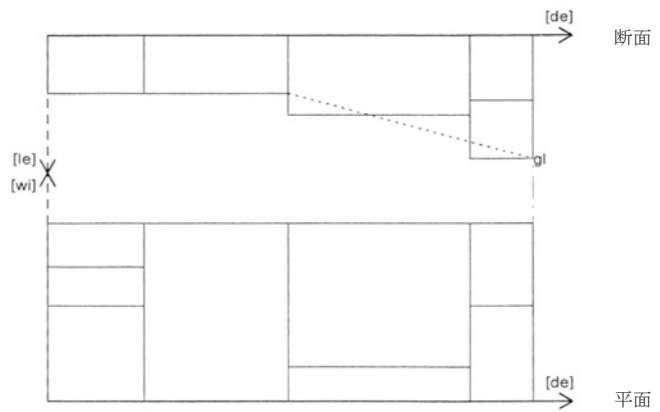
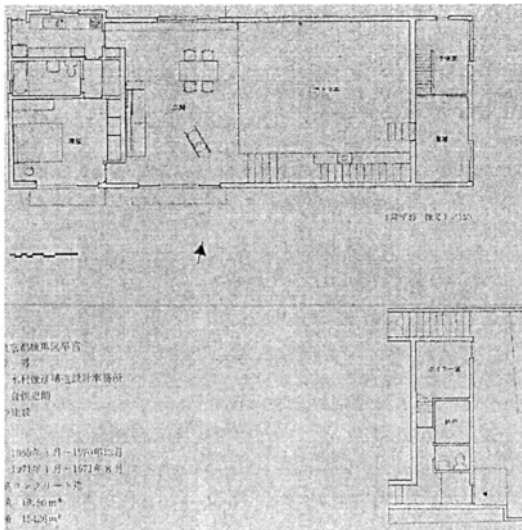
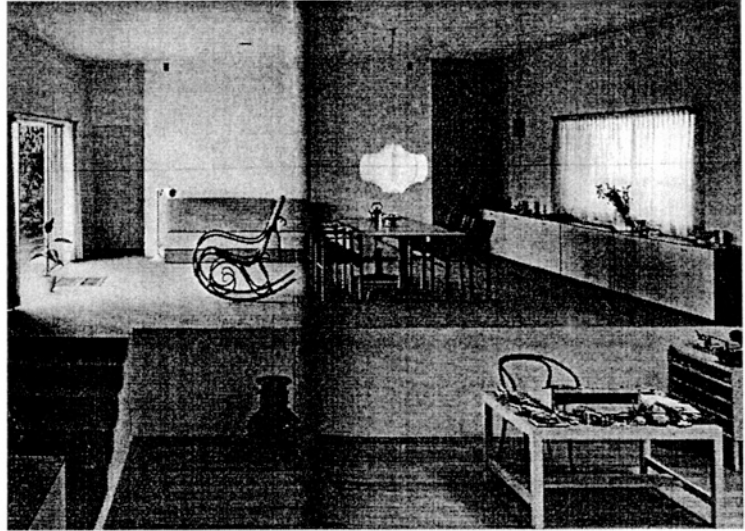
グラフ (位置情報軸 : ———→ / 量情報軸 : - - - - ->)

2 ユニットプランの住宅 坂倉準三 新建築 / 6306		位置の基準			量の比較			パタン	タイプ
		部位	尺度	環境	部位	尺度	環境		
	平面	W	[de]		W	[wi]		棒×帯	⑩
断面	W	[de]		F	[le]	斜面	帯 棒×帯		



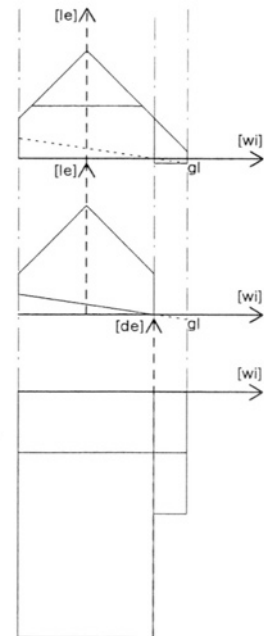
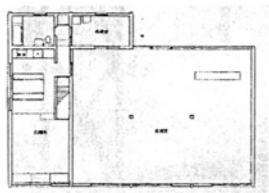
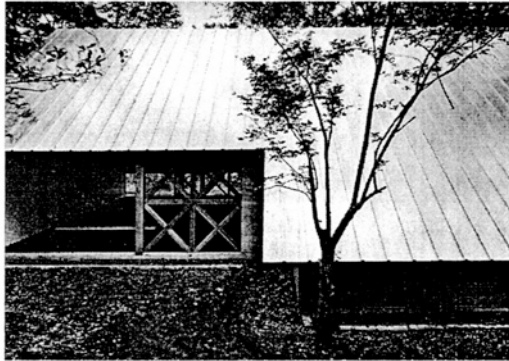
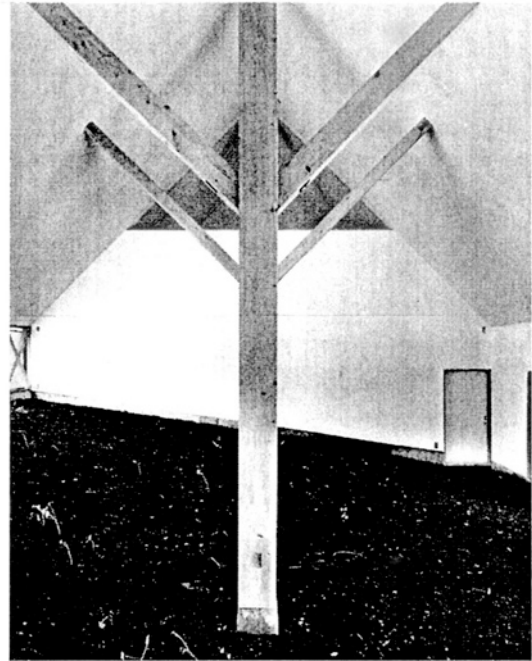
グラフ (位置情報軸: ———→ / 量情報軸: - - - - ->)

3 山荘・もうびいでいっく 宮脇檀 新建築 / 6701		位置の基準			量の比較			ボタン	タイプ
		部位	尺度	環境	部位	尺度	環境		
	平面	W	[de]		W	[wi]		曲	⑨
	断面	W	[wi]	斜面	R	[le]	空	関	
		W	[de]	斜面	R	[le]	空	曲 on 帯	



グラフ (位置情報軸: ———→ / 量情報軸: - - - - ->)

4 海の階段 篠原一男 新建築 / 7207		位置の基準			量の比較			パターン	タイプ
		部位	尺度	環境	部位	尺度	環境		
	平面	W	[de]		W	[wi]		帯 in 帯	①
断面	W	[de]		F	[le]	斜面	棒×帯		

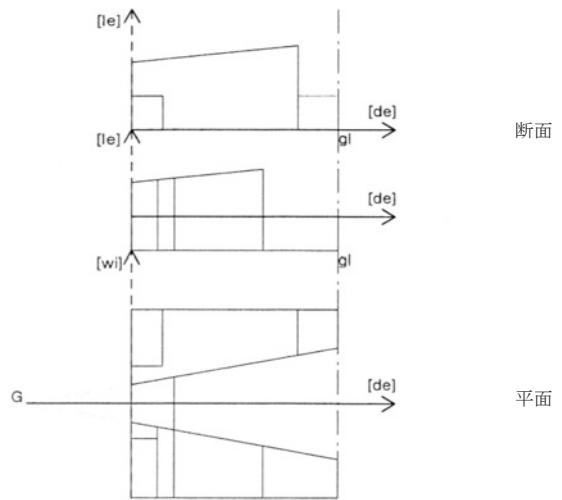
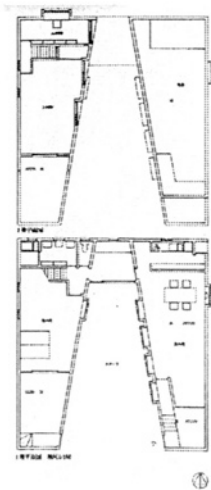
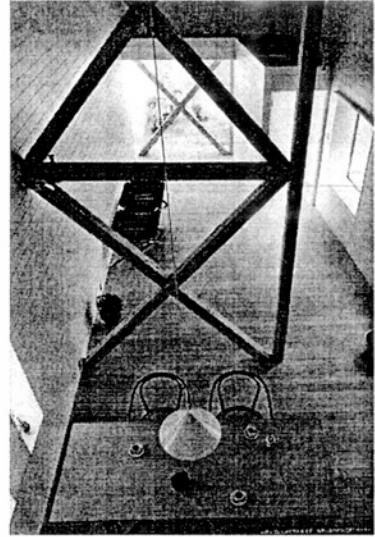
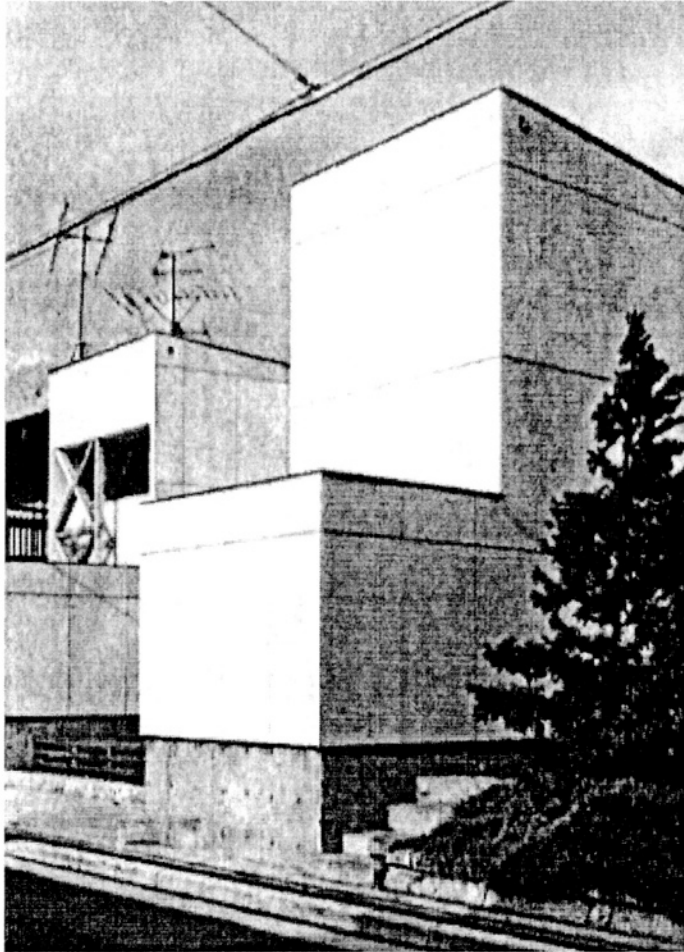


断面

平面

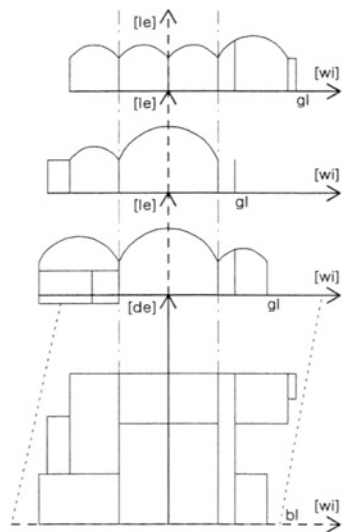
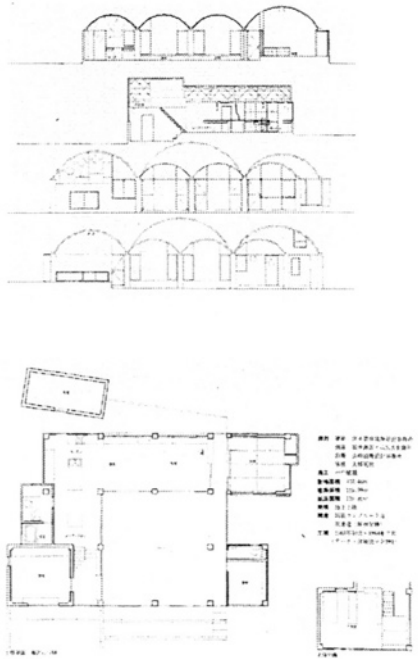
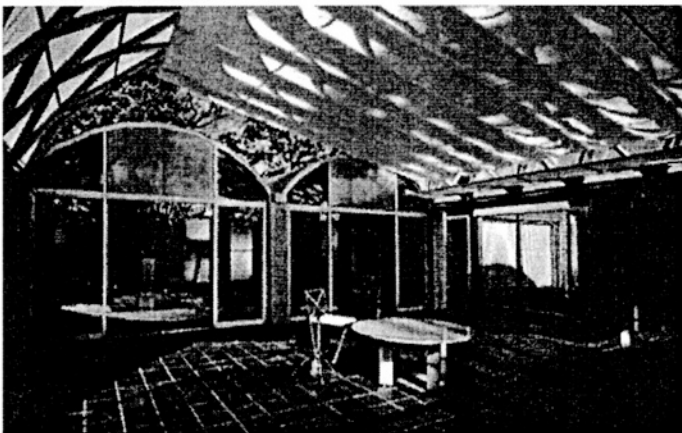
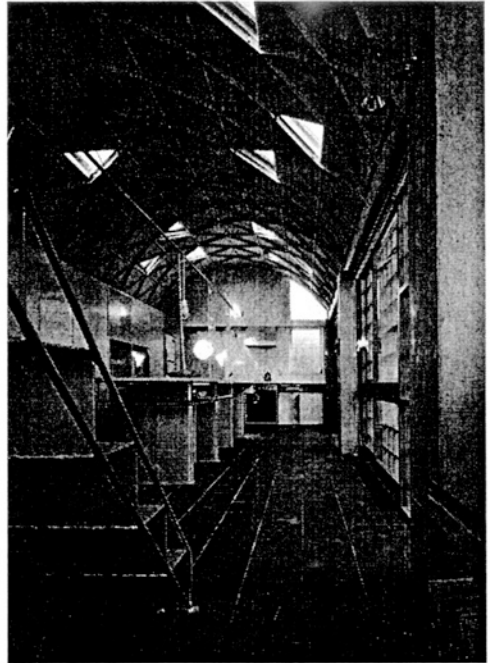
グラフ (位置情報軸: ———→ / 量情報軸: - - - - ->)

<p>5</p> <p>谷川さんの家</p> <p>篠原一男</p> <p>新建築 / 7510</p>		位置の基準			量の比較			バタン	タイプ
		部位	尺度	環境	部位	尺度	環境		
	平面	W	[wi]		W	[de]		帯×帯	
断面	W	[wi]		R	[le]	空	開	開	
		W	[wi]	斜面	F	[le]			



グラフ (位置情報軸 : ———→ / 量情報軸 : - - - - ->)

6 鴨居の家 長谷川逸子 新建築 / 7602		位置の基準			量の比較			パタン	タイプ
		部位	尺度	環境	部位	尺度	環境		
	平面	W	[de]		W	[wi]		関 on 帯	⑥
	断面	W	[de]	斜面	R	[le]	空	関 on 帯	
	W	[de]		R	[le]	空	関 on 帯		
		W	[de]		F, R	[le]	帯×帯		

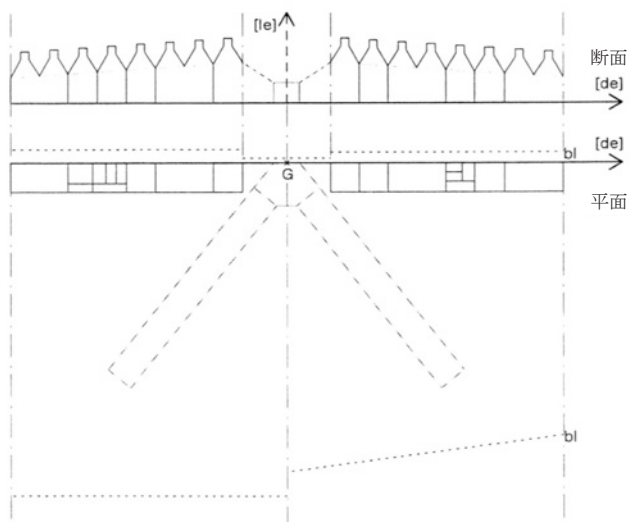
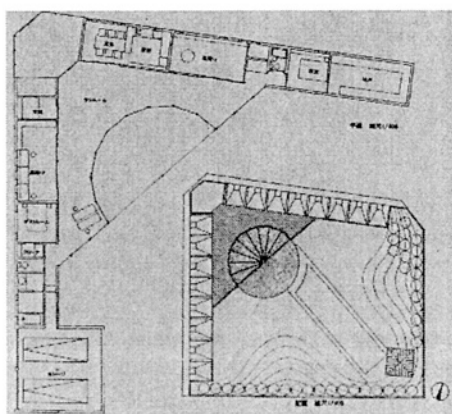
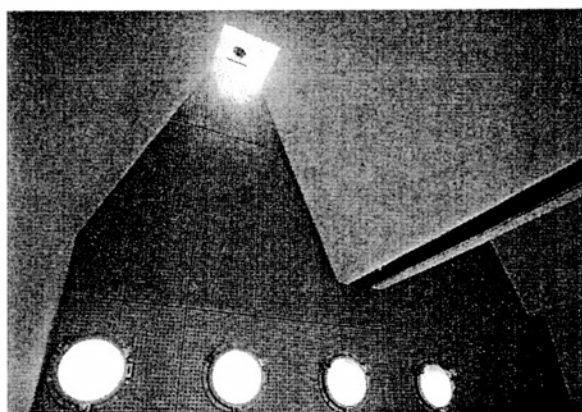
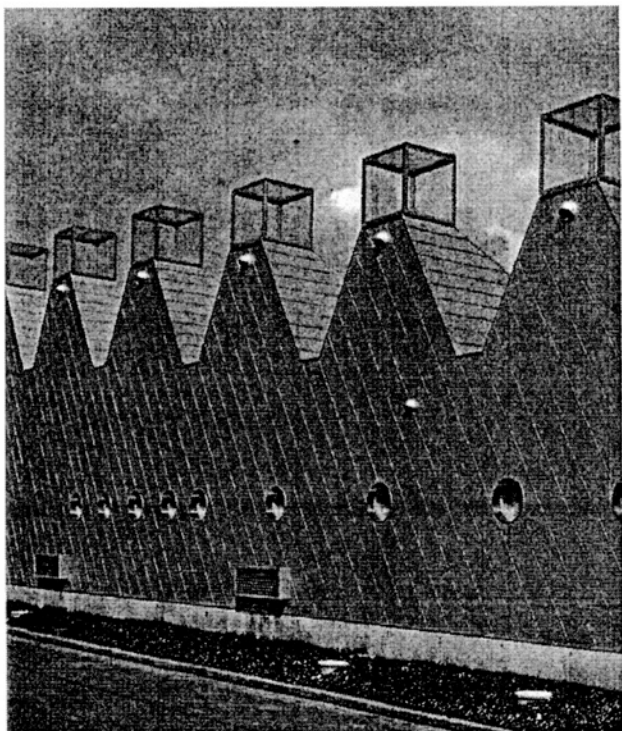


断面

平面

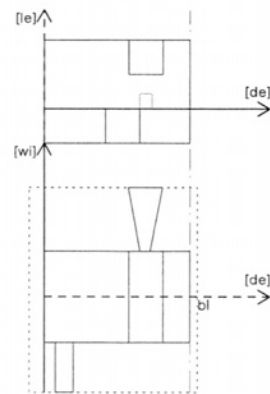
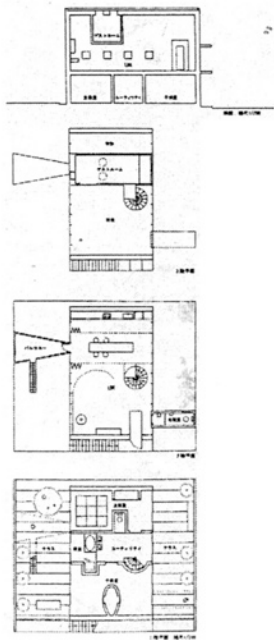
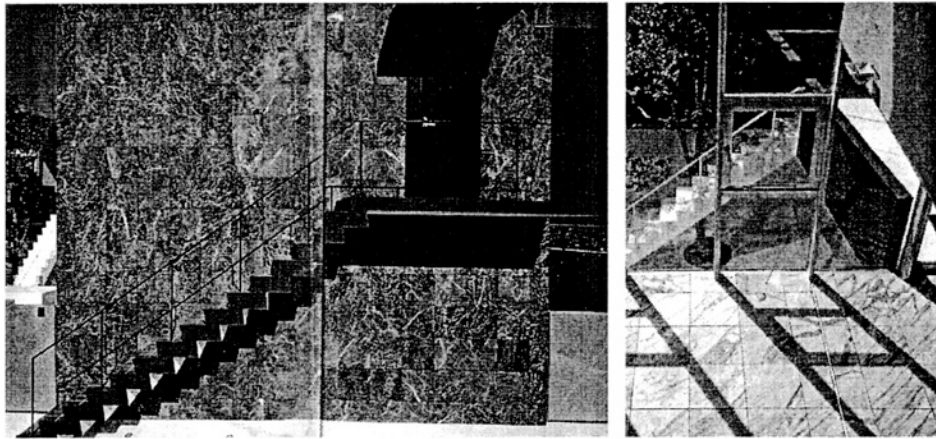
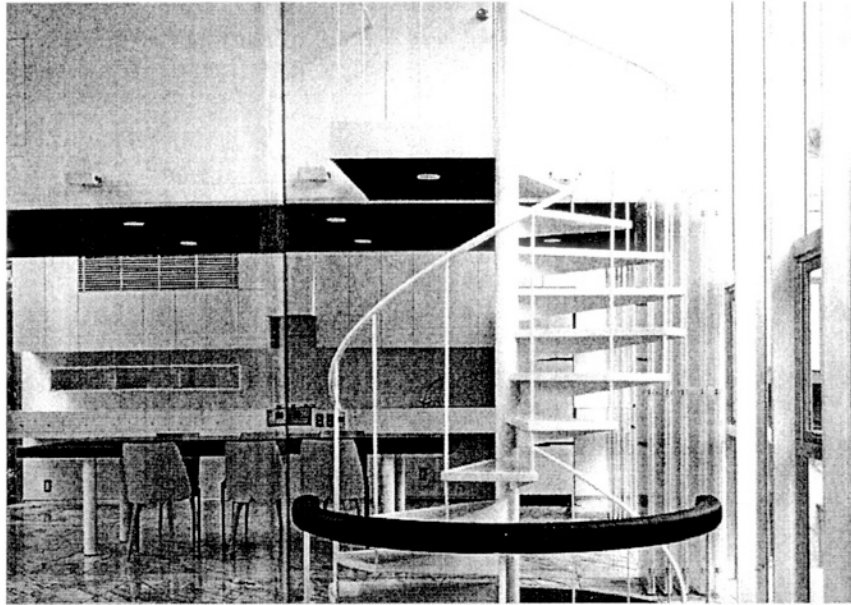
グラフ (位置情報軸: ———→ / 量情報軸: - - - - ->)

7	位置の基準			量の比較			パタン	タイプ
	部位	尺度	環境	部位	尺度	環境		
シルバーハット 伊東豊雄 新建築 / 8501	平面	W	[de]	敷地境界	W	[wi]	棒×帯	⑤
		W	[de]		W	[de]		
W	[de]	敷地境界	W		[wi]	棒×帯		
断面	W	[wi]	斜面	R	[le]	空	曲×4	
	W	[wi]	斜面	R	[le]	空	曲×2	
	W	[wi]	斜面	R	[le]	空	曲×3	



グラフ (位置情報軸 : ———→ / 量情報軸 : - - - - ->)

8 熊本の住宅 長谷川逸子 新建築住宅特集 /8701		位置の基準			量の比較			パターン	タイプ
		部位	尺度	環境	部位	尺度	環境		
	平面	W	[de]					帯	
断面	W	[de]	斜面	R	[le]	空	周		

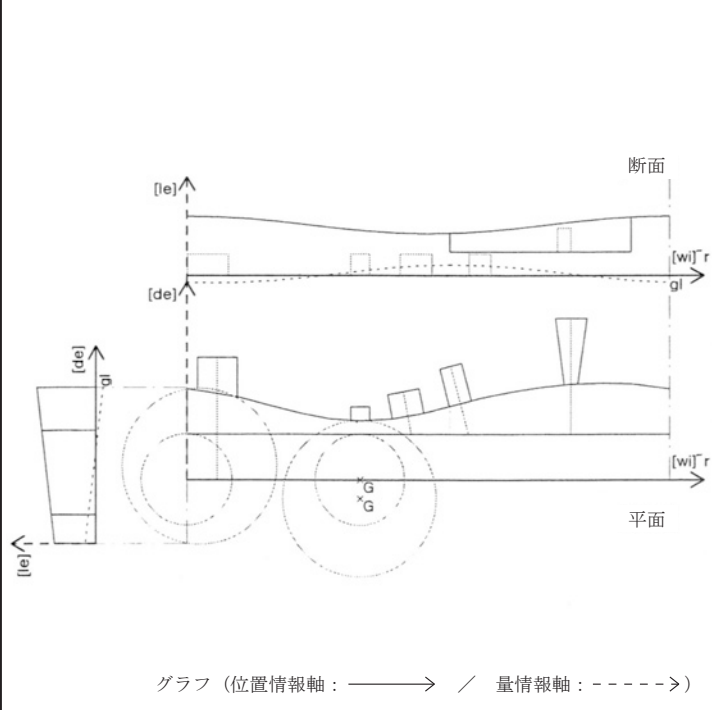
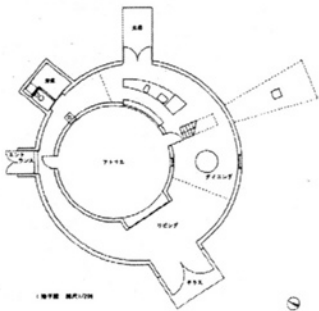
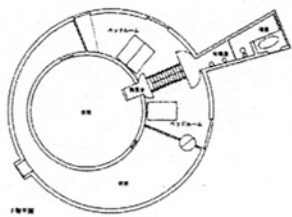
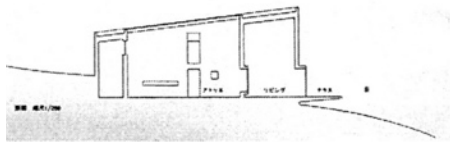
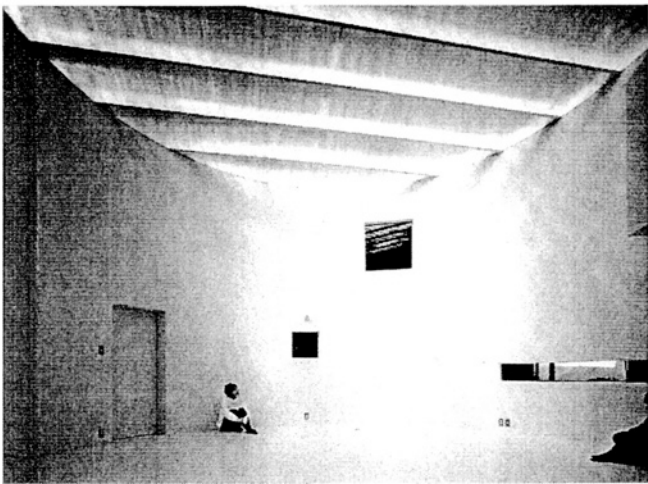
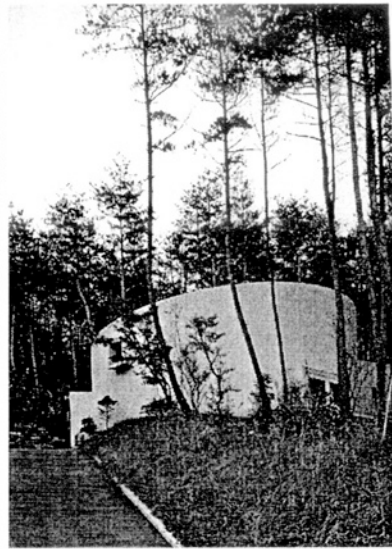
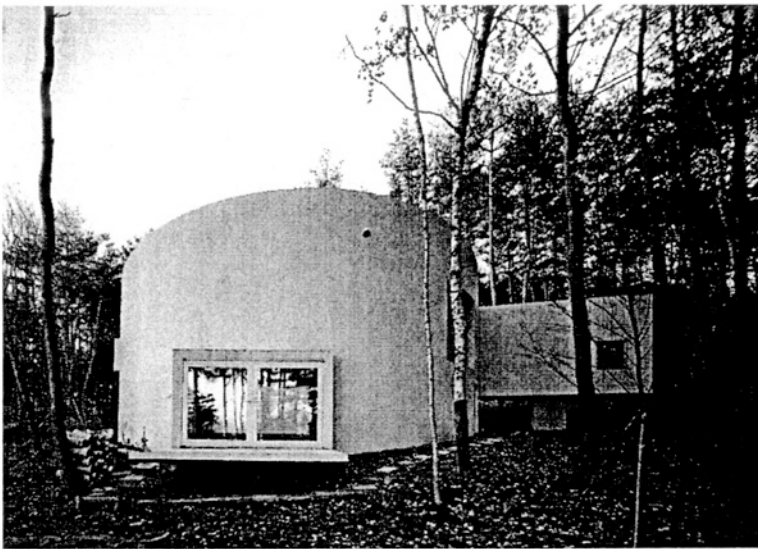


断面

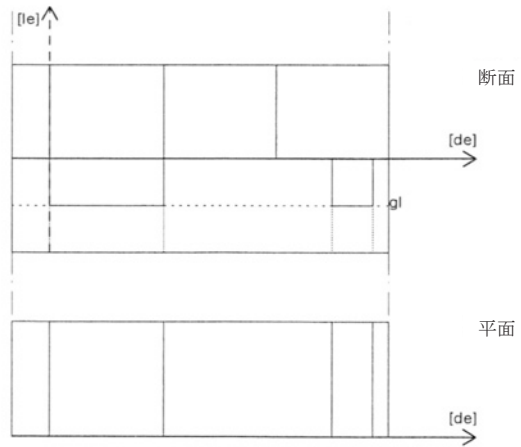
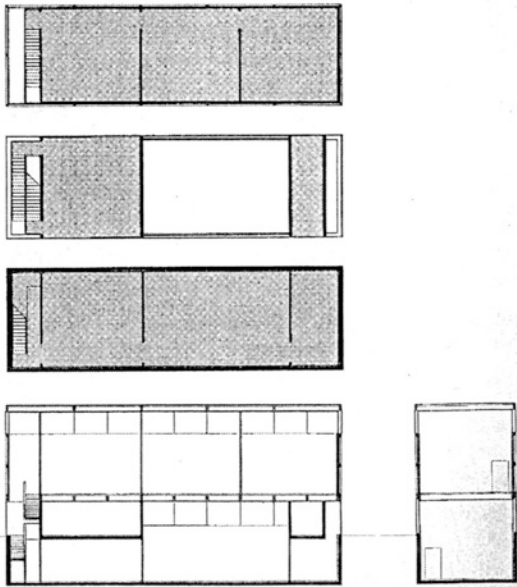
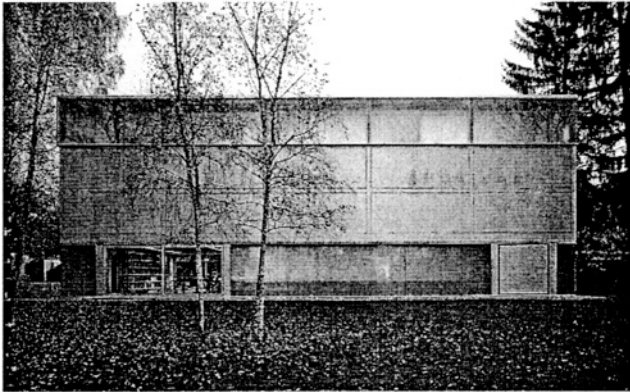
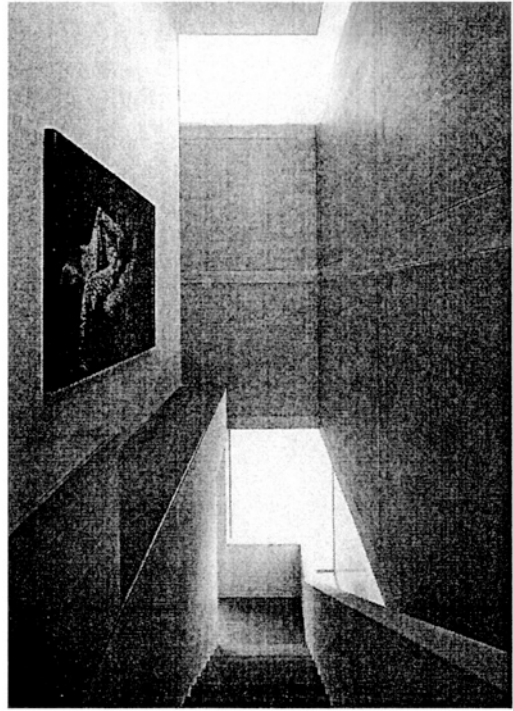
平面

グラフ (位置情報軸: ———→ / 量情報軸: - - - - ->)

<p>9</p> <p>Y-HOUSE</p> <p>妹島和世</p> <p>新建築住宅特集 /9405</p>		位置の基準			量の比較			パタン	タイプ
		部位	尺度	環境	部位	尺度	環境		
	平面	W	[wi]	敷地境界	W	[de]		帯 in 帯	
	断面	W	[de]		F	[le]		棒×帯	
		W	[de]	斜面				帯	

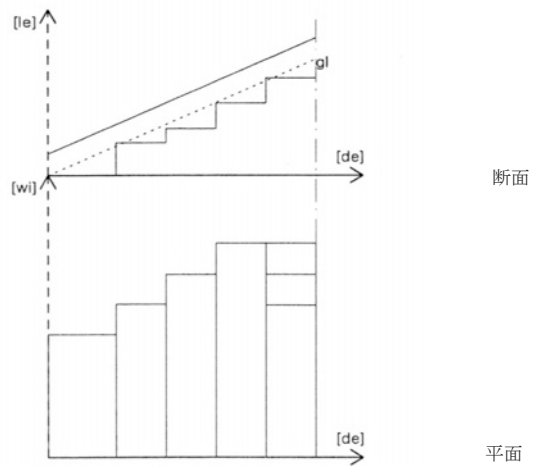
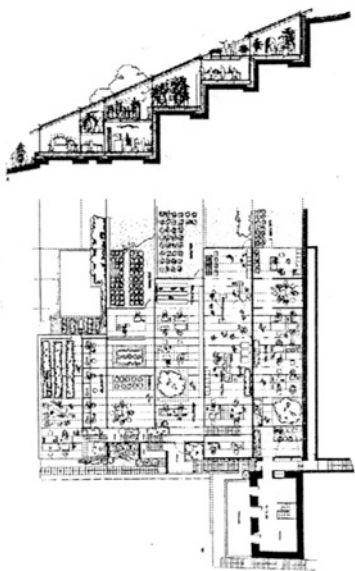
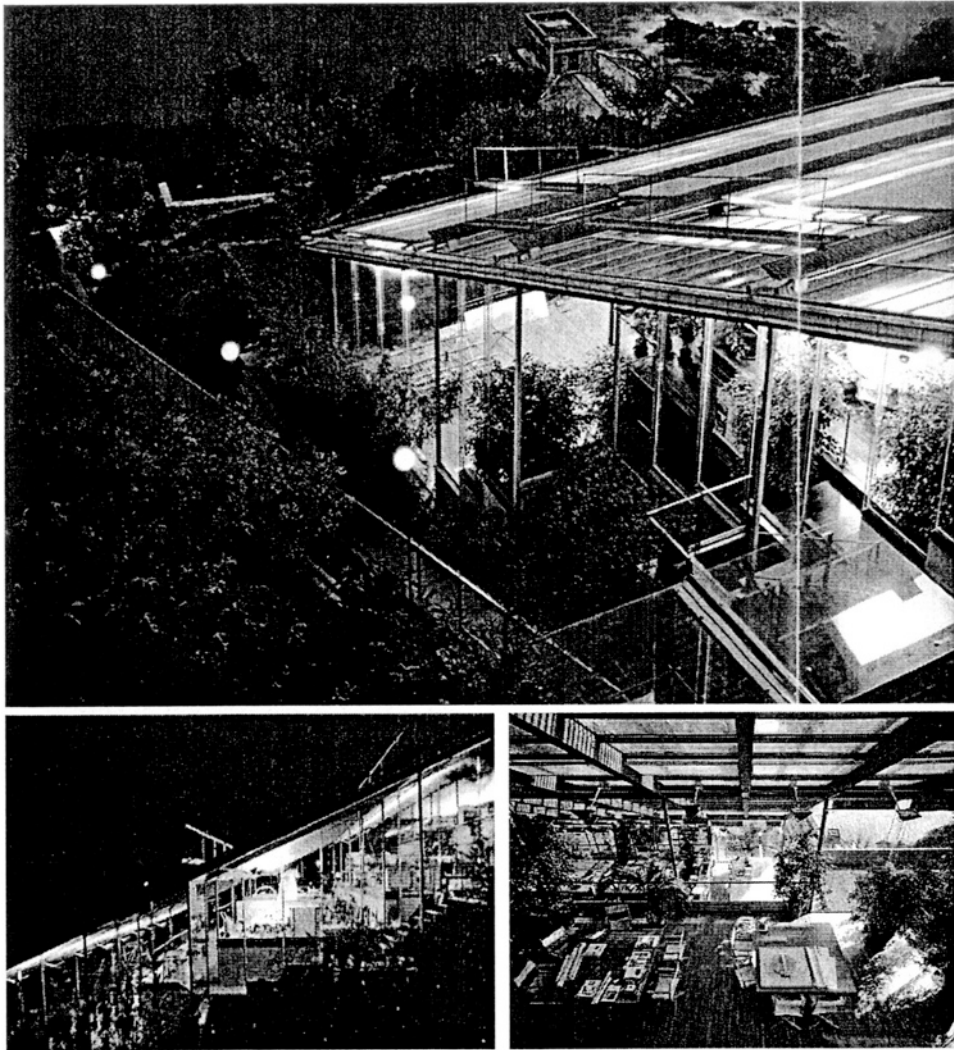


10 森の別荘 妹島和世 新建築住宅特集 /9405	位置の基準			量の比較			パターン	タイプ
	部位	尺度	環境	部位	尺度	環境		
	平面	W	[wi~r] G	斜面	W	[de]	中庭	樺 曲 樺
		W	[wi~r]		W	[de]		
断面	W	[de]	R		[le]	空	関 on 帯 樺×帯	
W	[wi~r]	F	[le]	斜面				
								⑫



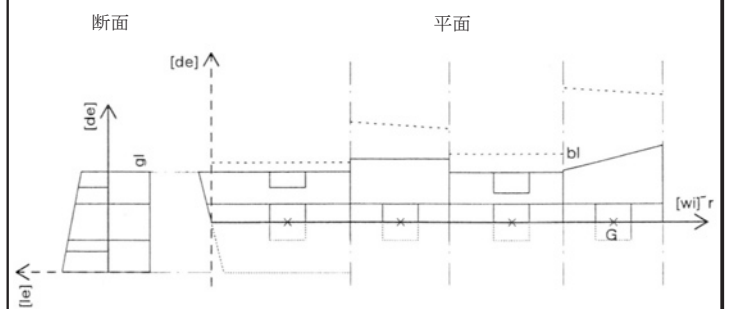
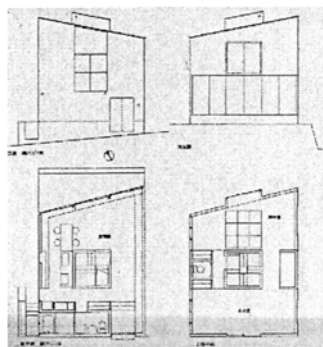
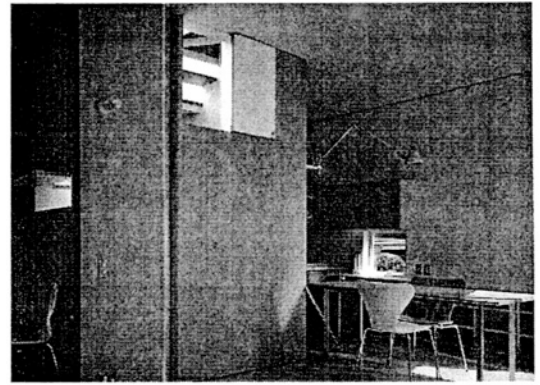
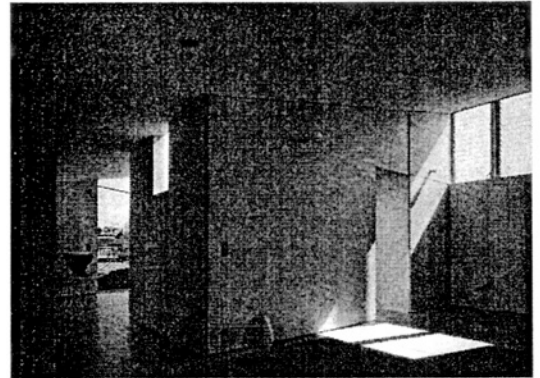
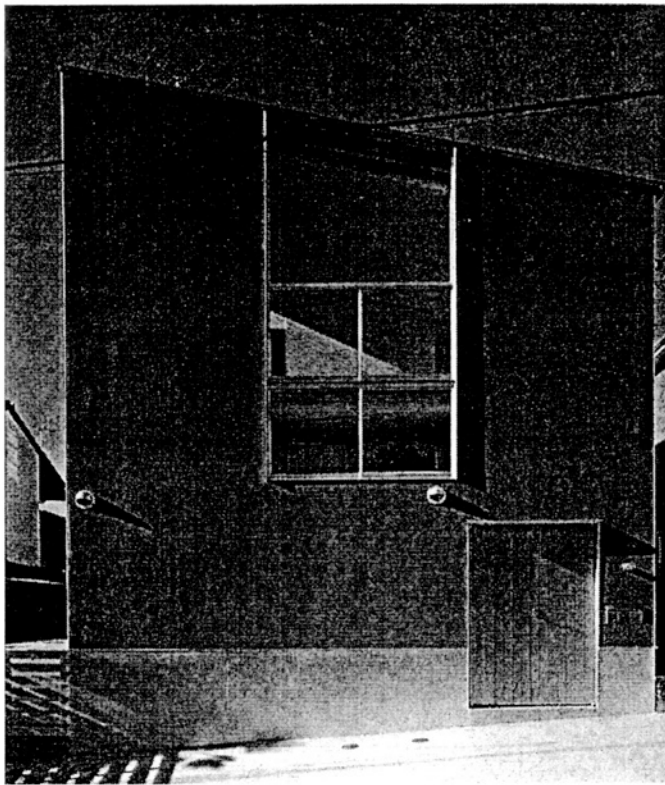
グラフ (位置情報軸: ———→ / 量情報軸: - - - - ->)

<p>11</p> <p>Goetz art gallery</p> <p>Herzog&amp;de Meuron</p> <p>都市と建築 (a+) / 9509</p>		位置の基準			量の比較			バタン	タイプ
		部位	尺度	環境	部位	尺度	環境		
	平面	W	[de]					帯	
	断面	W	[de]		F	[le]	斜面	棒×帯 帯	



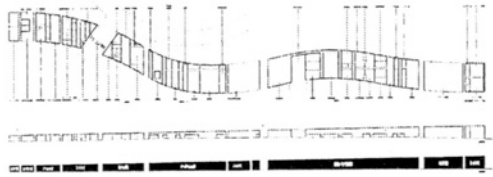
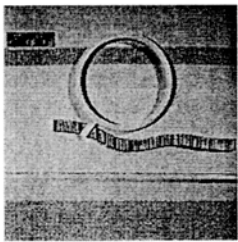
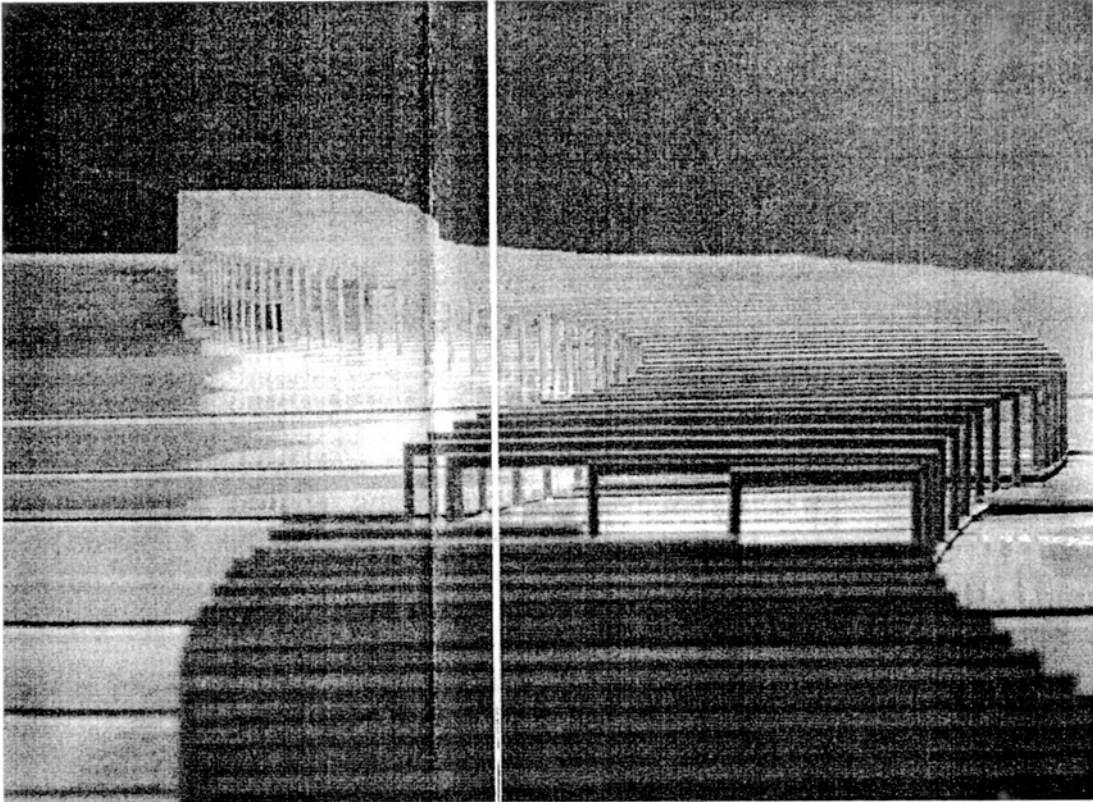
グラフ (位置情報軸: ———→ / 量情報軸: - - - - -→)

12 UNESCO Laboratory-workshop Renzo Piano Architectural Review/9509		位置の基準			量の比較			パタン	タイプ
		部位	尺度	環境	部位	尺度	環境		
	平面	W	[de]		W	[wi]		棒×帯	①
断面	W	[de]		R	[le]	空	開		
		W	[de]	斜面	F	[le]	棒×帯		



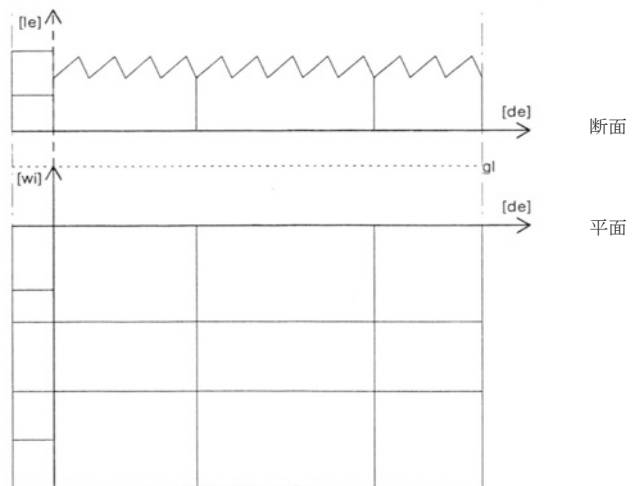
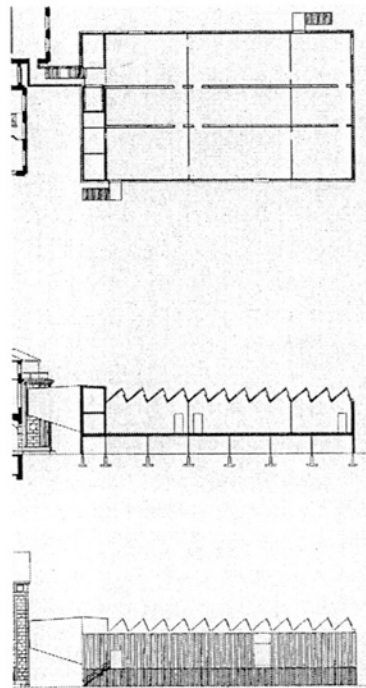
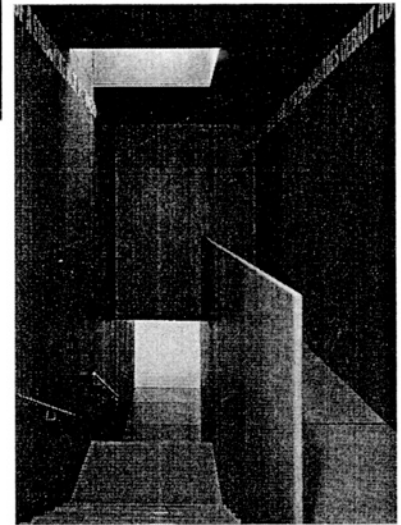
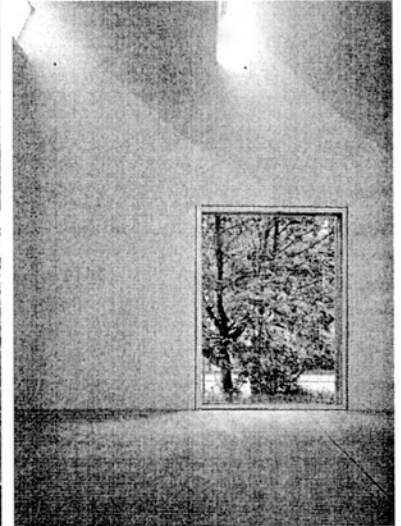
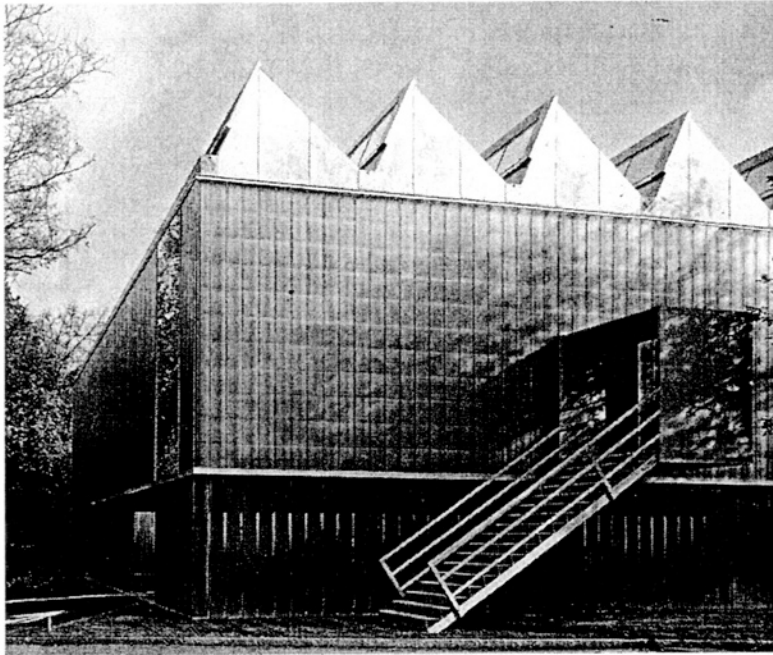
グラフ (位置情報軸: ———→ / 量情報軸: - - - - ->)

<p>13</p> <p>本町田の住宅</p> <p>DESK5</p> <p>新建築住宅特集 / 9510</p>	位置の基準			量の比較			パターン	タイプ	
	部位	尺度	環境	部位	尺度	環境			
	平面	W	[wi~r] G		W	[de]		棒 閉 棒×帯	⑫
		W	[wi~r]		W	[de]			
断面	W	[de]		R	[le]	空	開 on 帯 棒×帯		
	W	[de]		F	[le]				



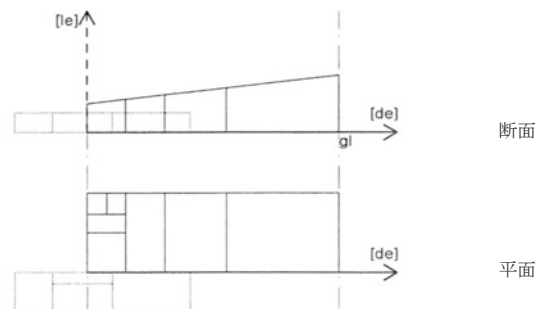
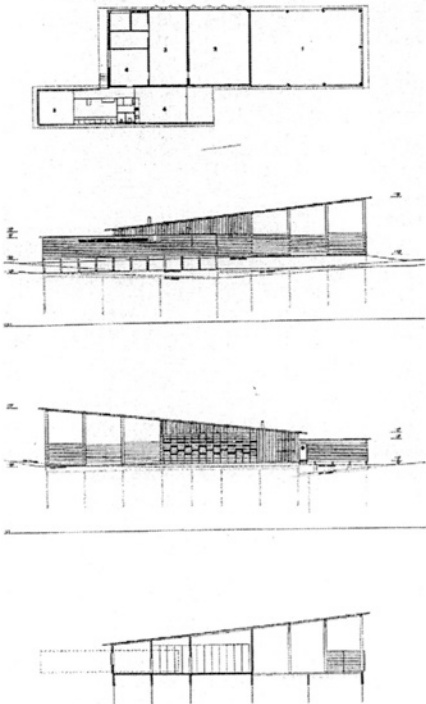
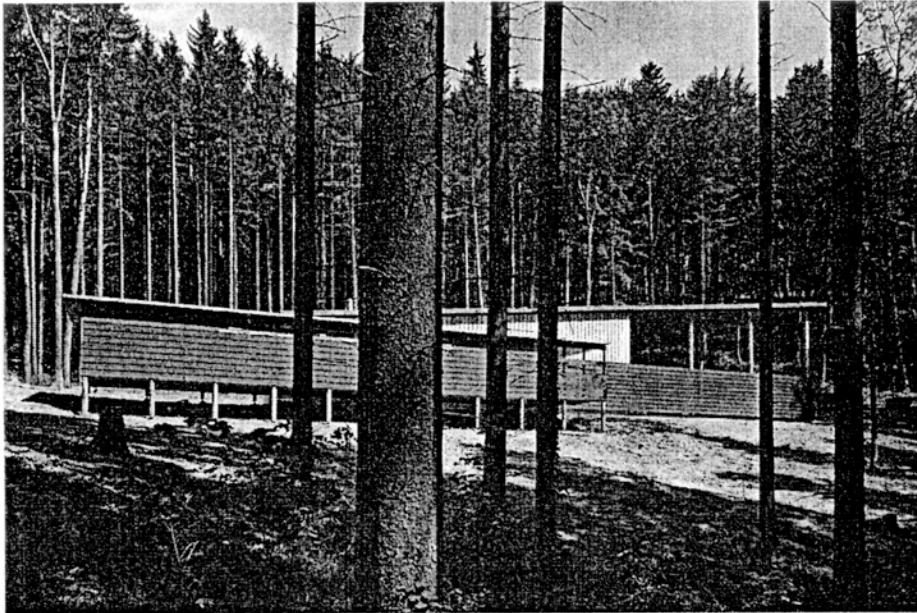
グラフ（位置情報軸：——→ / 量情報軸：----->）

14 都市博警消センター棟 妹島和世 建築文化 / 9601		位置の基準			量の比較			パターン	タイプ
		部位	尺度	環境	部位	尺度	環境		
	平面	W W	[de] [de]		W W	[wi] [wi]		帯 in 帯 関	
断面	W W W	[wi] [de] [de]		R F	[le] [le]	空	帯 関 on 帯 棒×帯		



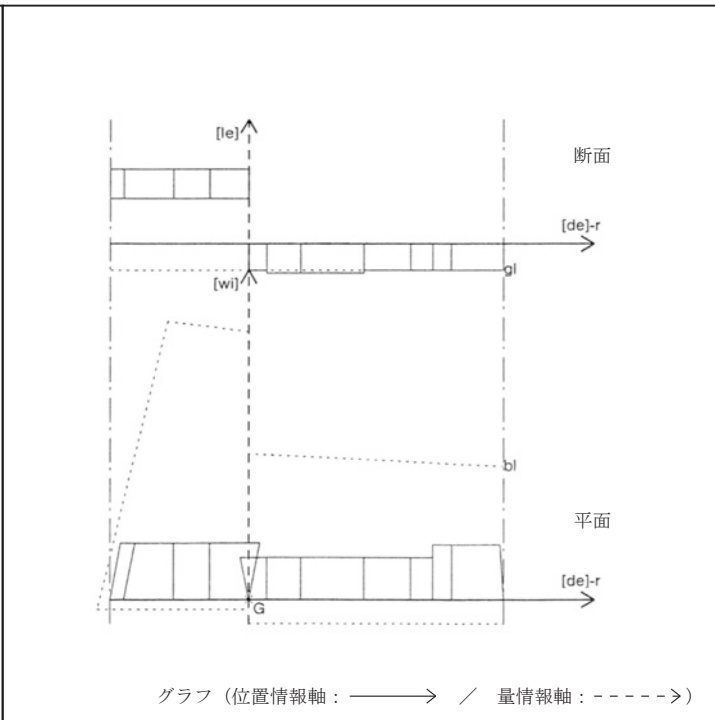
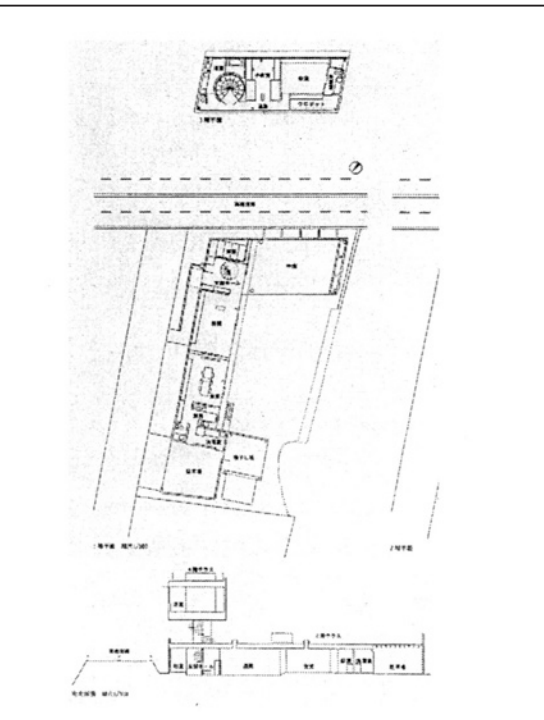
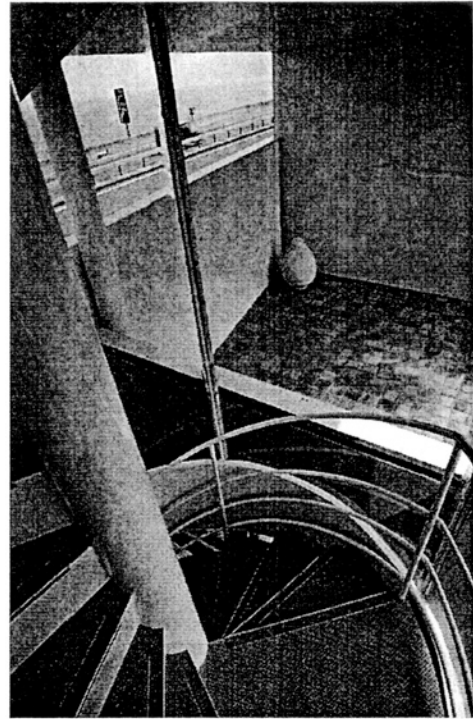
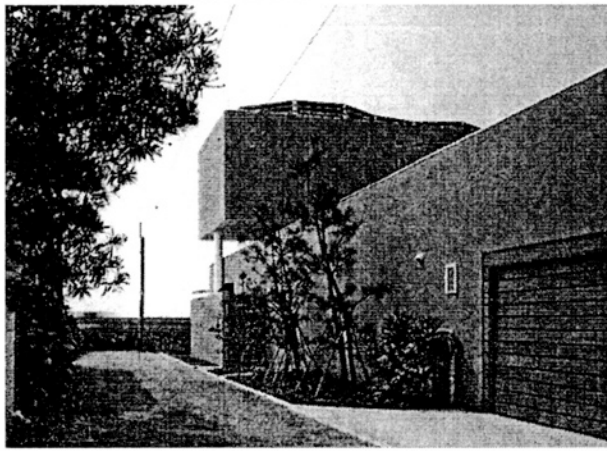
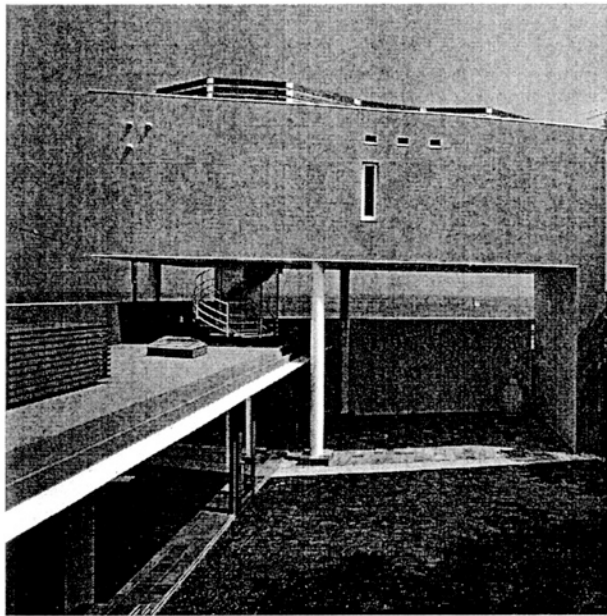
グラフ (位置情報軸: ———→ / 量情報軸: - - - - ->)

<p>15</p> <p>Winterthur Museum of Modern Art</p> <p>Gigon&amp;Guyer</p> <p>都市と建築 (a+u)/9604</p>		位置の基準			量の比較			バタン	タイプ
		部位	尺度	環境	部位	尺度	環境		
	平面	W	[de]		W	[wi]		帯×帯	
断面	W	[de]		R	[le]	空	周帯		
		F	[le]						

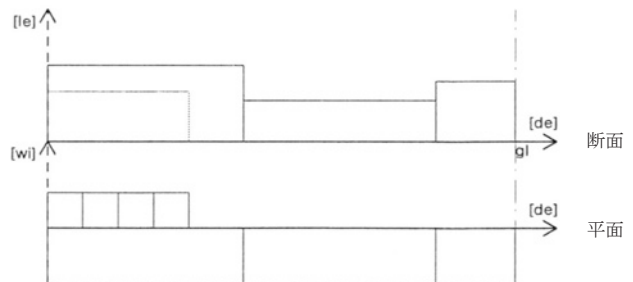
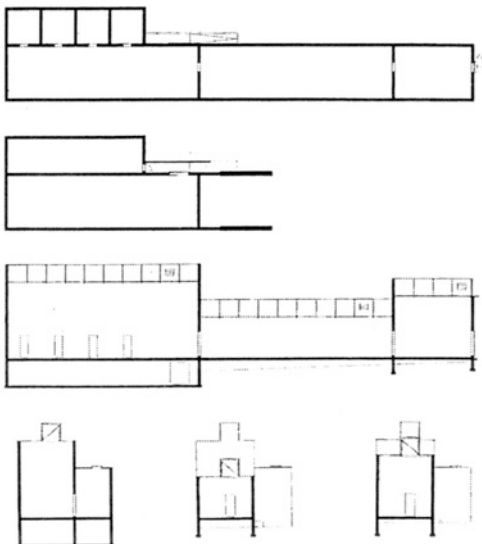
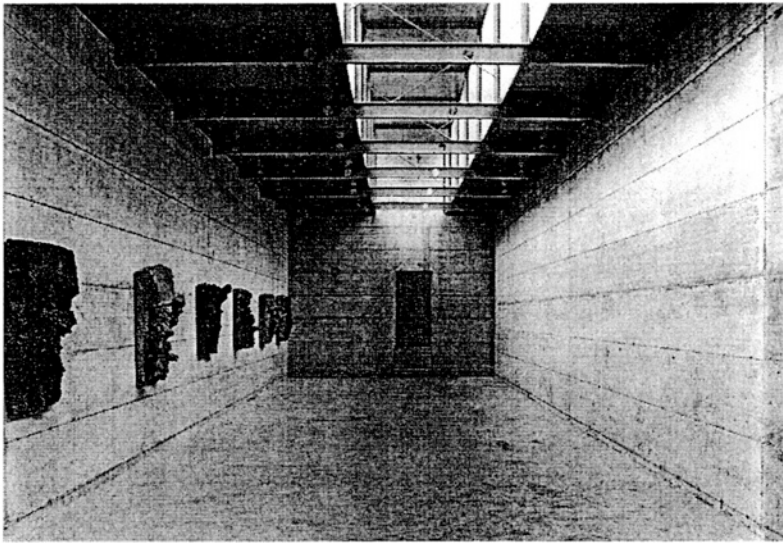
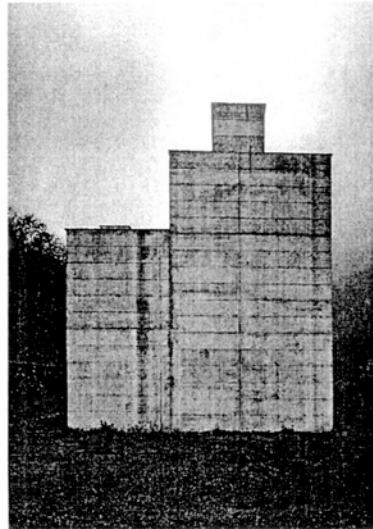
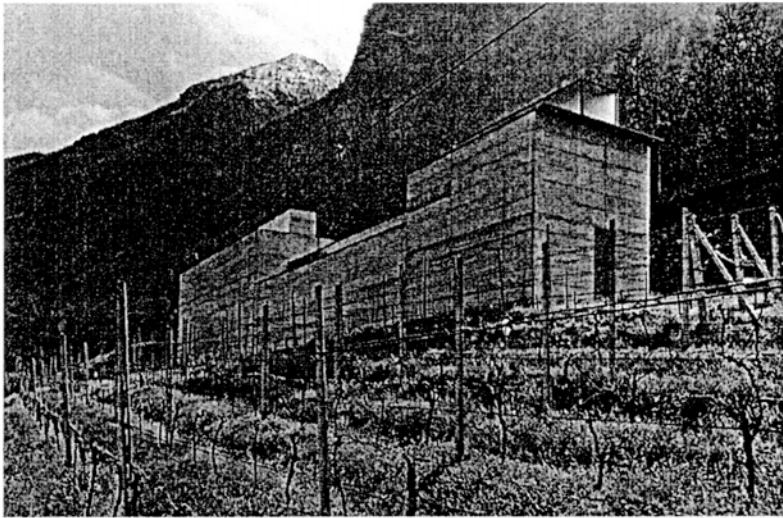


グラフ (位置情報軸 : ———→ / 量情報軸 : - - - - ->)

16 Forestry Station, Trubenthal Burkhalter und Christian Sumi 都市と建築 (a+u)/9605		位置の基準			量の比較			パタン	タイプ
		部位	尺度	環境	部位	尺度	環境		
	平面	W	[de]					帯	④
断面	W	[de]	斜面	R	[le]	空	関 on 帯		

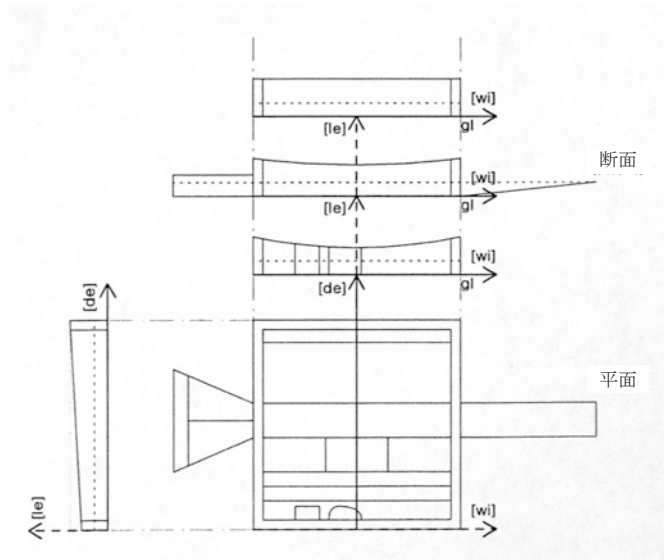
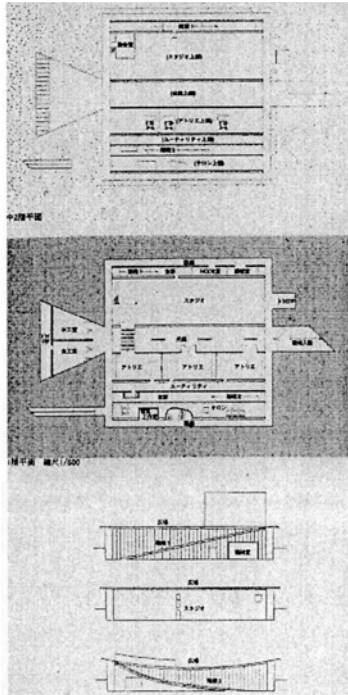
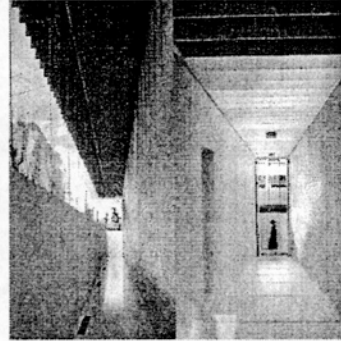
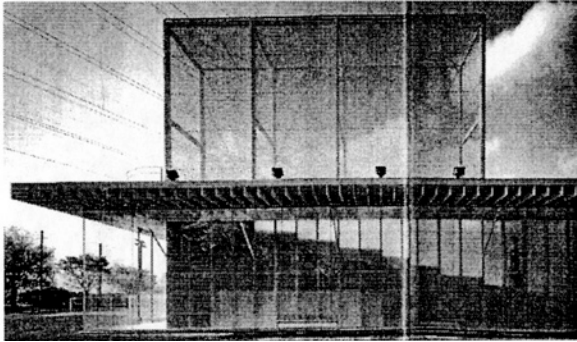
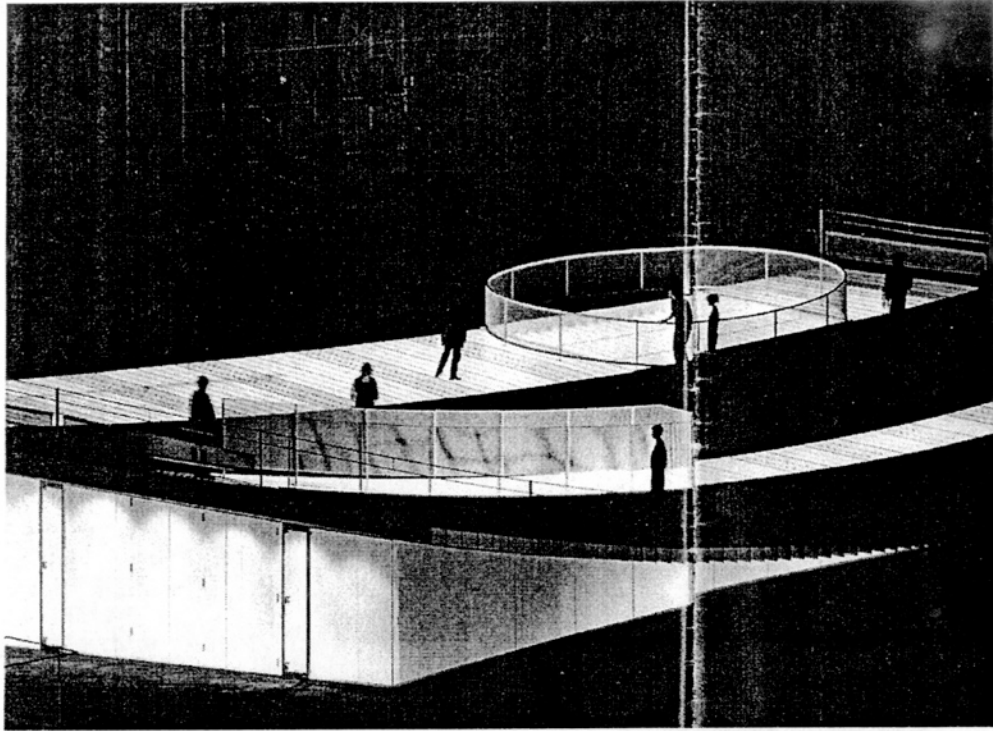


17 S 青木淳 新建築住宅特集 / 9608	位置の基準			量の比較			バタン	タイプ
	部位	尺度	環境	部位	尺度	環境		
	平面	W	[de~r]	敷地境界	W	[wi]	棒×帯	
断面	W	[de~r]		F	[le]	棒×帯		
		W	[de]			帯		



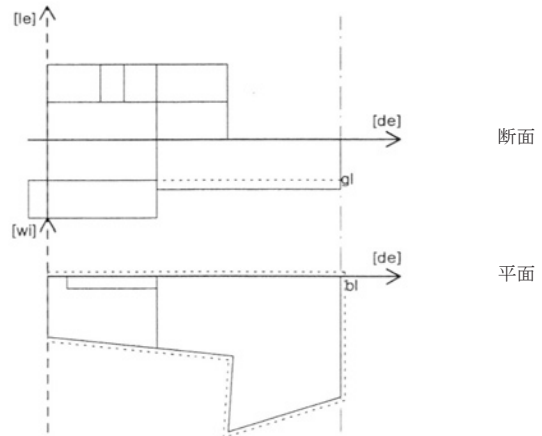
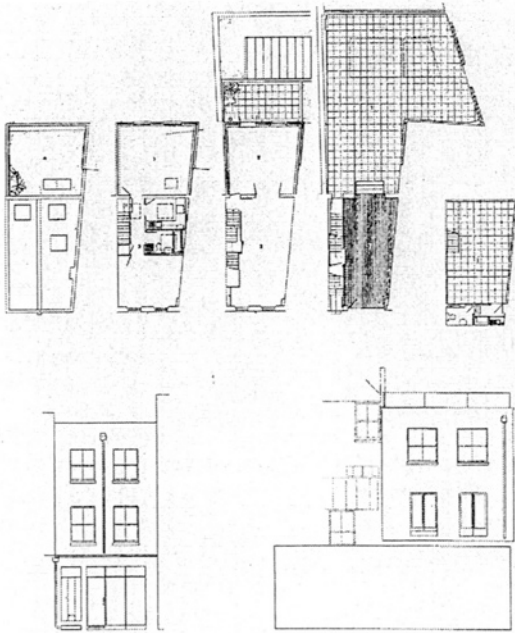
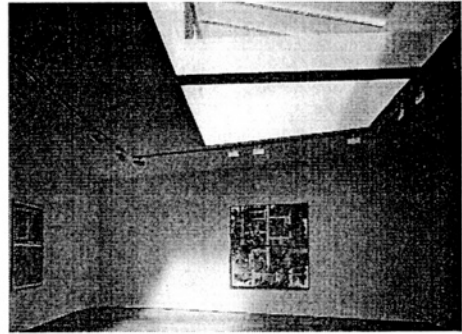
グラフ (位置情報軸: ———→ / 量情報軸: - - - - ->)

18 House for Sculptures Peter Markli a+u/9611		位置の基準			量の比較			パタン	タイプ
		部位	尺度	環境	部位	尺度	環境		
	平面	W	[de]					帯	③
断面	W	[de]	斜面	R	[le]	空	棒×帯		



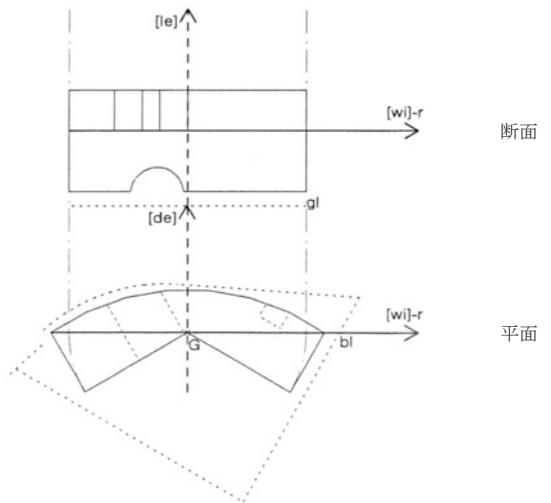
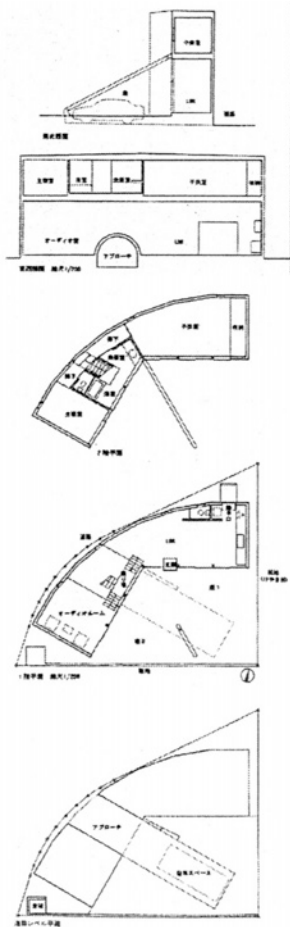
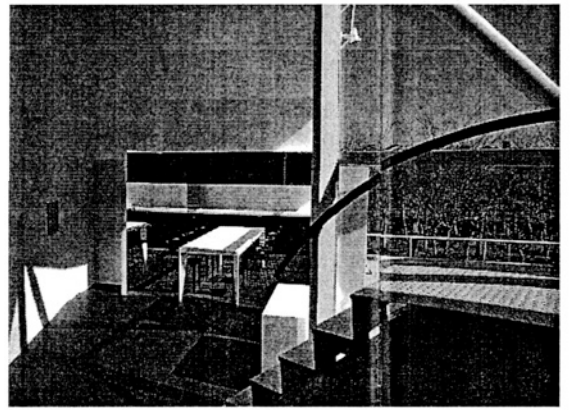
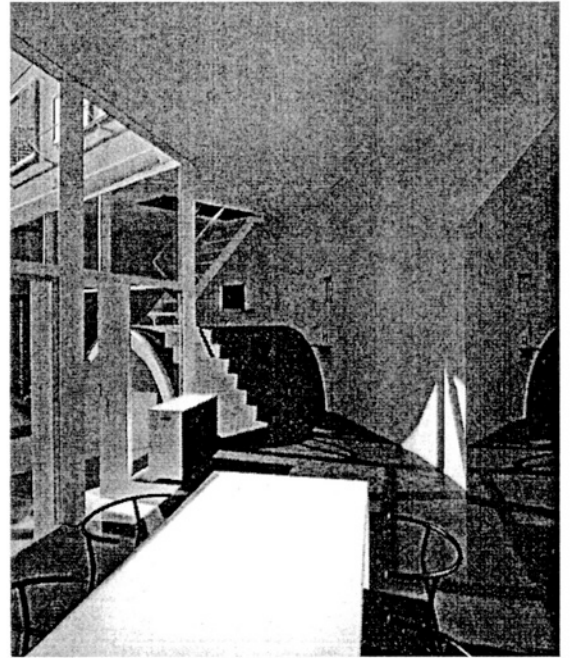
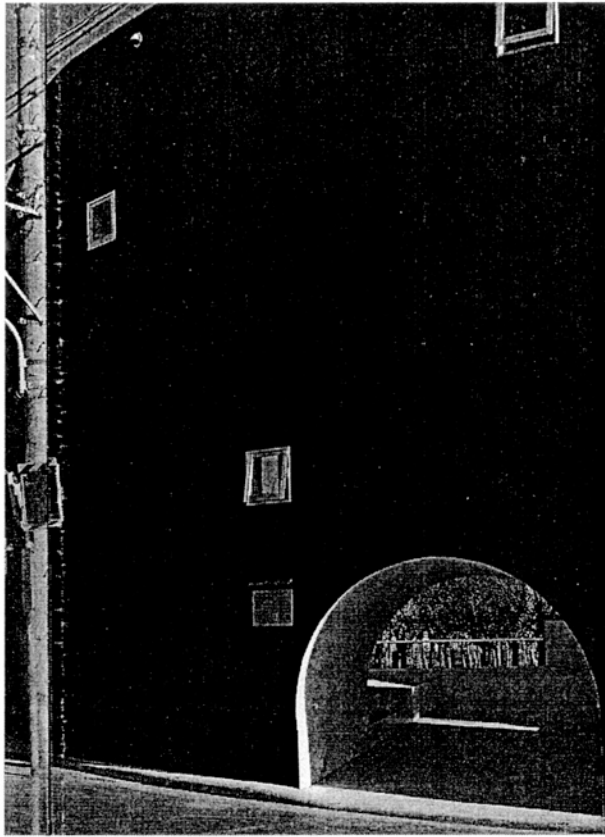
グラフ (位置情報軸: ———→ / 量情報軸: - - - - ->)

19 マルチメディア工房 妹島和世+西沢立衛 新建築 /9701	位置の基準			量の比較			ボタン	タイプ
	部位	尺度	環境	部位	尺度	環境		
	平面	W	[de]	W	[wi]		帯 in 帯	③
	断面	W	[de] W [wi]	R R	[le] [le]	空 空	関 on 帯 曲 on 帯	



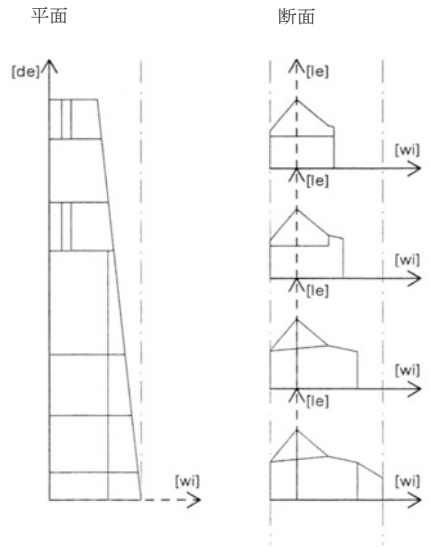
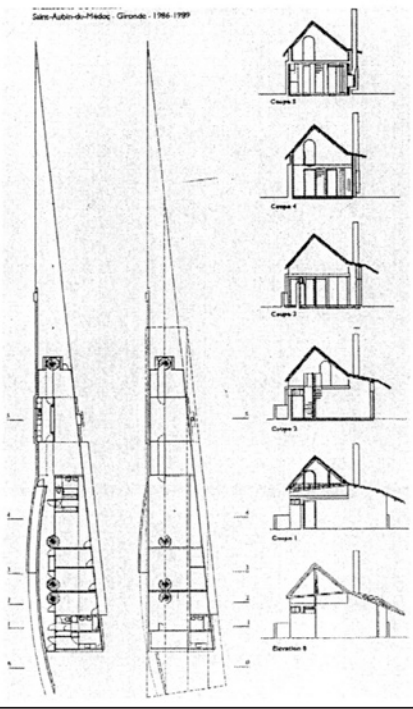
グラフ (位置情報軸: ———→ / 量情報軸: - - - - ->)

20 Lisson Gallery 1 Tony Fretton 都市と建築 (a+u)/9703	位置の基準			量の比較			パターン	タイプ
	部位	尺度	環境	部位	尺度	環境		
	平面	W	[de]	W	[wi]	敷地境界	関 on 帯	
断面	W	[de]	R, F	[le]		帯×帯		



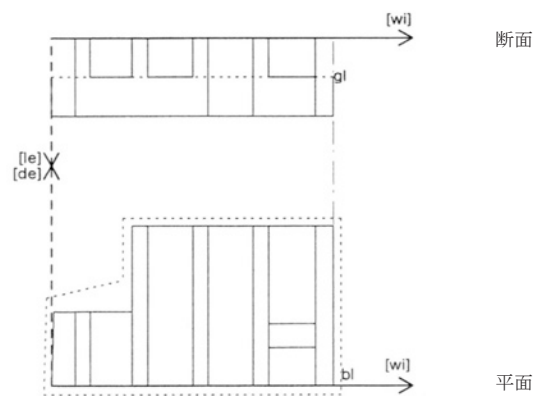
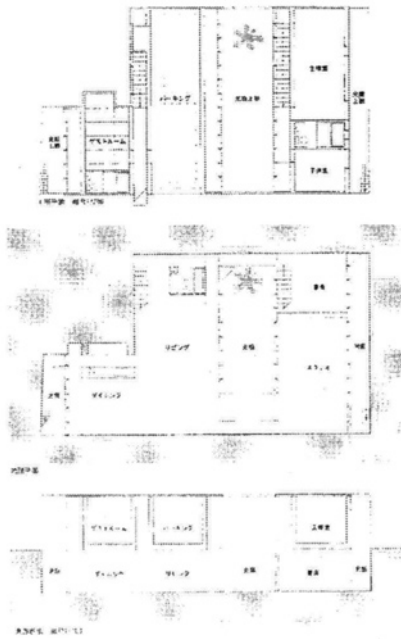
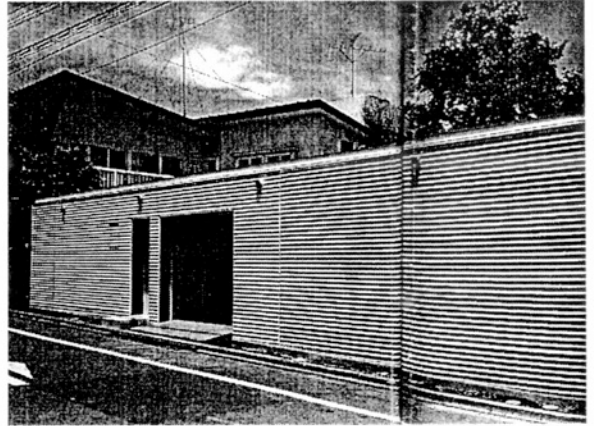
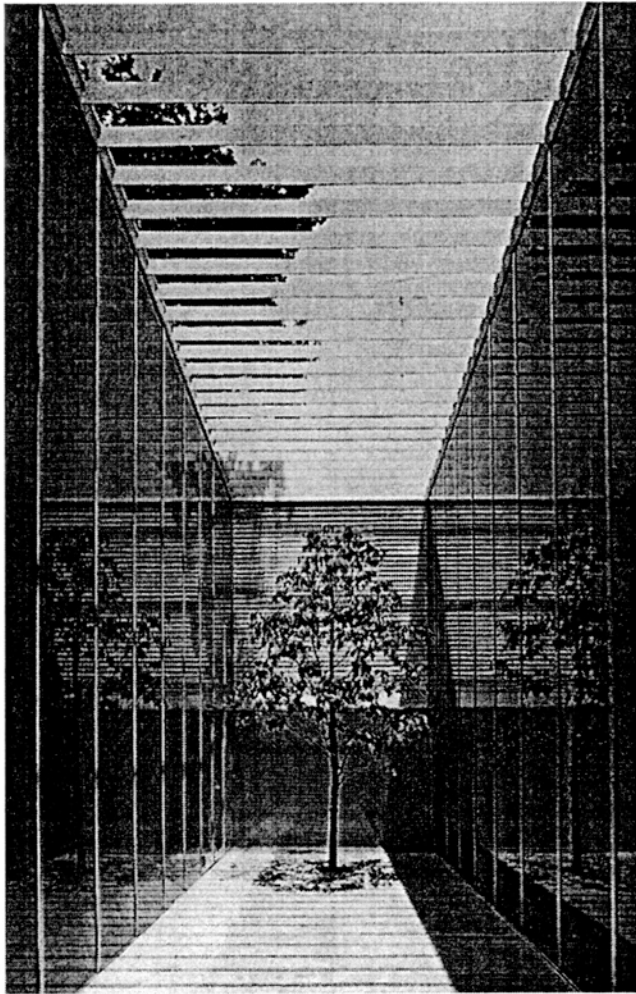
グラフ (位置情報軸: ————> / 量情報軸: - - - - ->)

<p>21</p> <p>立川のハウス 西沢大良 新建築住宅特集 / 9704</p>		位置の基準			量の比較			バタン	タイプ
		部位	尺度	環境	部位	尺度	環境		
	平面	W	[wi]		W	[de]	敷地境界	曲 on 帯	
	断面	W	[wi]	斜面	F	[le]		棒×帯 帯	



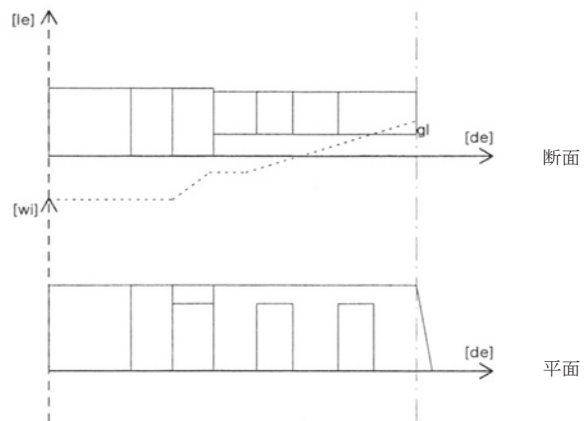
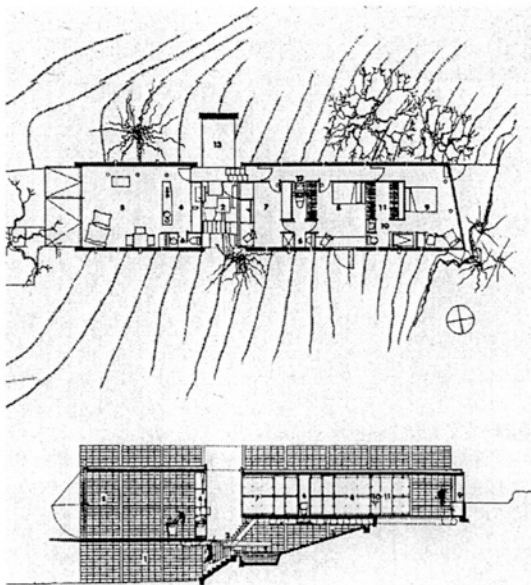
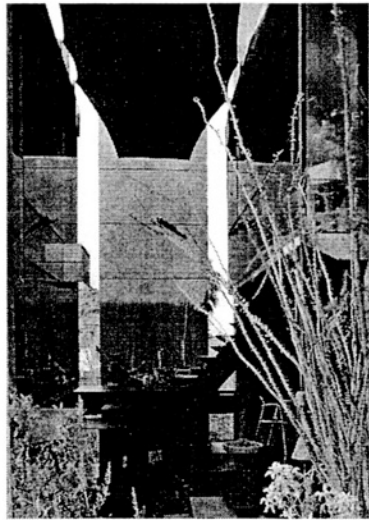
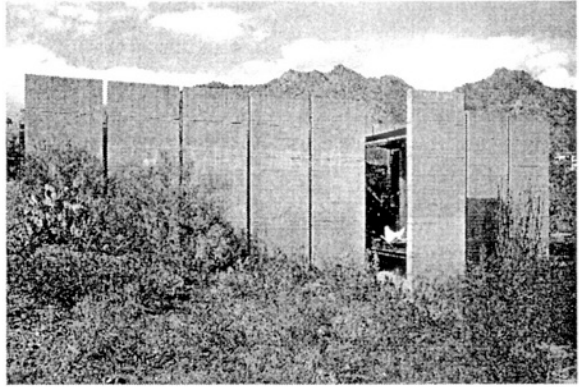
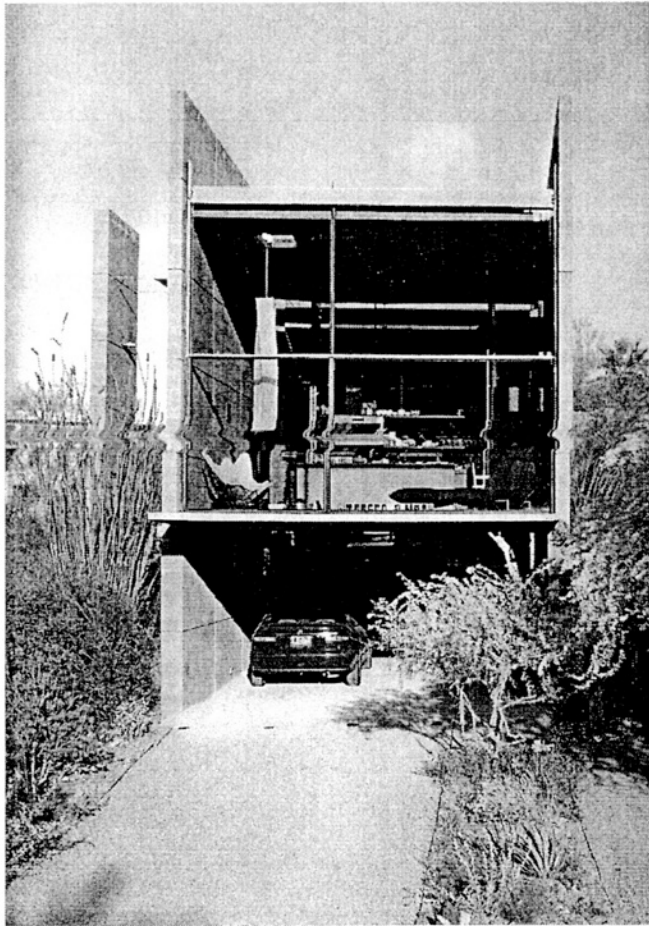
グラフ (位置情報軸 : ———→ / 量情報軸 : - - - - ->)

<p>22</p> <p>House Secherre</p> <p>Jasques Hondelatte</p> <p>L'Architecture d' Aujourd' hui/9811</p>		位置の基準			量の比較			パターン	タイプ
		部位	尺度	環境	部位	尺度	環境		
	平面	W	[de]		W	[wi]		関 on 帯	
断面	W	[wi]	斜面	R	[le]	空	折		
	W	[de]	斜面	R	[de]	空	関 on 帯		



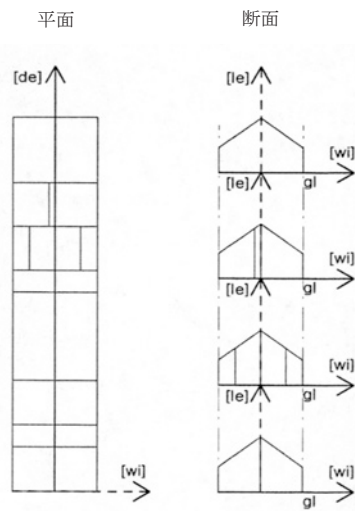
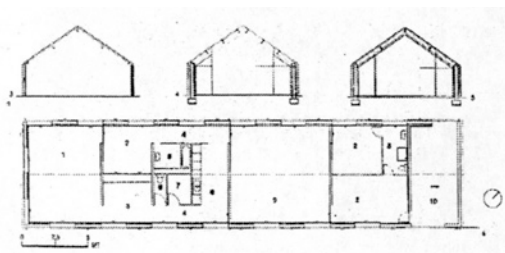
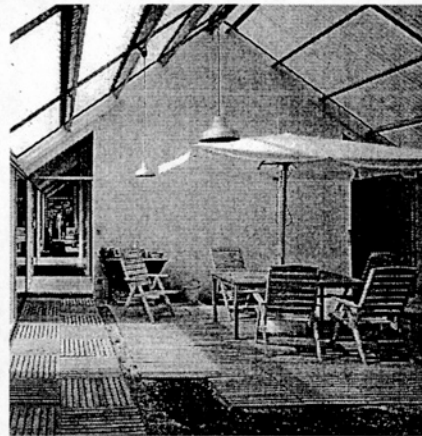
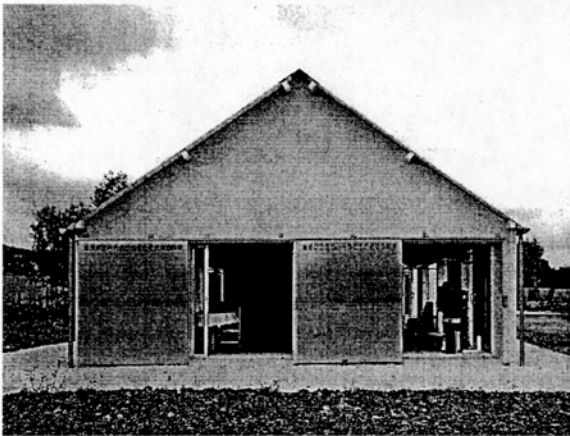
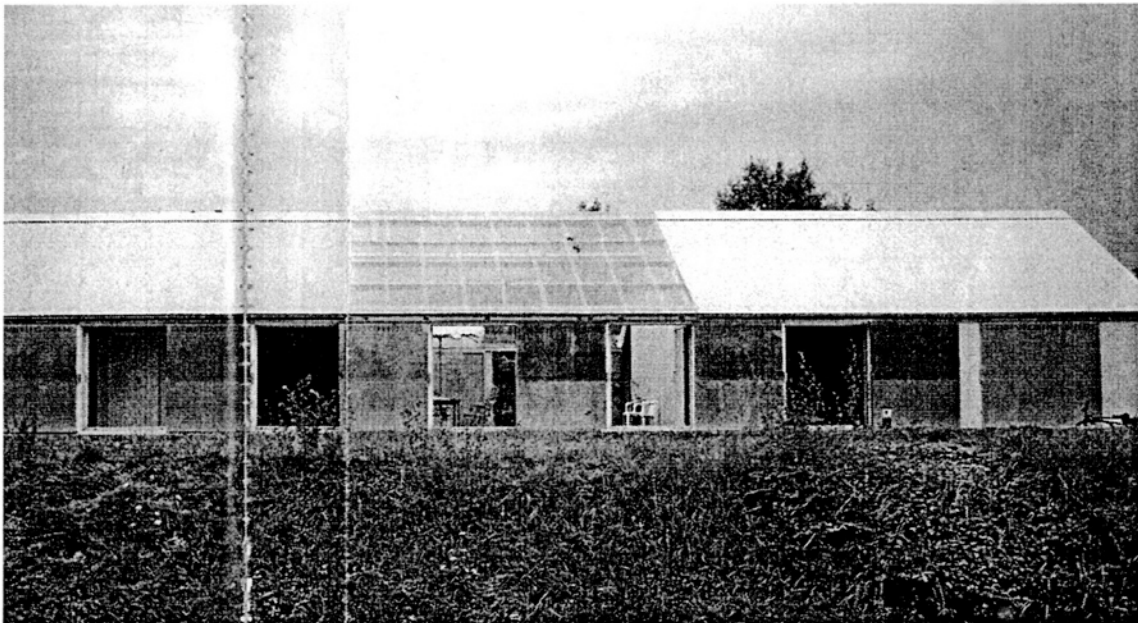
グラフ (位置情報軸: ———> / 量情報軸: - - - - ->)

<p>23</p> <p>M-House</p> <p>妹島和世+西沢立衛</p> <p>新建築住宅特集 / 9709</p>		位置の基準			量の比較			パタン	タイプ
		部位	尺度	環境	部位	尺度	環境		
	平面	W	[de]	敷地境界	W	[de]	敷地境界	棒×帯	
断面	W	[wi]		F	[le]	斜面	棒×帯		



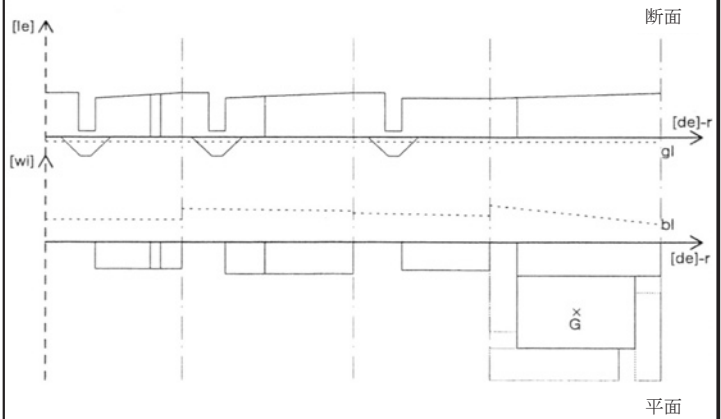
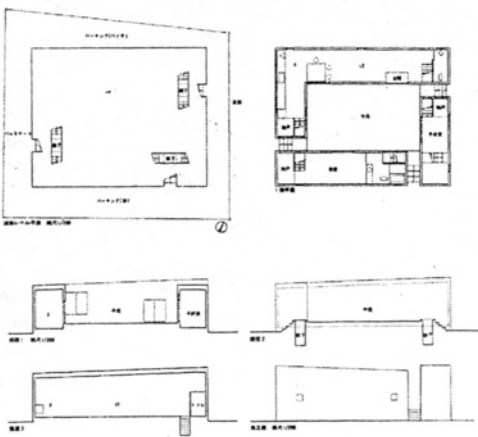
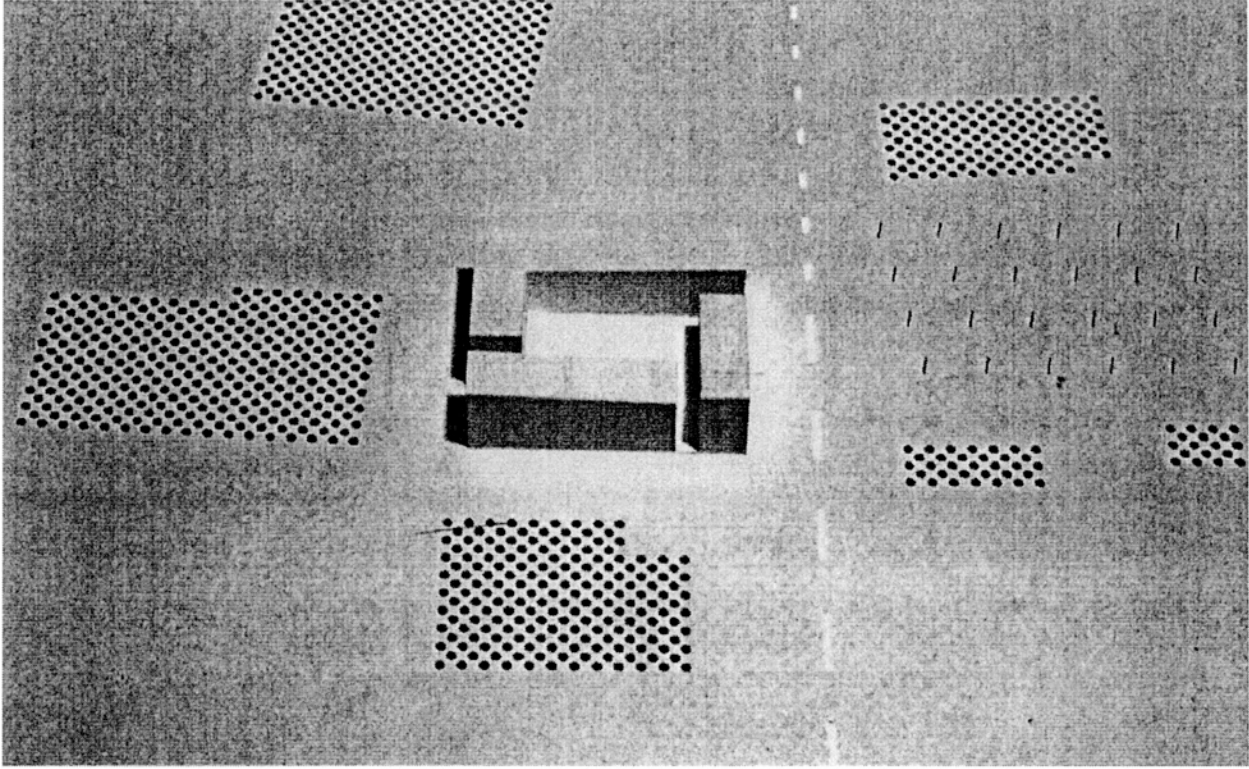
グラフ (位置情報軸: ———→ / 量情報軸: - - - - ->)

24 Burnette Studio/Residence Wendell Burnette 都市と建築 (a+u)/9711	位置の基準			量の比較			パターン	タイプ
	部位	尺度	環境	部位	尺度	環境		
	平面	W	[de]	W	[wi]		棒×帯	
	断面	W	[de]	W	[de]	斜面	R F	棒×帯 棒×帯



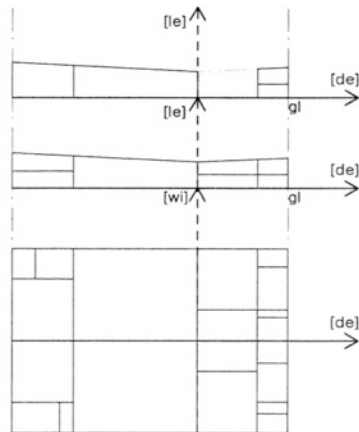
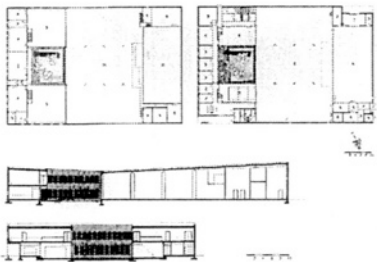
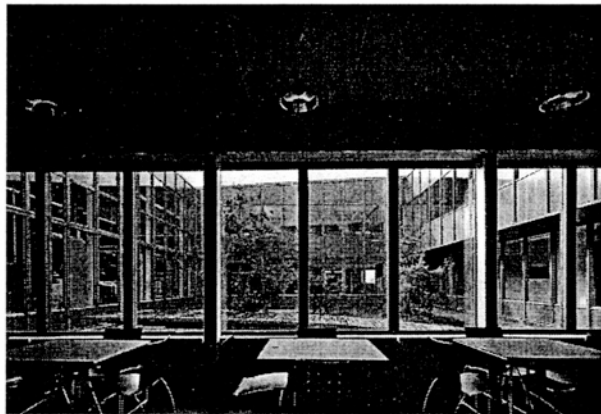
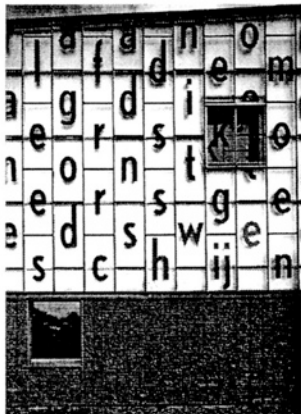
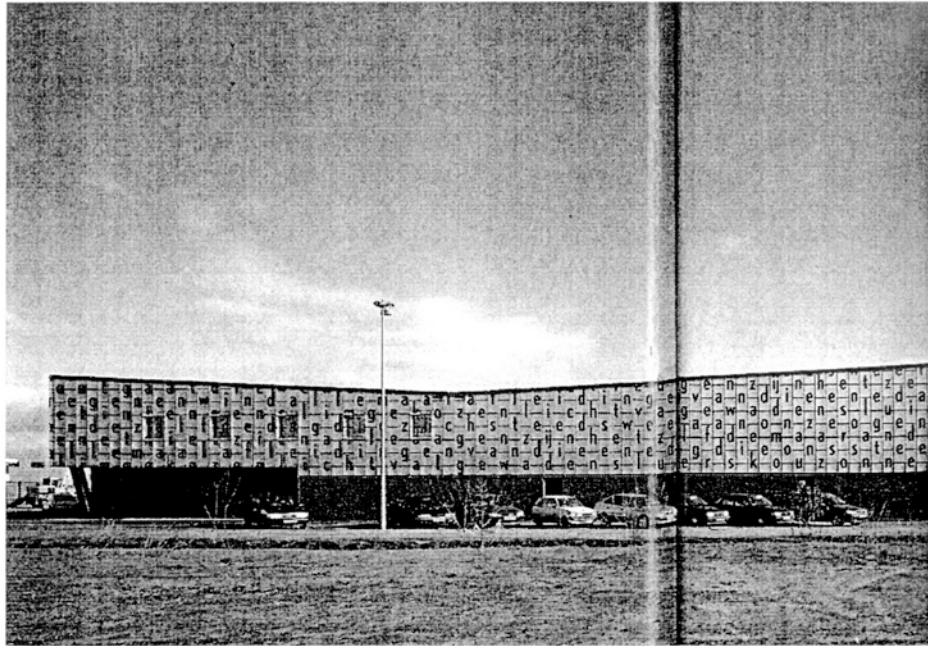
グラフ (位置情報軸: ———→ / 量情報軸: - - - - ->)

<p>25</p> <p>one-family house</p> <p>Lacaton Vassal</p> <p>domus/9804</p>	位置の基準			量の比較			パタン	タイプ
	部位	尺度	環境	部位	尺度	環境		
	平面	W	[de]		W	[wi]		帯 in 帯
断面	W	[wi]	斜面	R	[le]	空	関 on 帯	



グラフ (位置情報軸 : ———→ / 量情報軸 : - - - - ->)

<p>26</p> <p>熊谷のハウス 西沢大良 新建築住宅特集 / 9804</p>		位置の基準			量の比較			パタン	タイプ
		部位	尺度	環境	部位	尺度	環境		
	平面	W	[de]		W	[wi]	敷地境界	棒×帯	⑦
断面	W	[de]	斜面	R	[le]	空	関 on 帯		

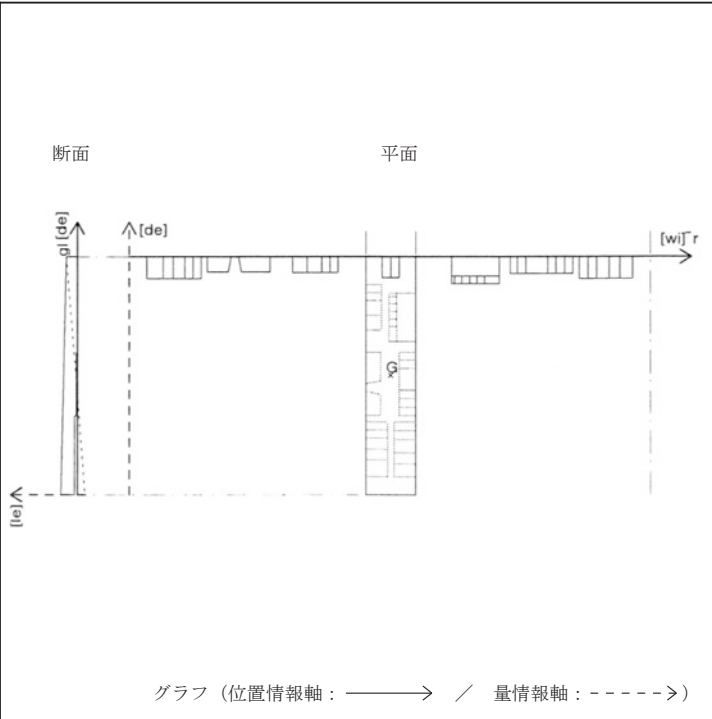
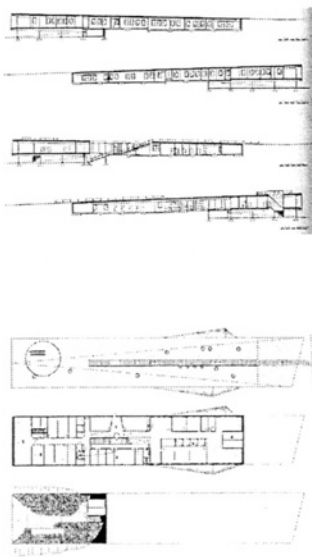
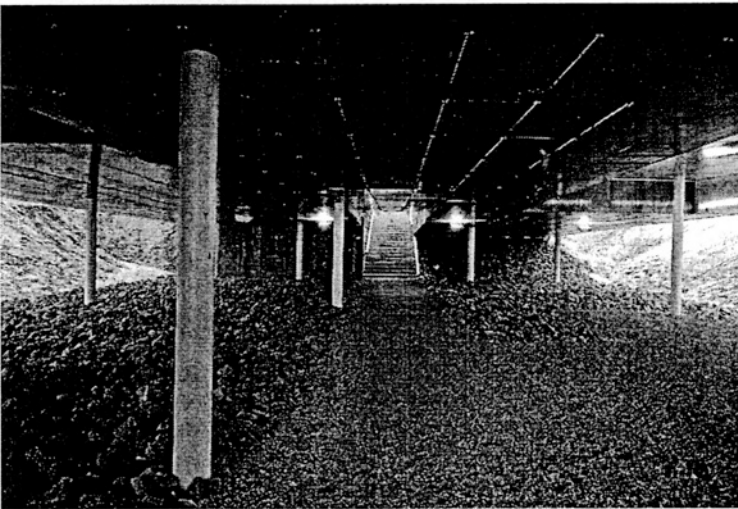
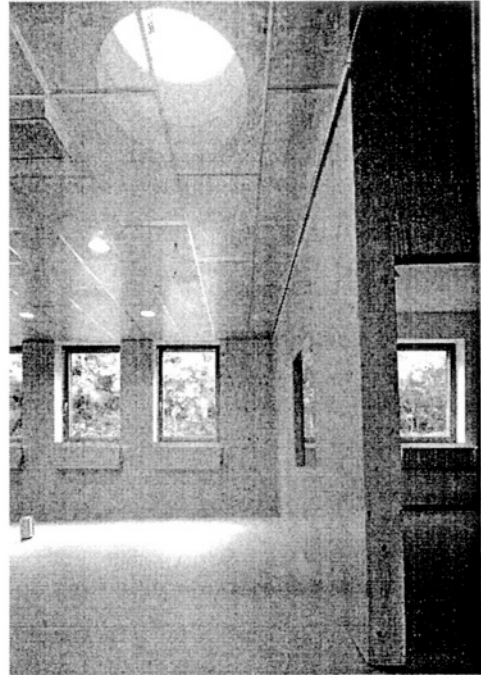
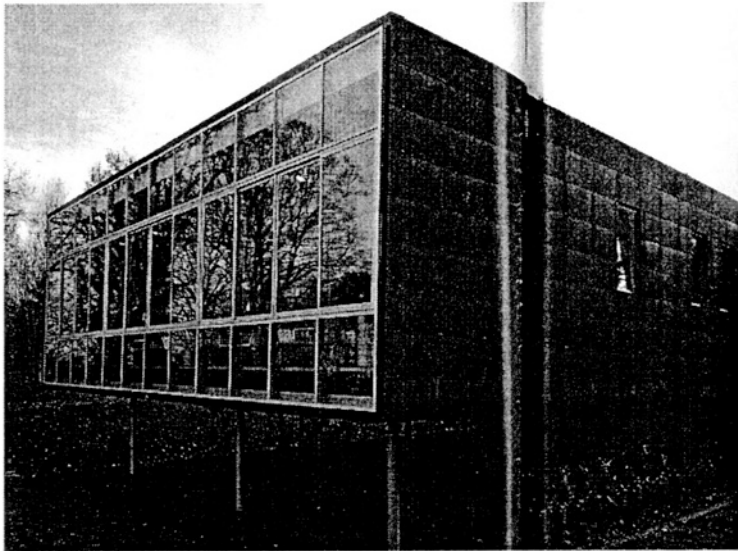


断面

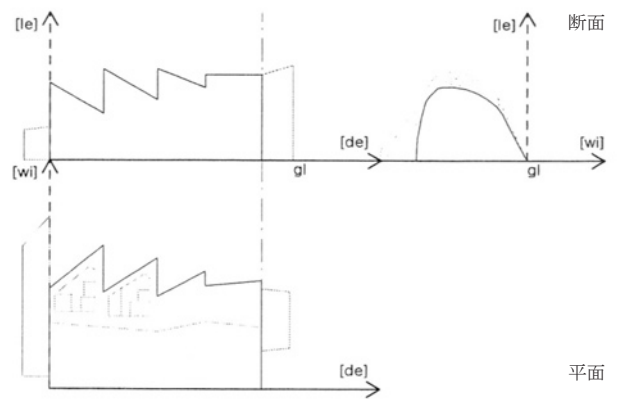
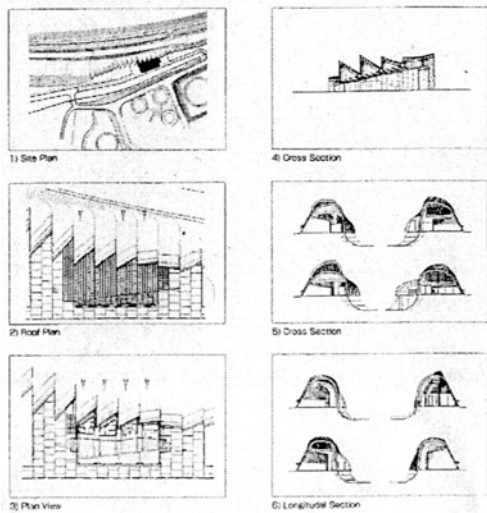
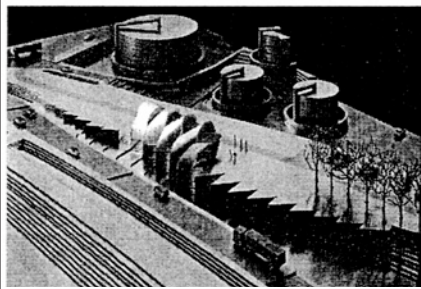
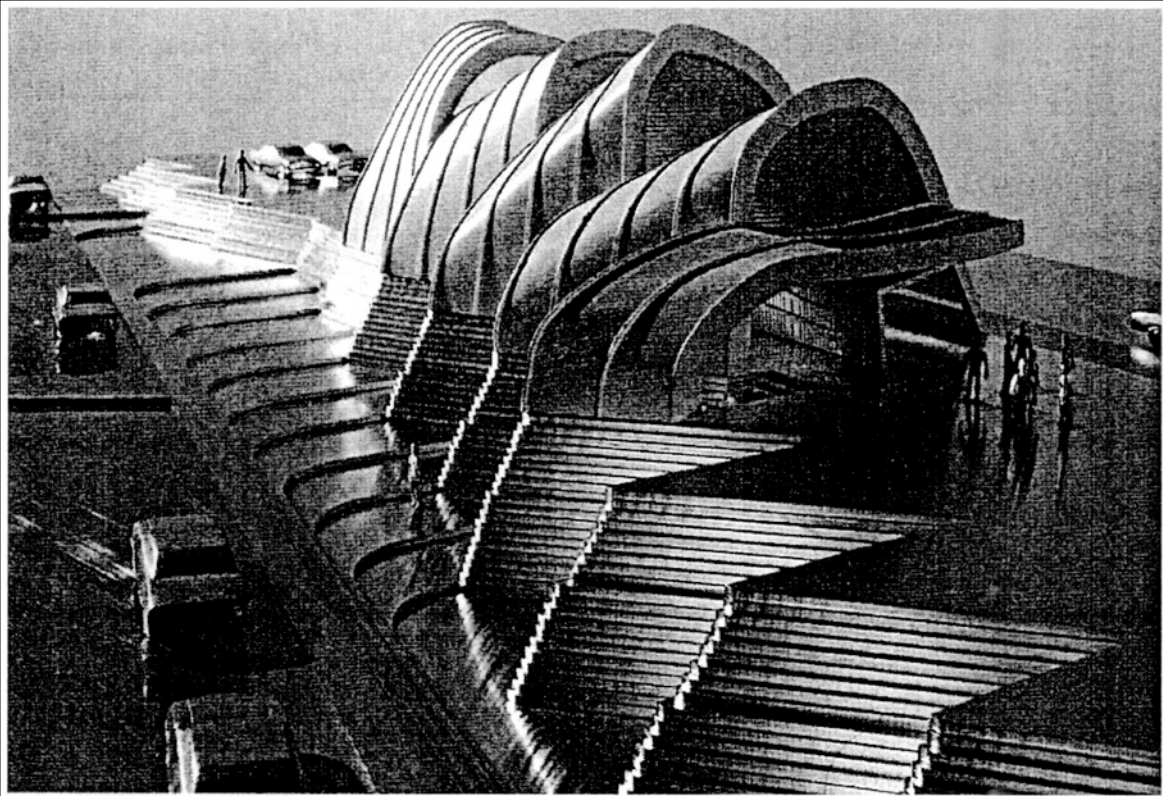
平面

グラフ (位置情報軸: ———→ / 量情報軸: - - - - ->)

27 New Building for Veenman Printers Neutelings Riedijk 都市と建築 (a+u)/9809	位置の基準			量の比較			パタン	タイプ
	部位	尺度	環境	部位	尺度	環境		
	平面	W	[de]		W	[wi]	中庭	帯 in 帯
断面	W	[de]	斜面	R	[le]	空	関 on 帯	
		W	[de]		F	[le]	帯 in 帯	

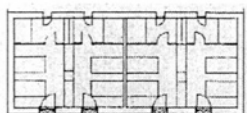


28 RUV MVRDV 都市と建築 (a+u)/9809	位置の基準			量の比較			パタン	タイプ
	部位	尺度	環境	部位	尺度	環境		
	平面	W	[wi~r]		W	[de]		棒
断面	W	[de]		R	[le]	空	関 on 帯	
		W	[de]	斜面	F	[le]	棒×帯	

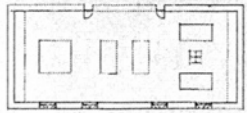


グラフ (位置情報軸: ———→ / 量情報軸: - - - - ->)

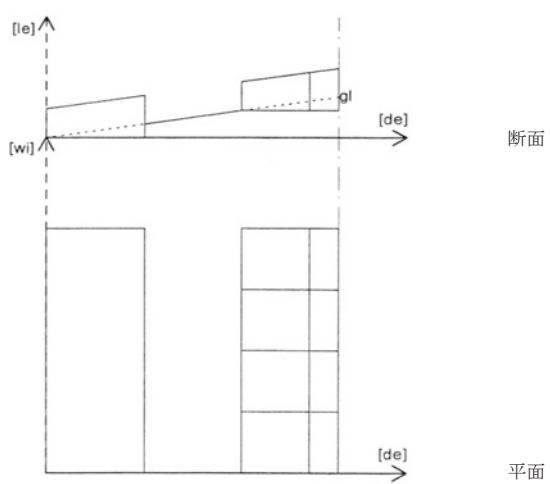
29 Exhibition and Visitor Center Greg Lynn Virtual Architecture	位置の基準			量の比較			パタン	タイプ
	部位	尺度	環境	部位	尺度	環境		
	平面	W	[de]		W	[wi]	折	⑨
	断面	W	[wi] [de]	斜面 斜面	R R	[le] [le]	空 空	



Right-unit plan (scale: 1/200)/右ユニット平面図 (縮尺: 1/200)

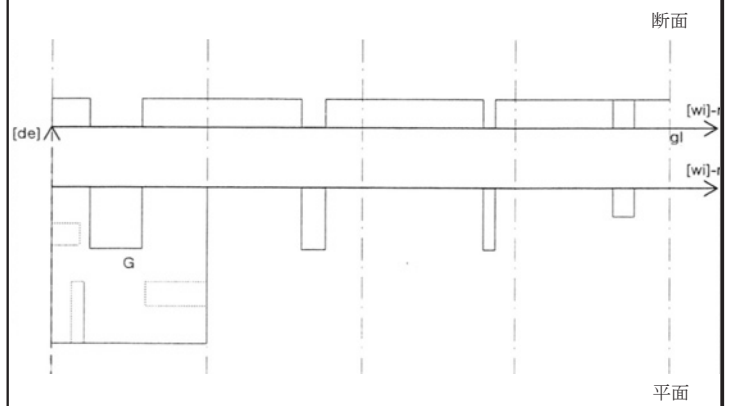
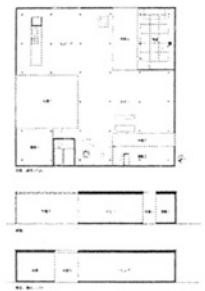
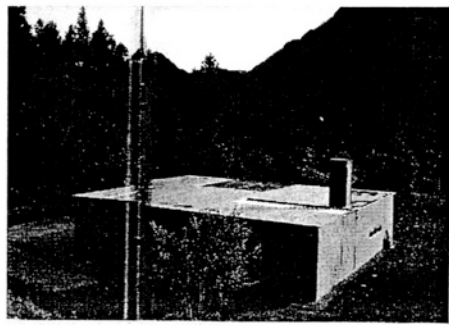
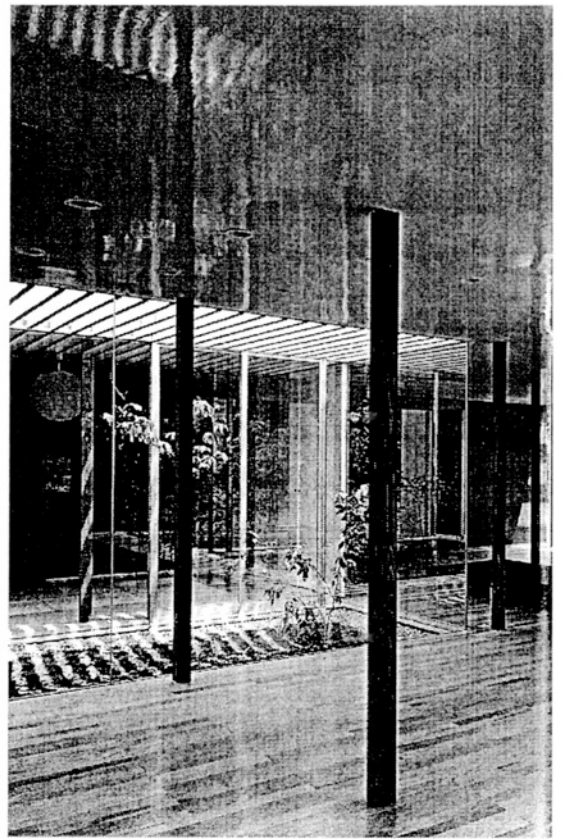
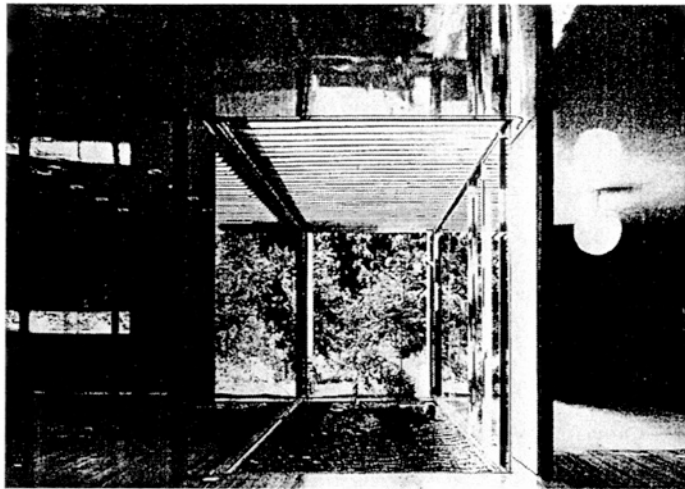


Left-unit plan/左ユニット平面図



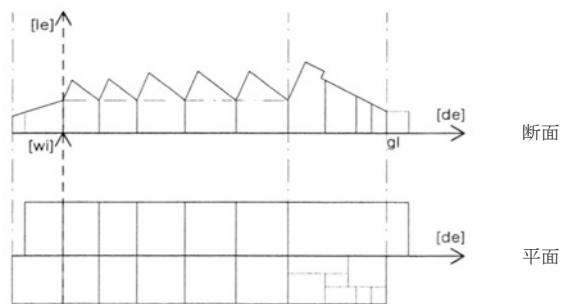
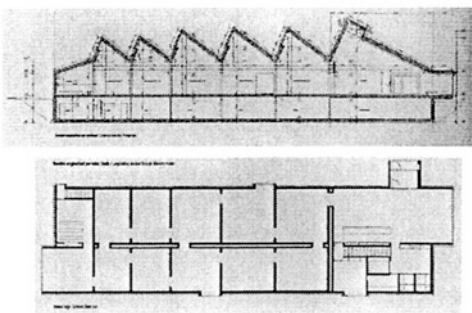
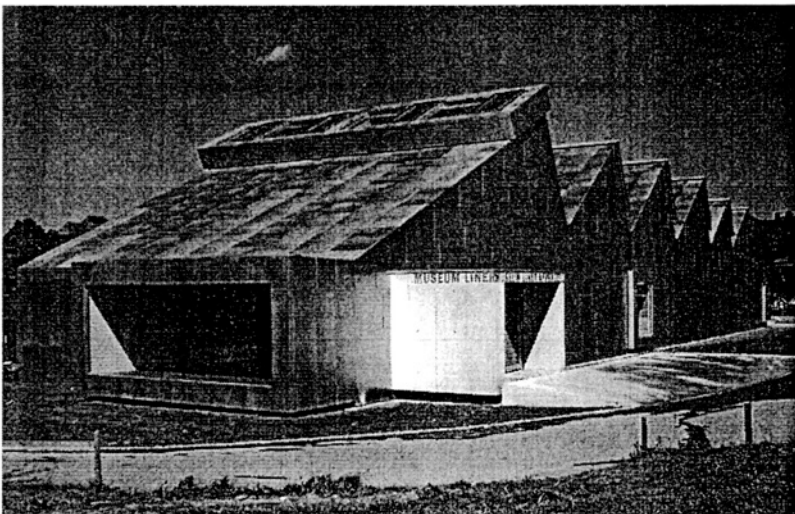
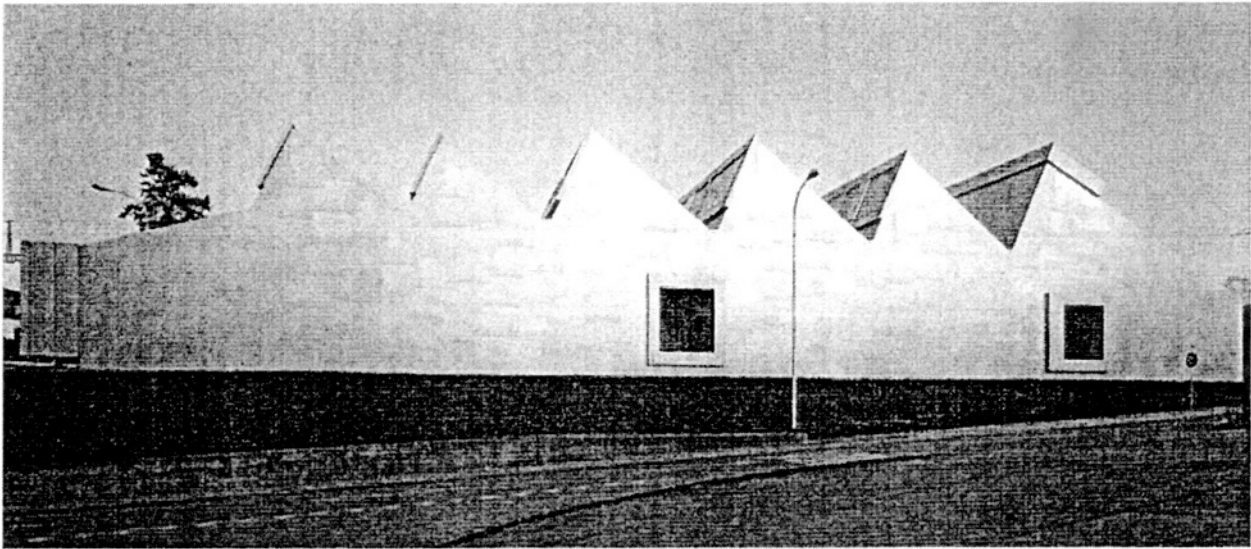
グラフ (位置情報軸: ———→ / 量情報軸: - - - - ->)

<p>30</p> <p>Duplex House</p> <p>AG. Fronzoni&amp;G. Bortolotti</p> <p>都市と建築 (a+u)/9811</p>		位置の基準			量の比較			パターン	タイプ
		部位	尺度	環境	部位	尺度	環境		
	平面	W	[de]		W	[wi]		帯 in 帯	①
断面	W	[de]		R	[le]	空	関 on 帯		
		W	[de]	斜面	F	[le]	棒×帯		



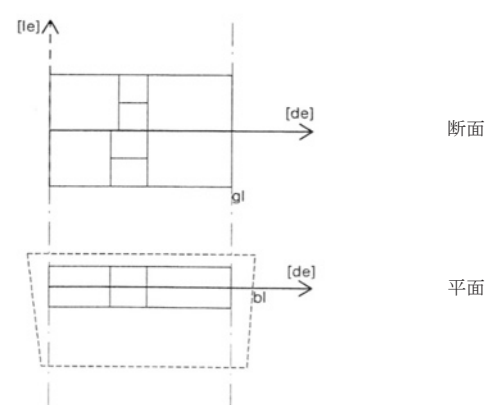
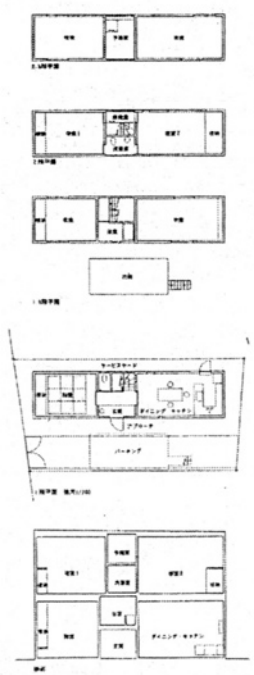
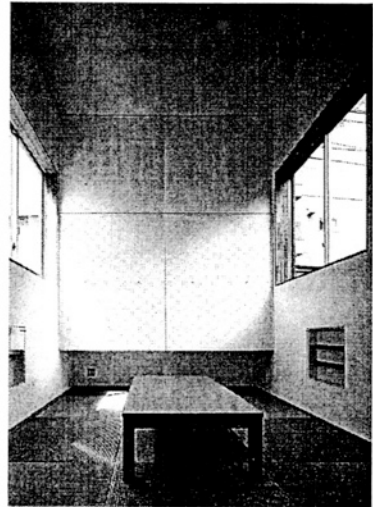
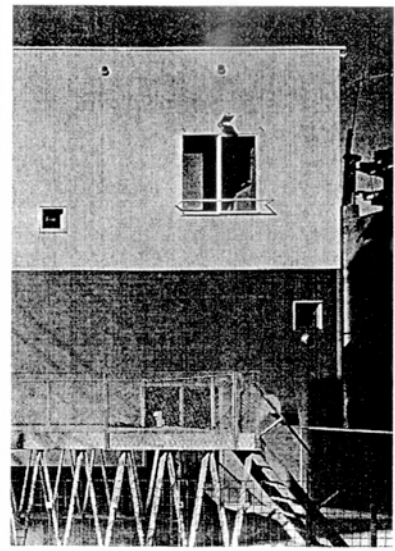
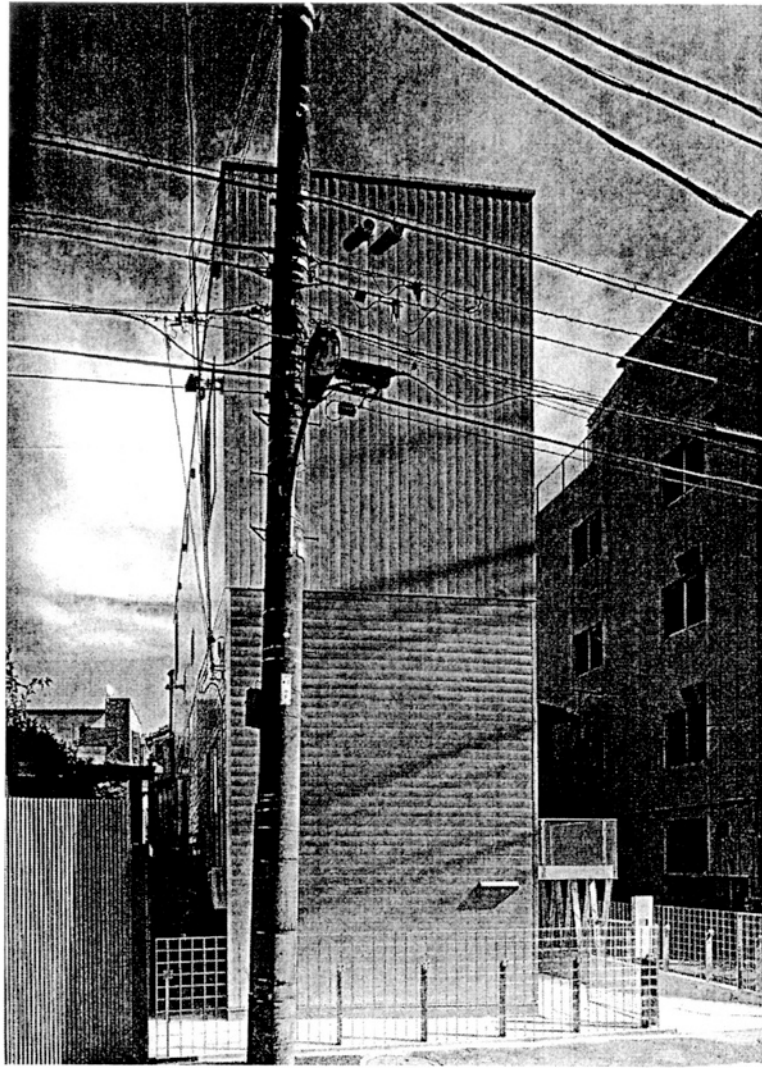
グラフ (位置情報軸: ———→ / 量情報軸: - - - - ->)

<p>31</p> <p>ウィークエンドハウス 西沢立衛 新建築住宅特集 / 9811</p>		位置の基準			量の比較			バタン	タイプ
		部位	尺度	環境	部位	尺度	環境		
	平面	W	[wi ~ r]		W	[de]	中庭	棒×帯	②
断面	W	[wi ~ r]	斜面				帯		



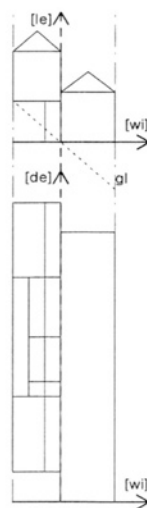
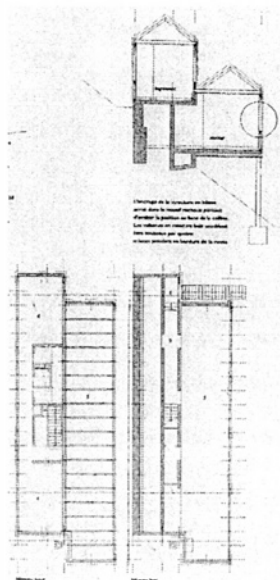
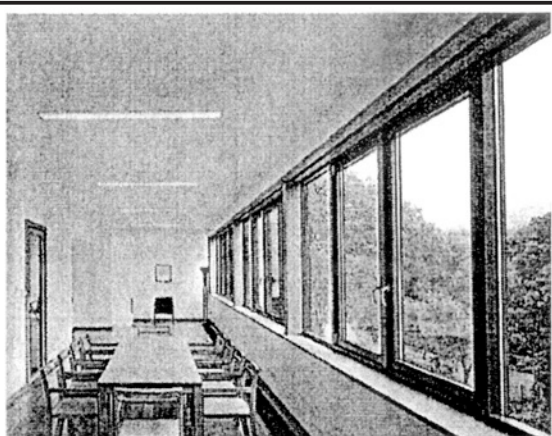
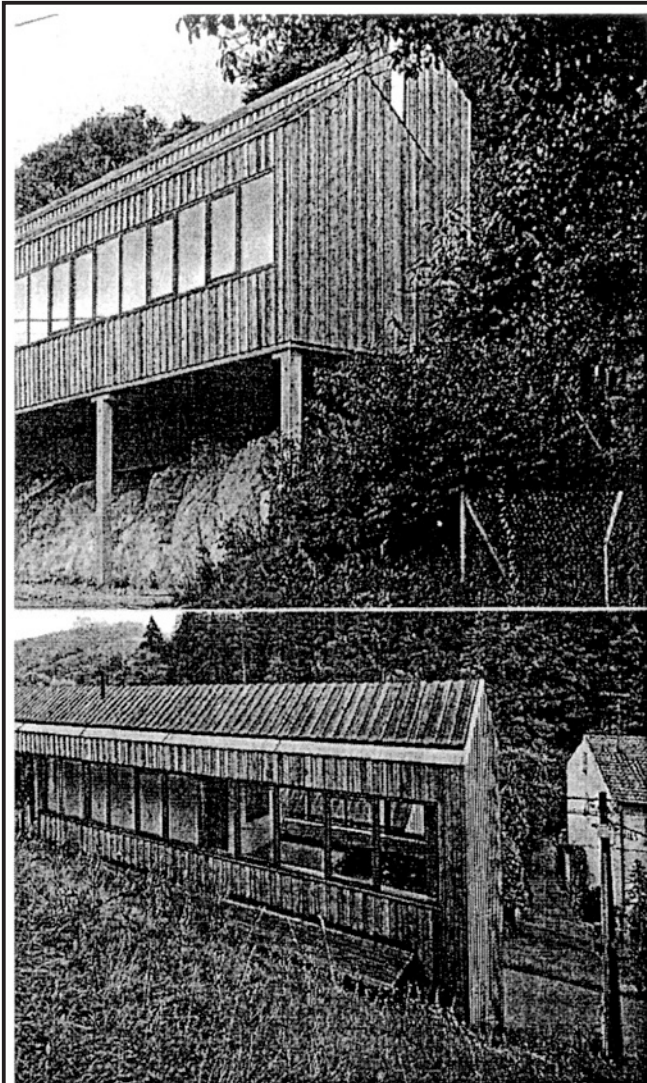
グラフ (位置情報軸 : ———→ / 量情報軸 : - - - - ->)

32 Museum Liner Appenzell Gigon&Guyer 都市と建築 (a+u)/9812		位置の基準			量の比較			パタン	タイプ
		部位	尺度	環境	部位	尺度	環境		
	平面	W	[de]		W	[wi]		帯×帯	⑧
断面	W	[de]	斜面	R	[le]	空	関		
	W	[de]	斜面	R	[le]	空	関		
	W	[de]	斜面	R	[le]	空	関 on 帯		



グラフ (位置情報軸: ————> / 量情報軸: - - - - ->)

33 大田のハウス 西沢大良 新建築住宅特集 /9812		位置の基準			量の比較			バタン	タイプ
		部位	尺度	環境	部位	尺度	環境		
	平面	W	[wi]					帯	
断面	W	[de]		F	[wi]		帯 in 帯		

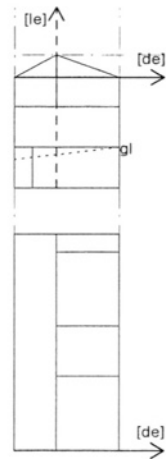
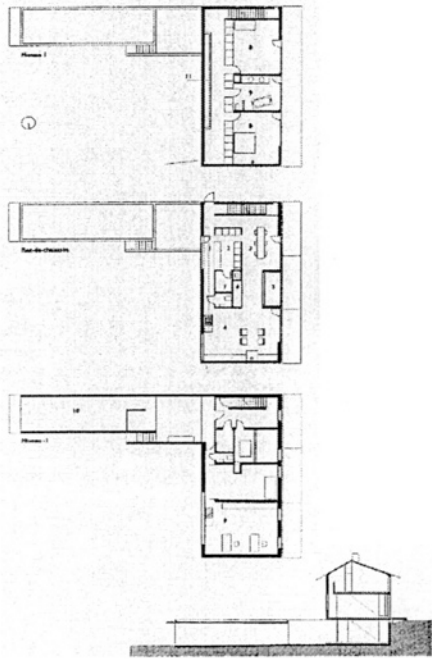
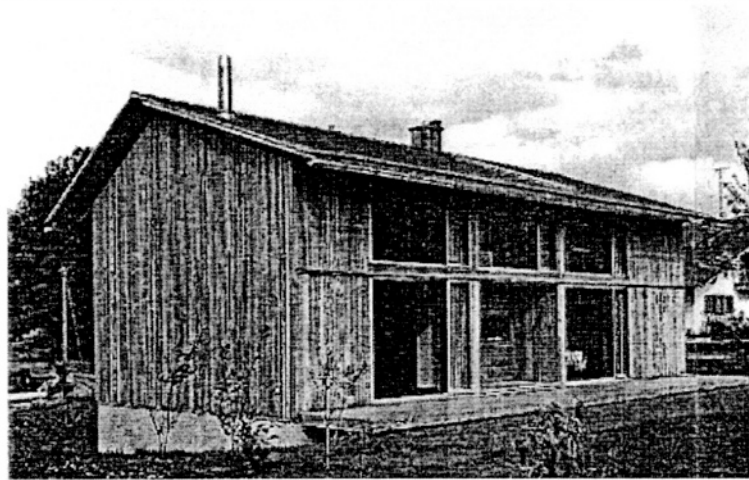
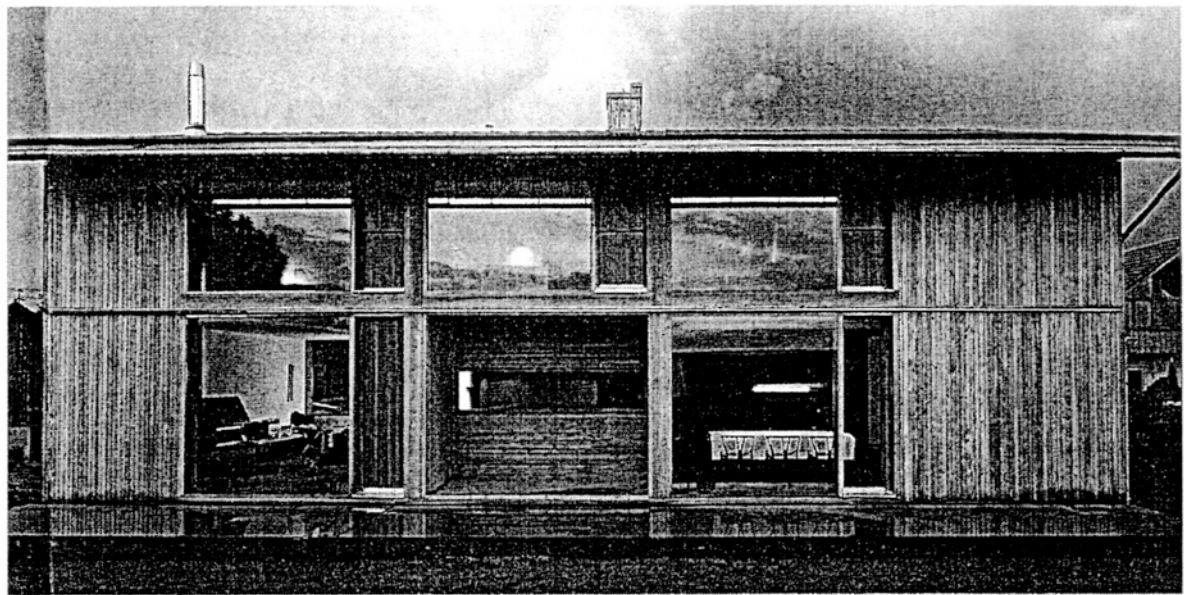


断面

平面

グラフ (位置情報軸: ———→ / 量情報軸: - - - - ->)

34 House in Steinaweg Adolf Krischanitz L'Architecture d'Aujourd'hui/9901		位置の基準			量の比較			パタン	タイプ
		部位	尺度	環境	部位	尺度	環境		
	平面	W	[wi]		W	[de]		帯 in 帯	⑩
断面	W	[wi]		R, C	[pi]	空	閑×帯 棒×帯		
		W	[wi]	斜面	F	[le]			

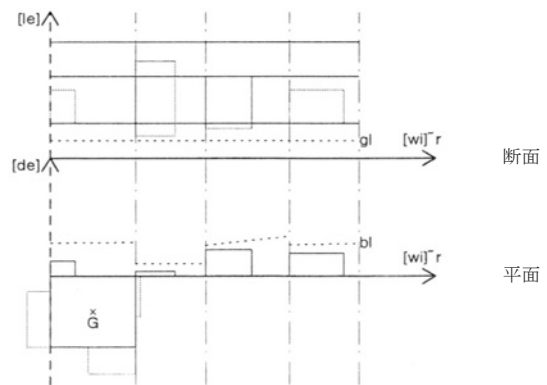
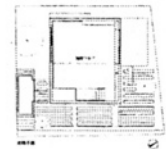
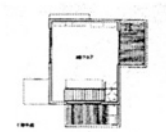
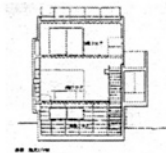
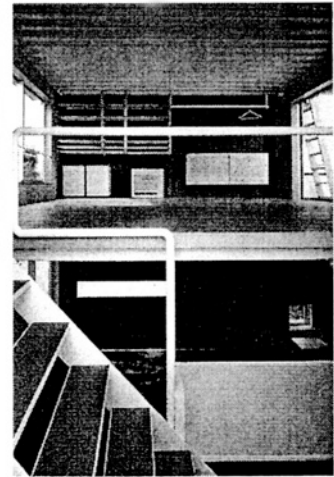
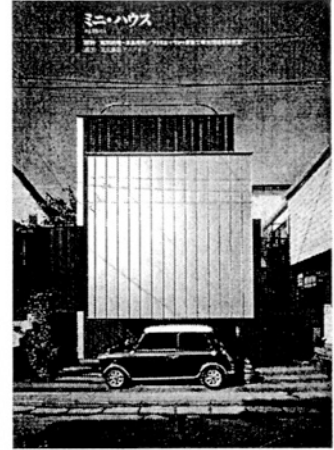
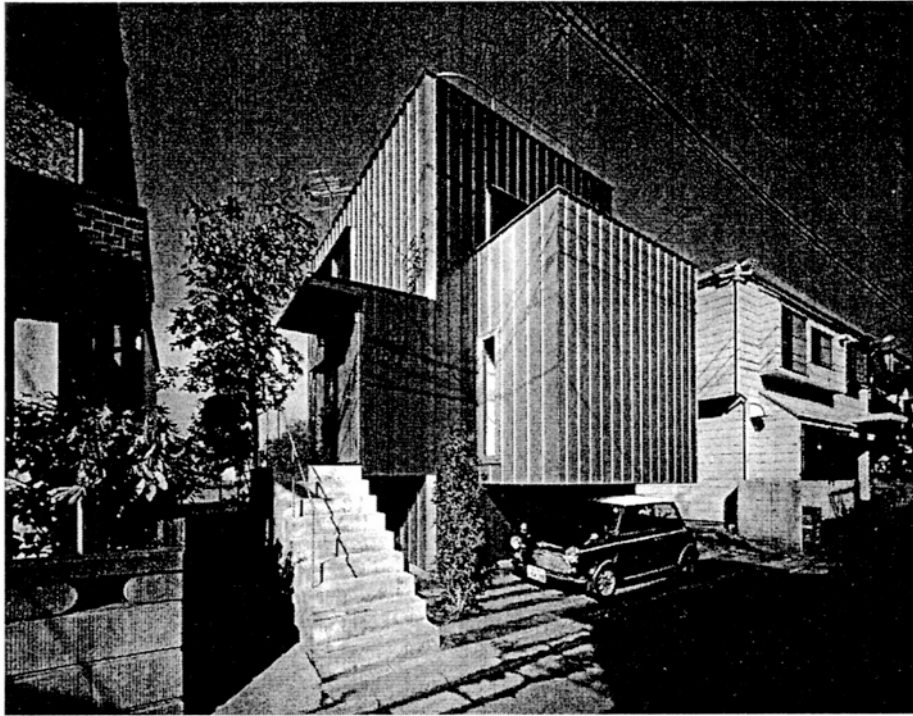


断面

平面

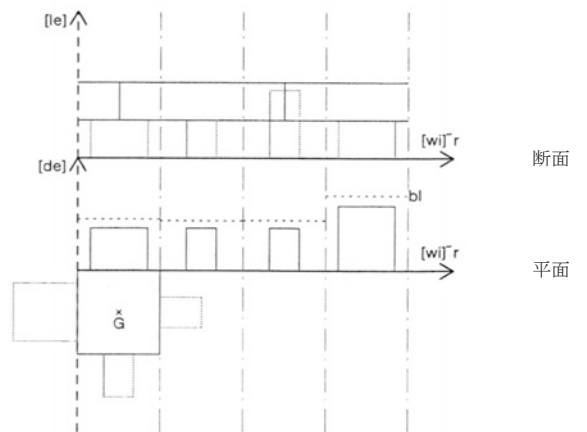
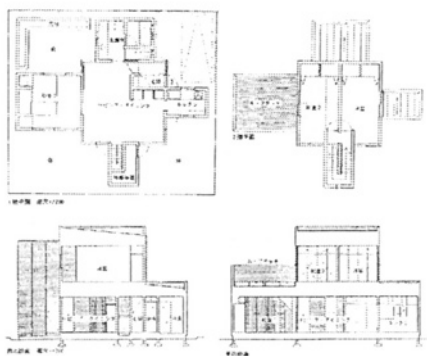
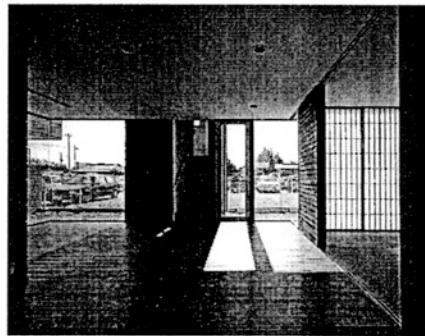
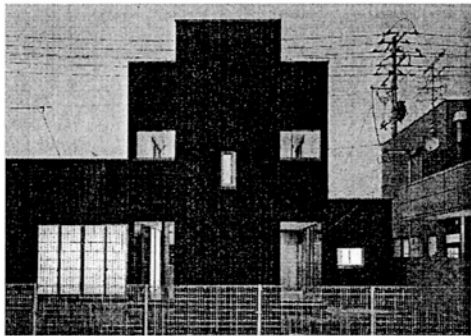
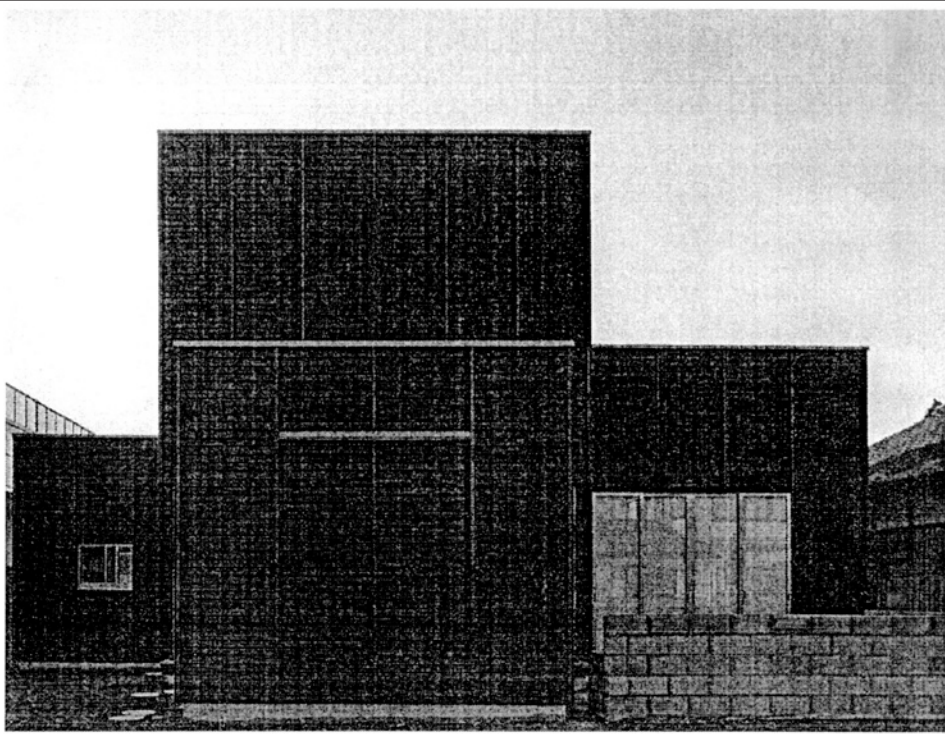
グラフ (位置情報軸: ———→ / 量情報軸: - - - - ->)

35 House in Leiterberg Wilhelm&Maria Huber L'Architecture d'Aujourd'hui/9901		位置の基準			量の比較			パタン	タイプ
		部位	尺度	環境	部位	尺度	環境		
	平面	W	[de]		W	[wi]		帯 in 帯	⑤
	断面	W F	[de] [le]		R	[pi]	空	関×帯 帯	



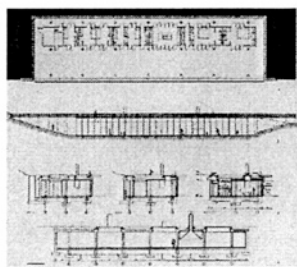
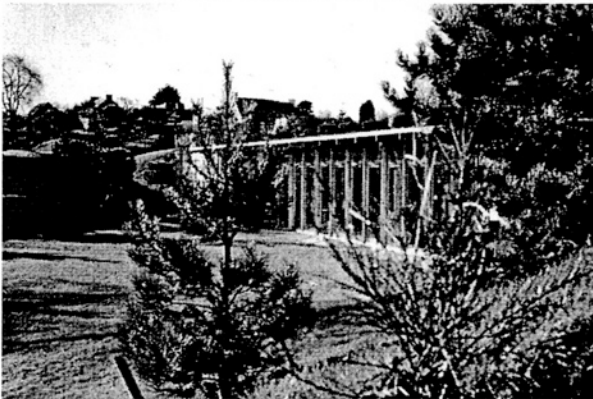
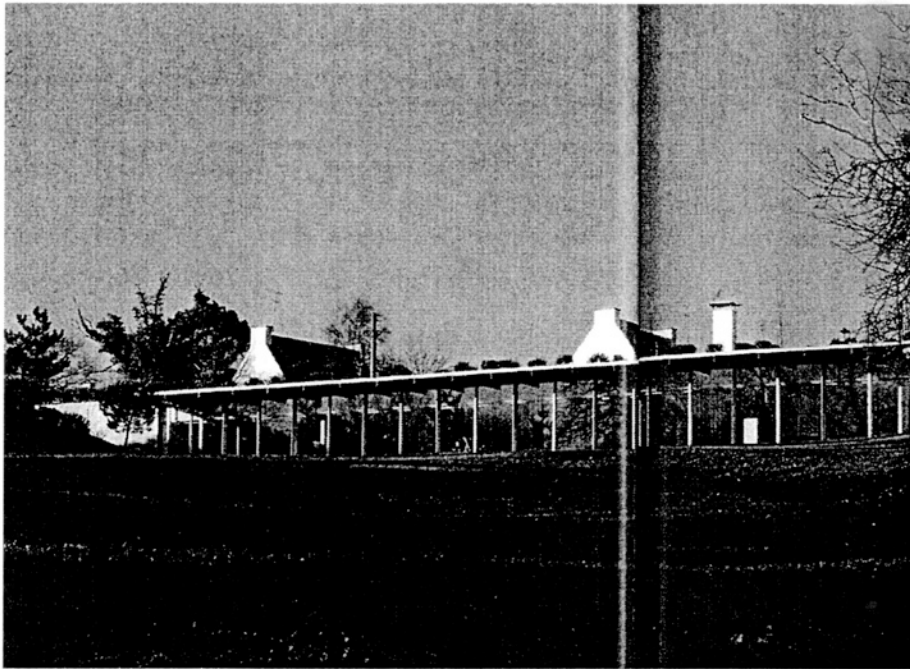
グラフ (位置情報軸: ———→ / 量情報軸: - - - - ->)

36 ミニ・ハウス アトリエ・ワン 新建築住宅特集 /9901		位置の基準			量の比較			パタン	タイプ
		部位	尺度	環境	部位	尺度	環境		
	平面	W	[wi~r]		W	[de]	敷地境界	棒	②
	断面	W F	[wi~r] [le]					帯 帯	



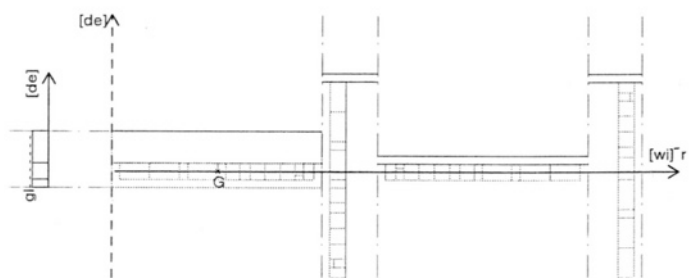
グラフ (位置情報軸: ———→ / 量情報軸: - - - - ->)

<p>37</p> <p>M-house</p> <p>阿部仁史</p> <p>新建築住宅特集 / 9904</p>		位置の基準			量の比較			バタン	タイプ
		部位	尺度	環境	部位	尺度	環境		
	平面	W	[wi ~ r]		W	[de]	敷地境界	棒	②
断面	W	[wi ~ r]		F	[le]	斜面	帯 帯		



断面

平面



グラフ（位置情報軸：——→ / 量情報軸：----->）

38

VILLA  
阿部仁史  
新建築住宅特集 / 9904

位置の基準

量の比較

パターン

タイプ

部位

尺度

環境

部位

尺度

環境

平面

W

[wi~r]

W

[de]

棒

棒×帯

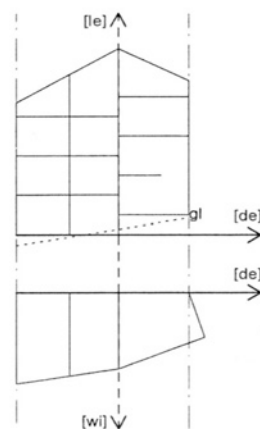
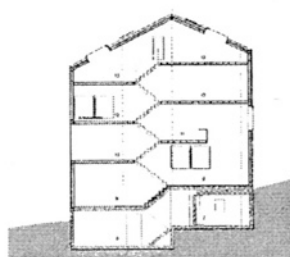
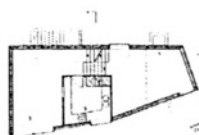
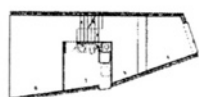
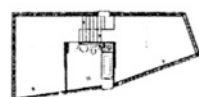
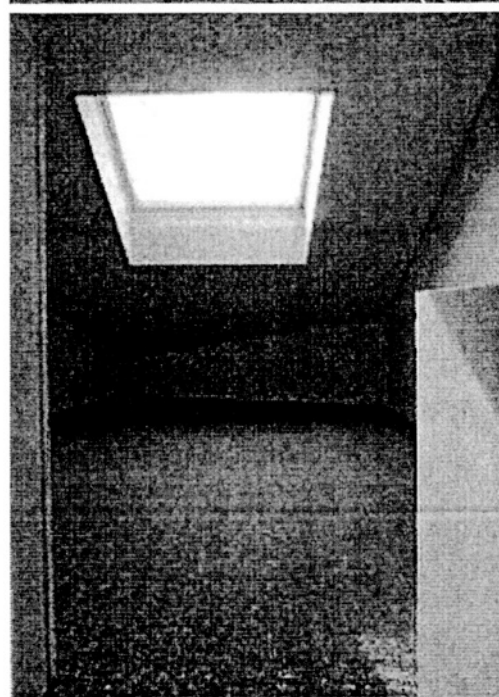
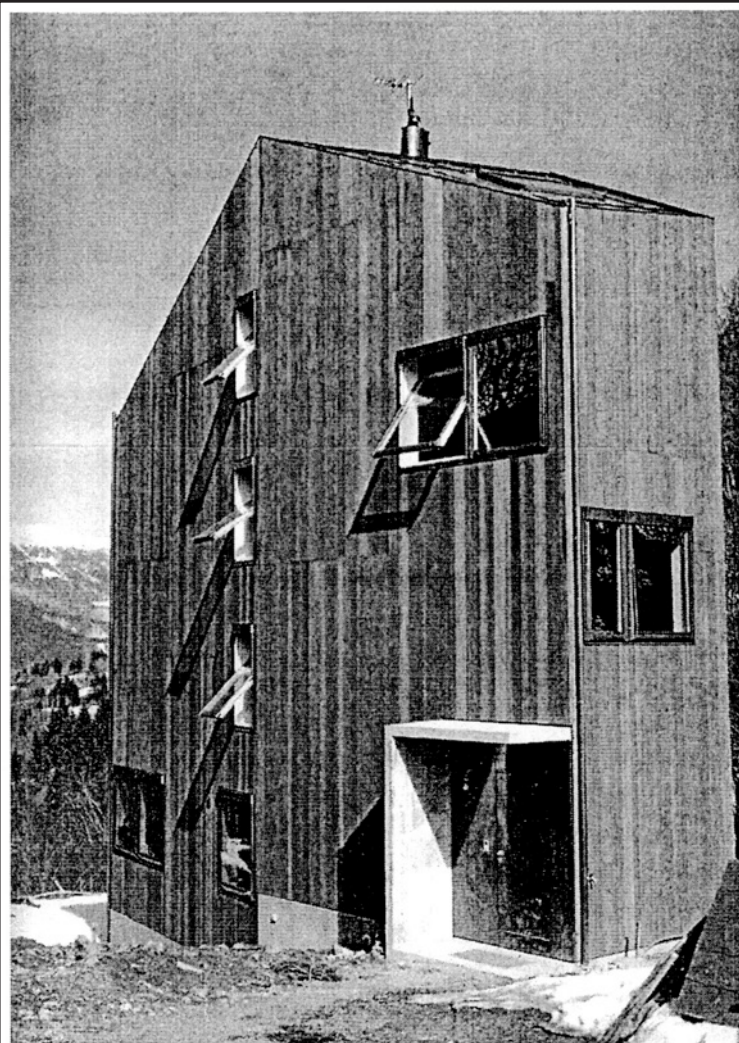
断面

W

[de]

斜面

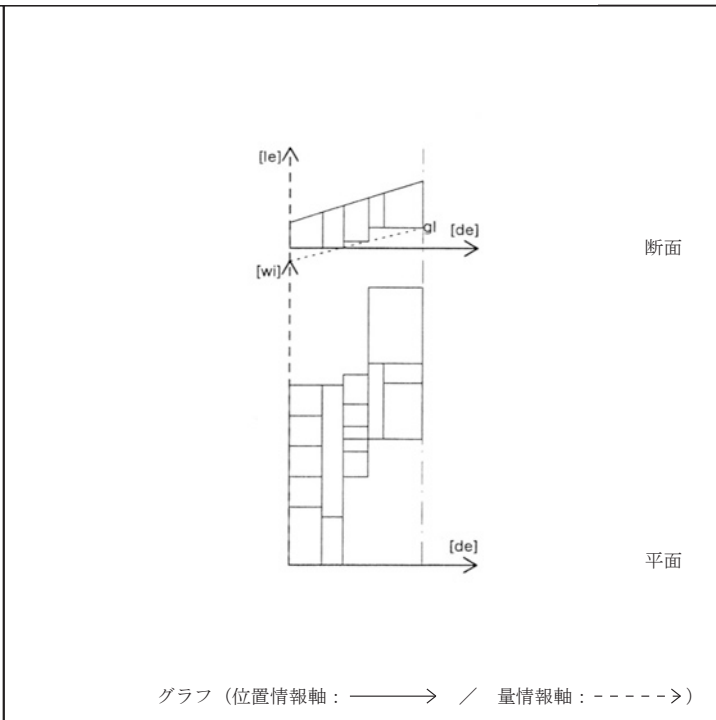
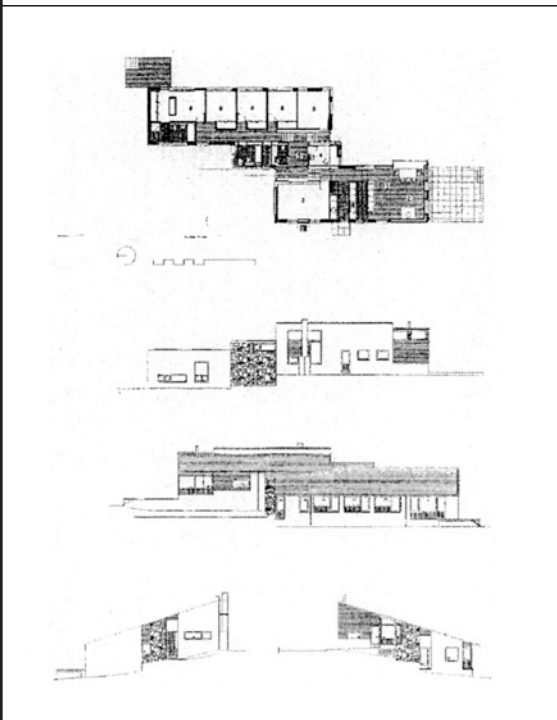
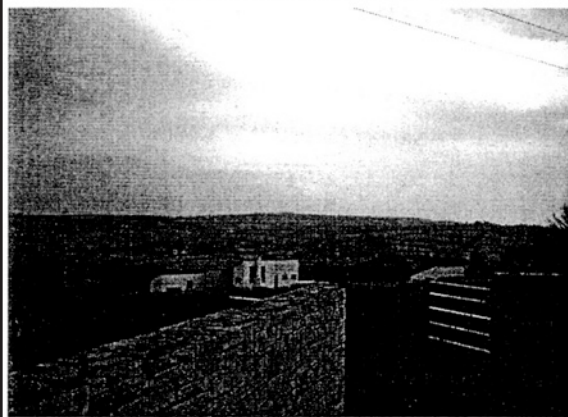
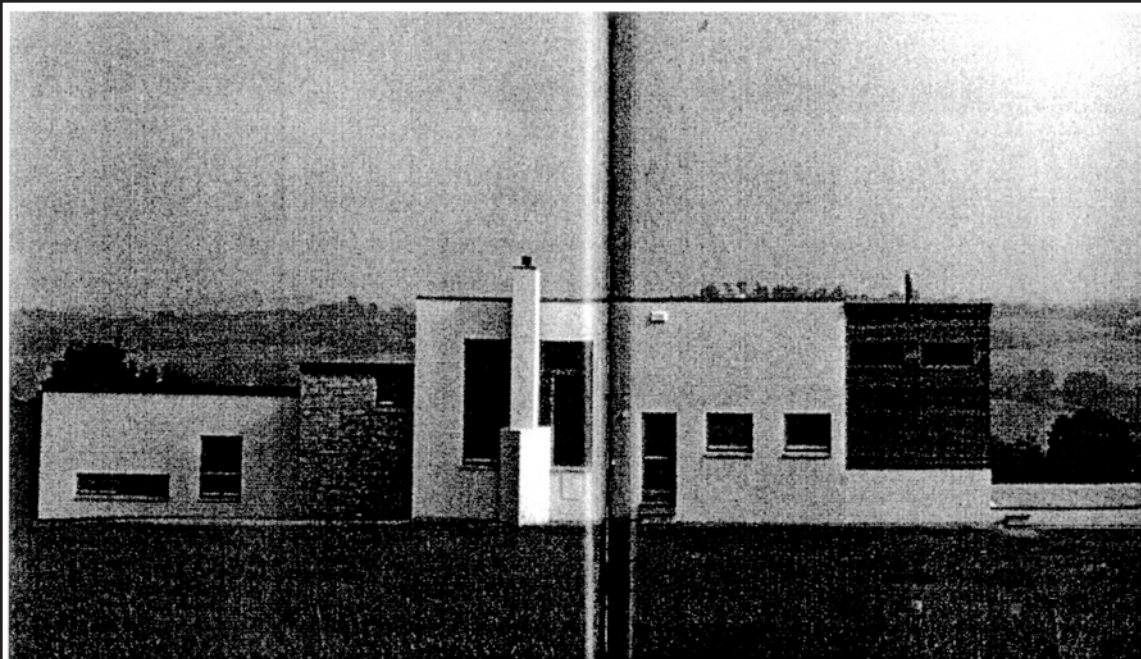
帯



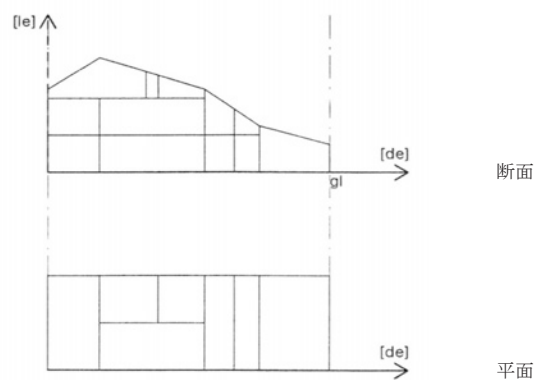
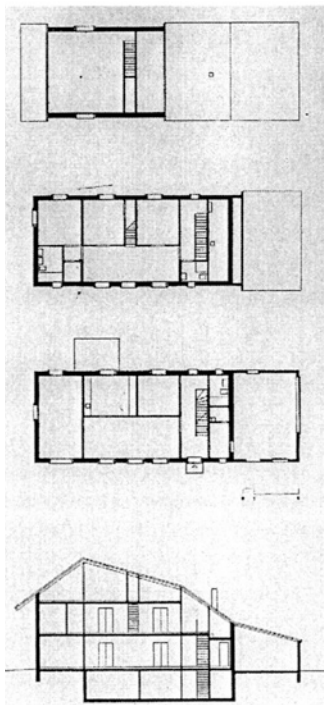
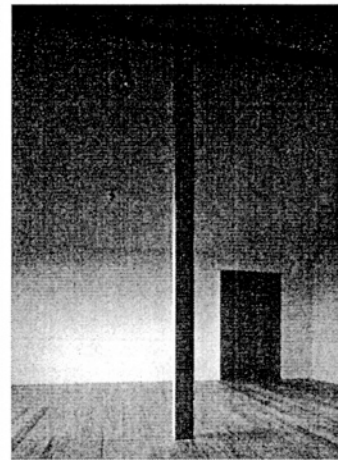
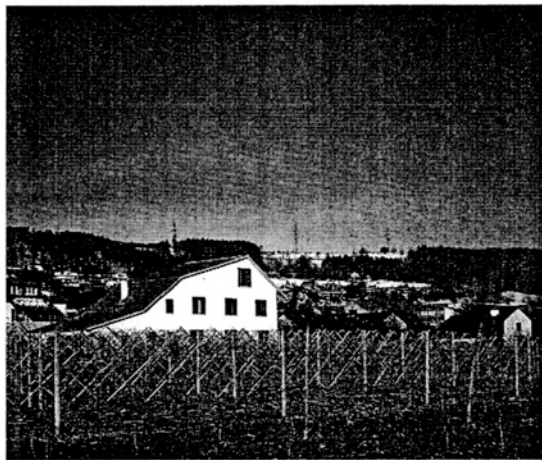
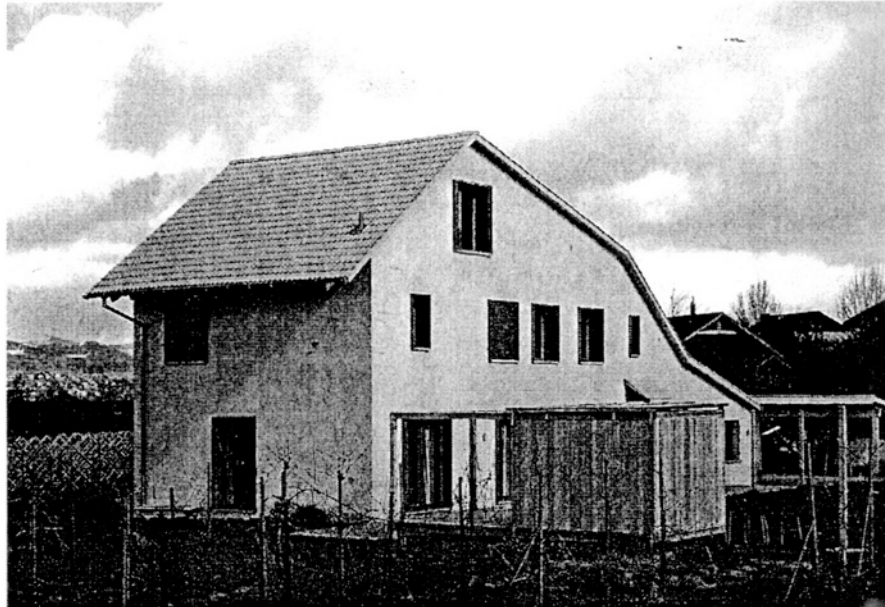
断面  
平面

グラフ (位置情報軸: ————> / 量情報軸: - - - - ->)

39 Willimann-Lotscher House V. Bearth&A. Deplazes 都市と建築 (a+u)/9906	位置の基準			量の比較			パタン	タイプ
	部位	尺度	環境	部位	尺度	環境		
	平面	W W	[de] [de]		W W	[wi] [wi]		関 on 帯 関
断面	W W W W	[de] [de] [de] [de]	斜面	F F R R	[le] [le] [le] [le]	空	帯×帯 棒×帯 関 on 帯 関	

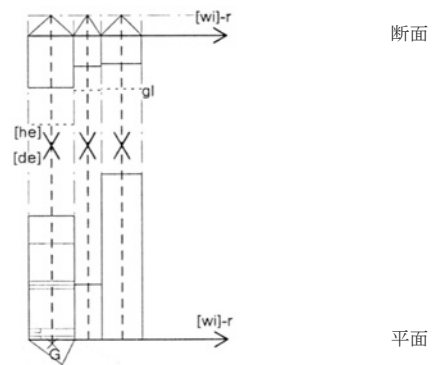
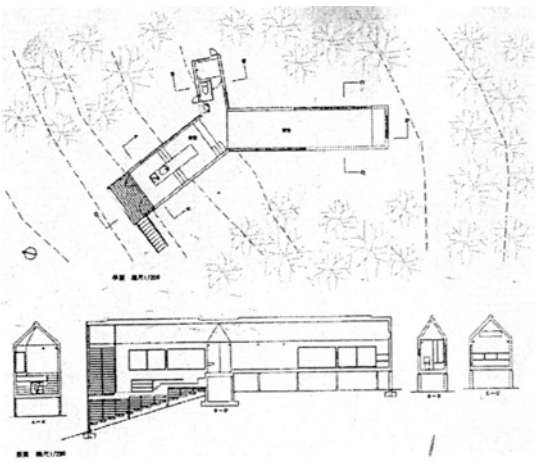
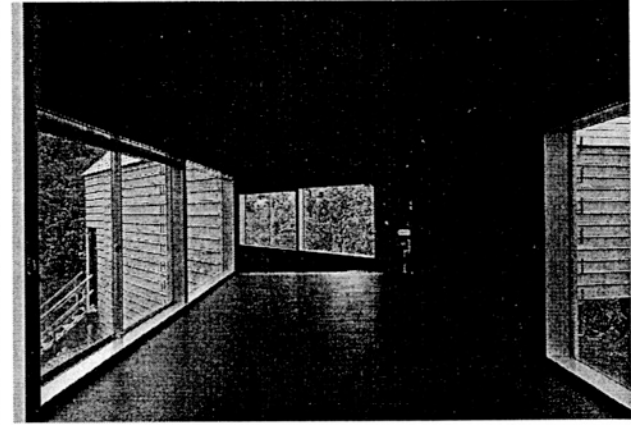
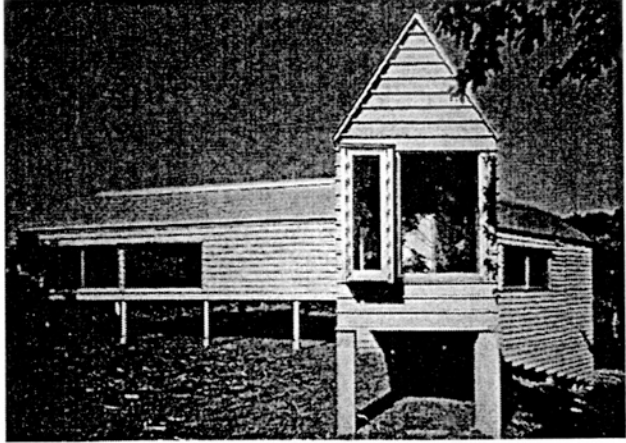
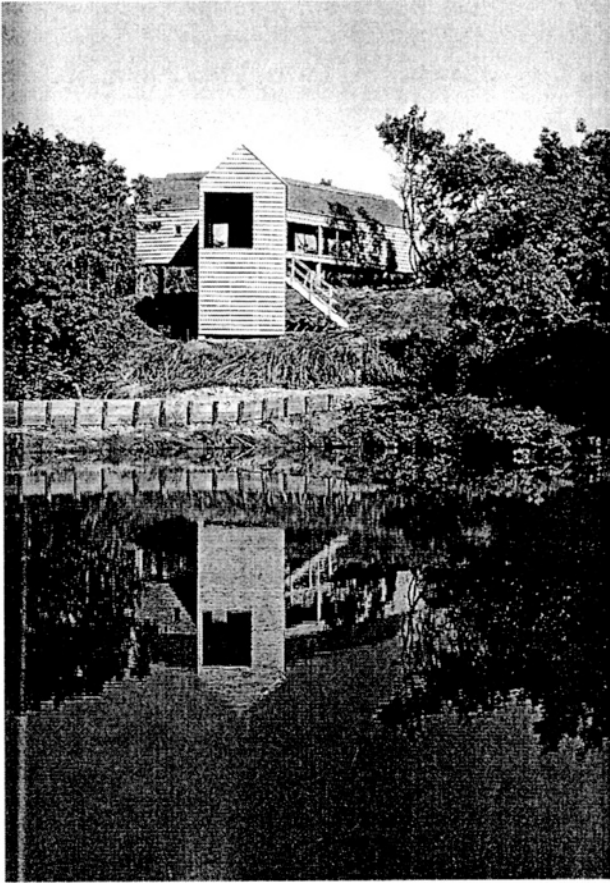


40 Parallel House M. McGarry&S. NiEanaigh 都市と建築 (a+u)/9907		位置の基準			量の比較			パターン	タイプ
		部位	尺度	環境	部位	尺度	環境		
	平面	W	[de]		W	[wi]		帯 in 帯	①
	断面	W	[de]		R	[le]	空	関 on 帯 棒×帯	



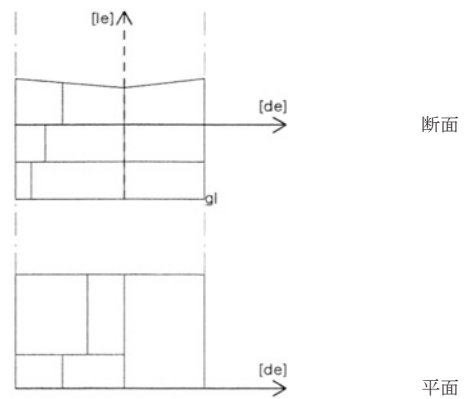
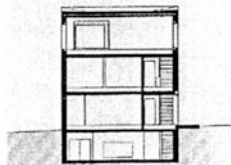
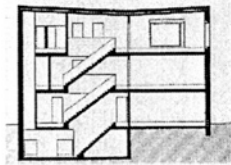
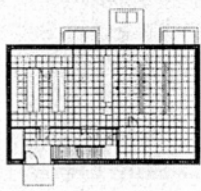
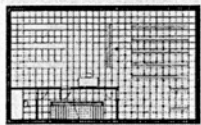
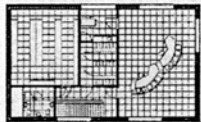
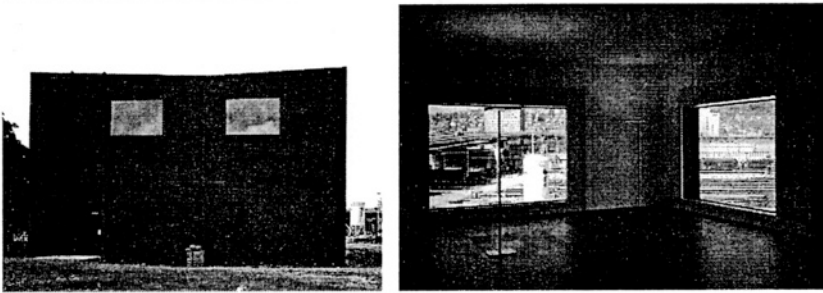
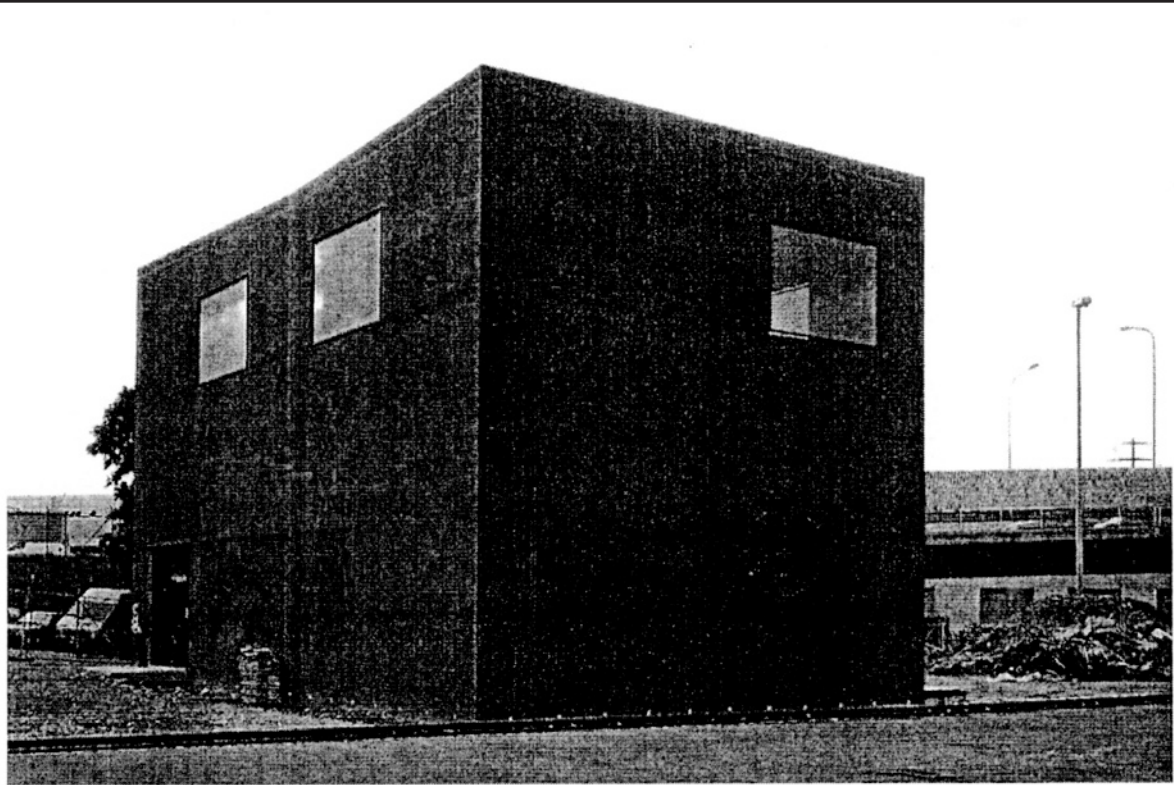
グラフ (位置情報軸: ———→ / 量情報軸: - - - - ->)

<p>41</p> <p>Single-family house in Zurich Gigon&amp;Guyer 都市と建築 (a+u)/9909</p>	位置の基準			量の比較			バタン	タイプ
	部位	尺度	環境	部位	尺度	環境		
	平面	W	[de]				帯	
	断面	W	[de]	斜面	R	[le]	空	折 帯×帯
		W	[de]	斜面	F	[le]		



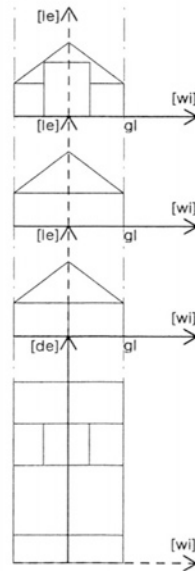
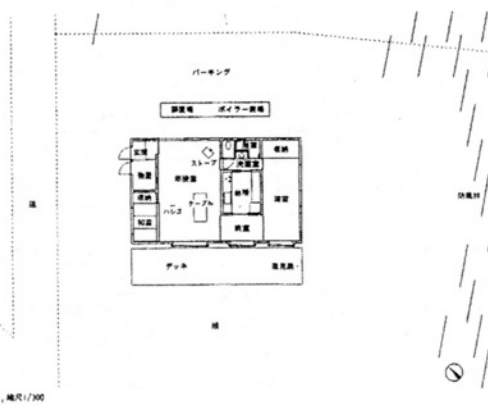
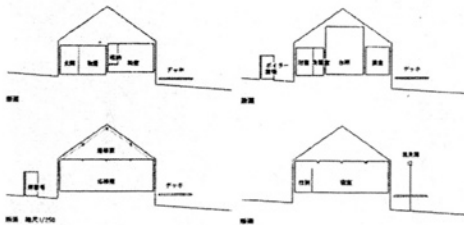
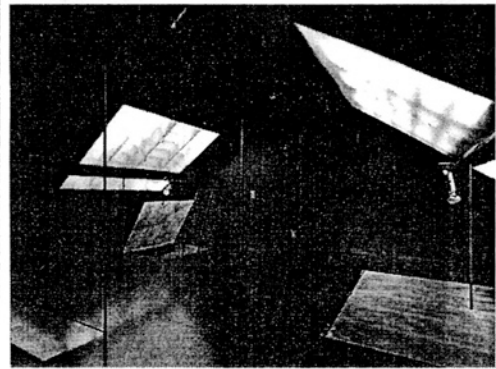
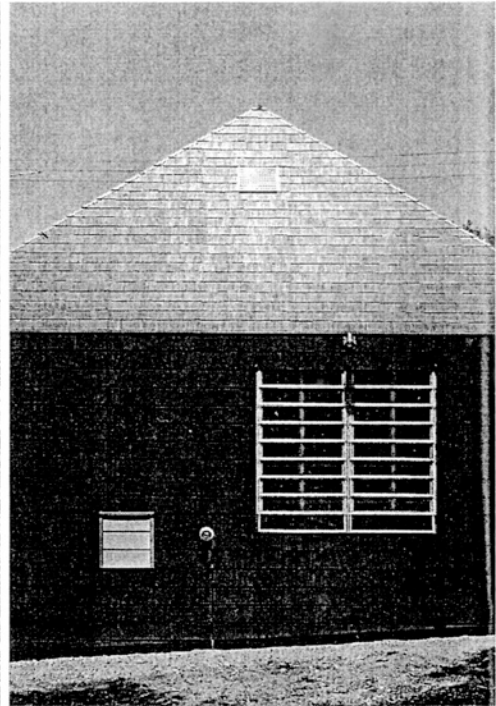
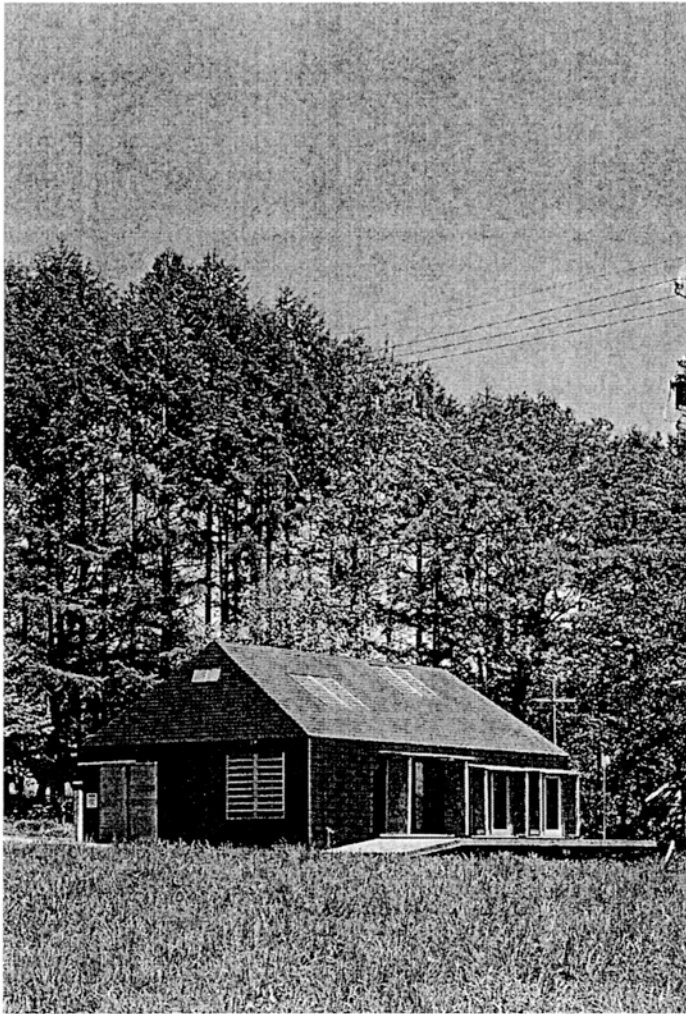
グラフ (位置情報軸: ———→ / 量情報軸: - - - - ->)

42 川西町コテージB アトリエ・ワン 新建築 / 9908	位置の基準			量の比較			パタン	タイプ
	部位	尺度	環境	部位	尺度	環境		
	平面	W	[wi~r]	W	[de]		棒	⑤
断面	W	[wi~r]	R	[pi]	空	関		
		W	[wi~r]	F	[le]	斜面	棒	



グラフ (位置情報軸: ———→ / 量情報軸: - - - - ->)

<p>43</p> <p>Switching Box SBB</p> <p>Gigon&amp;Guyer</p> <p>都市と建築 (a+u)/9909</p>	位置の基準			量の比較			ボタン	タイプ
	部位	尺度	環境	部位	尺度	環境		
	平面	W	[de]				帯	⑤
	断面	W	[de]	R	[pi]	空	関×帯	
		W	[de]	F	[le]		帯×帯	



断面

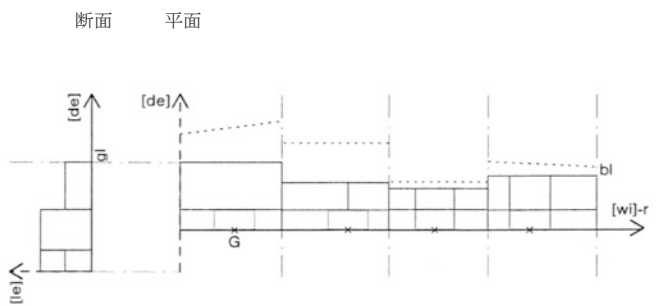
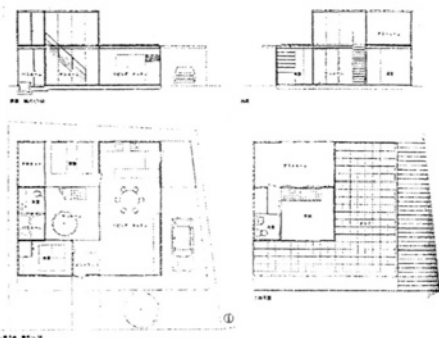
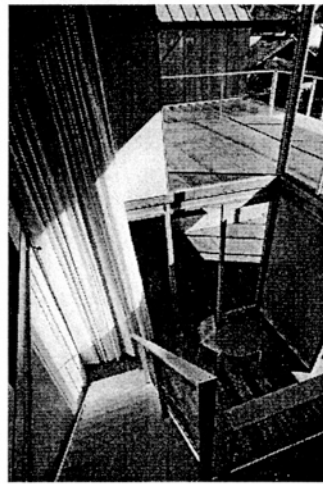
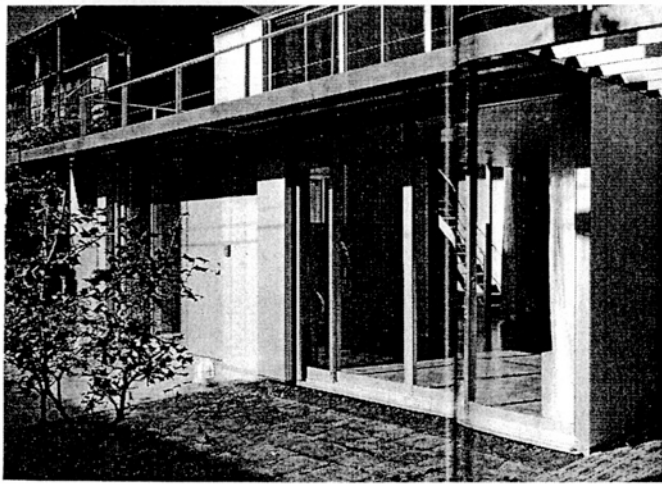
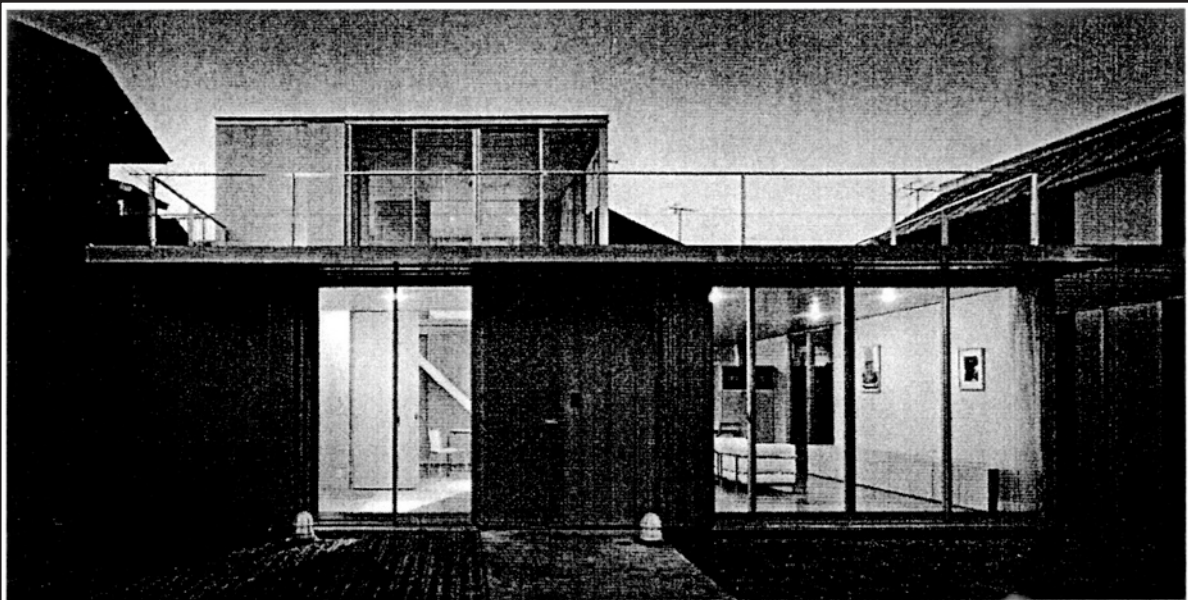
平面

グラフ (位置情報軸: ———→ / 量情報軸: - - - - ->)

44

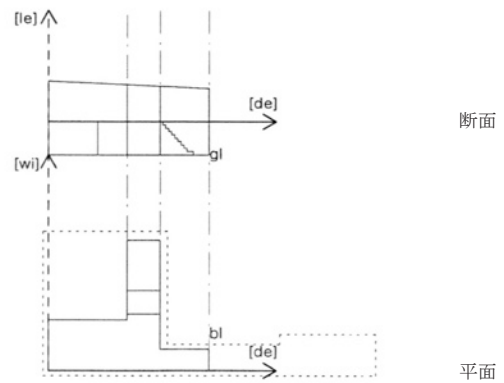
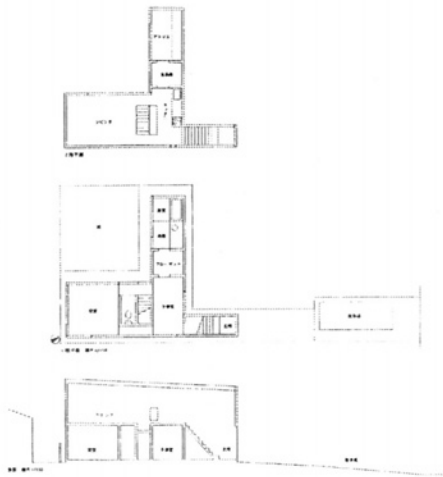
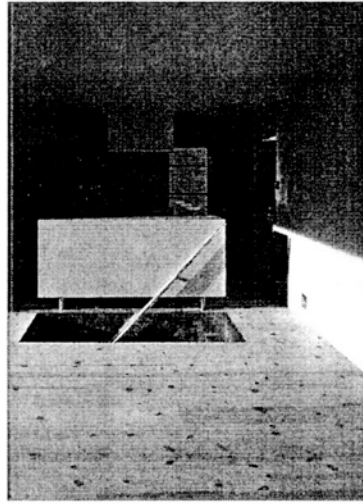
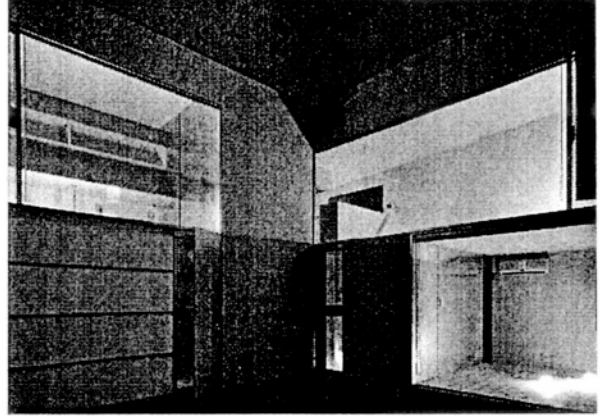
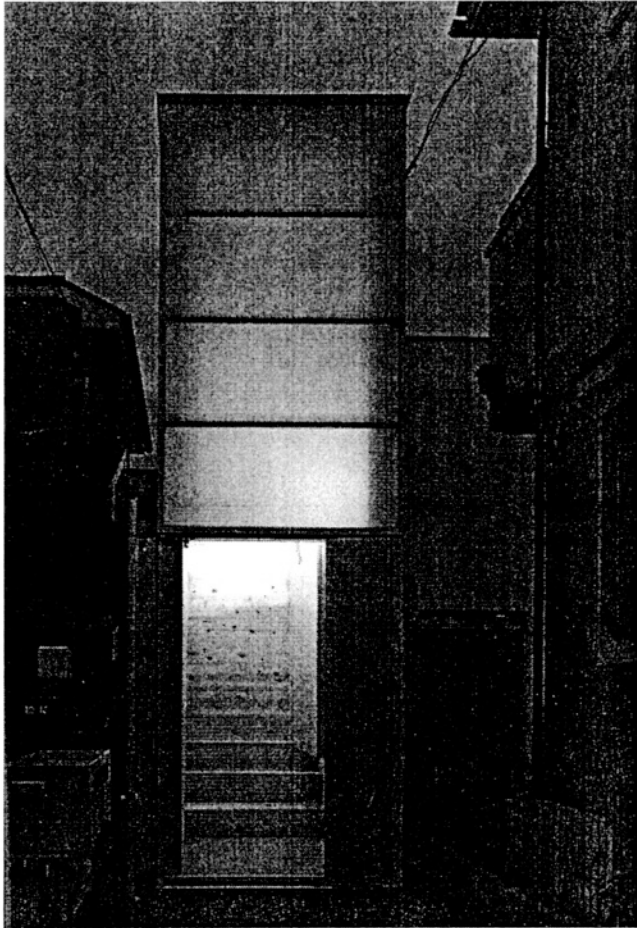
諏訪のハウス  
西沢大良  
新建築住宅特集 / 9909

	位置の基準			量の比較			パタン	タイプ
	部位	尺度	環境	部位	尺度	環境		
平面	W	[de]		W	[wi]		帯 in 帯	
断面	W	[wi]	斜面	R	[le]	空	関 on 帯 棒×帯	
	W	[wi]	斜面	C	[le]			



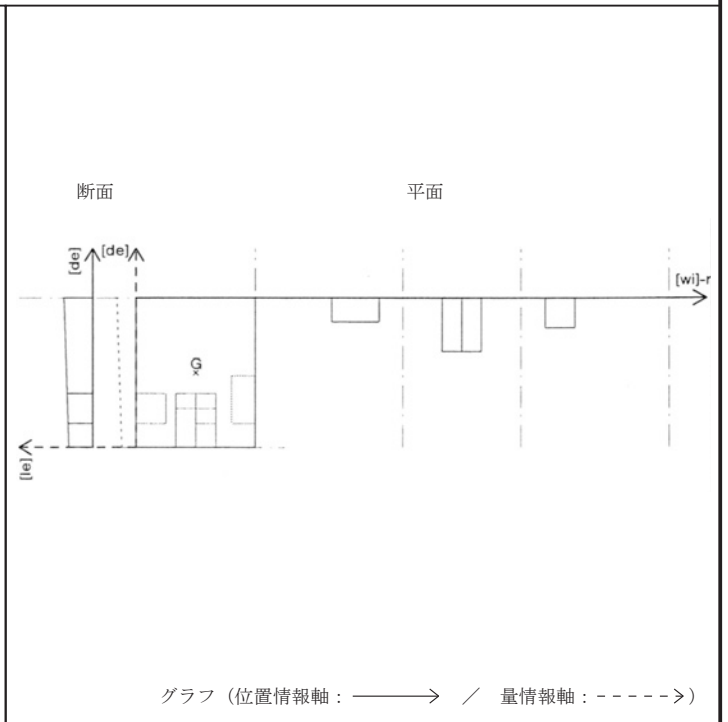
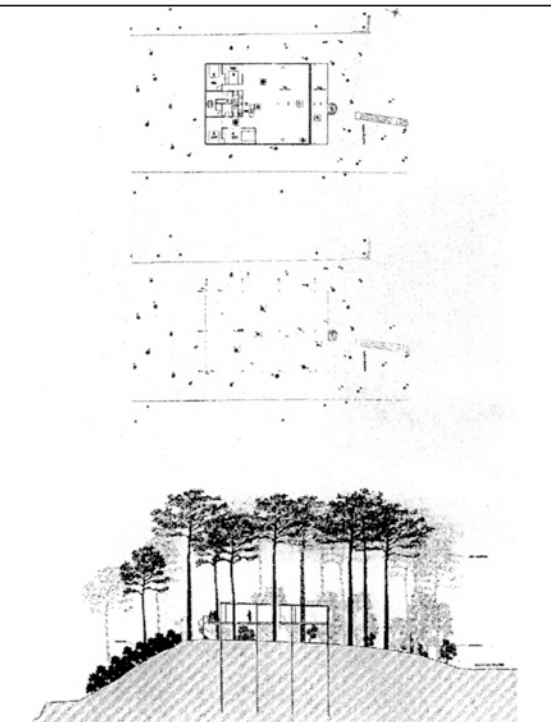
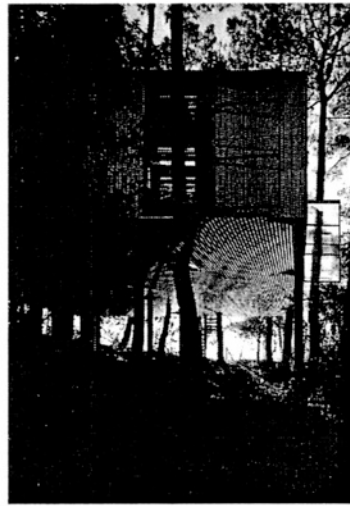
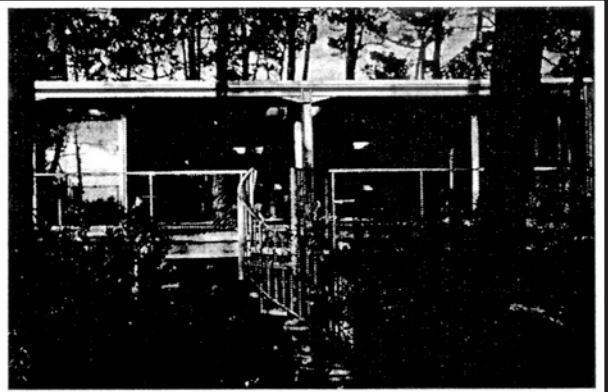
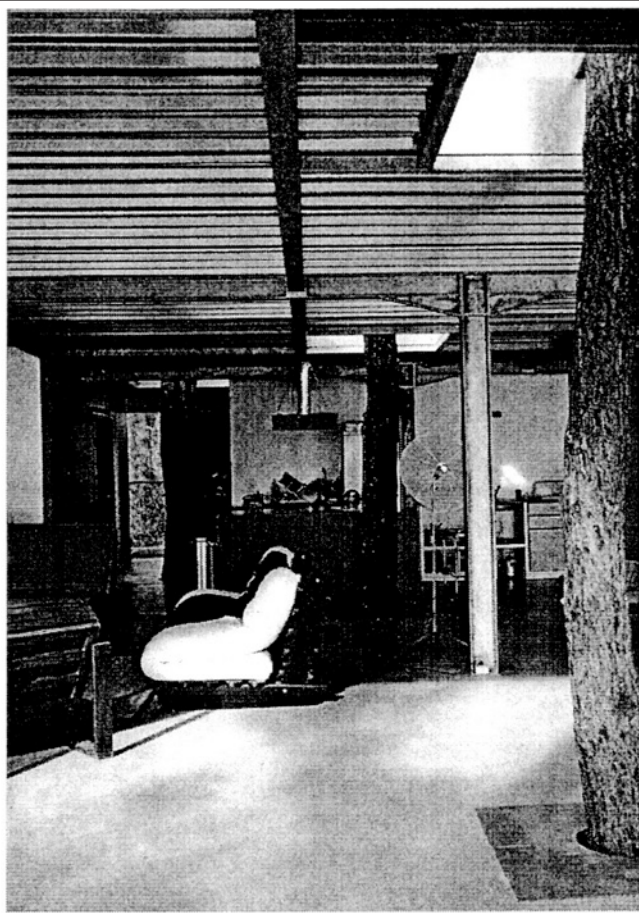
グラフ (位置情報軸: ————> / 量情報軸: - - - - ->)

45 桜上水 K 邸 伊東豊雄 新建築住宅特集 /0004	位置の基準			量の比較			バタン	タイプ
	部位	尺度	環境	部位	尺度	環境		
	平面	W W	[wi ~ r] [wi ~ r]		W W	[de] [de]	中庭	棒 棒×帯
断面	W	[de]	斜面	F, R	[le]	中庭	棒×帯	

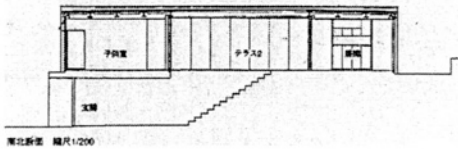
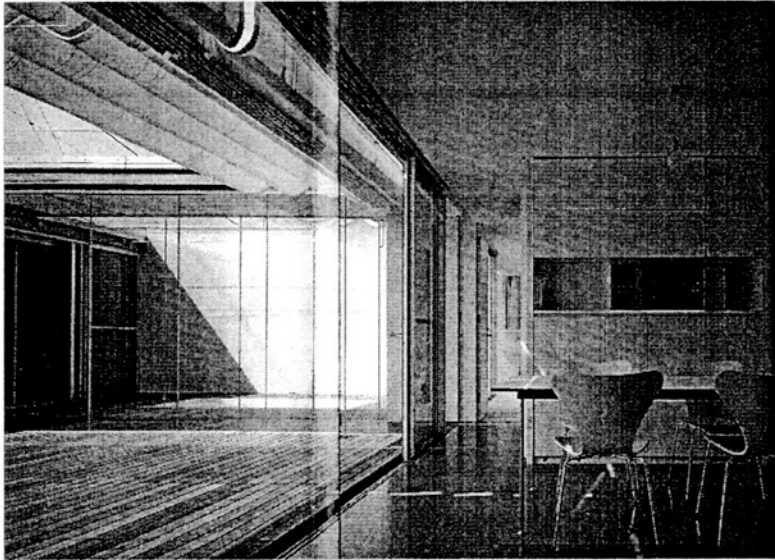
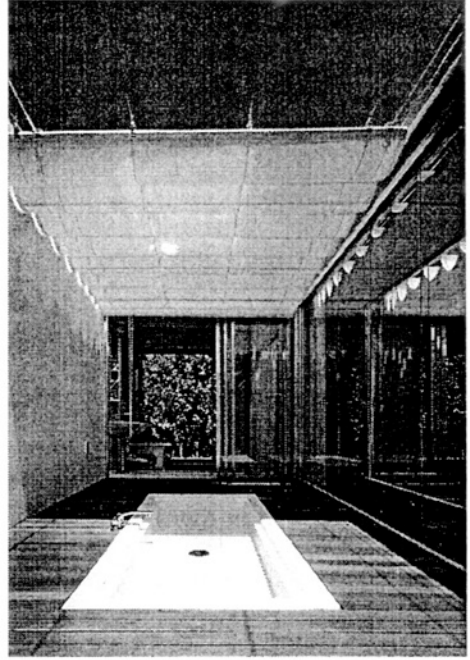
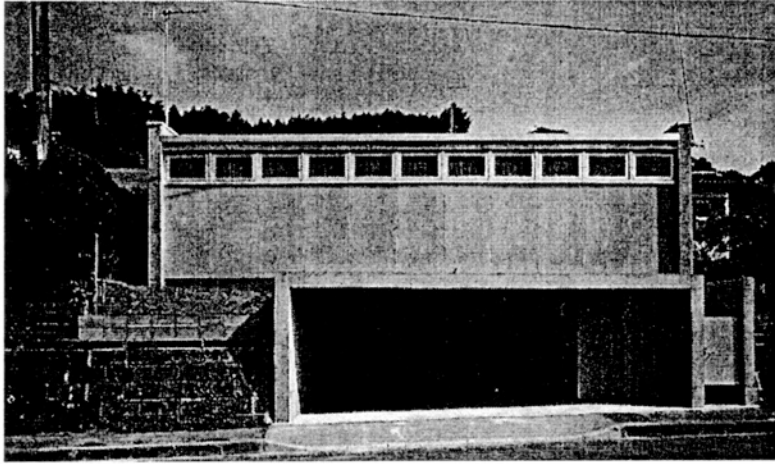


グラフ (位置情報軸 : ———→ / 量情報軸 : - - - - ->)

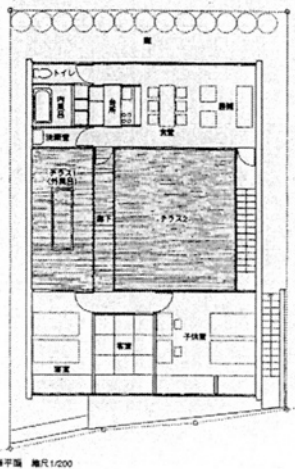
46 C 青木淳 新建築住宅特集 / 0009		位置の基準			量の比較			パタン	タイプ
		部位	尺度	環境	部位	尺度	環境		
	平面	W	[de]	敷地境界	W	[wi]	敷地境界	棒×帯	⑦
断面	W	[de]		R	[le]	空	関 on 帯		
		W	[de]		F	[le]	帯×帯		



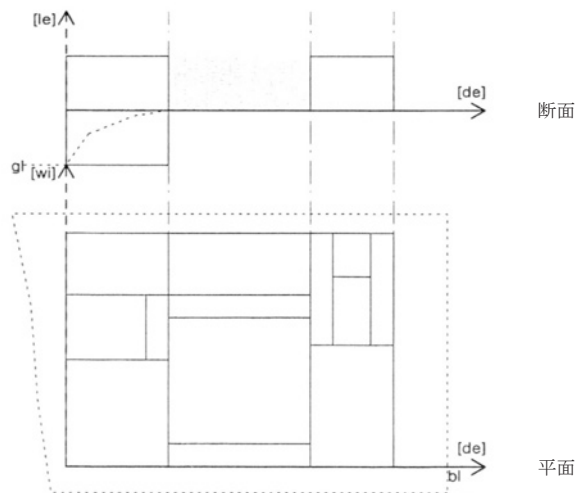
47 House in Lage Cap-Ferret Lacaton Vassal 都市と建築 (a+u)/0011	位置の基準			量の比較			バタン	タイプ
	部位	尺度	環境	部位	尺度	環境		
	平面	W	[wi~r]	W	[de]	空	棒×帯	⑦
断面	W	[de]	R	[le]	空	関 on 帯		



南北断面 縮尺1/200

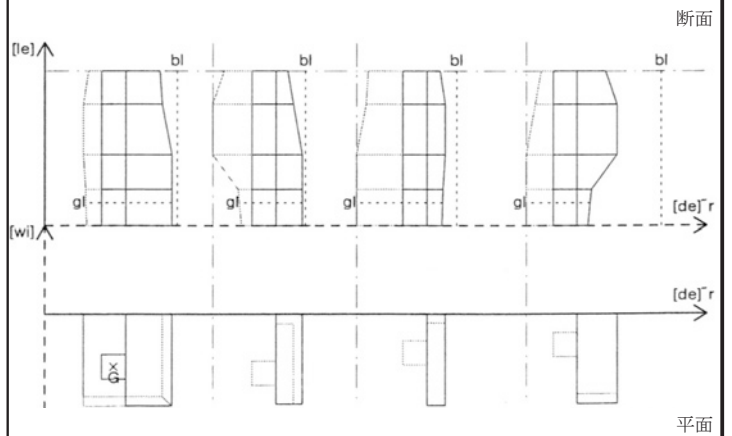
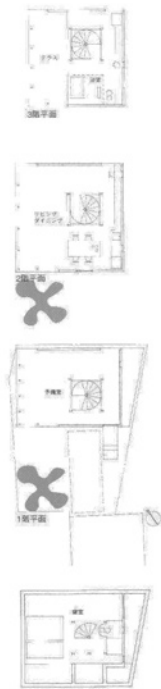
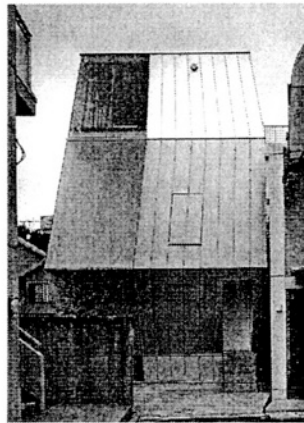
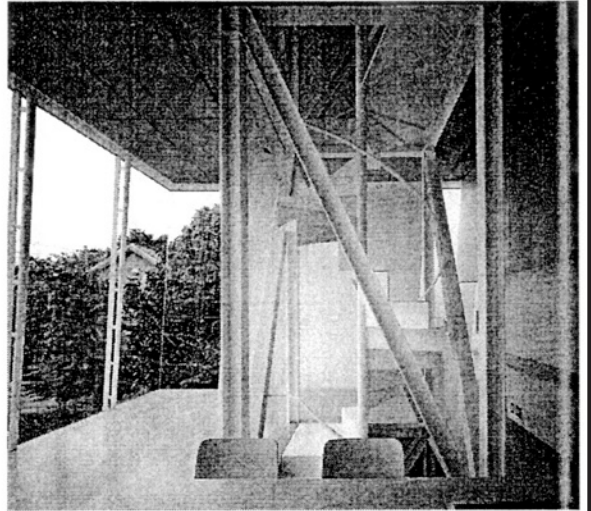
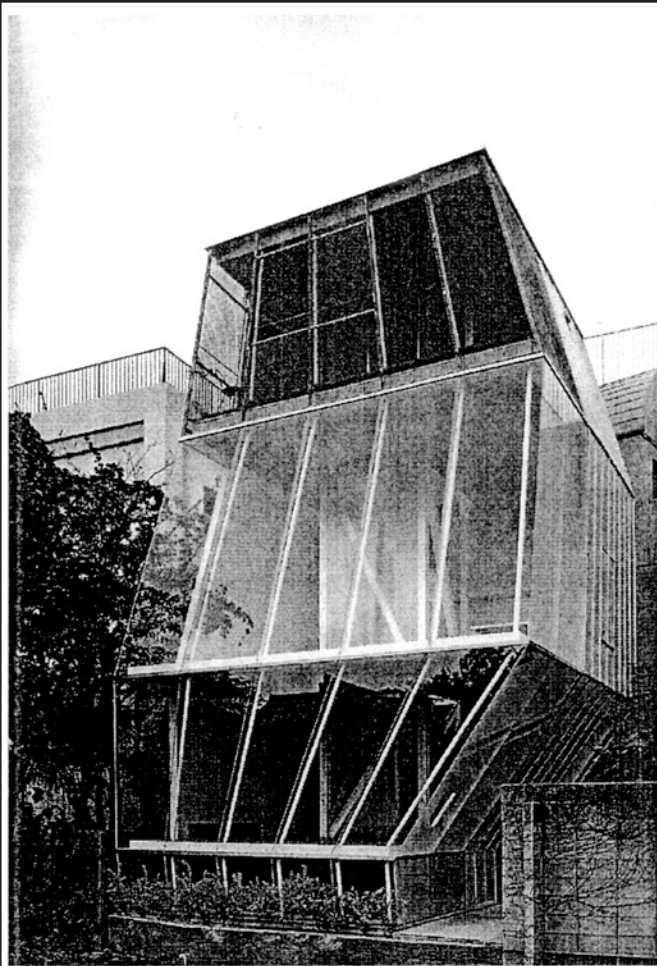


1階平面 縮尺1/200



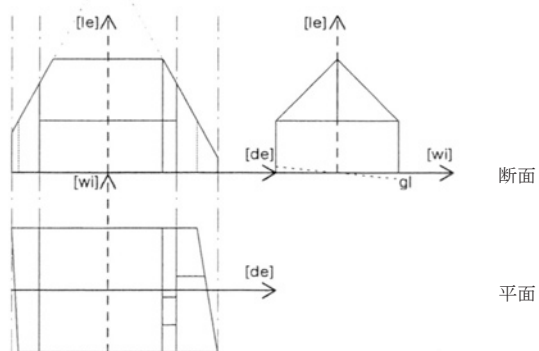
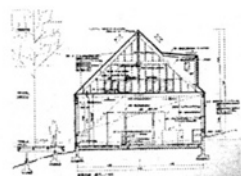
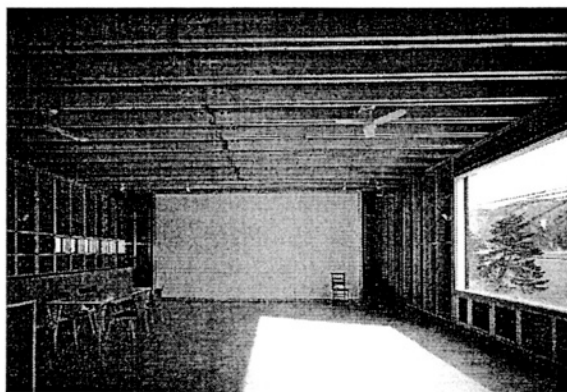
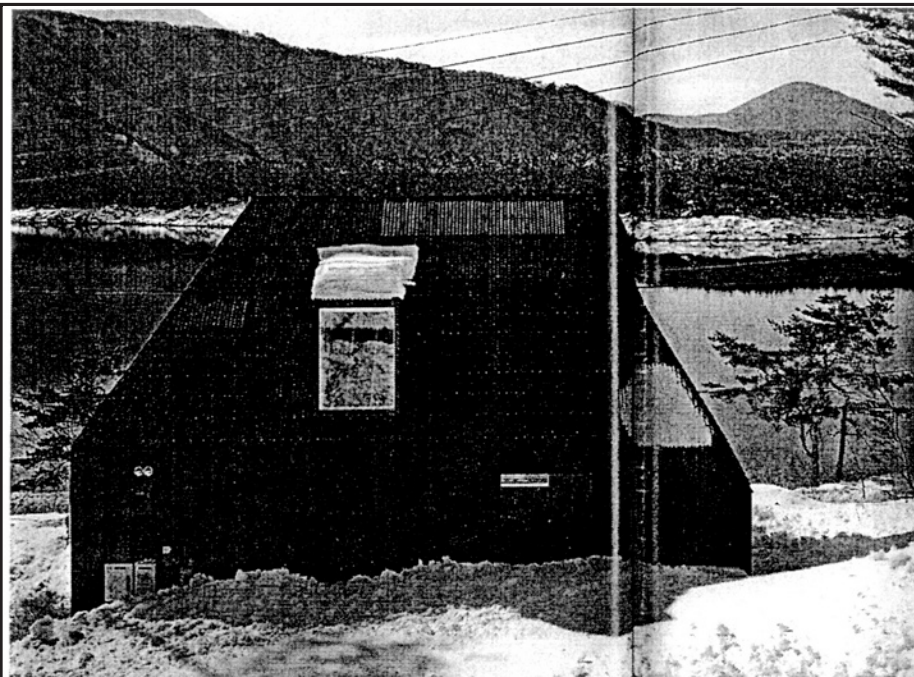
グラフ (位置情報軸: ———→ / 量情報軸: - - - - ->)

48 八王子の家 手塚建築研究所 新建築住宅特集 /0011		位置の基準			量の比較			パターン	タイプ
		部位	尺度	環境	部位	尺度	環境		
	平面	W	[de]		W	[wi]	中庭	帯 in 帯	
断面	W	[de]	斜面	F, R	[le]	中庭	帯×帯		



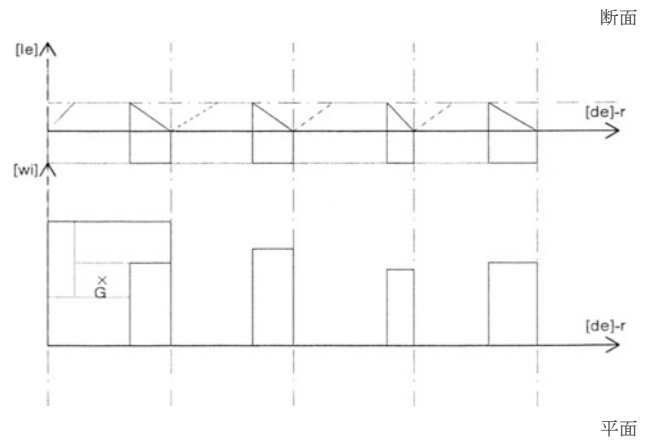
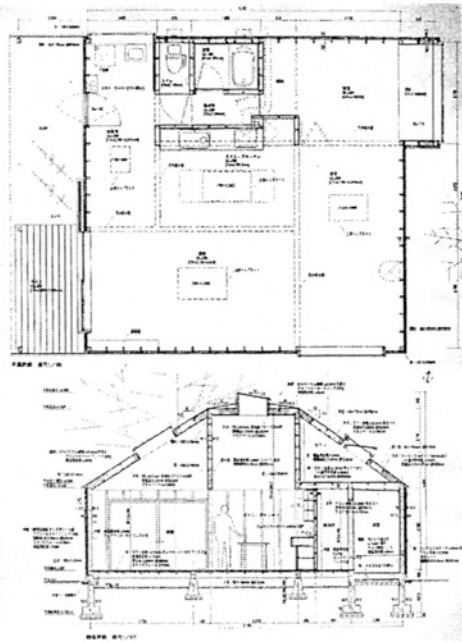
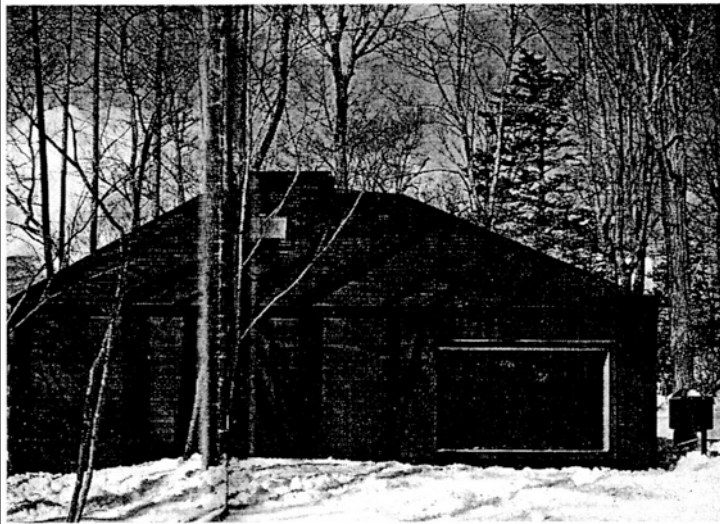
グラフ (位置情報軸: ———→ / 量情報軸: - - - - ->)

49 小さな家 妹島和世 新建築 /0011		位置の基準			量の比較			パタン	タイプ
		部位	尺度	環境	部位	尺度	環境		
	平面	W	[wi~r]		W	[de]		棒×帯	
断面	F	[le]		W	[de]	敷地境界	関×帯 帯		



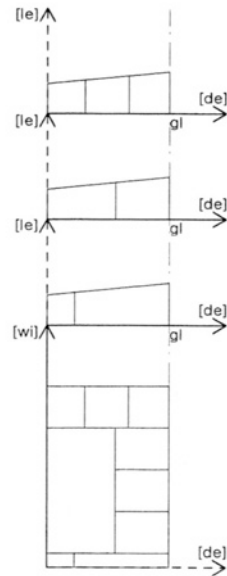
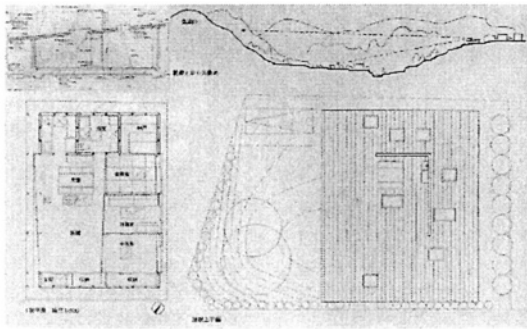
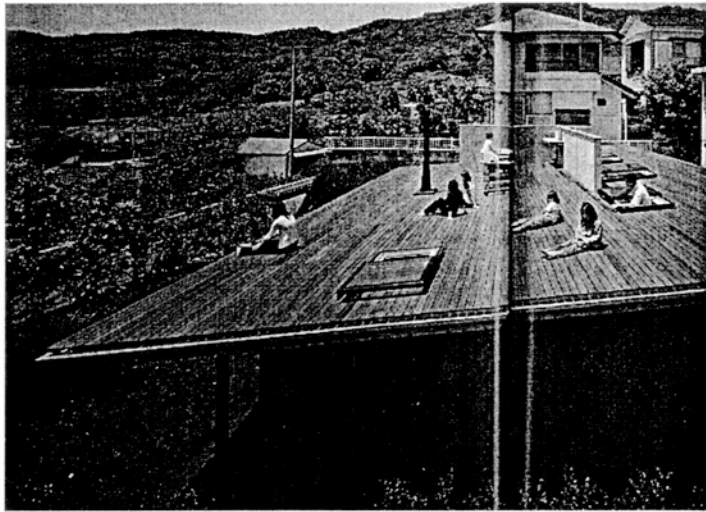
グラフ (位置情報軸: ———→ / 量情報軸: - - - - ->)

50 ハウス・サイコ アトリエ・ワン 新建築 / 0103		位置の基準			量の比較			パターン	タイプ
		部位	尺度	環境	部位	尺度	環境		
	平面	W W W	[wi] [wi] [de]		W W	[de] [de]		関 関 on 帯	⑥
	断面	W W	[de] [wi]	斜面	R R	[le] [le]	空 空	関 on 帯 関×帯	



グラフ (位置情報軸: ———→ / 量情報軸: - - - - ->)

51 ハウス・アサマ アトリエ・ワン 新建築 / 0103		位置の基準			量の比較			バタン	タイプ
		部位	尺度	環境	部位	尺度	環境	棒×帯	⑤
	平面	W	[de~r]		W	[wi]		関	
断面	W	[de~r]	斜面	R	[pi]	空			

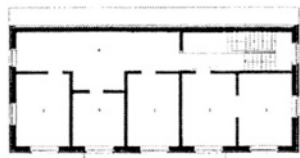
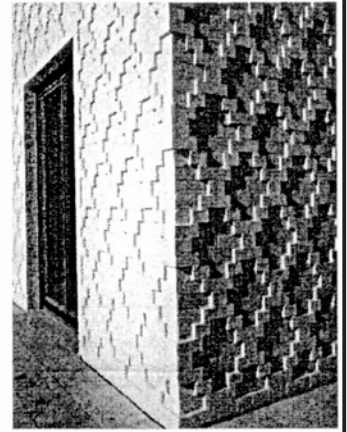
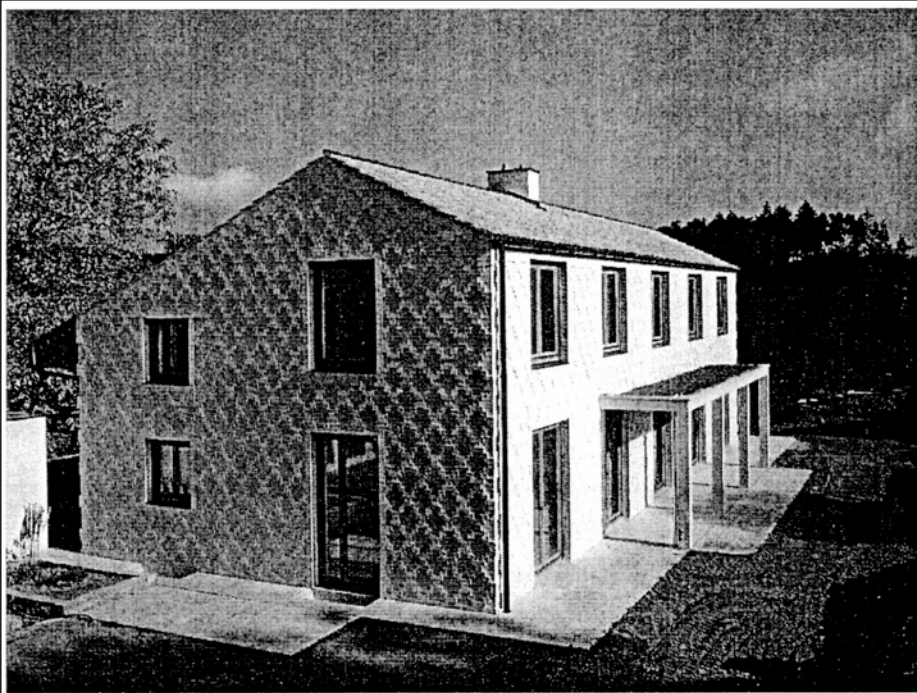


断面

平面

グラフ (位置情報軸: ———→ / 量情報軸: - - - - ->)

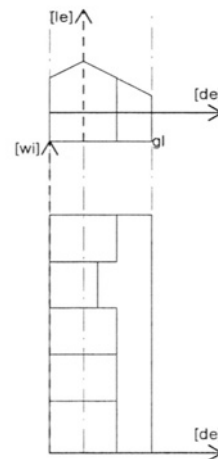
52 屋根の家 手塚建築研究所 新建築住宅特集 / 0108		位置の基準			量の比較			パターン	タイプ
		部位	尺度	環境	部位	尺度	環境		
	平面	W	[de]		W	[wi]		帯 in 帯	
断面	W	[wi]	斜面	R	[le]	空	関 on 帯		



Second floor plan / 2階平面図



Ground floor plan / 1階平面図

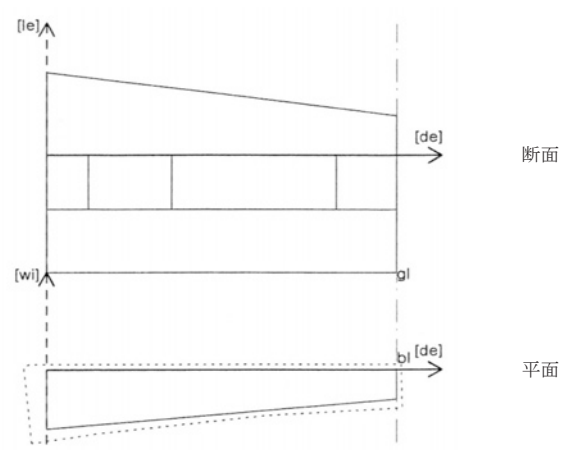
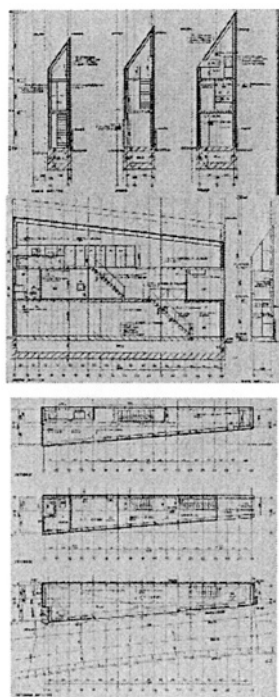
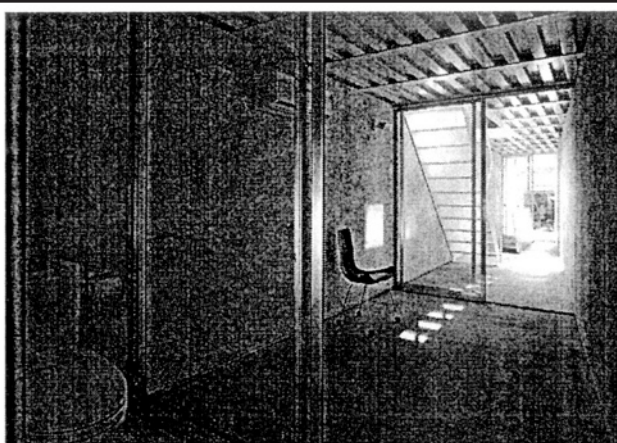
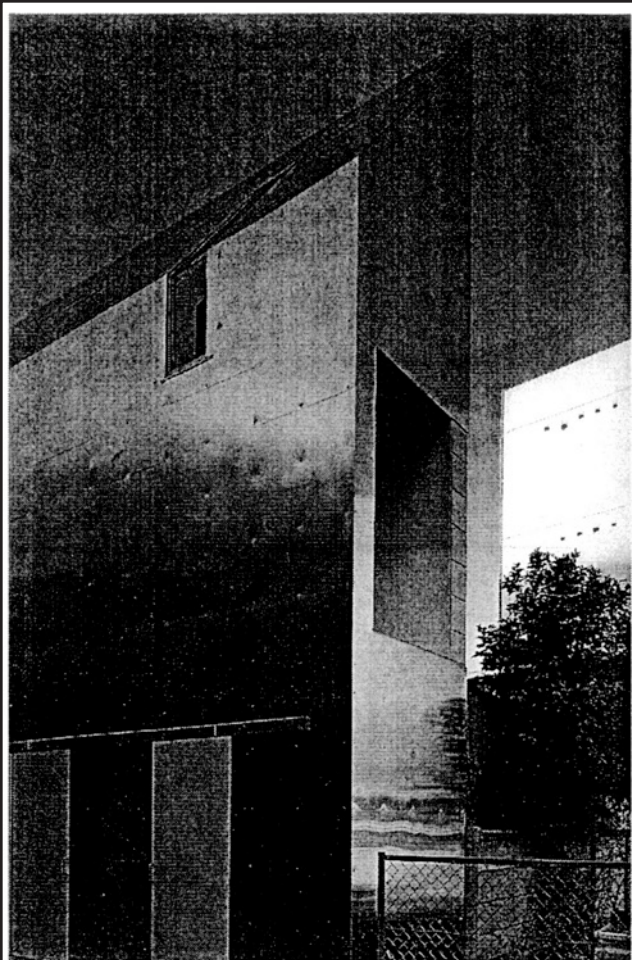


断面

平面

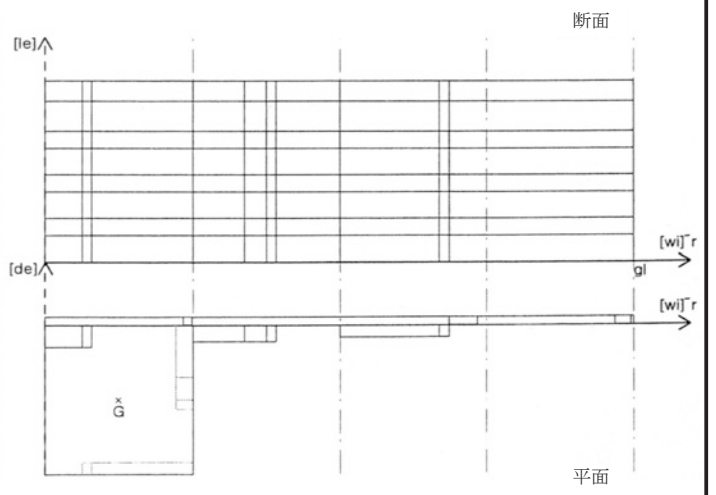
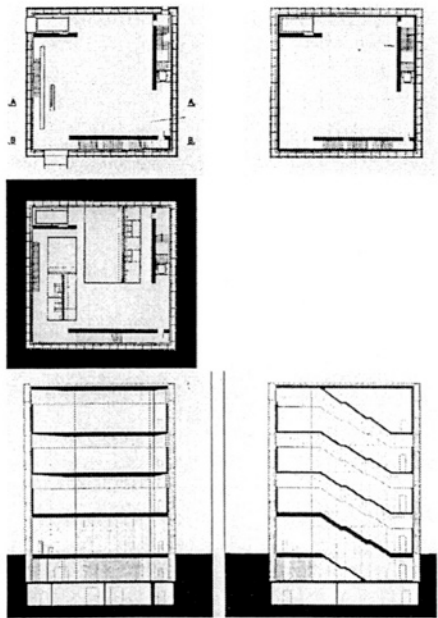
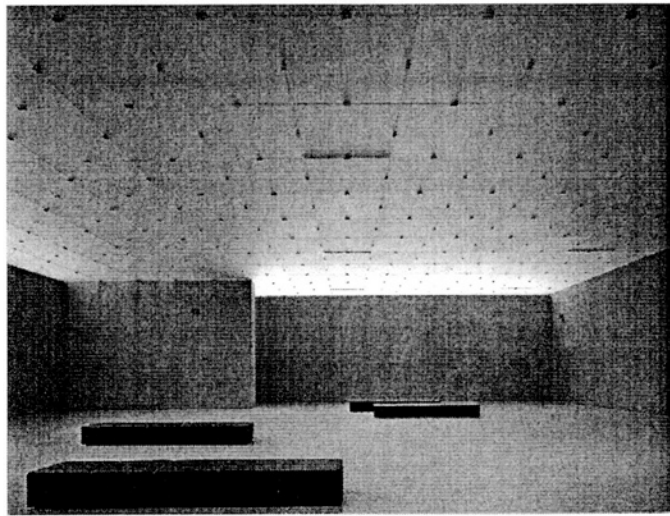
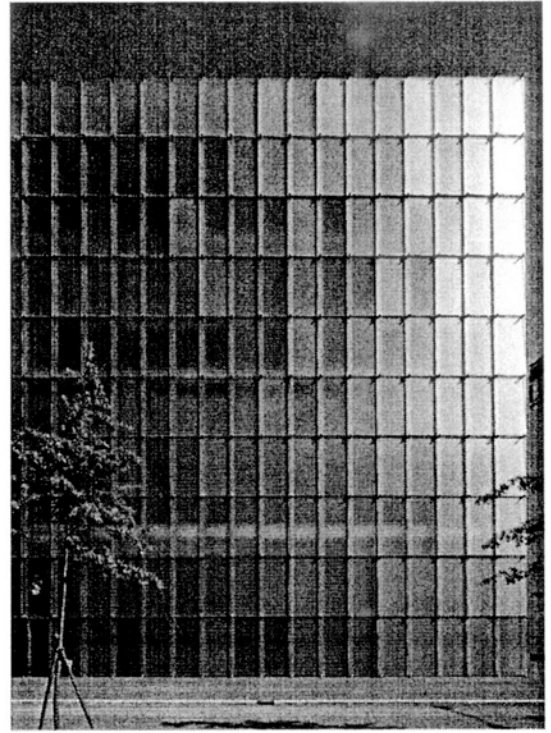
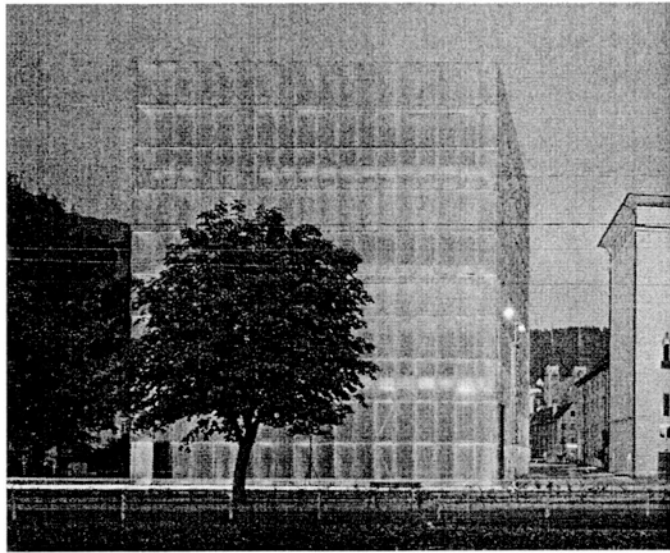
グラフ (位置情報軸: ———> / 量情報軸: - - - - ->)

53 House in Aggsta11 Hild und K 都市と建築 (a+u) / 0110		位置の基準			量の比較			パタン	タイプ
		部位	尺度	環境	部位	尺度	環境		
	平面	W	[de]		W	[wi]		帯 in 帯	④
	断面	W	[de]		R	[le]	空	関 on 帯 帯 × 帯	



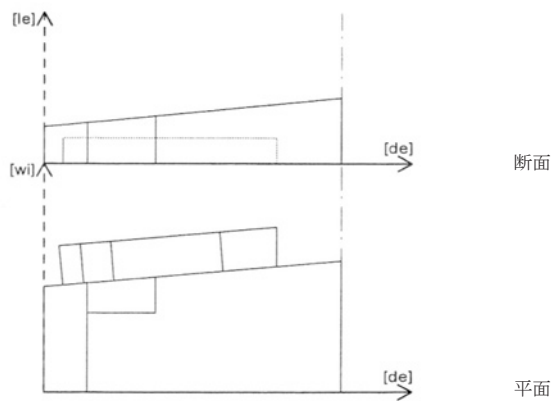
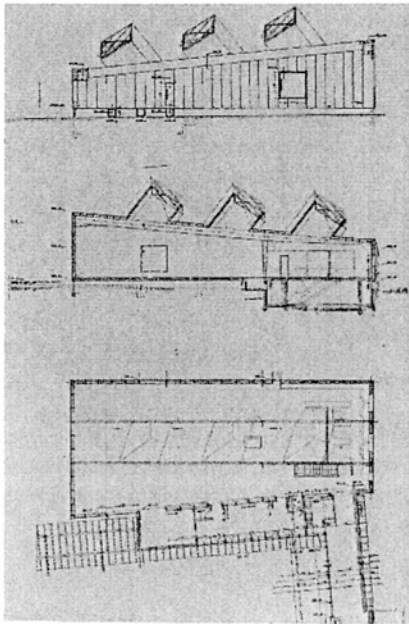
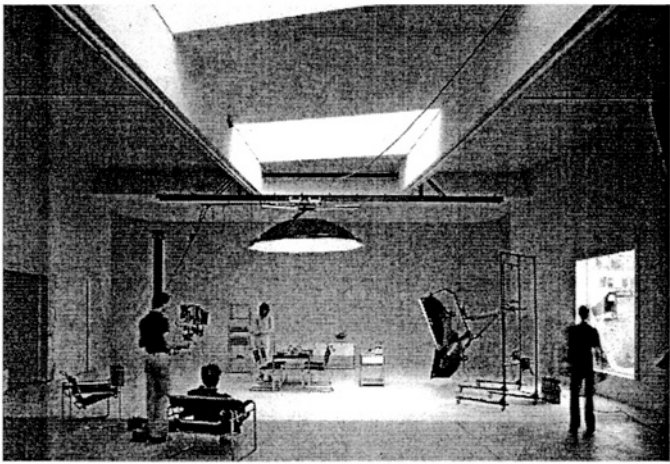
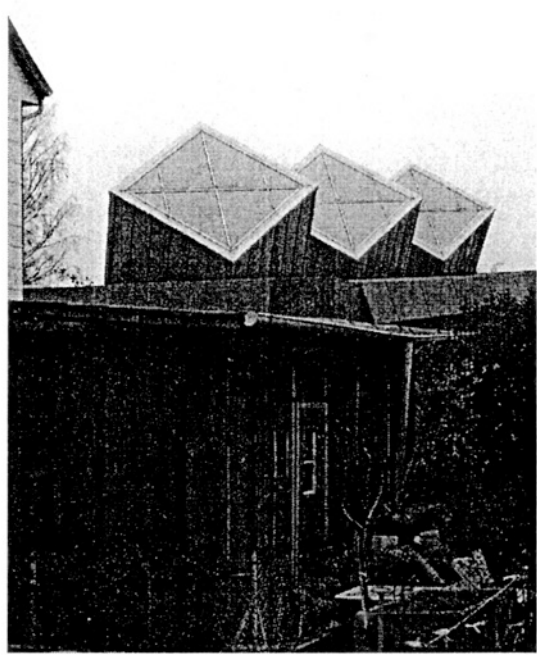
グラフ (位置情報軸: ———→ / 量情報軸: - - - - ->)

54	位置の基準			量の比較			パターン	タイプ
	部位	尺度	環境	部位	尺度	環境		
	平面	W	[de]	敷地境界	W	[wi]	関	⑥
断面	W	[de]	空	R	[le]	関 帯 in 帯		
	W	[le]	F	[de]				



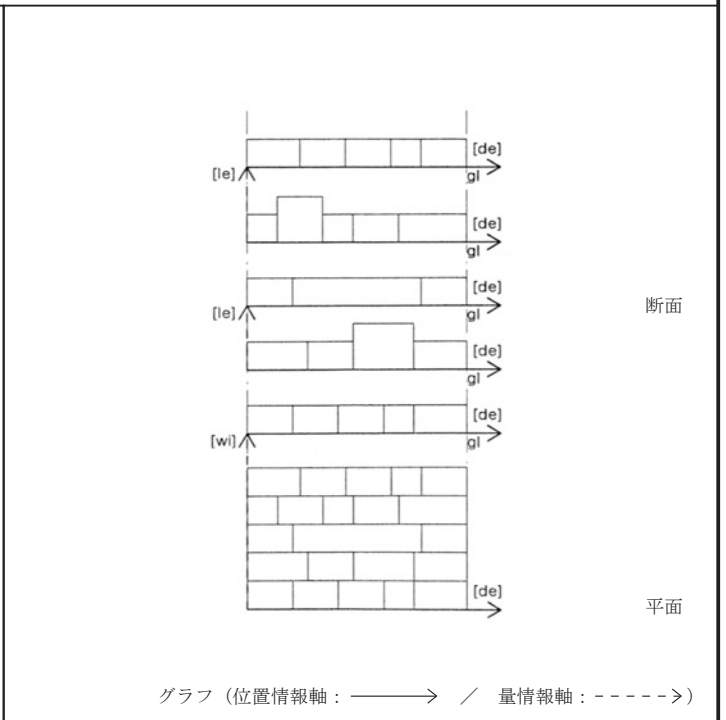
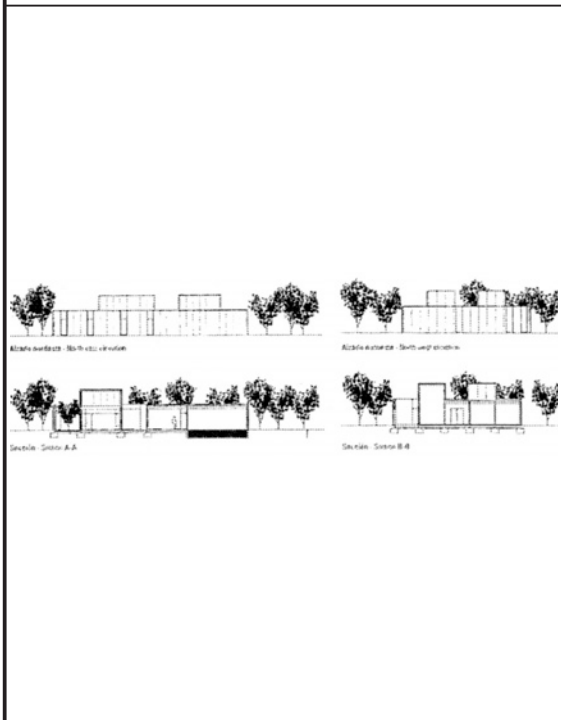
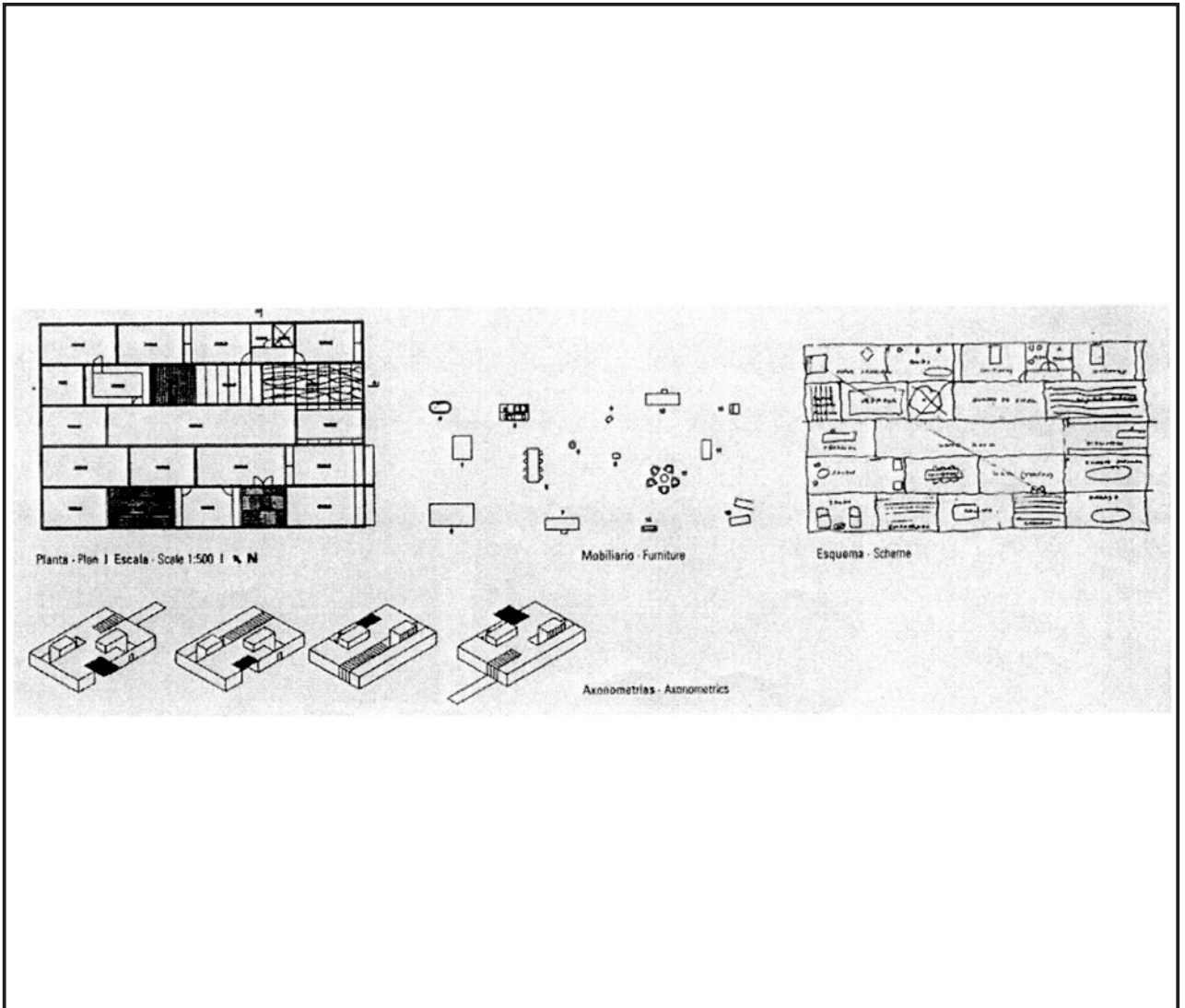
グラフ (位置情報軸: ———> / 量情報軸: - - - - ->)

<p>55</p> <p>Art Museum in Bregenz</p> <p>Peter Zumtor</p> <p>都市と建築 (a+u) / 別冊</p>		位置の基準			量の比較			パタン	タイプ
		部位	尺度	環境	部位	尺度	環境		
	平面	W	[wi ~ r]		W	[de]		帯 棒	
断面	W	[wi ~ r]	斜面	F, C	[le]	中庭	帯×帯		

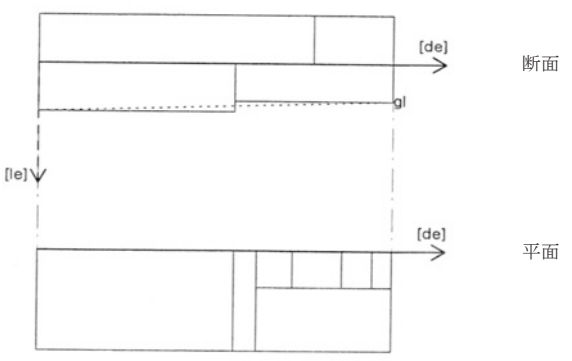
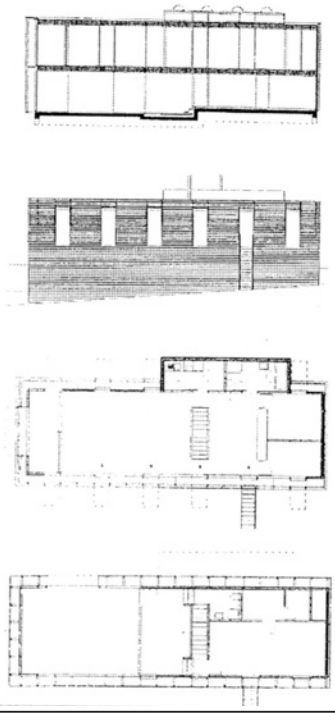
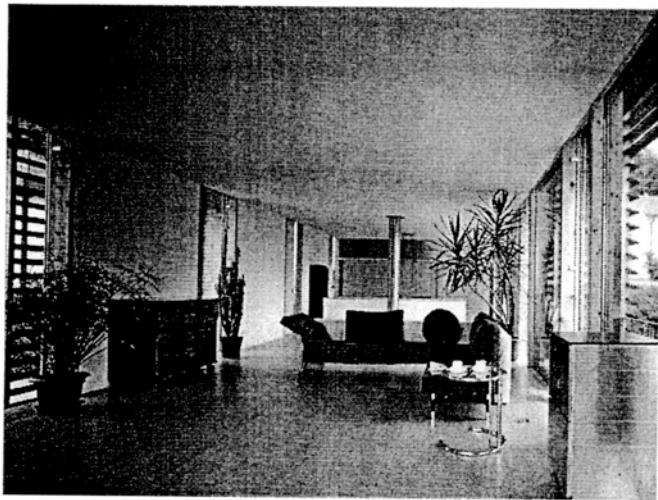
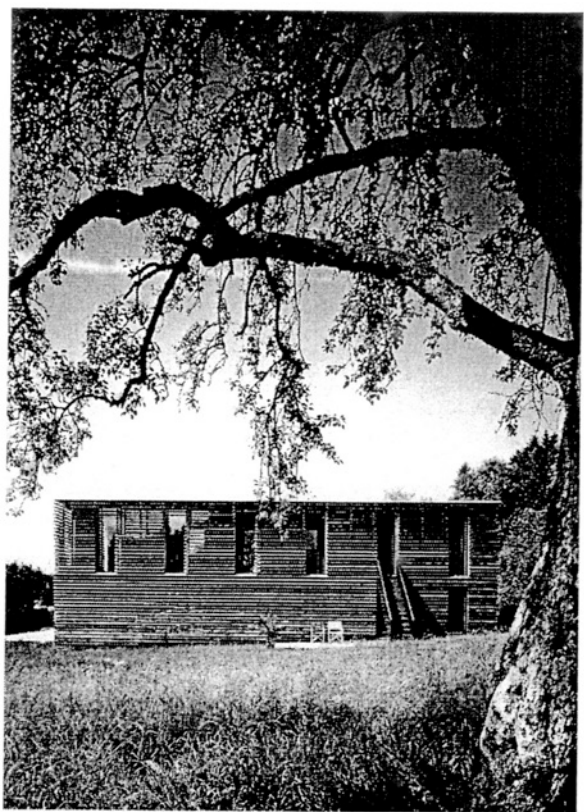
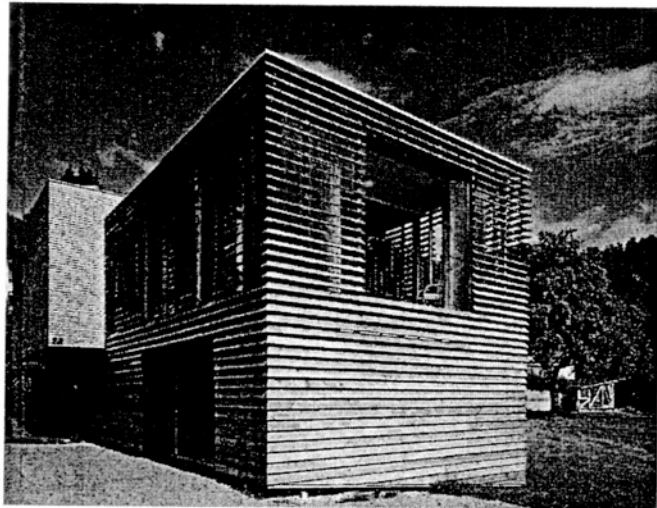


グラフ (位置情報軸 : ———→ / 量情報軸 : - - - - ->)

56 Photographic Studio Frei Herzog&de Meuron Quaderns/167+168		位置の基準			量の比較			パタン	タイプ
		部位	尺度	環境	部位	尺度	環境		
	平面	W	[de]		W	[wi]		関 on 帯	⑥
断面	W	[de]	斜面	R	[le]	空	関 on 帯		

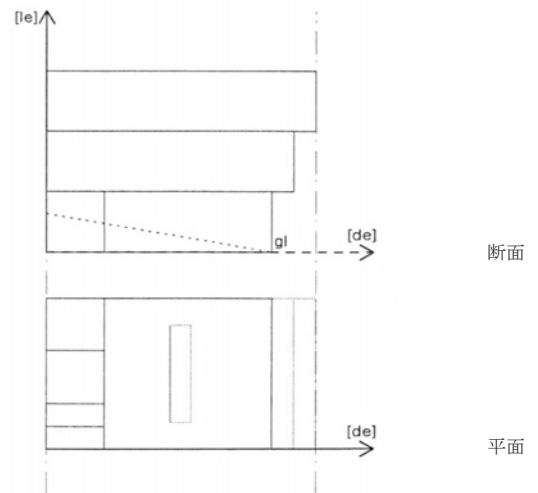
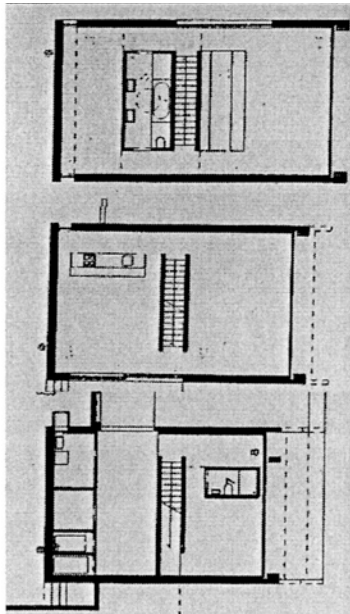
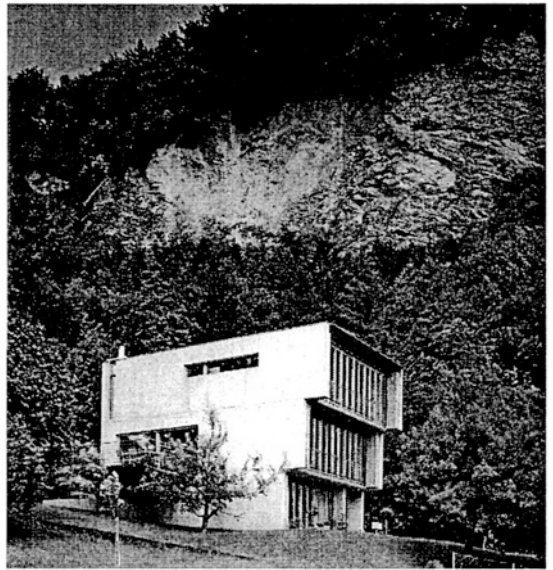
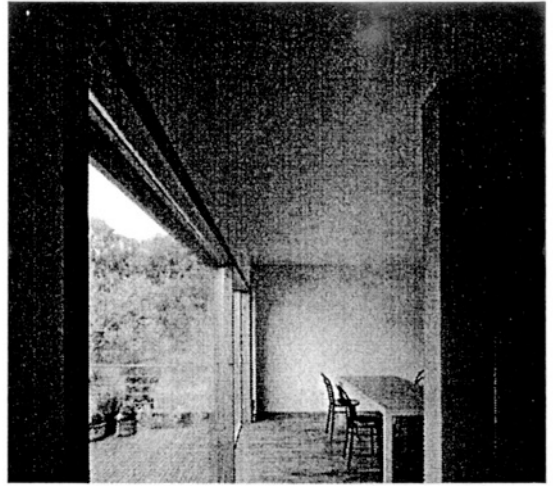
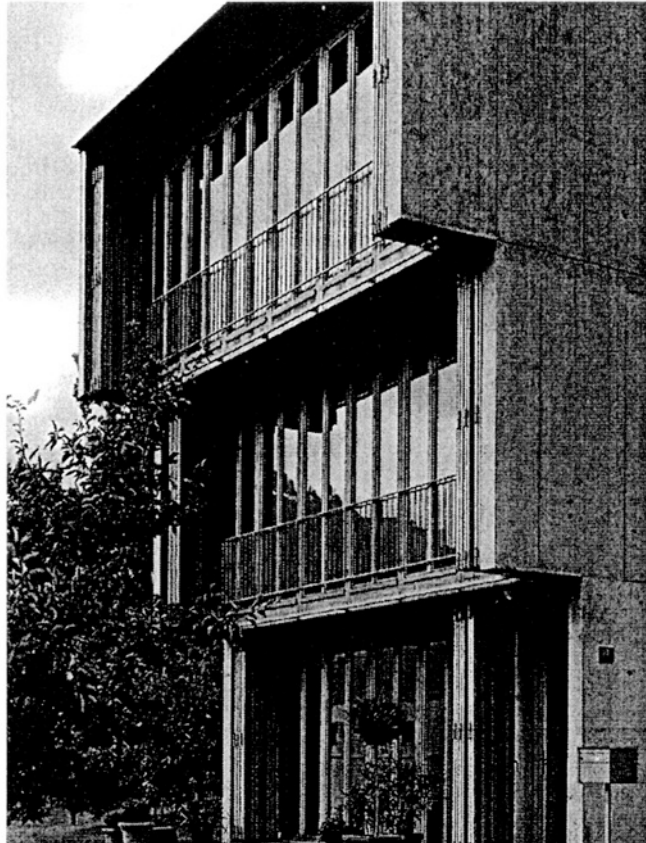


57 Casa Mora Abalos&Herreros Quaderns/230		位置の基準			量の比較			パターン	タイプ
		部位	尺度	環境	部位	尺度	環境		
	平面	W	[wi]		W	[de]		帯 in 帯	③
断面	W	[de]	斜面	R	[le]	中庭	棒×帯 帯		



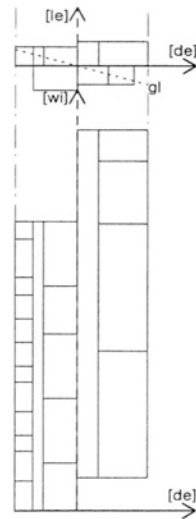
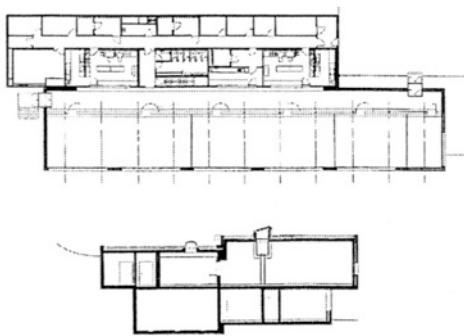
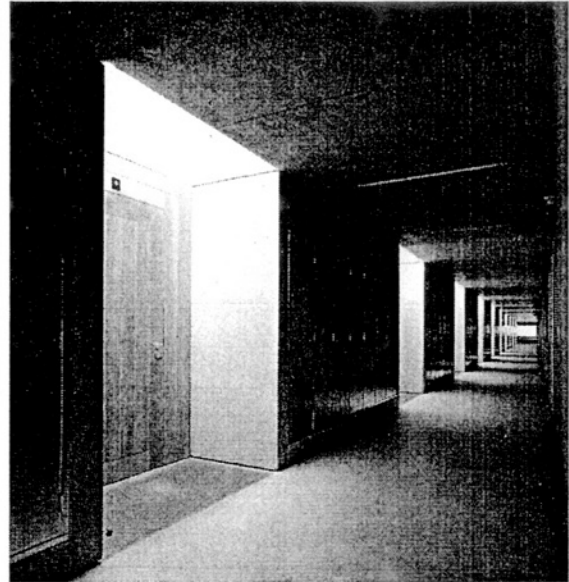
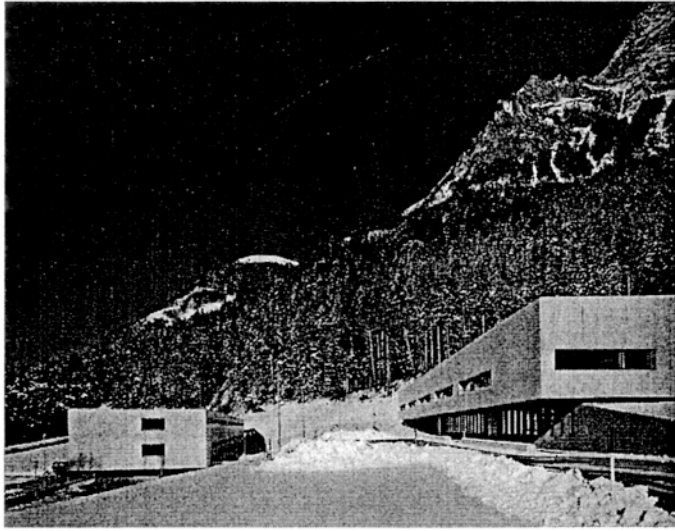
グラフ (位置情報軸: ———→ / 量情報軸: - - - - ->)

58 Kern house Baumschlager&Eberle 2G/11		位置の基準			量の比較			パタン	タイプ
		部位	尺度	環境	部位	尺度	環境		
	平面	W	[de]					帯	①
断面	W	[de]		F	[le]	斜面	棒×帯 帯		



グラフ (位置情報軸: ———> / 量情報軸: - - - - ->)

<p>59</p> <p>Buchel House</p> <p>Baumschlager&amp;Eberle</p> <p>2G/11</p>		位置の基準			量の比較			バタン	タイプ
		部位	尺度	環境	部位	尺度	環境		
	平面	W	[de]					帯	
断面	F	[le]		W	[de]	斜面	棒×帯		

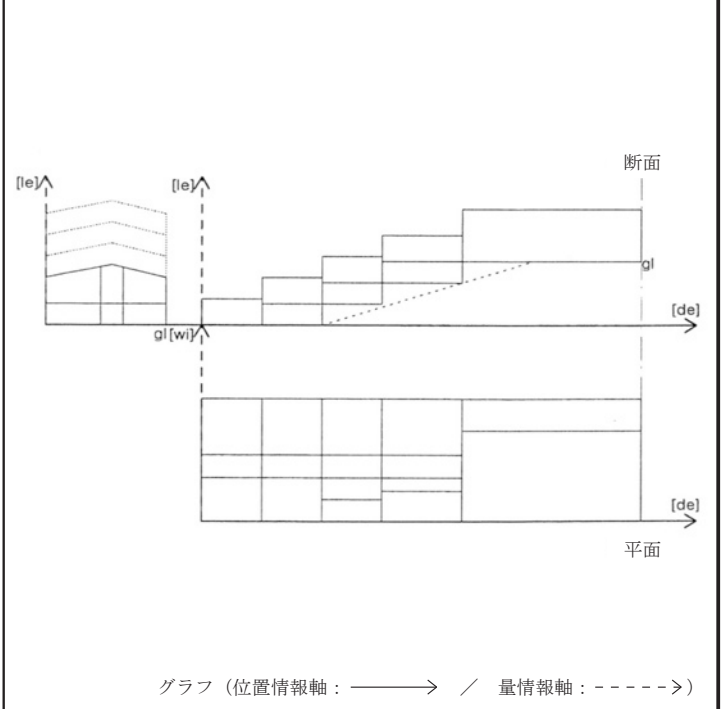
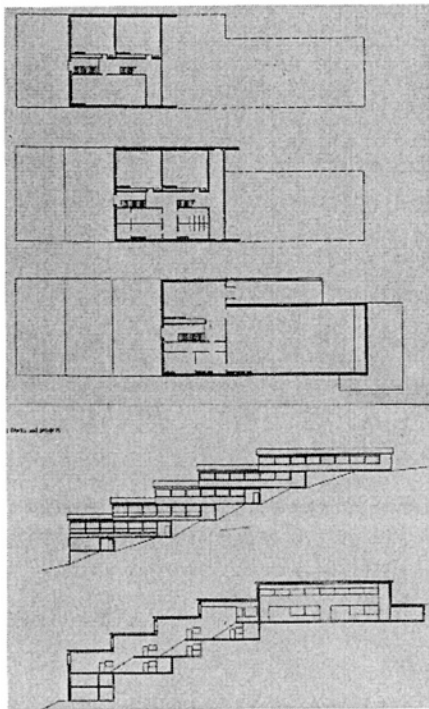
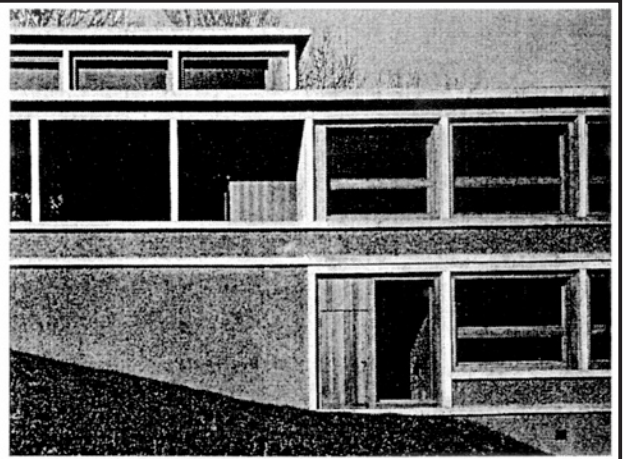


断面

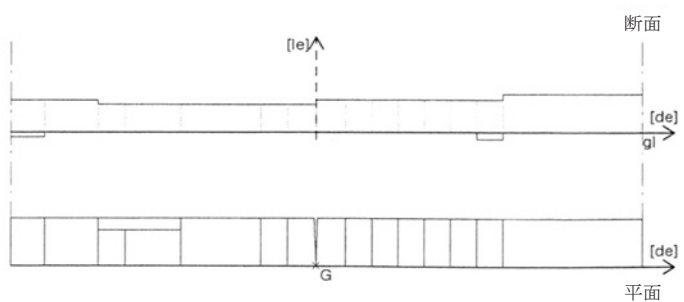
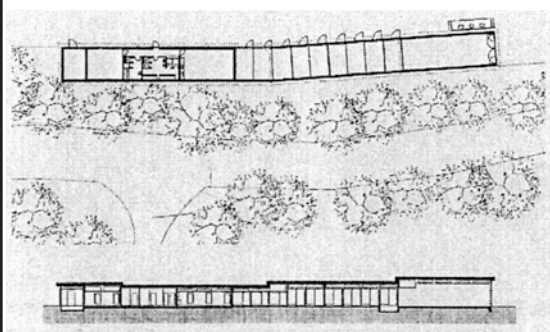
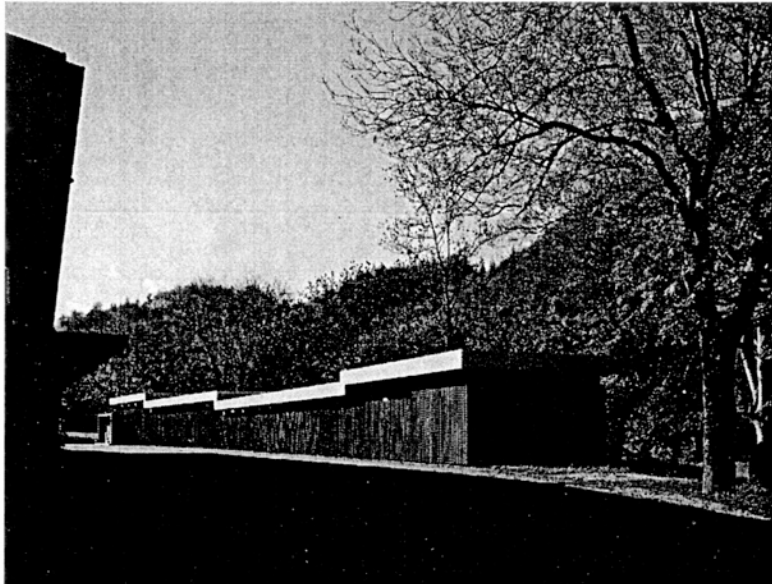
平面

グラフ (位置情報軸: ———→ / 量情報軸: - - - - ->)

60 Extension of the St Luziensteigbarraks Jungling&Hagmann 2G/14		位置の基準			量の比較			パタン	タイプ
		部位	尺度	環境	部位	尺度	環境		
	平面	W	[de]		W	[wi]		帯 in 帯	③
断面	W	[de]		R	[le]	斜面	棒×帯		
		W	[de]		F	[le]	斜面	棒×帯	

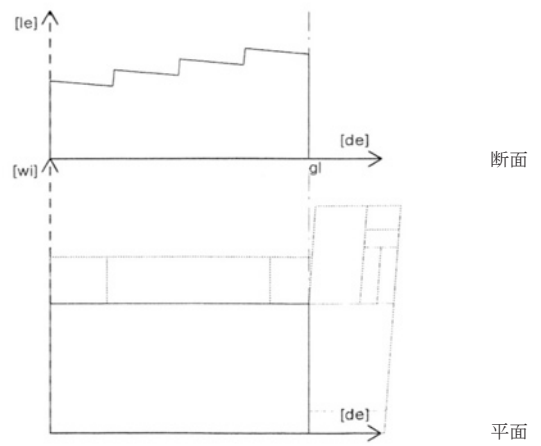
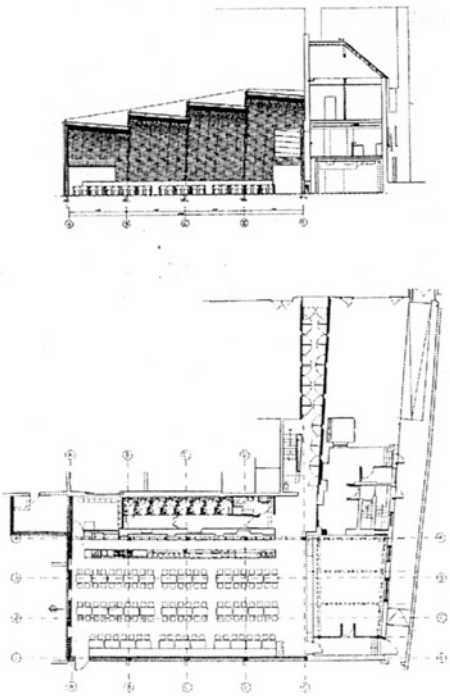
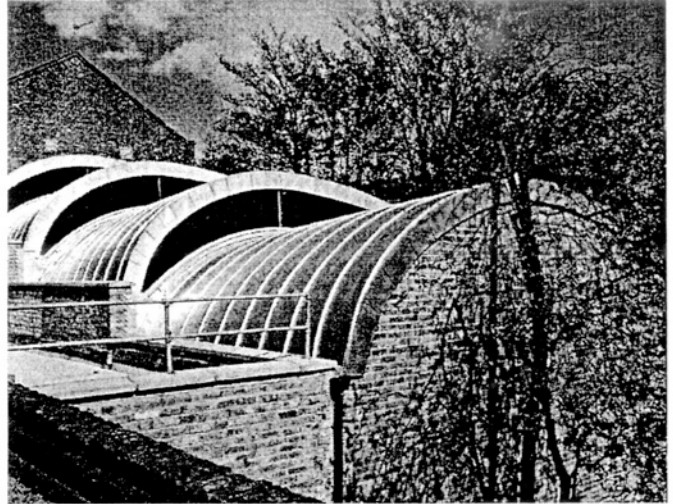


61 School & Multipurpose Hall Jungling&Hagmann 2G/14	位置の基準			量の比較			パターン	タイプ
	部位	尺度	環境	部位	尺度	環境		
	平面	W	[de]		W	[wi]		帯 in 帯
断面	W	[de]	斜面	F	[le]	空	帯 in 帯	
	W	[de]		F	[le]		棒×帯	
	W	[wi]		R	[le]		閣 on 帯	



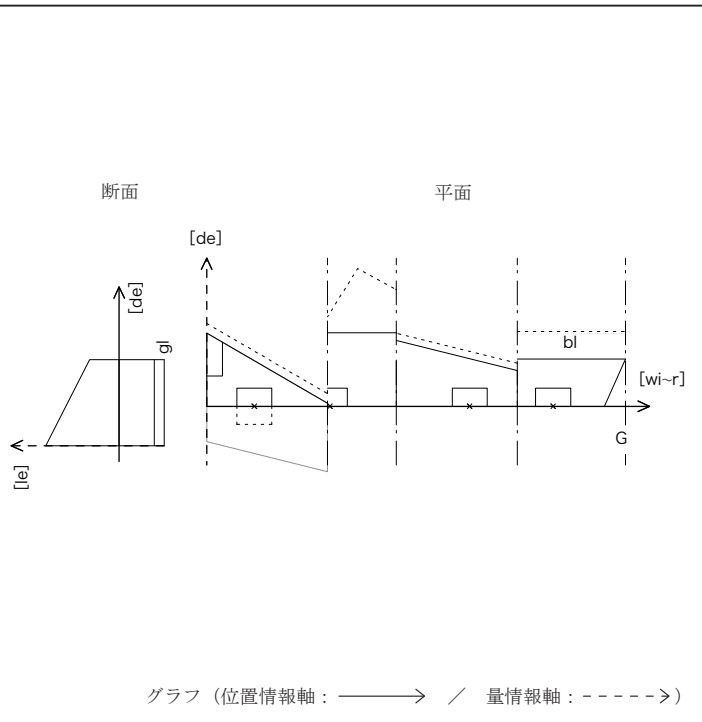
グラフ (位置情報軸 : ———→ / 量情報軸 : - - - - ->)

62 Operation Center Jungling&Hagmann 2G/14		位置の基準			量の比較			パターン	タイプ
		部位	尺度	環境	部位	尺度	環境		
	平面	W	[de~r]	敷地境界				帯	
断面	W	[de]		R	[le]		棒×帯		
	W	[de]		F	[le]	斜面	棒×帯		



グラフ (位置情報軸: ———→ / 量情報軸: - - - - ->)

63 Belgo Restaurant, London FOA 2G/16	位置の基準			量の比較			パタン	タイプ
	部位	尺度	環境	部位	尺度	環境		
	平面	W	[de]				帯	⑨
	断面	W	[wi] [de]	斜面	R R	[le] [le] 空 空	曲 折	



64 曾谷の家 DESK5 新建築住宅特集 / 9811		位置の基準			量の比較			パタン	タイプ
		部位	尺度	環境	部位	尺度	環境		
	平面	W	[wi~r]	敷地境界	W	[de]	関×帯 棒×帯	⑫	
		W	[wi~r]		W	[de]			
断面	W	[de]	空	R	[le]	関 on 帯			